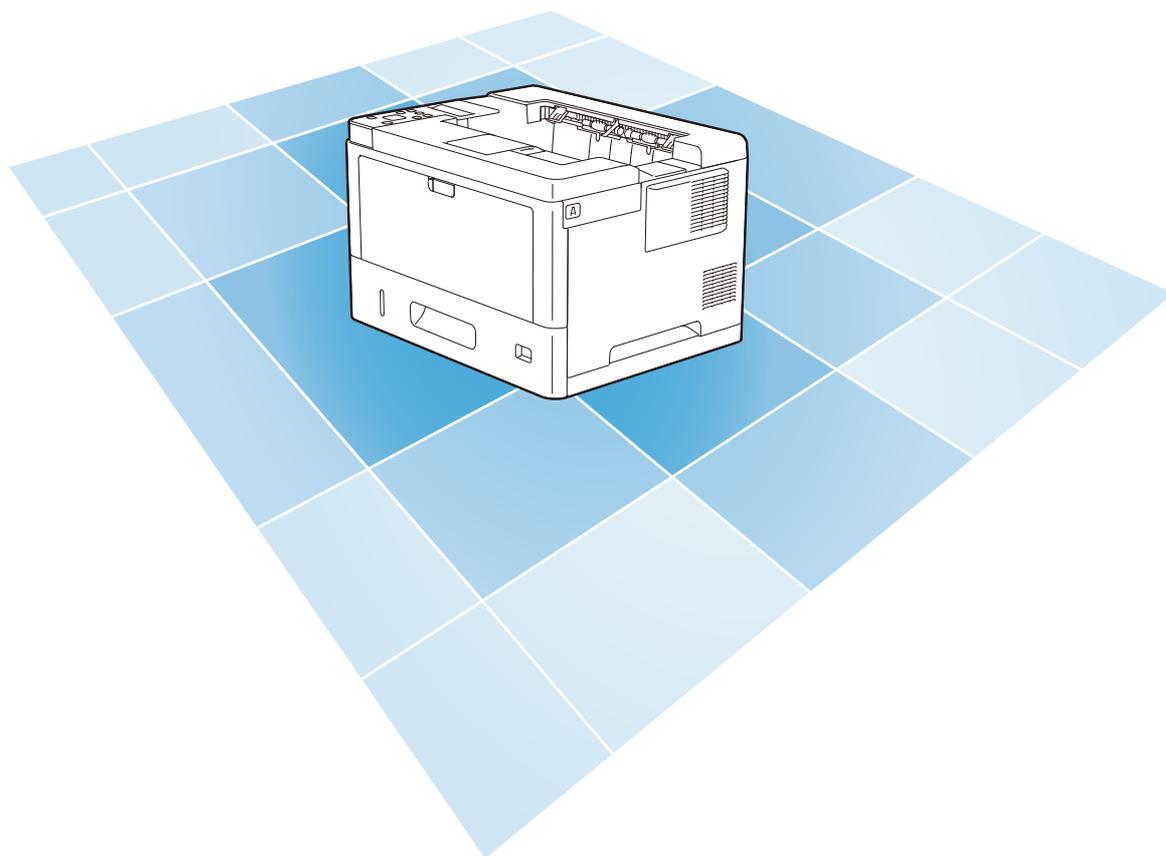


MultiWriter 8800 MultiWriter 8700 MultiWriter 8600

モノクロページプリンタ



ユーザーズマニュアル

NEC、NEC ロゴ、および FontAvenue は、日本電気株式会社の商標または登録商標です。

Adobe、Acrobat、Acrobat Reader、PostScript、および PostScript 3 は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Internet Explorer、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Apple、iPhone、AirPrint、iPad、Bonjour、macOS、OS X、and Mac are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

Android、Google、Google Chrome、および Google Cloud Print は、Google LLC の登録商標または商標です。

RSA および BSAFE は、EMC コーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

CentreWare は、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

MULTIWRITER、PDF Bridge、ContentsBridge、ApeosWare、および DocuWorks は、富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。

その他の社名、または商品名等は各社の登録商標または商標です。

Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

この取扱説明書のなかで  と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

プリンターで紙幣を印刷したり、有価証券などを不正に印刷すると、その印刷物を使用するかどうかにかかわらず、法律に違反し罰せられます。

平成明朝体™W3、平成角ゴシック体™W5 は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みます。許可なく複製することはできません。

万一本体の記憶媒体（ハードディスク等）に不具合が発生した場合、受信したデータ、蓄積されたデータ、設定登録されたデータ等が消失することがあります。データの消失による損害については、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- ①本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- ②本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- ④本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
- ⑤本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

はじめに

このたびは MultiWriter 8800/8700/8600（以降、本機と呼びます）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書には、本機の操作方法および使用上の注意事項を記載しています。本機の性能を十分に発揮させ効果的にご利用いただくために、本書を最後までお読みください。

なお、本書の内容は、お使いのパーソナルコンピュータの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。お使いのパーソナルコンピュータの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピュータ、オペレーティングシステム、ネットワークシステムなどに付属の説明書をお読みください。

本書は、読み終わったあとも必ず保管してください。本機をご使用中に、操作でわからないことや不具合が出たときに読みなおしてご活用いただけます。

本書で使用しているイラストや画面例は 2018 年 10 月現在のものです。今後、予告なく変更される場合があります。

日本電気株式会社

目次

はじめに	3
目次	4
1 お使いいただく前に	10
1.1 マニュアル体系	10
1.2 本書の使い方	11
本書の構成	11
本書の表記	11
1.3 各部の名称と働き	13
操作パネル	16
1.4 本機で使用している記号	18
2 本機のセットアップ	19
2.1 電源について	19
電源を入れる	19
電源を切る	19
2.2 本機をコンピューターに接続する	20
有線 LAN で接続する	20
USB で接続する	20
無線 LAN で接続する	21
IP アドレスを設定する	26
Windows® 用のソフトウェアをインストールする	30
Linux 用のプリンタードライバーをインストールする	33
2.3 ART EX ドライバーと NPD L ドライバーの機能の比較	34
3 本機の基本操作	35
3.1 ディスプレイの表示について	35
3.2 節電機能について	36
節電モードを設定する	36
節電モードを解除する	36
節電モードに移行しない場合について	36
3.3 用紙について	37
使用できる用紙	37
各トレイで使用できる用紙質量と枚数	37
用紙の保管と取り扱い	39
3.4 用紙をセットする	41
手差しトレイに用紙をセットする	41
用紙トレイ 1 とトレイモジュール (用紙トレイ 2 ~ 4) (オプション) に 用紙をセットする	46
トレイの用紙サイズを設定する	52
トレイの用紙種類を変更する	54
用紙別の画質処理を設定する	55
自動トレイ選択について	57
手差しトレイを自動トレイ選択の対象に設定する	58

4 プリント (NPDL プリンタードライバーの場合) 60

4.1	コンピューターからプリントする	60
4.2	プリントを中止する / 確認する	63
	プリントを中止する	63
	プリント指示したデータの状態を確認する	64
4.3	はがき / 封筒にプリントする	65
	はがき / 封筒をセットする	65
	はがき / 封筒にプリントする	65
4.4	定形外サイズの内紙にプリントする	67
	定形外サイズの内紙をセットする	67
	定形外サイズを登録する	67
	定形外サイズの内紙にプリントする	68
4.5	さまざまな種類の内紙にプリントする	70
4.6	大量・連続印刷する	74
	リレー給紙の設定	74
4.7	機密文書をプリントする - セキュリティープリント -	76
	セキュリティープリントをする	76
4.8	出力結果を確認してからプリントする - サンプルプリント -	80
	サンプルプリント機能について	80
	サンプルプリントをする	80
4.9	プライベートプリント	84
	プライベートプリント機能について	84
	プライベートプリントをするための設定	84
	プライベートプリントをする	85
	プリントデータを削除する	85

5 プリント (ART EX プリンタードライバーの場合) 86

5.1	コンピューターからプリントする	86
5.2	プリントを中止する / 確認する	88
	プリントを中止する	88
	プリント指示したデータの状態を確認する	89
5.3	はがき / 封筒にプリントする	90
	はがき / 封筒をセットする	90
	はがき / 封筒にプリントする	90
5.4	定形外サイズの内紙にプリントする	93
	定形外サイズの内紙をセットする	93
	定形外サイズを登録する	93
	定形外サイズの内紙にプリントする	95
5.5	さまざまな種類の内紙にプリントする	97
5.6	機密文書をプリントする - セキュリティープリント -	100
	セキュリティープリント機能について	100
	セキュリティープリントをする	101
5.7	出力結果を確認してからプリントする - サンプルプリント -	104
	サンプルプリント機能について	104
	サンプルプリントをする	104
5.8	指定した時刻にプリントする - 時刻指定プリント -	108
	時刻指定プリント機能について	108
	時刻指定プリントをする	108
	時刻指定プリントを中止する	110
5.9	プライベートプリント	111
	プライベートプリント機能について	111
	プライベートプリントをするための設定	111

	プライベートプリントをする	112
	プリントデータを削除する	112
5.10	認証プリント	113
	認証プリントについて	113
	認証プリントをするための設定	113
	認証プリントをする	114
6	プリント (プリンタードライバーを使用しない場合)	116
6.1	PDF ファイルを直接プリントする	116
	PDF ファイルを直接プリントする方法	116
6.2	DocuWorks ファイルを直接プリントする	118
	DocuWorks ファイルを直接プリントする方法	118
6.3	電子メールを使ってプリントする - メール受信プリント -	120
	メール受信プリントをするための環境設定	120
	メールを受信する	124
	メールを手動で受信してプリントする	128
	メールによる文書送信時のご注意	128
6.4	プリントを中止する	129
	プリントを中止する	129
7	スマートフォン/タブレットからのプリント	130
7.1	本機をスマートフォン/タブレットと接続する	130
	Wi-Fi で接続する	130
	Wi-Fi Direct で接続する	131
7.2	Print Utility を使ってプリントする	135
7.3	その他のサービスを利用する	136
	AirPrint	136
	Google クラウド プrint	137
	Google クラウド プrint に本機を登録する	138
8	本体の設定を変更する	141
8.1	共通メニューの概要	141
	メニューの構成	141
	設定を変更する	144
8.2	共通メニュー項目の説明	146
	[レポート / リスト]	146
	[メーター確認]	146
	[機械管理者メニュー]	146
	[プリント言語の設定]	213
	[言語切り替え]	219
9	便利な使いかた	220
9.1	CentreWare Internet Services を使う	220
	Web ブラウザーの設定	221
	CentreWare Internet Services を起動する	222
	ヘルプの使い方	224
9.2	本機に付属するソフトウェアを使う	225
	概要	225
	ソフトウェアをアップデートする	225

9.3	RAM ディスクを使用するための設定 (ART EX プリンタードライバー使用時).....	226
9.4	セキュリティー機能について	228
	セキュリティー機能の概要	228
	複製管理機能について	230
	強制アノテーション機能について	231
	監査ログ機能について	231
9.5	暗号化機能を設定する	232
	証明書の種類	232
	暗号化機能について	232
	HTTP の通信を暗号化するための設定	233
	IPSec を使用して暗号化するための設定	238
9.6	ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について	241
	認証 / 集計管理機能の概要	241
	認証 / 集計管理機能を使用するための設定	242
	IC カード読み取り装置を利用するための設定	247

10 日常管理 249

10.1	消耗品を交換する	249
	トナーカートリッジを交換する	250
	ドラムカートリッジを交換する	252
10.2	レポート / リストをプリントする	258
	レポート / リストの種類	258
	レポート / リストをプリントする	261
10.3	プリントページ数を確認する	262
	総プリントページ数を確認する (メーター)	262
	コンピューター別にプリントページ数を確認する ([プリンター集計レポート])	263
	機能別にプリントページ数を確認する ([機能別カウンターレポート])	264
10.4	電子メールで本機の状態を確認する	265
	メール通知サービスで通知される情報	265
	メール通知サービスを使用するための設定	265
10.5	ペーパーレジを補正する	268
10.6	清掃する	271
	本体外部を清掃する	271
	用紙送りローラーを清掃する	271

11 困ったときには 278

11.1	紙づまりの処置	278
	フロントカバー [A] での紙づまり	278
	リアカバー [B] での紙づまり	285
	用紙トレイ 1 ~ 4 での紙づまり	286
	手差しトレイでの紙づまり	289
11.2	機器本体のトラブル	290
11.3	プリントのトラブル	292
11.4	印字品質や画質のトラブル	295
11.5	トレイや用紙送りのトラブル	303
11.6	ネットワーク関連のトラブル	305
	無線 LAN 接続時のトラブル	305
	Wi-Fi Direct 接続時のトラブル	305
	CentreWare Internet Services 使用時のトラブル	306
	メール受信プリント / メール通知サービス機能使用時のトラブル	307
	IPv6 接続時のトラブル	308

IPv6 環境でのプリント時のトラブル	308
その他 IPv6 使用時のトラブル	308
11.7 エラーコード	310

12 NPDL の設定 338

12.1 NPDL モードを使用するには	338
ディスプレイの表示について	338
ボタンによるプリンターの設定	339
モードメニュー画面	339
12.2 フォントについて	340
12.3 各ボタンで設定できる項目	340
〈トレイ〉ボタン	340
〈縮小〉ボタン	340
〈印刷方向 / 両面〉ボタン	341
〈手差し〉ボタン	341
12.4 NPDL モードメニューで設定できる項目	342
NPDL モードメニューについて	342
NPDL 設定項目一覧	343
NPDL モードメニューの設定方法	356

13 付 録 358

13.1 主な仕様	358
本体	358
トレイモジュール (オプション)	364
内蔵フォント	365
13.2 オプション製品について	367
13.3 保証について	368
保証書について	368
保守サービスについて	368
プリンターの耐久性について	369
13.4 消耗品と有寿命部品 (定期交換部品、有償) の寿命について	370
情報サービスについて	373
13.5 本機を移動するときは	374
13.6 カスタムモードについて	375
13.7 最新のソフトウェアを入手する	376
13.8 本機のファームウェアを更新する	377
13.9 ART IV、ESC/P エミュレーションについて	378
エミュレーションについて	378
フォントについて	379
排出機能について	380
エミュレーションモードでのプリント機能	382
ART IV、および ESC/P に関連する共通メニュー	383
ESC/P 設定項目一覧	384
エミュレーションモードのリストについて	391
ESC/P モード関連資料	392
13.10 HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションについて	399
エミュレーションについて	399
工場出荷時の設定	400
フォントについて	400
排出機能について	401
HP-GL、HP-GL/2 に関連する共通メニュー	402

	HP-GL、HP-GL/2 設定項目一覧	403
	HP-GL、HP-GL/2 モードのリストについて	410
13.11	PCL エミュレーションについて	411
	エミュレーションについて	411
	フォントについて	412
	排出機能について	412
	エミュレーションモードでのプリント機能	414
	PCL に関連する共通メニュー	414
	PCL 設定項目一覧	415
	PCL モードのリストについて	417
13.12	無線 LAN アダプタ (オプション) の取り付け	419
13.13	トレイモジュール (オプション) の取り付け	421
13.14	フェイスアップトレイ (オプション) の取り付け	426
13.15	専用キャスタ台 (オプション) の取り付け	427
13.16	PostScript ソフトウェアキット (オプション) のインストール	430
13.17	機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) の取り付け	432
13.18	セキュリティ拡張キット (オプション) のインストール	434
13.19	セカンダリーイーサネットカード (オプション) の取り付け	436
13.20	シリアル番号 (機械番号) を確認する	438
	操作パネルメニュー一覧	440

1 お使いいただく前に

1.1 マニュアル体系

簡単操作ガイド（冊子）	本機の設置手順、本機を安全にお使いいただくためのご注意、トラブルシューティング、本体同梱メディア「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクの使いかたについて説明しています。
ユーザーズマニュアル（本書） （「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスク）	本機の設置が終わってからプリントするまでの準備、プリント機能の設定方法、操作パネルのメニュー項目、トラブルの対処方法、オプション製品の取り付け方法、および日常の管理について説明しています。

1.2 本書の使い方

本書は、本機をはじめてご使用になるかたを対象に、プリント環境の設定、プリントのしかた、使用できる用紙、日常のお手入れ方法などについて記載しています。

本書の構成

本書は、次のような章で構成されています。

1 お使いいただく前に	操作の前に知っていただきたい本機の基本的な情報について説明しています。
2 本機のセットアップ	本機とコンピューターおよびネットワークの接続方法や、ソフトウェアのインストール方法について説明しています。
3 本機の基本操作	節電機能、使用できる用紙、および用紙のセット方法について説明しています。
4 プリント（NPDL プリンタードライバーの場合）	NPDL プリンタードライバーを使用した、基本的なプリントの方法と機能について説明しています。
5 プリント（ART EX プリンタードライバーの場合）	ART EX プリンタードライバーを使用した、基本的なプリントの方法と機能について説明しています。
6 プリント（プリンタードライバーを使用しない場合）	プリンタードライバーを使用しない、基本的なプリントの方法と機能について説明しています。
7 スマートフォン/タブレットからのプリント	本機とモバイル機器の接続方法や、モバイル機器からのプリント方法について説明しています。
8 本体の設定を変更する	操作パネルで設定できる項目と、その設定方法について説明しています。
9 便利な使いかた	機械管理者を対象に、コンピューターから本機の状態を確認したり、設定したりするツールや、本機のセキュリティー機能、認証 / 集計管理機能について説明しています。
10 日常管理	消耗品の交換方法やレポート / リストのプリント方法など、日常の管理について説明しています。
11 困ったときには	トラブル（紙づまり、エラーメッセージなど）が発生したときの対処方法について説明しています。
12 NPDL の設定	本機を NPDL モードで使用するときの、プリンターの設定について説明しています。
13 付 録	主な仕様、オプション製品の紹介、消耗品の寿命、製品情報の入手方法、および各エミュレーションについて説明しています。

本書の表記

- ・本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。
- ・本書に掲載している画面は、実際の画面と異なる場合があります。
- ・本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

 **注記** : 注意すべき事項を記述しています。必ず、お読みください。

 **補足** : 補足事項を記述しています。

 **参照** : 参照先を記述しています。

・本文中では、次の記号を使用しています。

参照「 」: 参照先は、本書内です。

参照『 』: 参照先は、本書内ではなく、ほかのマニュアルです。

[] : コンピューターや本機の操作パネルのディスプレイに表示されるメニュー、項目、メッセージを表します。また、本機から出力されるレポート/リスト名を表します。

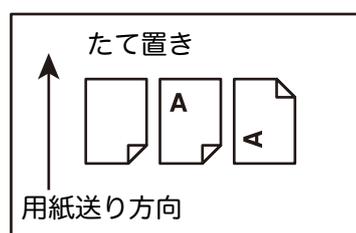
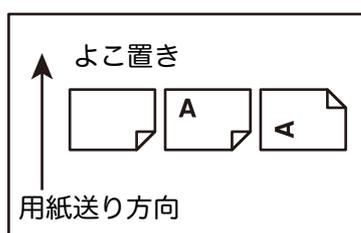
< > : キーボード上のキーや、本機の操作パネル上のボタン、ランプなどを表します。

> : 操作パネルのメニューや CentreWare Internet Services のメニューの階層を表します。

・本文中では、用紙の向きを、次のように表しています。

よこ置き : 本機正面から見て、用紙をよこ長にセットした状態を表しています。

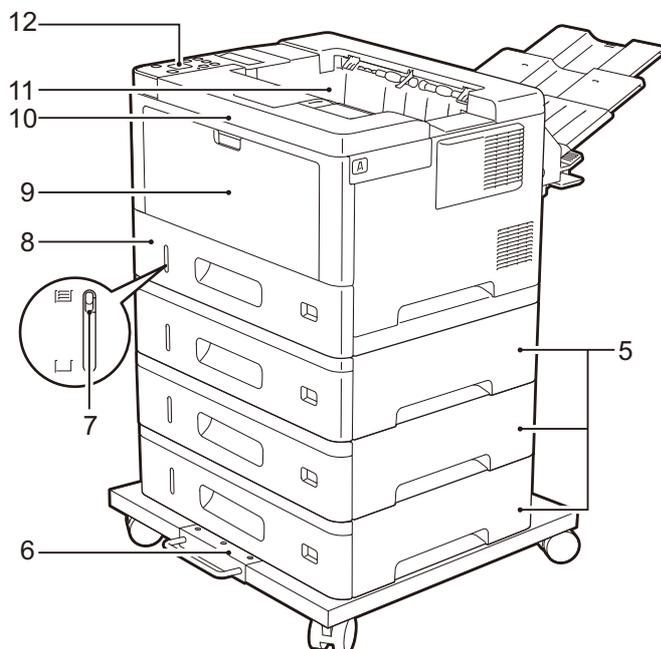
たて置き : 本機正面から見て、用紙をたて長にセットした状態を表しています。



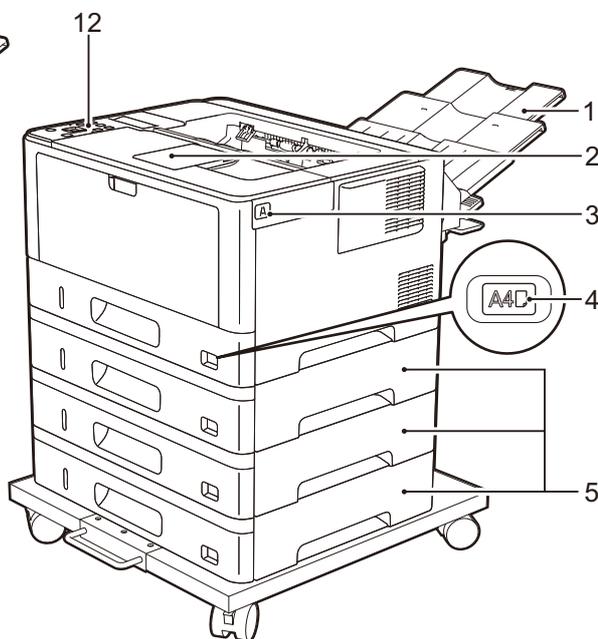
1.3 各部の名称と働き

前面

■ MultiWriter 8800



■ MultiWriter 8700/MultiWriter 8600



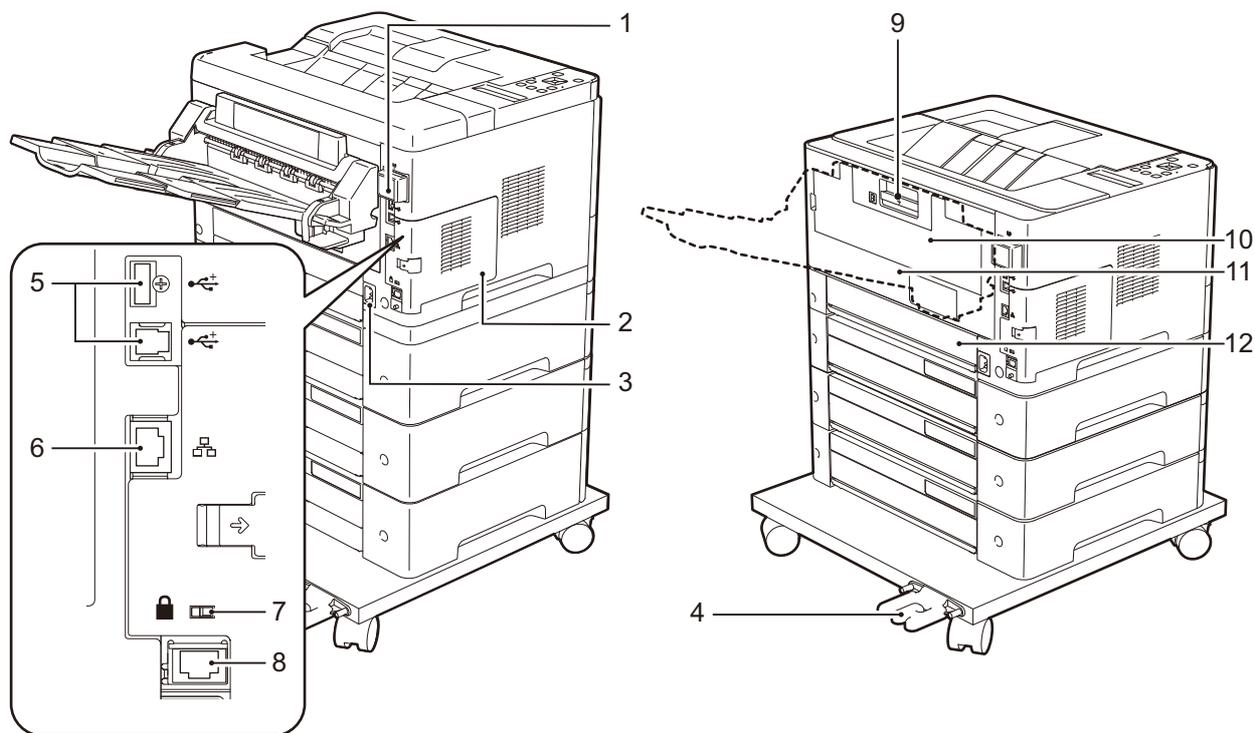
イラストは、各種オプション製品を装着した状態のものです。

No.	名称	説明
1	フェイスアップトレイ (オプション)	プリント面を上にして用紙が排出されます。
2	排出延長トレイ	持ち上げて排出トレイを延長します。
3	A ボタン	フロントカバーを開けるときに押します。
4	用紙サイズ表示	トレイ内の用紙サイズ設定ダイヤルで設定した用紙サイズと向きが表示されます。
5	用紙トレイ 2～4 (オプション)	用紙をセットします。
6	専用キャスタ台 (オプション)	移動時に使用します。
7	用紙残量表示	用紙トレイ内の用紙残量を確認できます。
8	用紙トレイ 1	用紙をセットします。
9	手差しトレイ	用紙トレイ 1～4 にセットしていない用紙、またはできない用紙 (厚紙などの特殊用紙) をプリントするときに使用します。
10	フロントカバー	消耗品を交換するときや詰まった用紙を取り除くときに開けます。
11	センタートレイ	プリント面を下にして用紙が排出されます。
12	操作パネル	電源ボタン、操作に必要なボタン、ランプ、ディスプレイがあります。 <div style="text-align: center;">  参照 ・「操作パネル」(P. 16) </div>

背面

■ MultiWriter 8800

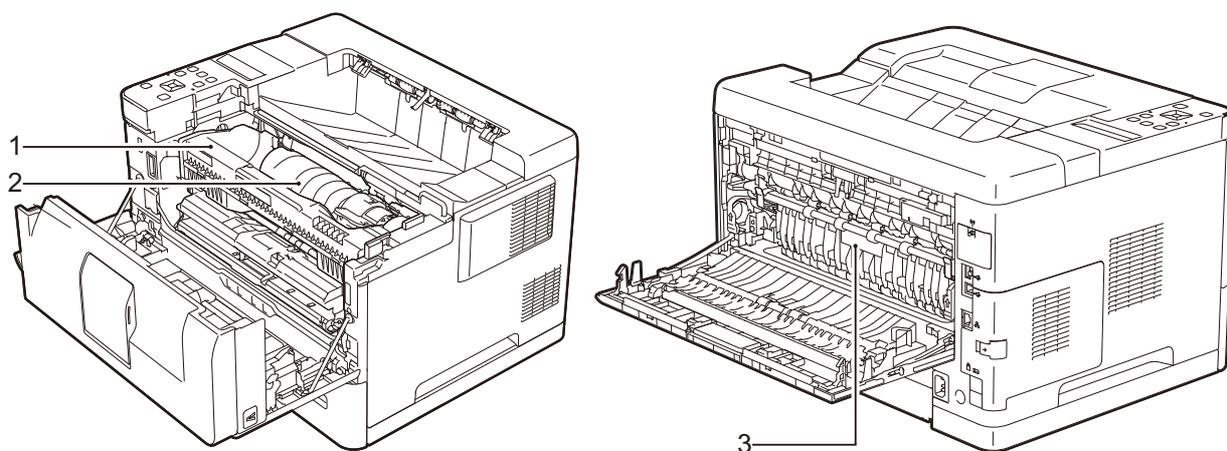
■ MultiWriter 8700/MultiWriter 8600



イラストは、各種オプション製品を装着した状態のものです。

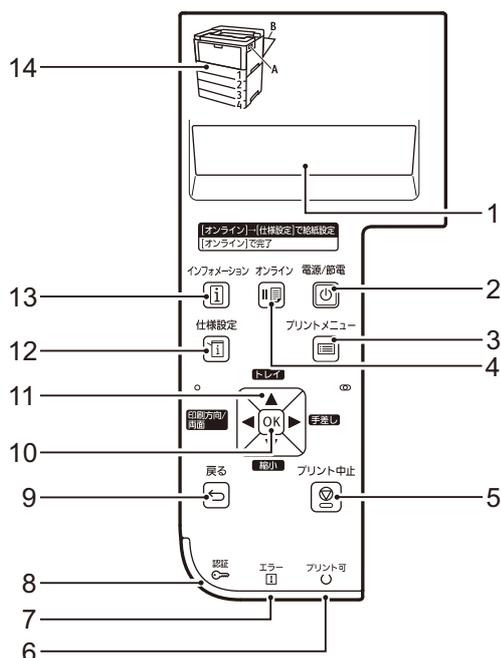
No.	名称	説明
1	無線 LAN アダプタ (オプション)	本機を無線 LAN で接続するときに取り付けます。
2	左カバー	オプションの機能拡張キット (ハードディスク)などを装着するときに開けます。
3	電源コード接続部	電源コードを接続します。
4	ケーブルフック	専用キャスタ台 (オプション) を装着している場合に、電源コードを巻きつけます。
5	USB インターフェイスコネクタ	USB ケーブルを接続します。
6	イーサネットインターフェイスコネクタ	ネットワークケーブルを接続します。 <div style="text-align: center;"> <p>❗ 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> セカンダリーイーサネットカード (オプション) を装着している場合は No.8 のセカンダリーイーサネットコネクタにケーブルを接続します。 </div>
7	セキュリティロックスロット	セキュリティロックを取り付けます。
8	セカンダリーイーサネットコネクタ (オプション)	セカンダリーイーサネットカード (オプション) を装着している場合に、ネットワークケーブルを接続します。
9	B レバー	背面カバーを開けるときに押し下げます。
10	背面排出カバー	フェイスアップトレイ (オプション) を装着するときに取り外します。
11	リアカバー	紙づまりを処理するときなどに開けます。
12	ダストカバー	用紙トレイ (オプション) を装着するときに取り外します。

内部



No.	名称	説明
1	ドラムカートリッジ	感光体がセットされています。
2	トナーカートリッジ	トナー（画像形成剤）が入っています。
3	定着ユニット	トナーを用紙に定着させる装置です。 注記 ・高温時に触れないように注意してください。

操作パネル



No.	名称	説明
1	ディスプレイ	<p>設定項目、本機の状態、メッセージなどが表示されます。 電源を入れると「お待ちください」と表示されます。この表示が「プリントできます」に変わるとプリントできます。 カード認証時には、認証したユーザー ID を約 2 秒間表示します。</p> <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「本機のセットアップ」(P. 19)
2	⏻(電源 / 節電) ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本機の電源を入れる / 切るときに押します。 ・ 節電状態を解除するとき、または節電状態にするときに押します。 本機が節電状態に入ると点灯します。 <p>参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電源を入れる / 切る方法については、「2.1 電源について」(P. 19) を参照してください。 ・ 節電機能については、「3.2 節電機能について」(P. 36) を参照してください。

No.	名称	説明
3	 〈プリントメニュー〉ボタン	<p>セキュリティープリントやサンプルプリントなど、本機やサーバー内に蓄積されている文書をプリントするときに押します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この機能を使用するには、機能拡張キット（オプション）を取り付けるか、RAM ディスクを有効にします。 ・使用環境によって、使用できるプリント機能が異なります。本機で使用できる機能については、「操作パネルメニュー一覧」(P. 440)を参照してください。 <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「9.3 RAM ディスクを使用するための設定（ART EX プリントードライバー使用時）」(P. 226)
4	 〈オンライン〉ボタン	 〈オンライン〉ボタンを押すと、オフライン状態に移行します。オフライン中は、  〈プリント可〉ランプが消灯し、プリント処理を行いません。再度押すと、オフライン状態が解除され、オンライン状態（プリント可能な状態）に移行します。
5	 〈プリント中止〉ボタン	プリントを中止します。
6	 〈プリント可〉ランプ	点灯中は、プリントが可能です。
7	 〈エラー〉ランプ	本機に異常があるときに、ランプが点滅、または点灯します。
8	 〈認証〉ランプ	オプションの IC カード認証時に点灯します。
9	 〈戻る〉ボタン	メニュー画面のとき、ひとつ前の項目に戻ります。
10	 OK ボタン	メニュー画面のとき、メニューの候補値を確定します。
11	<p>・オンラインの場合 〈▲〉〈▼〉〈◀〉〈▶〉ボタン</p> <p>・オフラインの場合 〈トレイ〉、〈縮小〉、〈印刷方向 / 両面〉、〈手差し〉ボタン</p>	<p>メニュー画面のとき、ディスプレイに表示されたメニュー、項目、候補値の間を移行します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〈▲〉〈▼〉ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続して表示を変えることができます。また、〈▲〉と〈▼〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。 <p>〈仕様設定〉ボタンを押すと NPD L パネル設定モードになり、以下の動作に切り替わります。NPD L 設定を変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・▲：給紙トレイや用紙サイズ ・▼：縮小・拡大モード ・◀：印刷方向 / 両面 ・▶：手差しトレイの用紙サイズの設定 <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「12.3 各ボタンで設定できる項目」(P. 340) ・「12 NPD L の設定」(P. 338)
12	 〈仕様設定〉ボタン	メニュー画面に移行します。
13	 〈インフォメーション〉ボタン	ディスプレイに  マークが表示されているときにこのボタンを押すと、詳細情報が表示されます。
14	外観図	エラーが発生したときに、メッセージに表示される各部の位置を確認できます。

1.4 本機で使用している記号

記号の意味については、次の表を参照してください。

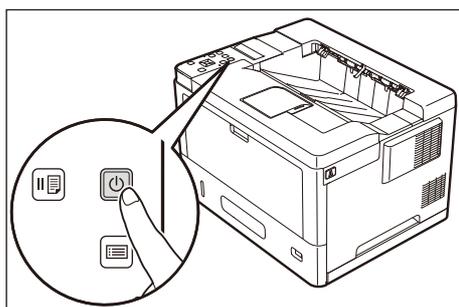
記号	説明	記号	説明
	注意、危険、警告		用紙のプリント面を上セット
	高温注意		用紙のプリント面を下セット
	接触禁止		最大積載量
	分解禁止		用紙残量
	トナーカートリッジを火中に投じないこと		紙づまり
	ドラムカートリッジを直射日光に当てないこと		LAN
	電源オン/オフ		USB
	折り目、しわ、カール紙を使用しないこと		トナー
	インクジェット紙を使用しないこと		操作方向
	OHP フィルムを使用しないこと		ロック
	用紙		ロック解除

2 本機のセットアップ

2.1 電源について

電源を入れる

1. 電源 / 節電 ボタンを押します。

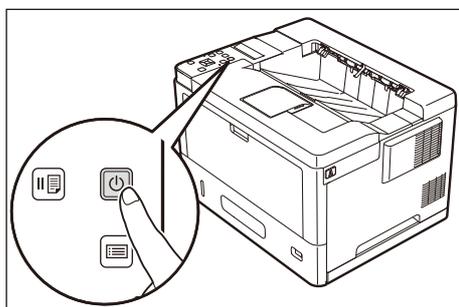


電源を切る

注記

- ・ 操作パネルのディスプレイに、[お待ちください] が表示されているときは、電源を切らないでください。
- ・ プリント中は本機の電源を切らないでください。紙づまりの原因になります。
- ・ 電源を切ると、本機内に残っている印刷データや本機のメモリーに蓄えられた情報は消去されます。
- ・ 電源 / 節電 ボタンを押したあとも、しばらくの間は本機内部で電源オフの処理をしています (電源 / 節電 ボタン点滅)。再度、電源を入れる場合は、電源 / 節電 ボタンが完全に消灯してから入れてください。
- ・ 電源を切ったあとに、再度、電源を入れる場合は、操作パネルのディスプレイの表示と各ランプの点灯が消えたあと、10 秒待ってから入れてください。

1. 電源 / 節電 ボタンを押します。



2. ディスプレイに [電源を切る] が表示されていることを確認し、OK ボタンを押します。

補足

- ・ 本機の電源を完全に切るためには、電源コンセントから電源コードを抜く必要があります。緊急時に容易に電源コードを抜くことができるように、本機は電源コンセントの近くに設置してください。

2.2 本機をコンピューターに接続する

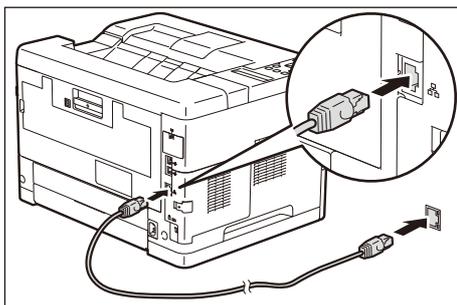
本機は有線 LAN 接続、USB による接続、および無線 LAN 接続に対応しています。

有線 LAN で接続する

1. 本機と LAN ポートまたはハブを LAN ケーブルで接続します。

💡 補足

- ・セカンダリーイーサネットカード（オプション）を装着している場合は、セカンダリーイーサネットコネクタにケーブルを接続します。



2. 本機の IP アドレスを設定します。

📖 参照

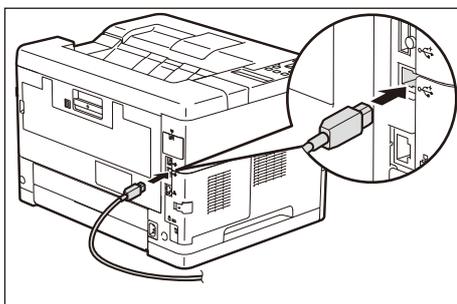
- ・IP アドレスの設定方法については、「IP アドレスを設定する」(P. 26) を参照してください。

USB で接続する

本機の電源が入っていない状態で、コンピューターを USB ケーブルで接続します。

⚠️ 注記

- ・本機を USB ハブに接続しないでください。



無線 LAN で接続する

無線 LAN を使うために必要な作業

無線 LAN を設定する前に、次の操作をしてください。

1. 無線 LAN アダプタ（オプション）が本機に接続されていることを確認します。

参照

・詳しくは、「13.12 無線 LAN アダプタ（オプション）の取り付け」（P. 419）を参照してください。
無線 LAN 接続の設定方法は次のとおりです。

- ・本機の操作パネルから、自動設定で接続する
「無線 LAN に自動設定で接続する」（P. 21）
- ・本機の操作パネルから、手動設定で接続する
「無線 LAN に手動設定で接続する」（P. 23）

無線 LAN に自動設定で接続する

本機は WPS（プッシュボタン方式）および WPS（PIN コード方式）を使用した無線 LAN 接続に対応しています。

WPS（プッシュボタン方式）では、設定を操作パネルから行ったあと、お使いの無線 LAN アクセスポイントに付いている WPS ボタンを押して設定します。

WPS（PIN コード方式）では、本機に割り当てられる PIN コードを無線 LAN アクセスポイントに入力して設定します。

どちらの方法も無線 LAN アクセスポイントが WPS 方式に対応している必要があります。

参照

- ・無線 LAN アクセスポイント側の WPS 操作については、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

■ WPS（プッシュボタン方式）で接続する場合

1. 操作パネルの  〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート/リスト

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

4. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[TCP/IP 設定] が表示されます。

ネットワーク / ポート設定
TCP/IP 設定

5. [Wi-Fi 設定] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

ネットワーク/ポート設定
Wi-Fi 設定

6. 〈▶〉 または ボタンを押します。
[Wi-Fi 接続状態] が表示されます。

Wi-Fi 設定
Wi-Fi 接続状態

7. [WPS セットアップ] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

Wi-Fi 設定
WPS セットアップ

8. 〈▶〉 または ボタンを押します。
[PBC 開始] が表示されます。

WPS セットアップ
PBC 開始

9. 〈▶〉 または ボタンを押します。
[[OK] キーで接続] が表示されます。

PBC 開始
[OK] キーで接続

10. ボタンを押します。

接続中です
[中止] でストップ

11. 無線 LAN アクセスポイントに付いている WPS ボタンを 2 分以内に押します。
設定が完了すると、自動的に本機が再起動します。

■ WPS (PIN コード方式) で接続する場合

1. 操作パネルの 〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート/リスト

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. 〈▶〉 または ボタンを押します。
[ネットワーク/ポート設定] が表示されます。

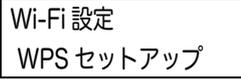
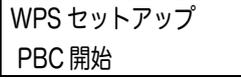
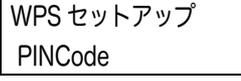
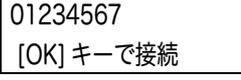
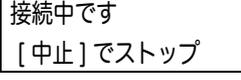
機械管理者メニュー
ネットワーク/ポート設定

4. 〈▶〉 または ボタンを押します。
[TCP/IP 設定] が表示されます。

ネットワーク/ポート設定
TCP/IP 設定

5. [Wi-Fi 設定] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

6. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
 [Wi-Fi 接続状態] が表示されます。

7. [WPS セットアップ] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

8. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
 [PBC 開始] が表示されます。

9. [PINCode] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

10. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
 表示される PIN コードをメモします。

11.  ボタンを押します。

12. PIN コードを無線 LAN アクセスポイントに入力します。
 設定が完了すると、自動的に本機が再起動します。

参照

- ・ PIN コードの入力方法については、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

無線 LAN に手動設定で接続する

無線 LAN アクセスポイントを一覧から選ぶか、または SSID を指定して無線 LAN に接続します。

補足

- ・ 無線 LAN アクセスポイントの SSID と、WEP キーまたはパスフレーズが必要になります。詳しくは、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

■ 無線 LAN アクセスポイントを一覧から選んで接続する場合

1. 操作パネルの  〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を表示します。


2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. 〈▶〉または ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

4. 〈▶〉または ボタンを押します。
[TCP/IP 設定] が表示されます。

ネットワーク / ポート設定
TCP/IP 設定

5. [Wi-Fi 設定] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

ネットワーク / ポート設定
Wi-Fi 設定

6. 〈▶〉または ボタンを押します。
[Wi-Fi 接続状態] が表示されます。

Wi-Fi 設定
Wi-Fi 接続状態

7. [アクセスポイント検索] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

Wi-Fi 設定
アクセスポイント検索

8. 〈▶〉または ボタンを押します。
アクセスポイントの一覧が表示されます。

アクセスポイント一覧
AP-abcdedg

9. 〈▲〉または 〈▼〉ボタンを押して、接続先の無線 LAN アクセスポイントを選び、 ボタンを押します。

アクセスポイント一覧
AP-abcdedg

💡 補足

- ・ 無線 LAN アクセスポイントが表示されない場合は、手動で入力して SSID を設定します。詳しくは、「SSID を手動で入力して接続する場合」(P.24) を参照してください。

10. 画面の指示に従って必要な情報を設定します。
設定が完了すると、自動的に本機が再起動します。

■ SSID を手動で入力して接続する場合

1. 操作パネルの 〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. <▶> または  ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

4. <▶> または  ボタンを押します。
[TCP/IP 設定] が表示されます。

ネットワーク / ポート設定
TCP/IP 設定

5. [Wi-Fi 設定] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

ネットワーク / ポート設定
Wi-Fi 設定

6. <▶> または  ボタンを押します。
[Wi-Fi 接続状態] が表示されます。

Wi-Fi 設定
Wi-Fi 接続状態

7. [SSID 直接入力] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

Wi-Fi 設定
SSID 直接入力

8. <▶> または  ボタンを押します。

SSID 直接入力
[]

9. SSID を入力し、<▶> または  ボタンを押します。
[ネットワークタイプ] が表示されます。

ネットワークタイプ
インフラストラクチャ

10. <▼> ボタンを押して [インフラストラクチャ] または [アドホック] をお使いの環境に合わせて選び、 ボタンを押します。

ネットワークタイプ
インフラストラクチャ

 **補足**

- ・ [Wi-Fi Direct 設定] が有効な場合は、[アドホック] を使用できません。

11. <▼> ボタンを押して、暗号化方式を設定します。

12.  ボタンを押します。

13. 画面の指示に従って必要な情報を設定します。
設定が完了すると、自動的に本機が再起動します。

IP アドレスを設定する

IP アドレスの設定／変更方法について説明します。

本機の操作パネルから設定する

1. 操作パネルの  〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート/リスト
2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー
3. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定
4. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[TCP/IP 設定] が表示されます。

ネットワーク / ポート設定
TCP/IP 設定
5. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[IP 動作モード] が表示されます。

TCP/IP 設定
IP 動作モード
6. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[デュアルスタック] が表示されます。

IP 動作モード
デュアルスタック
7. [IPv4] が表示されるまで 〈▼〉 ボタンを押します。

IP 動作モード
IPv4
8.  ボタンを押します。

IP 動作モード
IPv4
9.  〈戻る〉 ボタンを押します。
[IP 動作モード] が表示されます。

TCP/IP 設定
IP 動作モード
10. [Ethernet] が表示されるまで 〈▼〉 ボタンを押します。

TCP/IP 設定
Ethernet

11. <▶> または ボタンを押します。
[IP アドレス取得方法] が表示されます。

Ethernet
IP アドレス取得方法

12. <▶> または ボタンを押します。
現在の設定値が表示されます。

IP アドレス取得方法
• DHCP/AutoIP

13. IP アドレスの割り当て方法を設定します。
自動で設定する場合は、<▲> または <▼> ボタンを押して、[DHCP/AutoIP]、[BOOTP]、[RARP]、または [DHCP] を選んで ボタンを押します。手順 28 に進みます。
手動で設定する場合は、次の手順に進みます。

IP アドレス取得方法
• DHCP/AutoIP

14. [手動] が表示されるまで <▼> ボタンを押します。

IP アドレス取得方法
手動

15. <▶> または ボタンを押します。

IP アドレス取得方法
• 手動

16. ◀戻るボタンを押します。
[IP アドレス取得方法] が表示されます。

Ethernet
IP アドレス取得方法

17. [IP アドレス (IPv4)] が表示されるまで <▼> ボタンを押します。

Ethernet
IP アドレス (IPv4)

18. <▶> または ボタンを押します。
現在の IP アドレスが表示されます。

IP アドレス
• 000.000.000.000

19. IP アドレスを入力し、 ボタンを押します。
(例: 192.0.2.1)

IP アドレス
• 192.000.002.001

20. ◀戻るボタンで [IP アドレス (IPv4)] に戻ります。

Ethernet
IP アドレス (IPv4)

21. [サブネットマスク] が表示されるまで <▼> ボタンを押します。

Ethernet
サブネットマスク

22. <▶> または **OK** ボタンを押します。
現在のサブネットマスクが表示されます。
23. IP アドレスと同様に、サブネットマスクを入力し、**OK** ボタンを押します。
(例：255.255.255.000)
24. <◀> または ◀(戻る) ボタンで [サブネットマスク] に戻ります。
25. [ゲートウェイアドレス] が表示されるまで <▼> ボタンを押します。
26. <▶> または **OK** ボタンを押します。
現在のゲートウェイアドレスが表示されます。
27. IP アドレスと同様に、ゲートウェイアドレスを入力し、**OK** ボタンを押します。
(例：192.168.1.254)
28. これで、設定は終了です。
i(仕様設定) ボタンを押して、メニュー画面を終了します。
設定を変更した場合は、自動的に本機が再起動します。

サブネットマスク
• 000.000.000.000

サブネットマスク
• 255.255.255.000

Ethernet
サブネットマスク

Ethernet
ゲートウェイアドレス

ゲートウェイアドレス
• 000.000.000.000

ゲートウェイアドレス
• 192.168.001.254

IP アドレスを確認する

設定内容は、操作パネルの画面または機能設定リストで確認できます。

■ 操作パネルを使用する

1. 操作パネルの **i**(仕様設定) ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。
3. <▶> または **OK** ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

仕様設定
レポート / リスト

仕様設定
機械管理者メニュー

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

4. <▶> または  ボタンを押します。
[TCP/IP 設定] が表示されます。

ネットワーク/ポート設定
TCP/IP 設定

5. <▶> または  ボタンを押します。
[IP 動作モード] が表示されます。

TCP/IP 設定
IP 動作モード

6. [Ethernet] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

TCP/IP 設定
Ethernet

7. <▶> または  ボタンを押します。
[IP アドレス取得方法] が表示されます。

Ethernet
IP アドレス取得方法

8. [IP アドレス (IPv4)] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

Ethernet
IP アドレス (IPv4)

9. <▶> または  ボタンを押します。
IP アドレスが表示されます。

IP アドレス
192.0.2.1

10.  <仕様設定> ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

■ 機能設定リストを使用する

1. 機能設定リストをプリントします。



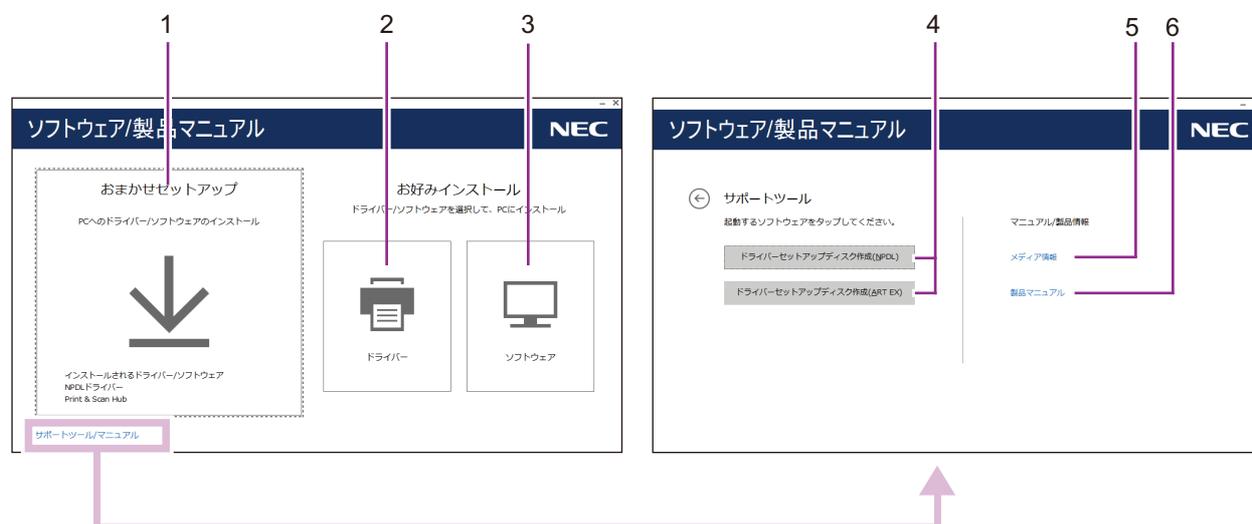
- ・ リストのプリント方法については、「10.2 レポート / リストをプリントする」(P. 258)を参照してください。

2. リストの [コミュニケーション設定] の項目内に記載されている IP アドレスを確認します。

Windows[®] 用のソフトウェアをインストールする

「ソフトウェア / 製品マニュアル」 ディスクを使う

付属の「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクを使って、次の機能を利用できます。



1 【おまかせセットアップ】

本機で使用できる基本的なソフトウェアを、まとめてインストールできます。インストールできるソフトウェアは次のとおりです。

- ・NPDL プリンタードライバー
- ・Print & Scan Hub

参照

- ・インストール方法については、「【おまかせセットアップ】でインストールする」(P. 31)を参照してください。
- ・Print & Scan Hubについては、「Print & Scan Hub (Windows[®])」(P. 225)を参照してください。

2 【お好みインストール】 > 【ドライバー】

必要なドライバーだけを選んでインストールできます。インストールできるドライバーは次のとおりです。

- ・NPDL プリンタードライバー
- ・ART EX プリンタードライバー
- ・PS ドライバー H3 (PostScript ソフトウェアキット (平成 3 書体) 用)
- ・MultiWriter 共通ドライバ

参照

- ・インストール方法については、「【お好みインストール】でインストールする」(P. 32)を参照してください。

補足

- ・MultiWriter 共通ドライバは、Microsoft Edge[®] などの Windows[®] ストアアプリからのプリントに最適化した Windows[®] 8.1 以降用の V4 プリンタードライバーです。Windows[®] ストアアプリからのプリント設定について、機種標準のプリンタードライバーに比べ、より多くの機能を提供します。Windows[®] ストアアプリ以外のアプリケーションからのプリントについては、機種標準ドライバーに比べて利用可能な機能が一部制限されます。

3 [お好みインストール] > [ソフトウェア]

必要なソフトウェアだけを選んでインストールできます。インストールできるソフトウェアは次のとおりです。

- ・ Print & Scan Hub
- ・ ContentsBridge Utility

参照

- ・ インストール方法については、「[お好みインストール] でインストールする」(P. 32)を参照してください。
- ・ ソフトウェアについては、「9.2 本機に付属するソフトウェアを使う」(P. 225)を参照してください。

4 [サポートツール] > [ドライバーセットアップディスク作成]

ドライバーのセットアップディスクを作成できます。複数のコンピューターに同じ設定でドライバーをインストールする場合に、作業負担を軽減できます。

補足

- ・ セットアップディスクは、ディスクを作成したコンピューターの OS と異なる OS のコンピューターでは使用できません。OS ごとにセットアップディスクを作成してください。

5 [メディア情報]

「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクの収録内容を確認できます。

6 [製品マニュアル]

ユーザーズマニュアル（本書）を表示できます。

[おまかせセットアップ] でインストールする

補足

- ・ 事前に次のどれかの手順で本機をコンピューターに接続してからインストールを開始してください。
 - 「有線 LAN で接続する」(P. 20)
 - 「USB で接続する」(P. 20)
 - 「無線 LAN で接続する」(P. 21)

1. 「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットします。

補足

- ・ 「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクが起動しない場合は、次の操作をしてください。
 1. [スタート] > [すべてのプログラム] > [アクセサリ] > [ファイル名を指定して実行] をクリックします。
Windows® 10 の場合は、スタートボタンを右クリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。
 2. 「D:¥Launcher.exe」（「D」は光学ディスクドライブの名称）を入力し、[OK] をクリックします。

2. [おまかせセットアップ] をクリックします。



3. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

[お好みインストール] でインストールする

💡 補足

- ・ 事前に次のどれかの手順で本機をコンピューターに接続してからインストールを開始してください。
 - 「有線 LAN で接続する」 (P. 20)
 - 「USB で接続する」 (P. 20)
 - 「無線 LAN で接続する」 (P. 21)

1. 「ソフトウェア / 製品マニュアル」 ディスクをコンピューターにセットします。

💡 補足

- ・ 「ソフトウェア / 製品マニュアル」 ディスクが起動しない場合は、次の操作をしてください。
 1. [スタート] > [すべてのプログラム] > [アクセサリ] > [ファイル名を指定して実行] をクリックします。
Windows® 10 の場合は、スタートボタンを右クリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。
 2. 「D:¥Launcher.exe」(「D」 は光学ディスクドライブの名称) を入力し、[OK] をクリックします。

2. [ドライバー] または [ソフトウェア] をクリックします。

[ソフトウェア] を選んだ場合は、手順 5 に進みます。



3. [使用許諾契約の条項に同意する] を選び、[次へ] をクリックします。

4. お使いの接続方法を選び、[次へ] をクリックします。

5. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

Linux 用のプリンタードライバーをインストールする

最新版の Linux 用のプリンタードライバーは、弊社公式サイトから入手できます。なお、通信費用はお客様の負担になりますので、ご了承ください。

次の URL にアクセスし、ダウンロードしてインストールしてください。

<https://jpn.nec.com/printer/laser/download/index.html>

2.3 ART EX ドライバーと NPD L ドライバーの機能の比較

ここでは、ART EX ドライバーと NPD L ドライバーの代表的な機能を比較します。

○：機能あり x：機能なし

機能	機能		ART EX プリンタードライバー	NPD L プリンタードライバー	補足
基本	製本 / ポスター / 混在原稿 / 回転	ポスター	○	x	—
		製本	○	x	—
トレイ / 排出	用紙トレイ選択	—	○	○	NPD L プリンタードライバーでは、用紙トレイ選択ではなく給紙選択と呼びます。
	トレイの用紙種類	—	○	○	—
	手差し用紙種類	—	○	○	—
	手差し用紙の給紙方向	—	○	x	NPD L プリンタードライバーでは封筒印刷等で給紙の向きが変更できません。
	排出方法	—	○	○	—
	ソートする [1 部ごと]	—	○	○	—
	サイズ混在原稿の出力設定	—	○	x	—

3 本機の基本操作

3.1 ディスプレイの表示について

本機の状態を表す「プリント画面」と、本機に関する設定をするための「メニュー画面」があります。

💡 補足

- ・ 本機に取り付けられているオプションや、設定の状態によって、表示されるメッセージは異なります。
- ・ ディスプレイに **ℹ**マークが表示されているときに **ℹ**(インフォメーション) ボタンを押すと、詳細情報が表示されます。

プリント画面

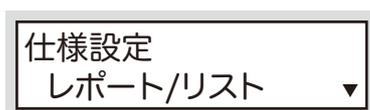
本機の状態を表示します。レディー時またはプリント中は、プリント画面に次のように表示されます。



メニュー画面

本機に関する設定をする画面です。

メニュー画面は、**ℹ**(仕様設定) ボタンを押して表示します。メニュー画面を表示すると、次のように表示されます。



📖 参照

- ・ メニュー画面で設定できる項目：「8 本体の設定を変更する」(P. 141)

NPDL モードメニュー画面

NPDL 固有の項目を設定する画面です。

NPDL モードメニュー画面を表示するには、操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押し、[プリント言語の設定] で、[NPDL] を選択します。NPDL モードメニュー画面の最初は、次の画面が表示されます。



📖 参照

- ・ メニュー画面で設定できる項目：「12 NPDL の設定」(P. 338)

3.2 節電機能について

本機には、機械の消費電力量を下げ、電力を節約する、節電機能が搭載されています。

節電機能には、低電力モードとスリープモードがあります。本機を一定時間使用しないと、低電力モードに入り、その後、設定時間が経過すると、スリープモードに移行します。

スリープモードは低電力モードより、さらに消費電力を下げますが、節電状態からの復帰時間が低電力モードより長くなります。

❗ 注記

- ・ 定着ユニットの寿命は、プリンターの通電時間等に大きく左右されます。節電モードへの移行時間を長く設定すると、プリンターの通電時間が長くなり、定着ユニットの交換時期が早くなることがあります。

💡 補足

- ・ レディー状態とは、画面に「プリントできます」と表示されている状態のことです。

節電モードを設定する

本機では、低電力モード / スリープモードに移行するかどうかを、それぞれ設定できます。

また、低電力モード / スリープモードに切り替わるまでの時間を設定できます。

💡 補足

- ・ 低電力モードとスリープモードは、どちらかのモードだけを有効にすることもできます。
- ・ 低電力モードとスリープモードを両方とも無効に設定することはできません。
- ・ 低電力モードとスリープモードの設定を変更する手順：「[低電力モード]」(P. 173)、「[スリープモード]」(P. 174)

節電モードを解除する

節電モードは、コンピューターからデータを受信すると、自動的に解除されます。

本機に IC カード読み取り装置（オプション）を接続している場合には、低電力モード時に IC カードをタッチすると、低電力モードが解除されます。スリープモードのときには解除されません。

手動で節電モードを解除するには、操作パネルの  (電源 / 節電) ボタンを押します。

節電モードに移行しない場合について

次のようなときには、本機に発生している現象をお知らせするため、また、本機の性能を発揮するために、低電力モードやスリープモードに移行しません。

- ・ 操作パネルで何らかの操作をしているとき
- ・ トナーカートリッジ、ドラムカートリッジなどの消耗品のうち、いずれか 1 つでも交換メッセージが表示されているとき
- ・ 定期交換部品の交換メッセージが表示されているとき
- ・ 紙づまり、カバーオープンなどの操作を必要としているとき
- ・ 故障などによりエラーが発生しているとき
- ・ 結露防止モードが有効に設定されているとき

3.3 用紙について

使用できる用紙



警告

- ・電気を通しやすい紙は使用しない
電気を通しやすい紙（折り紙 / カーボン紙 / 導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。

より鮮明にコピーやプリントをするためには規格に合った用紙を使用してください。弊社では次の標準紙を推奨しています。

商品名	メートル坪量	用紙種類の設定	用紙の画質処理
P 紙*	64 g/m ²	普通紙	普通紙 B

* P 紙とは FUJI XEROX P 紙のことを表します。



補足

- ・はがきは郵便はがき（日本郵便製）、封筒は洋形 4 号（ハート社 初芝）です。
- その他の用紙については、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。

再生紙の利用について

本機で利用できる再生紙は次のとおりです。

用紙名	メートル坪量	古紙パルプ配合率
G70	67 g/m ²	70%
C ^{2r}	70 g/m ²	70%

各トレイで使用できる用紙質量と枚数

■ 用紙種類

各トレイにセットできる用紙種類および最大収容枚数は、次のとおりです。



参照

- ・用紙のセットについて：「3.4 用紙をセットする」(P. 41)



補足

- ・メートル坪量とは、1 m² の用紙 1 枚の質量をいいます。

用紙トレイ	用紙種類（メートル坪量）	最大収容枚数*
手差しトレイ	普通紙（60～80 g/m ² ）、 普通紙（うら面）（60～80 g/m ² ）、 再生紙（60～80 g/m ² ）、 再生紙（うら面）（60～80 g/m ² ）、 上質紙（81～105 g/m ² ）、 上質紙（うら面）（81～105 g/m ² ）、 厚紙1（106～163 g/m ² ）、 厚紙1（うら面）（106～163 g/m ² ）、 厚紙2（164～220 g/m ² ）、 厚紙2（うら面）（164～220 g/m ² ）、 ラベル紙、 はがき（190 g/m ² ）、 はがき（うら面）（190 g/m ² ）、 封筒、 封筒（うら面）、 ユーザー1～5（60～80 g/m ² ）	10 mm まで 100 枚 💡 補足 ・ 10 枚（封筒） ・ 45 枚（郵便はがき）
用紙トレイ 1 用紙トレイ 2～4（オプション）	普通紙（60～80 g/m ² ）、 再生紙（60～80 g/m ² ）、 上質紙（81～105 g/m ² ）、 厚紙1（106～163 g/m ² ）、 厚紙2（164～220 g/m ² ）、 ラベル紙、 はがき（190 g/m ² ）、 封筒、 ユーザー1～5（60～80 g/m ² ）	用紙トレイ 1 の場合 ・ MultiWriter 8800 : 550 枚 ・ MultiWriter 8700/8600 : 250 枚 用紙トレイ 2～4（オプション） の場合 ・ トレイモジュール（550） : 550 枚 ・ トレイモジュール（250） : 250 枚

* P 紙の場合

❗ 注記

- ・ 用紙は、サイズや種類に合わせて、必ず適切なトレイにセットしてください。また、プリンタードライバーや操作パネルでは、正しい用紙サイズ、用紙種類、用紙トレイを選んでプリントしてください。用紙のセットや、設定方法が適切でないと、紙づまりの原因になります。
- ・ 水、雨、蒸気などの水分により、プリント面の画像がはがれることがあります。詳しくはお買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。
- ・ NPD L プリンタードライバーから印刷する場合は、A3、A4、A5、B4、B5、8.5x11"、郵便はがき、往復はがき、洋形 4 号 以外の用紙サイズは定形外サイズとして扱われます。
なお、はがきは日本郵便製、封筒は洋形 4 号。

■ 使用できる用紙の規格

一般に使用されている用紙（一般紙と呼びます）にプリントをする場合は、規格に合った用紙を使用してください。

用紙トレイ	規格（メートル坪量）
手差しトレイ	60～220 g/m ²
用紙トレイ 1	60～220 g/m ²
用紙トレイ 2～4（オプション）	60～220 g/m ²

使用できない用紙

次のような用紙は、使用しないでください。紙づまりや故障、画質への影響、および装置破損の原因になります。

- ・厚すぎる用紙、薄すぎる用紙（坪量が 59 g/m² 以下または 221 g/m² 以上）
- ・白い枠付きの OHP フィルム
- ・フォトペーパー、コート紙
- ・トレーシングペーパー
- ・電飾フィルム
- ・インクジェット用紙（専用紙、OHP フィルム、はがき）
- ・静電気で密着している用紙
- ・貼り合わせた用紙、糊付けされた用紙
- ・紙の表面が特殊コーティングされた用紙
- ・表面加工したカラー用紙
- ・感熱紙 / 熱転写用紙
- ・感光紙
- ・カーボン紙、またはノンカーボン紙
- ・ざら紙や繊維質の用紙など、表面がなめらかでない用紙
- ・凹凸や止め金、窓、剥離紙付きの糊のある封筒。中身が封入された封筒、またはクッション入りの封筒
- ・タックフィルム
- ・水転写紙
- ・布地転写用紙
- ・ミシン目のある用紙
- ・レザック紙（凹凸処理、エンボス処理を施した用紙）
- ・折り紙やカーボン含有紙などの導電性をもつ用紙
- ・しわや折れ、破れのある用紙
- ・湿っている用紙、ぬれている用紙
- ・波打っている用紙、反っている（カールしている）用紙
- ・ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いた用紙
- ・一度プリント後（一部のラベルを剥がした後）のラベル紙
- ・本機以外のプリンターやコピー機で、一度印刷された用紙
- ・ベタの裏紙（裏面全体に印刷されている用紙）
- ・台紙全体がラベルなどで覆われてないラベル紙、ラベルがはがれかかっているラベル紙、糊がしみ出しているラベル紙
- ・長期間放置した用紙
- ・裏写り防止用の白粉（マイクロパウダー）が塗布された用紙
- ・穴があいている用紙
- ・大量のタルク成分を含んだ用紙

用紙の保管と取り扱い

■ 用紙の保管

- ・用紙は、キャビネットの中や湿気の少ない場所に保管してください。用紙が湿気を含むと、紙づまりや画質不良の原因となります。
- ・開封後、用紙の残りは包装紙に包んで保管してください。
- ・用紙は、折れ曲がりを防ぐために、立てかけずに水平に保管してください。
- ・直射日光を避けて保管してください。

■ 用紙の取り扱い

- ・用紙の束は、きちんとそろえてからセットしてください。
- ・サイズの異なる用紙を重ねてセットしないでください。
- ・ラベル用紙は紙づまりを起こしたり複数枚が同時に送られたりすることがあるので、よくさばいてからご使用ください。

3.4 用紙をセットする

💡 補足

- ・ プリント中に用紙がなくなると、操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージに従って、用紙を補給してください。用紙を補給すると自動的にプリントが再開されます。

手差しトレイに用紙をセットする

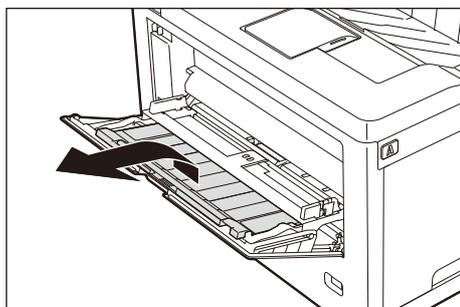
⚠ 注記

- ・ 電源を入れた状態で用紙をセットしてください。
- ・ 種類が異なる用紙を同時にセットしないでください。
- ・ プリント中は、用紙を取り除いたり、追加したりしないでください。紙づまりの原因になります。
- ・ 手差しトレイには、用紙以外のものを置かないでください。また、無理な力を加えて、手差しトレイを押し下げないでください。

1. 手差しトレイを、手前に引いて開けます。

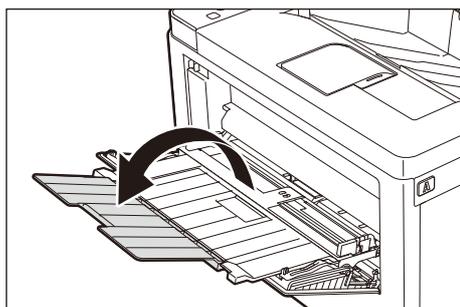


2. トレイを浮かせて、引き出します。



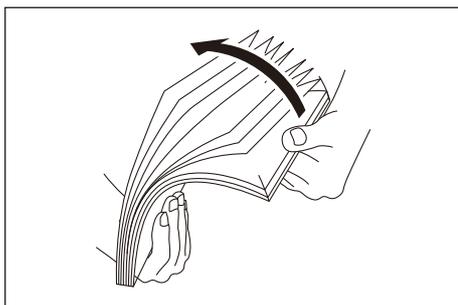
💡 補足

- ・ 必要に応じて、延長トレイを開きます。延長トレイを開くときは、ゆっくりと開いてください。

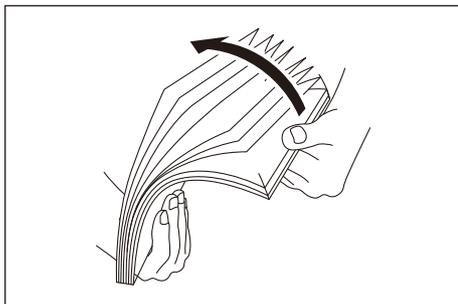


3. 用紙をセットする前に、用紙をよくさばきます。平らな面で用紙の四辺を整えます。

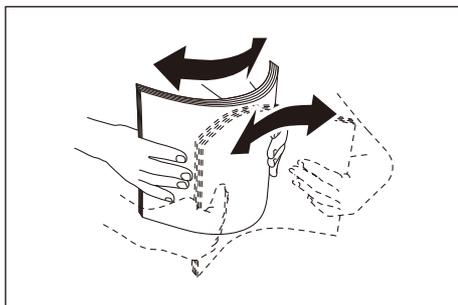
1. 用紙の一方を持ち、図のようにさばきます。



2. 用紙の上下を逆にして、同様にさばきます。

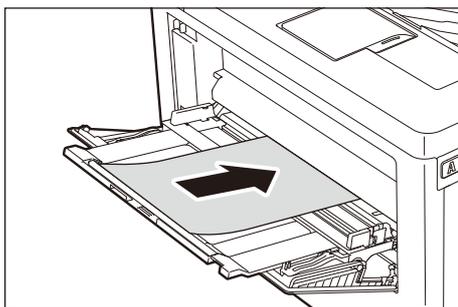


3. 用紙をほぐします。



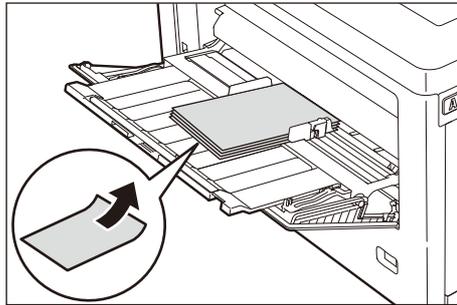
4. 上記の手順を数回繰り返します。

4. プリントする面を上にして、用紙をセットします。



注記

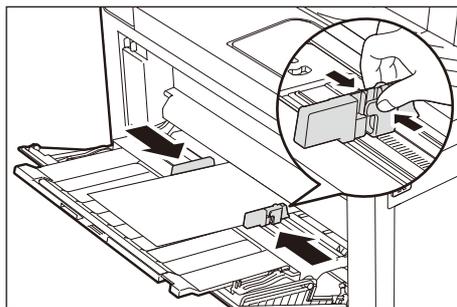
- ・種類やサイズが異なる用紙を一緒にセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- ・はがきなどの厚い紙にプリントする場合で、用紙が機械に送られないときは、用紙の先端を次のようにカールさせてからセットしてください。ただし、用紙を曲げすぎたり、折り目をつけてしまうと、紙づまりの原因となります。



補足

- ・はがき、封筒、ラベル、長尺サイズ用紙をセットする場合は、各用紙によってセット方法が異なります。「手差しトレイにはがきや封筒をセットする場合の向き」(P. 44)、「5.4 定形外サイズ用紙にプリントする」(P. 93)を参照してください。

5. 用紙ガイドをつまみながら、用紙サイズに合った位置まで移動します。



注記

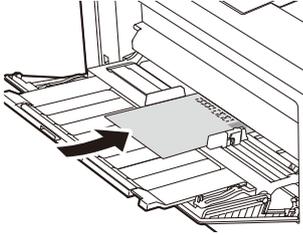
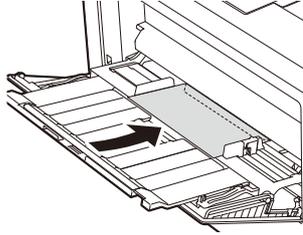
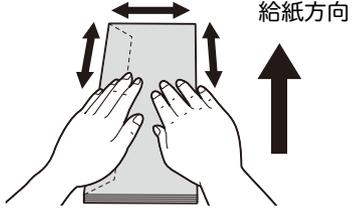
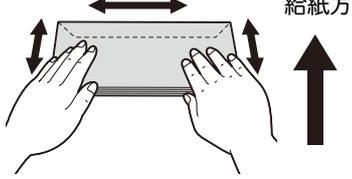
- ・用紙ガイドは、軽く当ててください。用紙に対して、用紙ガイドのセット幅が狭すぎたり、ゆるかたると紙づまりの原因になります。
- ・用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になることがあります。

補足

- ・手差しトレイの用紙にプリントする場合は、プリント時にプリンタードライバーで、セットした用紙のサイズと種類を設定します。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- ・プリンタードライバーを使用しないでプリントするときは、操作パネルで用紙種類と用紙サイズを設定します。詳しくは、「[トレイの用紙種類]」(P.193)および「[トレイの用紙サイズ設定]」(P.197)を参照してください。

手差しトレイにはがきや封筒をセットする場合の向き

手差しトレイに、はがきや封筒をセットする場合は、セットする用紙の向きに注意してください。はがき、封筒の詳しいプリント方法は、NPDLプリンタードライバーの場合は「はがき / 封筒にプリントする」(P. 65)を、ART EXプリンタードライバーの場合は「はがき / 封筒にプリントする」(P. 90)を参照してください。

はがきの場合	封筒の場合
<p>例) 郵便はがき</p> 	<p>例) 封筒洋長形 3号</p> 
<p>プリント面を上にして、本機と向かい合ったときにはがきの上部が奥側になるようにセットします。</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> 多色刷りのはがき、インクジェット用のはがきは使用できません。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> NPDL プリンタードライバーの場合、使用できるはがきは郵便はがきのみとなります。 	<ul style="list-style-type: none"> 糊付きの封筒 フラップを閉じて、プリント面を上にして、封筒の上部を奥側にセットします。 糊なしの封筒 フラップを閉じてプリントする場合は、プリント面を上にして、封筒の上部を奥側にセットします。フラップを開いてプリントする場合は、プリント面を上にして、封筒の下部（フラップではない方）を奥側にセットします。 <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> 封筒を使用する場合、紙しわなどが発生することがあります。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> 開封したての新しい封筒を使用してください。封筒をパッケージから取り出してすぐにセットしない場合は、封筒が反って（カールして）しまう可能性があります。紙づまりを防止するため、セットする際には、次のように封筒全体をしっかり押さえて平らにしてください。 <p>縦向きにセットする場合</p>  <p>横向きにセットする場合</p>  <ul style="list-style-type: none"> 異なるサイズの封筒を同時にセットしないでください。

本機で使用できる定形サイズの封筒は、次のとおりです。

- ・NPD L プリンタードライバーの場合
 - 封筒洋形 4 号 (235x105 mm)

補足

- ・封筒洋形 4 号以外の封筒サイズは定型外サイズとして扱われます。封筒洋形 4 号以外の封筒サイズを使用する場合は、プリンタードライバーのユーザー定義サイズに登録してください。詳しくは、「4.4 定形外サイズ用の紙にプリントする」(P. 67) を参照してください。
 - ・プリンタードライバーで封筒洋形 4 号を指定すると、自動的に次の設定が変更されます。
 - [給紙選択] : [手差し (トレイ 5)]
 - [手差し用紙種類] : [封筒]
 - ・ユーザー定義サイズには、フラップ (ふた) が開いている封筒の場合、フラップの部分を含めたサイズに登録してください。
- ・ART EX プリンタードライバーの場合
 - 封筒角形 2 号 (240x332 mm)
 - 封筒角形 3 号 (216x277 mm)
 - 封筒角形 6 号 (C5) (162x229 mm)
 - 封筒洋長形 3 号 (120x235 mm)
 - 封筒長形 3 号 (120x235 mm)
 - 封筒長形 4 号 (90x205 mm)
 - 封筒洋形 2 号 (162x114 mm)
 - 封筒洋形 3 号 (98x148 mm)
 - 封筒洋形 4 号 (235x105 mm)

補足

- ・上記以外の封筒を使用する場合は、封筒サイズをプリンタードライバーのユーザー定義サイズに登録してください。詳しくは「定形外サイズを登録する」(P. 93) を参照してください。
- ・プリンタードライバーで封筒洋長形 3 号、封筒洋形 2 号、封筒洋形 3 号、または封筒洋形 4 号を指定すると、自動的に次の設定が変更されます。
 - [手差し用紙種類] : [封筒]
 - [用紙トレイ選択] : [トレイ 5 (手差し)]
- ・フラップを開いたまま給紙する場合は、ユーザー定義サイズで、フラップ部分を含めて用紙長を登録してください。

注記

- きれいにプリントするためには、次のような封筒は使用しないでください。
- ・カールやよじれがある封筒
 - ・貼り付いている封筒、破損している封筒
 - ・窓、穴、ミシン目、切り抜き、エンボスがある封筒
 - ・ひもや金属製の留め金が付いている封筒や、折り曲げ部分に金属片を使用している封筒
 - ・切手が貼ってある封筒
 - ・フラップを閉じたときに糊がはみ出している封筒
 - ・ふちがギザギザな封筒や、隅が折れている封筒
 - ・表面にしわや凹凸、貼り合わせなどの加工をしてある封筒
 - ・フラップが開いたままの、糊付き封筒
 - ・封筒のフラップを折らないときは、次の設定でプリントしてください。
 - NPD L プリンタードライバーの場合は印刷設定の [原稿の向き] > [原稿 180° 回転] のチェックボックスにチェックを入れる。
 - ART EX プリンタードライバーの場合は印刷設定の [製本 / ポスター / 混在原稿 / 回転] > [原稿 180° 回転] で [たてよこ原稿 (封筒など)] を選ぶ
 - フラップ部が用紙の長さに含まれるので、用紙サイズを定形外サイズに設定する

参照

- ・定形外のサイズの封筒を使用する場合は、NPD L プリンタードライバーの手順は「4.4 定形外サイズの用紙にプリントする」(P. 67)、ART EX プリンタードライバーの手順は「5.4 定形外サイズの用紙にプリントする」(P. 93) を参照してください。

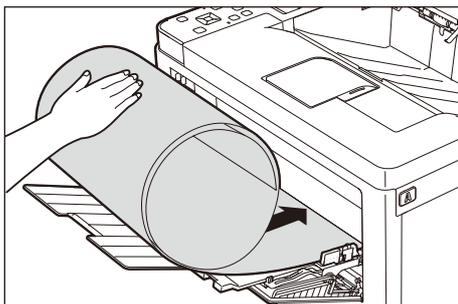
長尺サイズ用の紙をセットする

長尺サイズの用紙は手差しトレイにセットします。

💡 補足

- ・ 長尺サイズの用紙の場合、印字面に指紋跡がつく可能性があります。用紙をセットするときは、プリント面に指紋がつかないように注意してください。
- ・ 長尺サイズ以外の定形外サイズの用紙をセットする場合は、「3.4 用紙をセットする」(P. 41) を参照してください。
- ・ プリンタードライバーで設定できる用紙の定形サイズは、次のとおりです。
 - NPD L : 長尺紙 (297x900mm)
 - ART EX : 長尺紙 (210x900mm)、長尺紙 A (297x900mm)、長尺紙 B (297x1200mm)

1. 長尺サイズの用紙のプリントする面を上にして、図のように後端をまるめて、手差しトレイにセットします。



💡 補足

- ・ 長尺サイズ用紙の後端は、用紙の差し込み口からできるだけ離れた位置で、まるめてください。差し込み口に近いと、まるめた用紙の後端が引き込まれるなど、用紙が折れたりしわの原因になることがあります。
- ・ 用紙の先端は、手差しトレイの差し込み口にしっかり挿入してください。用紙の先端が正しく差し込まれないと紙づまりの原因になります。
- ・ 用紙は、1 枚ずつセットしてください。

2. 用紙ガイドを、長尺の用紙のサイズに合わせます。
長尺サイズの用紙は長いので、排出された用紙が床に落ちないように、必ず 1 枚ずつ取り除いてください。

用紙トレイ 1 とトレイモジュール (用紙トレイ 2 ~ 4) (オプション) に用紙をセットする

本機では、B4、A3、11x17" など、用紙の縦が A4 (297 mm) よりも長い用紙をトレイにセットする場合は、用紙トレイを引き伸ばします。

また、A5 や B5 などの用紙をセットする場合、A4 や 8.5x11" などの用紙をよこ置きでセットする場合は、トレイが伸びているとセットできないため、トレイを伸ばしているときはトレイの長さを元に戻します。

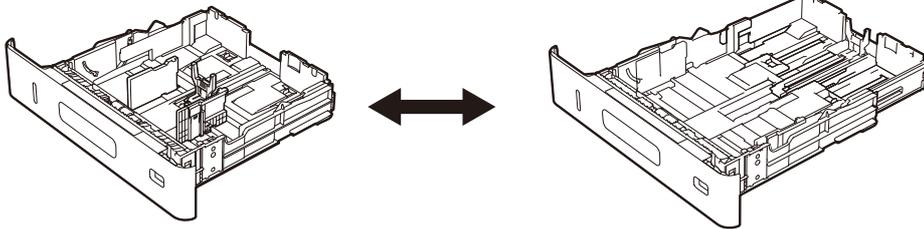
トレイを引き伸ばしたり縮めたりする方法は、次の手順 3 ~ 4 で説明しています。トレイの長さを変更する必要がない場合は、手順 3 ~ 4 は不要です。

補足

- ・トレイを引き伸ばすと、本体の奥行きよりもトレイの長さが長くなるため、トレイが背面から突き出した状態になります。

通常用の紙トレイの状態

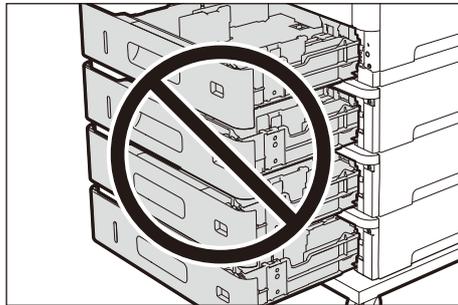
用紙トレイを引き伸ばした状態



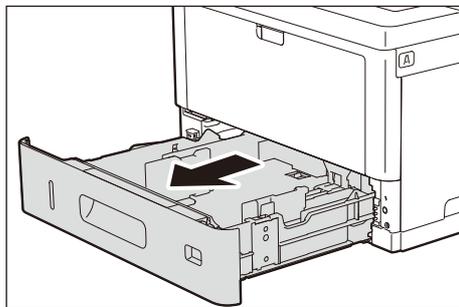
ここでは、用紙トレイ 1 に用紙をセットする例で説明します。

注記

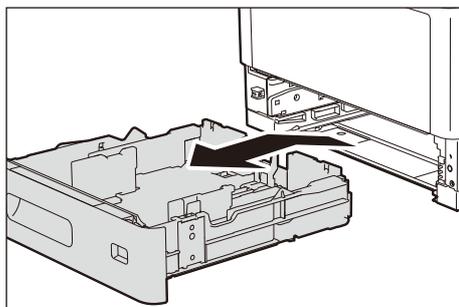
- ・複数の用紙トレイを同時に引き出すと、機器全体が傾き、転倒などによりケガの原因となる恐れがあります。用紙トレイを引き出す場合は、必ず一段ずつ引き出してください。



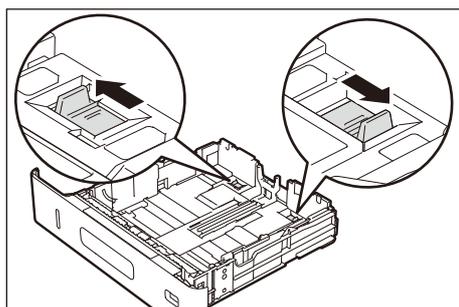
1. 用紙トレイを引き出します。



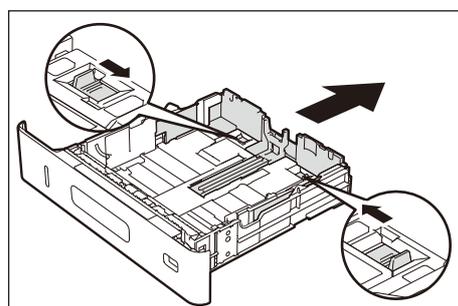
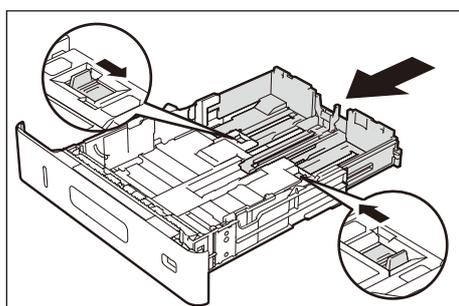
2. トレイの両側を両手で支え、トレイの正面を少し上げて引き抜きます。



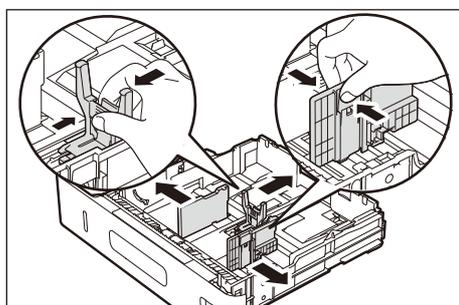
3. トレイの長さを変更する必要がない場合は手順5に進みます。
トレイの長さを変更する場合は、トレイの左右の突起部を外側に動かしてロックを解除します。



4. 用紙に合わせてトレイの長さを調節します。
トレイの長さを変更する場合は、手順3で解除したロックが自動的にかかるまで、引き伸ばす、または縮めます。

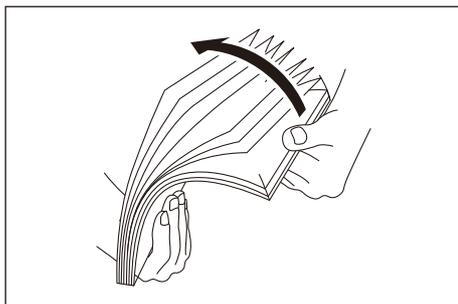


5. 2箇所の用紙ガイドをつまみながら、それぞれ用紙サイズに合った位置まで移動します。

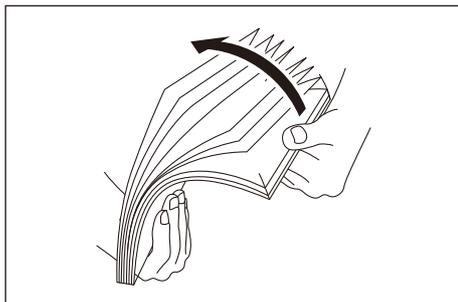


6. 用紙をセットする前に、用紙をよくさばきます。平らな面で用紙の四辺を整えます。

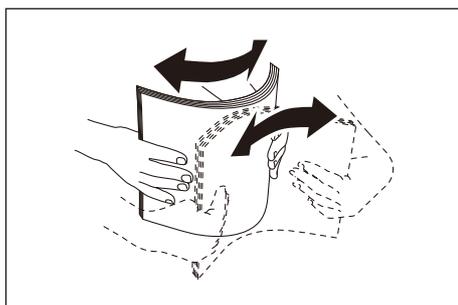
1. 用紙の一方を持ち、図のようにさばきます。



2. 用紙の上下を逆にして、同様にさばきます。

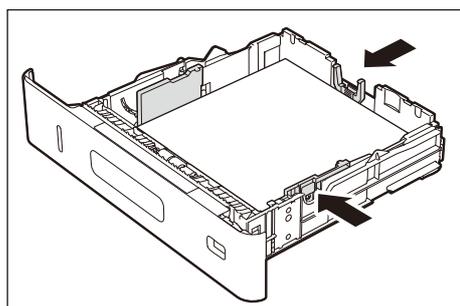


3. 用紙をほぐします。



4. 上記の手順を数回繰り返します。

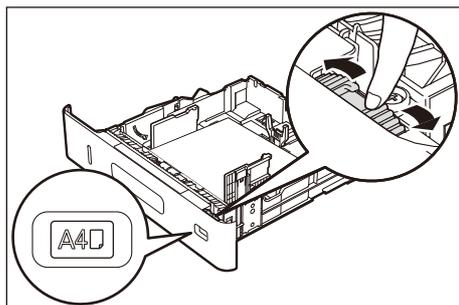
7. プリントする面を下にして、用紙の先端を手前側にそろえてセットします。



注記

- ・種類が異なる用紙を一緒にセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- ・用紙上限線（「MAX」の位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になることがあります。
- ・トレイの空きスペースには、用紙や物を置かないでください。紙づまりや故障の原因になります。

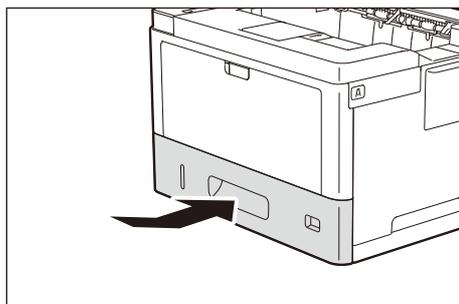
8. セットした用紙に合わせて、用紙サイズ設定ダイヤルを回します。



! 注記

- ・用紙サイズ設定ダイヤルは、必ずセットした用紙のサイズと同じ用紙サイズに合わせてください。異なる用紙サイズに合わせると、用紙サイズを正しく認識できません。
- ・用紙サイズ設定ダイヤルにない定形サイズを使用するときは、用紙サイズ設定ダイヤルを「*」に合わせ、「[ダイヤルスイッチ設定]」(P. 202) で用紙サイズを設定してください。
- ・定形外サイズを使用するときは、用紙サイズ設定ダイヤルを「*」に合わせ、「[トレイの用紙サイズ設定]」(P. 197) で [定形外] を設定してください。

9. 奥に突き当たるところまで、トレイをゆっくりと押し込みます。



! 注記

- ・トレイを押し込むときは、ゆっくりと押し込んでください。トレイを勢いよく押し込むと、故障の原因になります。

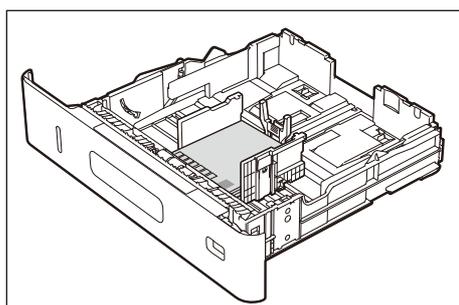
💡 補足

- ・用紙トレイを伸ばした場合は、延長部分が本機の背面から突き出ます。

用紙トレイ 1 とトレイモジュール (用紙トレイ 2 ~ 4) (オプション) にはがきや封筒をセットする場合の向き

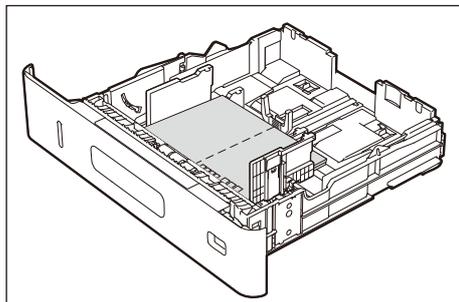
■ はがき

はがきをよくさばいてから、プリント面を下にしてはがきの上部が手前側になるようにセットします。



■ 往復はがき

往復はがきをよくさばいてから、プリント面を下にして往復はがきの上部が手前側になるようにセットします。



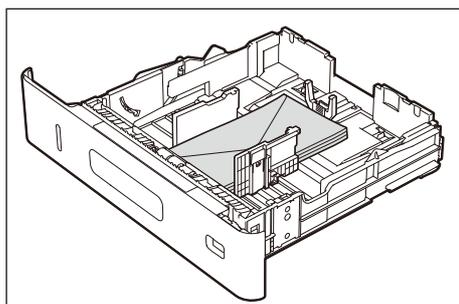
! 注記

- ・ はがきや往復はがきの両面にプリントするときは、片面にプリントしたあと、はがきや往復はがきの端にできた反りを平らにならしてから、うら面をセットします。反りを直さずにセットすると、はがきや往復はがきが正しく給紙されない場合があります。



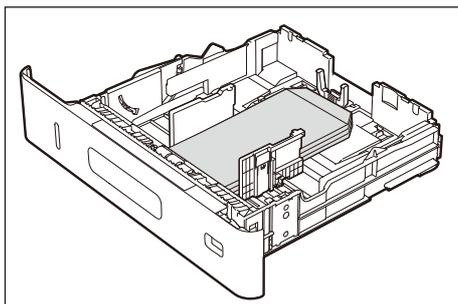
■ 洋形または洋長形の封筒

プリント面を下にして、封筒のフラップを閉じ、フラップが用紙トレイの左側を向くようにセットします。

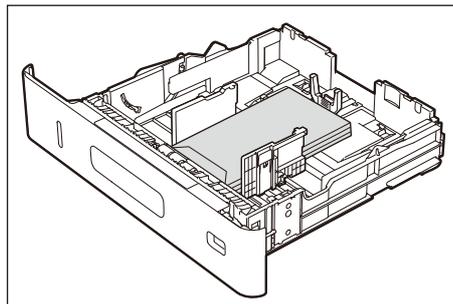


■ 長形または角形の封筒

プリント面を下にして、封筒をセットします。



糊なし封筒の場合



糊あり封筒の場合

用紙トレイ 1～4 の用紙サイズ / 種類の変更について

用紙トレイ 1～4 に用紙をセットした場合は、用紙のサイズと向きを、用紙サイズ設定ダイヤルで設定します。

定形外サイズの用紙をセットした場合は、操作パネルで用紙サイズを設定します。

また、用紙の種類の設定も必要です。用紙の種類の設定がトレイにセットされている用紙と合っていないと、トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたり、印字品質が低下したりすることがあります。正しく用紙の種類を設定してください。工場出荷時の設定では、各トレイとも普通紙に設定されています。

参照

- ・「トレイの用紙サイズを設定する」(P. 52)
- ・「トレイの用紙種類を変更する」(P. 54)

補足

- ・本機は、設定された用紙の種類に応じて、画質の処理をします。名刺用紙などの特殊な厚紙を使用する場合は、さらに、操作パネルで「用紙の画質処理」の設定が必要なことがあります。画質については、「[用紙の画質処理]」(P. 198)を、設定方法については「用紙別の画質処理を設定する」(P. 55)を参照してください。
- ・用紙の種類は、プリント時にプリンタードライバーで変更することもできます。NPDLの手順については「4.5 さまざまな種類の用紙にプリントする」(P. 70)を、ART EXの手順については「5.5 さまざまな種類の用紙にプリントする」(P. 97)を参照してください。

トレイの用紙サイズを設定する

ここでは、操作パネルで用紙トレイ 1 の用紙サイズを定形外サイズに設定する方法を例に説明します。

1. 操作パネルの  〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート/リスト

2. 「機械管理者メニュー」が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

4. [プリント設定] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。
- 機械管理者メニュー
プリント設定
5. 〈▶〉 または ボタンを押します。
[用紙の置き換え] が表示されます。
- プリント設定
用紙の置き換え
6. [トレイの用紙サイズ設定] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。
- プリント設定
トレイの用紙サイズ設定
7. 〈▶〉 または ボタンを押します。
[トレイ 1] が表示されます。
- トレイの用紙サイズ設定
トレイ 1
8. 設定したいトレイが表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押したあと、〈▶〉 または ボタンを押します。
現在の設定値が表示されます。
- トレイ 1
•自動
9. [定形外] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。
- トレイ 1
定形外
-  **補足**
・ 定形外サイズから定形サイズの用紙に変更した場合は、
[自動] を選んでください。
10. ボタンを押します。
[たて (Y) 方向のサイズ] が表示されます。
- トレイ 1 の定形外
たて (Y) 方向のサイズ
11. 〈▶〉 または ボタンを押します。
現在の設定値が表示されます。
- たて (Y) 方向のサイズ
• 140mm
12. 〈▲〉 〈▼〉 ボタンで、たて方向のサイズを入力し、 ボタンを押します。
(例：297 mm)
- たて (Y) 方向のサイズ
• 297mm
13. 〈◀〉 または ボタンで、[たて (Y) 方向のサイズ] に戻ります。
- トレイ 1 の定形外
たて (Y) 方向のサイズ
14. 〈▼〉 ボタンを押します。
[よこ (X) 方向のサイズ] が表示されます。
- トレイ 1 の定形外
よこ (X) 方向のサイズ

15. <▶> または **OK** ボタンを押します。
現在の設定値が表示されます。

よこ (X) 方向のサイズ
• 182mm

16. <▲> <▼> ボタンで、よこ方向のサイズを入力し、**OK** ボタンを押します。
(例：297 mm)

よこ (X) 方向のサイズ
• 297mm

17. ほかのトレイも設定する場合は、<◀> または **戻る** ボタンを押して手順 8 に戻り、同様に設定します。
設定を終了する場合は、**i** <仕様設定> ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

トレイの用紙種類を変更する

用紙の種類の設定が、トレイにセットされている用紙と合っていないと、トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたり、印字品質が低下したりすることがあります。

注記

- 設定した用紙種類で、トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたりするなどの現象が発生する場合は、別の用紙種類の設定に変更して、プリントしてみてください。たとえば、普通紙を設定していた場合は上質紙や再生紙に設定を変更してプリントしてみてください。

参照

- 各用紙に適した設定値については、「使用できない用紙」(P. 39) を参考にしてください。

1. 操作パネルの **i** <仕様設定> ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート/リスト

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. <▶> または **OK** ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

4. [プリント設定] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

機械管理者メニュー
プリント設定

5. <▶> または **OK** ボタンを押します。
[用紙の置き換え] が表示されます。

プリント設定
用紙の置き換え

6. [トレイの用紙種類] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

プリント設定
トレイの用紙種類

7. <▶> または **OK** ボタンを押します。
[トレイ 1] が表示されます。

トレイの用紙種類
トレイ 1

8. 設定したいトレイが表示されるまで <▼> ボタンを押したあと、<▶> または **OK** ボタンを押します。
現在の設定値が表示されます。

トレイ 1
•普通紙

9. 設定したい用紙種類が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。
(例：再生紙)

トレイ 1
再生紙

10. **OK** ボタンを押します。

トレイ 1
•再生紙

11. ほかのトレイも設定する場合は、<◀> または **戻る** ボタンを押して手順 8 に戻り、同様に設定します。
設定を終了する場合は、**仕様設定** ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

用紙別の画質処理を設定する

本機は、設定された用紙の種類に応じて画質の処理をします。使用する用紙によって、印字品質や画質などのトラブルが頻繁に発生する場合は、次の手順で画質の処理方法を変更してください。

1. 操作パネルの **仕様設定** ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート/リスト

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで <▼> ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. <▶> または **OK** ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

4. [プリント設定] が表示されるまで <▼> ボタンを押します。

機械管理者メニュー
プリント設定

5. <▶> または **OK** ボタンを押します。
[用紙の置き換え] が表示されます。

プリント設定
用紙の置き換え

6. [用紙の画質処理] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

プリント設定
用紙の画質処理

7. 〈▶〉 または OK ボタンを押します。
[普通紙] が表示されます。

用紙の画質処理
普通紙

8. 設定したい用紙種類が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押したあと、〈▶〉 または OK ボタンを押します。
現在の設定値が表示されます。

普通紙
• B

9. 設定したい画質が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。
(例：A)

普通紙
A

10. OK ボタンを押します。

普通紙
• A

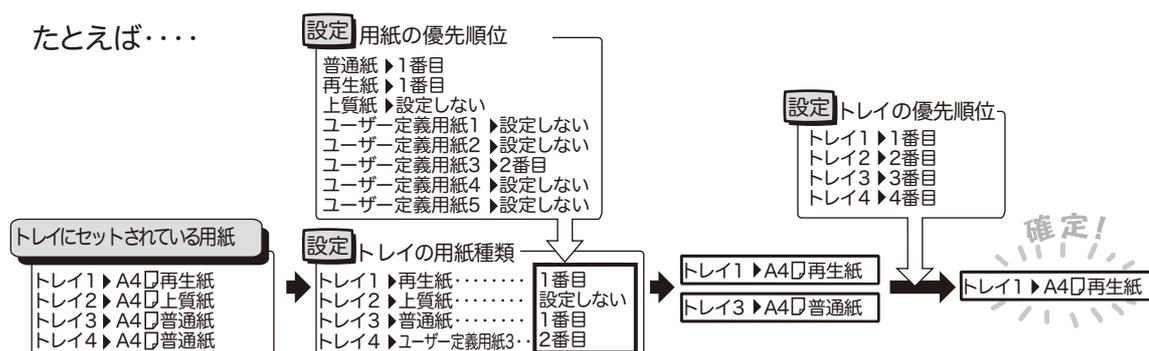
11. ほかの用紙も設定する場合は、〈◀〉 または ボタンを押して手順 8 に戻り、同様に設定します。
設定を終了する場合は、 〈仕様設定〉 ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

自動トレイ選択について

プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで、NPDL の場合は [給紙 / 排出] タブ、ART-EX の場合は [給紙トレイ / 排出] タブの [用紙トレイ選択] を [自動] にしてプリントを指示すると、本機はプリントする原稿のサイズと向き、用紙種類から、該当するトレイを選びます。これを、自動トレイ選択と呼びます。

NPDL プリンタードライバーを使用している場合は、NPDL プリンタードライバーの設定に従って該当する給紙先より用紙を給紙します。

また、ART-EX プリンタードライバーを使用し、自動トレイ選択で該当するトレイが複数ある場合は、操作パネルの [トレイの用紙種類] に設定されている値を [用紙の優先順位] にあてはめ、優先順位が高いトレイを選びます。このとき、[用紙の優先順位] が [設定しない] になっている用紙をセットしているトレイは、自動トレイ選択の対象にはなりません。また、[用紙の優先順位] がまったく同じ場合は、[トレイの優先順位] で決定されます。



💡 補足

- ・手差しトレイは、工場出荷時は [自動トレイ切替対象外] に設定されています。自動トレイ選択の対象にする場合には、「手差しトレイを自動トレイ選択の対象に設定する」(P. 58)を参照してください。
- ・手差しトレイを自動トレイ選択の対象にした場合、手差しトレイにはもっとも低い優先度だけが設定できます。手差しトレイを自動トレイ選択の対象として最優先したい場合は、「[手差し優先]」(P. 196)を参照してください。
- ・[トレイの優先順位] で [自動トレイ切替対象外] に設定しているトレイは、自動トレイ選択の対象外です。
- ・自動トレイ選択で該当するトレイがなかったときには、用紙補給を促すメッセージが表示されます。このメッセージを表示しないで、原稿サイズに近いサイズの用紙か、大きい用紙にプリントするように設定することもできます (用紙の置き換え機能)。[用紙置き換え機能] は NPDL プリンタードライバーにはありません。
- ・プリント中に用紙がなくなったときは、プリントしていた用紙と同じサイズで同じ向きの用紙が入ったトレイを選んで、プリントを続けます (自動トレイ切り替え機能)。このとき、[用紙の優先順位] を [設定しない] に設定している種類の用紙が入ったトレイには、切り替えません。
- ・同じ種類の用紙でも、用紙に名前を付けて、ユーザー定義用紙として設定することもできます。たとえば、青色の普通紙をセットしている場合に、「ツウシ Blue」といった名前を付けると、ほかの普通紙と区別できます。

📖 参照

- ・「[プリント設定]」(P. 192)

手差しトレイを自動トレイ選択の対象に設定する

ここでは、操作パネルで手差しトレイを自動トレイ選択の対象に設定する方法を説明します。手差しトレイに優先順位、用紙サイズを設定することで、自動トレイ選択の対象に設定することができます。

参照

・「自動トレイ選択について」(P. 57)

1. 操作パネルの  〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート/リスト

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

4. [プリント設定] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

機械管理者メニュー
プリント設定

5. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[用紙の置き換え] が表示されます。

プリント設定
用紙の置き換え

6. [トレイの優先順位] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

プリント設定
トレイの優先順位

7. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[トレイ 1] が表示されます。

トレイの優先順位
トレイ 1

8. [手差しトレイ] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

トレイの優先順位
手差しトレイ

9. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[自動トレイ切替対象外] が表示されます。

手差しトレイ
•自動トレイ切替対象外

10. <▼> ボタンを押したあと、OK ボタンを押します
これで、手差しトレイに優先順位が設定されます。

手差しトレイ
• 5 番目

 補足

- ・手差しトレイには、もっとも低い優先度だけが設定できます。手差しトレイを自動トレイ選択の対象として最優先したい場合は、「[手差し優先]」(P.196)を参照してください。

11. [プリント設定]メニューが表示されるまで、<◀> ボタンを押します。

プリント設定
トレイの優先順位

12. [トレイの用紙サイズ設定]が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

プリント設定
トレイの用紙サイズ設定

13. <▶> または OK ボタンで選びます。
[トレイ 1] が表示されます。

トレイの用紙サイズ設定
トレイ 1

14. [手差しトレイ]が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

トレイの用紙サイズ設定
手差しトレイ

15. <▶> または OK ボタンで選びます。
現在の設定値が表示されます。

手差しトレイ
• A4

16. 設定したいサイズが表示されるまで、<▼> ボタンを押します。
(例：A5)

手差しトレイ
A5

17. OK ボタンで決定します。

手差しトレイ
• A5

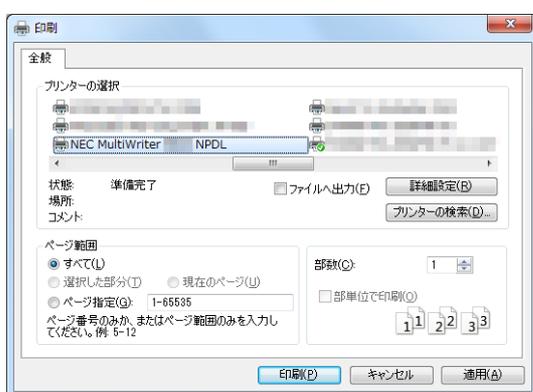
18. 設定を終了する場合は、i <仕様設定> ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

4 プリント（NPDL プリンタードライバースの場合）

4.1 コンピューターからプリントする

Windows® のアプリケーションからプリントするための基本的な流れは、次のとおりです。ここでは、Windows® 7 のワードパッドを例に説明します。

1. アプリケーションの [ファイル] メニューから、[印刷] を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、プロパティダイアログボックスを表示します。この例では、[詳細設定] をクリックすると、プロパティダイアログボックスが表示されます。



3. 各タブを切り替えてプリント機能を設定し、[OK] をクリックします。

📖 参照

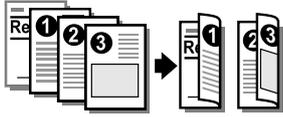
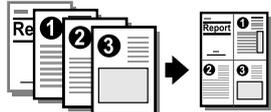
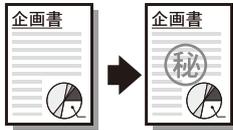
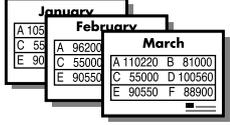
- ・各機能の詳細は、プリンタードライバースのヘルプを参照してください。[ヘルプ] をクリックすると、[ヘルプ] ウィンドウが表示されます。



4. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、プリントを実行します。

プロパティダイアログボックスで設定できる便利なプリント機能

各タブで設定できる機能の一部を紹介します。各機能の詳細については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

タブ	機能	
基本	<ul style="list-style-type: none"> 両面 用紙の両面にプリントできます。  <p>💡 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> NPDL プリンタードライバーでは、印刷開始ページを指定できます。 	<ul style="list-style-type: none"> まとめて1枚 (N アップ) 1枚の用紙に、複数のページを割り付けてプリントします。 
	<ul style="list-style-type: none"> お気に入り よく使う印刷設定が登録されています。リストから項目を選ぶだけで、複数の設定が一度にできます。設定内容の編集や、あらたに登録することもできます。 	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティープリント あらかじめ、プリントデータを本機に送っておいて、操作パネルからプリントを指示します。 (オプションの機能拡張キット (ハードディスク) が必要です。)
	<ul style="list-style-type: none"> サンプルプリント 複数部数をプリントする場合、1部だけサンプルをプリントします。プリント結果を確認したあと、残りの部数を操作パネルからプリントします。 (オプションの機能拡張キット (ハードディスク) が必要です。) 	
グラフィックス	<ul style="list-style-type: none"> 写真や図 / 表 / グラフ、文字など、印刷する原稿の内容に合わせて画質を調整できます。 	
給紙 / 排出	<ul style="list-style-type: none"> 〔給紙選択〕を〔自動〕にすると、NPDL パネル設定モードで用紙トレイを選択できます。 <p>🔧 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 「〈トレイ〉ボタン」(P. 340) 	<ul style="list-style-type: none"> 表紙付け 表紙だけ、色紙や厚紙を使ってプリントできます。 <p>💡 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ページ単位で指定できます。
スタンプ / フォーム	<ul style="list-style-type: none"> スタンプ プリントデータに「社外秘」などの特定の文字を重ね合わせてプリントします。 	<ul style="list-style-type: none"> フォーム 使用頻度の高いプリントフォームは、フォーム機能を利用するとデータ転送の時間が短縮できます。 
詳細設定	<ul style="list-style-type: none"> 白紙節約 白紙のページは印刷しないように設定できます。用紙を節約できます。 <p>🔧 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> プリンタードライバーのヘルプ 	

🚫 注記

- ポスターや製本印刷をする場合は、ART EX プリンタードライバーをお使いください。ただし、アプリケーション等で個別の指定がない場合は、標準プリンタードライバー (NPDL) をお使いください

 **補足**

- ・ プリント機能は、[デバイスとプリンター] (OSによっては [プリンタ] または [プリンタと FAX]) ウィンドウのプリンターアイコンから、プロパティダイアログボックスを表示して設定することもできます。
ここで設定した内容は、アプリケーションからプロパティダイアログボックスを表示したときの初期値になります。

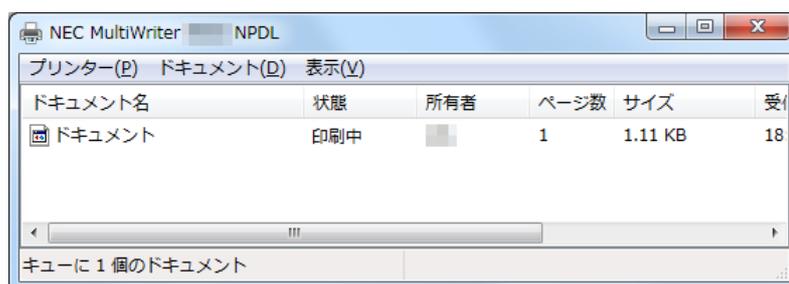
4.2 プリントを中止する / 確認する

プリントを中止する

プリントを中止するには、コンピューターでプリントの指示を取り消す方法と本機でプリントの指示を取り消す方法があります。

コンピューターで処理中のデータのプリントを中止する

1. 画面右下のタスクバー上のプリンターアイコンをダブルクリックします。
2. 中止するドキュメント名を選び、削除 (<Delete> キーを押す) します。



💡 補足

- ・ ウィンドウ内に中止するドキュメントがなかった場合は、本機でプリントを中止してください。
- ・ CentreWare Internet Services の [ジョブ] タブで、プリントを中止することもできます。操作方法については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

📖 参照

- ・ 「CentreWare Internet Services」については「9.1 CentreWare Internet Services を使う」(P. 220)を参照してください。

本機でプリント中 / 受信中のデータのプリントを中止する

操作パネルの  (プリント中止) ボタンを押します。ただし、プリント中のページはプリントされます。

本機で受信したすべてのデータのプリントを中止する

大量の文書をプリント指示してしまった場合は、次の方法で、一度にすべてのデータのプリントを中止してください。

1. 操作パネルで  (オフライン) ボタンを押します。
ディスプレイに [オフライン] と表示されます。

オフライン  データあり

2. 〈プリント中止〉 ボタンを押します。

すべてのデータを
中止しています

中止の処理が開始され、完了すると、ディスプレイに
[オフライン] と表示されます。

オフライン

3. 〈オンライン〉 ボタンを押します。
プリント画面に戻ります。

プリントできます
トナー残量 

プリント指示したデータの状態を確認する

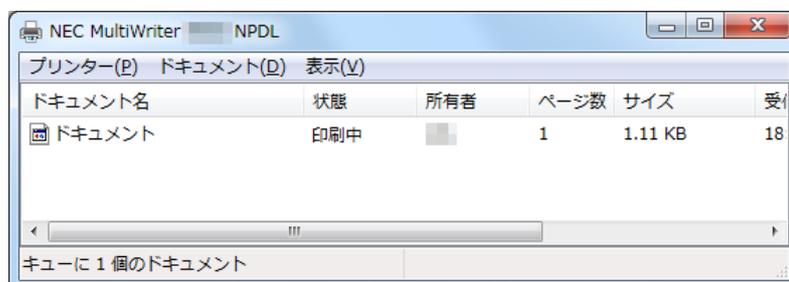
プリント指示したデータの状態を確認するには、Windows® 上で確認する方法と CentreWare Internet Services で確認する方法があります。



- ・「CentreWare Internet Services」については「9.1 CentreWare Internet Services を使う」(P. 220) を参照してください。

Windows® での確認方法

1. 画面右下のタスクバー上のプリンターアイコンをダブルクリックします。
2. 表示されたウィンドウから、[状態] を確認します。



CentreWare Internet Services での確認方法

CentreWare Internet Services の [ジョブ] タブで、本機に指示したプリントジョブの状態を確認できます。



- ・ CentreWare Internet Services のヘルプ

4.3 はがき / 封筒にプリントする

はがき / 封筒をセットする



- ・手差しトレイに用紙をセットする手順：「手差しトレイに用紙をセットする」(P. 41)
- ・用紙をセットする手順：「用紙トレイ 1 とトレイモジュール (用紙トレイ 2～4) (オプション) に用紙をセットする」(P. 46)

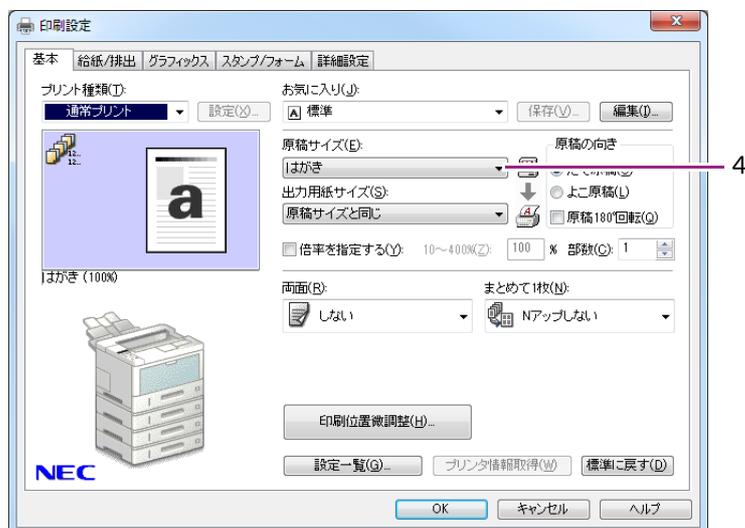
はがき / 封筒にプリントする

ここでは、Windows® 7 のワードパッドを例に説明します。

1. [ファイル] メニューから [印刷] を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [基本] タブをクリックします。
4. [原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] を選択します。

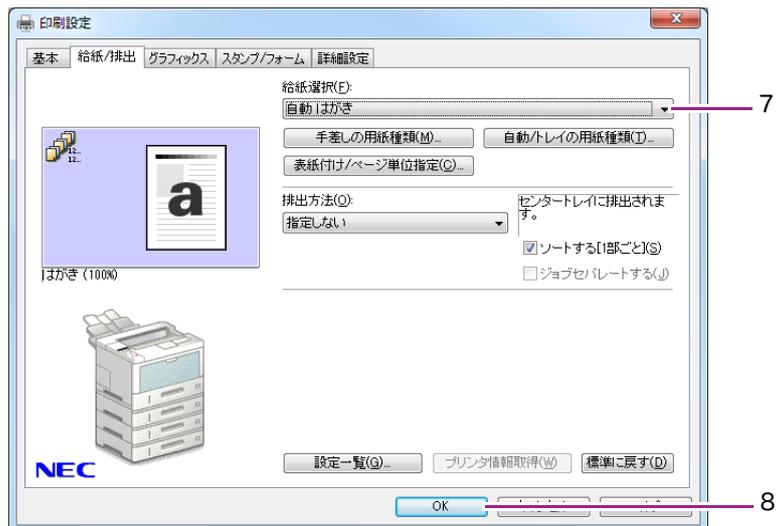


- ・はがきサイズの普通紙に印刷する場合は、ユーザー定義サイズでサイズを設定し、[給紙 / 排出] タブで用紙種類を [普通紙] に設定してください。



5. 封筒の場合は、必要に応じて [原稿 180° 回転] のチェックボックスにチェックを入れます。
6. [給紙 / 排出] タブをクリックします。

7. [給紙選択] から、使用する用紙トレイを選択します。

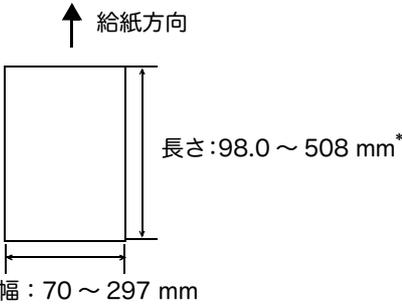
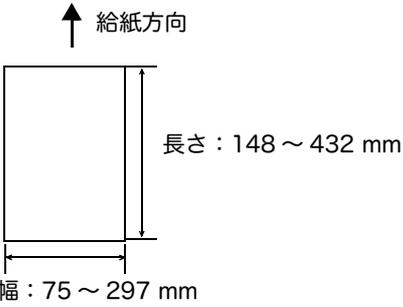


8. [OK] をクリックします。

9. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、プリントを実行します。

4.4 定形外サイズの内紙にプリントする

本機で使用できる定形外の内紙サイズは、次のとおりです。

手差しトレイ	用紙トレイ 1 (標準) 用紙トレイ 2 ~ 4 (オプション)
 <p>↑ 給紙方向</p> <p>長さ: 98.0 ~ 508 mm*</p> <p>幅: 70 ~ 297 mm</p> <p>*: 長尺サイズは、210 x 900 mm、297 x 900 mm、および 297 x 1200 mm が使用できます。</p>	 <p>↑ 給紙方向</p> <p>長さ: 148 ~ 432 mm</p> <p>幅: 75 ~ 297 mm</p>

定形外サイズの内紙をセットする

定形外サイズの内紙をセットする方法は、定形サイズの内紙をセットする方法と同じです。「3.4 内紙をセットする」(P. 41)を参照してください。

定形外サイズを登録する

プリントをする前に、定形外サイズをユーザー定義サイズとして登録します。ここでは、Windows® 7を例に説明します。

定形外サイズの内紙を用紙トレイ 1 ~ 4 (2 ~ 4 はオプション) にセットした場合は、あらかじめ操作パネルで用紙トレイの内紙サイズを設定してください。

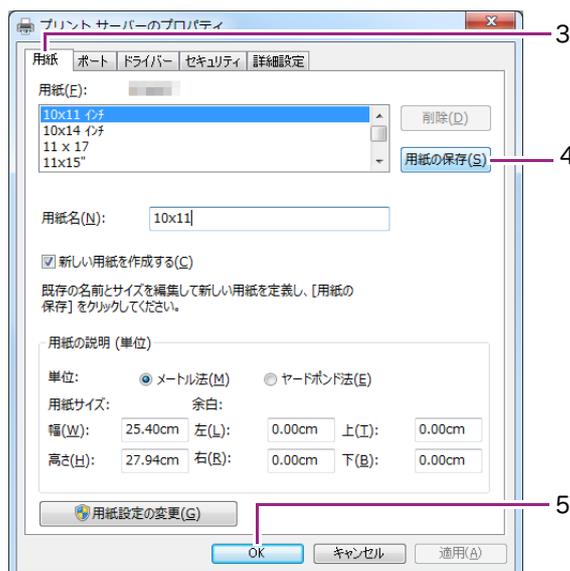
操作パネルでの設定については、「トレイの内紙サイズを設定する」(P. 52)を参照してください。

💡 補足

- ・ 管理者の権限があるユーザーだけが、設定を変更できます。管理者の権限がない場合は、内容の確認だけです。
- ・ ユーザー定義サイズの設定は、ローカルプリンターではコンピューターのフォームデータベースを使用するため、コンピューター上のほかのプリンターにも影響します。ネットワーク共有プリンターではプリントキューが存在するサーバー上のフォームデータベースを使用するため、別のコンピューター上の同じネットワーク共有プリンターにも影響します。

1. [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター] (OS によっては [プリンタ] または [プリンタとFAX]) を選びます。
2. 使用するプリンターのアイコンを選択して、[プリントサーバープロパティ] をクリックします。
3. [用紙] タブをクリックします。
4. [新しい用紙を作成する] をチェックして、任意の内紙名、内紙サイズを入力し、[用紙の保存] をクリックします。

5. 新規作成した用紙名がリストボックスに追加されたことを確認して、[OK] をクリックします。

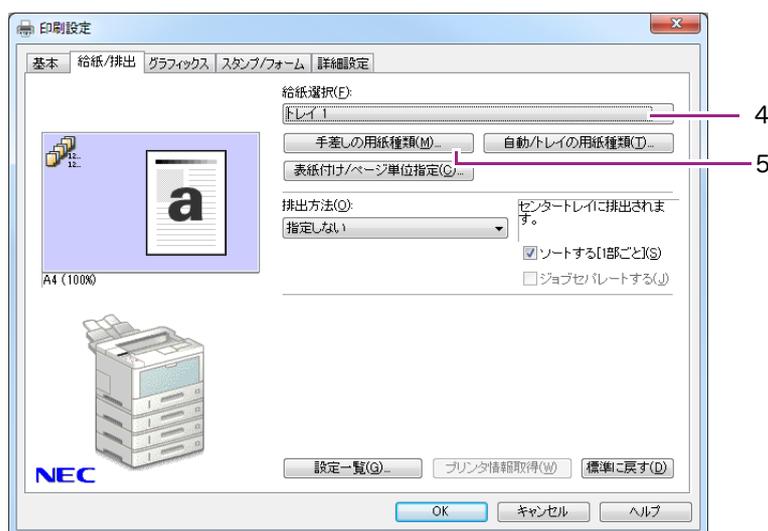


これでユーザー定義の用紙サイズが登録できました。

定形外サイズの内紙にプリントする

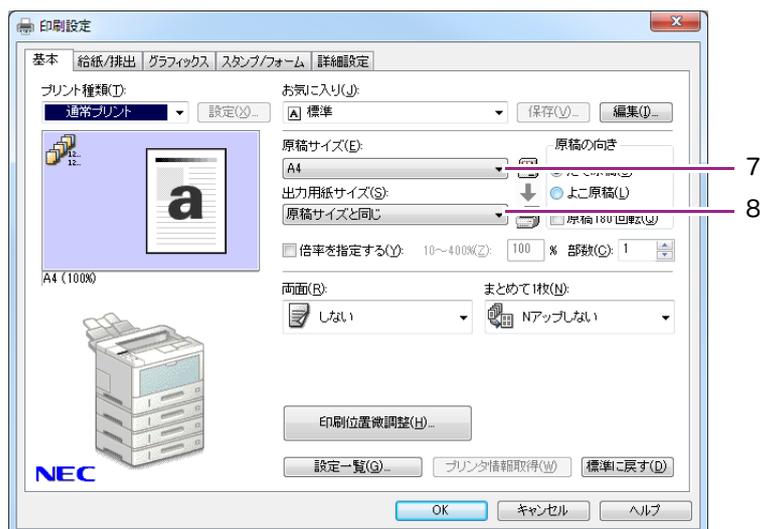
ここでは、Windows® 7のワードパッドを例に説明します。

1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [給紙 / 排出] タブをクリックします。
4. [給紙選択] から、定形外サイズの用紙がセットされている用紙トレイまたは手差し (トレイ 5) を選択します。



5. [給紙選択] で [手差し (トレイ 5)] を選択した場合で、用紙種類を変更するときは、[手差しの用紙種類] をクリックして [手差しの用紙種類] ダイアログボックスを表示します。[手差し用紙種類] を設定し、[OK] をクリックします。
6. [基本] タブをクリックします。

7. [原稿サイズ] から、任意の原稿のサイズを選びます。



8. [出力用紙サイズ] から、登録したユーザー定義サイズの内紙を選び、[OK] をクリックします。

9. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、プリントを実行します。

4.5 さまざまな種類の用紙にプリントする

本機用の紙トレイ 1～4 (2～4 はオプション) には、普通紙だけでなく、厚紙やラベル紙など、さまざまな種類の用紙をセットできます。

用紙トレイにセットする用紙種類を変更した場合は、操作パネルで [トレイの用紙種類] の設定も変更してください。設定変更後は、プリンタードライバーでプリンター本体から情報を取得してください。

💡 補足

- ・プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、用紙トレイにセットされている用紙の種類が一致しない場合、[機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [用紙種類エラーの処理] で設定した処理が行われます。

📖 参照

- ・プリンター本体の設定情報を取得する方法について詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

ここでは、Windows® 7 のワードパッドを例に説明します。

用紙種類を指定して自動でプリントする

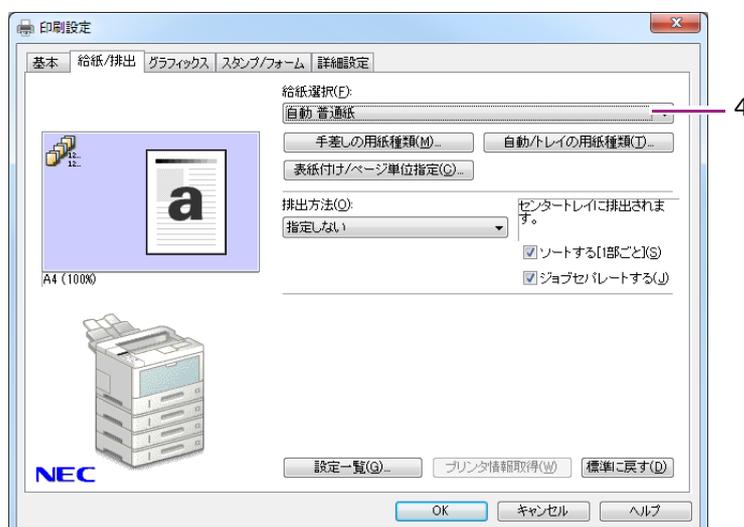
[トレイの用紙種類] の設定と用紙トレイにセットされている用紙種類があっている場合は、プリンタードライバーで用紙トレイを直接指定しなくても、用紙種類を指定するだけで、適切な用紙トレイを選んでプリントします。

この方法を利用すると、どの用紙トレイにどの用紙がセットされているかを意識しなくてもプリントできます。

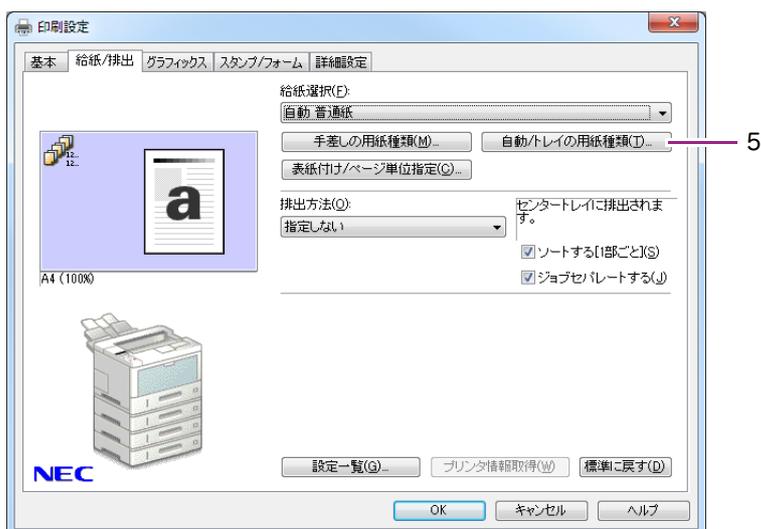
⚠️ 注記

- ・NPD L プリンタードライバーがサポートしている用紙サイズ (A3、A4、A5、B4、B5、8.5x11”、はがき、往復はがき、洋形 4 号) 以外の用紙にプリンタードライバーで印刷するとき、同じ用紙サイズの用紙が本機用の紙トレイにセットされていても、印刷ができない場合があります。詳しくは、「4.4 定形外サイズの用紙にプリントする」(P. 67) を参照してください。

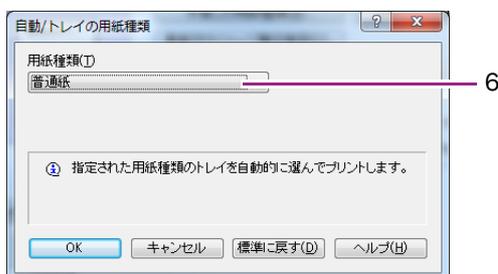
1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [給紙 / 排出] タブをクリックします。
4. [給紙選択] で [自動] を選択します。



5. [自動/トレイの用紙種類] をクリックして [自動/トレイの用紙種類] ダイアログボックスを表示します。



6. [用紙種類] から用紙種類を選択し、[OK] をクリックします。



7. [基本] タブをクリックし、[原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] を設定して、[OK] をクリックします。

8. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、プリントを実行します。

用紙トレイと用紙種類を設定してプリントする

次の2つの方法で、用紙トレイおよび手差しトレイの用紙種類を変更して印刷できます。

- ・操作パネルで用紙トレイおよび手差しトレイの用紙種類を設定して印刷する
- ・プリンタードライバーで用紙種類を設定して印刷する

❗ 注記

- ・NPD L プリンタードライバーがサポートしている用紙サイズ (A3、A4、A5、B4、B5、8.5x11”、はがき、往復はがき、洋形4号) 以外の用紙を指定して印刷する場合、指定したサイズの用紙が用紙トレイにセットされていても印刷ができない場合があります。その場合は、定型外サイズとしてプリンタードライバーに登録してから印刷してください。詳しくは、「4.4 定型外サイズの用紙にプリントする」(P. 67) を参照してください。

■ 操作パネルで用紙トレイおよび手差しトレイの用紙種類を設定して印刷する

あらかじめ、操作パネルでプリンターの用紙トレイの用紙種類を設定してください。

また、プリンターの設定を変更したら、プリンタードライバーにプリンターの設定を読み込んでおくと、印刷時に各用紙トレイおよび手差しトレイの設定がプリンタードライバーから確認できます。

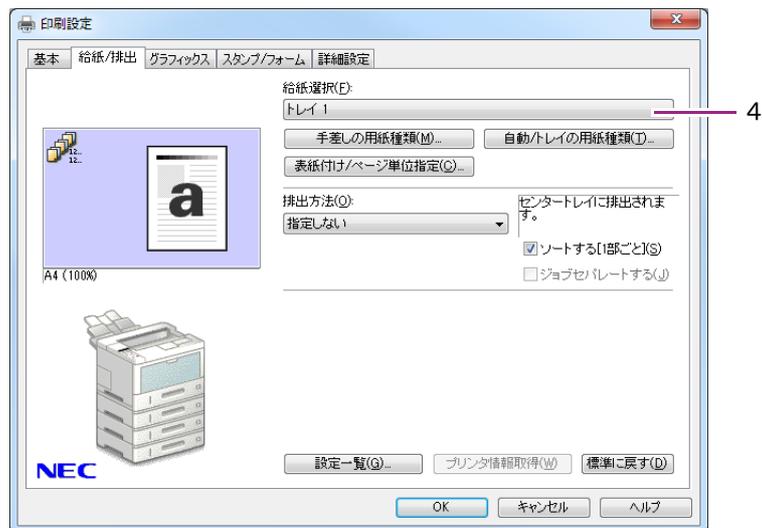
参照

- ・ 操作パネルで用紙種類を設定する方法：「[トレイの用紙種類]」(P. 193)、「[用紙メニュー]」(P. 344)

1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [給紙 / 排出] タブをクリックします。
4. [給紙選択] から [トレイ 1] を選びます。

補足

- ・ プリンターの用紙設定を読み込んでいる場合は、トレイ名の横に用紙のサイズ、向き、用紙種類、色が表示されます。



5. [基本] タブをクリックします。
6. [原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] を設定して、[OK] をクリックします。
7. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、プリントを実行します。

■ プリンタードライバーで用紙種類を設定して印刷する

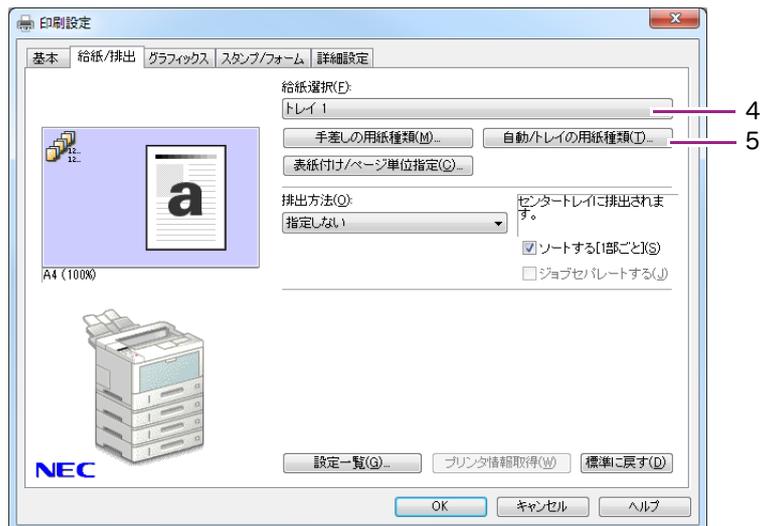
プリンターに設定されているトレイの用紙種類に関係なく、プリンタードライバーで指定した内容で印刷されます。

注記

- ・ プリンタードライバーで設定する用紙の種類が、トレイにセットされている用紙と合っていない場合、画像が正しく処理されません。トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたりして、印字品質が悪くなります。

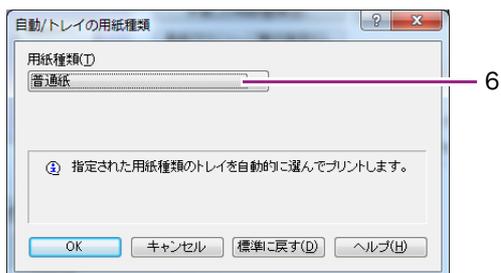
1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選択します。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [給紙 / 排出] タブをクリックします。

4. [給紙選択] で、[トレイ 1] を選択します。



5. [自動 / トレイの用紙種類] をクリックして [自動 / トレイの用紙種類] ダイアログボックスを表示します。

6. [用紙種類] から用紙種類を選択し、[OK] をクリックします。



7. [基本] タブをクリックし、[原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] を設定して、[OK] をクリックします。

8. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、プリントを実行します。

4.6 大量・連続印刷する

以下の方法で大量・連続印刷ができます。

- ・リレー給紙の設定。

リレー給紙の設定

印刷している給紙先の用紙がなくなったときに、自動的に別の給紙先に切り替えて印刷を続ける機能です。用紙トレイ 1、トレイモジュール（用紙トレイ 2～4）（オプション）を装着し、同じ用紙サイズおよび同じ用紙種別の用紙をセットした場合に大量・連続印刷ができます。

設定方法

リレー給紙を有効にする方法を説明します。

■ Step1 リレー給紙を有効にする

リレー給紙を有効にするために、プリンターの設定を行います。

❗ 注記

- ・リレー給紙機能を使う場合は、リレー給紙の対象にしたいすべての用紙トレイでリレー給紙を有効にしてください。

1. 操作パネルの  〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2. [プリント言語の設定] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

仕様設定
プリント言語の設定

3. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[NPDL] が表示されます。

プリント言語の設定
NPDL

4. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[テストメニュー] が表示されます。

NPDL
テストメニュー

5. [用紙メニュー] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

NPDL
用紙メニュー

6. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[トレイ初期設定] が表示されます。

NPDL/用紙メニュー
トレイ初期設定

7. [リレー給紙設定] が表示されるまで 〈▼〉 ボタンを押します。

NPDL/用紙メニュー
リレー給紙設定

8. 〈▶〉 または  ボタンで選択します。
[トレイ 1] が表示されます。

NPDL/リレー給紙設定
トレイ 1

9. リレー給紙するトレイを選びます。
(ここでは例にトレイ 1 を選んでいます。)

NPD/リレー給紙設定
トレイ 1

10. <▶> または **OK** ボタンを押して選びます。

11. <▼> ボタンを押し、[する] にします。

NPD/トレイ 1
する

12. **OK** ボタンを押し、決定します。

13. リレー給紙の対象にしたい用紙トレイすべてに対して、
手順 9 ~ 12 を繰り返します。

14. ほかのトレイを選ぶ場合は、<◀> または ◀(戻る) ボタン
を押して戻ります。

15. 設定が終わったら、リレー給紙を有効にした用紙トレイ
の用紙サイズ、用紙の種類、用紙のセット方向が同じに
なっているかを確認します。

■ Step2 給紙方法を設定する

印刷を開始するときに、[給紙選択] で [自動] を選択します。

1. プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの [給紙 / 排出] タブをクリックします。

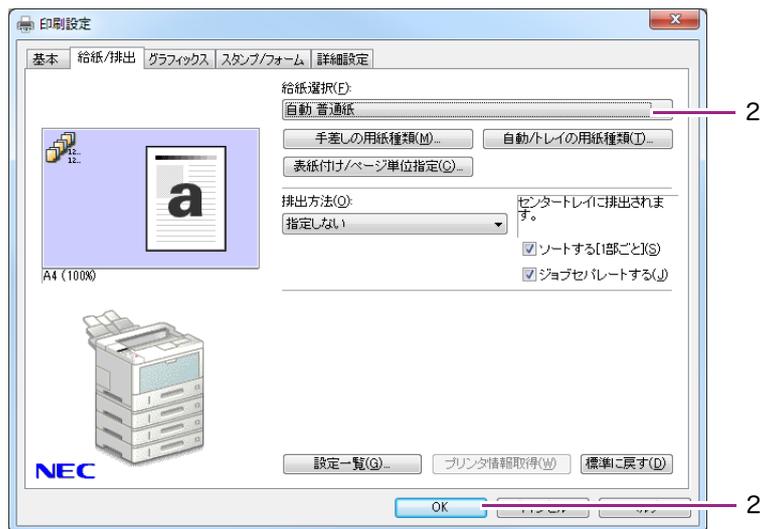
💡 補足

- ・ プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。
各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

2. [給紙選択] が [自動] になっていることを確認し、[OK] をクリックします。

! 注記

- ・ [給紙選択] が [自動] 以外になっている場合、リレー給紙はできません。



3. [印刷] ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、[印刷] (または [OK]) をクリックしてプリントします。

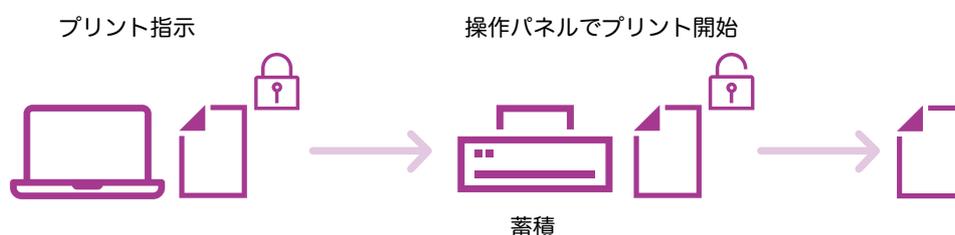
4.7 機密文書をプリントする - セキュリティープリント -

本機に、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合、セキュリティープリント機能を使用できます。

注記

- 機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）は、故障する可能性があります。機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上にも保存しておくことをお勧めします。

セキュリティープリントとは、コンピューター上で、プリントデータにセキュリティー（暗証番号を付ける）をかけてプリントを指示し、プリントデータを本機内に一時的に蓄積させたあと、操作パネルでプリントを開始する機能です。また、セキュリティーをかけないでプリントデータを本機に蓄積させることもできます。頻繁に使用する文書の本機に蓄積しておけば、コンピューターから何度もプリントを指示しなくても、本機側の操作だけでプリントできます。



補足

- プリント後にセキュリティープリントデータを削除するかどうかは、セキュリティープリントを指示する手順の中で選びます。「操作パネルでの操作」(P. 102)を参照してください。
- 操作パネルの「セキュリティープリント操作」が「無効」に設定されている場合は、セキュリティープリントを実行できません。

セキュリティープリントをする

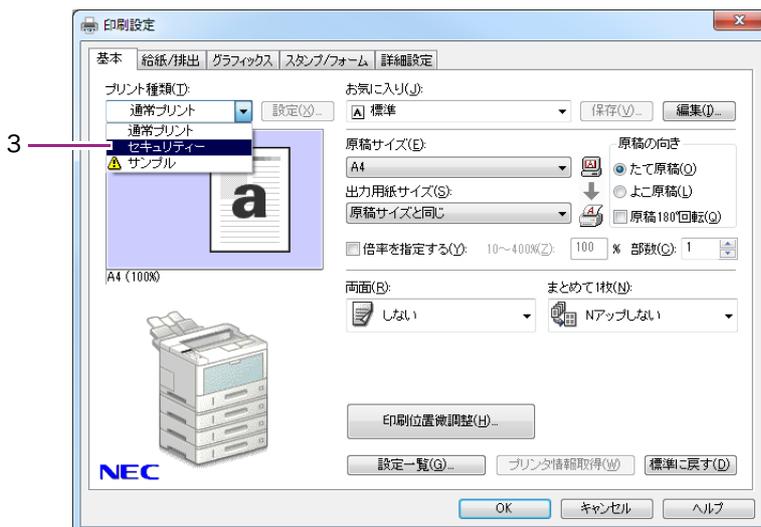
まず、セキュリティープリントの設定をコンピューター側で行い、プリント指示をします。そのあと、本機側の操作でプリントします。

コンピューター側での操作

ここでは、Windows® 7のワードパッドを例に説明します。

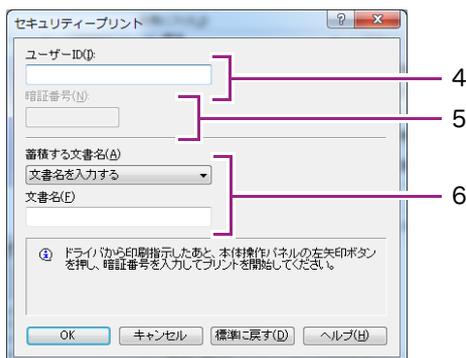
1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。

3. [基本] タブの [プリント種類] から、[セキュリティ] を選びます。



[セキュリティプリント] ダイアログボックスが表示されます。

4. [ユーザー ID] にユーザー ID を入力します。
ユーザー ID は、半角で 8 文字まで入力できます。



5. 暗証番号を付ける場合は、[暗証番号] に暗証番号を入力します。
半角数字で 12 文字まで入力できます。

6. [蓄積する文書名] から、[文書名を入力する]、または [自動取得] を選びます。
[文書名を入力する] を選んだ場合は、[文書名] に文書の名前を、24 バイト相当 (半角で 24 文字) で指定します。
[自動取得] の場合、文書名はプリントする文書名になります。ただし、文書名を本機が認識できない場合は、日付と時刻になります。

7. [OK] をクリックします。

8. [基本] タブで [OK] をクリックします。

9. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、プリントを実行します。
文書が本機内に蓄積されます。

操作パネルでの操作

セキュリティープリントによって、本機内に蓄積されているプリントデータをプリントする手順を説明します。

💡 補足

- ・本機内に蓄積したセキュリティープリントデータを、プリントしないで削除する場合は、次の手順 8 のあと、[削除する] を選んでください。

1. 操作パネルの  〈プリントメニュー〉 ボタンを押します。

プリントメニュー
セキュリティープリント

2. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
ユーザー ID が表示されます。

ユーザー ID を選択
1001.12345678

3. 対象のユーザー ID が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

💡 補足

- ・ユーザー ID は、プリンタードライバーの [セキュリティープリント] ダイアログボックスで設定した [ユーザー ID] が表示されます。

4. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
暗証番号を入力する画面が表示されます。

暗証番号を入れ [OK]
[0]

5. 〈▶〉 ボタンでカーソルを移動させながら、〈▲〉 〈▼〉 ボタンで暗証番号を入力します。

暗証番号を入れ [OK]
[**7]

💡 補足

- ・暗証番号は、プリンタードライバーの [セキュリティープリント] ダイアログボックスで設定した [暗証番号] を入力します。[暗証番号] を設定していない場合は、操作パネルでの設定はありません。

6.  ボタンを押します。
文書名が表示されます。

文書を選択
1.Report

7. 対象の文書名が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

💡 補足

- ・文書名は、プリンタードライバーの [セキュリティープリント] ダイアログボックスで設定した [蓄積する文書名] が表示されます (12 バイトまで)。
- ・複数文書が格納されている場合は、[全ての文書] を選ぶこともできます。

8. <▶> または ボタンを押します。
プリント後の処理を選ぶ画面が表示されます。

1.Report プリント後削除する

 補足

- ・ プリントをしないで削除する場合は、<▼> ボタンを押して、[削除する] を表示し、<▶> ボタン、 ボタンの順に押します。
- ・ プリント後も、データを本機に残しておく場合は、<▼> ボタンを押して、[プリント後削除しない] を表示し、手順9に進んでください。

9. <▶> または ボタンを押します。
部数を入力する画面が表示されます。

部数 1部

10. <▼> ボタンを押して部数を設定し、<▶> または ボタンで選びます。
プリントを開始する画面が表示されます。

1.Report [OK] でプリント開始

11. ボタンを押します。
プリントが開始されます。

12.  <プリントメニュー> ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

4.8 出力結果を確認してからプリントする - サンプルプリント -

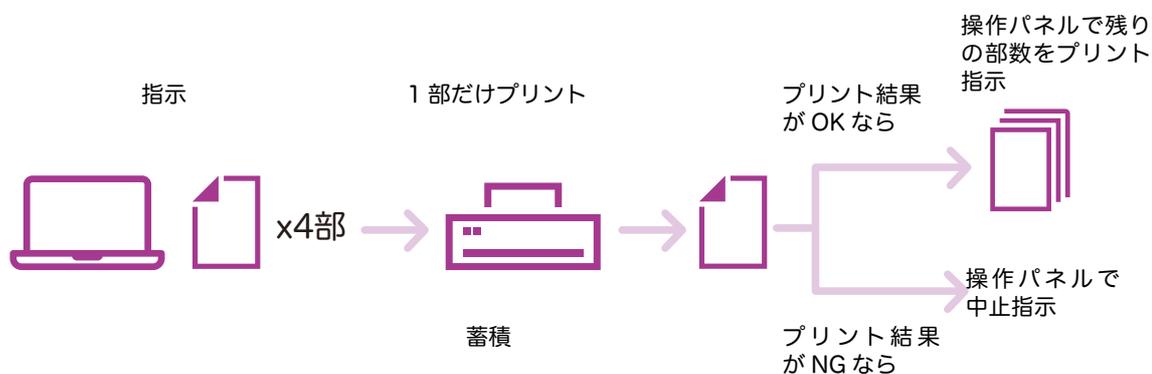
本機に、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合、サンプルプリント機能を使用できます。

! 注記

- 機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）は、故障する可能性があります。機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上にも保存しておくことをお勧めします。

サンプルプリント機能について

サンプルプリントとは、複数部数をプリントする場合に、本機にプリントデータを蓄積し、まず1部だけプリントし、プリント結果を確認してから、残りの部数のプリント開始を操作パネルで指示する機能です。



💡 補足

- 不要になったサンプルプリントデータは、プリントする場合と同様の手順で削除できます。「操作パネルでの操作」(P. 106)を参照してください。

サンプルプリントをする

まず、サンプルプリントの設定をコンピューター側で行い、プリント指示をします。そのあと、本機側の操作でプリントします。

コンピューター側での操作

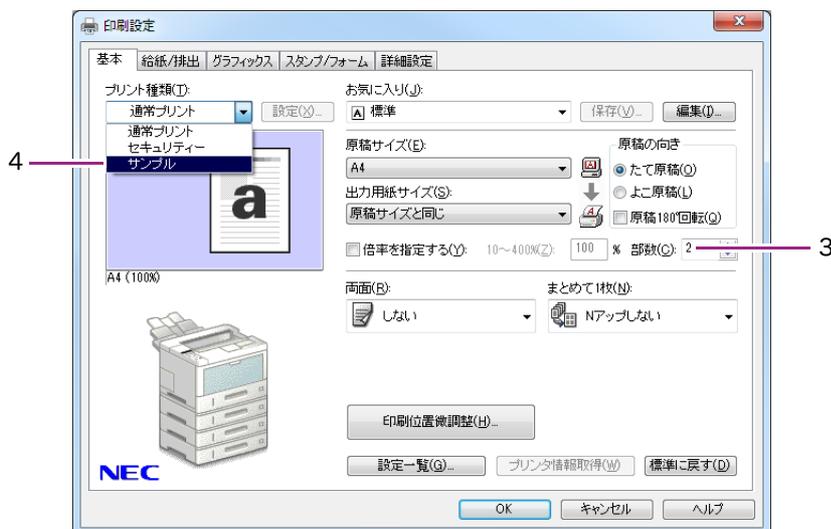
ここでは、Windows® 7のワードパッドを例に説明します。

1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [基本] タブで、[部数] を2部以上に設定します。

4. [プリント種類] から [サンプル] を選びます。

💡 補足

- ・ 印刷部数を 2 部以上に設定すると、[サンプル] が選べます。



[サンプルプリント] ダイアログボックスが表示されます。

5. [ユーザー ID] にユーザー ID を入力します。 ユーザー ID は、半角で 8 文字まで入力できます。



6. [蓄積する文書名] から、[文書名を入力する] または [自動取得] を選びます。 [文書名を入力する] を選んだ場合は、[文書名] に文書の名前を、24 バイト相当（半角で 24 文字）で指定します。 [自動取得] の場合、文書名はプリントする文書名になります。ただし、文書名を本機が認識できない場合は、日付と時刻になります。

7. [OK] をクリックします。

8. [基本] タブで [OK] をクリックします。

9. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、プリントを実行します。

操作パネルでの操作

サンプルプリントによって、本機内に蓄積されているプリントデータをプリントする手順、および削除する手順を説明します。

1. 操作パネルの  〈プリントメニュー〉 ボタンを押します。

プリントメニュー
セキュリティプリント

2. [サンプルプリント] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

プリントメニュー
サンプルプリント

3. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
ユーザー ID が表示されます。

ユーザー ID を選択
2001.12345678

4. 対象のユーザー ID が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

補足

- ・ユーザー ID は、プリンタードライバーの [サンプルプリント] ダイアログボックスで設定した [ユーザー ID] が表示されます。

5. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
文書名が表示されます。

文書を選択
1.Report

6. 対象の文書名が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

補足

- ・文書名は、プリンタードライバーの [サンプルプリント] ダイアログボックスで設定した [蓄積する文書名] が表示されます (12 バイトまで)。
- ・複数文書が格納されている場合は、[全ての文書] を選ぶこともできます。

7. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
プリント後の処理を選ぶ画面が表示されます。

1.Report
プリントする

補足

- ・プリントをしないで削除する場合は、〈▼〉 ボタンを押して、[削除する] を表示し、〈▶〉 ボタン、 ボタンの順に押します。

8. 蓄積したデータをプリントする場合は、〈▶〉 または  ボタンを押します。
部数を入力する画面が表示されます。

部数
1部

9. ◀▼▶ ボタンを押して部数を設定し、▶▶ または [OK] ボタンを押します。
プリントを開始する画面が表示されます。

1.Report [OK] でプリント開始

 補足

- ・ 部数の初期値は、残りの部数が表示されます。

10. [OK] ボタンを押します。
プリントが開始されます。
11. ☰◀プリントメニュー▶ ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

4.9 プライベートプリント

本機に、IC カード読み取り装置（オプション）、および機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合、プライベートプリント機能を使用できます。

注記

- 機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）は、故障する可能性があります。機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上にも保存しておくことをお勧めします。

プライベートプリント機能について

プライベートプリントとは、コンピューターからプリントを指示したデータを本機内に一時的に蓄積させたあと、プリントしたいときに IC カードで認証することでプリントする機能です。

コンピューターからプリントを指示したデータは、認証用ユーザー ID ごとに保存され、IC カードの認証情報と一致したユーザーの文書がプリントできます。

補足

- 本機に IC カード読み取り装置を接続する場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご相談ください。
- 認証機能には、本機に登録されたユーザー ID などの認証情報を使用する本体認証と、外部の認証サーバーと連携した外部認証があります。認証機能をご利用になる場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご相談ください。
- IC カード読み取り装置を接続した場合、それまで本機に蓄積されていた、セキュリティープリントおよびサンプルプリントのデータは使用できなくなることがあります。IC カード読み取り装置を接続する前に、プリント、または削除してください。
- 複製管理またはペーパーセキュリティを使用したジョブでも、操作パネルの [プリントメニュー] > [強制印字解除プリント] を選ぶと、これらの機能を解除してプリントできます。これは、強制印字の一時解除権限を持つユーザーだけができます。ユーザーへの強制印字の一時解除権限の設定方法については、「権限グループの登録とユーザーとの関連づけ」(P. 244) をご覧ください。また、複製管理、ペーパーセキュリティ機能については、「複製管理機能について」(P. 230) を参照してください。
- プライベートプリント機能を設定した場合、プリンタードライバーから通常のプリント、セキュリティープリント、サンプルプリントは使用できなくなります。

プライベートプリントをするための設定

本機側の設定

プライベートプリントは、操作パネルの [機械管理者メニュー] > [システム設定] > [認証の設定] で、次のどれかを設定している場合に表示されます。

- [認証プリントの設定] > [受信制御] を [プライベートプリント保存] に設定。
- [認証方式の設定] を [外部認証]、[認証プリントの設定] > [受信制御] を [プリントの認証に従う]、[認証プリントの設定] > [ジョブ認証時の処理] > [認証成功のジョブ] を [プライベートプリント保存] に設定。
- [認証プリントの設定] > [ジョブ認証時の処理] > [PJM なしのジョブ] > [User ID があれば利用] を [プライベートプリント保存] に設定。

参照

- 「認証プリントの設定」(P. 186)

プリンタードライバーでの設定

プライベートプリントを使用するには、プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの「初期設定」タブ>「認証情報の設定」>「認証情報の設定」ダイアログボックスで、ユーザー ID の設定が必要です。このユーザー ID が認証情報と一致しないとプリントできません。

各項目に設定する内容や設定方法の詳細は、システム管理者にご相談ください。

プライベートプリントをする

プライベートプリントによって、本機内に蓄積されているプリントデータは、IC カードをタッチするだけでプリントできます。

1. 操作パネルに「プリントできます」が表示されている状態で、IC カードをタッチし、認証します。

プリントできます
トナー残量

認証に成功すると、自動的に認証ユーザーの文書がプリントされます。

プリントしています

プリントデータを削除する

プライベートプリントによって、本機内に蓄積されているプリントデータを削除する手順を説明します。

1. 操作パネルの「プリントメニュー」ボタンを押します。

プリントメニュー
プライベートプリント

2. 「プライベートプリント削除」が表示されるまで、「▼」ボタンを押します。

プリントメニュー
プライベートプリント削除

3. 「▶」または「OK」ボタンを押します。
右の画面が表示されます。

ICカードで認証してください

4. IC カードをタッチして認証します。
認証に成功すると、文書名が表示されます。

削除する文書を選択
1.Report

5. 対象の文書名が表示されるまで、「▼」ボタンを押します。

💡 補足

- ・複数文書が格納されている場合は、「全ての文書」を選ぶこともできます。

6. 「▶」または「OK」ボタンを押します。
削除を開始する画面が表示されます。

1.Report
[OK] で削除開始

7. 「OK」ボタンを押します。
プリントデータが削除されます。

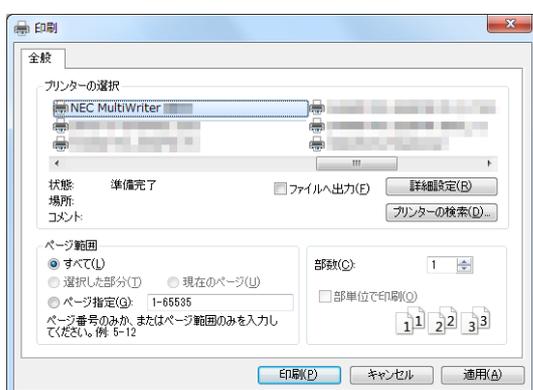
8. 「プリントメニュー」ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

5 プリント（ART EX プリ ンタードライバーの場合）

5.1 コンピューターからプリントする

Windows[®] のアプリケーションからプリントするための基本的な流れは、次のとおりです。ここでは、Windows[®] 7 のワードパッドを例に説明します。

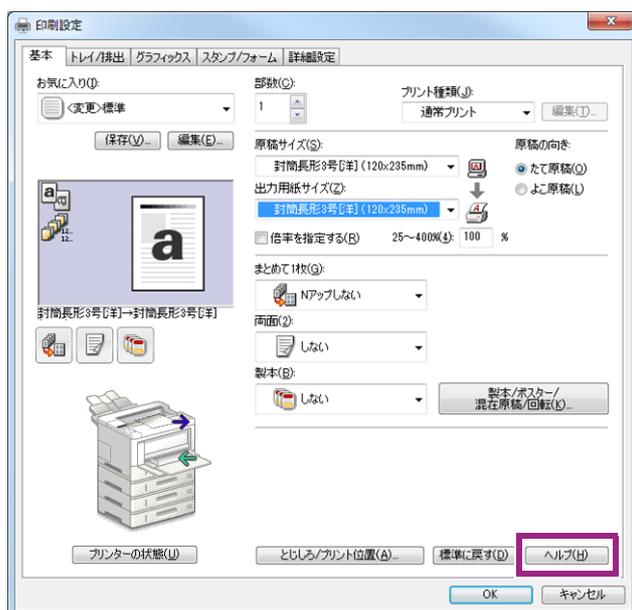
1. アプリケーションの [ファイル] メニューから、[印刷] を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、プロパティダイアログボックスを表示します。この例では、[詳細設定] をクリックすると、プロパティダイアログボックスが表示されます。



3. 各タブを切り替えてプリント機能を設定し、[OK] をクリックします。

参照

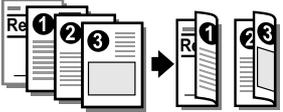
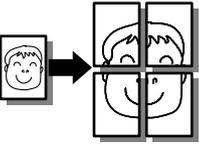
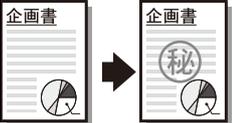
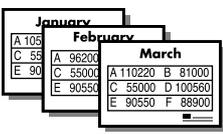
- ・ 各機能の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。[ヘルプ] をクリックすると、[ヘルプ] ウィンドウが表示されます。



4. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、プリントを実行します。

プロパティダイアログボックスで設定できる便利なプリント機能

各タブで設定できる機能の一部を紹介します。各機能の詳細については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

タブ	機能		
基本	<ul style="list-style-type: none"> 両面 用紙の両面にプリントできます。 	<ul style="list-style-type: none"> まとめて1枚 (Nアップ) 1枚の用紙に、複数のページを割り付けてプリントします。 	<ul style="list-style-type: none"> ポスター ポスターなどを作製するときに使用します。 
	<ul style="list-style-type: none"> 製本 正しいページ順の小冊子になるように、両面プリントとページ配分を組み合わせ合わせてプリントします。 	<ul style="list-style-type: none"> サンプルプリント 複数部数をプリントする場合、1部だけサンプルをプリントします。プリント結果を確認したあと、残りの部数を操作パネルからプリントします。 	<ul style="list-style-type: none"> お気に入り よく使う印刷設定が登録されています。リストから項目を選ぶだけで、複数の設定が一度にできます。設定内容の編集や、あらたに登録することもできます。
	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティープリント あらかじめ、プリントデータを本機に送っておいて、操作パネルからプリントを指示します。 	<ul style="list-style-type: none"> 時刻指定プリント プリント時刻を指定できます。 	
トレイ / 排出	<ul style="list-style-type: none"> トレイの高度な設定 用紙トレイを [自動] に設定したときに、優先して使用されるトレイや用紙の種類をあらかじめ設定できます。 	<ul style="list-style-type: none"> 表紙付け 表紙だけ、色紙や厚紙を使ってプリントできます。 	
スタンプ / フォーム	<ul style="list-style-type: none"> スタンプ プリントデータに「社外秘」などの特定の文字を重ね合わせてプリントします。 	<ul style="list-style-type: none"> フォーム 使用頻度の高いプリントフォームは、フォーム機能を利用するとデータ転送の時間が短縮できます。 	

 補足

- ・プリント機能は、[デバイスとプリンター] (OSによっては [プリンタ] または [プリンタとFAX]) ウィンドウのプリンターアイコンから、プロパティダイアログボックスを表示して設定することもできます。
ここで設定した内容は、アプリケーションからプロパティダイアログボックスを表示したときの初期値になります。

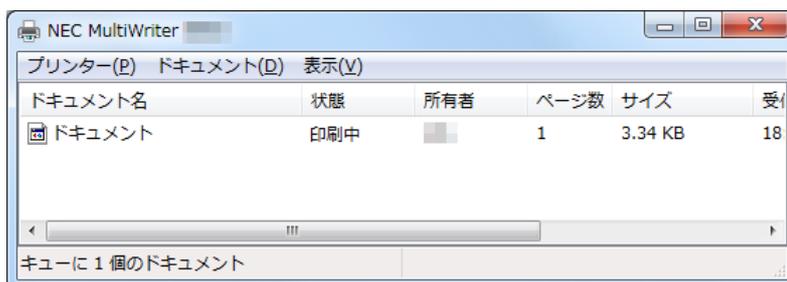
5.2 プリントを中止する / 確認する

プリントを中止する

プリントを中止するには、コンピューターでプリントの指示を取り消す方法と本機でプリントの指示を取り消す方法があります。

コンピューターで処理中のデータのプリントを中止する

1. 画面右下のタスクバー上のプリンターアイコンをダブルクリックします。
2. 中止するドキュメント名を選び、削除 (<Delete> キーを押す) します。



💡 補足

- ・ ウィンドウ内に中止するドキュメントがなかった場合は、本機でプリントを中止してください。
- ・ CentreWare Internet Services の [ジョブ] タブで、プリントを中止することもできます。操作方法については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

📖 参照

- ・ 「CentreWare Internet Services」については「9.1 CentreWare Internet Services を使う」(P. 220)を参照してください。

本機でプリント中 / 受信中のデータのプリントを中止する

操作パネルの  (プリント中止) ボタンを押します。ただし、プリント中のページはプリントされます。

本機で受信したすべてのデータのプリントを中止する

大量の文書をプリント指示してしまった場合は、次の方法で、一度にすべてのデータのプリントを中止してください。

1. 操作パネルで  (オフライン) ボタンを押します。
ディスプレイに [オフライン] と表示されます。

オフライン ■データあり

2.  (プリント中止) ボタンを押します。

すべてのデータを 中止しています

中止の処理が開始され、完了すると、ディスプレイに
[オフライン] と表示されます。

オフライン

3. 「オンライン」ボタンを押します。
プリント画面に戻ります。

プリントできません
トナー残量

プリント指示したデータの状態を確認する

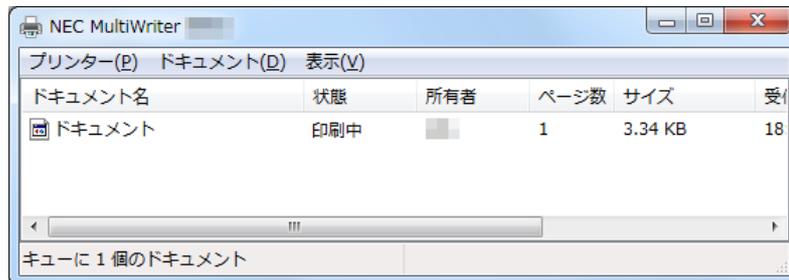
プリント指示したデータの状態を確認するには、Windows® 上で確認する方法と CentreWare Internet Services で確認する方法があります。



- ・「CentreWare Internet Services」については「9.1 CentreWare Internet Services を使う」(P. 220)を参照してください。

Windows® での確認方法

1. 画面右下のタスクバー上のプリンターアイコンをダブルクリックします。
2. 表示されたウィンドウから、[状態]を確認します。



CentreWare Internet Services での確認方法

CentreWare Internet Services の [ジョブ] タブで、本機に指示したプリントジョブの状態を確認できます。



- ・ CentreWare Internet Services のヘルプ

5.3 はがき / 封筒にプリントする

はがき / 封筒をセットする

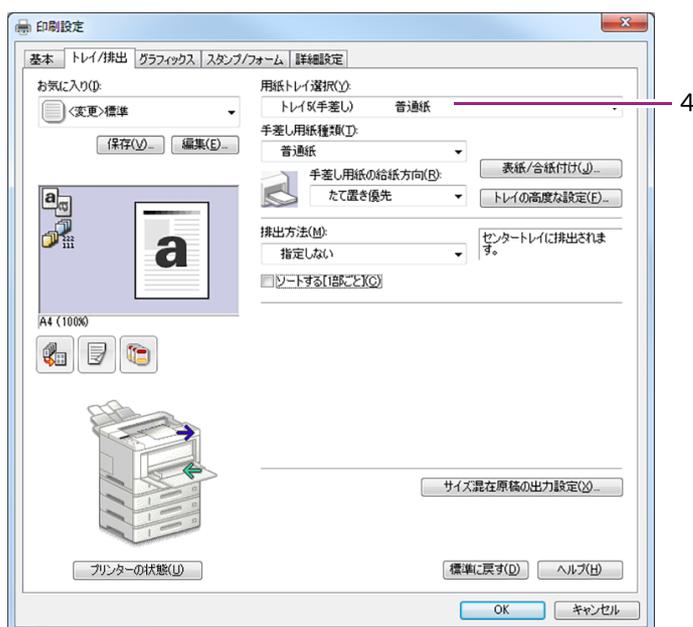


- ・手差しトレイに用紙をセットする手順：「手差しトレイに用紙をセットする」(P. 41)
- ・用紙をセットする手順：「用紙トレイ 1 とトレイモジュール (用紙トレイ 2～4) (オプション) に用紙をセットする」(P. 46)

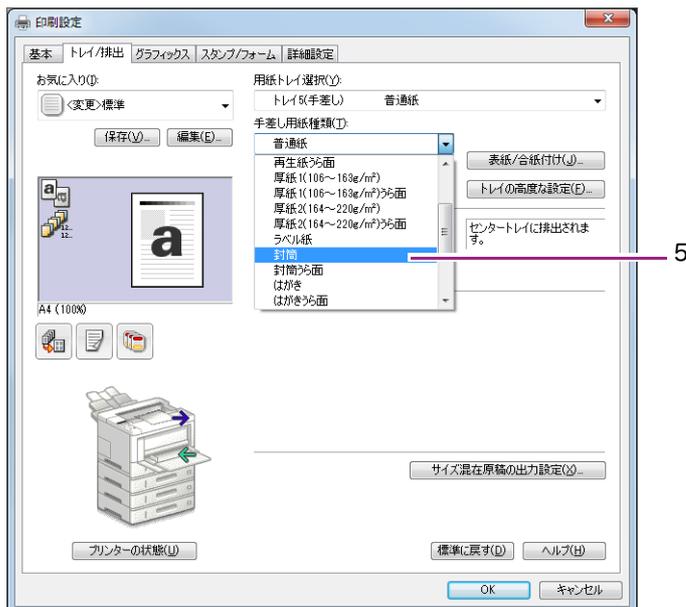
はがき / 封筒にプリントする

ここでは、Windows® 7 のワードパッドを例に説明します。

1. [ファイル] メニューから [印刷] を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [トレイ / 排出] タブをクリックします。
4. ここでは、[トレイ 5 (手差し)] を例に説明します。[用紙トレイ選択] から、使用するトレイを選びます。



5. [手差し用紙種類] から [はがき] または [封筒] を選びます。



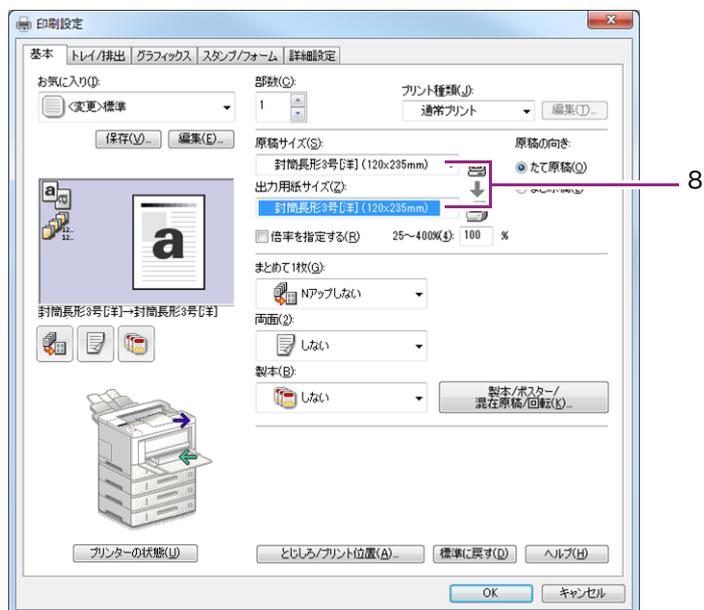
💡 補足

- ・一度プリントしたはがきや封筒の反対面にプリントする場合は、[はがきうら面] または [封筒うら面] を選んでください。

6. [手差し用紙の給紙方向] から任意の給紙方向を選びます。

7. [基本] タブをクリックします。

8. [原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] を選びます。



💡 補足

- ・はがきの場合は、[はがき (100x148 mm)] を選んでください。
- ・封筒洋長形 3 号の場合は、[封筒長形 3 号 [洋] (120x235 mm)] を選んでください。
- ・選択できない封筒の場合は、ユーザー定義サイズとして登録したサイズを選んでください。

9. 封筒の場合は、必要に応じて [製本 / ポスター / 混在原稿 / 回転] をクリックして [製本 / ポスター / 混在原稿 / 回転] ダイアログボックスを表示します。
[原稿 180° 回転] を設定し、[OK] をクリックします。



 補足

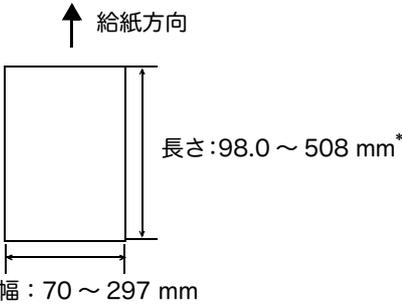
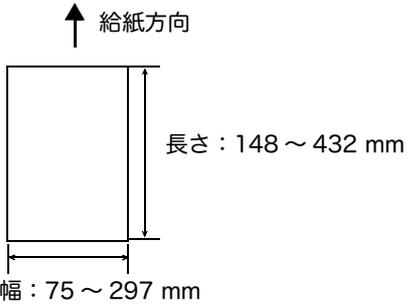
- ・ 封筒をユーザー定義サイズとして登録した場合は、[たてよこ原稿（封筒など）] を選んでください。

10. [OK] をクリックします。

11. [印刷] ダイアログボックスで [OK] をクリックし、プリントを実行します。

5.4 定形外サイズの内紙にプリントする

本機で利用できる定形外の内紙サイズは、次のとおりです。

手差しトレイ	用紙トレイ 1 (標準) 用紙トレイ 2 ~ 4 (オプション)
 <p>長さ: 98.0 ~ 508 mm*</p> <p>幅: 70 ~ 297 mm</p> <p>*: 長尺サイズは、210 x 900 mm、297 x 900 mm、および 297 x 1200 mm が使用できます。</p>	 <p>長さ: 148 ~ 432 mm</p> <p>幅: 75 ~ 297 mm</p>

定形外サイズの内紙をセットする

定形外サイズの内紙をセットする方法は、定形サイズの内紙をセットする方法と同じです。「3.4 内紙をセットする」(P. 41)を参照してください。

定形外サイズを登録する

プリントをする前に、プリンタードライバーで定形外サイズをユーザー定義サイズとして登録します。ここでは、Windows® 7 を例に、説明します。

定形外サイズの内紙を用紙トレイ 1 ~ 4 (2 ~ 4 はオプション) にセットした場合は、あらかじめ操作パネルでトレイの内紙サイズを設定してください。

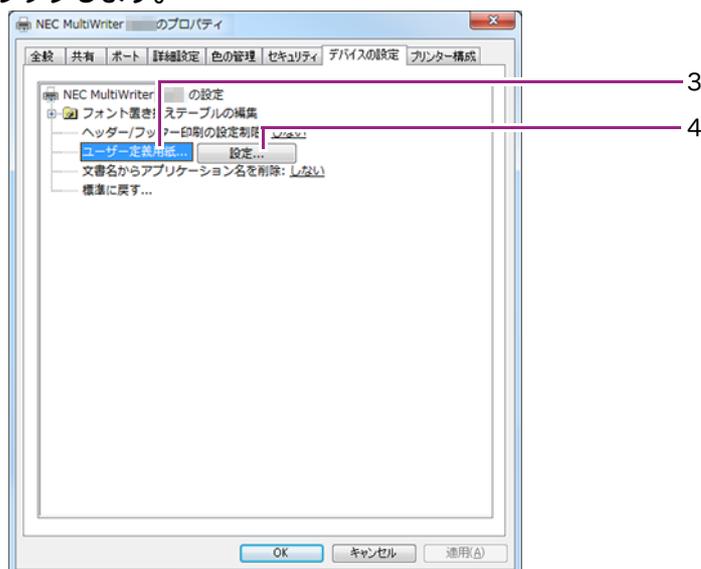
操作パネルでの設定については、「トレイの内紙サイズを設定する」(P. 52)を参照してください。

💡 補足

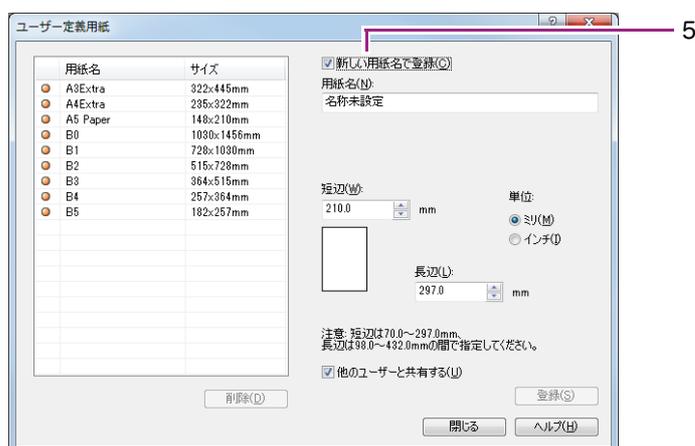
- ・ 管理者の権限があるユーザーだけが、設定を変更できます。管理者の権限がない場合は、内容の確認だけです。
- ・ [ユーザー定義用紙] ダイアログボックスの設定は、ローカルプリンターではコンピューターのフォームデータベースを使用するため、コンピューター上のほかのプリンターにも影響します。ネットワーク共有プリンターではプリントキューが存在するサーバー上のフォームデータベースを使用するため、別のコンピューター上の同じネットワーク共有プリンターにも影響します。

1. [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター] (OS によっては [プリンタ] または [プリンタとFAX]) を選び、使用するプリンターのプロパティを表示します。
2. [デバイスの設定] タブをクリックします。
3. [ユーザー定義用紙] をクリックします。

4. [設定] をクリックします。



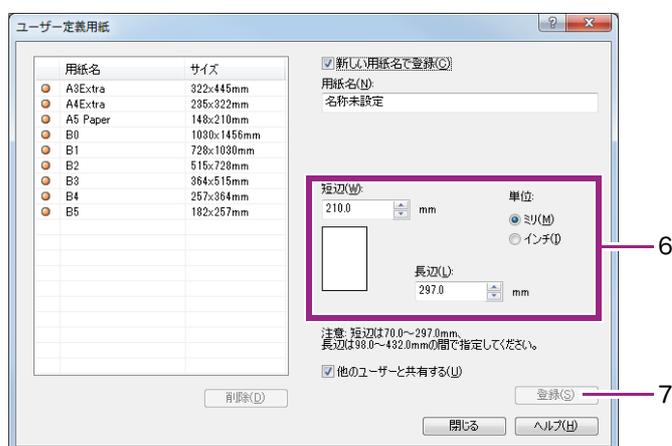
5. [新しい用紙名で登録] にチェックを入れて、定形外を登録する用紙名を [用紙名] に入力します。



💡 補足

- ・すでに登録している用紙のサイズを変更する場合は、用紙名を選択します。

6. 短辺と長辺の長さを指定します。 キー入力、または [▲] [▼] で指定します。



💡 補足

- ・ 短辺の値は、範囲内でも長辺より大きくすることはできません。長辺の値は、範囲内でも短辺より小さくすることはできません。

7. [登録] をクリックします。

8. 必要に応じて、手順 5～7 を繰り返して、用紙サイズを定義します。

💡 補足

- ・ すでに登録している用紙のサイズを変更した場合は、[はい] をクリックします。

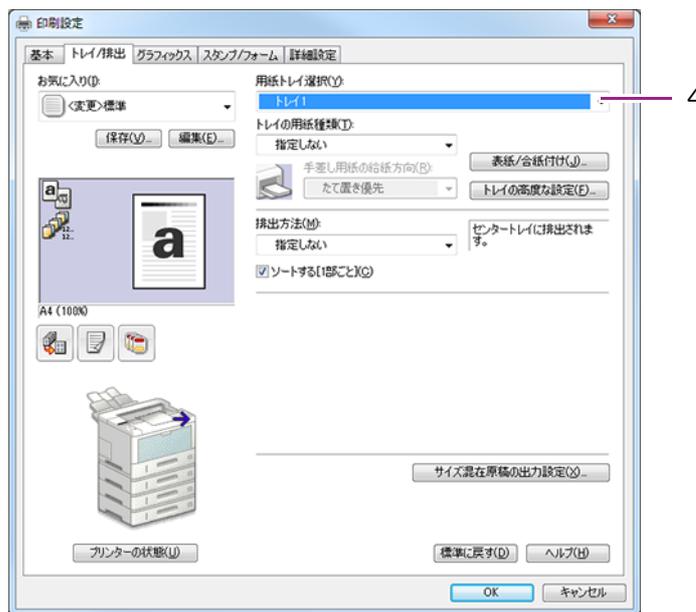
9. [閉じる] をクリックします。

10. [OK] をクリックします。

定形外サイズの用紙にプリントする

ここでは、Windows® 7 のワードパッドを例に説明します。

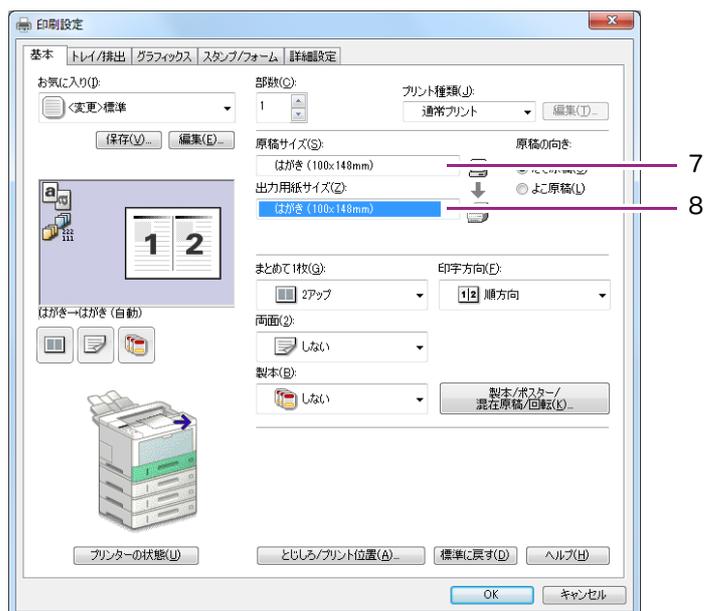
1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [トレイ / 排出] タブをクリックします。
4. [用紙トレイ選択] から、定形外サイズの用紙がセットされているトレイを選びます。



5. [用紙トレイ選択] で [トレイ 5 (手差し)] を選んだ場合は、[手差し用紙種類] と [手差し用紙の給紙方向] を設定します。

6. [基本] タブをクリックします。

7. [原稿サイズ] から、任意の原稿のサイズを選びます。



8. [出力用紙サイズ] から、登録したユーザー定義サイズの用紙を選び、[OK] をクリックします。

9. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、プリントを実行します。

5.5 さまざまな種類の用紙にプリントする

本機用の紙トレイ1～4（2～4はオプション）には、普通紙だけでなく、厚紙やラベル紙など、さまざまな種類の用紙をセットできます。

トレイにセットする用紙種類を変更した場合は、操作パネルで「トレイの用紙種類」の設定も変更してください。設定変更後は、プリンタードライバーでプリンター本体から情報を取得してください。

💡 補足

- ・プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、トレイにセットされている用紙の種類が一致しない場合、「機械管理者メニュー」>「プリント設定」>「用紙種類エラーの処理」で設定した処理が行われます。

📖 参照

- ・プリンター本体の設定情報を取得する方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

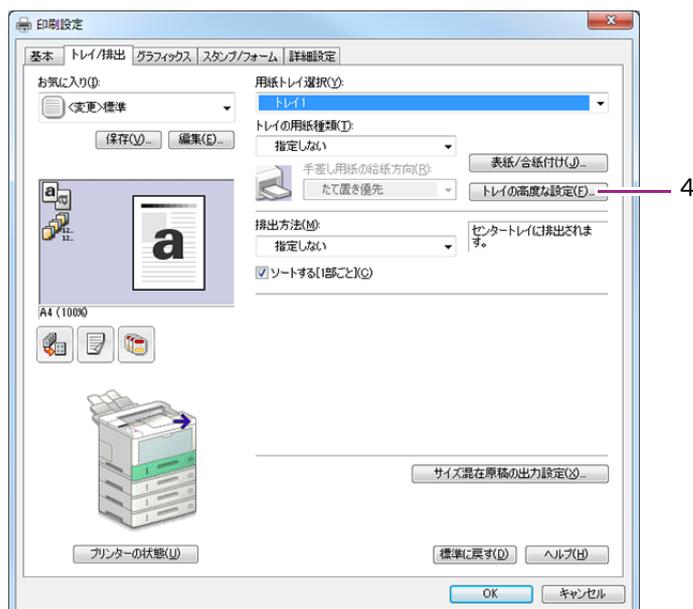
ここでは、Windows® 7のワードパッドを例に説明します。

用紙種類を指定して自動でプリントする

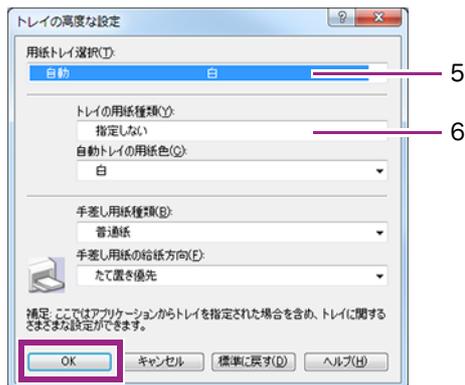
「トレイの用紙種類」の設定とトレイにセットされている用紙種類が合っている場合は、プリンタードライバーでトレイを直接指定しなくても、用紙種類を指定するだけで、適切なトレイを選んでプリントします。

この方法を利用すると、どのトレイにどの用紙がセットされているかを意識しなくてもプリントできます。

1. 「ファイル」メニューから、「印刷」を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、「詳細設定」をクリックします。
3. 「トレイ / 排出」タブをクリックします。
4. 「トレイの高度な設定」をクリックします。



5. [用紙トレイ選択] から、[自動] を選びます。



6. [トレイの用紙種類] からプリントする用紙の種類を選び、[OK] をクリックします。
7. [基本] タブをクリックし、[原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] を設定して、[OK] をクリックします。
8. [印刷] ダイアログボックスで [OK] をクリックし、プリントを実行します。

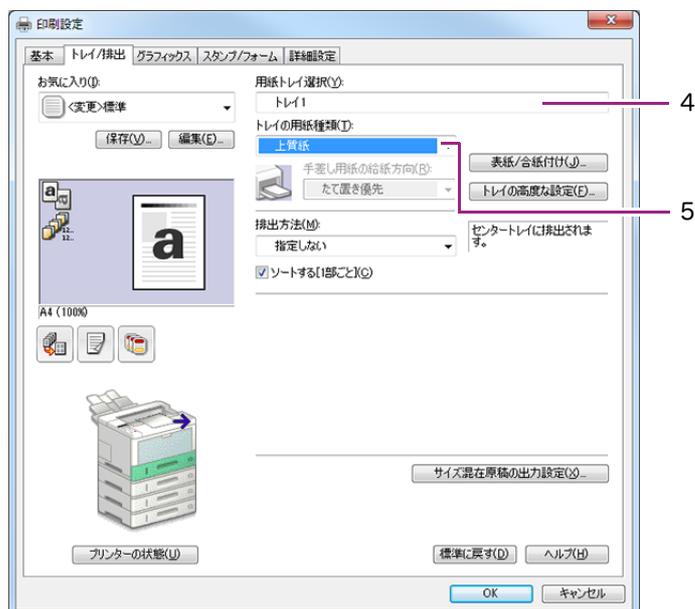
トレイと用紙種類を設定してプリントする

ここでは、用紙トレイ1の [トレイの用紙種類] に [上質紙] が設定され、実際には普通紙がセットされている場合を例に説明します。

1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [トレイ / 排出] タブをクリックします。
4. [用紙トレイ選択] から [トレイ 1] を選びます。

💡 補足

- ・ プリンターの用紙設定を読み込んでいる場合は、トレイ名の横に用紙のサイズ、向き、用紙種類、色が表示されます。



5. [トレイの用紙種類] から [普通紙] を選びます。

 補足

- ・ここで選んだ用紙種類は、そのジョブだけに有効です。プリンターに設定されているトレイの用紙種類は変更されません。

6. [基本] タブをクリックし、[原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] を設定して、[OK] をクリックします。

7. [印刷] ダイアログボックスで [OK] をクリックし、プリントを実行します。

5.6 機密文書をプリントする - セキュリティープリント -

本機に、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合、または RAM ディスクが有効に設定されている場合、セキュリティープリント機能を使用できます。

注記

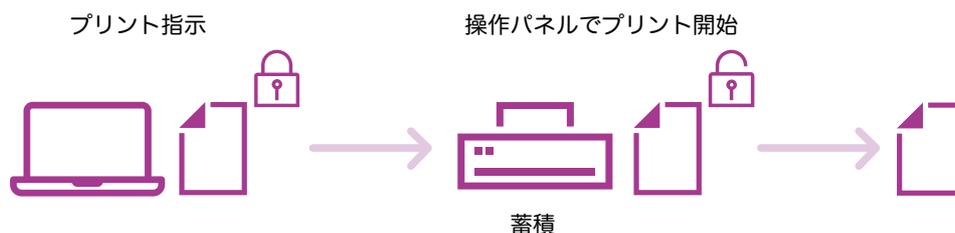
- ・ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上にも保存しておくことをお勧めします。
- ・RAM ディスクを使用している場合、本機の電源を切ると、蓄積した文書はすべて削除されます。

参照

- ・RAM ディスクを有効にする方法：「9.3 RAM ディスクを使用するための設定（ART EX プリンタードライバー使用時）」(P. 226)

セキュリティープリント機能について

セキュリティープリントとは、コンピューター上で、プリントデータにセキュリティー（暗証番号を付ける）をかけてプリントを指示し、プリントデータを本機内に一時的に蓄積させたあと、操作パネルでプリントを開始する機能です。また、セキュリティーをかけないでプリントデータを本機に蓄積させることもできます。頻繁に使用する文書を本機に蓄積しておけば、コンピューターから何度もプリントを指示しなくても、本機側の操作だけでプリントできます。



補足

- ・プリント後にセキュリティープリントデータを削除するかどうかは、セキュリティープリントを指示する手順の中で選びます。「操作パネルでの操作」(P. 102)を参照してください。
- ・操作パネルの「セキュリティープリント操作」が「無効」に設定されている場合は、セキュリティープリントを実行できません。
- ・本機のプロパティダイアログボックスの「プリンター構成」タブ>「オプションの設定」>「オプションの設定」ダイアログボックスで、「暗証番号の最小桁数」を「1」以上に設定している場合は、暗証番号の入力が必要になります。

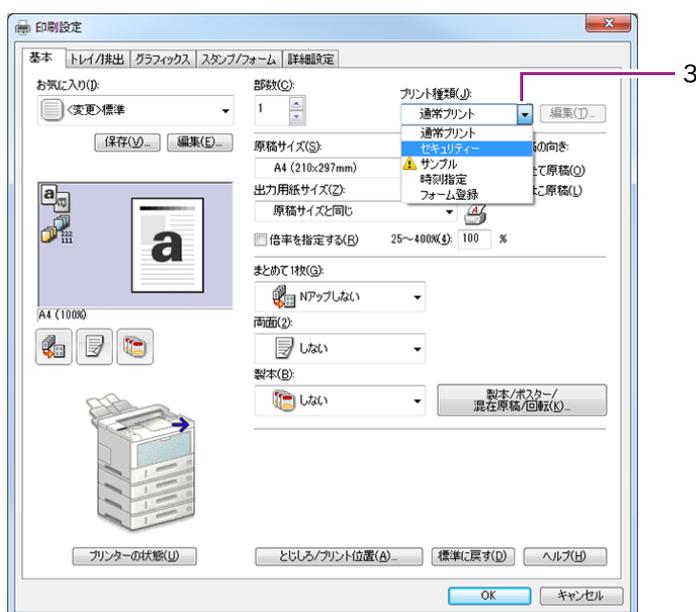
セキュリティープリントをする

まず、セキュリティープリントの設定をコンピューター側で行い、プリント指示をします。そのあと、本機側の操作でプリントします。

コンピューター側での操作

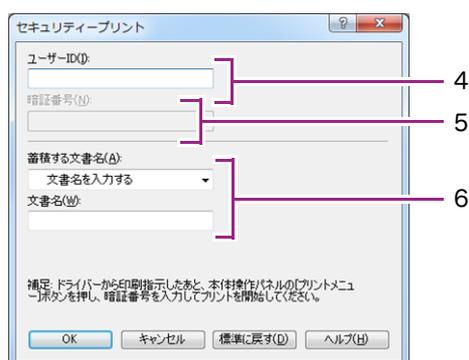
ここでは、Windows® 7 のワードパッドを例に説明します。

1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [基本] タブの [プリント種類] から、[セキュリティー] を選びます。



[セキュリティープリント] ダイアログボックスが表示されます。

4. [ユーザー ID] にユーザー ID を入力します。
ユーザー ID は、半角で 8 文字まで入力できます。



5. 暗証番号を付ける場合は、[暗証番号] に暗証番号を入力します。
半角数字で 12 文字まで入力できます。
6. [蓄積する文書名] から、[文書名を入力する]、または [文書名の自動取得] を選びます。
[文書名を入力する] を選んだ場合は、[文書名] に文書の名前を、12 バイト相当 (半角で 12 文字) で指定します。
[文書名の自動取得] の場合、文書名はプリントする文書名になります。ただし、文書名を本機が認識できない場合は、日付と時刻になります。

7. [OK] をクリックします。
8. [基本] タブで [OK] をクリックします。
9. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、プリントを実行します。
文書が本機内に蓄積されます。

操作パネルでの操作

セキュリティープリントによって、本機内に蓄積されているプリントデータをプリントする手順を説明します。

補足

- ・本機内に蓄積したセキュリティープリントデータを、プリントしないで削除する場合は、次の手順 8 のあと、[削除する] を選んでください。

1. 操作パネルの  (プリントメニュー) ボタンを押します。

プリントメニュー セキュリティープリント

2.  または  ボタンを押します。
ユーザー ID が表示されます。

ユーザー ID を選択 1001.12345678

3. 対象のユーザー ID が表示されるまで、 ボタンを押します。

補足

- ・ユーザー ID は、プリンタードライバーの [セキュリティー プリント] ダイアログボックスで設定した [ユーザー ID] が表示されます。

4.  または  ボタンを押します。
暗証番号を付けた場合は、暗証番号を入力する画面が表示されます。暗証番号を付けていない場合は、手順 6 に進みます。

暗証番号を入れ [OK] [0]

5.  ボタンでカーソルを移動させながら、  ボタンで暗証番号を入力します。

暗証番号を入れ [OK] [**7]

補足

- ・暗証番号は、プリンタードライバーの [セキュリティー プリント] ダイアログボックスで設定した [暗証番号] を入力します。[暗証番号] を設定していない場合は、操作パネルでの設定はありません。

6.  ボタンを押します。
文書名が表示されます。

文書を選択 1.Report

7. 対象の文書名が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

 補足

- ・ 文書名は、プリンタードライバーの [セキュリティープリント] ダイアログボックスで設定した [蓄積する文書名] が表示されます (12 バイトまで)。
- ・ 複数文書が格納されている場合は、[全ての文書] を選ぶこともできます。

8. 〈▶〉または ボタンを押します。
プリント後の処理を選ぶ画面が表示されます。

1.Report プリント後削除する

 補足

- ・ プリントをしないで削除する場合は、〈▼〉ボタンを押して、[削除する] を表示し、〈▶〉ボタン、 ボタンの順に押します。
- ・ プリント後も、データを本機に残しておく場合は、〈▼〉ボタンを押して、[プリント後削除しない] を表示し、手順9に進みます。

9. 〈▶〉または ボタンを押します。
部数を入力する画面が表示されます。

部数 1部

10. 〈▼〉ボタンを押して部数を設定し、〈▶〉または ボタンで選びます。
プリントを開始する画面が表示されます。

1.Report [OK] でプリント開始

11. ボタンを押します。
プリントが開始されます。

12.  〈プリントメニュー〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

5.7 出力結果を確認してからプリントする - サンプルプリント -

本機に、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合、またはRAMディスクが有効に設定されている場合、サンプルプリント機能を使用できます。

注記

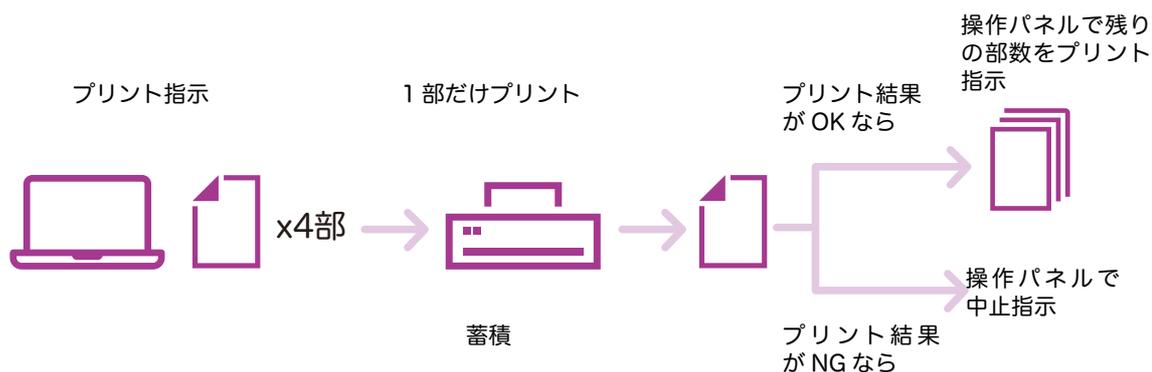
- ・ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上にも保存しておくことをお勧めします。
- ・RAMディスクを使用している場合、本機の電源を切ると、蓄積した文書はすべて削除されます。

参照

- ・RAMディスクを有効にする方法：「9.3 RAMディスクを使用するための設定（ART EX プリンタードライバー使用時）」(P. 226)

サンプルプリント機能について

サンプルプリントとは、複数部数をプリントする場合に、本機にプリントデータを蓄積し、まず1部だけプリントし、プリント結果を確認してから、残りの部数のプリント開始を操作パネルで指示する機能です。



補足

- ・不要になったサンプルプリントデータは、プリントする場合と同様の手順で削除できます。「操作パネルでの操作」(P. 106)を参照してください。

サンプルプリントをする

まず、サンプルプリントの設定をコンピューター側で行い、プリント指示をします。そのあと、本機側の操作でプリントします。

コンピューター側での操作

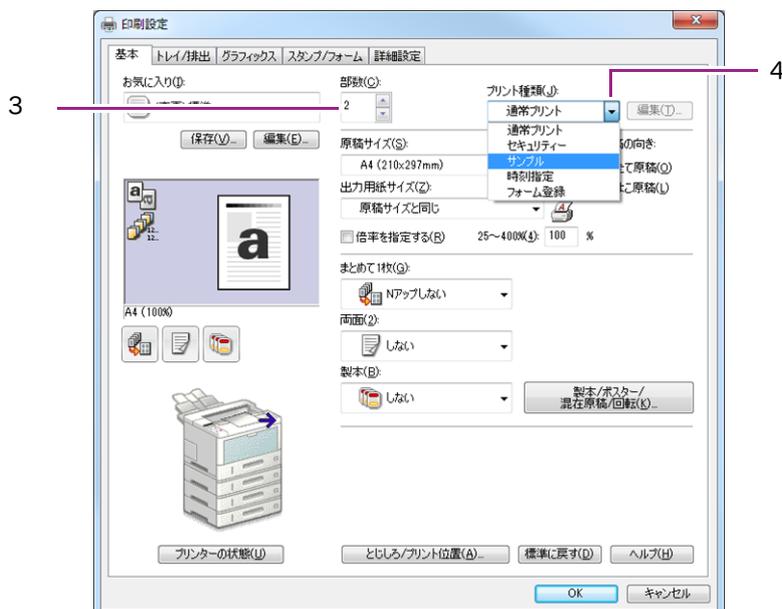
ここでは、Windows® 7のワードパッドを例に説明します。

1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [基本] タブで、[部数] を2部以上に設定します。

4. [プリント種類] から [サンプル] を選びます。

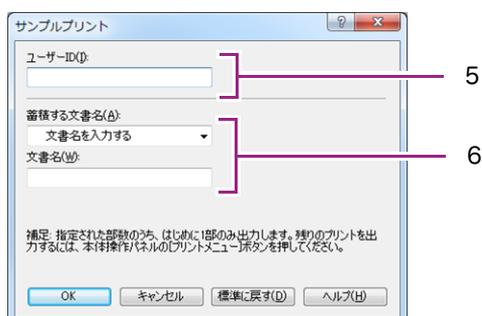
💡 補足

- ・ 印刷部数を 2 部以上に設定すると、[サンプル] が選べます。



[サンプルプリント] ダイアログボックスが表示されます。

5. [ユーザー ID] にユーザー ID を入力します。 ユーザー ID は、半角で 8 文字まで入力できます。



6. [蓄積する文書名] から、[文書名を入力する] または [文書名の自動取得] を選びます。 [文書名を入力する] を選んだ場合は、[文書名] に文書の名前を、12 バイト相当 (半角で 12 文字) で指定します。 [文書名の自動取得] の場合、文書名はプリントする文書名になります。ただし、文書名を本機が認識できない場合は、日付と時刻になります。

7. [OK] をクリックします。

8. [基本] タブで [OK] をクリックします。

9. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、プリントを実行します。

操作パネルでの操作

サンプルプリントによって、本機内に蓄積されているプリントデータをプリントする手順、および削除する手順を説明します。

1. 操作パネルの  〈プリントメニュー〉 ボタンを押します。

プリントメニュー
セキュリティプリント

2. [サンプルプリント] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

プリントメニュー
サンプルプリント

3. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
ユーザー ID が表示されます。

ユーザー ID を選択
2001.12345678

4. 対象のユーザー ID が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

補足

- ・ユーザー ID は、プリンタードライバーの [サンプルプリント] ダイアログボックスで設定した [ユーザー ID] が表示されます。

5. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
文書名が表示されます。

文書を選択
1.Report

6. 対象の文書名が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

補足

- ・文書名は、プリンタードライバーの [サンプルプリント] ダイアログボックスで設定した [蓄積する文書名] が表示されます (12 バイトまで)。
- ・複数文書が格納されている場合は、[全ての文書] を選ぶこともできます。

7. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
プリント後の処理を選ぶ画面が表示されます。

1.Report
プリントする

補足

- ・プリントをしないで削除する場合は、〈▼〉 ボタンを押して、[削除する] を表示し、〈▶〉 ボタン、 ボタンの順に押します。

8. 蓄積したデータをプリントする場合は、〈▶〉 または  ボタンを押します。
部数を入力する画面が表示されます。

部数
1部

9. ◀▼▶ ボタンを押して部数を設定し、▶▶ または [OK] ボタンを押します。
プリントを開始する画面が表示されます。

1.Report [OK] でプリント開始

 補足

- ・ 部数の初期値は、残りの部数が表示されます。

10. [OK] ボタンを押します。
プリントが開始されます。
11. ☰◀プリントメニュー▶ ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

5.8 指定した時刻にプリントする - 時刻指定プリント -

本機に、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合、または RAM ディスクが有効に設定されている場合、時刻指定プリント機能を使用できます。

注記

- ・ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上にも保存しておくことをお勧めします。
- ・RAM ディスクを使用している場合、本機の電源を切ると、蓄積した文書はすべて削除されます。

参照

- ・RAM ディスクを有効にする方法：「9.3 RAM ディスクを使用するための設定（ART EX プリンタードライバー使用時）」(P. 226)

時刻指定プリント機能について

時刻指定プリントとは、あらかじめ本機にプリントデータを蓄積しておき、設定した時刻に自動的にプリントする機能です。

蓄積できるプリントデータは、100 ジョブまでです。

注記

- ・時刻指定プリントを設定している場合は、本機の電源を切らないでください。ハードディスクを使用しているときに、指定したプリント時刻より前に本機の電源を切った場合、指定時刻が過ぎたジョブは、次に本機の電源を入れた直後に自動的にプリントされます。RAM ディスクを使用している場合には、本機の電源を切ると、蓄積しているプリントデータは消去され、再び本機の電源が入ってもプリントされません。

補足

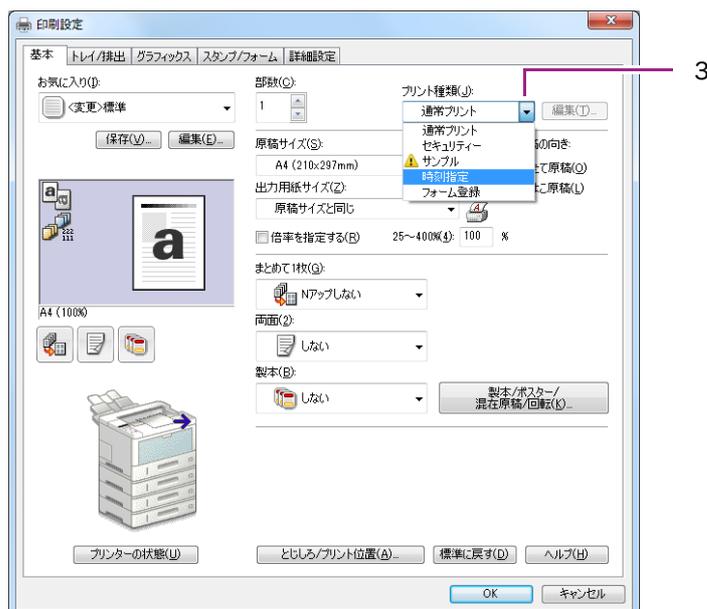
- ・この機能で指定できる時刻は、プリント指示をしたときから 24 時間以内です。

時刻指定プリントをする

ここでは、Windows® 7 のワードパッドを例に説明します。

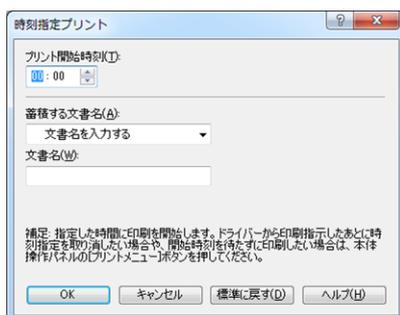
1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選びます。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。

3. [基本] タブで、[プリント種類] から [時刻指定] を選びます。



[時刻指定プリント] ダイアログボックスが表示されます。

4. プリントを開始する時刻を設定します。



💡 補足

- ・時刻は、24 時間制です。

5. [蓄積する文書名] から、[文書名を入力する] または [文書名の自動取得] を選びます。
[文書名を入力する] を選んだ場合は、[文書名] に文書の名前を、12 バイト相当 (半角で 12 文字) で指定します。

[文書名の自動取得] の場合、文書名はプリントする文書名になります。ただし、文書名を本機が認識できない場合は、日付と時刻になります。

6. [OK] をクリックします。

7. [基本] タブで [OK] をクリックします。

8. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、プリントを実行します。
指定した時刻になると、プリントが開始されます。

時刻指定プリントを中止する

時刻指定プリントを中止したい場合や、指定した時刻を無視してプリントしたいときは、操作パネルで操作します。

1. 操作パネルの  〈プリントメニュー〉 ボタンを押します。

プリントメニュー
時刻指定プリント

2. [時刻指定プリント] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

プリントメニュー
時刻指定プリント

3. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
文書名が表示されます。

文書を選択
1.Report

4. 対象の文書名が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

補足

- ・ 文書名は、プリンタードライバーの [時刻指定プリント] ダイアログボックスで設定した [蓄積する文書名] が表示されます (12 バイトまで)。

5. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
すぐにプリントするか、プリントしないで削除するかを選ぶ画面が表示されます。

1.Report
すぐにプリントする

補足

- ・ 蓄積したデータをプリントしないで削除する場合は、〈▼〉 ボタンを押して、[削除する] を表示し、〈▶〉 ボタン、 ボタンの順に押します。

6. すぐにプリントする場合は、〈▶〉 または  ボタンを押します。
プリントを開始させる画面が表示されます。

1.Report
[OK] でプリント開始

7.  ボタンを押します。
プリントが開始されます。

8.  〈プリントメニュー〉 ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

5.9 プライベートプリント

本機に、IC カード読み取り装置（オプション）、および機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合、プライベートプリント機能を使用できます。

注記

- ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上にも保存しておくことをお勧めします。

プライベートプリント機能について

プライベートプリントとは、コンピューターからプリントを指示したデータを本機内に一時的に蓄積させたあと、プリントしたいときに IC カードで認証することでプリントする機能です。

コンピューターからプリントを指示したデータは、認証用ユーザー ID ごとに保存され、IC カードの認証情報と一致したユーザーの文書がプリントできます。

補足

- 本機に IC カード読み取り装置を接続する場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご相談ください。
- 認証機能には、本機に登録されたユーザー ID などの認証情報を使用する本体認証と、外部の認証サーバーと連携した外部認証があります。認証機能をご利用になる場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご相談ください。
- IC カード読み取り装置を接続した場合、それまで本機に蓄積されていた、セキュリティープリントおよびサンプルプリントのデータは使用できなくなることがあります。IC カード読み取り装置を接続する前に、プリント、または削除してください。
- 複製管理またはペーパーセキュリティを使用したジョブでも、操作パネルの [プリントメニュー] > [強制印字解除プリント] を選ぶと、これらの機能を解除してプリントできます。これは、強制印字の一時解除権限を持つユーザーだけができます。ユーザーへの強制印字の一時解除権限の設定方法については、「権限グループの登録とユーザーとの関連づけ」(P. 244) をご覧ください。また、複製管理、ペーパーセキュリティ機能については、「複製管理機能について」(P. 230) を参照してください。
- プライベートプリント機能を設定した場合、プリンタードライバーから通常のプリント、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントは使用できなくなります。

プライベートプリントをするための設定

本機側の設定

プライベートプリントは、操作パネルの [機械管理者メニュー] > [システム設定] > [認証の設定] で、次のどれかを設定している場合に表示されます。

- [認証プリントの設定] > [受信制御] を [プライベートプリント保存] に設定。
- [認証方式の設定] を [外部認証]、[認証プリントの設定] > [受信制御] を [プリントの認証に従う]、[認証プリントの設定] > [ジョブ認証時の処理] > [認証成功のジョブ] を [プライベートプリント保存] に設定。
- [認証プリントの設定] > [ジョブ認証時の処理] > [PJL なしのジョブ] > [User ID があれば利用] を [プライベートプリント保存] に設定。

参照

- 「認証プリントの設定」(P. 186)

プリンタードライバーでの設定

プライベートプリントを使用するには、プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの「プリンター構成」タブ>「認証設定」>「認証管理」ダイアログボックスで、ユーザー ID の設定が必要です。このユーザー ID が認証情報と一致しないとプリントできません。

各項目に設定する内容や設定方法の詳細は、システム管理者にご相談ください。

プライベートプリントをする

プライベートプリントによって、本機内に蓄積されているプリントデータは、IC カードをタッチするだけでプリントできます。

1. 操作パネルに「プリントできます」が表示されている状態で、IC カードをタッチし、認証します。

プリントできます
トナー残量 ↓

認証に成功すると、自動的に認証ユーザーの文書がプリントされます。

プリントしています

プリントデータを削除する

プライベートプリントによって、本機内に蓄積されているプリントデータを削除する手順を説明します。

1. 操作パネルの  「プリントメニュー」 ボタンを押します。

プリントメニュー
プライベートプリント

2. 「プライベートプリント削除」が表示されるまで、 ボタンを押します。

プリントメニュー
プライベートプリント削除

3.  または  ボタンを押します。
右の画面が表示されます。

ICカードで認証してください

4. IC カードをタッチして認証します。
認証に成功すると、文書名が表示されます。

削除する文書を選択
1.Report

5. 対象の文書名が表示されるまで、 ボタンを押します。

補足

- ・複数文書が格納されている場合は、[全ての文書] を選ぶこともできます。

6.  または  ボタンを押します。
削除を開始する画面が表示されます。

1.Report
[OK] で削除開始

7.  ボタンを押します。
プリントデータが削除されます。

8.  「プリントメニュー」 ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

5.10 認証プリント

本機に、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合、または RAM ディスクが有効に設定されている場合、認証プリント機能を使用できます。

注記

- ・ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上にも保存しておくことをお勧めします。
- ・RAM ディスクを使用している場合、本機の電源を切ると、蓄積した文書はすべて削除されます。

参照

- ・RAM ディスクを有効にする方法：「9.3 RAM ディスクを使用するための設定（ART EX プリンタードライバー使用時）」(P. 226)

認証プリントについて

認証プリントとは、本機に IC カード読み取り装置を接続している場合に、IC カードによって本機にユーザーを認証させることにより、不正なプリントを防ぐ機能です。

操作パネルの [機械管理者メニュー] > [システム設定] > [認証の設定] > [認証プリントの設定] > [受信制御] が [認証プリントに保存] に設定されている場合、コンピューターからプリントを指示したデータは、蓄積用ユーザー ID ごとに本機内に一時的に保存されます。蓄積用ユーザー ID が設定されていないデータは、「No User ID」として保存されます。保存されたデータは、プリントしたいときに本機側での操作でプリントできます。

補足

- ・プライベートプリントには保存できない、ユーザー ID なしのジョブ（ContentsBridge、CentreWare Internet Services を使用したプリント、メール受信プリントなど）も保存できるため、ユーザー ID なしのジョブも認証してプリントできます。
- ・本機に IC カード読み取り装置を接続する場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご相談ください。
- ・認証機能には、本機に登録されたユーザー ID などの認証情報を使用する本体認証と、外部の認証サーバーと連携した外部認証があります。認証機能をご利用になる場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご相談ください。
- ・IC カード読み取り装置を接続した場合、それまで本機に蓄積されていた、セキュリティープリントおよびサンプルプリントのデータは使用できなくなることがあります。IC カード読み取り装置を接続する前に、プリント、または削除してください。

認証プリントをするための設定

本機側の設定

認証プリントは、操作パネルの [機械管理者メニュー] > [システム設定] > [認証の設定] > [認証プリントの設定] で、次のどれかを設定している場合に表示されます。

- ・[受信時の PJI 命令] を [制御する] に設定。
- ・[受信時の PJI 命令] を [制御しない]、[受信制御] を [認証プリントに保存] に設定。
- ・[受信時の PJI 命令] を [制御しない]、[認証方式の設定] を [認証しない]、[受信制御] を [プリントの認証に従う] に設定し、[認証が不正のジョブ] を [認証プリントに保存]、または [UserID なしのジョブ] を [認証プリントに保存] に設定。
- ・[受信時の PJI 命令] を [制御しない]、[受信制御] を [プライベートプリント保存]、[UserID なしのジョブ] を [認証プリントに保存] に設定。
- ・[PJI なしのジョブ] を [UserID があれば利用]、[UserID 利用時の動作] を [認証プリントに保存] に設定。



・「認証プリントの設定」(P. 186)

プリンタードライバーでの設定

プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの [プリンター構成] タブ > [認証設定] > [認証管理] ダイアログボックスで、蓄積用ユーザー ID を設定します。また、自分の文書を自分以外の人に操作させたくない場合は、蓄積用ユーザー ID に加えて、暗証番号も設定しておく必要があります。

認証プリントをする

ここでは、認証プリントによって、本機内に蓄積されているプリントデータをプリントする手順を説明します。

1. 操作パネルの (プリントメニュー) ボタンを押します。

プリントメニュー
セキュリティプリント

2. [認証プリント] が表示されるまで ボタンを押します。

プリントメニュー
認証プリント

3. または ボタンを押します。
本機に IC カード読み取り装置を接続している場合は、右の画面が表示されます。IC カードをタッチして認証します。
認証に成功すると、手順 4 の画面が表示されます。手順 4 に進みます。
IC カード読み取り装置を接続していない場合は、右の画面は表示されません。手順 4 に進みます。

IC カードで認証してください

4. 対象のユーザー ID が表示されるまで、 ボタンを押します。

ユーザー ID を選択
7001.(no userID)

補足

・蓄積用ユーザー ID が設定されていない文書をプリントする場合は、ユーザー ID で (no userID) を選びます。

ユーザー ID を選択
7002.12345678

5. または ボタンを押します。
暗証番号を設定している場合は、右の画面が表示されます。手順 6 に進んでください。
暗証番号を設定していない場合は、文書を選ぶ画面が表示されます。手順 8 に進んでください。

暗証番号を入力 [OK]
[0]

6. ボタンでカーソルを移動させながら、 ボタンで暗証番号を入力します。

暗証番号を入力 [OK]
[**7]

7. **OK** ボタンを押します。
文書名が表示されます。

文書を選択 1.Report

8. 対象の文書名が表示されるまで、**▼** ボタンを押します。

補足

- ・ 特定のユーザー ID に複数文書が格納されている場合は、[全ての文書] を選ぶこともできます。

9. **▶** または **OK** ボタンを押します。
プリント後の処理を選ぶ画面が表示されます。

1.Report プリント後削除する

補足

- ・ プリントをしないで削除する場合は、**▼** ボタンを押して [削除する] を表示し、**▶** ボタン、**OK** ボタンの順に押します。
- ・ プリント後もデータを本機に残しておく場合は、**▼** ボタンを押して [プリント後削除しない] を表示し、手順 10 に進みます。

10. **▶** または **OK** ボタンでを押します。
部数を入力する画面が表示されます。

部数 1部

11. **▼** ボタンを押して部数を設定し、**▶** または **OK** ボタンを押します。
プリントを開始する画面が表示されます。

1.Report [OK] でプリント開始

12. **OK** ボタンを押します。
プリントが開始されます。

13. **≡** (プリントメニュー) ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

6 プリント（プリンタードライバーを使用しない場合）

6.1 PDF ファイルを直接プリントする

本機では、プリンタードライバーを使用しないで、PDF ファイルを直接本機に送信して、プリントできます。プリンタードライバーを使用してプリントするときよりも簡単で高速にプリントされます。

また、PDF ファイルを直接プリントする場合、本機が標準で搭載している PDF Bridge 機能を使用するモードと PostScript[®] 機能（オプション）を使用するモードを選べます。

操作パネルの [PDF] の [プリント処理モード] で、PDF ファイルのプリント処理モードを設定してください。

補足

- ・ PostScript[®] 機能を使用するには、PostScript ソフトウェアキット（オプション）が必要です。

参照

- ・「[PDF]」(P. 213)

PDF ファイルを直接プリントする方法

PDF ファイルを直接プリントするには、いくつかの方法があります。

注記

- ・ USB を使用して PDF ファイルを直接プリントするときは、ContentsBridge Utility を使用してください。

ContentsBridge Utility を使用する

ContentsBridge Utility は、コンピューター上のファイルを直接本機に送ってプリントするための富士ゼロックス株式会社製ソフトウェアです。

ContentsBridge Utility はメディア（「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスク）に収録されています。

補足

- ・ ContentsBridge Utility を使用すると、PDF ファイル以外に、DocuWorks ファイル、TIFF ファイル、JPEG ファイル、XML Paper Specification (XPS) ファイルをプリントできます。

CentreWare Internet Services からプリントする

CentreWare Internet Services の [プリント] タブから、PDF ファイルを指定して、本機に直接、プリントを指示できます。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

補足

- ・ 本機能を使用するには、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が必要です。
- ・ CentreWare Internet Services を使用すると、PDF ファイル以外に、DocuWorks ファイル、TIFF ファイル、JPEG ファイル、XML Paper Specification (XPS) ファイルをプリントできます。

メールに添付してプリントする

PDF ファイルをメールに添付して、本機あてにメールを送信し、プリントします。詳しくは、「6.3 電子メールを使ってプリントする - メール受信プリント -」(P. 120) を参照してください。

補足

- ・本機能を使用するには、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が必要です。

lpr コマンドなどを使って直接本機に送信する

PDF ファイルを lpr コマンドなどを使って直接本機に送信します。この場合、次の項目は操作パネルの [PDF] の設定に従ってプリントされます。

- ・プリント処理モード
- ・両面
- ・印刷モード
- ・用紙サイズ
- ・パスワード
- ・ソート
- ・レイアウト

参照

- ・「[PDF]」(P. 213)

補足

- ・[プリント処理モード] は、オプションの PostScript ソフトウェアキットが取り付けられている場合に表示されます。
- ・[レイアウト] は、[プリント処理モード] で [PS] が選択されている場合は表示されません。

lpr コマンドを使って PDF ファイルをプリントする場合の、コンピューター側の指定例は次のとおりです。

補足

- ・空白（スペース）は、△で表します。

指定例

コマンドプロンプトから、次のようにコマンドを入力し、〈Enter〉キーを押します。

例：本機の IP アドレスが 192.0.2.1 で、event.pdf ファイルをプリントする

```
C:\>lpr △ -S △ 192.0.2.1 △ -P △ lp △ event.pdf
```

6.2 DocuWorks ファイルを直接プリントする

プリンタードライバーを使用しないで、DocuWorks ファイルを直接本機に送信して、プリントできます。プリントデータが直接本機に送信されるので、プリンタードライバーを使用してプリントするときよりも簡単に高速にプリントされます。

DocuWorks ファイルを直接プリントする方法

DocuWorks ファイルを直接プリントするには、いくつかの方法があります。

注記

- ・ USB を使用して DocuWorks ファイルを直接プリントするときは、ContentsBridge Utility を使用してください。

ContentsBridge Utility を使用する

ContentsBridge Utility は、コンピューター上のファイルを直接本機に送ってプリントするための富士ゼロックス株式会社製ソフトウェアです。

ContentsBridge Utility はメディア（「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスク）に収録されていません。

補足

- ・ ContentsBridge Utility を使用すると、DocuWorks ファイル以外に、PDF ファイル、TIFF ファイル、JPEG ファイル、XML Paper Specification (XPS) ファイルをプリントできます。

CentreWare Internet Services からプリントする

CentreWare Internet Services の [プリント] タブから、DocuWorks ファイルを指定して、本機に直接、プリントを指示できます。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

補足

- ・ 本機能を使用するには、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が必要です。
- ・ CentreWare Internet Services を使用すると、DocuWorks ファイル以外に、PDF ファイル、TIFF ファイル、JPEG ファイル、XML Paper Specification (XPS) ファイルをプリントできます。

メールに添付してプリントする

DocuWorks ファイルをメールに添付して、本機あてにメールを送信し、プリントします。詳しくは、「6.3 電子メールを使ってプリントする - メール受信プリント -」(P. 120)を参照してください。

補足

- ・本機能を使用するには、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が必要です。

lpr コマンドなどを使って直接本機に送信する

DocuWorks ファイルを lpr コマンドなどを使って直接本機に送信します。この場合、次の項目は操作パネルの [XDW(DocuWorks)] の設定に従ってプリントされます。

- ・両面
- ・印刷モード
- ・パスワード
- ・ソート
- ・レイアウト
- ・用紙サイズ

参照

- ・「[XDW (DocuWorks)]」(P. 217)

lpr コマンドを使って DocuWorks ファイルをプリントする場合の、コンピューター側の指定例は次のとおりです。

補足

- ・空白（スペース）は、△で表します。

指定例

コマンドプロンプトから、次のようにコマンドを入力し、〈Enter〉キーを押します。

例：本機の IP アドレスが 192.0.2.1 で、Report.xdw ファイルをプリントする

```
C:\>lpr △ -S △ 192.0.2.1 △ -P △ lp △ Report.xdw
```

6.3 電子メールを使ってプリントする - メール受信プリント -

本機に機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている状態で、ネットワークに接続され、TCP/IP での通信、およびメールの受信ができる環境がある場合は、コンピューターや携帯電話などから本機あてにメールを送信したり、転送したりできます。受信したメールは、本機の設定に応じて自動的にプリントされます。

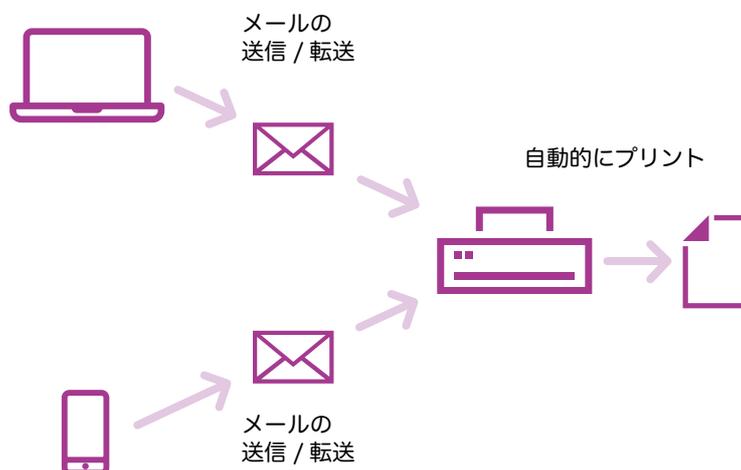
この機能を「メール受信プリント」といいます。

❗ 注記

- ・ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上にも保存しておくことをお勧めします。

💡 補足

- ・添付できる文書は、TIFF 形式、PDF 形式、JPEG（JFIF）形式、XML Paper Specification（XPS）形式、XDW 形式（DocuWorks 文書）、XBD 形式（DocuWorks バインダー文書）です。



メール受信プリントをするための環境設定

メール受信プリント機能を使用するためには、お使いのネットワーク環境にある各種サーバー（SMTP サーバーや POP3 サーバーなど）にも設定が必要です。

ネットワーク環境の設定

- ・メールアカウントの登録

メール環境の設定（本機側）

メール環境に合わせて、CentreWare Internet Services の [プロパティ] で、次の項目を設定します。

補足

- ・ 設定後は、必ず [新しい設定を適用] をクリックしてから本機の電源を切り、入れ直してください。
- ・ 各項目の詳細については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

*：初期値

オン：チェックボックスがチェックされている状態

オフ：チェックボックスがチェックされていない状態

項目	設定項目	説明	設定値	受信プロトコルによる設定の必要	
				SMTP	POP3
本体説明	管理者メールアドレス	インターネットサービスの管理者メールアドレスを設定します。	英数字と「@」、「.」、「-」、「_」で、128 バイト以内	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	本体メールアドレス	本機のメールアドレスを設定します。ここで設定したメールアドレスが、メールの [From] 欄に表示されます。			
ネットワーク設定>ポート起動	メール受信	チェックを付けます。	-	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ネットワーク設定>プロトコル設定>TCP/IP	ホスト名	本機のホスト名を設定します。ホスト名は、DNS の動的更新で使用されます。	英数字と「-」で、32 バイト以内	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	ドメイン名	DNS ドメイン名を設定します。	英数字と「.」、「-」、で、255 バイト以内	<input type="radio"/>	-
	DHCP からアドレスを取得 / DHCPv6-lite からアドレスを取得	IPv4 用 DNS サーバーアドレス / IPv6 用 DNS サーバーアドレスを自動的に取得する場合は、[有効] にチェックを付けます。	IPv4 用： ・ オフ：手動 ・ オン：DHCP* IPv6 用： ・ オフ：手動 ・ オン：DHCPv6-lite	<input type="radio"/>	-
	DNS サーバーアドレス 1 ~ 3	IPv4 用 / IPv6 用の DNS サーバーアドレスを設定します。	IPv4 用： xxx.xxx.xxx.xxx IPv6 用：IPv6-addr 形式	<input type="radio"/>	-
	DNS の動的更新 (IPv4/IPv6)	IPv4 用 / IPv6 用 DNS を動的に更新する場合は [する] に、また上書きする場合は [上書きする] にチェックを付けます。	・ する ・ 上書きする *	<input type="radio"/>	-

項目	設定項目	説明	設定値	受信プロトコルによる設定の必要	
				SMTP	POP3
ネットワーク設定>プロトコル設定>TCP/IP	ドメイン検索リストの自動作成	ドメイン検索リストを自動作成する場合は、[する]にチェックを付けます。	・オン：自動作成する* ・オフ：自動作成しない	○	-
	検索ドメイン名 1～3	検索するドメイン名を指定します。	英数字と「.」、 「-」、で、255 バイト以内	○	-
	タイムアウト	ドメインを検索する場合のタイムアウト時間を設定します。	1～60秒 1秒*	○	-
	DNS名前解決のIPv6優先	デュアルスタックモード時にIPv6用DNSの名前解決を優先する場合は、[する]にチェックを付けます。	・オン：優先する* ・オフ：優先しない	○	-
サービス設定>メール>一般>送信者アドレス>編集	受信プロトコル	メールの受信方法を設定します。	・SMTP ・POP3*	○	○
	受信メールシートのプリント	受信したメールの添付文書と共に、電子メールのヘッダーと本文をプリントする場合に設定します。電子メールの受信経路などをプリントしたいときは[ヘッダーすべてと本文をプリント]に設定します。	・しない(添付文書のみ印刷) ・本文がなければプリントしない ・ヘッダーの一部と本文をプリント* ・ヘッダーすべてと本文をプリント	○	○
	送達確認メールの自動プリント	配達確認のメールをプリントするかどうかを設定します。	・しない ・する* ・不達時のみプリントする	○	○
ネットワーク設定>プロトコル設定>POP3	POP3サーバーIPアドレス(ホスト名)とポート番号	メール受信用のPOP3サーバーのIPアドレス、IPv6-addr形式、またはFQDN(Fully Qualified Domain Name)を設定します。 また、POP3サーバーで使用しているポート番号を設定します。	英数字と「.」、 「-」で、128バイト以内 1～65535	-	○
	POP受信パスワードの暗号化	POP受信の認証にAPOPを使用する場合は、[APOP認証]にチェックを付けます。	・オフ：使用しない* ・オン：使用する	-	○
	POPユーザー名	POP3サーバーに接続するためのユーザー名を設定します。1ユーザーだけ設定できます。	ASCII 図形文字(コード番号33～126の文字)で、64バイト以内	-	○

項目	設定項目	説明	設定値	受信プロトコルによる設定の必要	
				SMTP	POP3
ネットワーク設定 ＞プロトコル設定 ＞POP3	POP ユーザーパスワード	POP ユーザー名に対するパスワードを設定し、[POP ユーザーパスワードの確認入力]にもう一度パスワードを入力します。	ASCII 印字可能文字 (ASCII 図形文字にスペースを加えたコード番号 32 ~ 126 の文字) で、64 バイト以内	-	○
	POP3 サーバー確認間隔	POP3 サーバーにメールを確認する間隔を設定します。	1 ~ 120 分 10 分 *	-	○
ネットワーク設定 ＞プロトコル設定 ＞SMTP ＞一般	SMTP サーバー IP アドレス (ホスト名)	<p>メール受信用の SMTP サーバーの IP アドレス、IPv6-addr 形式、または FQDN (Fully Qualified Domain Name) を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> IPv4 の場合、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は 0 ~ 255 の間の数値です。 IPv6 の場合、xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:x:xxxx:xxxx の形式で入力します。xxxx は 16 進数です。 入力を間違えたときは、〈C (クリア)〉ボタンを押して、再入力してください。 	英数字と「.」、 「-」で、128 バイト以内	○	-
	送信ポート番号 (メール)	SMTP サーバーで使用している送信用のポート番号を設定します。	1 ~ 65535	○	○
	受信ポート番号	SMTP サーバーで使用している受信用のポート番号を設定します。	1 ~ 65535	○	-
	SMTP-SSL/TLS 通信	SSL/TLS 通信の接続方法について設定します。	<ul style="list-style-type: none"> 無効 STARTTLS 接続 (利用可能時) STARTTLS 接続 SSL/TLS 接続 	○	-

項目	設定項目	説明	設定値	受信プロトコルによる設定の必要	
				SMTP	POP3
ネットワーク設定 設定>プロトコル 設定>SMTP >一般	本体メールアドレス	本機のメールアドレスを設定します。 SMTP 受信の場合、アカウント (@ マークの左側) は、任意の名称を設定できます。アドレス部 (@ マークの右側) には、ホスト名とドメイン名を組み合わせたものを設定します。エイリアスは設定できません。 ・ アカウント名 : mymail ・ ホスト名 : myhost ・ ドメイン名 : example.com の場合、メールアドレスは、mymail@myhost.example.com となります。	メールアドレスとして登録可能な文字で、128 バイト以内	○	-
	SMTP 送信の認証	SMTP 送信時の認証方法を設定します。	・ 利用しない * ・ POP before SMTP ・ SMTP AUTH	○	-
	SMTP AUTH-ログイン名	認証が必要な SMTP サーバーの場合、認証用のユーザー名を設定します。	ASCII 図形文字 (コード番号 33 ~ 126 の文字) で、64 バイト以内	○	-
	SMTP AUTH-パスワード	SMTP サーバーの認証用パスワードを設定します。	ASCII 印字可能文字 (ASCII 図形文字にスペースを加えたコード番号 32 ~ 126 の文字) で、64 バイト以内	○	-

メールを受信する

受信できる添付ファイル

本機が受信できるメールの添付文書は、次のとおりです。

- ・ PDF ファイル
- ・ TIFF ファイル
- ・ XML Paper Specification (XPS) ファイル
- ・ JPEG (JFIF) ファイル
- ・ DocuWorks ファイル

メールを受信する

ここでは、本機がコンピューターからメールを受信する方法を説明します。

1. お使いのメールソフトウェアで本文を作成し、添付文書がある場合は添付します。

補足

- ・メール本文には、テキスト形式および HTML 形式を使用できます。HTML 形式の場合は、テキスト部分のみプリントされます。なお、HTML 形式でもテキスト部分が送信されない場合、本文はプリントされません。
- ・添付ファイルの拡張子が「.tif」、「.tiff」、「.pdf」、「.jpeg」、「.jpg」、「.jpe」、「.jfif」、「.xps」、「.xdw」、「.xbd」以外の場合は、正しくプリントされないことがあります。
- ・添付ファイルの拡張子が「.txt」の場合は、Content-Type に「text/plain」が指定され、charset に「us-ascii」または「iso-2022-jp」が指定されているときだけ、プリントされます。
- ・添付ファイルの拡張子は、大文字 / 小文字の区別はされません。
- ・最大 31 文書まで添付できます。
なお、本機でプリントできない形式の文書は、添付文書数にカウントされません。

参照

- ・ Web メールの場合、送信方法によっては正しくプリントされないことがあります。詳しくは、「メール受信プリント / メール通知サービス機能使用時のトラブル」(P. 307) を参照してください。

2. あて先に本機のメールアドレスを入力します。

3. メールを送信します。

ジョブ属性を指定してメール受信プリントをする

コンピューターや携帯電話などから、本機にメールを送信または転送するときにジョブ属性を指定すると、用紙サイズなどを設定してメール受信プリントできます。

設定できるジョブ属性、項目、およびその指定方法は、次のとおりです。

ジョブ属性	指定できる項目	指定方法
両面 / 片面	片面	simp
	両面 (長辺とじ)	dup
	両面 (短辺とじ)	tumble
N-up ^{*1 *2} (まとめて一枚)	1 アップ ^{*3}	1up
	2 アップ	2up
	4 アップ	4up

ジョブ属性	指定できる項目	指定方法
用紙サイズ	A3	a3
	B4	b4
	A4	a4
	B5	b5
	レター (8.5 × 11")	letter
	リーガル	legal

*1 添付文書の拡張子が「.pdf」の文書は、操作パネルの [PDF] > [プリント処理モード] を [PS] に設定している場合、N-up 指定は無効となります。1 アップ以外を指定しても 1 アップでプリントされます。

*2 メールヘッダー、メール本文、および添付文書の拡張子が「.txt」の場合、指定は無効となります。

*3 [1 アップ] を指定した場合は、出力サイズにプリント内容が収まるように原稿を自動的に拡大縮小してプリントされます。

補足

- ・ 本文と添付文書のジョブ属性は、個別に設定できません。転送メールの場合、本文とその添付文書、転送メールの本文とその添付文書のジョブ属性を個別に設定できません。添付文書は本文の設定に従ってプリントされます。
- ・ 原稿サイズと用紙サイズが異なる場合、添付ファイルの種類により、拡大縮小されるものとされないものがあります。

1. お使いのメールソフトウェアで本文を作成し、添付文書がある場合は添付します。
2. メールの件名の前に「@@ ジョブ属性 @@」と入力します。
3. ジョブ属性を複数指定する場合は、カンマ (,) で区切り、「@@ ジョブ属性 (, ジョブ属性) (, ジョブ属性) @@」と入力します。

指定例

メールの件名に次のように入力します。

例：件名が「参考資料」で、モノクロ、両面（長辺とじ）、2up でプリントする

@@mono,dup,2up@@ 参考資料

補足

- ・ ジョブ属性を指定するときに、大文字、小文字の区別はありません。
- ・ ジョブ属性、カンマ (,)、およびアットマーク (@) は、半角を使用してください。

参照

- ・ メール本文のプリントは、CentreWare Internet Services の [受信メールシートのプリント] でも設定できます。設定方法については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

4. メールの件名を確認し、送信します。

補足

- ・ ジョブ属性を件名のあとに入力したり、本機がサポートしていないジョブ属性を指定したり、ジョブ属性を指定しないでメールを送信した場合、メール本文と添付文書は、次の設定でプリントされます。定義されたジョブ属性以外の文字列が指定された場合も、次の設定でプリントされます。
 - TIFF、または JPEG 形式の添付文書：CentreWare Internet Services の [エミュレーション設定] にある、[TIFF/JPEG] の [使用するメモリー設定] で設定されている論理プリンターの設定値。
 - PDF 形式の添付文書：操作パネルの [PDF] の設定値。ただし、操作パネルの [PDF] の [プリント処理モード] を [PS] に設定していて、CentreWare Internet Services の [エミュレーション設定] にある [PostScript] のデフォルト論理プリンターを設定している場合は、論理プリンターの設定値が操作パネルの [PDF] の設定値に優先して適用されます。
 - XML Paper Specification (XPS) ファイルの添付文書：XML Paper Specification (XPS) に含まれる PrintTicket の設定（操作パネルの [XPS] の設定によって動作は異なります）
 - XDW、または XBD 形式の添付文書：操作パネルの [XDW (DocuWorks)] で設定されている設定値。

メールを手動で受信してプリントする

本機では、メールを受信すると自動的にプリントされますが、操作パネルから手動でメールを受信し、プリントすることもできます。(POP メール受信時のみ)

💡 補足

- ・ この機能はオプションの機能拡張キット（ハードディスク）が装着され、CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [ネットワーク設定] > [ポート起動] > [メール受信] が [起動] に、[プロパティ] > [メール設定] > [受信プロトコル] が [POP3] に設定されている場合に使用できます。

1. 操作パネルの  〈プリントメニュー〉 ボタンを押します。

プリントメニュー
セリフ印プリント

2. [メール受信プリント] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

プリントメニュー
メール受信プリント

3. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
受信を開始させる画面が表示されます。

メール受信プリント
[OK] で受信開始

4.  ボタンを押します。
メールの受信が始まります。受信後、文書がプリントされます。

メール受信プリントを
受け付けました

5. プリントが終わると、自動的にプリント画面に戻りません。

プリントできません
トナー残量 

メールによる文書送信時のご注意

ドメインによる受信制限

本機では、特定のドメインからのメールだけを受信するように設定できます。

ドメインによる受信制限の設定方法については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

6.4 プリントを中止する

プリントを中止する

本機でプリント中 / 受信中のデータのプリントを中止する

操作パネルの  〈プリント中止〉 ボタンを押します。ただし、プリント中のページはプリントされます。

本機で受信したすべてのデータのプリントを中止する

大量の文書をプリント指示してしまった場合は、次の方法で、一度にすべてのデータのプリントを中止してください。

1. 操作パネルで  〈オンライン〉 ボタンを押します。
ディスプレイに [オフライン] と表示されます。

オフライン
 データあり

2.  〈プリント中止〉 ボタンを押します。
中止の処理が開始され、完了すると、ディスプレイに [オフライン] と表示されます。

すべてのデータを
中止しています

オフライン

3.  〈オンライン〉 ボタンを押します。
プリント画面に戻ります。

プリントできます
トナー残量 

7 スマートフォン／タブレットからのプリント

7.1 本機をスマートフォン／タブレットと接続する

スマートフォン／タブレットなどのモバイル機器を本機に接続し、文書、写真、ウェブページやメールなどを素早く簡単にプリントできます。

次のいずれかの方法で、本機をスマートフォン／タブレットと接続します。

- ・Wi-Fi 接続
本機とスマートフォン／タブレットを無線 LAN アクセスポイント経由で接続します。
- ・Wi-Fi Direct 接続
無線 LAN アクセスポイントを経由せず、本機とスマートフォン／タブレットを直接接続します。

補足

- ・ NFC (オプション) も利用できます。NFC 機能の詳細については、弊社公式サイトをご覧ください。

Wi-Fi で接続する

本機の設定

1. 本機が無線 LAN に接続されていることを確認します。

参照

- ・ 接続方法については、「無線 LAN で接続する (P.21)」を参照してください。

スマートフォン／タブレットの設定

補足

- ・ 操作方法はスマートフォン／タブレットの機種によって異なります。詳しくは、お使いのスマートフォン／タブレットの取扱説明書を参照してください。

1. スマートフォン／タブレットの Wi-Fi 機能を有効にします。
2. 本機が接続しているネットワーク (SSID) を選びます。
3. 暗号化キーを入力し、接続を完了します。

補足

- ・ 暗号化キーは無線 LAN アクセスポイント本体に記載されている場合があります。詳しくは、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

Wi-Fi Direct で接続する

💡 補足

- ・ スマートフォン／タブレットなどのモバイル機器は同時に 3 台まで接続できます。

Wi-Fi Direct を設定する

Wi-Fi Direct を使用するには、はじめに本機の操作パネルで Wi-Fi Direct を設定します。次に本機の SSID をモバイル機器上の画面で選び、パスコードを入力すると、Wi-Fi Direct 経由で本機に接続できます。

■ 本機の設定をする

💡 補足

- ・ CentreWare Internet Services を使って設定することもできます。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
- ・ Wi-Fi Direct は IPv6 やアドホック環境では使用できません。

1. 操作パネルの **1** 〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート / リスト

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. 〈▶〉 または **OK** ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

4. 〈▶〉 または **OK** ボタンを押します。
[TCP/IP 設定] が表示されます。

ネットワーク / ポート設定
TCP/IP 設定

5. [Wi-Fi Direct] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

ネットワーク / ポート設定
Wi-Fi Direct

6. 〈▶〉 または **OK** ボタンを押します。
[ポートの起動] が表示されます。

Wi-Fi Direct
ポートの起動

7. 〈▶〉 または **OK** ボタンを押します。
[起動] が表示されます。

ポートの起動
起動

8. [停止] が表示された場合は、[起動] が表示されるまで
〈▼〉 ボタンを押します。
9. ボタンを押します。
10. これで、設定は終了です。
 〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を終了し
ます。
設定を変更した場合は、自動的に本機が再起動します。
11. 手順 1 ～ 6 の操作をします。
[ポートの起動] が表示されます。
12. [グループロール] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押
します。
13. 〈▶〉 または ボタンを押します。
[自動] が表示されます。
14. [グループオーナー] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを
押します。
15. ボタンを押します。
16. 〈◀〉 または ボタンで [グループロール] に戻
ります。
17. [接続数] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。
18. ボタンを押します。
19. 画面に表示されているモバイル機器数が 2 台以下である
ことを確認し、〈◀〉 または ボタンで [接続
数] に戻ります。

ポートの起動
起動

Wi-Fi Direct
ポートの起動

Wi-Fi Direct
グループロール

グループロール
自動

グループロール
グループオーナー

グループロール
グループオーナー

Wi-Fi Direct
グループロール

Wi-Fi Direct
接続数

接続数
2

Wi-Fi Direct
接続数

 **補足**

・ 接続しているモバイル機器数が 3 台のときは、Wi-Fi Direct ネットワークに追加接続できません。

20. [SSID] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

Wi-Fi Direct
SSID

21. 〈▶〉 または ボタンを押します。

SSID
[DIRECT-**]

22. 無線ネットワーク名を入力し、 ボタンを押します。

SSID
[DIRECT-**abcdefg]

23.  〈戻る〉 ボタンで [SSID] に戻ります。

Wi-Fi Direct
SSID

24. [パスコード入力] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

Wi-Fi Direct
パスコード入力

25. 〈▶〉 または ボタンを押します。
[ASCII で入力] が表示されます。

パスコード入力
ASCII で入力

26. 〈▶〉 または ボタンを押します。

パスコード (ASCII)
[]

27. パスコードを入力し、 ボタンを押します。

パスコード (ASCII)
[abcdefghijklmnop]

28.  〈仕様設定〉 ボタンを押して、プリント画面に戻りません。

■ 本機とモバイル機器を接続する

 **参照**

・ 詳しくは、モバイル機器の取扱説明書を参照してください。

1. スマートフォン／タブレットなどのモバイル機器の無線 LAN 機能を有効にします。
2. 本機の SSID を選びます。
3. パスコードを入力します。

Wi-Fi Direct を停止しモバイル機器との接続を切断する

1. 操作パネルの  〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート / リスト
2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー
3. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定
4. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[TCP/IP 設定] が表示されます。

ネットワーク / ポート設定
TCP/IP 設定
5. [Wi-Fi Direct] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

ネットワーク / ポート設定
Wi-Fi Direct
6. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[ポートの起動] が表示されます。

Wi-Fi Direct
ポートの起動
7. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[起動] が表示されます。

ポートの起動
起動
8. [停止] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

ポートの起動
停止
9.  ボタンを押します。
10. これで、設定は終了です。
 〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を終了します。
自動的に本機が再起動します。

補足

- ・ 本機でポートを停止しなくても、接続中のモバイル機器からも Wi-Fi Direct の接続を切断できます。詳しくは、モバイル機器の取扱説明書を参照してください。

7.2 Print Utility を使ってプリントする

Print Utility はスマートフォン／タブレット用の無料アプリケーションです。スマートフォン／タブレットからプリントできます。

詳しくは、下記を参照してください。

- ・ iOS の場合：「Print Utility for iOS」は App Store から無料でダウンロードできます。
- ・ Android™ の場合：「Print Utility for Android」は Google Play から無料でダウンロードできます。

7.3 その他のサービスを利用する

AirPrint

AirPrint は、Apple Inc. が提供するプリントサービスです。プリンタードライバーや特別なソフトウェアをインストールすることなく、iPad/iPhone などの iOS 搭載機器や Mac のコンピューターから指示した文書を、お使いの機械でプリントできます。

AirPrint の設定を有効にする

1. 本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Services を起動します。

💡 補足

- ・ 本機の IP アドレスを確認するには、「IP アドレスを確認する (P.28)」を参照してください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 画面左の領域にある [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [AirPrint] を順にクリックします。



4. [AirPrint] の [有効] にチェックマークを付けます。

💡 補足

- ・ USB で接続しているときは、[AirPrint] の [USB 接続] にもチェックマークを付けます。

5. [新しい設定を適用] をクリックします。

6. [再起動] をクリックします。

AirPrint でプリントする

ここでは、iOS11 を使った手順を例に説明します。

1. プリントするメール、写真、ウェブページ、または文書を開きます。

2.  のアイコンをタップします。
3. [プリント] をタップします。
4. 本機を選び、プリント設定をします。
5. [プリント] をタップします。

Google クラウド プrint

Google クラウド プrintは、Google Inc. が提供するPrintサービスです。本機を Google クラウド Printに登録すると、Google クラウド Printに対応したアプリケーションからPrintできます。

補足

- ・ Google クラウド Printは、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）を取り付けている場合に使用できます。
- ・ Google クラウド Printは IPv4 接続にだけ対応しています。
- ・ 本機をプロキシサーバー経由でネットワークに接続している場合は、CentreWare Internet Services から [プロキシサーバー] を設定する必要があります。詳しくは、CentreWare Internet Services ヘルプを参照してください。
- ・ 認証 / 集計管理機能を有効にしているときは、[ユーザー指定なし印刷の許可] を有効にする必要があります。

参照

- ・ Google クラウド Printについては、次の URL を参照してください。
<https://www.google.com/cloudprint/learn/>

本機で Google クラウド Printを使うために必要な作業

Google クラウド Printを使用するには、次の準備をする必要があります。

- ・ Google アカウントを取得する

■ Google クラウド Printポートの起動

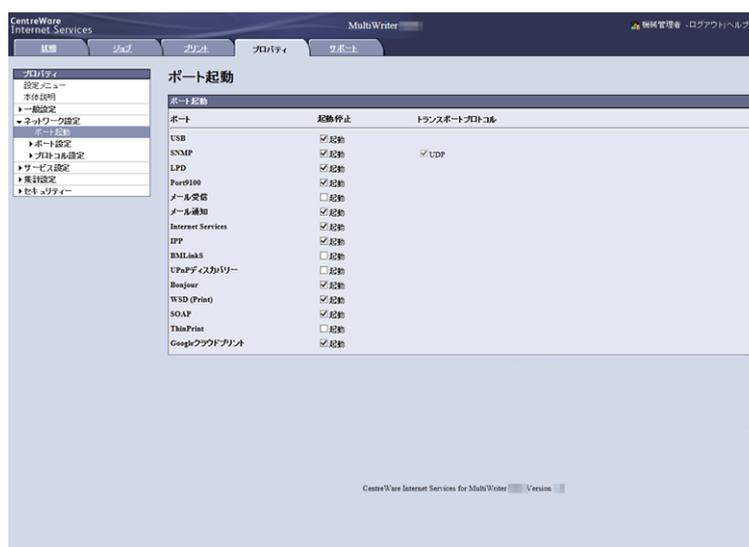
1. 本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Services を起動します。

補足

- ・ 本機の IP アドレスを確認するには、「IP アドレスを確認する (P.28)」を参照してください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

- 画面左の領域にある [ネットワーク設定] > [ポート起動] > [Google クラウドプリント] を順にクリックします。



- [Google クラウドプリント] の [有効] にチェックマークを付けます。
- [新しい設定を適用] をクリックします。
- [再起動] をクリックします。

Google クラウド プrintに本機を登録する

CentreWare Internet Services または Google Chrome を使って Google クラウド プrintに本機を登録します。

■ CentreWare Internet Services を使って登録する場合

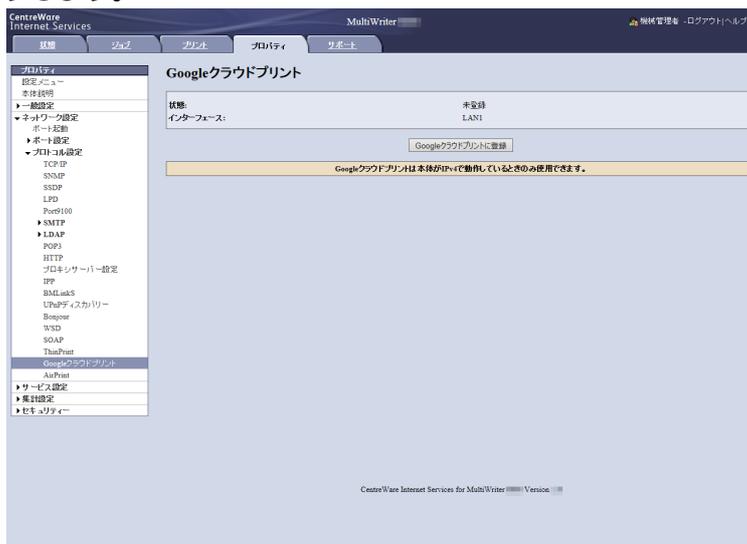
- 本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Services を起動します。

補足

- 本機の IP アドレスを確認するには、「IP アドレスを確認する (P.28)」を参照してください。

- [プロパティ] タブをクリックします。

- 画面左の領域にある [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [Google クラウドプリント] を順にクリックします。



- [Google クラウドプリントに登録] をクリックします。
Google クラウド プrint 登録サイトの URL が記載された用紙がプリントされます。
- 用紙に記載された URL を Web ブラウザーに入力し、Google クラウド プrint の登録サイトにアクセスします。

補足

- 用紙に記載された QR コードを読み取って登録サイトにアクセスすることもできます。

- ログイン画面で、お使いの Google アカウントを入力してログインします。
- [プリンタ登録を完了] > [プリンタの管理] をクリックします。
本機が [プリンタ] リストに表示され、Google クラウド プrint サービスが利用可能になります。

■ Google Chrome を使って登録する場合

補足

- Bonjour が有効になっていることを確認します。設定については、「[Bonjour]」(P. 157) を参照してください。

- Google Chrome を起動します。
- 画面右上にある  をクリックし、[設定] を選びます。
- ページ下部にある [詳細設定を表示] をクリックします。
- [Google クラウドプリント] > [管理] をクリックします。

補足

- [新しいデバイス] の下に Chrome へのログインを促すメッセージが表示されたら、[ログイン] をクリックして Chrome にログインします。

- 登録するプリンターの [登録] をクリックします。
- 登録の確認ウィンドウが表示されたら、[登録] をクリックします。

7. 本機の画面の指示に従って操作します。
8. Google Chrome の [マイデバイス] に本機の名前が表示されることを確認します。

 **補足**

- ・ [マイデバイス] に本機の名前が表示されるまで 5 分以上かかることがあります。

Google クラウド プリントへの登録を解除する

1. 本機の IP 本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Services を起動します。

 **補足**

- ・ 本機の IP アドレスを確認するには、「IP アドレスを確認する (P.28)」を参照してください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。
3. 画面左の領域にある [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [Google クラウドプリント] を順にクリックします。
4. [Google クラウドプリント登録を解除] をクリックします。

Google クラウド プリントでプリントする

 **参照**

- ・ Google クラウド プリントを使ってプリントできるアプリケーションや、プリントの手順については、次の URL を参照してください。
<https://www.google.com/cloudprint/learn/>

8 本体の設定を変更する

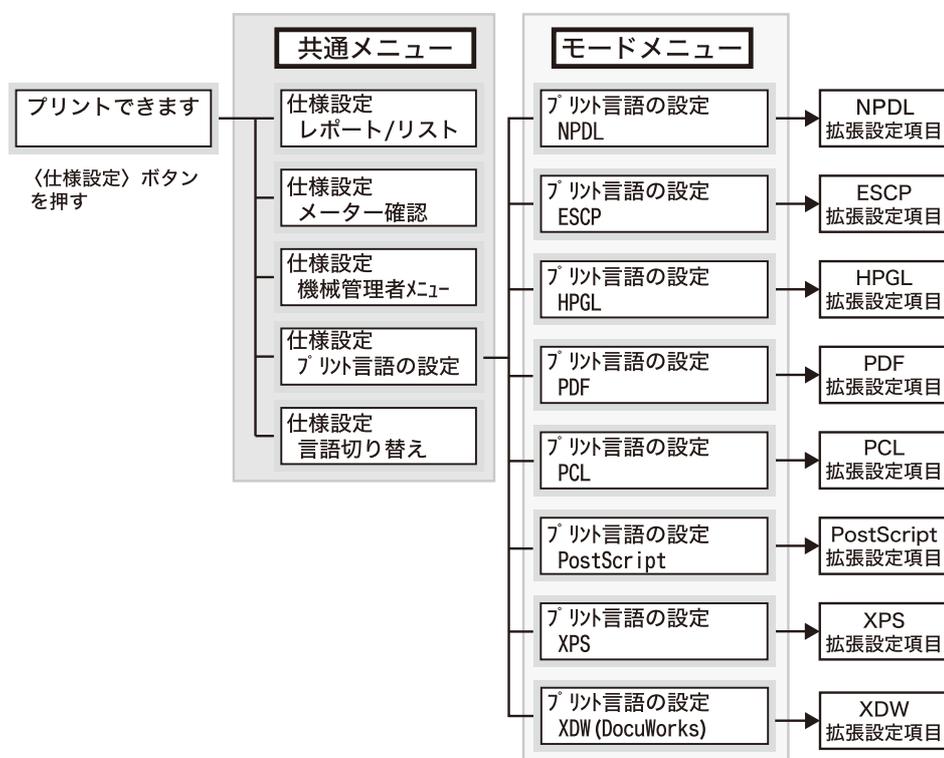
8.1 共通メニューの概要

メニューの構成

メニューには、共通メニューとモードメニューがあります。本書では、主に共通メニューについて説明します。

💡 補足

- ・ [PostScript] は、PostScript ソフトウェアキット (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。
- ・ 「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。

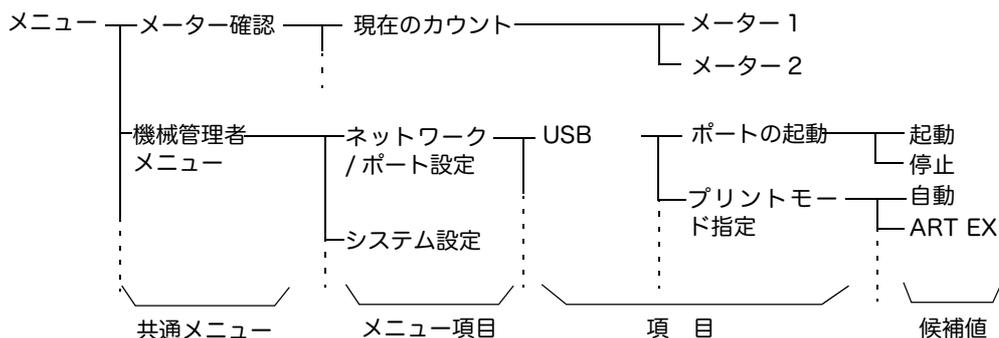


共通メニューは、すべてのプリントモードに共通の項目を設定する画面です。

共通メニューは、次のような階層で構成されています。

- ・ 共通メニュー > メニュー項目 > 項目 > 候補値

下の図は、共通メニューの階層の一部を示したものです。



共通メニューの各メニューの概要は、次のとおりです。

共通メニュー	内容	詳細説明の参照先
レポート / リスト	各種レポート / リストをプリントします。	「10.2 レポート / リストをプリントする」(P. 258)
メーター確認	プリントした枚数を操作パネルのディスプレイに表示します。	「総プリントページ数を確認する(メーター)」(P. 262)
機械管理者メニュー	[ネットワーク / ポート設定] コンピューターに接続されている本機のインターフェイスの種類、およびその通信に必要な条件を設定します。	「[ネットワーク / ポート設定]」(P. 146)
	[システム設定] 節電モードや異常警告音の設定など、本機の基本的な動作に関する設定をします。また、メニュー項目の設定が誤って変更されることを防ぐために、メニュー項目の設定操作に対し、暗証番号を設定します。	「[システム設定]」(P. 170)
	[プリント設定] 自動トレイ選択や用紙トレイについて設定します。	「[プリント設定]」(P. 192)
	[メモリー設定] 各インターフェイスのメモリーやフォームメモリーの容量を変更します。	「[メモリー設定]」(P. 203)
	[画質補正] プリント画質が悪いときに、本機を調整します。	「[画質補正]」(P. 206)
	[初期化 / データ削除] 本機の設定値やハードディスクの初期化、フォームデータの削除をします。 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 5px;"> </div> <div> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フォームデータの削除は NPD L では対応しません。 </div> </div>	「[初期化 / データ削除]」(P. 211)
	[エンジンクリーニング] 本機の内部をクリーニングします。	「[エンジンクリーニング]」(P. 213)
	[トナーリフレッシュ] トナーと現像剤のバランスを適正にします。	「[トナーリフレッシュ]」(P. 213)

共通メニュー	内容	詳細説明の参照先
プリント言語の設定	[NPDL] NPDL モードの設定をします。	「NPDL モードメニューで設定できる項目」(P. 342)
	[ESCP] ART IV、ESC/P エミュレーションモードの設定をします。	「ART IV、ESC/P エミュレーションについて」(P. 378)
	[HPGL] HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションモードの設定をします。	「HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションについて」(P. 399)
	[PDF] PDF ファイルを直接プリントするための設定をします。	「[PDF]」(P. 213)
	[PCL] PCL エミュレーションモードの設定をします。	「PCL エミュレーションについて」(P. 411)
	[PostScript] PostScript [®] に関する設定をします。	「[PostScript]」(P. 216)
	[XPS] XML Paper Specification (XPS) ファイルを直接プリントするための設定をします。	「[XPS]」(P. 216)
	[XDW (DocuWorks)] DocuWorks ファイルを直接プリントするための設定をします。	「[XDW (DocuWorks)]」(P. 217)
言語切り替え	操作パネルの表示言語を切り替えます。	「[言語切り替え]」(P. 219)

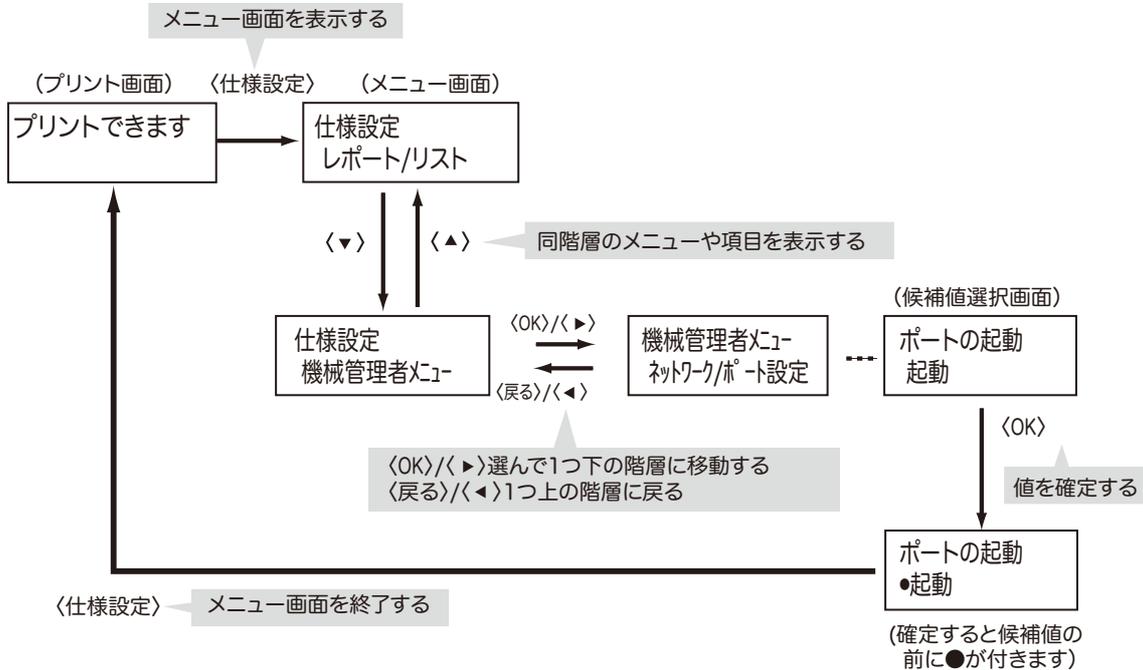
 **補足**

- ・メニュー項目を設定するための基本的な操作方法については、「基本的な操作方法」(P. 144)を参照してください。

設定を変更する

基本的な操作方法

メニュー画面を表示したり、各メニューで階層を移動しながら本機の設定をしたりするには、操作パネルの次のボタンを押します。



💡 補足

- 一度 **OK** ボタンを押して確定した値を変更するときは、はじめから設定し直してください。
- 項目によって、設定を有効にするには本機の再起動が必要な場合があります。その場合は、メニュー画面を終了したとき、自動的に本機が再起動します。

設定した値を、初期値に戻すには

<▲> や <▼> ボタンで数値を変更するような項目では、<▲> と <▼> ボタンを同時に押すと、初期値に戻すことができます。

変更処理が終了すると工場出荷時の値が表示されます。**OK** ボタンを押すと、値が確定されます。

操作例：スリープモードへの移行時間を変更する

スリープモードへの移行時間を 60 分後に設定する例で、共通メニューの操作を説明します。

1. 操作パネルの **1** <仕様設定> ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート/リスト

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、<▼> ボタンを押してメニューを切り替えます。

仕様設定
機械管理者メニュー

💡 補足

- 選びたい項目を過ぎてしまった場合は、<▲> ボタンで戻ります。

3. <▶> または **OK** ボタンを押します。
下の階層に移動します。

機械管理者メニュー
ネットワーク/ポート設定

 **補足**

- ・間違っ、違う項目で <▶> または **OK** ボタンを押してしまった場合は、<◀> または  <戻る> ボタンで前の画面に戻ります。
- ・最初からやり直したい場合は、 <仕様設定> ボタンを押します。

4. [システム設定] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

機械管理者メニュー
システム設定

5. <▶> または **OK** ボタンを押します。
下の階層に移動します。

システム設定
音の設定

6. [スリープモード移行時間] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

システム設定
スリープモード 移行時間

7. <▶> または **OK** ボタンを押します。
現在の設定値が表示されます。

スリープモード 移行時間
• 1 分後

8. <▲> <▼> ボタンを押して、[60 分後] を表示します。

 **補足**

- ・ <▲> <▼> ボタンを押し続けると、連続して値を変えることができます。

スリープモード 移行時間
60 分後

9. **OK** ボタンを押します。
値が確定されます。

スリープモード 移行時間
• 60 分後

10. これで設定が完了です。
 <仕様設定> ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

プリントできます
トナー残量 

8.2 共通メニュー項目の説明

補足

- ・メニューの設定方法については、「設定を変更する」(P. 144)を参照してください。
- ・CentreWare Internet Servicesでも、一部、操作パネルと同様の項目を設定できます。詳しくは、CentreWare Internet Servicesのヘルプを参照してください。
- ・共通メニュー全体を図式的に表したメニューツリーは、「操作パネルメニュー一覧」(P. 440)を参照してください。

[レポート / リスト]

各種レポート / リストをプリントします。レポート / リストの詳細、およびプリント方法は、「10.2 レポート / リストをプリントする」(P. 258)を参照してください。

補足

- ・本機に取り付けられているオプション製品によって、プリントできるレポート / リストが異なります。詳細は、「10.2 レポート / リストをプリントする」(P. 258)を参照してください。

[メーター確認]

プリントした枚数を操作パネルのディスプレイに表示します。メーターの詳細、および確認手順は、「総プリントページ数を確認する (メーター)」(P. 262)を参照してください。

[機械管理者メニュー]

[機械管理者メニュー]には、[ネットワーク / ポート設定]、[システム設定]、[プリント設定]、[メモリー設定]、[画質補正]、[初期化 / データ削除]、[エンジンクリーニング]、[トナーリフレッシュ]のメニュー項目があります。

[ネットワーク / ポート設定]

[ネットワーク / ポート設定]では、コンピューターに接続されている本機のインターフェイスの種類、およびその通信に必要な条件を設定します。

[TCP/IP 設定]

💡 補足

- ・ セカンダリーイーサネットカード（オプション）が取り付けられている場合は、[Ethernet1] と [Ethernet2] が表示されます。
- ・ Wi-Fi に関する項目は、無線 LAN アダプタ（オプション）が取り付けられている場合にのみ表示されます。



設定項目	説明
IP 動作モード	<p>IP 動作モードを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [デュアルスタック] (初期値) IPv4 と IPv6 モードの両方が使用できます。 ・ [IPv4] IPv4 モードを使用します。[IPv4 設定] から IP アドレスの設定を行います。 ・ [IPv6] IPv6 モードを使用します。オートコンフィグレーションになっているので、詳細設定は不要です。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [IPv6] モードに設定されている場合は、Wi-Fi Direct を使用できません。
Ethernet	<p data-bbox="359 683 547 728">—</p> <p data-bbox="547 683 1425 728">Ethernet 設定を行います。</p> <hr/> <p data-bbox="359 728 547 1332">IP アドレス取得方法</p> <p data-bbox="547 728 1425 1332">TCP/IP を使うために必要な情報 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) の取得方法を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [手動] 手動で設定します。 ・ [DHCP] DHCP サーバーから自動的に取得します。 ・ [BOOTP] BOOTP から自動的に取得します。 ・ [RARP] RARP から自動的に取得します。 ・ [DHCP/AutoIP] (初期値) AutoIP 機能付きの DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) サーバーから自動的に取得します。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [DHCP/AutoIP]、[DHCP]、[BOOTP]、または [RARP] から、[手動] に変更すると、IP アドレスの設定画面が表示されることがあります。その場合は、手動で IP アドレスを設定してください。 <hr/> <p data-bbox="359 1332 547 1870">IP アドレス (IPv4)、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス</p> <p data-bbox="547 1332 1425 1870">自動で取得されたアドレスを確認する場合や、手動で IP アドレスを設定する場合に使用します。 アドレスは、xxx、xxx、xxx、xxx の形式で入力します。IP アドレスとゲートウェイアドレスの xxx に設定できるのは 0 ~ 255 までの数値です。ただし、先頭の xxx に限り、127 と 224 ~ 255 は無効です。また、サブネットマスクの各 xxx に設定できるのは、0、128、192、224、240、248、252、254、255 の数値です。 (参照 P. 219 の *2)</p> <p> 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サブネットマスクの設定では、正しい値を入力しなかった場合 (途中のビットを 0 に設定した場合など)、数値の設定後に  (仕様設定) ボタンを押しても、前回の設定値に戻ります。正しい値が設定されるまで、ほかの項目設定へ移行できません。 ・ 明示的にゲートウェイアドレスを指定する必要があるときにだけ設定してください。自動的にゲートウェイアドレスが設定できる環境では、設定する必要はありません。

設定項目		説明
Wi-Fi	—	Wi-Fi 設定を行います。
	IP アドレス取得方法	<p>TCP/IP を使うために必要な情報（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）の取得方法を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [手動] 手動で設定します。 ・ [DHCP] DHCP サーバーから自動的に取得します。 ・ [BOOTP] BOOTP から自動的に取得します。 ・ [RARP] RARP から自動的に取得します。 ・ [DHCP/AutoIP]（初期値） AutoIP 機能付きの DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバーから自動的に取得します。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [DHCP/AutoIP]、[DHCP]、[BOOTP]、または [RARP] から、[手動] に変更すると、IP アドレスの設定画面が表示されることがあります。その場合は、手動で IP アドレスを設定してください。
	IP アドレス (IPv4)、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス	<p>自動で取得されたアドレスを確認する場合や、手動で IP アドレスを設定する場合に使用します。</p> <p>アドレスは、xxx、xxx、xxx、xxx の形式で入力します。IP アドレスとゲートウェイアドレスの xxx に設定できるのは 0 ~ 255 までの数値です。ただし、先頭の xxx に限り、127 と 224 ~ 255 は無効です。また、サブネットマスクの各 xxx に設定できるのは、0、128、192、224、240、248、252、254、255 の数値です。 (参照 P. 219 の *2)</p> <p> 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サブネットマスクの設定では、正しい値を入力しなかった場合（途中のビットを 0 に設定した場合など）、数値の設定後に  〈仕様設定〉 ボタンを押しても、前回の設定値に戻ります。正しい値が設定されるまで、ほかの項目設定へ移行できません。 ・ 明示的にゲートウェイアドレスを指定する必要があるときだけ設定してください。自動的にゲートウェイアドレスが設定できる環境では、設定する必要はありません。
Wi-Fi Direct	—	Wi-Fi Direct 設定を行います。
	IP アドレス (IPv4)、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス	自動で取得されたアドレスを確認する場合に使用します。
Ping 接続確認 -IPv4	Ethernet、Wi-Fi	<p>設定した条件で、本機とお使いのコンピューターが正しく通信できるかを確認します。コンピューターの IPv4 アドレスを入力すると、Ping 接続確認が開始されます。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ セカンダリーイーサネットカード（オプション）が取り付けられている場合は、[Ethernet1] と [Ethernet2] が表示されません。

[Wi-Fi 設定]

💡 補足

・この項目は、無線 LAN アダプタ（オプション）が取り付けられている場合にのみ表示されます。



設定項目	説明
Wi-Fi 接続状態	Wi-Fi 通信の状態を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [強い] ・ [良好] ・ [弱い] ・ [未接続]
リンクチャンネル	Wi-Fi 通信で使用するチャンネルが表示されます。
帯域	周波数帯域を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [自動] (初期値) 周波数帯域を 2.4 GHz 帯または 5 GHz 帯から自動で設定します。 ・ [2.4GHz] 周波数帯域を 2.4 GHz 帯に設定します。 ・ [5GHz] 周波数帯域を 5 GHz 帯に設定します。 ・ [停止] 電波を停止します。

設定項目		説明
アクセスポイント検索		<p>無線 LAN アクセスポイントを検索し、電波強度の強い順に SSID を表示します。最大 5 台まで表示します。アクセスポイントを選択し、[OK] ボタンを押すと接続を行います。アクセスポイントのセキュリティー設定に応じて、WEB キーやパスフレーズなどを入力します。</p> <p>[WEP キーエントリー] <ul style="list-style-type: none"> ・ [WEP キー 1] ~ [WEP キー 4] </p> <p>[パスフレーズ入力] <ul style="list-style-type: none"> ・ [ASCII で入力] ・ [HEX で入力] </p> <p>[EAP 認証方式] <ul style="list-style-type: none"> ・ [PEAPv0 MS-CHAPv2] ・ [EAP-TLS] ・ [EAP-TTLS/PAP] ・ [EAP-TTLS/CHAP] ・ [EAP-TTLS/MS-CHAP2] </p>
SSID 直接入力	—	無線 LAN アクセスポイントの識別名称を入力します。入力できる文字は、英数記号半角で 32 文字までです。 (参照 P. 219 の *4 No.1、3、4、5)
	ネットワークタイプ	<p>無線 LAN の種類と暗号化方式を設定します。アクセスポイントのセキュリティー設定に応じて、WEB キーやパスフレーズなどを入力します。</p> <p>[インフラストラクチャ] <ul style="list-style-type: none"> ・ [設定しない] ・ [WEP] ・ [WPA2 Personal] ・ [MixedModePersonal] ・ [WPA2 Enterprise] ・ [Mixed Mode Enterp] </p> <p>[アドホック] <ul style="list-style-type: none"> ・ [設定しない] ・ [WEP] </p> <p> 補足 <ul style="list-style-type: none"> ・ [Wi-Fi Direct] の [ポートの起動] が [起動] に設定されている場合は [アドホック] は表示されません。 </p>
WPS セットアップ		<p>WPS を使用して無線 LAN の設定をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [PBC 開始] WPS (プッシュボタン方式) を使用して無線 LAN の設定をします。 ・ [PINCode] 本機に割り当てられる PIN コードを使用して無線 LAN の設定をします。
設定解除	接続一時解除	無線 LAN アクセスポイントへの接続を一時的に解除します。
	ネットワーク設定を消去	設定した接続情報を消去します。

[Wi-Fi Direct]

💡 補足

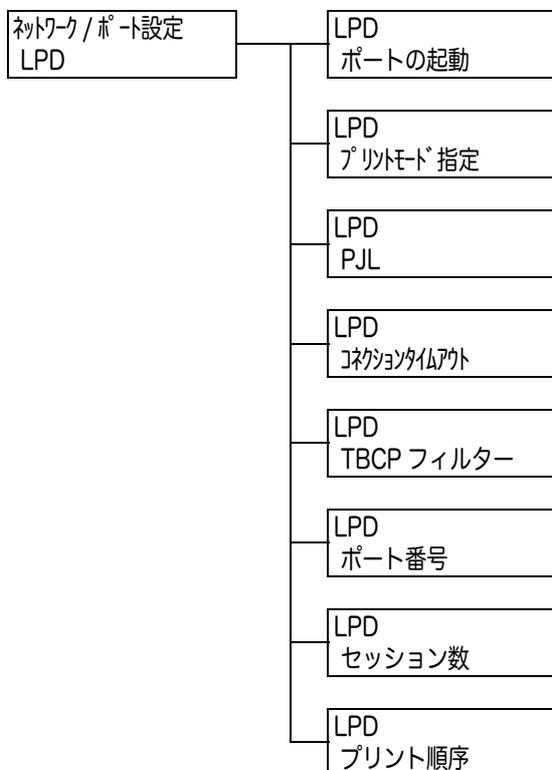
- ・ この項目は、無線 LAN アダプタ（オプション）が取り付けられている場合にのみ表示されます。



設定項目	説明
ポートの起動	<p>電源を入れたときに、Wi-Fi Direct ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [起動] ・ [停止] (初期値) <p>💡 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [ネットワークタイプ] が [アドホック]、[帯域] が [5GHz]、[IP 動作モード] が [IPv6] に設定されている場合は [ポートの起動] を [起動] に設定できません。
接続数	現在接続されている Wi-Fi モバイル端末の数を表示します。
グループロール	<p>本機のグループロールを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [自動] 本機のグループロールを自動的に設定します。 ・ [グループオーナー] (初期値) 本機を Wi-Fi Direct ネットワークのグループオーナーに設定します。グループオーナーに設定すると、無線 LAN アクセスポイントとして機能し、モバイル機器から本機を検出できるようになります。 <p>⚠ 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ iOS 端末など、Wi-Fi Direct に対応していない機器を接続する場合は、[グループオーナー] に設定されている必要があります。
デバイス名	<p>Wi-Fi Direct ネットワークで識別する本機の名称を入力します。モバイル機器から接続先のプリンター名を選ぶときは、ここで指定した名称が表示されます。入力できる文字は、英数記号半角で 32 文字までです。 (参照 P. 219 の *4 No.1、3、4、5)</p>

設定項目	説明
SSID	Wi-Fi Direct ネットワークで識別するネットワークの名称を「DIRECT-**」に続く部分について入力します。モバイル機器から接続先のプリンター名を選ぶときは、ここで指定した名称が表示されます。入力できる文字は、英数半角で23文字までです。 (参照 P. 219 の *4 No.1、3、4)
パスコード入力	パスフレーズとして8～63文字の英数字（参照 P. 219 の *4 No.1、3、4、5）を入力できます。モバイル機器から Wi-Fi Direct ネットワークに接続するときは、ここに表示されるパスフレーズを入力します。
接続メニュー	<ul style="list-style-type: none"> モバイル機器からの接続要求があった場合に設定します。 PBC 方式で接続要求があった場合は、接続許可の可否を設定します。 PIN コード方式で接続要求があった場合は、PIN コードを確認してから <input type="button" value="OK"/> ボタンを押して接続します。

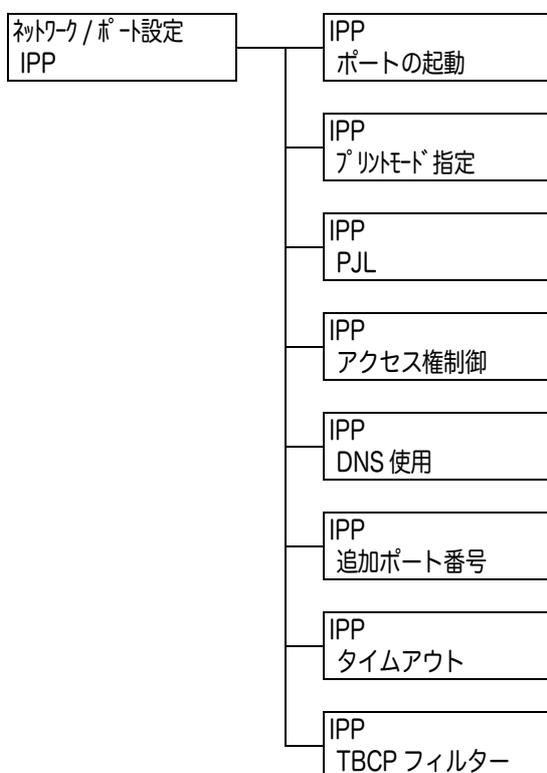
[LPD]



設定項目	説明
ポートの起動	<p>電源を入れたときに、LPD ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [停止] ・ [起動] (初期値) <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ LPD ポートを起動するには、IP アドレスの設定が必要です。 <p> 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。
プリントモード指定	<p>プリントデータの処理方法 (使用するプリント言語) を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [自動] (初期値) コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切なプリントを行います。 (参照 P. 219 の *1) ・ [NPDL] [ART EX] [PS] [ART IV] [ESC/P] [HP-GL/2] [PCL] [TIFF] コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。 ・ [HexDump] コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、プリントデータを 16 進表記形式と対応する ASCII コードでプリントします。(参照 P. 219 の *3) <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [PS] は、PostScript ソフトウェアキット (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。
PJL	<p>コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか、無効にするかを設定します。</p> <p>PJL コマンドとは、プリントジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使ってプリントする場合に必要です。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。(参照 P. 219 の *5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [無効] ・ [有効] (初期値)
コネクションタイムアウト	<p>プリントデータの受信中に、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を、2 ~ 3600 秒の間で、1 秒単位に設定します。 (参照 P. 219 の *2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [16 秒] (初期値)
TBCP フィルター	<p>PostScript® データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか、無効にするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [無効] (初期値) ・ [有効] <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目は、PostScript ソフトウェアキット (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。
ポート番号	<p>ポート番号を、1 ~ 65535 の間で設定します。(参照 P. 219 の *2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [515] (初期値) <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。

設定項目	説 明
セッション数	本機に、LPD で同時に接続できるクライアントの最大数を、1～10の間で設定します。 ・ [5] (初期値)
プリント順序	プリントデータの順序について設定します。 ・ [データ処理順] (初期値) 本機がデータを処理した順序でプリントします。 ・ [プリント受け付け順] 本機がデータを受信した順序でプリントします。 💡 補足 ・ この項目は、機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。

[IPP]



設定項目	説 明
ポートの起動	電源を入れたときに、IPP ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・ [停止] ・ [起動] (初期値) ⚠ 注記 ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。

設定項目	説明
プリントモード指定	<p>プリントデータの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [自動]（初期値） コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切なプリントを行います。（参照 P. 219 の *1） ・ [NPDL] [ART EX] [PS] [ART IV] [ESC/P] [HP-GL/2] [PCL] [TIFF] コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。 ・ [HexDump] コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、プリントデータを 16 進表記形式と対応する ASCII コードでプリントします。（参照 P. 219 の *3） <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [PS] は、PostScript ソフトウェアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
PJL	<p>コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか、無効にするかを設定します。</p> <p>PJL コマンドとは、プリントジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使ってプリントする場合に必要です。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。（参照 P. 219 の *5）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [無効] ・ [有効]（初期値）
アクセス権制御	<p>プリントジョブの中止や削除、本機をポーズ状態にするときやポーズ状態の解除をするときに、アクセス権制御を有効にするか無効にするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [無効]（初期値） ・ [有効]
DNS 使用	<p>本機を認識するときに、DNS（Domain Name System）に登録した名前を使うかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [無効] IP アドレスを使用します。 ・ [有効]（初期値） DNS 名を使用します。
追加ポート番号	<p>追加ポート番号を 1 ～ 65535 の間で設定します。（参照 P. 219 の *2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [80]（初期値） <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP プロトコルを使用するインターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD（参照 P. 219 の *6）ポートは、同じポート番号を共用できます。
タイムアウト	<p>プリントデータの受信中、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を、0 ～ 65535 秒の間で 1 秒単位に設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [60 秒]（初期値）
TBCP フィルター	<p>PostScript® データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか、無効にするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [無効]（初期値） ・ [有効] <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目は、PostScript ソフトウェアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

[Bonjour]



設定項目	説明
ポートの起動	<p>電源を入れたときに、Bonjour ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none">・ [停止]・ [起動] (初期値) <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none">・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none">・ Multicast DNS 機能を使う場合は [起動] にしてください。また、Bonjour を使用して検出したプリンターでプリントするためには、LPD ポートも起動します。

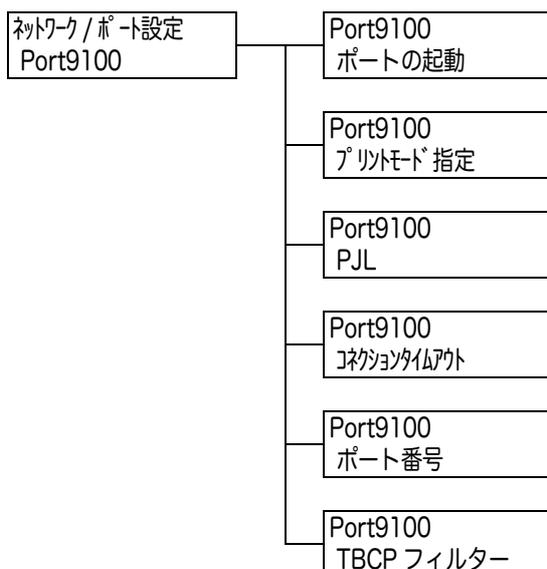
[USB]



設定項目	説明
ポートの起動	<p>電源を入れたときに、USB ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [停止] ・ [起動] (初期値) <p> 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メモリーが不足した場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー 設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。
プリントモード指定	<p>プリントデータの処理方法 (使用するプリント言語) を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [自動] (初期値) コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切なプリントを行います。 (参照 P. 219 の *1) ・ [NPDL] [ART EX] [PS] [ART IV] [ESC/P] [HP-GL/2] [PCL] [TIFF] コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。 ・ [HexDump] コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、プリントデータを 16 進表記形式と対応する ASCII コードでプリントします。(参照 P. 219 の *3) <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [PS] は、PostScript ソフトウェアキット (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。
PJL	<p>コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか、無効にするかを設定します。</p> <p>PJL コマンドとは、プリントジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使ってプリントする場合に必要です。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。(参照 P. 219 の *5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [無効] ・ [有効] (初期値)
自動排出時間	<p>データが受信されない状態が継続したとき、本機内に残っているデータを自動的にプリントして排出する時間を設定します。</p> <p>時間は無効もしくは 5 ~ 300 秒の間で、1 秒単位に設定します。(参照 P. 219 の *2)</p> <p>また、最後のデータを受信してから、ここで設定した時間内に次のデータが受信されない場合は、ジョブの終了と判断されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [無効] (初期値)

設定項目	説明
Adobe 通信 プロトコル	<p>PostScript® の通信プロトコルを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [標準] (初期値) 通信プロトコルが ASCII 形式のときに設定します。 ・ [バイナリー] データに対して特別な処理を必要としない場合に使用します。データによってはプリント処理が [標準] に比べて速くなることがあります。 ・ [TBCP] 通信プロトコルに ASCII 形式とバイナリー形式が混在し、それらを特定の制御コードによって切り替えるときに設定します。 ・ [RAW] 通信プロトコルが Raw 形式のときに設定します。Macintosh から、USB 経由で EPS 形式のファイルが正しくプリントできない場合に選びます。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目は、PostScript ソフトウェアキット (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。 ・ コンピューターのプリンタードライバーが出力するデータの形式に合わせて設定してください。 ・ ここでの設定は、PostScript® でプリントされる場合にだけ有効です。 ・ 通常は、初期値の [標準] で使用してください。
PS 印刷待ちタイムアウト	<p>PostScript® のプリント待ちタイムを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [無効] (初期値) [USB] の [自動排出時間] を使用します。 ・ [有効] PostScript® プリントドライバーの [印刷待ちタイムアウト] を使用します。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目は、PostScript ソフトウェアキット (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。
ポートの固定	<p>USB デバイスに通知するシリアルナンバーを 10 桁の固定値にするかお使いのプリンター固有のシリアルナンバーにするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [無効] (初期値) USB デバイスに通知するシリアルナンバーを 10 桁の固定値にするときに設定します。 ・ [有効] USB デバイスに通知するシリアルナンバーをお使いのプリンター固有の値にするときに設定します。

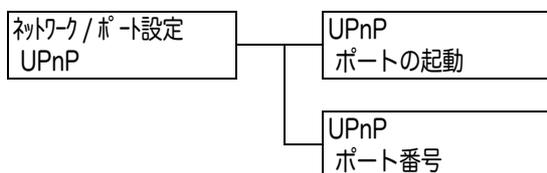
[Port9100]



設定項目	説明
ポートの起動	<p>電源を入れたときに、Port9100 ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [停止] ・ [起動] (初期値) <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。
プリントモード指定	<p>プリントデータの処理方法 (使用するプリント言語) を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [自動] (初期値) コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切なプリントを行います。 (参照 P. 219 の *1) ・ [NPDL] [ART EX] [PS] [ART IV] [ESC/P] [HP-GL/2] [PCL] [TIFF] コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。 ・ [HexDump] コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、プリントデータを 16 進表記形式と対応する ASCII コードでプリントします。(参照 P. 219 の *3) <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [PS] は、PostScript ソフトウェアキット (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。
PjL	<p>コンピューターから送られてくる PjL コマンドを有効にするか、無効にするかを設定します。</p> <p>PjL コマンドとは、プリントジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使ってプリントする場合に必要です。PjL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。(参照 P. 219 の *5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [無効] ・ [有効] (初期値)
コネクションタイムアウト	<p>プリントデータの受信中に、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を、2 ~ 65535 秒の間で、1 秒単位に設定します。</p> <p>(参照 P. 219 の *2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [60 秒] (初期値)

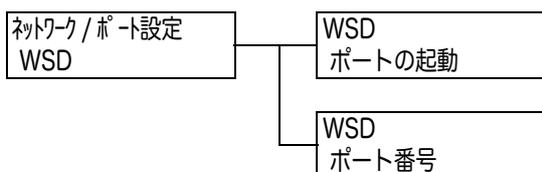
設定項目	説 明
ポート番号	<p>ポート番号を、1～65535の間で設定します。(参照 P. 219 の *2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [9100] (初期値) <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。
TBCP フィルター	<p>PostScript® データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか、無効にするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [無効] (初期値) ・ [有効] <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目は、PostScript ソフトウェアキット (オプション) が取り付けられている場合にのみ表示されます。

[UPnP]



設定項目	説 明
ポートの起動	<p>電源を入れたときに、UPnP ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [停止] (初期値) ・ [起動] <p> 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。
ポート番号	<p>ポート番号を、1～65535の間で設定します。(参照 P. 219 の *2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [80] (初期値) <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP プロトコルを使用するインターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD (参照 P. 219 の *6) ポートは、同じポート番号を共有できます。

[WSD]

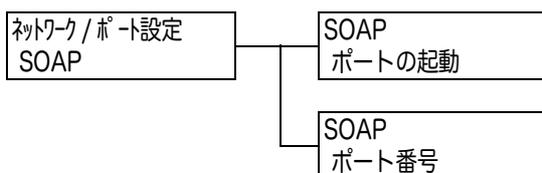


補足

- ・ WSD は、Web Services on Devices の略称です。

設定項目	説明
ポートの起動	電源を入れたときに、WSD ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 <ul style="list-style-type: none">・ [停止]・ [起動] (初期値) <p> 注記</p> <ul style="list-style-type: none">・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。
ポート番号	ポート番号を、1 ～ 65535 の間で設定します。(参照 P. 219 の *2) <ul style="list-style-type: none">・ [80] (初期値) <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none">・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP プロトコルを使用するインターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD (参照 P. 219 の *6) ポートは、同じポート番号を共有できます。

[SOAP]



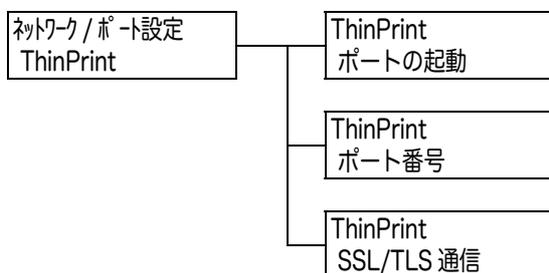
設定項目	説明
ポートの起動	電源を入れたときに、SOAP ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 <ul style="list-style-type: none">・ [停止]・ [起動] (初期値) <p> 注記</p> <ul style="list-style-type: none">・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。

設定項目	説 明
ポート番号	<p>ポート番号を、1 ～ 65535 の間で設定します。(参照 P. 219 の *2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [80] (初期値) <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP プロトコルを使用するインターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD (参照 P. 219 の *6) ポートは、同じポート番号を共有できます。

[ThinPrint]

補足

- ・ この項目は、機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。
- ・ ThinPrint 機能を使用する場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

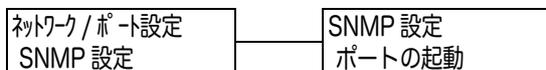


設定項目	説 明
ポートの起動	<p>電源を入れたときに、ThinPrint ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [停止] (初期値) ・ [起動]
ポート番号	<p>ポート番号を、1 ～ 65535 の間で設定します。(参照 P. 219 の *2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [4000] (初期値) <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。
SSL/TLS 通信	<p>SSL を使用した暗号化通信を有効にするかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [無効] (初期値) ・ [有効] <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SSL 通信では、クライアント証明書が必要です。適切な証明書を本機に設定してください。

[SNMP 設定]

💡 補足

- ・ SNMP の設定は、複数台のプリンターをリモートで管理するアプリケーションを使う場合に必要です。プリンターの情報は SNMP で管理されていて、アプリケーションは SNMP からプリンターの情報を収集します。

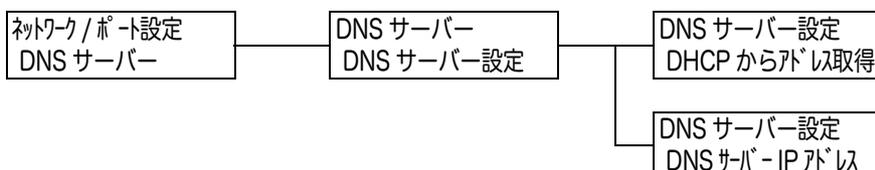


設定項目	説明
ポートの起動	<p>電源を入れたときに、SNMP ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [停止] ・ [起動] (初期値) <p>❗ 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。

[DNS サーバー]

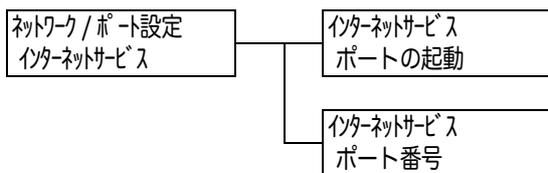
💡 補足

- ・ セカンダリーイーサネットカード (オプション) が取り付けられている場合は、[DNS サーバー設定 -1] と [DNS サーバー設定 -2] が表示されます。
- ・ 無線 LAN アダプタ (オプション) が取り付けられている場合は、[DNS サーバー設定 Wi-Fi] が表示されます。



設定項目	説明
DHCP からアドレス取得	<p>DNS サーバーの IP アドレスを DHCP サーバーから自動的に取得するかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] ・ [する] (初期値) <p>💡 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [する] から [しない] に変更すると、IP アドレスの設定画面が表示されることがあります。その場合は、手動で IP アドレスを設定してください。 ・ IP アドレスの取得方法が手動に設定されている場合は、[しない] で固定です。
DNS サーバー IP アドレス	<p>この項目は、自動で取得されたアドレスを確認する場合や手動でアドレスを設定する場合に使用します。アドレスを xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は 0 ~ 255 までの数値です。(参照 P. 219 の *2)</p>

[インターネットサービス]

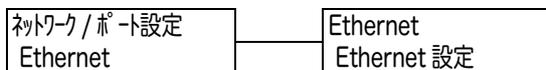


設定項目	説明
ポートの起動	<p>電源を入れたときに、インターネットサービスポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。[起動] に設定すると、CentreWare Internet Services を利用し、Web ブラウザーを介して本機の状態やジョブの状態を表示したり、本機の設定を変更したりできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [停止] ・ [起動] (初期値) <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットサービスを起動する場合は、コンピューター側、本機側ともに IP アドレスの設定が必要です。
ポート番号	<p>ポート番号を、1 ~ 65535 の間で設定します。(参照 P. 219 の *2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [80] (初期値) <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP プロトコルを使用するインターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD (参照 P. 219 の *6) ポートは、同じポート番号を共用できます。

[Ethernet]

補足

- ・セカンダリーイーサネットカード（オプション）が取り付けられている場合、[Ethernet 設定 -1] と [Ethernet 設定 -2] が表示されます。

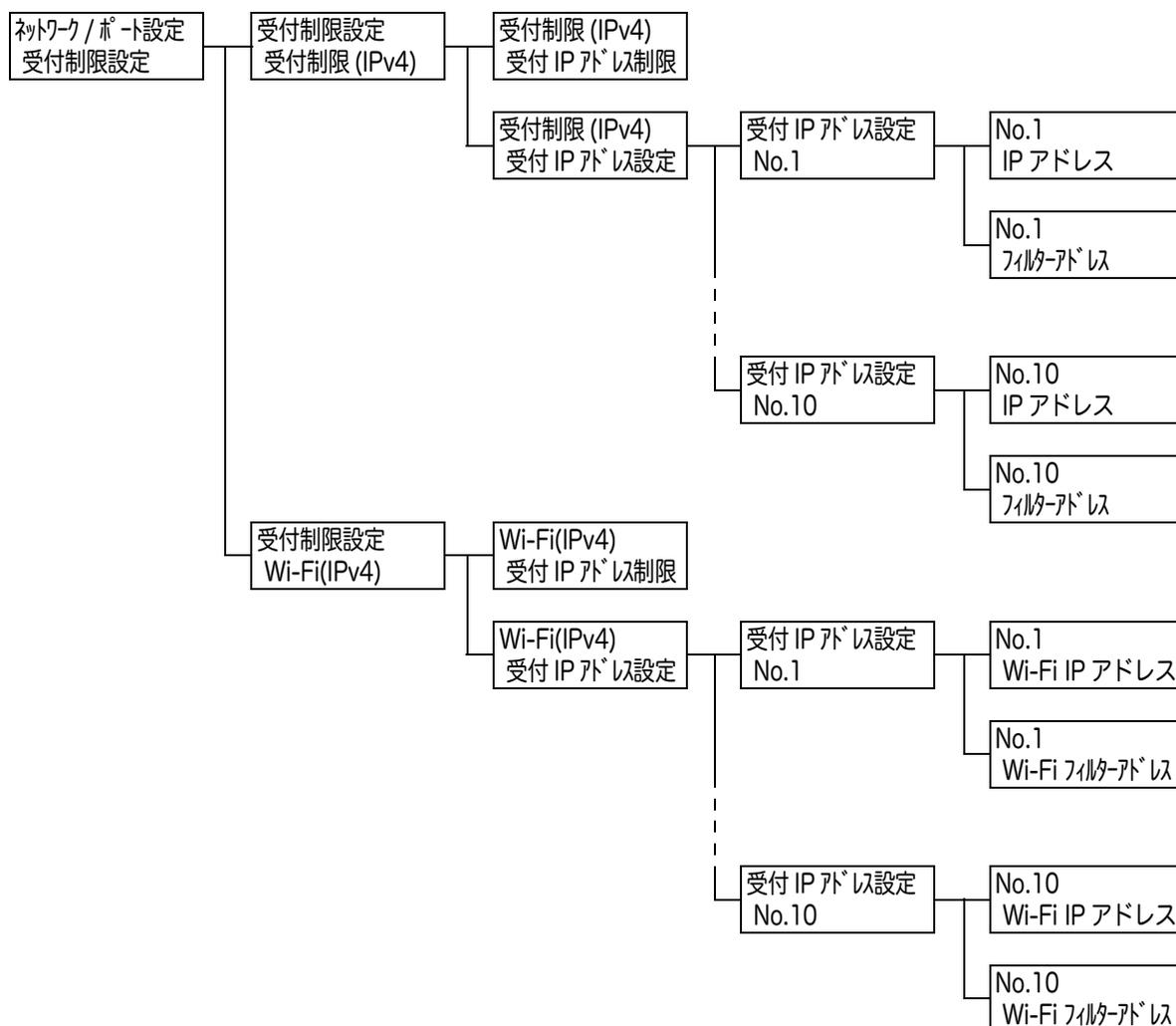


設定項目	説明
Ethernet 設定	<p>Ethernet インターフェイスの通信速度 / コネクタの種類を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none">・ [自動] (初期値) 100 M (全二重)、100 M (半二重)、10 M (全二重)、10 M (半二重)、1000 Mbps を自動的に切り替えます。・ [自動 (100Mbps 上限)] 100 M (全二重)、100 M (半二重)、10 M (全二重)、10 M (半二重) を自動的に切り替えます。・ [100M (全二重)] 100 M (全二重) に固定して使う場合に選びます。・ [100M (半二重)] 100 M (半二重) に固定して使う場合に選びます。・ [10M (全二重)] 10 M (全二重) に固定して使う場合に選びます。・ [10M (半二重)] 10 M (半二重) に固定して使う場合に選びます。・ [1000 Mbps] 1000 Mbps に固定して使う場合に設置します。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none">・セカンダリーイーサネットカード（オプション）が取り付けられている場合、[自動 (100Mbps 上限)] は、プライマリーインターフェイスの設定にのみ表示されます。セカンダリーインターフェイスの初期値は、[自動] になります。

[受付制限設定]

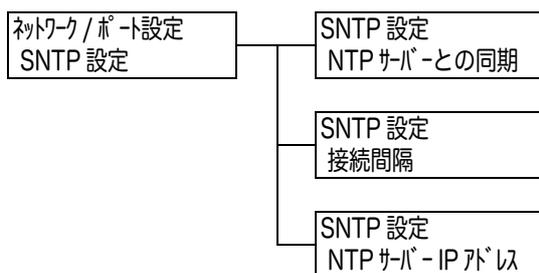
💡 補足

- ・ 受信制限は、CentreWare Internet Services でも設定できます。
- ・ セカンダリーイーサネットカード（オプション）が取り付けられている場合、[受付制限（IPv4）-1] と [受付制限（IPv4）-2] が表示されます。
- ・ Wi-Fi Direct 経由の通信には適用されません。



設定項目	説明
受付 IP アドレス制限	IP アドレスを使って受信制限をするかどうかを設定します。 ・ [しない]（初期値） ・ [する]
受付 IP アドレス設定	受け付ける IP アドレスを制限する場合に、プリントを受け付ける IP アドレスを登録します。IP アドレスは、10 個まで登録できます。登録した IP アドレスには、フィルターアドレスを設定します。IP アドレス、フィルターアドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。 xxx は 0～255 までの数値です。（参照 P. 219 の *2） たとえば、[IP アドレス]：192.0.2.1、[フィルターアドレス]：255.255.255.0 と設定した場合、プリントを受け付ける IP アドレスは、192.0.2.xxx です。xxx は 1～254 までの数値です。 💡 補足 ・ CentreWare Internet Services では、IP アドレスを 25 個まで登録できます。

[SNTP 設定]

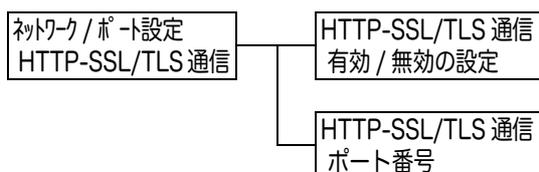


設定項目	説明
NTP サーバとの同期	NTP サーバと同期して、本機のシステム時計の時刻を合わせるかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] (初期値) ・ [する]
接続間隔	NTP サーバに接続する間隔を 1 ~ 500 時間の間で、1 時間単位に設定します。(参照 P. 219 の *2) <ul style="list-style-type: none"> ・ [168 時間] (初期値)
NTP サーバ IP アドレス	NTP サーバの IP アドレスを設定します。 IP アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は 0 ~ 255 までの数値です。(参照 P. 219 の *2) <ul style="list-style-type: none"> ・ [000.000.000.000] (初期値)

[HTTP-SSL/TLS 通信]

補足

- ・ SSL/TLS プロトコルを使用して、HTTP の通信データを暗号化する場合に設定します。この項目は、本機に証明書が登録されている場合に表示されます。
- ・ HTTP の通信の暗号化、および本機に必要なサーバ証明書については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P. 233)を参照してください。



設定項目	説明
有効 / 無効の設定	SSL/TLS 通信を使用するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [無効] (初期値) SSL/TLS 通信を使用しません。 ・ [有効] SSL/TLS 通信を使用します。
ポート番号	ポート番号を、1 ~ 65535 の間で設定します。(参照 P. 219 の *2) <ul style="list-style-type: none"> ・ [443] (初期値) <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。

[IPsec 通信]

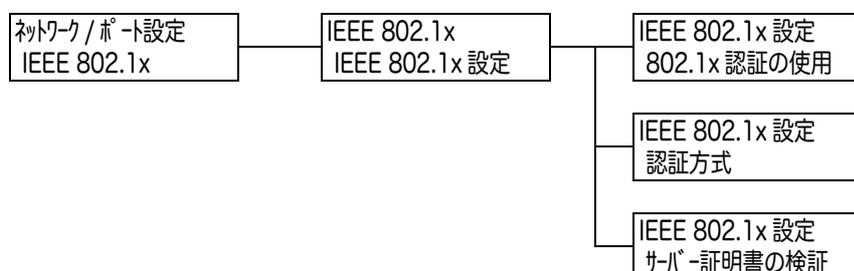
ネットワーク/ポート設定
IPsec 通信

設定項目	説明
IPsec 通信	<p>コンピューターからネットワーク上の本機へデータを送るときに、データをパケット単位で暗号化して送信するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [無効] (初期値) ・ [有効] <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次の OS をお使いの場合だけ使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> - Windows® 7 - Windows® 8.1 - Windows® 10 - Windows Server® 2008 R2 - Windows Server® 2012 R2 - Windows Server® 2016 ・ IPsec の設定方法については、「IPsec を使用して暗号化するための設定」(P. 238) を参照してください。

[IEEE 802.1x 設定]

補足

- ・ セカンダリーイーサネットカード (オプション) が取り付けられている場合、[IEEE 802.1x 設定 -1] と [IEEE 802.1x 設定 -2] が表示されます。



設定項目	説明
802.1x 認証の使用	<p>IEEE 802.1x 認証を使用するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [使用しない] (初期値) ・ [使用する]
認証方式	<p>IEEE 802.1x の認証方式を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [EAP-TTLS/PAP] (初期値) ・ [EAP-TTLS/CHAP] ・ [EAP-TTLS/MS-CHAPv2] ・ [PEAP/MS-CHAPv2] ・ [EAP-TLS] <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [EAP-TLS] は、機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) とクライアント証明書が必要です。

設定項目	説 明
サーバー証明書の 検証	サーバー証明書の検証をするかどうかを設定します。 ・ [しない] (初期値) ・ [する]

[プライマリネット選択]

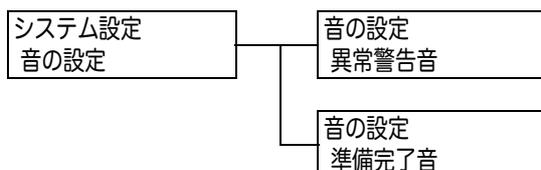
- ・ 無線 LAN アダプタ (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。

設定項目	説 明
プライマリネット選択	優先して接続するネットワーク接続の種類を設定します。 ・ [Ethernet] (初期値) ・ [Wi-Fi]

[システム設定]

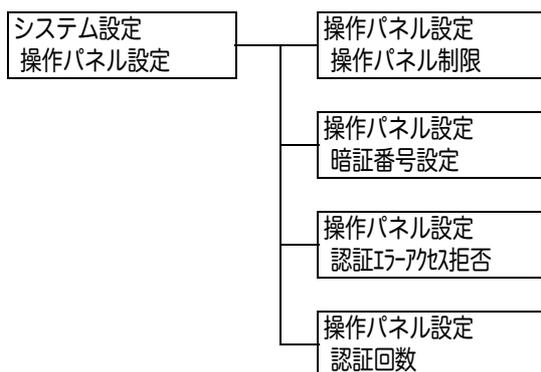
[システム設定] は、本機の動作設定を行うためのメニューです。

[音の設定]



設定項目	説 明
異常警告音	紙づまりなどの異常が発生し、ジョブが異常状態のまま保留になったときに鳴る音の大きさを設定します。 ・ [なし] ・ [小] (初期値) ・ [中] ・ [大]
準備完了音	本機がプリントできる状態になったときに鳴る音の大きさを設定します。 ・ [なし] ・ [小] (初期値) ・ [中] ・ [大] 💡 補足 ・ AirPrint を使用してプリントする場合、モバイルデバイスから使用可能なプリンターを検索し、その機械の準備完了音を鳴らすことができます。 AirPrint を使用したプリントについては、「AirPrint」(P. 136) を参照してください。

[操作パネル設定]



設定項目	説明
操作パネル制限	<p>暗証番号を設定して、メニュー操作を制限するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] (初期値) ・ [する] <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [する] に設定すると、暗証番号設定画面が表示されます。暗証番号として 12 桁の数字を、〈▲〉、〈▼〉 ボタンを押して入力してください。〈▶〉、〈◀〉 ボタンで桁を移動できます。 ・ 暗証番号として、[000000000000] は設定できません。 ・ この設定は、CentreWare Internet Services を使ってリモートで管理することもできます。
暗証番号設定	<p>操作パネル制限を設定している場合に暗証番号を変更できます。新しい暗証番号を 12 桁の数字で入力してください。2 回入力した暗証番号が一致した場合に、暗証番号が変更されます。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [操作パネル制限] を [する] に設定しないと、暗証番号を変更できません。 ・ この設定は、CentreWare Internet Services を使ってリモートで管理することもできます。
認証エラーアクセス拒否	<p>認証エラーが発生した場合に、アクセスを拒否するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] ・ [する] (初期値)
認証回数	<p>認証エラーが発生した場合に、アクセスを拒否するまでのエラー回数を 1 ~ 10 回の間で、1 回単位に設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [5 回] (初期値) <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [認証エラーアクセス拒否] が [しない] に設定されている場合は、[しない] と表示されます。

[自動リセット]

システム設定
自動リセット

設定項目	説明
自動リセット	メニューが表示された状態を自動的に解除するかどうかを、1～30分の間で、1分単位に設定します。(参照 P. 219 の*2) <ul style="list-style-type: none">・ [しない] (初期値)・ [1分後] ～ [30分後]

[結露防止モード]

システム設定
結露防止モード

設定項目	説明
結露防止モード	本機内の結露を防止または軽減する結露防止モードに移行するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none">・ [有効]・ [無効] (初期値) <p> 注記</p> <ul style="list-style-type: none">・ 結露防止モードを [有効] にするときは、CentreWare Internet Services の [節電モード設定] で [低電力モード移行時間] の [有効] にチェックを入れてください。・ 結露防止モードを [有効] に設定したときは、定着ユニットの通電時間が長くなり、定着ユニットの交換時期が早くなる場合があります。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none">・ [低電力モード] および [結露防止モード] の両方を [有効] に設定したときは、[結露防止モード] に移行します。この場合、[スリープモード] には移行しません。

[節電移行時間短縮]

補足

- ・ 低電力移行時間については、「3.2 節電機能について」(P. 36)を参照してください。

システム設定
節電移行時間短縮

設定項目	説明
節電移行時間短縮	他の設定に関わらず、30秒後に、スリープモードに移行するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none">・ [有効] (初期値)・ [無効] <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none">・ スリープに移行できない場合は、低電力モードに移行します。

[低電力モード]

補足

- ・ 低電力モードについては、「3.2 節電機能について」(P. 36)を参照してください。

システム設定
低電力モード

設定項目	説明
低電力モード	<p>低電力モードは、一定の時間が経過すると、自動的に定着ユニットの温度を下げて機械の消費電力を節約する機能です。この機能を使用するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none">・ [有効] (初期値)・ [無効] <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none">・ [節電移行時間短縮] の設定が [有効] になっている場合は、[低電力モード] を [無効] にできません。・ [スリープモード] の設定が [無効] になっている場合は、[低電力モード] を [無効] に設定できません。

[低電力移行時間]

補足

- ・ 低電力移行時間については、「3.2 節電機能について」(P. 36)を参照してください。

システム設定
低電力移行時間

設定項目	説明
低電力移行時間	<p>低電力モードに移行するまでの時間を 1 ～ 60 分の間で 1 分単位に設定します。(参照 P. 219 の *2)</p> <ul style="list-style-type: none">・ [1 分後] (初期値) <p> 注記</p> <ul style="list-style-type: none">・ 定着ユニットの寿命は、プリンターの通電時間等に大きく左右されます。節電モードへの移行時間を長く設定すると、プリンターの通電時間が長くなり、定着ユニットの交換時期が早くなる場合があります。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none">・ [節電移行時間短縮] の設定が [有効] になっている場合は、[低電力移行時間] を設定できません。

[スリープモード]

補足

- ・スリープモードについては、「3.2 節電機能について」(P. 36)を参照してください。

システム設定
スリープモード

設定項目	説明
スリープモード	<p>スリープモードは、コントローラーの受信部以外の電源を完全にオフにし、消費電力を最低の値に下げる機能です。ただし、ウォームアップ時間は、低電力モードよりも長くなります。この機能を使用するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none">・ [有効] (初期値)・ [無効] <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none">・ [節電移行時間短縮] の設定が [有効] になっている場合は、[スリープモード] を [無効] にできません。・ [低電力モード] の設定が [無効] になっている場合は、[スリープモード] を [無効] に設定できません。

[スリープモード移行時間]

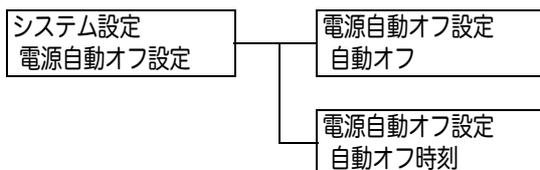
補足

- ・スリープモード移行時間については、「3.2 節電機能について」(P. 36)を参照してください。

システム設定
スリープモード 移行時間

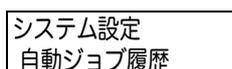
設定項目	説明
スリープモード 移行時間	<p>スリープモードに移行するまでの時間を 1 ~ 60 分の間で 1 分単位に設定します。(参照 P. 219 の *2)</p> <ul style="list-style-type: none">・ [1 分後] (初期値) <p> 注記</p> <ul style="list-style-type: none">・ 定着ユニットの寿命は、プリンターの通電時間等に大きく左右されます。スリープモードへの移行時間を長く設定すると、プリンターの通電時間が長くなり、定着ユニットの交換時期が早くなる可能性があります。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none">・ [節電移行時間短縮] の設定が [有効] になっている場合は、[スリープモード移行時間] を設定できません。 <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「操作例：スリープモードへの移行時間を変更する」(P. 144)

[電源自動オフ設定]



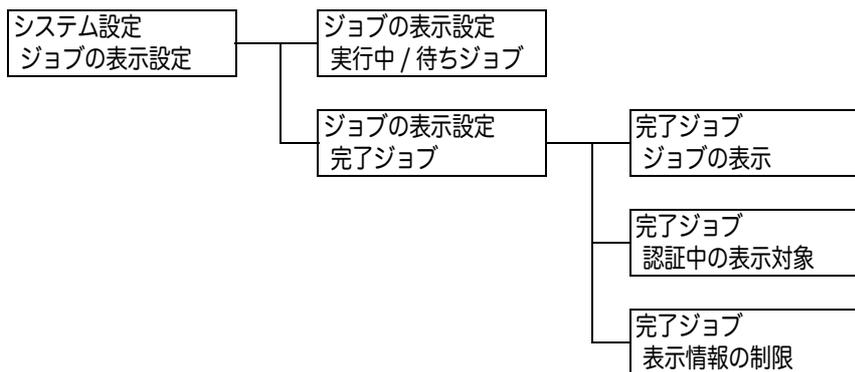
設定項目	説明
自動オフ	<p>本機では、設定した時刻になると電源が自動的に切れるように設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [する] 設定した時刻になると、本機の電源が自動的に切れます。 ・ [しない] (初期値) 本機の電源は自動的に切れません。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動オフ時刻が設定されていても、本機に紙づまりなどの異常が発生している場合や、ジョブや割り込みなどの処理を行っている場合には、電源は自動的に切れません。
自動オフ時刻	<p>[システム時計] > [時刻表示切り替え] で設定した形式に合わせて、時：分を設定します。</p> <p>時間は 1 ~ 12 時、または 00 ~ 23 時の間で 1 時間単位、分は 00 ~ 59 分の間で 1 分単位に設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [0:00] (初期値) <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [時刻表示切り替え] の設定方法については、「時刻表示切り替え」(P.179) を参照してください。

[自動ジョブ履歴]



設定項目	説明
自動ジョブ履歴	<p>処理を行ったプリントデータに関する情報 (ジョブ履歴レポート) を、自動的にプリントするかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [プリントしない] (初期値) ジョブ履歴レポートを自動的にプリントしません。 ・ [プリントする] 過去に自動で排出されていないプリントデータの履歴が、記憶領域いっぱいになった時点 (50 件) で、古いものから自動的にプリントされます。実行中や実行待ちのプリントデータは記録されません。

[ジョブの表示設定]



設定項目		説明
実行中 / 待ちジョブ		プリントを実行中、またはレディー時のジョブの情報表示について設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [情報を制限しない] (初期値) ・ [情報を制限する]
完了ジョブ	—	完了ジョブの情報表示について設定します。
	ジョブの表示	完了したジョブの表示方法について設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [表示しない] ・ [認証中は表示する] ・ [常に表示する] (初期値)
	認証中の表示対象	完了したジョブについて、全てのユーザーのジョブを表示するか、認証ユーザーのみの情報を表示するかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [すべて] (初期値) ・ [認証ユーザーのジョブ]
	表示情報の制限	完了ジョブの表示情報を制限するかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [制限しない] (初期値) ・ [制限する]

[レポート両面プリント]



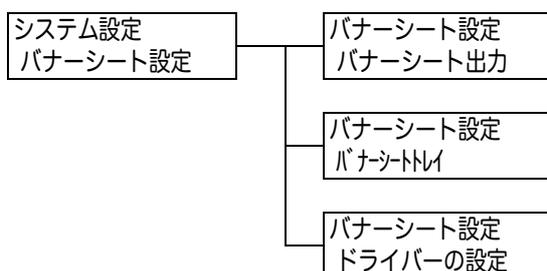
設定項目	説明
レポート両面プリント	レポート / リストをプリントするときに、片面にプリントするか両面にプリントするかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [片面] ・ [両面] (初期値)

[プリント可能領域]

システム設定
プリント可能領域

設定項目	説明
プリント可能領域	<p>プリント可能領域を拡張するかどうかを設定します。エミュレーション（HP-GL/2、ESC/P、PCL）や PostScript® でプリントする場合に有効です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [標準]（初期値） ・ [拡張]

[バナーシート設定]



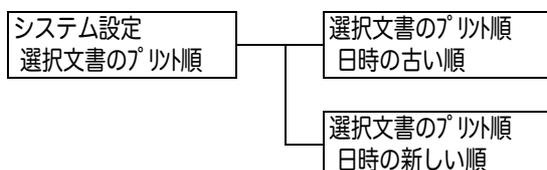
設定項目	説明
バナーシート出力	<p>バナーシートを出力するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [出力しない]（初期値） バナーシートを出力しません。 ・ [スタートシート] 文書の始めに出力します。 ・ [エンドシート] 文書の終わりに出力します。 ・ [スタート + エンドシート] 文書の始めと終わりに出力します。
バナーシートトレイ	<p>バナーシート用の用紙を給紙するトレイを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [トレイ 1]（初期値） ・ [トレイ 2] ~ [トレイ 4] <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トレイ 2 ~ 4 はオプションです。装着していないトレイは表示されません。
ドライバーの設定	<p>プリンタードライバーでのバナーシートの設定を有効にするかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [有効]（初期値） ・ [無効] <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [有効] に設定すると、NPDL プリンタードライバーでもプリントできます。

[セキュリティープリント操作]

システム設定
セキュリティープリント操作

設定項目	説明
セキュリティープリント操作	セキュリティープリントのプリントを、操作パネルから実行できるようにするかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none">・ [無効] 操作パネルからセキュリティープリントを実行できません。・ [有効] (初期値) 操作パネルからセキュリティープリントを実行できます。

[選択文書のプリント順]

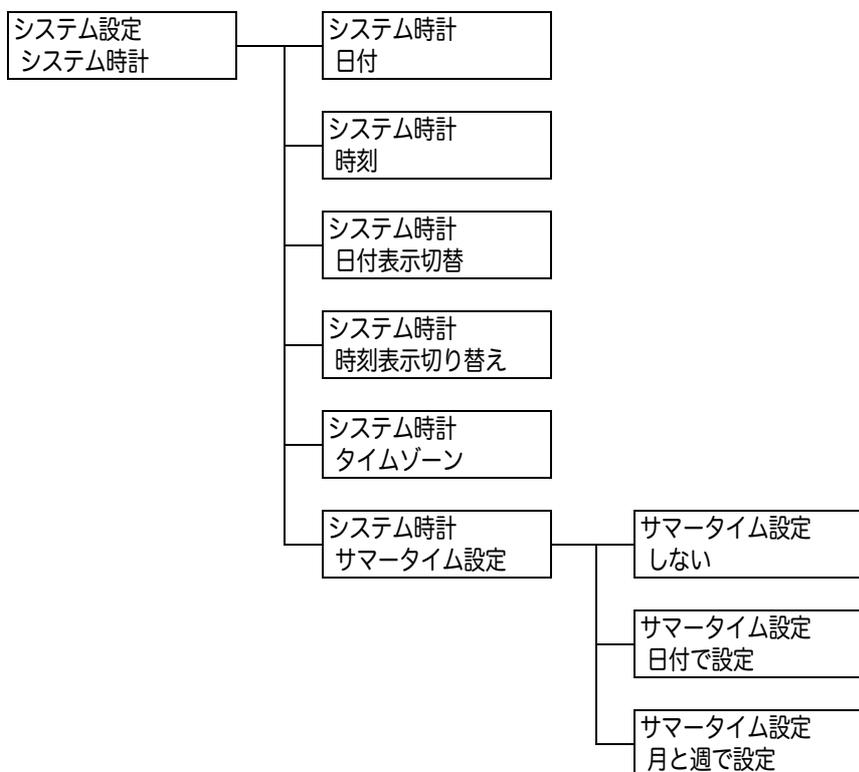


設定項目	説明
選択文書のプリント順	セキュリティープリント機能、プライベートプリント機能、および認証プリント機能を使ってプリントする場合に、選択文書のプリント順を設定します。 <ul style="list-style-type: none">・ [日時の古い順] (初期値) 日時の古い順にプリントします。・ [日時の新しい順] 日時の新しい順にプリントします。

[システム時計]

💡 補足

- ・ここで設定された日付 / 時刻が、レポートやリストにプリントされます。



設定項目	説明
日付	[日付表示切替] で設定した形式に合わせて、年月日を設定します。
時刻	[時刻表示切り替え] で設定した形式に合わせて、時：分を設定します。
日付表示切替	日付の表示順序を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [yyyy/mm/dd] (初期値) 年 / 月 / 日の順で表示します。 ・ [mm/dd/yyyy] 月 / 日 / 年の順で表示します。 ・ [dd/mm/yyyy] 日 / 月 / 年の順で表示します。
時刻表示切り替え	時刻表示の方法を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [12 時間制] ・ [24 時間制] (初期値)
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。

設定項目	説 明
サマータイム設定	<p>サマータイムについて設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] (初期値) サマータイムを設定しません。 ・ [日付で設定] サマータイムの開始日、終了日を日付 (月、日) で設定します。 ・ [月と週で設定] サマータイムの開始日、終了日を月と週で設定します。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設定できない値を入力したときには「設定値が正しくありません」、開始日と終了日に同じ設定をしたときには「開始日と終了日が正しくありません」が表示されます。 ・ 開始日と終了日に同じ月は設定しないでください。同じ月を設定すると、サマータイムの設定が正しく動作しません。

[紙づまり時の処理]

システム設定 紙づまり時の処理

設定項目	説 明
紙づまり時の処理	<p>プリント中に紙づまりが発生した場合の処理を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [除去後にプリント再開] (初期値) 紙づまり解消後に、プリントを再開します。 ・ [プリント中止] 紙づまり解消後に、そのジョブをキャンセルします。

[ドラム寿命動作]

システム設定 ドラム寿命動作

設定項目	説 明
ドラム寿命動作	<p>ドラムカートリッジの交換時期になったとき、プリントを停止するかどうかを選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [プリント停止しない] ドラムカートリッジの交換時期になっても、すぐにプリントは停止されず、ドラムカートリッジに異常が検知された段階で本機を保護するために強制的にプリントを停止します。 ただし、この場合はドラムカートリッジの寿命が過ぎているため、プリント画質など本機の性能に影響が出ることがあります。また短期間でプリントが停止してしまう可能性があるため、すぐに新しいドラムカートリッジをご用意のうえ、交換することをお勧めします。 ・ [プリント停止する] (初期値) ドラムカートリッジ交換のメッセージ表示後は、新しいドラムカートリッジに交換するまでプリントは停止されます。

*1 プリント可能ページ数は、プリント条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度、設置環境の温度・湿度などによって、大きく異なります。詳しくは、「13.4 消耗品と有寿命部品 (定期交換部品、有償) の寿命について」(P. 370) を参照してください。

[ミリ/インチ切り替え]

システム設定
ミリ/インチ切り替え

設定項目	説明
ミリ/インチ 切り替え	操作パネルで長さを表示 / 入力するときの単位を設定します。 ・ [ミリ (mm)] (初期値) ・ [インチ (")]

[データ暗号化]

注記

- ・ [データ暗号化] の設定を変更した場合、ハードディスクが初期化されます。

補足

- ・ この項目は、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- ・ データの暗号化は、ハードディスクにデータを書き込むときに、すべてのデータに対して自動的に暗号化します。

システム設定
データ暗号化

データ暗号化
暗号化処理

設定項目	説明
暗号化処理	システム内部（ハードディスク）のデータの暗号化をするかどうかを設定します。 ・ [する] ・ [しない] (初期値)

[HDDの上書き消去]

補足

- ・ この項目は、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

システム設定
HDDの上書き消去

設定項目	説明
HDDの上書き消去	ハードディスク内のデータを上書き消去をするかどうか、上書き消去する場合は、その回数を設定します。 ・ [しない] ・ [1回] (初期値) ・ [3回]

[プリントジョブの追越]

補足

- ・この項目は、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられていて、[異常終了プリント処理] が [自動的に再開] に設定されている場合に表示されます。

システム設定 プリントジョブの追越

設定項目	説明
プリントジョブの追越	<p>本機が何らかの原因で実行開始できない（プリントを開始しようとしたときに、用紙トレイの用紙がなくなったなど）場合、ほかに実行開始できるジョブがあるときに、ジョブの追越しを許可するか、禁止するかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none">・ [禁止]（初期値）・ [許可] <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none">・ セキュリティプリントやサンプルプリントなどの蓄積文書は、追越し許可の対象外です。・ [許可] に設定した場合、[異常終了プリント処理] は設定できません。

[異常終了プリント処理]

補足

- ・この項目は、[プリントジョブの追越] が [禁止] に設定されている場合に使用できます。

システム設定 異常終了プリント処理

設定項目	説明
異常終了プリント処理	<p>実行中のジョブに何らかのエラーが発生し、ジョブのキャンセルが必要になった場合の動作について設定します。</p> <ul style="list-style-type: none">・ [自動的に再開] エラーが発生したジョブを機械が自動的にキャンセルし、次のジョブを再開します。・ [ユーザー操作で再開]（初期値) ジョブのキャンセルが必要なエラーが発生した場合は、操作パネルにエラーメッセージを表示します。本体側の操作によって、ジョブがキャンセルされます。

[ソフトウェアダウンロード]

システム設定 ソフトウェアダウンロード

設定項目	説明
ソフトウェアダウンロード	<p>ソフトウェアのダウンロードを許可するか、禁止するかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none">・ [許可]（初期値）・ [禁止]

[RAM ディスク]

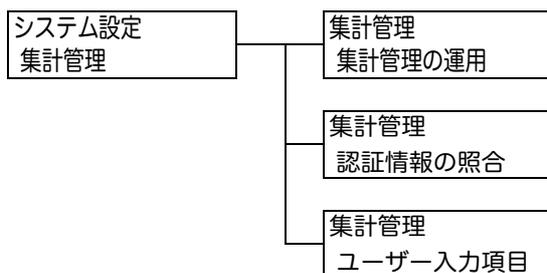
💡 補足

- ・ この項目は、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合には、表示されません。

システム設定
RAM ディスク

設定項目	説明
RAM ディスク	<p>RAM ディスクを使用するか、しないかを設定します。[有効] に設定すると RAM ディスクが使用できるようになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [無効] ・ [有効]（初期値） <p>❗ 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ RAM ディスクを使用している場合、本機の電源を切ると、蓄積した文書はすべて削除されます。

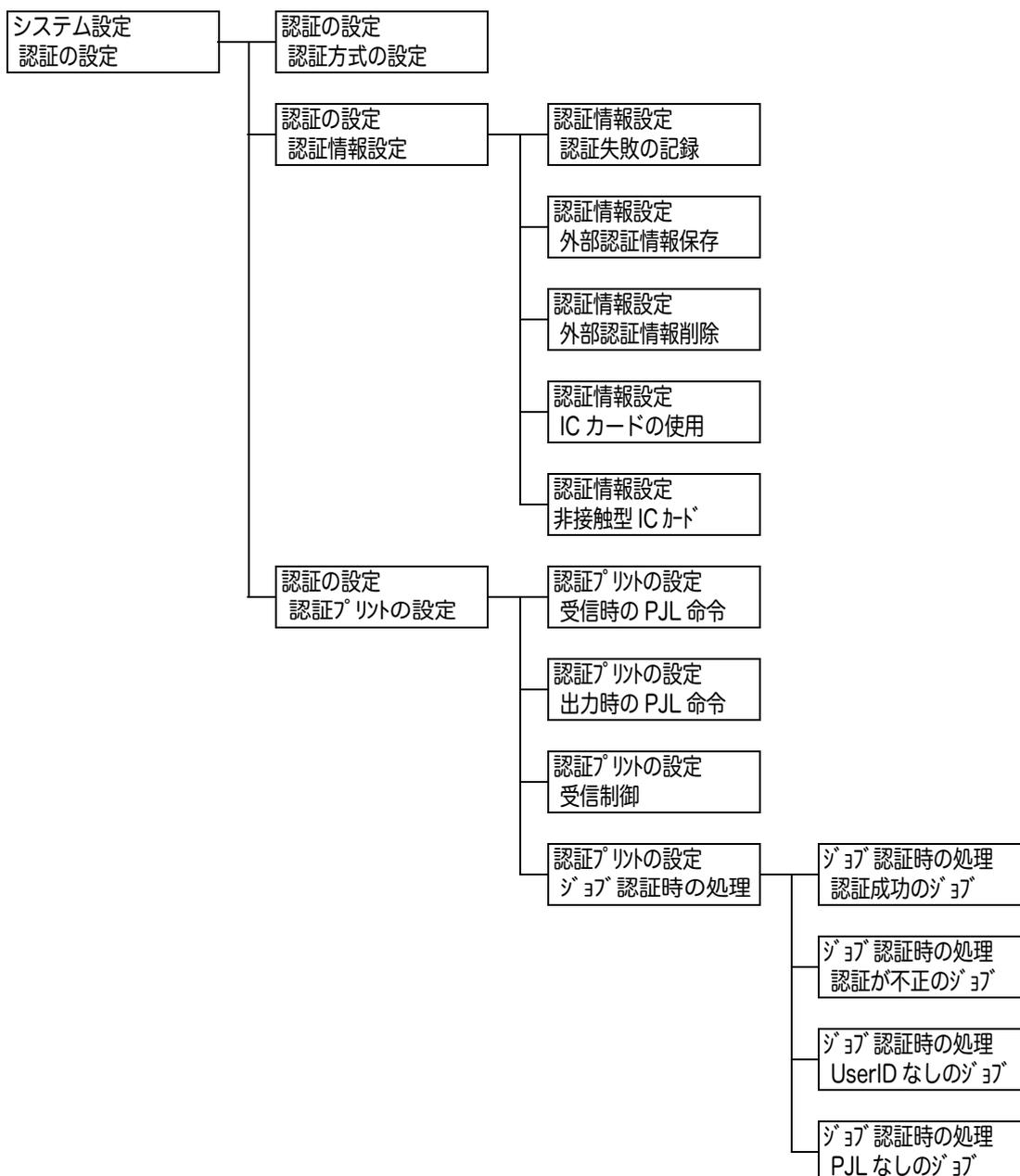
[集計管理]



設定項目	説明
集計管理の運用	<p>集計管理の運用方法を設定します。[本体集計管理] に設定すると、[プリンター集計レポート] に代わって、[プリンター集計管理レポート] がプリントされます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない]（初期値） ・ [認証サーバー] 認証サーバーで管理されているユーザー情報を使用して集計管理を行います。 ・ [本体集計管理] 本機にあらかじめ登録されている情報を利用して、集計管理をします。 ・ [ネット集計管理] 外部アカウントサービスで管理されているユーザー情報を使用して集計管理を行います。ユーザー情報は、外部アカウントサービスから登録します。
認証情報の照合	<p>認証するときに、入力情報を照合するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない]（初期値） ・ [する] <p>💡 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] は、[認証の設定] > [認証方式の設定] が [認証しない] に設定されている場合に表示されます。 ・ [する] は、[認証の設定] > [認証方式の設定] が [認証しない] か [本体認証] に設定されている場合に表示されます。

設定項目	説明
ユーザー入力項目	<p>認証するために、ユーザーが入力する項目を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [User ID と Account ID] (初期値) 認証するときに、User ID と Account ID の両方を入力します。 ・ [User ID のみ] 認証するときに、User ID だけを入力します。 ・ [Account ID のみ] 認証するときに、Account ID だけを入力します。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [User ID と Account ID] および [User ID のみ] は、[認証の設定] > [認証方式の設定] が [認証しない]、[認証情報の照合] が [する] に設定されている場合は、表示されません。 ・ [Account ID のみ] は、[認証の設定] > [認証方式の設定] が [本体認証] に設定されている場合は、表示されません。

[認証の設定]



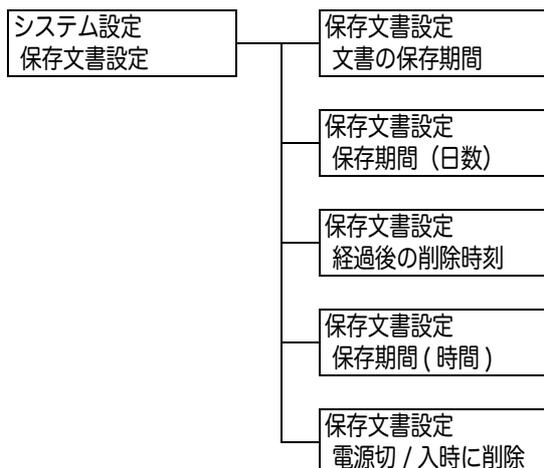
設定項目	説明
認証方式の設定	認証の方法を設定します。 ・ [認証しない] (初期値) 認証しません。 ・ [本体認証] 本機にあらかじめ登録されているユーザー情報を、認証に使用します。 ・ [外部認証] 外部認証サーバーを、認証に使用します。

設定項目		説明
認証情報設定	認証失敗の記録	不正なアクセスを検知するために、10分間に設定した回数だけ認証に失敗したとき、[エラー履歴レポート]に認証失敗を記録するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] ・ [する] (初期値) [する]にする場合は、認証失敗を記録する失敗回数を1～600の間で設定します。初期値は10回です。  補足 <ul style="list-style-type: none"> ・ 認証に失敗しても、[エラー履歴レポート]に記録が残るだけで、「[操作パネル設定]」(P. 171)のようなアクセス拒否は行われません。
	外部認証情報保存	外部認証情報を保存するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] (初期値) ・ [する]  補足 <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目は、機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) が取り付けられていて、[認証方式の設定]で[外部認証]が設定されている場合に表示されます。
	外部認証情報削除	[外部認証情報保存]を[する]にして保存された外部認証情報を削除します。  補足 <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目は、能拡張キット (ハードディスク) (オプション) が取り付けられていて、[認証方式の設定]で[外部認証]が設定されている場合に表示されます。
	ICカードの使用	ICカードを使用するかについて設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] (初期値) ・ [する] ・ [する (PKIのみ)]  補足 <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目は、機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。
	非接触型ICカード	非接触型ICカードを使った認証について設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [離れても認証継続] (初期値) ・ [離れたら認証解除]  補足 <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目は、機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。
認証プリントの設定	—	認証登録ユーザー情報を使った認証プリントについて設定します。  補足 <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目は、機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) が取り付けられている場合、またはRAMディスクが[有効]に設定されている場合に表示されます。
	受信時のPJL命令	PJL命令で、外部からのプリント受信を制御できます。[制御しない]を選んだとき、またはPJL命令がないときは、後述の[受信制御]の設定を使用します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [制御しない] (初期値) ・ [制御する]

設定項目		説明
(認証プリントの設定)	出力時の PJI 命令	PJI 命令で、外部からのプリントジョブのプリントを制御できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [制御しない] (初期値) ・ [制御する]
	受信制御	<p>受信したプリントジョブを、どのように扱うかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [プリントの認証に従う] (初期値) ・ [プライベートプリント保存] 認証機能を利用しているいないにかかわらず、User ID が付いたジョブをすべてプライベートプリントに保存します。 ・ [認証プリントに保存] 認証機能を利用しているいないにかかわらず、受信したジョブをすべて認証プリントに保存します。 <p> 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [認証プリントに保存] に設定すると、認証に成功してもしなくても、プリントジョブはすべて保存されます。不要なプリントジョブを増やさないためには、保存期間を設定して保存期間を過ぎたプリントジョブを自動的に削除するように設定するか、手動で削除してください。保存期間を設定する方法については、「[保存文書設定]」(P. 189) を参照してください。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目は、機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) が取り付けられていて、IC カード読み取り装置が接続されている場合に表示されます。 ・ [プライベートプリント保存] および [認証プリントに保存] に設定すると、プリンタードライバーで、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントを指示しても無視されます。

設定項目		説明
(認証プリントの設定)	ジョブ認証時の処理	<p>プリントジョブを受信した際の処理方法について設定します。</p> <p>[認証成功のジョブ] 認証が成功したジョブを受信した際の処理方法について設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [プリント] (初期値) プリントします。 ・ [プライベートプリント保存] プライベートプリントに保存します。 <p>[認証が不正のジョブ] 認証が不正のジョブを受信した際の処理方法について設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [認証プリントに保存] ・ [ジョブを中止] (初期値) <p>[UserID なしのジョブ] UserID が無いジョブを受信した際の処理方法について設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [プリント] ・ [認証プリントに保存] ・ [ジョブを中止] (初期値) <p>[PJL なしのジョブ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [User ID を利用しない] (初期値) ・ [User ID があれば利用] <ul style="list-style-type: none"> - [プリント] - [認証プリントに保存] - [プライベートプリント保存] (初期値) - [ジョブを中止] <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目は、機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) が取り付けられていて、IC カード読み取り装置が接続されている場合に表示されます。

[保存文書設定]



設定項目	説 明
文書の保存期間	<p>蓄積文書の保存期間を設定します。設定した期間が経過すると、蓄積文書は自動的に削除されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [設定しない] (初期値) 保存したままにします。 ・ [日数と削除時刻] 日数と時刻で保存期間を設定します。 ・ [時間] 削除するまでの時間を設定します。
保存期間 (日数)	<p>保存期間 (日数) を 1 ～ 14 日の間で設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [7 日] (初期値)
経過後の削除時刻	<p>文書を削除する時刻を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [3:00AM] または [3:00] (初期値) <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [システム設定] > [システム時計] > [時刻表示切り替え] の設定によって、12 時間表示または 24 時間表示で設定します。
保存期間 (時間)	<p>保存期間 (時間) を 0 時間 15 分～ 120 時間 00 分の間で設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [4 時間 00 分] (初期値)
電源切 / 入時に削除	<p>電源を切 / 入したとき、保存期間にかかわらず、蓄積文書を削除するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [削除しない] (初期値) 電源を切 / 入したときに、保存時間を経過した蓄積文書だけを削除します。保存時間が経過していない蓄積文書は、削除しません。 ・ [削除する] 電源を切 / 入したときに、すべての蓄積文書を削除します。

[ソフトウェアオプション]

補足

- ・この項目は、セキュリティ拡張キット（オプション）または PostScript ソフトウェアキット（オプション）を取り付けるときに使用します。
- ・セキュリティ拡張キットを取り付ける場合は、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が必要です。

システム設定
ソフトウェアオプション

設定項目	説明
ソフトウェアオプション	<p>機械に取り付けたソフトウェアオプションを有効にします。[有効化] を選ぶと、確認メッセージが表示されます。<input type="button" value="OK"/> ボタンを押してください。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none">・一度、[有効化] に設定すると、取り付けているソフトウェアオプションの ROM は、他の機械で使用できません。・機能をクリアしたり、無効にしたい場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。

[GCP 登録]

補足

- ・この項目は、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）を取り付けていて、Google クラウドプリントポートが起動されている場合に表示されます。Google クラウドプリントポートの起動方法については、「本機で Google クラウドプリントを使うために必要な作業」(P.137) を参照してください。

システム設定
GCP 登録

設定項目	説明
GCP 登録	<p>CentreWare Internet Services を使用して、お使いのコンピューターから Google クラウドプリントへの本機の登録要求が済んでいる場合、次の画面が表示されます。</p> <p>[GCP 受付許可しますか？]</p> <ul style="list-style-type: none">・ [はい] (初期値)・ [いいえ] <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none">・ Google クラウドプリントへの本機の登録が取り消されている場合、[登録は取り消されました]、既に登録されている場合は、[この機械は既に登録されています] というメッセージが表示されます。 <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none">・ Google クラウドプリントについて詳しくは、「Google クラウドプリント」(P. 137) を参照してください。

[静音モード設定]

システム設定
静音モード設定

設定項目	説明
静音モード設定	<p>プリント時の稼働音が気になる場合に稼働音を抑えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none">・ [無効] (初期値)・ [常に有効]・ [時刻指定で有効] <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none">・ MultiWriter 8800、MultiWriter 8700 の場合に有効な機能です。・ [時刻指定で有効] に設定した場合は、開始時刻と終了時刻を [システム時計] > [時刻表示切り替え] で設定した形式に合わせて、時：分を設定します。時間は 1～12 時、または 00～23 時の間で 1 時間単位、分は 00～59 分の間で 1 分単位に設定できます。・ 静音モードにすると、プリント速度が遅くなります。

[プリント設定]

[プリント設定] では、自動トレイ選択や用紙トレイについて設定します。

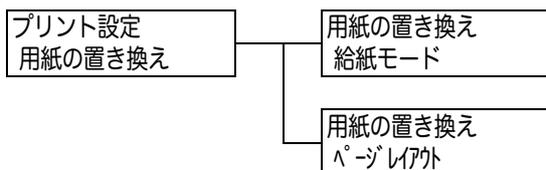
💡 補足

- ・ 自動トレイ選択については、「自動トレイ選択について」(P. 57) を参照してください。

[用紙の置き換え]

! 注記

- ・ この設定は NPD L モードでは使用できません。



設定項目	説明
給紙モード	<p>自動トレイ選択でプリントしたとき、指定したサイズ of 用紙がセットされたトレイがない場合に、ほかのサイズの用紙に置き換えてプリントするかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none">・ [しない] (初期値) 置き換えはしないで、用紙補給のメッセージを表示します。・ [大きいサイズを選択] 選択されている用紙サイズの次に大きなサイズの用紙に置き換えて、等倍でプリントします。・ [近いサイズを選択] 選択されている用紙サイズにもっとも近いサイズの用紙に置き換えてプリントします。必要に応じて、自動的にイメージを縮小することがあります。・ [近いサイズ (等倍)] 選択されている用紙サイズにもっとも近いサイズの用紙に置き換えて、等倍でプリントします。・ [手差しトレイを選択] 手差しトレイにセットされている用紙にプリントします。 <p>💡 補足</p> <ul style="list-style-type: none">・ コンピューター側から指定があった場合は、コンピューター側の指定が優先されます。
ページレイアウト	<p>用紙置き換えをする場合のレイアウトを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none">・ [標準] (初期値) ページ記述言語ごとの標準的な位置にプリントします。・ [中央] 置き換えた用紙の中央にプリントします。

[用紙種類エラーの処理]

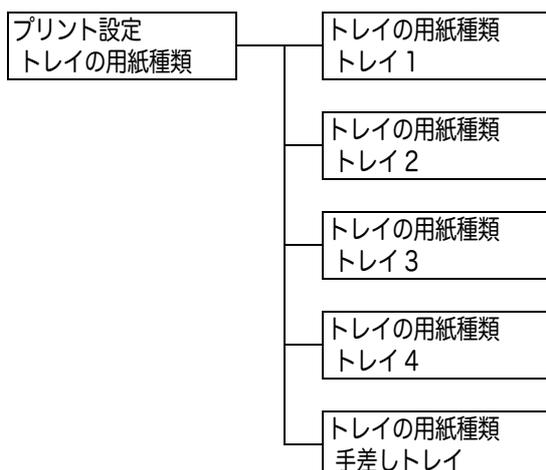
! 注記

- ・ この設定は NPDL モードでは使用できません。

プリント設定
用紙種類エラーの処理

設定項目	説明
用紙種類エラーの処理	<p>プリントジョブで指定している用紙種類がセットされている用紙トレイがない場合にどうするかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [設定変更表示] 設定変更を促すメッセージを表示します。 ・ [確認画面表示] (初期値) 用紙種類の確認を促すメッセージを表示します。 ・ [プリントする] メッセージを表示しないで、現在セットされている用紙種類でプリントします。

[トレイの用紙種類]



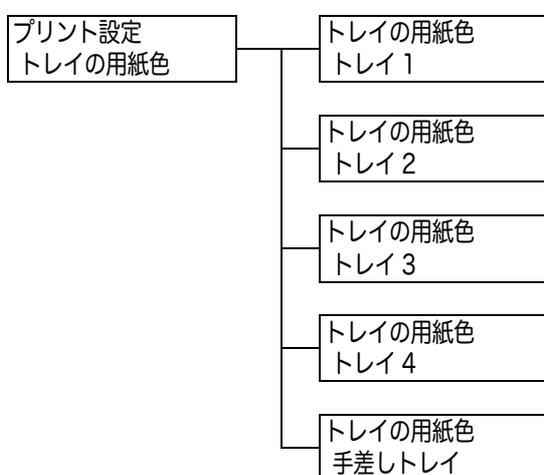
設定項目	説明
トレイ 1 ~ 4	<p>用紙トレイ 1 ~ 4 にセットする用紙の種類を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [普通紙] (初期値)、[再生紙]、[上質紙]、[厚紙 1]、[厚紙 2]、[ラベル紙]、[封筒]、[はがき]、[1. ユーザー 1] ~ [5. ユーザー 5] <p>💡 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トレイ 2 ~ 4 はオプションです。装着していない用紙トレイは表示されません。 ・ [1. ユーザー 1] ~ [5. ユーザー 5] には、[用紙種類名称設定] で設定した名称が表示されます。

設定項目	説明
手差しトレイ	<p>手差しトレイにセットする用紙の種類を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [普通紙]、[普通紙 (うら面)]、[再生紙]、[再生紙 (うら面)]、[上質紙]、[上質紙 (うら面)]、[厚紙 1]、[厚紙 1 (うら面)]、[厚紙 2]、[厚紙 2 (うら面)]、[ラベル紙]、[封筒]、[封筒 (うら面)]、[はがき]、[はがき (うら面)]、[1. ユーザー 1] ~ [5. ユーザー 5] <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [1. ユーザー 1] ~ [5. ユーザー 5] には、[用紙種類名称設定] で設定した名称が表示されます。

[トレイの用紙色]

注記

- ・ この設定は NPD L モードでは使用できません。

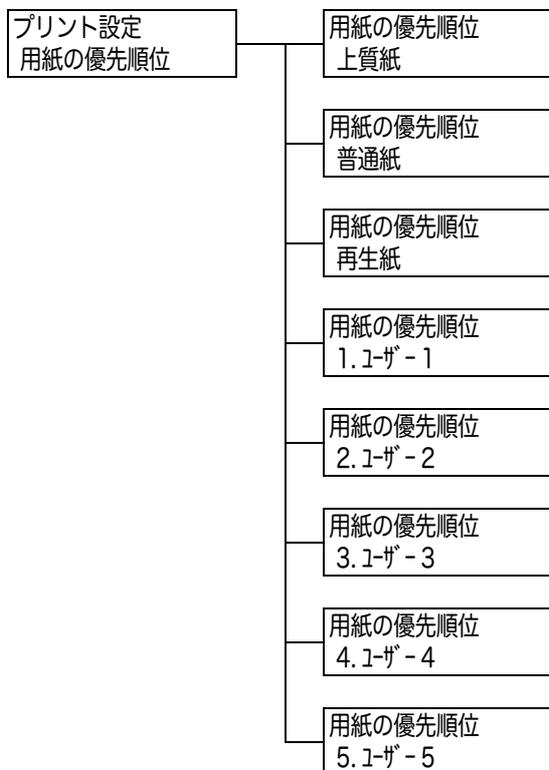


設定項目	説明
トレイ 1 ~ トレイ 4、 手差しトレイ	<p>トレイにセットした用紙の色を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [白] (初期値)、[青]、[黄色]、[緑]、[ピンク]、[透明]、[アイボリー]、[グレー]、[クリーム]、[山吹色]、[赤]、[オレンジ]、[1. ユーザー 1] ~ [5. ユーザー 5]、[その他] <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トレイ 2 ~ 4 はオプションです。装着されていないトレイは表示されません。 ・ [1. ユーザー 1] ~ [5. ユーザー 5] には、[用紙色名称設定] で設定した名称が表示されます。

[用紙の優先順位]

! 注記

- ・この設定は NPDL モードでは使用できません。



設定項目	説明
上質紙、普通紙、再生紙、1. ユーザー 1 ~ 5. ユーザー 5	<p>自動トレイ選択によって選択されるトレイにセットされている用紙の種類の設定優先順位を設定します。初期値は、上質紙 [3 番目]、普通紙 [1 番目]、再生紙 [2 番目]、それ以外は [設定しない] です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [1 ~ 8 番目] 設定する優先順位を選びます。 ・ [設定しない] 優先順位を設定しません。この場合、自動トレイ選択の対象になりません。 <p>💡 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [1. ユーザー 1] ~ [5. ユーザー 5] には、[用紙種類名称設定] で設定した名称が表示されます。 ・ 異なる用紙種類に同じ優先順位の設定もできます。その場合に選択される用紙トレイは、[トレイの優先順位] によって決定します。

[トレイの優先順位]

注記

- ・ この設定は NPD L モードでは使用できません。

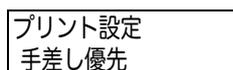


設定項目	説明
トレイ 1～トレイ 4、 手差しトレイ	<p>自動トレイ選択によって選択されるトレイの優先順位を設定します。初期値は、容量が大きいトレイから優先順位が高くなります。容量が同じ場合は、トレイ番号が小さいトレイの優先順位が高くなります。手差しトレイの初期値は [自動トレイ切替対象外] です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [1 番目] ～ [4 番目] 設定する優先順位を選びます。 ・ [自動トレイ切替対象外] 自動トレイ選択の対象になりません。 <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トレイ 2～4 はオプションです。装着されていないトレイは表示されません。 ・ 異なるトレイに同じ優先順位は設定できません。他のトレイと同じ優先順位を指定した場合は、指定したトレイ以外の優先順位が、自動的に変更されます。 ・ 手差しトレイには、もっとも低い優先度だけが設定できます。

[手差し優先]

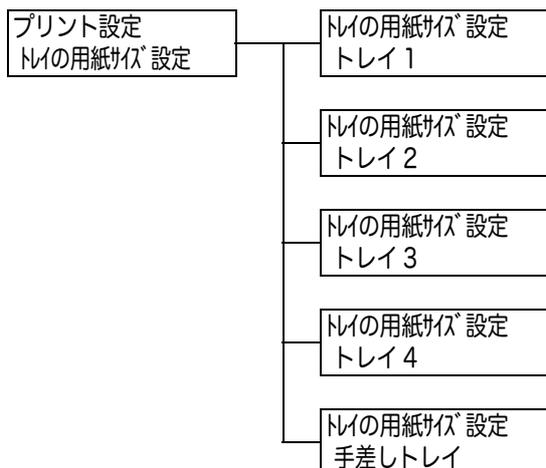
注記

- ・ この設定は NPD L モードでは使用できません。



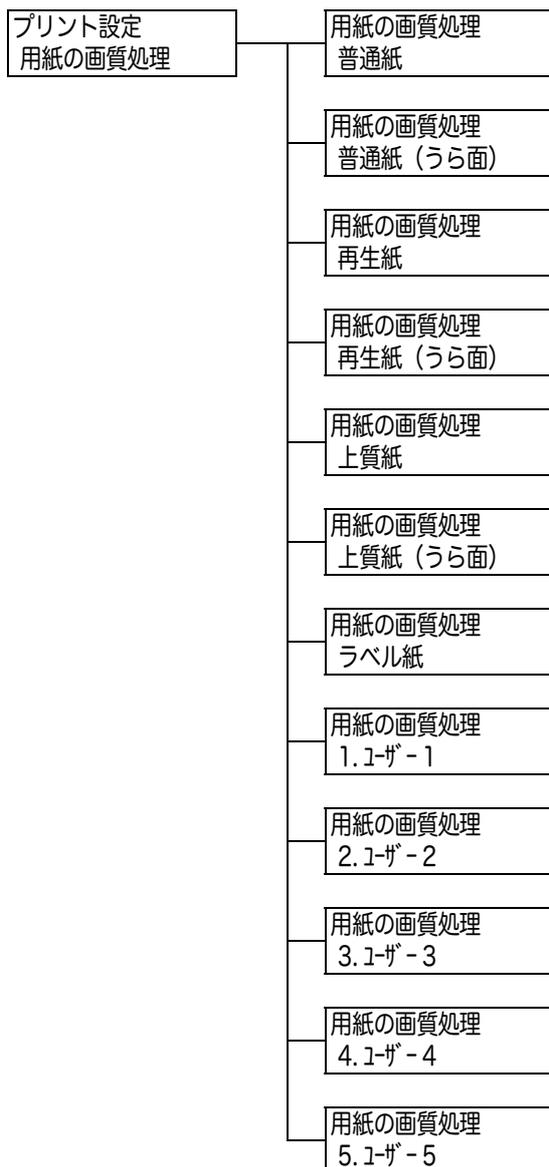
設定項目	説明
手差し優先	<p>プリンタードライバーで [トレイ / 排出] タブの [用紙トレイ選択] を [自動] にしてプリントした場合に、手差しトレイを最優先で選ぶかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [する] 手差しトレイを最優先で選びます。 ・ [しない] (初期値) 手差しトレイを最優先で選びません。

[トレイの用紙サイズ設定]



設定項目	説明
トレイ1～トレイ4	<p>各トレイの用紙サイズを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [自動] (トレイ1～4の初期値) 用紙サイズ設定ダイアルで設定した用紙サイズと向きに設定します。 ・ [定形外] たて方向のサイズとよこ方向のサイズを任意の数値に設定します。 [定形外] を選んで表示される [たて (Y) 方向のサイズ] と [よこ (X) 方向のサイズ] で設定してください。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トレイ2～4はオプションです。装着していない用紙トレイは表示されません。 ・ 定形外サイズの設定手順については、「トレイの用紙サイズを設定する」(P. 52)を参照してください。
手差しトレイ	<p>手差しトレイの用紙サイズを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [A3□]、[A4□]、[A4□] (初期値)、[A5□]、[A6□]、[B4□]、 [B5□]、[B6□]、[7.25 x 10.5"□]、[8.5 x 11"□]、 [8.5 x 13"□]、[8.5 x 14"□]、[11 x 17"□]、[はがき□]、[往復はがき□]、 [長形 3□]、[長形 4□]、[洋長形 3□]、[封筒 C5□]、[洋形 3□]、[角形 2□]、[角形 3□]、[角形 6□] ・ [定形外] たて方向のサイズとよこ方向のサイズを任意の数値に設定します。 [定形外] を選んで表示される [たて (Y) 方向のサイズ] と [よこ (X) 方向のサイズ] で設定してください。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定形外サイズの設定手順については、「トレイの用紙サイズを設定する」(P. 52)を参照してください。

[用紙の画質処理]

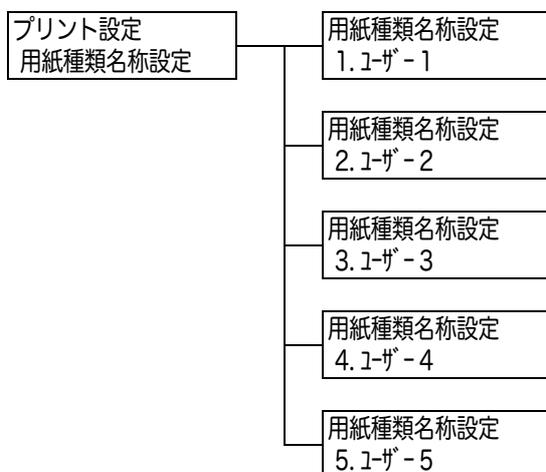


設定項目	説明
普通紙、普通紙 (うら面)、再生紙、再生紙 (うら面)、上質紙、上質紙 (うら面)、ラベル紙、1.ユーザー 1 ~ 5.ユーザー 5	<p>それぞれの用紙に対する画質処理 (用紙種類) を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [A] ([上質紙]、[上質紙 (うら面)]) の初期値 81 ~ 105 g/m² の上質紙に適した画質です。 ・ [B] ([普通紙]、[普通紙 (うら面)]) の初期値、[1.ユーザー 1] ~ [5.ユーザー 5] の初期値 60 ~ 80 g/m² の一般的に使われているオフィス用紙 (P 紙、C2 (シーツ) 紙など) に適した画質です。 ・ [C] ([再生紙]、[再生紙 (うら面)]) の初期値 60 ~ 80 g/m² の再生紙 (C2r (シーツアール) 紙など) に適した画質です。 ・ [D] 白黒のみをプリントする場合に適した画質です。 ・ [ラベル 1] ([ラベル紙] の初期値)、[ラベル 2] [ラベル紙] を選んだときに表示されます。通常は変更の必要ありません。

[用紙種類名称設定]

! 注記

- ・この設定は NPDL モードでは使用できません。

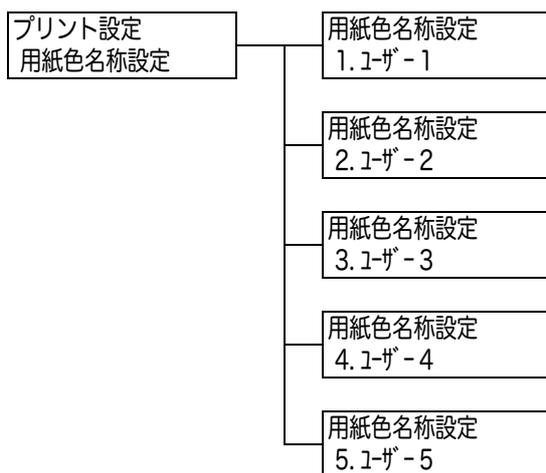


設定項目	説明
1. ユーザー 1 ~ 5. ユーザー 5	[用紙の優先順位]、[トレイの用紙種類]、[用紙の画質処理] などに表示される [1. ユーザー 1] ~ [5. ユーザー 5] を、任意の名称に変更できます。 英数 / 半角カタカナ文字を使って、1 ~ 8 文字の間で設定します。 (参照 P. 219*2、*4 の No.1、2、3、4)

[用紙色名称設定]

! 注記

- ・この設定は NPDL モードでは使用できません。



設定項目	説明
1. ユーザー 1 ~ 5. ユーザー 5	[トレイの用紙色] に表示される [1. ユーザー 1] ~ [5. ユーザー 5] を任意の名称に変更できます。 英数 / 半角カタカナ文字を使って、1 ~ 8 文字の間で設定します。 (参照 P. 219*2、*4 の No.1、2、3、4)

[ID 印字機能]

! 注記

- ・ この設定は NPDL モードでは使用できません。

プリント設定
ID 印字機能

設定項目	説明
ID 印字機能	特定の位置に、ユーザー ID をプリントします。 <ul style="list-style-type: none">・ [しない] (初期値) ユーザー ID をプリントしません。・ [左上] ユーザー ID を、用紙の左上部分にプリントします。・ [右上] ユーザー ID を、用紙の右上部分にプリントします。・ [左下] ユーザー ID を、用紙の左下部分にプリントします。・ [右下] ユーザー ID を、用紙の右下部分にプリントします。

[奇数ページの両面]

プリント設定
奇数ページの両面

設定項目	説明
奇数ページの両面	両面プリント時の、奇数ページ原稿の最終ページに対するプリント方法を設定します。 <ul style="list-style-type: none">・ [両面] 最終ページは片面のみのデータですが、両面プリント時と同じく両面プリントを行うための給紙動作を行います。用紙に上下、または左右の区別がある用紙（穴あき用紙など）にプリントする場合は、プリントの向きをそろえることができます。・ [片面] (初期値) 片面分の最終ページを、片面プリント時と同じく両面プリントを行うための給紙動作をしないでプリントします。両面のプリント動作をしないため、高速にプリントできます

[未登録フォームへ印字]

! 注記

- ・ この設定は NPDL モードでは使用できません。

プリント設定
未登録フォームへ印字

設定項目	説明
未登録フォームへ印字	プリント時に指定されたフォームが未登録だった場合に、プリントを中止するか、データのみプリントするかを設定します。 <ul style="list-style-type: none">・ [する (データのみ)] (初期値)・ [しない]

[基本の用紙サイズ]

プリント設定
基本の用紙サイズ

設定項目	説明
基本の用紙サイズ	各プリントモードの [用紙サイズ] の初期値を設定します。 ・ [A4] (初期値) ・ [8.5x11"]

[OCR フォントのグリフ]

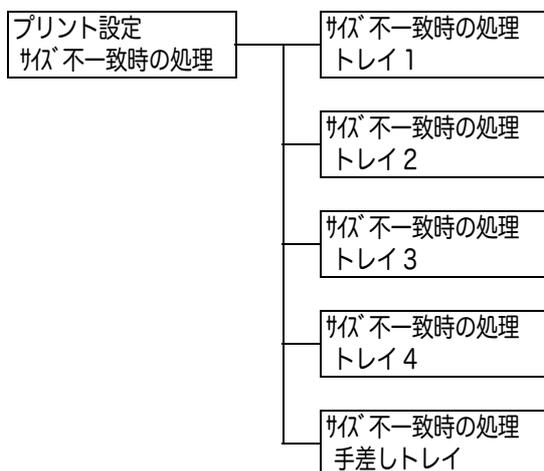
! 注記

- ・ この設定は NPDL モードでは使用できません。

プリント設定
OCR フォントのグリフ

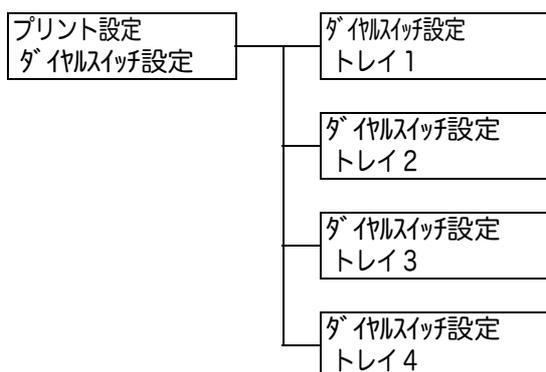
設定項目	説明
OCR フォントのグリフ	ART IV、ESC/P、または PCL エミュレーションモードでの OCR-B のグリフコード 0x5c を切り替えることができます。 ・ [バックスラッシュ] (初期値) ・ [円記号]

[サイズ不一致時の処理]



設定項目	説明
トレイ1～4、 手差しトレイ	<p>【トレイの用紙サイズ設定】または用紙サイズ設定ダイヤルの設定と異なるサイズの用紙が、トレイにセットされている場合にプリントしたときの処理を設定します。手差しトレイの場合、【トレイの用紙サイズ設定】を設定していないときは、プリンタードライバーで設定した用紙サイズと、トレイにセットされている用紙サイズが異なる場合の処理になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【確認画面を表示する】（初期値） プリントを中止し、エラーを表示します。 ・【プリントする】 設定が異なっても中止せず、プリントします。 <p>💡 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレイ2～4はオプションです。装着していないトレイは表示されません。 ・本設定を【プリントする】に設定した場合は、次の現象が発生する可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> - 用紙サイズが原稿サイズより小さいときに用紙の裏面が汚れる。 - プリントに時間がかかる。 - 両面印刷したときに印字がずれる。 - 設定した用紙サイズと、セットした用紙のサイズが大きく異なる場合、紙づまりが発生する。

[ダイヤルスイッチ設定]



設定項目	説明
トレイ1～4	<p>各トレイで、用紙サイズ設定ダイヤルにない定形サイズを使用するときに設定します。用紙サイズを設定した後は、用紙トレイの用紙サイズ設定ダイヤルを回し、「*」にあわせてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [A6□]、[B6□]、[7.25 x 10.5"□]、[8.5 x 11"□]（初期値）、[8.5 x 13"□]、[8.5 x 14"□]、[11 x 17"□]、[はがき□]、[往復はがき□]、[長形3□]、[長形4□]、[角形2□]、[角形3□]、[角形6□]、[封筒 C5□] <p>💡 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレイ2～4はオプションです。装着していないトレイは表示されません。

[メモリー設定]

[メモリー設定] は、各インターフェイスのメモリーや、フォームメモリーの容量を変更します。

注記

- ・メモリー容量を変更すると、メモリーがリセットされるので、各メモリー領域に格納されているデータは、すべて消去されます。
- ・メモリーの全体量を超えた割り振りはできません。電源を入れたときに、設定値が搭載メモリー容量を超えた場合は、システムによって自動的に調整されます。
- ・ポートを起動に設定したときにメモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、メモリーの割り当て容量を変更してください。ただし、USB ポートは自動的に停止しません。
- ・NPDL モードでは対応しません。

補足

- ・メモリーの割り当ては、プリントページバッファを除き、操作パネル、または CentreWare Internet Services で設定できます。
- ・プリントページバッファは、実際のプリントイメージを描画する領域です。プリントページバッファの容量は、直接変更できません。プリントページバッファには、ほかの用途向けにメモリーを割り当てたあとの、残った領域が割り当てられます。解像度の高い文書をプリントするときは、プリントページバッファの容量が大きくなるように設定してください。実際に割り当てられたプリントページバッファ容量は、[機能設定リスト] で確認できます。また、CentreWare Internet Services を使っても確認できます。
- ・〈▼〉または〈▲〉ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続して表示を変えることができます。また、〈▼〉と〈▲〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。



設定項目	説明
PS 使用メモリー	<p>PostScript® の使用メモリー容量を指定します。 55.00 ~ 128.00 MB の間で、0.25 MB 単位でメモリー容量を設定します。 設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [55.00MB] (初期値) <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目は、PostScript ソフトウェアキット (オプション) が取り付けられている場合にのみ表示されます。

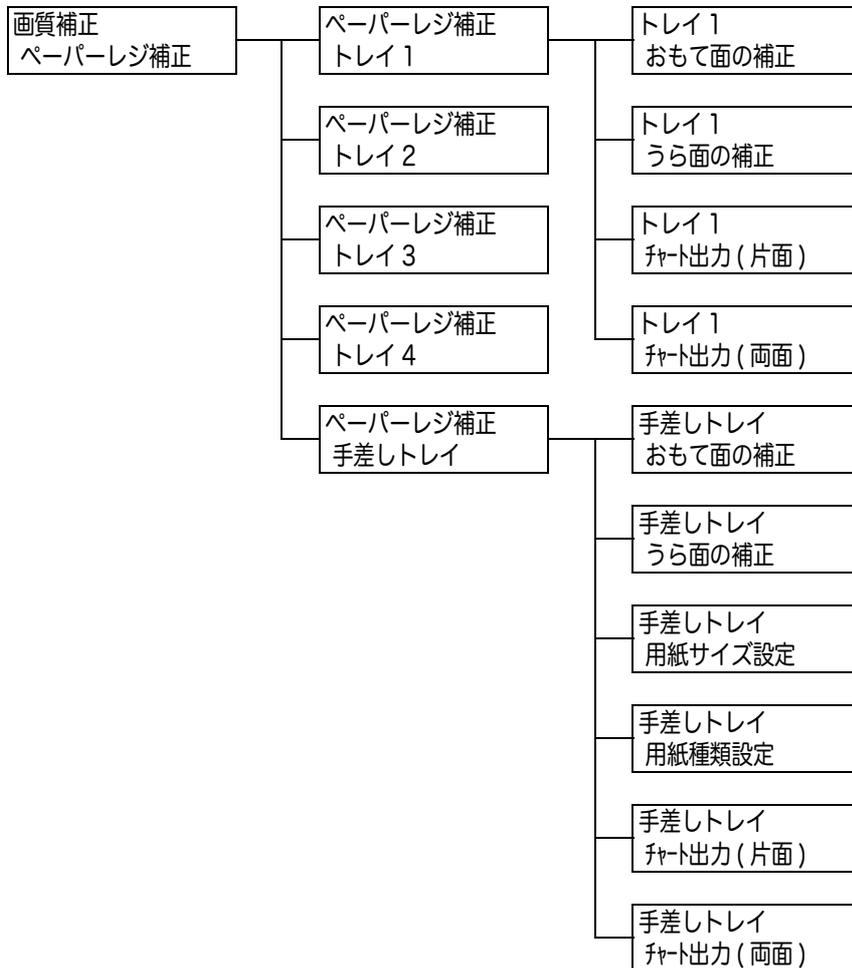
設定項目	説明
ART EX フォーム メモリー	<p>ART EX プリンタードライバー用フォームのメモリー容量を指定します。 128 ~ 2048 KB の間で、32 KB 単位にメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [128KB] (初期値) <p>機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) が取り付けられている場合は、フォーム用のメモリーはハードディスクが使用されます。容量は変更できません。ディスプレイには [ハードディスク] と表示されます。</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メモリーに格納されているデータは、本機の電源を入れ直すと消去されます。
ART IV フォーム メモリー	<p>ART IV 用フォームのメモリー容量を指定します。 128 ~ 2048 KB の間で、32 KB 単位でメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [128KB] (初期値) <p>機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) が取り付けられている場合は、フォーム用のメモリーはハードディスクが使用されます。容量は変更できません。ディスプレイには [ハードディスク] と表示されます。</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メモリーに格納されているデータは、本機の電源を入れ直すと消去されます。
ART IV ユーザ 定義メモリー	<p>ART IV のユーザー定義で使うメモリー容量を指定します。 32 ~ 2048 KB の間で、32 KB 単位でメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [32KB] (初期値) <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メモリーに格納されているデータは、本機の電源を入れ直すと消去されます。
HPGL オート レイアウトメモリー	<p>HP-GL、HP-GL/2 オートレイアウトで使うメモリー容量を指定します。 64 ~ 5120 KB の間で、32 KB 単位でメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [64KB] (初期値) <p>機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) が取り付けられている場合は、オートレイアウト用のメモリーはハードディスクが使用されます。容量は変更できません。ディスプレイには [ハードディスク] と表示されます。</p>
ジョブチケット用メモリー	<p>ジョブチケットに使用するメモリーの容量を指定します。 0.25 ~ 8.00 MB の間で、0.25 MB 単位でメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [0.25MB] (初期値)

設定項目	説明
受信バッファ容量	<p>インターフェイスごとに、受信バッファ（コンピューターから送信されるデータを一時的に蓄えておく場所）のメモリー容量を設定します。LPD、IPPの場合は、スプール処理の有無、配置場所、メモリー容量をそれぞれ設定します。受信バッファ容量は、使用状況と目的に応じて変更できます。受信バッファ容量を増やすと、各インターフェイスに対応するコンピューターの解放が早くなることがあります。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートが停止している場合は、対応する各項目は表示されません。 ・コンピューターから送信されるデータ量によっては、メモリーの容量を増やしてもコンピューターの解放時間が変わらない場合があります。
LPD スプール	<ul style="list-style-type: none"> ・ [スプールしない]（初期値） スプール処理は行われません。あるコンピューターから LPD のプリント処理をしている間は、ほかのコンピューターからの同じインターフェイスでのデータを受信できません。 LPD 専用の受信バッファのメモリー容量を、1024 ~ 2048 KB の間で 32 KB 単位で設定します。初期値は [1024KB] です。 ・ [ハードディスクスプール] スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、ハードディスクが使用されます。この項目は、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。 ・ [メモリースプール] スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、メモリーが使用されます。この候補値を選んだときは、スプール処理用の受信バッファのメモリー容量を、0.5 ~ 32.00 MB の間で 0.25 MB 単位で設定します。初期値は [1.00MB] です。なお、設定したメモリー容量よりも大きいプリントデータは、受信できません。このようなときは、[ハードディスクスプール]、または [スプールしない] を選んでください。 <p> 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ LPR バイトカウントを無効にしている場合、スプールメモリーで設定されている容量より大きな容量の文書を送信すると、ジョブの送信が繰り返されてしまいます。この場合には、プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで [ポート] タブを開いて、LPR バイトカウントを有効にするか、メモリースプールの容量を文書容量よりも大きい値に変更してください。
IPP メモリー、IPP スプール、USB メモリー、Port9100 メモリー	<p>64 ~ 1024 KB の間で、32 KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は USB は [64KB]、そのほかは [256KB] です。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [IPP メモリー] は、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられていない場合に表示されます。ハードディスクが取り付けられている場合は、[IPP スプール] が表示されます。

[画質補正]

[画質補正] は、プリント画質が悪いときに本機を調整します。

[ペーパーレジ補正]



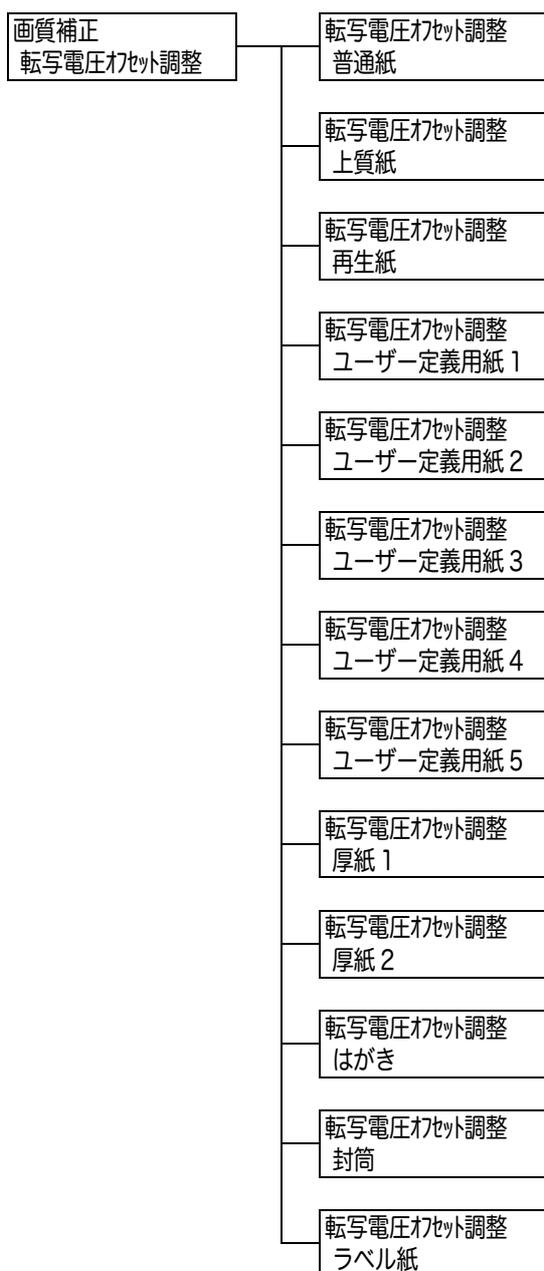
💡 補足

- ・ 用紙トレイ 2～4 はオプションです。装着されていない用紙トレイは表示されません。
- ・ [おもて面の補正]、[うら面の補正]、[チャート出力 (片面)]、[チャート出力 (両面)] は、用紙トレイ 1～手差しトレイの各々の用紙トレイに対応して表示されます。
- ・ ペーパーレジ補正については、「10.5 ペーパーレジを補正する」(P. 268) を参照してください。
- ・ 垂直方向 (リードレジ) の補正は用紙トレイごとに設定できますが、すべて同一の値になります。
- ・ おもて面 / うら面の垂直方向 (リードレジ) の補正はトレイごとに設定でき、それぞれ個別の値になります。おもて面とうら面の直角度の補正はトレイごとに設定できますが、すべて同一の値になります。

設定項目	説明
おもて面の補正	<p>おもて面の垂直方向 (リードレジ)、水平方向 (サイドレジ) のプリント位置、および直角度を補正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リードレジ / サイドレジは -3.9 mm ～ +3.9 mm の間で設定します。プラス方向 (▲) またはマイナス方向 (▼) に、0.1 mm 刻みで設定できます。 ・ 直角度補正は -1.0 mm ～ +1.0 mm の間で設定します。プラス方向 (▲) またはマイナス方向 (▼) に、0.1 mm 刻みで設定できます。

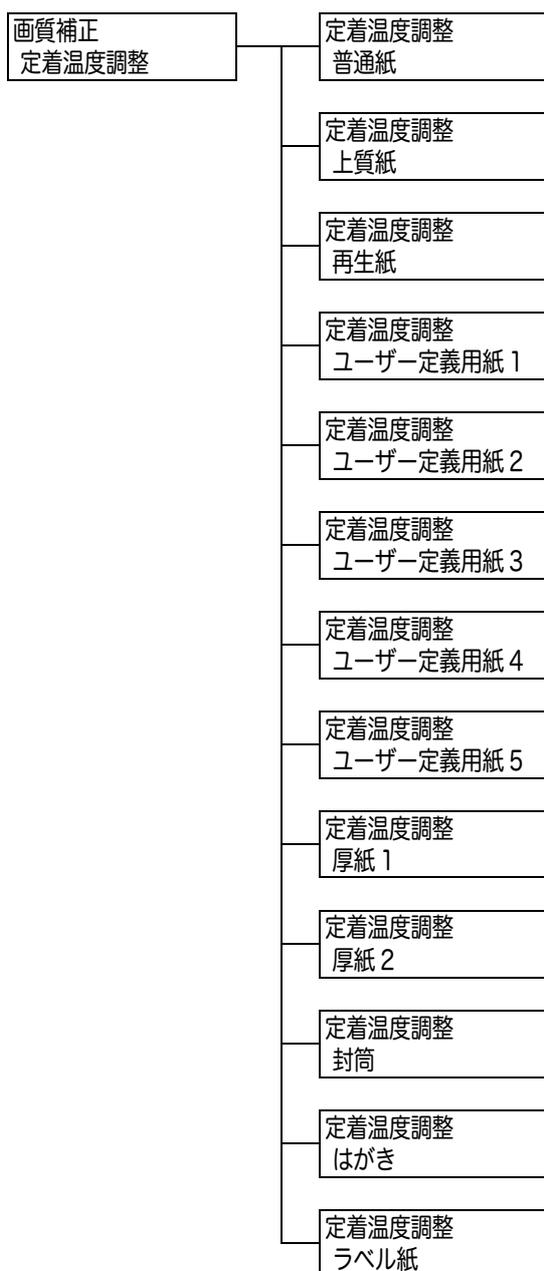
設定項目	説明
うら面の補正	<p>うら面の垂直方向（リードレジ）、水平方向（サイドレジ）のプリント位置、および直角度を補正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リードレジ/サイドレジは -3.9 mm ～ +3.9 mm の間で設定します。プラス方向（▲）またはマイナス方向（▼）に、0.1 mm 刻みで設定できます。 ・直角度補正は -1.0 mm ～ +1.0 mm の間で設定します。プラス方向（▲）またはマイナス方向（▼）に、0.1 mm 刻みで設定できます。
チャート出力（片面）	<p>おもて面の垂直方向（リードレジ）、水平方向（サイドレジ）のプリント位置、および直角度を補正するときに使用するチャートを出力します。</p>
チャート出力（両面）	<p>うら面の垂直方向（リードレジ）、水平方向（サイドレジ）のプリント位置、および直角度を補正するときに使用するチャートを出力します。</p>
用紙サイズ設定	<p>手差しトレイからチャートを出力するときの用紙サイズを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [A3 <input type="checkbox"/>]（初期値） ・ [11x17" <input type="checkbox"/>] ・ [A4 <input type="checkbox"/>] ・ [8.5x11" <input type="checkbox"/>]
用紙種類設定	<p>手差しトレイからチャートを出力するときの用紙種類を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [普通紙]（初期値） ・ [普通紙（うら面）] ・ [上質紙] ・ [上質紙（うら面）] ・ [再生紙] ・ [再生紙（うら面）] ・ [厚紙 1] ・ [厚紙 1（うら面）] ・ [厚紙 2] ・ [厚紙 2（うら面）] ・ [ラベル紙] ・ [はがき] ・ [はがき（うら面）] ・ [封筒] ・ [封筒（うら面）] ・ [1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5]

[転写電圧オフセット調整]



設定項目	説明
普通紙、上質紙、再生紙、ユーザー定義用紙 1～5、厚紙 1～2、はがき、封筒、ラベル紙	<p>画像の一部が白く抜ける、または白点になったり、画像の色がまだらになる、または画像周辺にトナーが飛び散ったりといった症状が頻繁に発生する場合は、転写電圧の設定を調整します。</p> <p>・ [1] ～ [16] (初期値 : [6])</p>

[定着温度調整]



設定項目	説明
普通紙、上質紙、再生紙、ユーザー定義用紙 1～5、厚紙 1～2、封筒、はがき、ラベル紙	<p>定着ユニットの温度調整をします。用紙がカールする場合は、温度を下げます。用紙にトナーが定着しない場合は、温度を上げます。</p> <p>・ [-6] ～ [6] (初期値 : [0])</p>

[高地使用設定]

画質補正 高地使用設定

設定項目	説明
高地使用設定	本機の設置場所の高度を設定します。高度を正しく設定することで、印字品質が維持され、トナー残量が正しく表示されます。 <ul style="list-style-type: none">・ [海拔 0 ~ 999m] (初期値)・ [海拔 1000 ~ 1999m]・ [海拔 2000 ~ 2999m]・ [海拔 3000m 以上]

[画像濃度補正]

画質補正 画像濃度補正

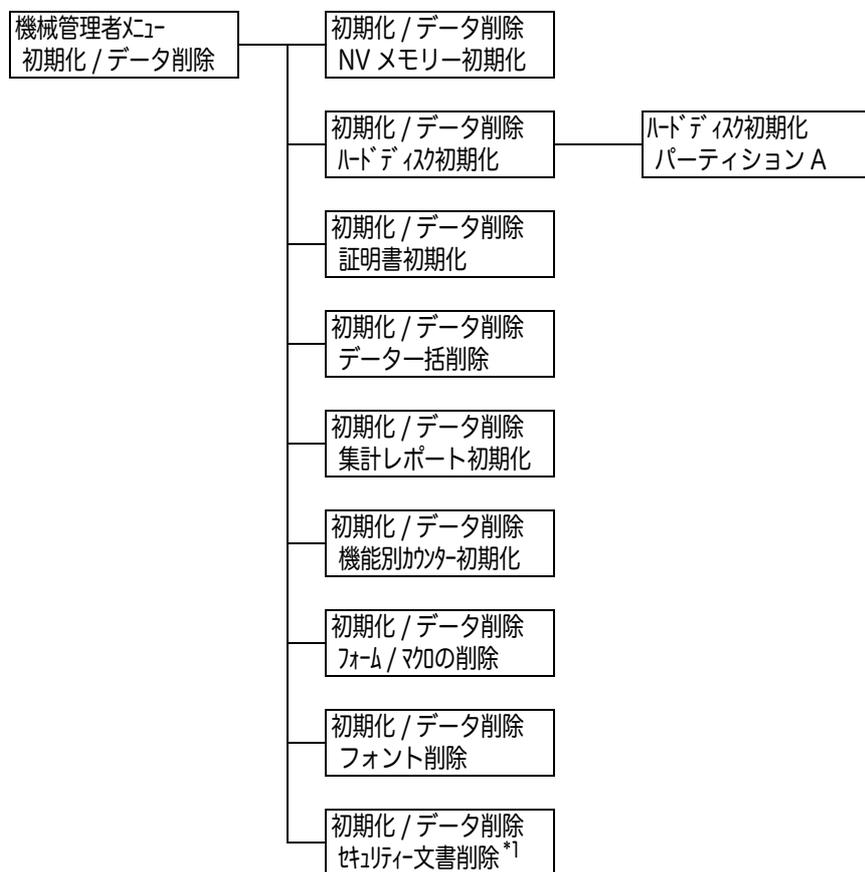
設定項目	説明
画像濃度補正	補正濃度を -3 ~ 3 の間で設定します。 <ul style="list-style-type: none">・ [0] (初期値)

[初期化 / データ削除]

[初期化 / データ削除] では、NV メモリーに記憶されている本機の設定値、ネットワークポート、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）の初期化、および本機に登録されているフォームなどのデータを削除します。

補足

- ・ 初期化によってそれぞれの設定は、初期値に戻ります。



*1 セキュリティプリントを使用している場合は [セキュリティ文書削除]、プライベートプリントを使用している場合は [プライベート文書削除] と表示されます。

設定項目	説明
NV メモリー 初期化	<p>NV メモリーを初期化します。NV メモリーを初期化すると、各種項目の候補値は初期値に戻ります。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NV メモリーとは、電源を切っても本機の設定内容を保持できる不揮発性のメモリーのことです。
ハードディスク 初期化	<p>機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）を初期化します。初期化によって消去されるデータは、追加フォント、ART EX、ART IV、ESC/P、PCL の各フォーム、ART IV ユーザー定義データです。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ハードディスクを初期化しても、セキュリティプリント文書、サンプルプリント文書、時刻指定プリント文書やログは消去されません。 ・ この項目は、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

設定項目	説明
証明書初期化	証明書を一括削除し、初期化します。 登録した証明書が破損し、使用できない場合に行ってください。
データ一括削除	NV メモリー、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）のデータを一括して初期化します。NV メモリーを初期化すると、各種項目の候補値は初期値に戻ります。また、ハードディスクを初期化すると、追加フォント、ART EX、ART IV、ESC/P、PCL の各フォーム、ART IV ユーザー定義データ、セキュリティープリント文書、サンプルプリント文書、時刻指定プリント文書が消去されます。  注記 <ul style="list-style-type: none"> 機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が装着されている場合、処理に時間がかかることがあります（約 1 時間以上）。処理中は、操作パネルのランプが点滅します。処理中は、電源を切らないようにしてください。
集計レポート初期化	集計レポートを初期化します。初期化すると、集計値が 0 になります。  補足 <ul style="list-style-type: none"> 「[プリンター集計レポート] のデータを初期化する」(P. 263) を参照してください。
機能別カウンター初期化	機能別カウンターや稼働状況別時間カウンターなどを初期化します。初期化すると、カウンターの値が 0 になります。
フォーム / マクロの削除	登録されているフォーム / マクロを削除します。 <ul style="list-style-type: none"> [ART EX フォーム削除] ART EX プリンタードライバー用フォームを削除します。 [ART IV フォーム削除] ART IV 用フォームを削除します。 [ESC/P フォーム削除] エミュレーションの ESC/P 用フォームを削除します。 [PCL マクロ削除] エミュレーションの PCL 用マクロを削除します。  補足 <ul style="list-style-type: none"> 登録されているフォームがない場合は、[フォーム登録はありません] と表示されます。 登録されているマクロがない場合は、[マクロ登録はありません] と表示されます。
フォント削除	登録されているフォントを削除します。 <ul style="list-style-type: none"> [PCL フォント削除] エミュレーションの PCL 用フォントを削除します。  補足 <ul style="list-style-type: none"> この項目は、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。 登録されているフォントがない場合は、[フォント登録はありません] と表示されます。
セキュリティー文書削除	セキュリティープリントやプライベートプリントとして蓄積されている文書を削除します。  補足 <ul style="list-style-type: none"> セキュリティープリントを使用している場合には [セキュリティー文書削除]、プライベートプリントを使用している場合には [プライベート文書削除] の項目が表示されます。 文書がない場合は、[文書はありません] と表示されます。

[エンジンクリーニング]

プリント上にカブリがあったり、トナー汚れなどが連続してつくときに、本機の内部をクリーニングします。

[トナーリフレッシュ]

トナーと現像剤のバランスを適正にします。画像が薄かったり、出力結果がぼやけているときに実施します。

補足

- ・この機能はトナーを使用するため、トナーカートリッジ、ドラムカートリッジの寿命が縮まることがあります。

[プリント言語の設定]

[プリント言語の設定] には、[NPDL]、[ESCP]、[HPGL]、[PDF]、[PCL]、[PostScript]、[XPS]、[XDW (DocuWorks)] のメニュー項目があります。

[NPDL]

このメニューで設定できる項目については、「12.4 NPDL モードメニューで設定できる項目」(P. 342)を参照してください。

[ESCP]

このメニューで設定できる項目については、「13.9 ART IV、ESC/P エミュレーションについて」(P. 378)を参照してください。

[HPGL]

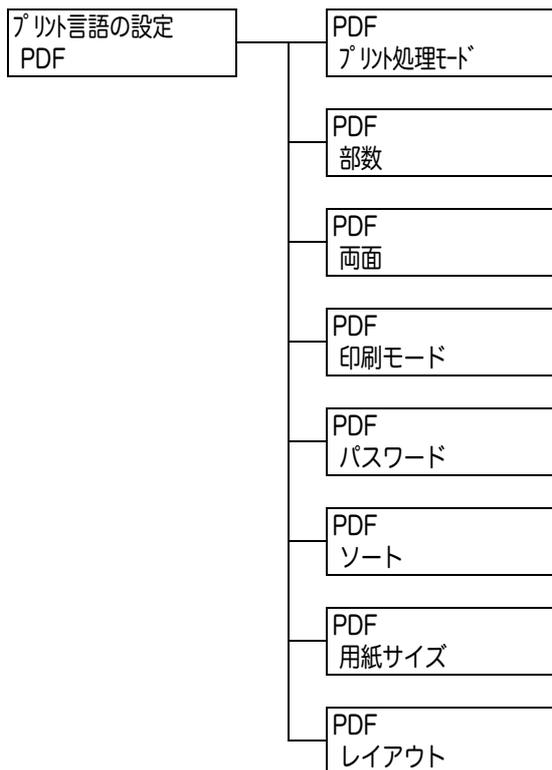
このメニューで設定できる項目については、「13.10 HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションについて」(P. 399)を参照してください。

[PDF]

PDF ファイルを直接本機に送信してプリントする場合の設定をします。

補足

- ・[部数]、[両面]、[印刷モード]、[パスワード]、[ソート]、[用紙サイズ]、[レイアウト] の設定は、ContentsBridge Utility (富士ゼロックス株式会社製のソフトウェア) を使用しないで PDF ファイルをプリントする場合に有効になります。詳しくは、「6.1 PDF ファイルを直接プリントする」(P. 116)を参照してください。



設定項目	説明
プリント処理モード	<p>PDF ファイルのプリント処理モードを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [PDF Bridge] (初期値) PDF ファイルを、本機搭載の PDF Bridge 機能を使用して処理します。 ・ [PS] PDF ファイルを PostScript® の機能を使用して処理します。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目は、PostScript ソフトウェアキット (オプション) が取り付けられている場合にのみ表示されます。 ・ [PDF Bridge] を選んだ場合と [PS] を選んだ場合では、プリント結果が異なることがあります。
部数	<p>プリントする部数を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [1 部] ~ [999 部] (初期値: 1 部) <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルの送信に使用するプロトコルによっては、プロトコルでの設定が有効になり、ここでの設定が無効になることがあります。
両面	<p>両面プリントについて設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] (初期値) 両面プリントをしません。 ・ [長辺とじ] 用紙の長い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面プリントをします。 ・ [短辺とじ] 用紙の短い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面プリントをします。

設定項目	説明
印刷モード	画質を優先するか、速度を優先するかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [高速] 速度を優先してプリントします。 ・ [標準] (初期値) 標準的な速度、画質でプリントします。 ・ [高画質] プリント速度は遅くなりますが、画質を優先して、よりきれいにプリントします。
パスワード	PDF ファイルにパスワードが設定されている場合は、あらかじめ、そのパスワードを設定しておきます。プリントする PDF ファイルと、ここに設定されているパスワードが一致した場合にだけプリントできます。 設定できる文字は、英数記号半角で 32 文字までです。 (参照 P. 219 の *4 No.1、3、4、5)
ソート	複数部数を、1 部ごとにソート (1、2、3...1、2、3...) してプリントするかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] (初期値) ・ [する]
用紙サイズ	出力する用紙サイズを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [A4] または [8.5×11"] [機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [基本の用紙サイズ] の設定によって、[A4] または [8.5×11"] のどちらかが表示されます。 ・ [自動] (初期値) プリントする PDF ファイルの原稿サイズと設定に応じて、用紙サイズが自動的に判別されます。
レイアウト	プリントするときのレイアウトについて設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [自動倍率] (初期値) プリントする用紙サイズに対して、もっとも拡大率が大きくなるように、自動的に倍率が設定されてプリントされます。 ・ [100% (等倍)] プリントする用紙サイズにかかわらず、等倍でプリントされます。 ・ [カタログ (小冊子)] プリントする PDF ファイルのページ構成に応じて、カタログのようにページを割り付けて両面プリントします。ただし、ページ構成によっては、カタログプリントができない場合があります。その場合は、[自動倍率] でプリントされます。また、[用紙サイズ] で [A4] を設定している場合は、A4 サイズの用紙にプリントされます。[用紙サイズ] で [自動] を設定している場合は、A3 または A4 サイズの用紙にプリントされます。 ・ [2 アップ] 1 枚の用紙に、2 ページ分の原稿を割り付けてプリントします。2 アップを選んだ場合、用紙サイズは、[機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [基本の用紙サイズ] の設定によって、A4 または 8.5×11" になります。 ・ [4 アップ] 1 枚の用紙に、4 ページ分の原稿を割り付けてプリントします。4 アップを選んだ場合、用紙サイズは、[機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [基本の用紙サイズ] の設定によって、A4 または 8.5×11" になります。

[PCL]

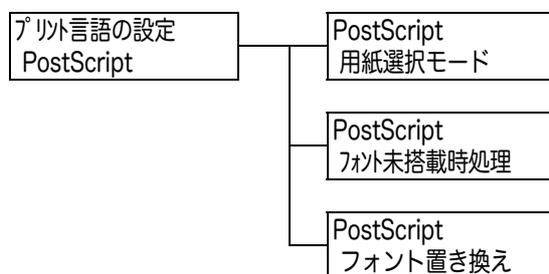
このメニューで設定できる項目については、「13.11 PCL エミュレーションについて」(P. 411)を参照してください。

[PostScript]

PostScript® に関する設定をします。

💡 補足

- ・この項目は、PostScript ソフトウェアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されません。



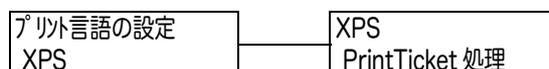
設定項目	説明
用紙選択モード	PostScript® の DMS (Deferred Media Selection) 機能を有効にするかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none">・ [トレイから選択] DMS (Deferred Media Selection) 機能を無効にします。用紙トレイから選択されます。・ [自動] (初期値) DMS (Deferred Media Selection) 機能を有効にします。
フォント未搭載時処理	ジョブで指定された PostScript® フォントがなかった場合の処理を設定します。 <ul style="list-style-type: none">・ [プリントを中止] プリントを中止します。・ [フォントを置き換え] (初期値) ジョブで指定されたフォントを置き換えてプリントします。置き換えられるフォントは Courier です。置き換えられたフォントが日本語の場合は、正しくプリントされません。日本語フォントでプリントする場合は [フォント置き換え] で [ATCx を使用する] を選んでください。 ATCx 機能は、ジョブで指定されたフォントが本機に搭載されていない日本語フォントの場合に、本機に搭載されている日本語の PostScript® フォントに置き換えてプリントする機能です。
フォント置き換え	ジョブで指定された PostScript® フォントがなかった場合、フォントの置き換えで ATCx を使用するかどうかを設定します。 ATCx 機能は、ジョブで指定されたフォントが本機に搭載されていない日本語フォントの場合に、本機に搭載されている日本語の PostScript® フォントに置き換えてプリントする機能です。 <ul style="list-style-type: none">・ [ATCx を使用しない]・ [ATCx を使用する] (初期値)

[XPS]

XPS に関する設定をします。

💡 補足

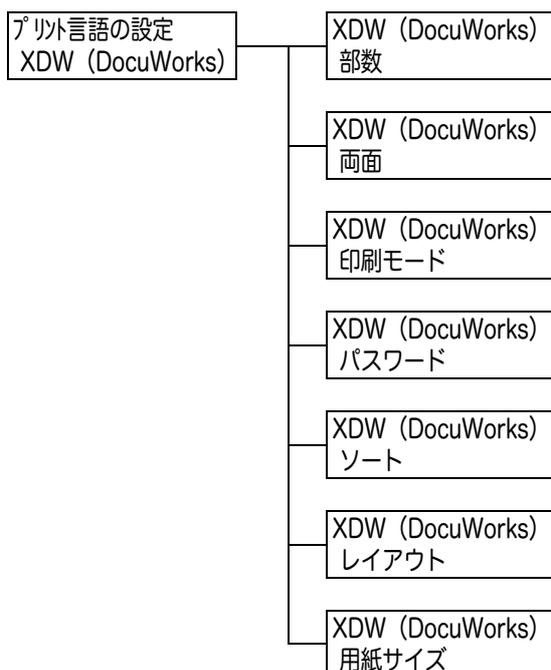
- ・ XPS とは、XML Paper Specification の略です。



設定項目	説明
PrintTicket 処理	<p>XPS PrintTicket^{*1}を読み込んだ時の本機の動作を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [無効] PrintTicket 処理をしません。本機以外の機種用に生成された XPS 文書を処理したときに PrintTicket エラーが発生するような場合に、本設定にすることで出力できるようになります。 ・ [標準モード] (初期値) PrintTicket を処理します。本機用の他のプリンタードライバーからの出力に近い結果が得られます。 ・ [準拠モード] 指示がない時の代替設定や、無効な指示があった場合は Microsoft[®] の仕様に準拠した処理を行います。本機以外の機種で XPS 文書を出力した結果と合わせたい場合に設定します。 <p>^{*1} PrintTicket とは、Microsoft[®] 社が規定した XPS 文書内部に格納されているプリント設定です。</p>

[XDW (DocuWorks)]

DocuWorks ファイルを直接本機に送信してプリントする場合の設定をします。



設定項目	説明
部数	<p>プリントする部数を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [1 部] ~ [999 部] (初期値 : 1 部) <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ファイルの送信に使用するプロトコルによっては、プロトコルでの設定が有効になり、ここでの設定が無効になることがあります。

設定項目	説明
両面	両面プリントについて設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] (初期値) 両面プリントをしません。 ・ [長辺とじ] 用紙の長い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面プリントをします。 ・ [短辺とじ] 用紙の短い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面プリントをします。
印刷モード	画質を優先するか、速度を優先するかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [高速] 速度を優先してプリントします。 ・ [標準] (初期値) 標準的な速度、画質でプリントします。 ・ [高画質] プリント速度は遅くなりますが、画質を優先して、よりきれいにプリントします。
パスワード	DocuWorks ファイルにパスワードが設定されている場合は、あらかじめ、そのパスワードを設定しておきます。プリントする DocuWorks ファイルと、ここに設定されているパスワードが一致した場合にだけプリントできます。 設定できる文字は、英数記号半角で 32 文字までです。 (参照 P. 219 の *4 No.1、3、4、5)
ソート	複数部数を、1 部ごとにソート (1、2、3...1、2、3...) してプリントするかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] (初期値) ・ [する]
レイアウト	プリントするときのレイアウトについて設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [100% 等倍] プリントする用紙サイズにかかわらず、等倍でプリントされます。 ・ [自動倍率] (初期値) プリントする用紙サイズに対して、もっとも拡大率が大きくなるように、自動的に倍率が設定されてプリントされます。 ・ [2 アップ] 1 枚の用紙に、2 ページ分の原稿を割り付けてプリントします。2 アップを選んだ場合、用紙サイズは、[機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [基本の用紙サイズ] の設定によって、A4 または 8.5×11" になります。 ・ [4 アップ] 1 枚の用紙に、4 ページ分の原稿を割り付けてプリントします。4 アップを選んだ場合、用紙サイズは、[機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [基本の用紙サイズ] の設定によって、A4 または 8.5×11" になります。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [自動倍率] や [2 アップ]、[4 アップ] では、付箋を含まない原稿サイズで倍率が設定されます。
用紙サイズ	出力する用紙サイズを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [A4] または [8.5 x 11"] [機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [基本の用紙サイズ] の設定によって、[A4] または [8.5 x 11"] のどちらかが表示されます。 ・ [自動] (初期値) プリントする DocuWorks ファイルの原稿サイズと設定に応じて、用紙サイズが自動的に判別されます。

[言語切り替え]

メニュー 言語切り替え

設定項目	説明
言語切り替え	操作パネルの表示言語を設定します。 ・ [日本語] (初期値) 日本語で表示します。 ・ [English] 英語で表示します。

補足

- ・ [English] に設定した場合、プリンタードライバーや弊社ソフトウェアは英語版を使用してください。なお、英語版のプリンタードライバー、ContentsBridge Utility は、「13.7 最新のソフトウェアを入手する」(P. 376)を参照して弊社のホームページからダウンロードしてください。

*1 [自動] 設定時、自動判別の結果が本機に実装されていないプリント言語だった場合や、対象になるプリント言語に該当しない場合、そのデータは消去されます。

*2 <▼> または <▲> ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続して表示を変えることができます。また、<▼> と <▲> ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

*3 ダンププリントの各列は、次の項目がプリントされます。

Count	ジョブの先頭データからのバイト数がプリントされます。
16 進数表記コード	プリントデータを 4 バイトごとに区切り、16 進表記形式でプリントされます。
ASCII コード	プリントデータを JIS X0201 の 8 単位符号を使用してプリントされます。JIS X0201 で定義されていない文字は、UD とプリントされます。

*4 文字列一覧

No.	文字種	文字
1	空白	スペース
2	半角カナ	アアイウエオカキクケコサシスセソチツテトニネハヒフヘホミムメヤユヨリルロワヲソ
3	アルファベット	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz
4	数字	0123456789
5	記号	!"#\$%&'()*+,-./:;<=> ?@ [\] ^_`{ }

*5 ・ [有効] の設定時、プリントモード指定が [HexDump] に設定されている場合、PJL コマンドも [HexDump] で出されま

す。
・ PJL コマンドで本機に実装されていないプリント言語が指定された場合、データは消去されます。

*6 WSD は、Web Services on Devices の略称です。

9 便利な使いかた

9.1 CentreWare Internet Services を使う

CentreWare Internet Services は、Web ブラウザーを使用して、本機の状態やジョブの履歴を表示したり、本機の設定を変更したりするためのサービスです。

TCP/IP 環境で、本機とネットワーク接続されたコンピューターで使用できます。



各タブで設定できる主な機能は、次のとおりです。

タブ名	メニュー名	主な機能
状態	一般	本機の名前や IP アドレス、状態が表示されます。
	トレイ	用紙トレイにセットされている用紙の状態が表示されます。
	消耗品	各種消耗品の残量や状態が表示されます (目安)。実際の交換作業は、操作パネルに表示されるメッセージを見て、行ってください。  参照 ・「11.7 エラーコード」(P. 310)
	カウンター	現在までのプリントページ数が表示されます。
	稼働状況別の累積時間	現在までの稼働時間、待機時間、節電中の時間などの累積が表示されます。
	組み込みプラグイン	本機に登録されているプラグインの一覧が表示されます。
ジョブ	ジョブ一覧	処理中のジョブの一覧が表示されます。
	履歴一覧	処理が終了したジョブの一覧が表示されます。
	エラー履歴	エラー・ログに保存されているエラー情報が表示されます。 表示されるエラーコードの意味については、「11.7 エラーコード」(P. 310)を参照してください。

タブ名	メニュー名	主な機能
プリント	プリント指示	コンピューターに保存されているファイルを指定して、本機に直接、プリントを指示できます。[プリント] タブは、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
プロパティ	一般設定	本機全般にわたる設定が表示されます。また、それぞれの項目を設定できます。 ・ 設定項目：本体構成 / ジョブ管理 / 用紙トレイの設定 / 用紙設定 / 節電モード設定 / 保存文書設定 / メモリー設定 / Internet Services 設定 ^{*1} / オンデマンドプリントサービス設定 ^{*1} / 設定情報の複製 ^{*1} / メール通知設定 ^{*1}
	ネットワーク設定	各種ポートやプロトコルといったネットワーク関連の設定を確認、変更できます。
	サービス設定	プリントモードや各種エミュレーション、メール ^{*1} について設定できます。
	集計設定 ^{*1}	集計管理機能について設定できます。
	セキュリティ ^{*1}	セキュリティ関連の設定ができます。 ・ 設定項目：認証管理 / 認証情報の設定 / 権限グループ登録 / 外部認証サーバー設定 / 受付 IP アドレス制限 / 受付ポート / 監査ログ / 証明書の設定 / IP Sec / 証明書管理 / IEEE 802.1 x / SSL / TLS 設定 / 複製管理 / 強制アノテーション / ジョブ表示の制限 / プラグイン設定 / ハードディスクの上書き消去設定 / セキュリティー警告設定 / 機械管理者情報の設定 ^{*2} / 操作パネル制限 / IC カード設定 ^{*3}

^{*1} CentreWare Internet Services でしか設定できない項目です。操作パネルでは設定できません。

^{*2} 機械管理者の ID とパスワードを設定できます。

^{*3} IC カード読み取り装置（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

Web ブラウザーの設定

CentreWare Internet Services を使用する前に、Web ブラウザーで次の設定をしてください。Internet Explorer[®] 11 を例に説明します。

インターネット一時ファイルの設定をする

1. [ツール] > [インターネットオプション] をクリックします。
[インターネットオプション] ダイアログボックスが表示されます。
2. [全般] タブで、[閲覧の履歴] の [設定] をクリックします。
[Web サイトデータの設定] ダイアログボックスが表示されます。
3. [インターネット一時ファイル] タブで、[保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認] から [Web サイトを表示するたびに確認する] または [Internet Explorer を開始するたびに確認する] を選びます。
4. [OK] をクリックします。
[Web サイトデータの設定] ダイアログボックスが閉じます。

5. [OK] をクリックします。
[インターネットオプション] ダイアログボックスが閉じます。

本機の IP アドレスについて、プロキシサーバーを使用しないように設定する

1. [ツール] > [インターネットオプション] をクリックします。
[インターネットオプション] ダイアログボックスが表示されます。
2. [接続] タブで、[ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定] の [LAN の設定] をクリックします。
[ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定] ダイアログボックスが表示されます。
3. [プロキシサーバー] を、次のどちらかに設定します。
 - ・ [LAN にプロキシサーバーを使用する] のチェックマークを外す。
 - ・ [詳細設定] をクリックし、[例外] に本機の IP アドレスを入力して [OK] をクリックする。
4. [OK] をクリックします。
[ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定] ダイアログボックスが閉じます。
5. [OK] をクリックします。
[インターネットオプション] ダイアログボックスが閉じます。

JavaScript を有効にする

1. [ツール] > [インターネットオプション] をクリックします。
[インターネットオプション] ダイアログボックスが表示されます。
2. [セキュリティ] タブで、[ローカル イン트라ネット] をクリックして、[レベルのカスタマイズ] をクリックします。
[セキュリティ設定 - ローカル イン트라ネット ゾーン] ダイアログボックスが表示されます。
3. [スクリプト] までスクロールし、[アクティブ スクリプト] が有効化されていることを確認します。
4. [OK] をクリックします。
[セキュリティ設定 - ローカル イン트라ネット ゾーン] ダイアログボックスが閉じます。
5. [インターネット オプション] 画面で [OK] をクリックします。
[インターネットオプション] ダイアログボックスが閉じます。

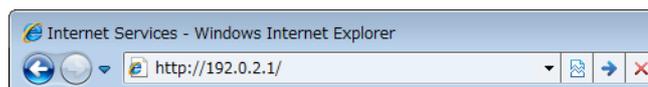
CentreWare Internet Services を起動する

本サービスを使用する手順は、次のとおりです。

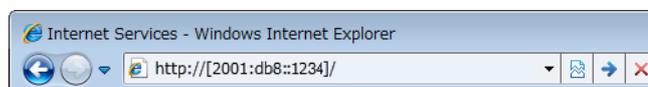
1. コンピューターを起動し、Web ブラウザーを起動します。
2. Web ブラウザーのアドレス入力欄に、プリンターの IP アドレス、または URL を入力し、〈Enter〉キーを押します。

CentreWare Internet Services のトップページが表示されます。

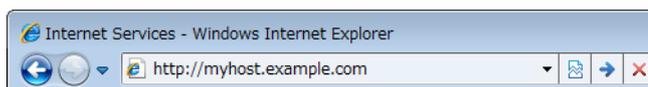
IP アドレスの入力例 (IPv4)



IP アドレスの入力例 (IPv6)

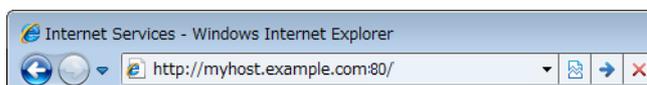


URL の入力例



💡 補足

- ・ポート番号を指定する場合は、アドレスの後ろに「:」に続けて「80」（工場出荷時のポート番号）を指定してください。ポート番号は、[機能設定リスト] で確認できます。
- ・ポート番号は、[プロパティ] タブ > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [HTTP] で変更できます。



- ・本機で認証 / 集計管理機能を使用している場合は、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。機械管理者、または本機に登録されているユーザーの ID とパスワードを入力してください。ID とパスワードについては、機械管理者にお問い合わせください。CentreWare Internet Services を起動すると、右上にユーザー情報が表示されます。



- ・機械管理者、または本機に登録されているユーザーの ID とパスワードでログインして、設定や確認をしたあとは、情報漏洩を防ぐためにも [ログアウト] をクリックして、ログアウトしてください。



- ・通信を暗号化している場合、CentreWare Internet Services にアクセスするには、ブラウザのアドレス欄には「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力してください。
- ・認証 / 集計管理機能、および通信の暗号化については、「9.4 セキュリティー機能について」(P. 228)、「9.6 ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について」(P. 241) を参照してください。

ヘルプの使い方

各画面で設定できる項目の詳細については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。[ヘルプ] をクリックすると、[ヘルプ] ウィンドウが表示されます。



注記

- ・ CentreWare Internet Services のヘルプを表示するには、インターネットに接続できる環境が必要です。通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

送信を暗号化する

[セキュリティ] で証明書を作成して [HTTP-SSL/TLS 通信] を有効にした場合は、本機と Web ブラウザーの間で送信するデータが暗号化されます。また、CentreWare Internet Services を使用するとき、証明書が必要になることがあります。

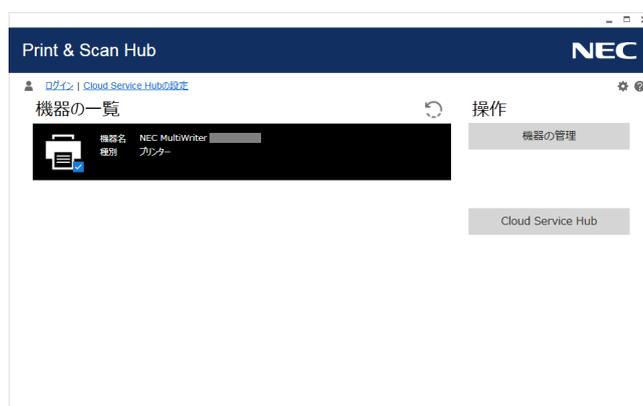
9.2 本機に付属するソフトウェアを使う

概要

付属の「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクを使って、次のソフトウェアをインストールできます。

Print & Scan Hub (Windows®)

Print & Scan Hub は、本機や本機の消耗品の状態を表示する機能を提供するソフトウェアです。Print & Scan Hub を起動するには、[スタート] > [すべてのプログラム] > [NEC Print & Scan Hub] > [Print & Scan Hub] をクリックします。



ContentsBridge Utility (Windows®)

PC 上のファイルを直接本機に送ってプリントするためのソフトウェアです。PDF ファイルや、TIFF ファイル、XPS (XML Paper Specification) ファイルをプリントすることができます。ContentsBridge Utility を起動するには、デスクトップの [ContentsBridge] ショートカットをダブルクリックします。

ソフトウェアをアップデートする

最新版のソフトウェアおよびファームウェアは、弊社公式サイトから入手できます。なお、通信費用はお客様の負担になりますので、ご了承ください。

次の URL にアクセスして、ダウンロードしてください。

<https://jpn.nec.com/printer/laser/download/index.html>

9.3 RAM ディスクを使用するための設定 (ART EX プリンタードライバー使用時)

RAM ディスクを有効にすると、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）を取り付けなくても、サンプルプリント / セキュリティープリント / 認証プリント / 時刻指定プリントが使用できます。

注記

- RAM ディスクを使用している場合、本機の電源を切ると、蓄積した文書はすべて削除されます。

補足

- RAM ディスクを使用して、大量のデータをプリントする場合、分割して送信されます。

1. 操作パネルの  〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート / リスト

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

4. [システム設定] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

機械管理者メニュー
システム設定

5. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[音の設定] が表示されます。

システム設定
音の設定

6. [RAM ディスク] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

システム設定
RAM ディスク

7. 〈▶〉 または  ボタンを押します。

RAM ディスク
・無効

8. 〈▼〉 ボタンを押します。

RAM ディスク
有効

9.  ボタンを押します。

10. これで、設定は終了です。
 〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を終了します。
自動的に本機が再起動します。

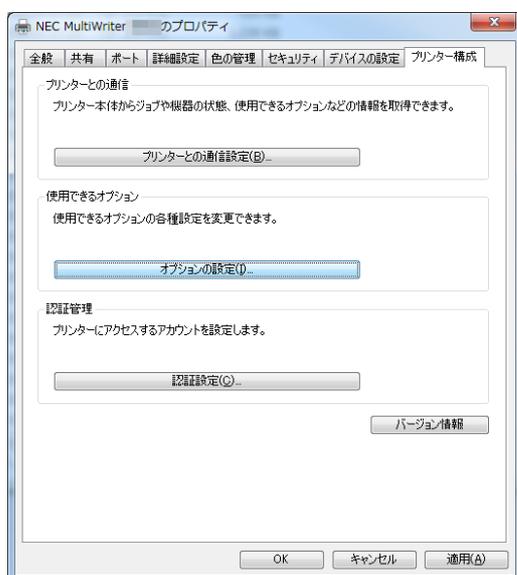
ART EX プリンタードライバーのプロパティでの設定（コンピューター側）

ART EX プリンタードライバーのプロパティで次の設定をします。[RAM ディスク] を [あり] に設定する必要があります。ここでは、Windows® 7 を例に説明します。

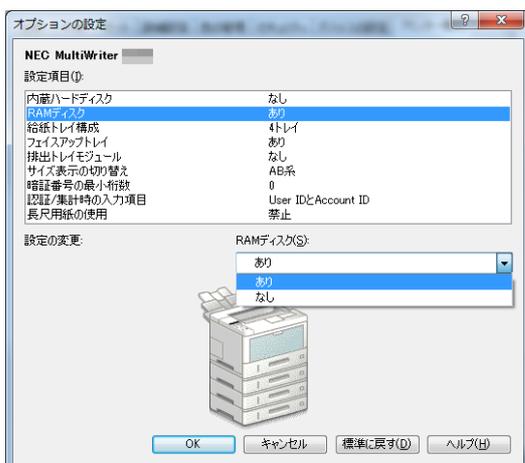
💡 補足

・プリンタードライバーの各項目についての詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

1. [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター]（OS によっては [プリンタ] または [プリンタと FAX]）を選びます。
2. 本機のプリンターアイコンを選び、[ファイル] メニューから [プロパティ] をクリックします。
3. [プリンター構成] タブで [オプションの設定] をクリックします。



4. [オプションの設定] ダイアログボックスで、[RAM ディスク] を [あり] に設定し、[OK] をクリックします。



5. プロパティダイアログボックスの [OK] をクリックします。

9.4 セキュリティー機能について

セキュリティー機能の概要

ここでは、機械管理者を対象に、本機が持っている各種セキュリティー機能とその設定方法を説明します。

機能	説明	参照先
通信の暗号化	<p>本機とネットワーク上のコンピューターの間で通信する場合に、通信データを暗号化できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クライアントコンピューターから本機への HTTP 通信を暗号化 ・ 本機から LDAP サーバーへの HTTP 通信を暗号化 (SSL/TLS クライアント) ・ IPSec を使用して暗号化 	「9.5 暗号化機能を設定する」 (P. 232)
セキュリティープリント	<p>第三者に見られたくない文書や機密書類などを出力する場合、出力データを本体内に一時蓄積し、あらためて本体の操作パネルでパスワードを入力して出力します。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) を取り付けるか、RAM ディスクを有効にする必要があります。 	<p>「4.7 機密文書をプリントする - セキュリティープリント -」 (P. 76)</p> <p>「5.6 機密文書をプリントする - セキュリティープリント -」 (P. 100)</p>
IC カードによるプライベートプリント、オンデマンドプリント、認証プリント	<p>本機に IC カード読み取り装置を接続して、IC カード認証によって出力します。出力データは、プライベートプリントと認証プリントの場合は本体内に、オンデマンドプリントの場合はサーバー内に一時的に蓄積されます。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プライベートプリントと認証プリントを利用するには、機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) を取り付けるか、RAM ディスクを有効にする必要があります。 ・ オンデマンドプリントを利用するには、機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) が必要です。 ・ IC カード読み取り装置については、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご相談ください。 	<p>「4.9 プライベートプリント」 (P. 84)</p> <p>「5.9 プライベートプリント」 (P. 111)</p> <p>「5.10 認証プリント」 (P. 113)</p>
HDD 暗号化	<p>システム内部 (NV メモリー、機能拡張キット (ハードディスク) (オプション)) のデータを暗号化するための設定を行います。</p> <p> 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目の設定を変更すると、ハードディスクが初期化されます。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) が必要です。 	「[データ暗号化]」 (P. 181)

機能	説明	参照先
HDD 上書き消去	機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）内のデータを上書き消去します。上書き消去を複数回行うことで、ハードディスクに記録されていた情報を、より確実に消去することができます。  補足 ・機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が必要です。	「[HDDの上書き消去]」 (P. 181)
HDDの初期化	ハードディスクに残っているデータを一括して消去できます（ハードディスク初期化）。また、NVメモリーとハードディスクのデータを一括して初期化することもできます（データ一括削除）。  補足 ・機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が必要です。	「ハードディスク 初期化」(P. 211) 「データ一括削除」 (P. 212)
IPアドレスによる受信制限	使用できるコンピューターのIPアドレスを登録して、プリントを受け付けるIPアドレスを制限できます。	「[受付制限設定]」 (P. 167)
操作パネルのロック	パスワードによって操作パネルの操作に制限をかけることができます。	「[操作パネル設定]」 (P. 171)
ユーザー登録による利用制限	本機にユーザー情報を登録することによって、CentreWare Internet Servicesへのアクセスや、コンピューターからのプリントができるユーザーを限定できます。	「9.6 ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について」 (P. 241)
複製管理機能	ページ全体に日付や番号、複製制限コード（デジタルコード）を印字することによって、機密文書などの複写を抑止します。  補足 ・セキュリティ拡張キット（オプション）、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が必要です。	「複製管理機能について」(P. 230)
強制アノテーション機能	ジョブの種類ごとに関連づけられたレイアウトテンプレートに従い、アノテーションが強制印字されます。  補足 ・セキュリティ拡張キット（オプション）、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が必要です。	「強制アノテーション機能について」(P. 231)
監査ログ機能	いつ、誰が、どのような作業を本機で行ったかを記録します。	「監査ログ機能について」(P. 231)
ICカード設定	ICカードの情報で認証、利用制限、利用状況を集計/管理します。	「ICカード読み取り装置を利用するための設定」(P. 247)

複製管理機能について

複製管理は、ページ全体に日付や文字、背景、隠し文字デジタル情報をプリントすることで、文書の複製を抑止したり、コピーの履歴を確認したりできる機能です。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

❗ 注記

- 複製管理機能による文書の複製制限は、常に機能することを保証するものではありません。原稿や設定条件によっては、機能が有効に働かない場合があります。詳しくはお買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。
- 複製管理機能を使用または使用できなかったことによって発生した損害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

💡 補足

- セキュリティ拡張キット（オプション）、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が必要です。

複製管理機能には、次の種類があります。

- 複製管理
あらかじめ本機に登録されているパターンを使用して、原稿に日付や背景を隠しプリントします。この原稿をコピーすると、桜紙や VOID 紙のように隠しプリントが浮き上がります。
- ペーパーセキュリティ
隠し文字のほかに複製制限コード（デジタルコード）を埋め込むことで、出力した原稿のコピー / スキャン / FAX 送信を禁止したり、情報漏えい時に作業履歴を追跡したりすることができます。なお、コピー / スキャン / FAX 送信を禁止するには、対応した機器やソフトウェアが必要になります。
- UUID 印字
UUID とは、Universally Unique Identifier の略で、ほかと重複しないことが保証された 128 ビットの値です。UUID 印字機能を使用すると、原稿に識別 ID (UUID) をプリントして、特定の文書のプリントログを検索できます。

強制アノテーション機能について

強制アノテーションは、ジョブの種類ごとに関連づけられたレイアウトテンプレートに従い、透かし文字やユーザー ID を強制印字できる機能です。

詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

補足

- ・複製管理、ペーパーセキュリティ、UUID 印字が指定されている場合は、それらと重なって印字されます。
- ・セキュリティ拡張キット（オプション）、機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）が必要です。

監査ログ機能について

監査ログ機能は、いつ、誰が、どのような作業を本機で行ったのかを確認することができる機能です。この機能を使用すると、本体の不正使用や不正使用の試みを監視できます。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

注記

- ・監査ログ機能を使用または使用できなかったことによって発生した損害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

補足

- ・最大 50 件までログを保存します。機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）を取り付けると、最大 15000 件までログを保存します。最大保存数を超えると、古いログから自動的に削除されます。
- ・監査ログを取り出すには、HTTPS を設定しておく必要があります。設定方法については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P. 233) または、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

9.5 暗号化機能を設定する

本機では、ネットワーク上にあるコンピューターとの通信を暗号化できます。

証明書の種類

本機で暗号化機能を利用するには、証明書が必要になります。
使用できるデバイス証明書は次の2種類です。

- ・ CentreWare Internet Services を使用して作成した自己証明書
- ・ 他の認証局で作成された証明書

他の認証局で作成された証明書を使用する場合は、CentreWare Internet Services で本機にインポートしてください。



- ・ 証明書のインポートについては、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

暗号化の種類により使用できるデバイス証明書は次のとおりです。

暗号化の種類	自己証明書	他の認証局で作成された証明書
クライアントから本機への HTTP 通信を暗号化する (SSL/TLS サーバー)	○	○
本機から LDAP サーバーへの HTTP の通信を暗号化する (SSL/TLS クライアント)	×	○
IPSec を使用して暗号化する	×	○*1

○：使用できる ×：使用できない

*1 [IKE 認証方法] が [デジタル署名] の場合に使用します。

暗号化機能について

■ クライアントから本機への HTTP 通信を暗号化する (SSL/TLS サーバー)

本機の SSL/TLS 通信機能を有効にすることで、本機とネットワーク上のコンピューター間での HTTP 通信を暗号化できます。

本機の HTTP サーバーを利用するポートには、SOAP ポート、インターネットサービス (HTTP) ポート、IPP ポートがあります。

クライアントから本機への HTTP 通信の暗号化には、SSL /TLS プロトコルを使用します。

通信を暗号化するには、自己証明書、または他の認証局で作成された証明書のいずれかのデバイス証明書を使用できます。

■ 本機から LDAP サーバーへの HTTP の通信を暗号化する (SSL/TLS クライアント)

LDAP サーバーと本機との HTTP 通信の暗号化には、SSL/TLS プロトコルを使用します。

通常、証明書を設定する必要はありませんが、LDAP のサーバーが SSL クライアント認証を要求する設定の場合には、CentreWare Internet Services を使用して、本機に作成済みの SSL/TLS クライアント証明書をインポートし、設定する必要があります。

また、サーバー証明書の検証を有効にして LDAP サーバーの検証を行う場合には、LDAP サーバーの SSL/TLS サーバー証明書を検証するために、そのルート証明書を CentreWare Internet Services から本機に登録する必要があります。

■ IPsec を使用して暗号化する

IPsec を使用して本機と暗号化通信ができます。

IKE 認証方式を事前共有鍵、またはデジタル署名から選べます。デジタル署名を選んだ場合は、本機に IPsec 用証明書が必要です。

CentreWare Internet Services を使用して、他の認証局で作成された証明書をインポートします。なお、デジタル署名を使用して暗号化するには、IPsec サーバーが受け付けるルート証明書が必要です。自己証明書やデバイス証明書発行ユーティリティで発行された証明書は使用できません。

HTTP の通信を暗号化するための設定

HTTP の通信を暗号化するための設定について説明します。

本機側の設定

本機に証明書を設定します。

ここでは、CentreWare Internet Services で自己証明書（SSL サーバー用）を作成し、SSL/TLS 通信を有効にする手順を説明します。各項目の詳細は、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

💡 補足

- CentreWare Internet Services で、作成済みの証明書をインポートして使用することもできます。作成済みの証明書のインポートについては、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

💡 補足

- CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「2 本機のセットアップ」(P. 19)を参照してください。
- 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックしてください。

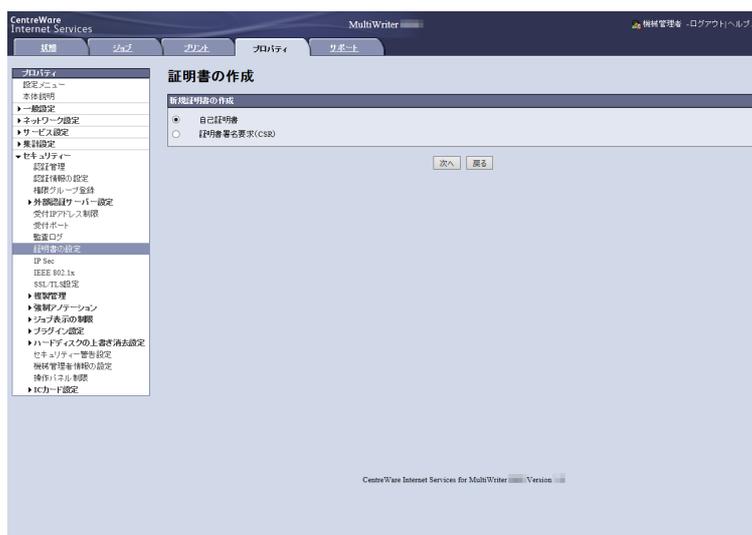
2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [証明書の設定] をクリックします。 [証明書の設定] 画面が表示されます。



4. [証明書の作成] をクリックします。[証明書の作成] 画面が表示されます。

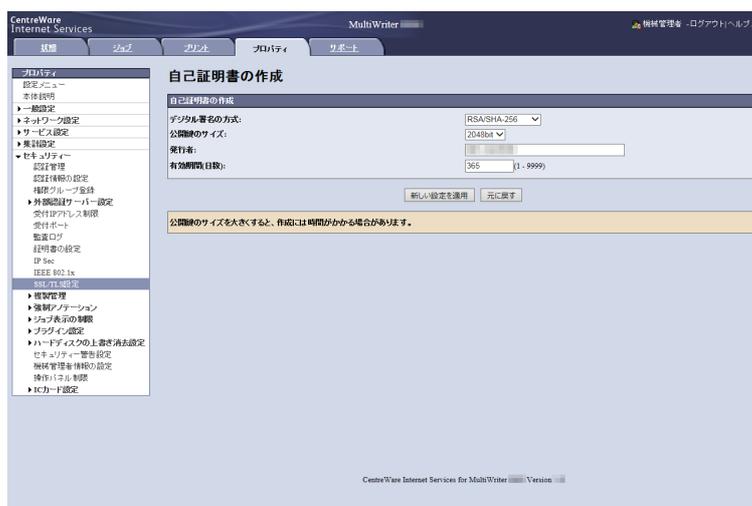
5. [自己証明書] を選び、[次へ] をクリックします。



6. 表示された画面で、[公開鍵のサイズ] と [発行者]、[有効期間] を設定し、[新しい設定を適用] をクリックします。

💡 補足

- ・ 設定内容を適用しないで、表示を元に戻す場合は、[元に戻す] をクリックします。



7. 設定が更新されたら、Web ブラウザーの再読み込みを実行します。

8. [プロパティ] タブのメニューから [セキュリティー] > [SSL/TLS 設定] をクリックします。

9. [HTTP – SSL/TLS 通信] の [有効] にチェックを付け、[新しい設定を適用] をクリックします。



10. 本機を再起動する画面が表示されるので、[再起動] をクリックします。
本機が再起動し、設定した値が反映されます。

補足

- CentreWare Internet Services を起動すると、[プロパティ] の [セキュリティ] の下に [証明書管理] が表示されます。[証明書管理] では、証明書の情報の確認や選択、証明書のエクスポート、削除などをすることができます。

通信を暗号化した場合の CentreWare Internet Services へのアクセス方法

HTTP の通信を暗号化した場合、CentreWare Internet Services にアクセスするには、ブラウザのアドレス欄に、「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力します。

- IP アドレスの入力例：https://192.168.1.100/
(「192.168.1.100」の部分は、お使いの機種 IP アドレスに置き換えてください。)
- インターネットアドレスの入力例：https://xxx.yyyy.zz.vvv/

通信データを暗号化してプリントするための設定

IPP ポートを使用します。

本機側の設定

IPP ポートの起動

IPP ポートを [起動] に設定します。(初期値：[起動])

証明書の設定

CentreWare Internet Services で HTTP の通信を暗号化する設定を行ってから、他の認証局で作成された証明書を本機にインポートして、IPP 用証明書として設定します。

参照

- HTTP の通信を暗号化する方法については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P. 233) を参照してください。

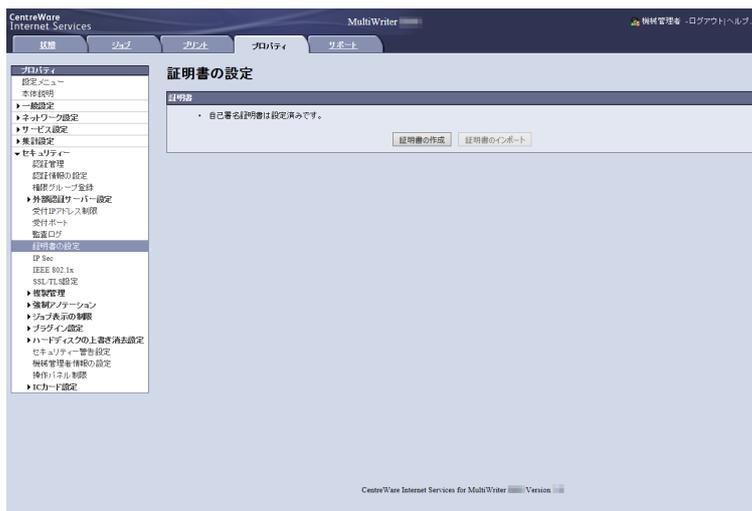
1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

💡 補足

- ・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「2 本機のセットアップ」(P. 19) を参照してください。
- ・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックしてください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [証明書の設定] をクリックします。 [証明書の設定] 画面が表示されます。



4. [証明書のインポート] をクリックします。

5. 表示された画面で、[パスワード] とインポートする証明書のファイル名を指定して、[インポート] をクリックします。

6. Web ブラウザーの再読み込みを実行します。

7. [プロパティ] タブのメニューから [セキュリティ] > [証明書管理] をクリックします。 [証明書管理] 画面が表示されます。

8. [カテゴリ] を [本体]、[証明書の目的] を [SSL サーバー] に設定し、[一覧の表示] をクリックします。

9. 設定する証明書にチェックを付け、[証明書の表示] をクリックします。

10. [証明書の選択] をクリックします。

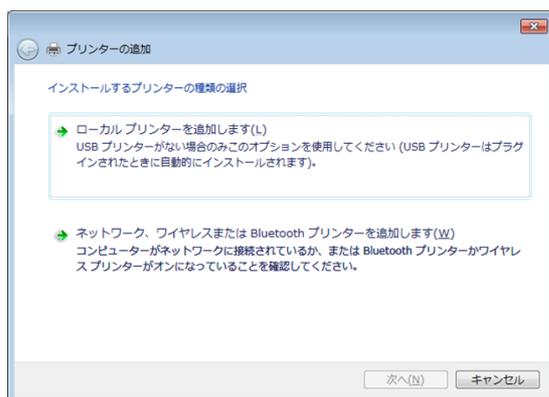
11. 本機を再起動する画面が表示されるので、[再起動] をクリックします。 本機が再起動し、設定した値が反映されます。

コンピューター側の設定

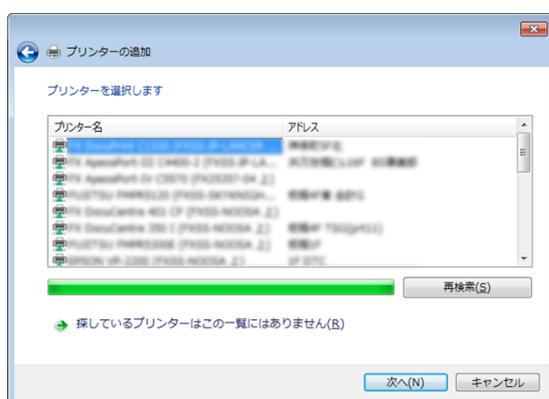
コンピューターにプリンタードライバーをインストールし、出力ポートを IPP ポートに設定します。
Windows® 7 の例で、プリンタードライバーをインストールする手順を説明します。

1. [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター] (OS によっては [プリンタ] または [プリンタと FAX]) を選びます。
2. [プリンターの追加] を選びます。

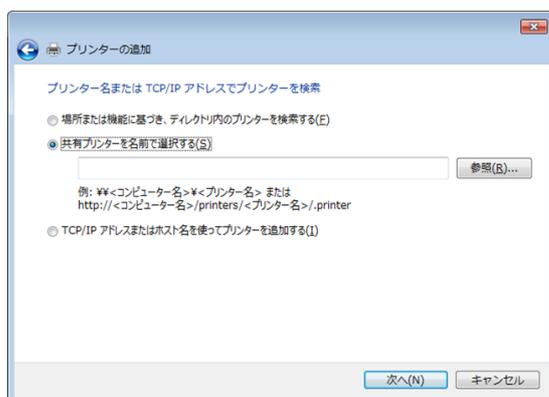
3. [ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンターを追加します] をクリックします
ネットワーク上のプリンターが表示されます。



4. [探しているプリンターはこの一覧にはありません] をクリックします。



5. [共有プリンターを名前を選択する] を選び、次の URL を入力して [次へ] をクリックします。
「https:// (お使いの機種種の IP アドレス) /ipp/」



6. [ディスク使用] をクリックします。
7. 表示された画面で (メディアのドライブ名) : プリンタードライバーが格納されているフォルダー名を入力し、[OK] をクリックします。
8. 本機のドライバーを選んで、[OK] をクリックします。
9. 通常使うプリンターに設定する場合は [はい] を、設定しない場合は [いいえ] を選んで、[次へ] をクリックします。
10. [完了] をクリックします。

IPSec を使用して暗号化するための設定

IPSec を使用して暗号化するための設定について説明します。

補足

- ・ この機能は、次の OS でのみ使用できます。
 - Windows® 7
 - Windows® 8.1
 - Windows® 10
 - Windows Server® 2008 R2
 - Windows Server® 2012 R2
 - Windows Server® 2016

コンピューター側の設定

IPSec の設定をします。詳しくは、上記 OS のヘルプを参照してください。

本機側の設定

CentreWare Internet Services で IPSec の設定をします。

本機では、IKE 認証方式を事前共有鍵、またはデジタル署名から選べます。デジタル署名を選ぶ場合は、本体の証明書が必要です。まず、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P. 233) を参照して証明書を設定してから、IPSec の設定をしてください。

事前共有鍵を選ぶ場合は、事前に事前共有鍵の発行が必要です。機械管理者にお問い合わせください。その後、IPSec の設定をしてください。

■ 証明書の設定

CentreWare Internet Services で HTTP の通信を暗号化する設定を行ってから、他の認証局で作成された証明書を本機にインポートして、IPSec 用証明書として設定します。

なお、デジタル署名を使用して暗号化するには、IPSec サーバーが受け付けるルート証明書が必要です。自己証明書やデバイス証明書発行ユーティリティで発行された証明書は使用できません。

参照

- ・ HTTP の通信を暗号化する方法については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P. 233) を参照してください。
- ・ CentreWare Internet Services の項目の詳細については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足

- ・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「2 本機のセットアップ」(P. 19) を参照してください。
- ・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックしてください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [証明書の設定] をクリックします。

[証明書の設定] 画面が表示されます。



4. [証明書のインポート] をクリックします。
5. 表示された画面で、[パスワード] とインポートする証明書のファイル名を指定して、[インポート] をクリックします。
6. Web ブラウザーの再読み込みを実行します。
7. [プロパティ] タブのメニューから [セキュリティ] > [証明書管理] をクリックします。
[証明書管理] 画面が表示されます。
8. [カテゴリー] を [本体]、[証明書の目的] を [IP Sec] に設定し、[一覧の表示] をクリックします。
9. 設定する証明書にチェックを付け、[証明書の表示] をクリックします。
10. [証明書の選択] をクリックします。
11. 本機を再起動する画面が表示されるので、[再起動] をクリックします。
本機が再起動し、設定した値が反映されます。
これで、IPSec 用の証明書が設定されました。続けて、IPSec の設定をします。「IPSec の設定」(P. 239) の手順 3 に進んでください。

■ IPSec の設定

CentreWare Internet Services で IPSec の設定をします。

💡 補足

- ・ CentreWare Internet Services の項目の詳細については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

💡 補足

- ・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「2 本機のセットアップ」(P. 19) を参照してください。
- ・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックしてください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 左側のメニューから、[セキュリティー] > [IP Sec] をクリックします。
[IP Sec] 画面が表示されます。



4. [プロトコル] の [有効] にチェックを付けます。
5. [IKE 認証方式] で [事前共有鍵]、または [デジタル署名] を選びます。
6. [IKE 認証方式] を [事前共有鍵] に設定した場合は、[共有鍵] と [共有鍵の照合] に、IPsec 通信の共通鍵を入力します。
7. [IKE SA のライフタイム] (分単位) を 5 ~ 28800 の数値で入力します。
8. [IPsec SA のライフタイム] (秒単位) を 300 ~ 172800 の数値で入力します。

💡 補足

- ・ [IKE SA のライフタイム] より短い時間になるように入力します。

9. [DH グループ] で [G14]、[G19]、[G20]、または [G24] を選びます。
10. [PFS] で、[有効] にチェックを付けると、PFS 機能を起動できます。
11. [相手アドレスの指定 [IPv4]] または [相手アドレスの指定 [IPv6]] に、通信する相手先の IP アドレスを入力します。

💡 補足

- ・ すべての相手先と IPsec で通信する場合は、[0.0.0.0/0] (IPv4 のとき) または [::/0] (IPv6 のとき) を設定します。

12. [IPsec 未対応機器との通信] で、IPsec 未対応機器と通信するかどうかを選びます。
13. 各項目の設定ができたら、[新しい設定を適用] をクリックします。

💡 補足

- ・ 設定内容を適用しないで、表示を元に戻す場合は、[元に戻す] をクリックします。

14. 本機を再起動する画面が表示されるので、[再起動] をクリックします。
本機が再起動し、設定した値が反映されます。

9.6 ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について

本機には、あらかじめ登録しておいたユーザー情報を使って、利用できる機能に制限をかける認証機能と、その認証機能を元にして、各機能の利用状況を管理する集計管理機能があります。

ここでは、機械管理者を対象に、認証 / 集計管理機能の概要と、使用する場合に必要な設定について説明します。

❗ 注記

- ・ 文書が蓄積された状態で、集計モードを変更しないでください。
集計モードを変更するときは、蓄積されている文書をすべてプリント、または削除してください。

認証 / 集計管理機能の概要

制限される機能

認証 / 集計管理機能を利用することによって制限される機能は、次のとおりです。

■ CentreWare Internet Services へのアクセス

Web ブラウザーを使って本機にアクセスするときに、認証画面が表示され、ユーザー ID やパスワードなどの入力が必要になります。本機に登録されているユーザー、または機械管理者以外は、CentreWare Internet Services を使用できません。

■ コンピューターからのプリント

ジョブの種類によって、次のようにプリントが制限されます。

ジョブの種類	制限される機能
本機用プリンタードライバーを使用したプリント	プリンタードライバーで、ユーザー ID やパスワードなどの認証情報を設定する必要があります。本機に送信されたジョブのうち、認証情報が本機に登録された内容と一致する場合だけ、プリントできます。 プリント上限ページ数が設定されている場合は、使用量が制限に達すると、以降のプリントはできません。
本機用プリンタードライバーを使用しない場合（メール受信プリントなど）	本機で、[ユーザー指定なし印刷の許可] の [有効] にチェックを付けた場合だけ、プリントできます。初期値ではチェックは付いていません。

集計機能

認証 / 集計管理機能を利用すると、[プリンター集計レポート] に代わって、[プリンター集計管理レポート] が出力されます。

ユーザー別に、今までプリントした累積ページ数、プリントに使用した用紙の累積枚数が確認できます。また、本レポートは、データを初期化した時点からのカウントになります。

📖 参照

- ・ プリント方法：「レポート / リストをプリントする」(P. 261)
- ・ データの初期化：「[プリンター集計レポート] のデータを初期化する」(P. 263)

認証 / 集計管理機能を使用するための設定

集計管理の運用の設定

認証 / 集計管理機能を有効にするには、操作パネルの【機械管理者メニュー】で、次の設定をします。

- ・ [システム設定] > [認証の設定] > [認証方式の設定] を [本体認証] にする
- ・ [システム設定] > [集計管理] > [集計管理の運用] を [本体集計管理] にする

本機へのユーザー情報の登録

操作パネルで [本体集計管理] および [本体認証] の設定をすると、CentreWare Internet Services で、利用ユーザーを登録できるようになります。

💡 補足

- ・ 各項目の詳細は、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

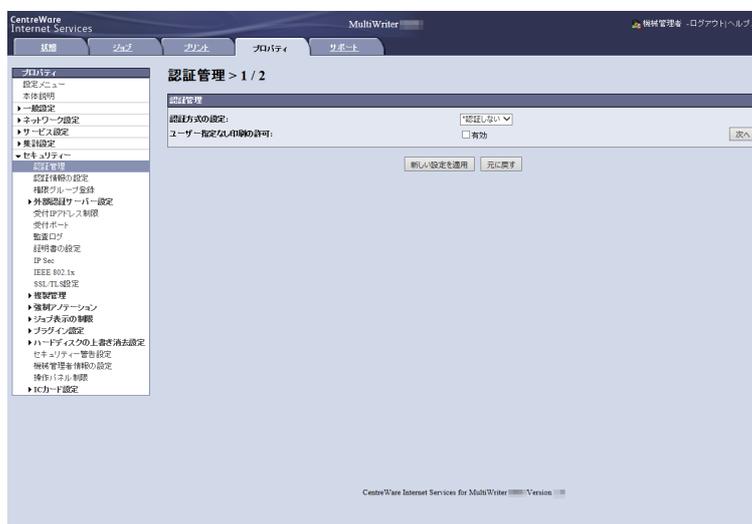
1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

💡 補足

- ・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「2 本機のセットアップ」(P. 19) を参照してください。
- ・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックしてください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

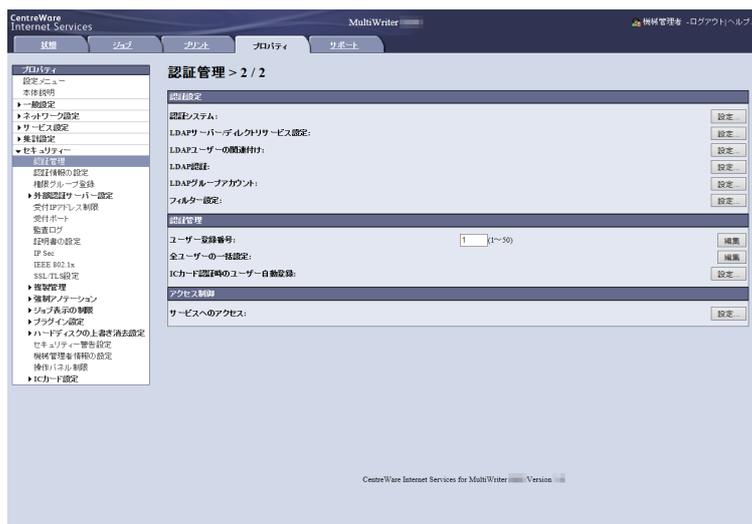
3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [認証管理] をクリックします。 [認証管理 > 1/2] 画面が表示されます。



4. ユーザー名や暗証番号がないジョブに対して、プリントを許可する場合は、[ユーザー指定なし印刷の許可] の [有効] にチェックを付けます。

5. [次へ] をクリックします。

[認証管理 > 2/2] 画面が表示されます。



6. [ユーザー登録番号] を設定し、[編集] をクリックします。

7. 表示された画面で各項目を設定し、[新しい設定を適用] をクリックします。



💡 補足

- ・ ここで設定したユーザー ID やパスワードは、プリンタードライバーでも使用します。
- ・ 設定内容を適用しないで、表示を元に戻す場合は、[元に戻す] をクリックします。

8. 複数のユーザーを登録する場合は、手順 5 ~ 7 を繰り返します。

権限グループの登録とユーザーとの関連づけ

操作パネルで [本体集計管理] および [本体認証] の設定をすると、CentreWare Internet Services で、権限グループを登録し、ユーザーと関連づけることができます。

強制印字の一時解除を許可された権限グループを登録し、ユーザーとその権限グループを関連づけることで、そのユーザーが強制印字を一時解除する権限を持つことができます。

💡 補足

- ・ 各項目の詳細は、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

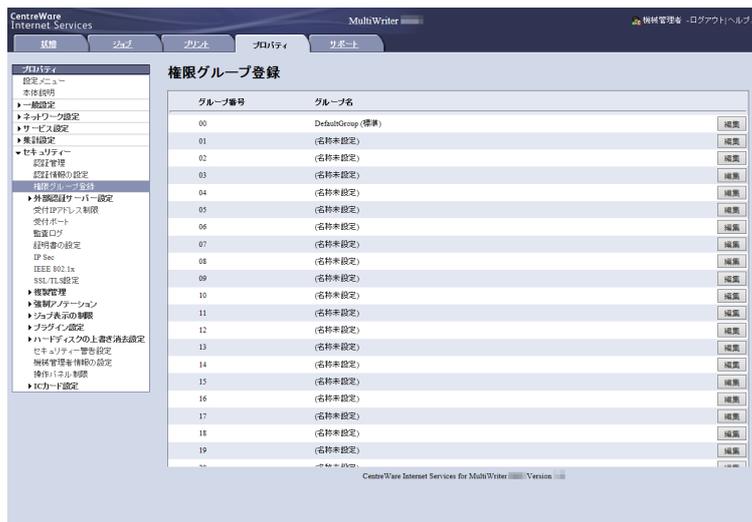
1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

💡 補足

- ・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「2 本機のセットアップ」(P. 19) を参照してください。
- ・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックしてください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [権限グループの登録] をクリックします。 [権限グループ登録] 画面が表示されます。



4. 未登録のグループの [編集] ボタンを押します。 [権限グループ詳細設定] 画面が表示されます。



5. [グループ名] にグループの名称を入力します。
6. [強制印字の一時解除] を [許可する] に設定します。
7. [新しい設定を適用] を押します。
強制印字の一時解除権限を持つ権限グループが作成されます。
8. 左側のメニューから [セキュリティ] > [認証管理] をクリックします。
[認証管理 > 1/2] 画面が表示されます。
9. [次へ] をクリックします。
[認証管理 > 2/2] 画面が表示されます。



10. [ユーザー登録番号] を設定し、[編集] をクリックします。
11. [権限の追加設定] で、手順 7 で登録した権限グループを選び、[新しい設定を適用] をクリックします。



💡 補足

- ・ 設定内容を適用しないで、表示を元に戻す場合は、[元に戻す] をクリックします。

12. 複数のユーザーを登録する場合は、手順 10 ~ 11 を繰り返します。

プリンタードライバーのプロパティでの設定（コンピューター側）

プリンタードライバーのプロパティで次の設定をします。このユーザー ID とパスワードが、本機に登録されている認証情報と一致しないとプリントできません。ここでは、Windows® 7 を例に説明します。

💡 補足

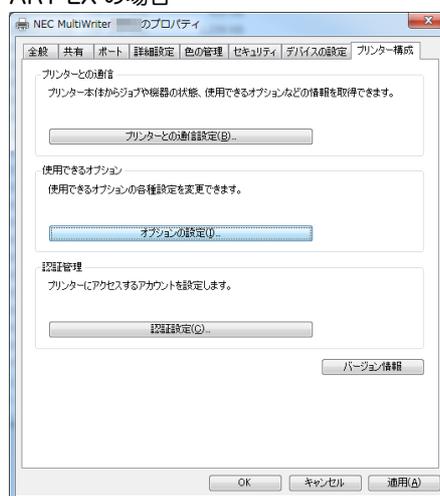
・プリンタードライバーの各項目についての詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

1. [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター]（OS によっては [プリンタ] または [プリンタと FAX]）を選びます。
2. 本機のプリンターアイコンを右クリックして、表示されるコンテキストメニューから [プリンターのプロパティ] をクリックします。
3. NPDL の場合は、[初期設定] タブで [認証情報の設定] をクリックします。ART EX の場合は、[プリンター構成] タブで [認証設定] をクリックします。

NPDL の場合



ART EX の場合

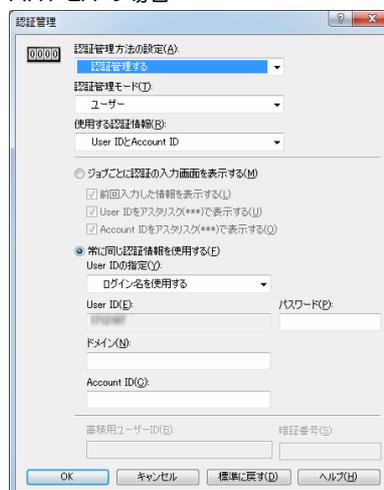


4. NPDL の場合は、[認証情報の設定] ダイアログボックスで各項目を設定し、[OK] をクリックします。ART EX の場合は、[認証管理] ダイアログボックスで各項目を設定し、[OK] をクリックします。

NPDL の場合



ART EX の場合



5. プロパティダイアログボックスの [OK] をクリックします。

IC カード読み取り装置を利用するための設定

オプションの IC カード読み取り装置を設置すると、IC カードに登録された情報によって認証したり、IC カードに登録された情報と本機に登録されているユーザー情報を使って、利用できる機能に制限をかけたり、利用状況を集計管理することができます。

❗ 注記

- ・ Dispenser 2 (CopyLyzer モード設定) を利用している場合、IC カード読み取り装置は設置できません。

💡 補足

- ・ IC カード読み取り装置を設置するには、機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) が必要です。

利用できる IC カード

利用できる IC カードについては、装着している IC カード読み取り装置のマニュアルを参照してください。

IC カードの設定

CentreWare Internet Services で、IC カードの設定をします。

💡 補足

- ・ 各項目の詳細は、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

💡 補足

- ・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「2 本機のセットアップ」(P. 19) を参照してください。
- ・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックしてください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [IC カード設定] をクリックします。

4. [一般] をクリックします。

5. [ICカードの使用] を [使用する] に設定します。



6. ICカードによる認証および認証解除時に確認音を鳴らす場合は、[鳴らす] にチェックを付けます。

7. [新しい設定を適用] をクリックします。

10 日常管理

10.1 消耗品を交換する

警告

- ・トナーカートリッジを火の中に投げ入れない
トナーカートリッジおよびドラムカートリッジは、絶対に火中に投げないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジおよびドラムカートリッジは、必ず弊社のサービス窓口または販売店にお渡しください。弊社にて処理いたします。
- ・掃除機でトナーを吸い取らない
床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。大量にこぼれた場合、弊社のサービス窓口または販売店にご連絡ください。
- ・消耗品は正しく保管する
消耗品は、箱やボトルにある説明に従って保管してください。

注意

- ・トナーカートリッジは、幼児の手が届かない場所に保管する
トナーカートリッジやドラムカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。
- ・トナーに触れたり、吸引したり、目や口に入れない
トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。
- ・トナーが皮膚や衣服についたり、万一、目や口に入ったら応急処置
次の事項に従って、応急処置をしてください。
 - トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
 - トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで15分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
 - トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
 - トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

消耗品の取り扱いについて

- ・消耗品の箱は、立てた状態で保管しないでください。
- ・消耗品 / メンテナンス品は、使用するまでは開封せずに、次のような場所を避けて保管してください。
 - 高温多湿の場所
 - 火気がある場所
 - 直射日光が当たる場所
 - ほこりが多い場所
- ・消耗品は、消耗品の箱や容器に記載された取り扱い上の注意をよく読んでから使用してください。
- ・消耗品は、予備を置くことをお勧めします。

トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジの交換時期が近づくと、操作パネルのディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。

メッセージ	処置
プリントできます ■ トナー予備用意	すぐに交換する必要はありませんが、トナーカートリッジの予備を用意してください。 残りのプリント可能ページ数 ^{*1} は、以下のとおりです。 ・ お買い上げ時のトナーカートリッジ：約 750 枚 ・ トナーカートリッジ (6000 枚)：約 1500 枚 ・ トナーカートリッジ (10000 枚)：約 2500 枚 ・ トナーカートリッジ (15000 枚) (MultiWriter 8700/8800 専用)：約 3750 枚
■ トナーカートリッジを交換してください	トナーがなくなりました。本機は停止し、プリントできなくなります。「交換手順」(P. 250)を参照し、新しいトナーカートリッジに交換してください。

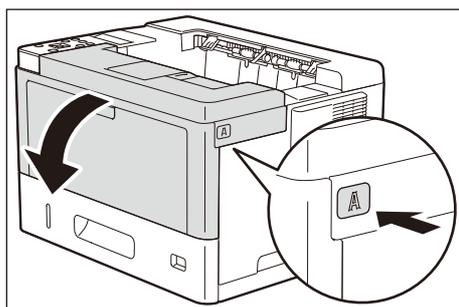
^{*1} プリント可能ページ数は、プリント条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度などによって、大きく異なります。詳しくは、「13.4 消耗品と有寿命部品 (定期交換部品、有償) の寿命について」(P. 370)を参照してください。

注記

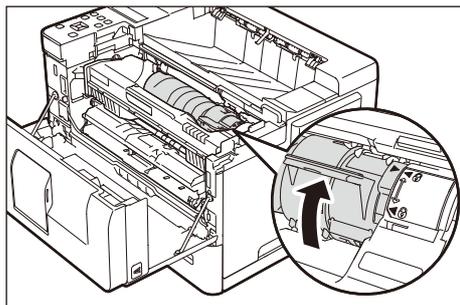
- ・ トナーカートリッジを交換するときは、本機の電源を入れたまま行ってください。
- ・ トナーで床などを汚さないように、取り出したトナーカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。
- ・ 一度本機から取り外したトナーカートリッジは、再使用しないでください。画質不良やトナー汚れの原因になります。
- ・ 取り外したトナーカートリッジを振ったり、たたいたりしないでください。残ったトナーがこぼれることがあります。
- ・ トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗い流してください。
- ・ トナーカートリッジは、開封後 1 年以内に使い切ることをお勧めします。

交換手順

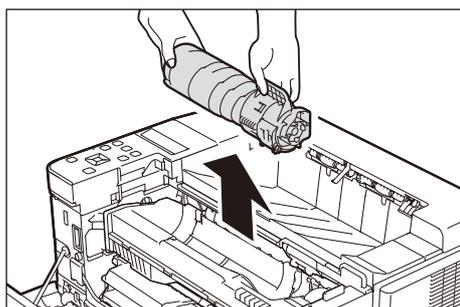
1. A ボタンを押して、フロントカバーを開きます。



2. トナーカートリッジの取っ手を、奥側に突き当たるまで倒してロックを解除します。



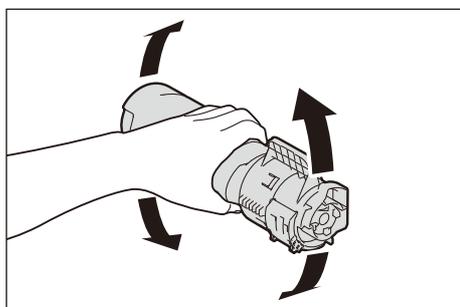
3. トナーカートリッジをゆっくり取り出します。



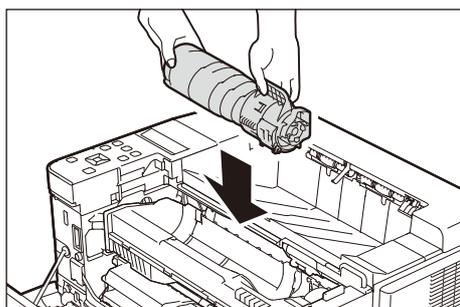
注記

- ・ 使用済みトナーカートリッジは振らないでください。カートリッジを振ると、トナーがこぼれるおそれがあります。

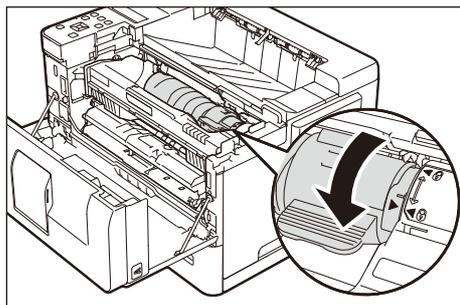
4. 新しいトナーカートリッジを用意し、10回振ります。



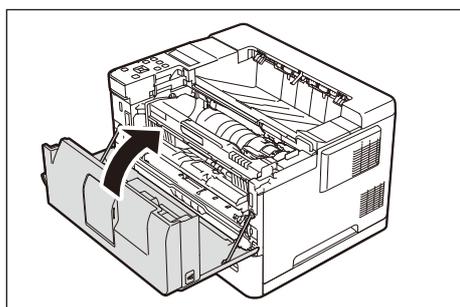
5. トナーカートリッジを本機にしっかり押し込みます。



6. トナーカートリッジの取っ手を手前に倒してロックします。



7. フロントカバーを閉じます。



ドラムカートリッジを交換する

ドラムカートリッジの交換時期が近づくと、操作パネルのディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。

メッセージ	処置
プリントできます ❶ ドラム予備用意	すぐに交換する必要はありませんが、ドラムカートリッジの予備を用意してください。 残りのプリント可能ページ数は、約 8000 ページ ^{*1} です。
プリントできます ❶ ドラム交換時期	まもなくドラムカートリッジの交換時期になります。 残りのプリント可能ページ数は、約 4000 ページ ^{*1} です。新しいドラムカートリッジを用意してください。
❶ ドラムカートリッジを交換してください	ドラムカートリッジの寿命です。 本機は停止し、プリントできなくなります。「交換手順」(P. 253) を参照して、新しいドラムカートリッジに交換してください。
プリントできます ❶ ドラム交換	操作パネルで、[ドラム寿命動作] を [プリント停止しない] に設定 ^{*2} しているとき、ドラムカートリッジの寿命となった場合に表示されます。しばらくはプリントを継続できますが品質が保証できませんので、新しいドラムカートリッジに交換することをお勧めします。

^{*1} プリント可能ページ数は、プリント条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度、設置環境の温度・湿度などによって、大きく異なります。詳しくは、「13.4 消耗品と有寿命部品 (定期交換部品、有償) の寿命について」(P. 370) を参照してください。

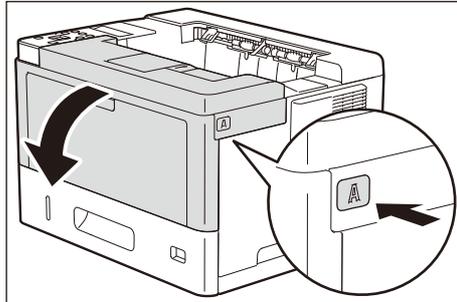
^{*2} この場合は、[プリントできます ❶ ドラム交換] のまま、メッセージは移行しません。設定については、[機械管理者メニュー] の「[ドラム寿命動作]」(P. 180) を参照してください。

交換手順

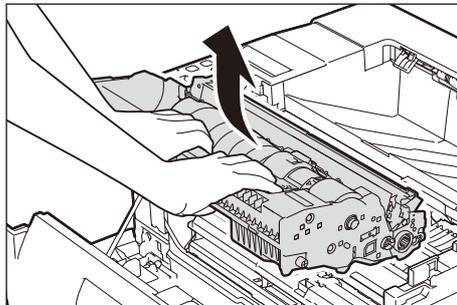
! 注記

- ・ドラムカートリッジの交換は、本機の電源を入れたまま行ってください。
- ・ドラムカートリッジは強い光にさらさないでください。印字品質が低下するおそれがあります。

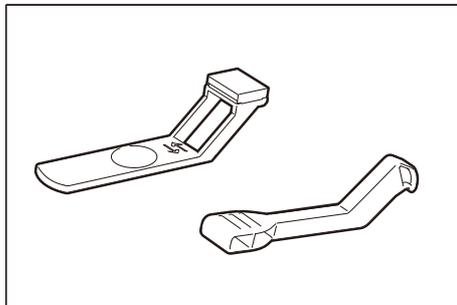
1. A ボタンを押して、フロントカバーを開きます。



2. ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げて、平らな場所に置きます。



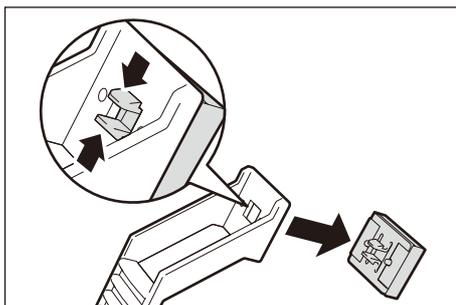
3. 本機に付属の清掃棒と昇降レバーを用意します。



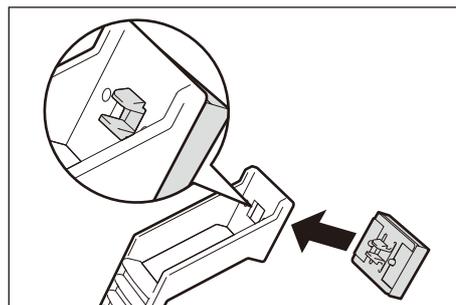
💡 補足

- ・使用後は、無くさないよう大切に保管してください。

4. 清掃棒の清掃パッドを交換します。



取り外し

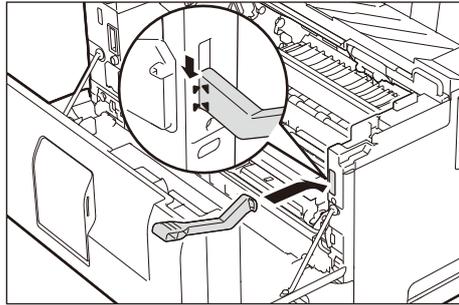


取り付け

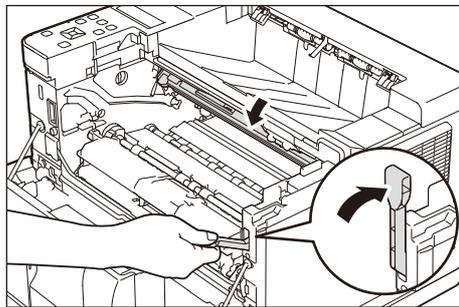
 **補足**

- ・ 清掃パッドは交換用のドラムカートリッジに同梱されています。

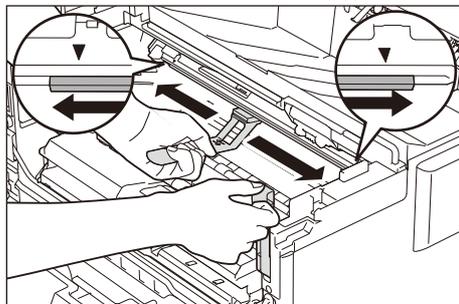
5. 本機の▲マークと合わせながら、昇降レバーを挿入します。



6. 昇降レバーを上げて、プリントヘッド部を下げます。

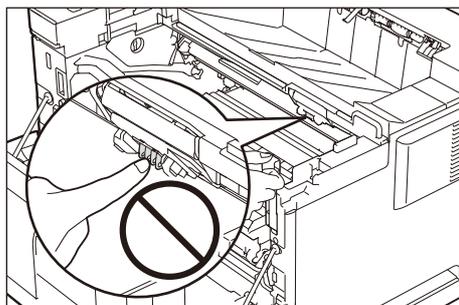


7. 清掃棒のパッド部分を LED プリントヘッド（黒いガラス部の下側）にあて、左右に一往復させて軽く拭きます。
清掃後は、昇降レバーを取り外します。

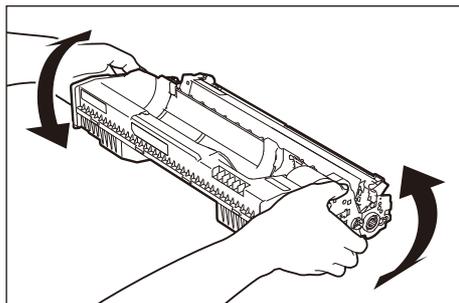


 **注記**

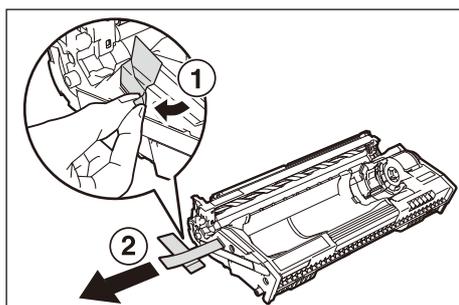
- ・ 端子部には触らないでください。ドラムカートリッジを正しく認識できなくなる場合があります。



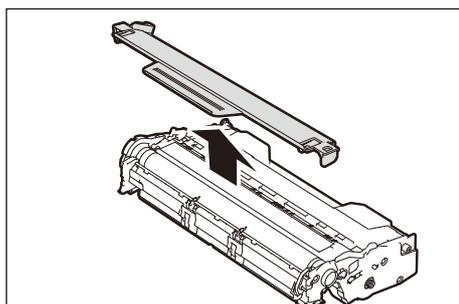
8. 新しいドラムカートリッジを用意し、8回振ります。



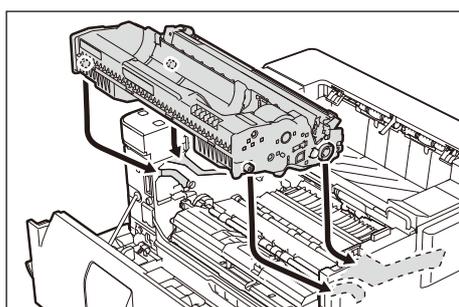
9. テープをはがし (①)、ヒートシールをまっすぐ引き抜きます (②)。



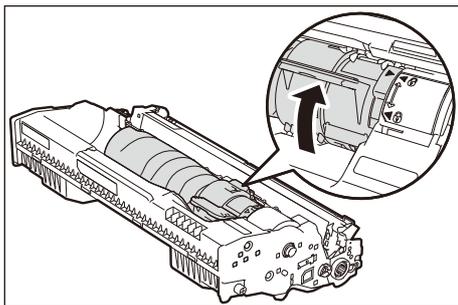
10. ドラムカートリッジを裏返し、オレンジ色の保護カバーを取り外します。



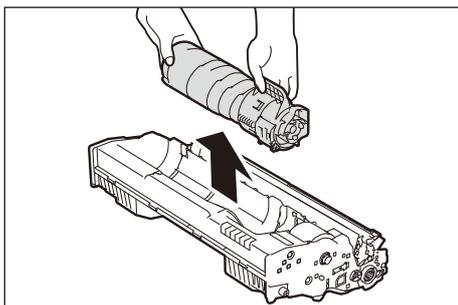
11. ドラムカートリッジの左右にある突起を溝に合わせて、しっかり押し込みます。



12. 古いドラムカートリッジにセットされたトナーカートリッジの取っ手を、奥側に突き当たるまで倒してロックを解除します。



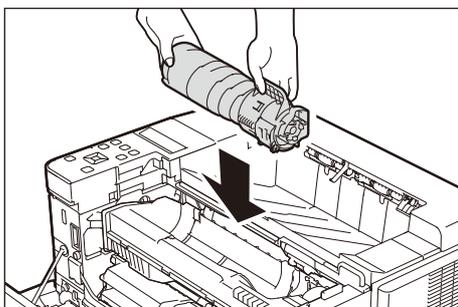
13. トナーカートリッジをゆっくり取り出します。



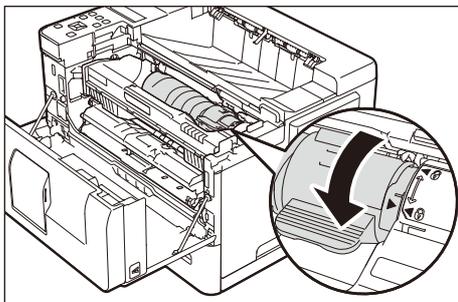
❗ 注記

- ・ 使用済みトナーカートリッジは振らないでください。カートリッジを振ると、トナーがこぼれるおそれがあります。

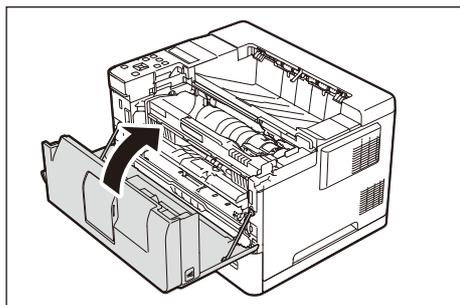
14. トナーカートリッジを本機にしっかり押し込みます。



15. トナーカートリッジの取っ手を手前に倒してロックします。



16. フロントカバーを閉じます。



10.2 レポート / リストをプリントする

レポート / リストの種類

本機には、コンピューターからのプリントデータをプリントするほかに、次のレポート / リストをプリントする機能があります。

補足

- ・ レポート名が操作パネルでの表示名と異なる場合は、括弧内に操作パネルでの表示名を記載しています。

レポート / リスト名 (操作パネルでの表示名)	プリントに必要な オプション製品	説明
機能設定リスト	—	本機のハードウェア構成やネットワーク情報など、各種の設定状態がプリントされます。オプション製品が正しく取り付けられているかどうかを確認するときなどにプリントします。
ジョブ履歴レポート	—	コンピューターから送られたプリントデータが、正しくプリントされたか、実行結果をプリントします。[ジョブ履歴レポート] には、最新の 50 件までのプリントジョブがプリントされます。 この [ジョブ履歴レポート] は、50 件を超えるごとに自動的にプリントさせるかどうかを、操作パネルで設定できます。「[自動ジョブ履歴]」(P. 175) を参照してください。
エラー履歴レポート	—	本機に発生したエラーに関する情報がプリントされます。
プリンター集計レポート (集計レポート)	—	コンピューター別 (ジョブオーナー別) に、本機でプリントした総ページ数、使用した用紙の総枚数の情報がプリントされます。 集計レポートは、データを初期化した時点からのカウントとなります。  参照 ・ 「10.3 プリントページ数を確認する」 (P. 262)
プリンター集計管理レポート (集計レポート)	—	集計機能を使用している場合は [集計レポート] を選ぶと、本レポートがプリントされます。 登録ユーザー別に、今までプリントした累積ページ数、プリントに使用した用紙の累積枚数が確認できます。  参照 ・ 集計機能について：「9.6 ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について」 (P. 241)
フォントリスト	—	NPD、ART EX、ART IV、ESC/P、PDF Bridge、HP-GL/2、DocuWorks Bridge で使用できるフォントの一覧がプリントされます。
PCL フォントリスト	—	PCL で使用できるフォントの一覧がプリントされます。 また、PCL で使用できるバーコードのサンプルも確認できます。
PostScript® フォントリスト (PS フォントリスト)	PostScript ソフトウェアキット	PostScript® で使用できるフォントの一覧がプリントされます。

レポート / リスト名 (操作パネルでの表示名)	プリントに必要な オプション製品	説明
ART IV, ESC/P ユーザー定義リスト (ユーザー定義リスト)	—	ART IV および ESC/P プリントモードで登録されたフォーム、ロゴ、パターンの登録内容がプリントされます。
ART EX フォーム登録リスト (ART EX フォームリスト) *1	—	オーバーレイ印字機能で、フォームとして登録した文書の一覧がプリントされます。  参照 <ul style="list-style-type: none"> ・ フォームの登録：プリンタードライバーのヘルプ
PostScript® 論理プリンター登録リスト (PS 登録リスト) *1	PostScript ソフトウェアキット	登録されている 1 ~ 20 までの PostScript® 論理プリンターの設定がプリントされます。  補足 <ul style="list-style-type: none"> ・ 論理プリンターの設定は、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
ESC/P 設定リスト *1	—	ESC/P プリントモードの設定がプリントされます。詳細は、「13.9 ART IV, ESC/P エミュレーションについて」(P. 378) を参照してください。
ESC/P 論理プリンター・メモリー登録リスト (ESC/P 登録リスト) *1	—	登録されている 1 ~ 20 までの ESC/P 論理プリンターの設定がプリントされます。  補足 <ul style="list-style-type: none"> ・ 論理プリンターの設定は、操作パネルからメモリー登録をするか、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
HP-GL/2 設定リスト *1	—	HP-GL、HP-GL/2 プリントモードでの設定値がプリントされます。詳細は、「13.10 HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションについて」(P. 399) を参照してください。
HP-GL/2 論理プリンター・メモリー登録リスト (HP-GL/2 登録リスト) *1	—	登録されている 1 ~ 20 までの HP-GL、HP-GL/2 論理プリンターの設定がプリントされます。  補足 <ul style="list-style-type: none"> ・ 論理プリンターの設定は、操作パネルからメモリー登録をするか、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
TIFF/JPEG 設定リスト *1	—	TIFF/JPEG プリントモードでの各設定がプリントされます。
TIFF/JPEG 論理プリンター登録リスト (TIFF/JPEG 登録リスト) *1	—	登録されている 1 ~ 20 までの TIFF/JPEG 論理プリンターの設定がプリントされます。  補足 <ul style="list-style-type: none"> ・ 論理プリンターの設定は、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

レポート / リスト名 (操作パネルでの表示名)	プリントに必要な オプション製品	説明
PDF 設定リスト* ¹	—	PDF ダイレクトプリントの操作パネルでの設定がプリントされます。
PCL 設定リスト* ¹	—	PCL プリントモードでの設定値がプリントされます。 詳細は、「PCL エミュレーションについて」(P.411)を参照してください。
PCL マクロ登録リスト (PCL マクロリスト)* ¹	機能拡張キット (ハードディスク)	登録したマクロやフォームなどがプリントされます。
DocuWorks 設定リスト* ¹	—	DocuWorks ダイレクトプリントの操作パネルでの設定がプリントされます。
NPDL 設定リスト	—	NPDL プリントモードでの設定値がプリントされます。
蓄積文書リスト	機能拡張キット (オプション) または、有効にした RAM ディスク	セキュリティー / サンプル / 時刻指定プリント機能で、本機に蓄積された文書の一覧がプリントされます。  参照 <ul style="list-style-type: none"> ・ NPDL <ul style="list-style-type: none"> - 「4.7 機密文書をプリントする - セキュリティープリント -」(P. 76) - 「4.8 出力結果を確認してからプリントする - サンプルプリント -」(P. 80) ・ ART EX <ul style="list-style-type: none"> - 「5.6 機密文書をプリントする - セキュリティープリント -」(P. 100) - 「5.7 出力結果を確認してからプリントする - サンプルプリント -」(P. 104) - 「5.8 指定した時刻にプリントする - 時刻指定プリント -」(P. 108) - 「9.3 RAM ディスクを使用するための設定 (ART EX プリンタードライバー使用時)」(P. 226)
送受信ドメイン制限リスト (ドメイン制限リスト)	機能拡張キット (オプション) または、有効にした RAM ディスク	送受信を許可 / 拒否するドメインの登録状況がプリントされます。  補足 <ul style="list-style-type: none"> ・ 送受信を許可するドメインを設定するか、拒否するドメインを設定するかは、CentreWare Internet Services で設定します。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
機能別カウンターレポート	—	機能別、用紙サイズ別の出力枚数やレディー時間、低電力モード時間、スリープモードなどの時間の累計がプリントされます。
隠し印刷サンプルリスト (隠し印刷サンプル)	セキュリティー拡張キット 機能拡張キット (ハードディスク)	複製管理機能で作成する隠し印刷のサンプルがプリントされます。
ペーパーセキュリティーサンプルリスト (ペーパーセキュリティーサンプル)	セキュリティー拡張キット 機能拡張キット (ハードディスク)	複製管理機能のペーパーセキュリティーで作成するデータのサンプルがプリントされます。

レポート / リスト名 (操作パネルでの表示名)	プリントに必要な オプション製品	説明
バーコードサンプル	—	GS1-128 バーコードのサンプルがプリントされます。 [A3 バーコードモード ON]、[A3 バーコードモード OFF]、 [A4 バーコードモード ON]、[A4 バーコードモード OFF] の 4 種類あります。
メーター確認レポート	—	メーターカウントがプリントされます。 本機能を利用するには、カスタマーエンジニアによる設定が 必要です。
ネットワークプロトコルポー ト	—	ネットワークプロトコルの設定がプリントされます。

*1 [レポート / リスト] メニューで [プリント言語] を選ぶと表示されます。

レポート / リストをプリントする

レポート / リストは、操作パネルからプリントを指示します。ここでは、[機能設定リスト] をプリントする場合を例に説明します。ほかのレポート / リストも同様の手順でプリントできます。

1. 操作パネルの  〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
[レポート / リスト] が表示されます。

仕様設定 レポート / リスト

2. <▶> または  ボタンを押します。
[機能設定リスト] が表示されます。

レポート / リスト 機能設定リスト

補足

- ・ほかのレポート / リストをプリントする場合は、該当するレポート / リストが表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

3. <▶> または  ボタンを押します。
プリントを開始させる画面が表示されます。

機能設定リスト [OK] でプリント開始

4.  ボタンでプリントします。
レポートがプリントされます。

5. プリントが終わったら、 〈仕様設定〉 ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

10.3 プリントページ数を確認する

これまでにプリントしたページ数は、そのカウントの仕方によって確認方法が異なります。

総プリントページ数を確認する（メーター）

操作パネルのディスプレイの表示で、プリントしたページ数を確認できます。

メーター 1	白黒プリント
メーター 2	通常は表示されません。

📌 補足

- ・両面プリントで出力する場合、使用しているアプリケーションによっては、部数を指定するときの条件などにより、自動的にページ調整の白紙を挿入することがあります。この場合、アプリケーションが挿入する白紙出力は 1 ページとしてカウントされます。

メーターの確認方法は、次のとおりです。

1. 操作パネルの  〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定 レポート/リスト

2. [メーター確認] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

仕様設定 メーター確認

3. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[現在のカウン] が表示されます。

メーター確認 現在のカウン

4. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[メーター 1] が表示されます。

メーター 1 1234567

5. 〈▲〉 または 〈▼〉 ボタンを押して、確認したいメーターを表示します。

メーター 2 222

6. 確認が終わったら、 〈仕様設定〉 ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

コンピューター別にプリントページ数を確認する（[プリンター集計レポート]）

コンピューター別（ジョブオーナー別）に、本機でプリントした総ページ数、使用した用紙の総枚数が、[プリンター集計レポート] で確認できます。[プリンター集計レポート] は、データを初期化した時点からのカウントになります。

[プリンター集計レポート] のプリントやデータの初期化は、操作パネルから行います。

💡 補足

- ・ 認証 / 集計管理機能を使用している場合は、[プリンター集計レポート] はプリントできません。代わりに、[プリンター集計管理レポート] がプリントされます。[プリンター集計管理レポート] に切り替わると、それまでのプリンター集計のカウントは初期化されます。

📖 参照

- ・ プリント方法：「レポート / リストをプリントする」(P. 261)

[プリンター集計レポート] のプリント結果について

[プリンター集計レポート] には、次の項目がプリントされます。

ジョブオーナー名	最大 50 ユーザーまでのオーナー名がプリントされます。ジョブオーナーの指定をしない場合、または 51 人め以降のユーザーのプリントジョブの場合は、最後から 2 つめの「UnknownUser」欄に集計されます。レポート / リストの出力は、最後の「Report/List」欄に集計されます。
総ページ数	実際にプリントした総ページ数です。1 つのプリントジョブが終了するたびにカウントされます。
総枚数	プリントに使用した用紙の総枚数です。1 つのプリントジョブが終了するたびにカウントされます。

[プリンター集計レポート] のデータを初期化する

1. 操作パネルの  仕様設定 ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート / リスト

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、 ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3.  または  ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

4. [初期化 / データ削除] が表示されるまで、 ボタンを押します。

機械管理者メニュー
初期化 / データ削除

5. <▶> または  ボタンを押します。
[NV メモリ初期化] が表示されます。

初期化 / データ削除
NV メモリ初期化

6. [集計レポート初期化] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

初期化 / データ削除
集計レポート初期化

7. <▶> または  ボタンを押します。
処理を開始させる画面が表示されます。

集計レポート初期化
[OK] で初期化開始

8.  ボタンを押します。
データが初期化されます。

9. 処理が終わったら、 <仕様設定> ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

機能別にプリントページ数を確認する（[機能別カウンターレポート]）

両面プリントなどの機能別、および用紙サイズ別に、プリントページ数やプリント枚数を確認できます。

参照

- ・プリント方法：「レポート / リストをプリントする」(P. 261)

10.4 電子メールで本機の状態を確認する

本機が接続されているネットワークに、メールの送受信ができる環境がある場合には、コンピューターからプリントを指示したジョブの終了をメールで知らせたり、消耗品や用紙などの状況などを、指定したメールアドレスに通知したりするように設定できます。

この機能を、メール通知サービスといいます。

メール通知サービスで通知される情報

メール通知サービスで通知される情報には、次のものがあります。

情報の種類	説明
ジョブの終了通知	コンピューターからプリントが指示されたジョブの結果（正常終了、中止、要確認）を通知します。
消耗品などの状態通知	あらかじめ設定した内容（消耗品の状態、用紙の状態など）を指定されたあて先へメールで通知します。 トナーやドラムカートリッジの状態を定期的に通知するので、タイムリーに交換時期を把握できます。

メール通知サービスを使用するための設定

メール通知サービスを使用するためには、ネットワーク環境やメール環境の設定が必要です。

ネットワーク環境

- ・メールアカウントの登録

メール環境の設定（本機側）

CentreWare Internet Services を使用して、ポート起動、本体メールアドレス、TCP/IP 環境、メールサーバーなどを設定します。

メール環境に合わせて、[プロパティ] の次の項目を設定します。

補足

- ・設定後は、必ず [新しい設定を適用] をクリックして本機の電源を切り、入れ直します。
- ・[メール通知フォルダ] が表示されない場合は、[ポート起動] で [メール通知] の [起動] にチェックを付けて、本機の電源を切り、入れ直してください。

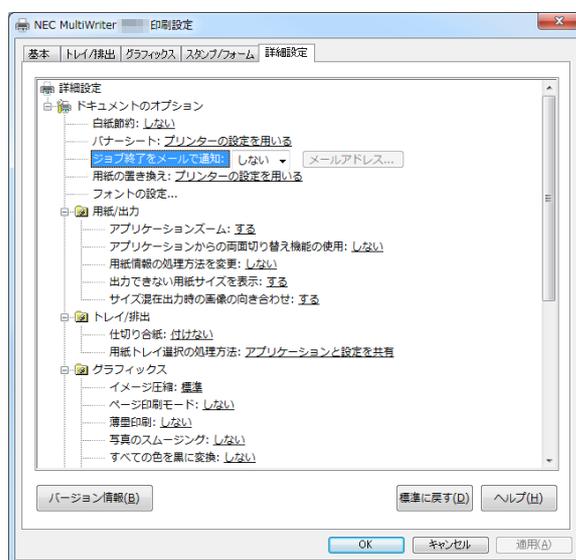
項目	設定項目	説明
本体説明	管理者メールアドレス（設定推奨）、 本体メールアドレス	「本体説明」(P. 121) を参照してください。

項目	設定項目	説明
一般設定>メール通知設定*>機械状態のメール通知設定 (*:メール通知を起動すると表示されます)	通知先メールアドレス	通知先のメールアドレスを、英数字と「@」「.」「-」「_」で、128バイト以内で説明します。
	通知状態設定	通知する内容をあて先別に設定できます。 ・消耗品の状態 ・交換部品の状態 ・用紙の状態 ・排出先の状態 ・ジャム状態 ・インターロック状態 ・フォルトの通知
	定期通知設定	メール通知を行う間隔などについて設定します(設定任意)。
ネットワーク設定>ポート起動	メール通知	チェックを付けます。
ネットワーク設定>プロトコル設定>TCP/IP	ホスト名、ドメイン名、DHCP からアドレスを取得 /DHCPv6-lite からアドレスを取得、DNS サーバーアドレス 1～3、DNS の動的更新 (IPv4/IPv6)、ドメイン検索リストの自動生成、検索ドメイン名 1～3、タイムアウト、DNS の名前解決の IPv6 優先	「ネットワーク設定>プロトコル設定> TCP/IP」(P. 121) を参照してください。
ネットワーク設定>プロトコル設定>SMTP>一般	SMTP サーバー IP アドレス (ホスト名)、送信ポート番号 (メール)、受信ポート番号、SMTP-SSL/TLS 通信、本体メールアドレス、SMTP 送信の認証、SMTP AUTH- ログイン名、SMTP AUTH- パスワード	「ネットワーク設定>プロトコル設定> SMTP >一般」(P. 123) を参照してください。

プリンタードライバー（ART-EX）のプロパティでの設定（コンピューター側）

プリントを指示したジョブの結果をメールで受け取るためには、ART EX プリンタードライバーのプロパティで次の設定をします。ここでは、Windows[®] 7 を例に説明します。

1. [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター]（OS によっては [プリンタ] または [プリンタと FAX]）を選びます。
2. 本機のプリンターアイコンを右クリックして、表示されるコンテキストメニューから、[印刷設定] を選びます。
[印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。
3. [詳細設定] タブをクリックします。
4. [ジョブ終了をメールで通知] で [する] を指定します。



💡 補足

- ・ NPD L プリンタードライバーでは [ジョブ終了をメールで通知] 機能はありません。

5. [メールアドレス] に、通知先のメールアドレスを半角英数字で入力し、[OK] をクリックします。
6. [OK] をクリックします。

10.5 ペーパーレジを補正する

プリント位置がずれる場合、垂直方向（リードレジ）、水平方向（サイドレジ）のプリント位置と直角度を操作パネルから補正します。

💡 補足

- ・ ペーパーレジを補正するためのチャートをプリントするときは、A3 (□)、A4 (□)、11×17" (□)、8.5×11" (□) の用紙を用紙トレイまたは手差しトレイにセットしてください。[トレイの用紙サイズ設定] は、定形サイズを設定してください。
- ・ 垂直方向（リードレジ）と水平方向（サイドレジ）の補正は、トレイごとに設定でき、それぞれ個別の値になります。おもて面とうら面の直角度の補正はトレイごとに設定できますが、すべて同一の値になります。

ここでは、用紙トレイ 2 のおもて面（片面）のペーパーレジ補正をする例で説明します。

1. 操作パネルの **1** 〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート/リスト

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. 〈▶〉 または **OK** ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

4. [画質補正] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

機械管理者メニュー
画質補正

5. 〈▶〉 または **OK** ボタンを押します。
[ペーパーレジ補正] が表示されます。

画質補正
ペーパーレジ補正

6. 〈▶〉 または **OK** ボタンを押します。
[トレイ 1] が表示されます。

ペーパーレジ補正
トレイ 1

7. [トレイ 2] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

ペーパーレジ補正
トレイ 2

8. 〈▶〉 または **OK** ボタンを押します。
[おもて面の補正] が表示されます。

トレイ 2
おもて面の補正

9. [チャート出力 (片面)] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

トレイ 2
チャート出力 (片面)

10. ボタンを押します。
部数を入力する画面が表示されます。

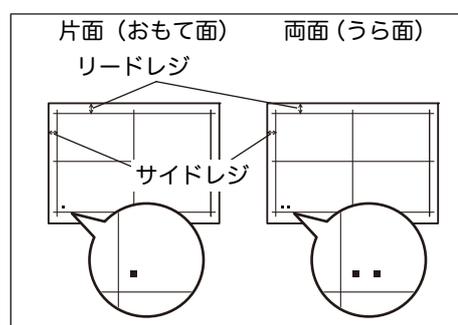
チャート出力 (片面)
1 部

11. 〈▼〉 ボタンを押して部数を設定し、〈▶〉 または ボタンを押します。
プリントを開始する画面が表示されます。

チャートを出力します
[OK] でプリント開始

12. ボタンを押します。
プリントが開始されます。

13. 出力されたチャートには■ (黒い四角のマーク) がプリントされます (表面は■が 1 箇所、うら面は■が 2 箇所)。
用紙に対するプリント位置のずれ (垂直方向 / 水平方向) を確認します。



14. [おもて面の補正] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

トレイ 2
おもて面の補正

15. 〈▶〉 または ボタンを押します。
[リードレジ補正] が表示されます。

おもて面の補正
リードレジ補正

16. 〈▶〉 または ボタンを押します。
現在の垂直方向の補正值 (リードレジ) が表示されます。

リードレジ補正
•0.0mm

17. 現在の設定値に、手順 13 で確認した垂直方向にずれた量を加えた値を設定し、 ボタンを押します。
プリント画像を下方向に移動する場合は+ (プラス) の値を設定し、上方向に移動する場合は- (マイナス) の値を設定します。

リードレジ補正
•0.0mm

18. 〈◀〉 または ボタンで手順 8 に戻り、同様に指定します。

おもて面の補正
リードレジ補正

19. [サイドレジ補正] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

おもて面の補正
サイドレジ補正

20. <▶> または **OK** ボタンを押します。
現在の水平方向の補正值（サイドレジ）が表示されます。
21. 現在の設定値に、手順 13 で確認した水平方向にずれた量を加えた値を設定し、**OK** ボタンを押します。
プリント画左方向に移動する場合は+（プラス）の値を設定し、右方向に移動する場合は-（マイナス）の値を設定します。
22. <◀> または **◀**（戻る）ボタンで手順 8 に戻り、同様に指定します。
23. [直角度補正] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。
24. <▶> または **OK** ボタンを押します。
現在の直角度の補正值が表示されます。

サイドレジ補正
•0.0mm

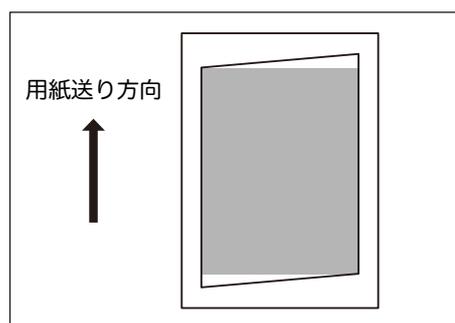
サイドレジ補正
•0.0mm

おもて面の補正
リードレジ補正

おもて面の補正
直角度補正

直角度補正
•0.0mm

25. 用紙に対するプリント位置のずれ（直角度）を確認します。



26. 現在の設定値に、手順 25 で確認したプリント位置のずれた量を加えた値を設定し、**OK** ボタンを押します。
用紙送り方向を上にした時に、右上がりの平行四辺形を長方形に補正したい場合は正の値を、左上がりの平行四辺形を長方形に補正したい場合は負の値を指定します。
27. 必要に応じて、チャートを再度プリントして、正しく設定されているかを確認します。
28. 設定が終わったら、**i**（仕様設定）ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

10.6 清掃する



警告

- ・ スプレータイプのクリーナーは使用しない
プリンターの性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。



注意

- ・ 清掃を行う場合は電源プラグを抜く
プリンターの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずにプリンターの清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。



注記

- ・ 電源を切って作業する場合は、データランプが消えていることを確認してから行ってください。本機の電源を切ると、メモリー内の印刷データや蓄積データは消去されます。

本体外部を清掃する



注記

- ・ ベンジン、シンナーなどの揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりすると、カバー類の変色、変形、ひび割れの原因になります。
- ・ 水でぬらしすぎると、機械が故障したり、コピーするときに原稿が破れたりするおそれがあるので注意してください。

1. 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、本体の外側を拭きます。



注記

- ・ 水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。



補足

- ・ 汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽く拭いてください。

2. 柔らかい布で、水分を拭き取ります。

用紙送りローラーを清掃する

用紙送りが正しくないと、紙づまりが起きます。トラブルを防ぐため、手差しトレイ、用紙トレイ 1、トレイモジュール（用紙トレイ 2～4）（オプション）の用紙送りローラーを、定期的に清掃します。

手差しトレイの用紙送りローラーとリタードローラーの清掃

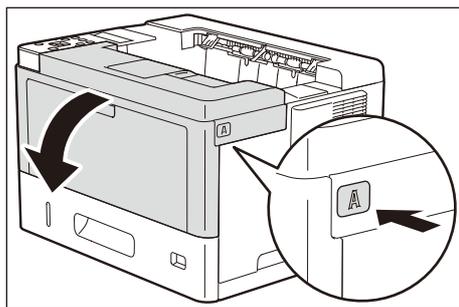
1. 本機の電源を切ります。



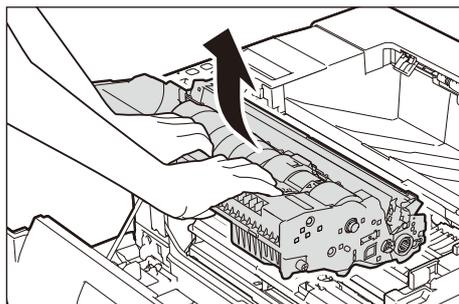
参照

- ・ 電源を切る方法については、「電源を切る」(P. 19) を参照してください。

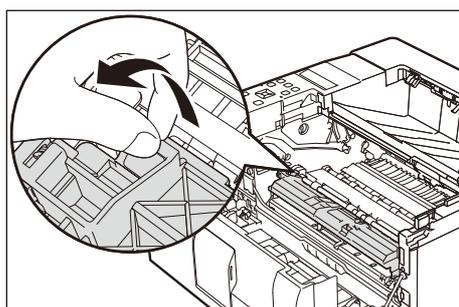
2. A ボタンを押して、フロントカバーを開きます。



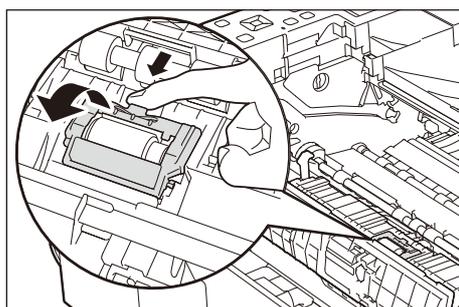
3. ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げて、平らな場所に置きます。



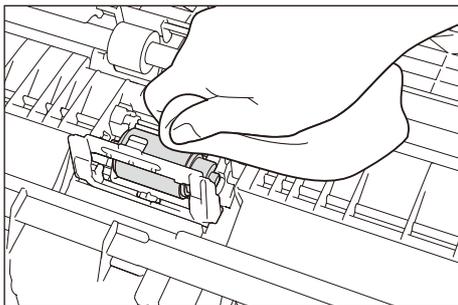
4. A1 部を手前に開きます。
A1 部が自動的に閉じないように手で押さえてください。



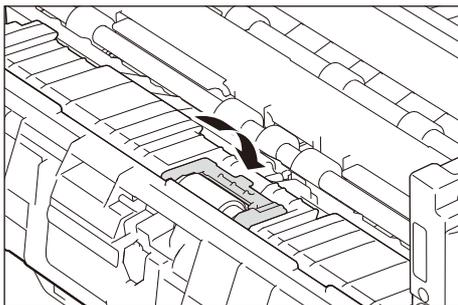
5. リタードロローラーのカバーの突起を押しながら手前に開きます。



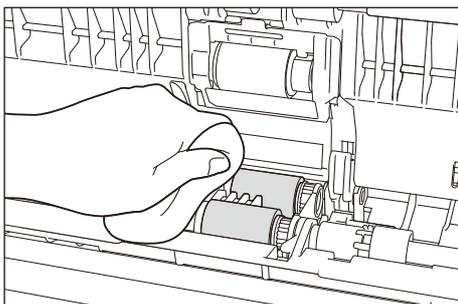
6. リタードロローラーを水で湿らせた柔らかい布で拭きます。



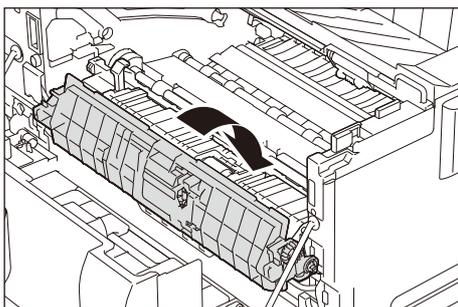
7. リタードロローラーのカバーを閉じます。



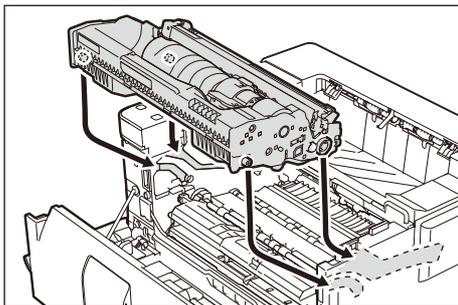
8. 水で湿らせた柔らかい布で A1 部の裏側にあるゴム部分を拭きます。



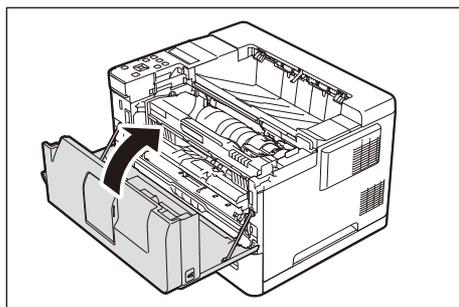
9. A1 部を閉じます。



10. ドラムカートリッジの左右にある突起を溝に合わせて、しっかり押し込みます。



11. フロントカバーを閉じます。



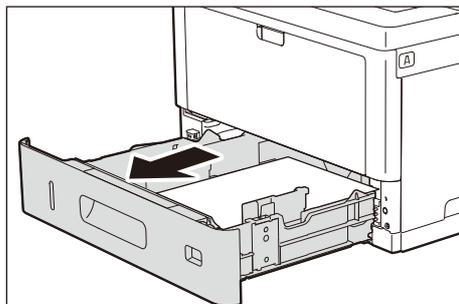
用紙トレイ 1 の用紙送りローラーの清掃

1. 本機の電源を切ります。

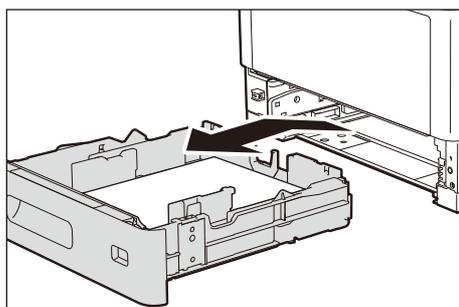


・電源を切る方法については、「電源を切る」(P. 19) を参照してください。

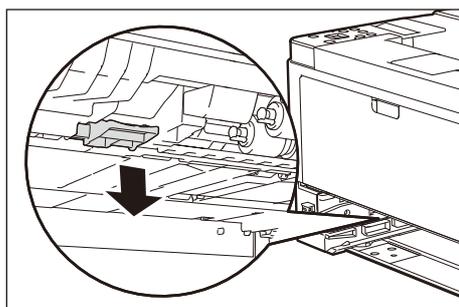
2. 用紙トレイ 1 を引き出します。



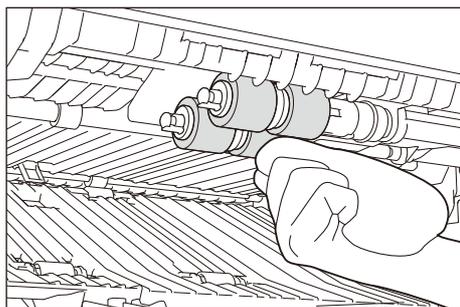
3. トレイの両側を両手で支え、トレイの正面を少し上げて引き抜きます。



4. 図の位置にある緑色のレバーを押し下げ、両面シュートを下ろします。



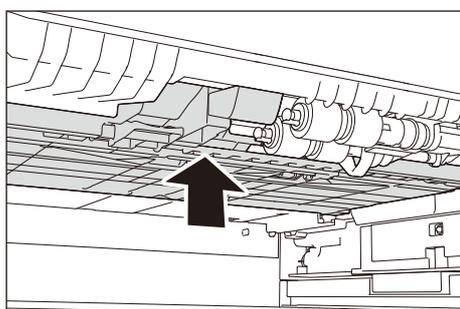
5. 水で湿らせた柔らかい布でゴム部分を拭きます。



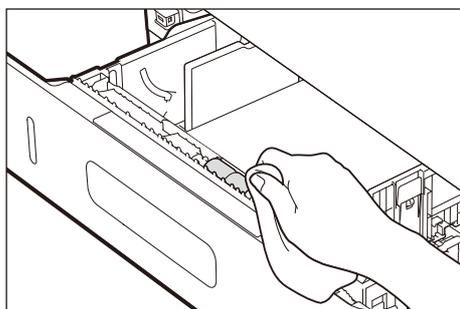
💡 補足

- ・ 本機を横にしないでください。トナーがこぼれるおそれがあります。
- ・ 本機内部のほかの部品には触れないでください。本機が損傷するおそれがあります。

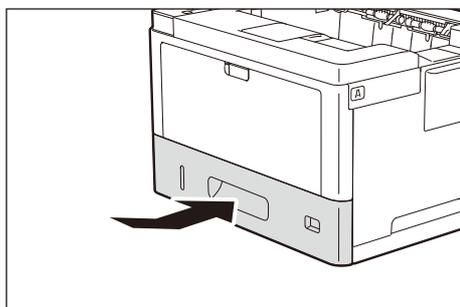
6. 両面シュートを戻します。



7. 用紙トレイ内側の用紙送りローラーを水で湿らせた柔らかい布で拭きます。



8. 奥に突き当たるところまで、用紙トレイ 1 をゆっくりと押し込みます。



トレイモジュール（用紙トレイ 2～4）（オプション）の用紙送りローラーの清掃

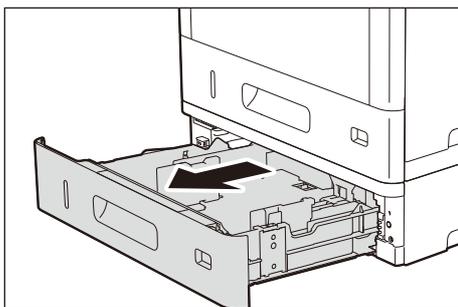
ここでは、用紙トレイ 2 を例に説明します。

1. 本機の電源を切ります。

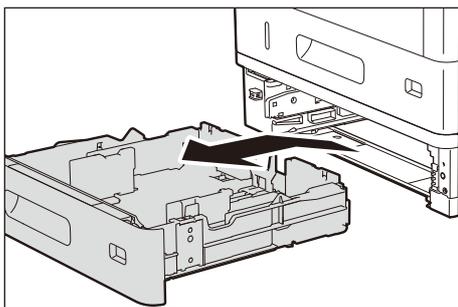


・電源を切る方法については、「電源を切る」(P. 19) を参照してください。

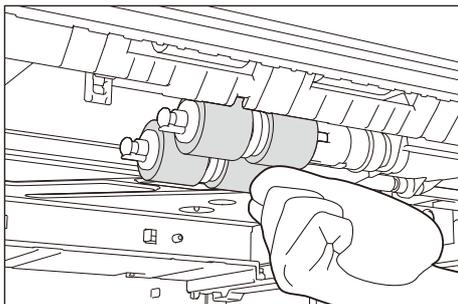
2. 用紙トレイ 2 を引き出します。



3. トレイの両側を両手で支え、トレイの正面を少し上げて引き抜きます。

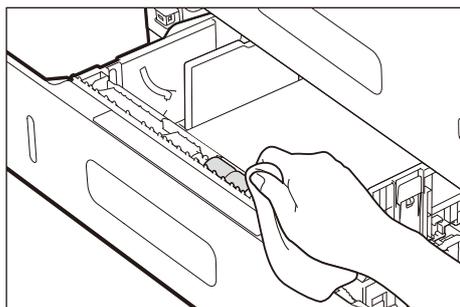


4. 水で湿らせた柔らかい布でゴム部分を拭きます。

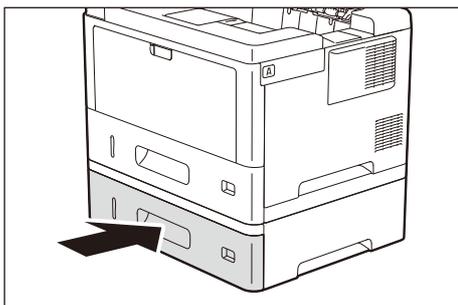


- ・本機を横にしないでください。トナーがこぼれるおそれがあります。
- ・本機内部のほかの部品には触れないでください。本機が損傷するおそれがあります。

5. トレイ内側の用紙送りローラーを水で湿らせた柔らかい布で拭きます。



6. 奥に突き当たるところまで、用紙トレイ2をゆっくりと押し込みます。



11 困ったときには

11.1 紙づまりの処置

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。操作パネルの「エラー」ランプが点灯して、ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージに表示されている紙づまりの位置を操作パネルの左上にある外観図で確認して、詰まっている用紙を取り除いてください。

紙づまりの処置が終了すると、自動的に用紙が詰まる前の状態からプリントが再開されます。

外観図の表示	メッセージに表示されている紙づまりの位置	紙づまりの処置	参照ページ
A	カバー A	フロントカバー [A] 内での紙づまり	P. 278
B	カバー B	リアカバー [B] 内での紙づまり	P. 285
1~4	用紙トレイ 1~4	用紙トレイ 1~4 での紙づまり	P. 286
(表示なし)	手差しトレイ	手差しトレイでの紙づまり	P. 289

警告

- ・ 定着ユニットの安全性
定着ユニットは取り外さないでください。定着ユニット内に詰まった紙を取り除く場合にはお買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガをするおそれがあります。

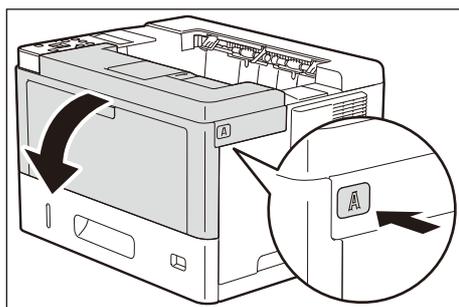
注記

- ・ 紙づまりが発生したとき、紙づまり位置を確認しないで用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、紙づまりの位置を確認してから処置をしてください。
- ・ 紙片が本機内に残っていると、紙づまりの表示は消えません。
- ・ 紙づまりの処置をするときは、本機の電源を入れたまま行ってください。
- ・ 本機内部の部品には触れないでください。印字不良の原因になります。

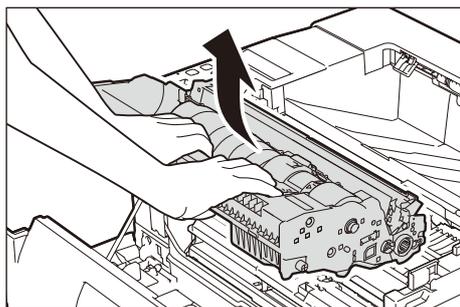
フロントカバー [A] での紙づまり

奥側に用紙が詰まっている場合

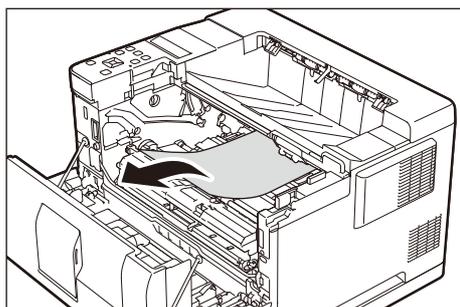
1. A ボタンを押して、フロントカバーを開きます。



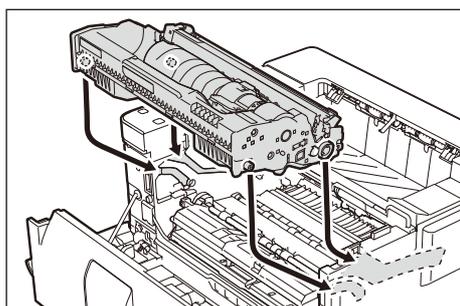
2. ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げて、平らな場所に置きます。



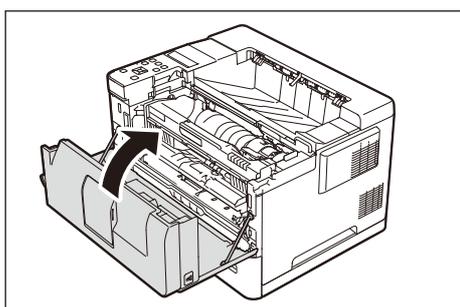
3. 詰まっている用紙を取り除きます。



4. ドラムカートリッジの左右にある突起を溝に合わせて、しっかり押し込みます。

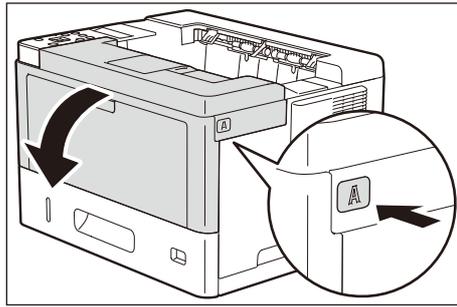


5. フロントカバーを閉じます。

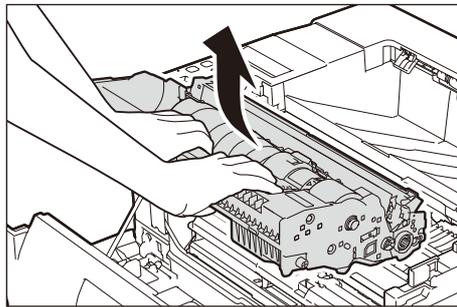


A1 部に用紙が詰まっている場合

1. A ボタンを押して、フロントカバーを開きます。



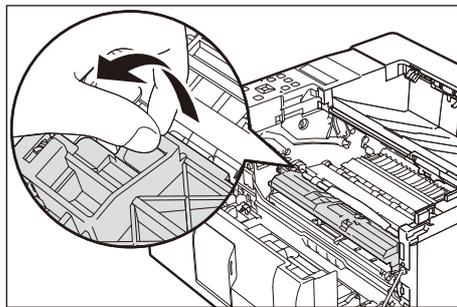
2. ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げて、平らな場所に置きます。



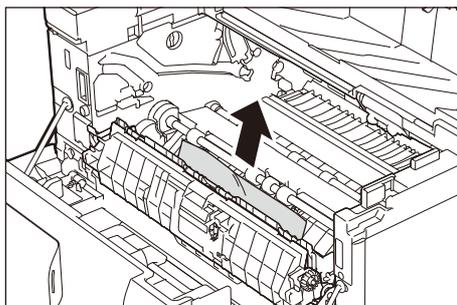
💡 補足

- ・ 取り外したドラムカートリッジを傾けたり振ったりしないでください。

3. A1 部を手前に開きます。
A1 部が自動的に閉じないように手で押さえてください。



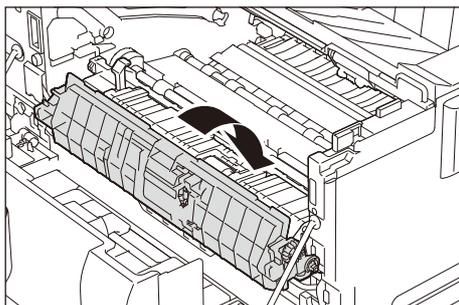
4. 詰まっている用紙を取り除きます。



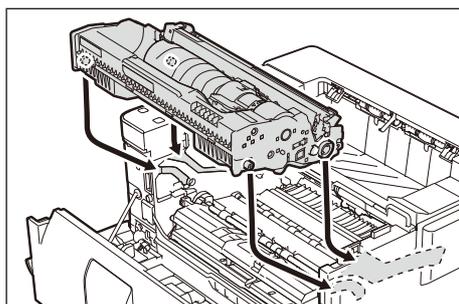
⚠ 注記

- ・ 端子部には触らないでください。ドラムカートリッジを正しく認識できなくなる場合があります。

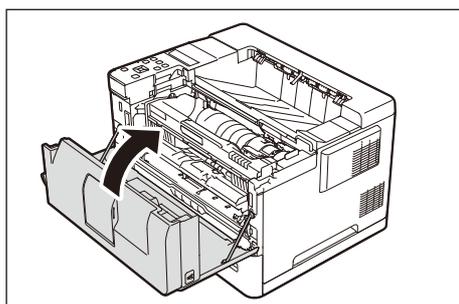
5. A1 部を閉じます。



6. ドラムカートリッジの左右にある突起を溝に合わせて、しっかり押し込みます。

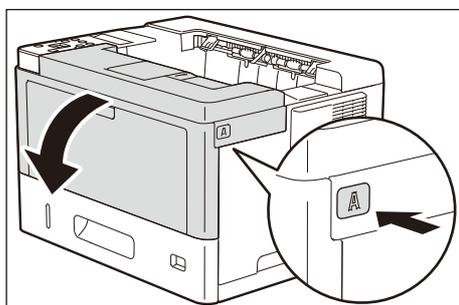


7. フロントカバーを閉じます。

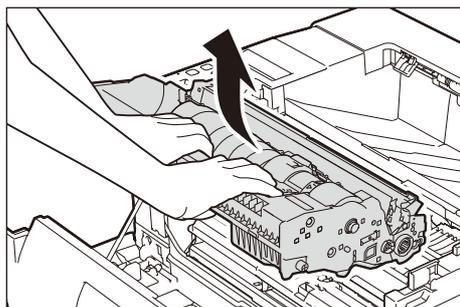


A2 部の下に用紙が詰まっている場合

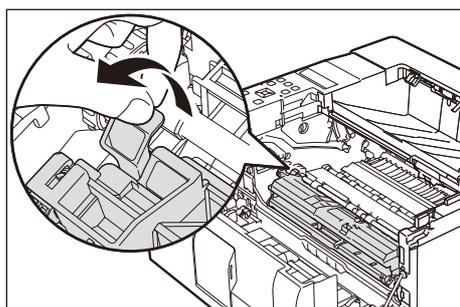
1. A ボタンを押して、フロントカバーを開きます。



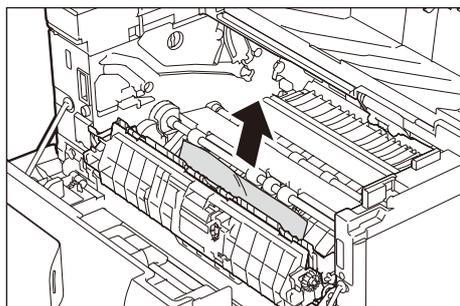
2. ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げて、平らな場所に置きます。



3. A2部を手前に開きます。
A2部が自動的に閉じないように手で押さえてください。

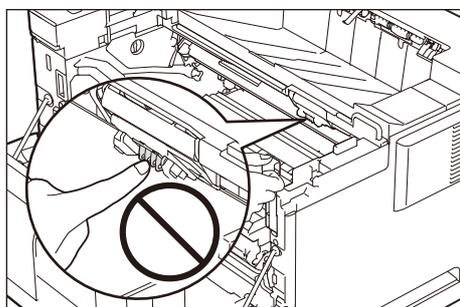


4. 詰まっている用紙を取り除きます。

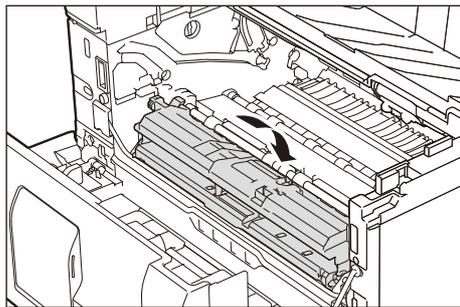


! 注記

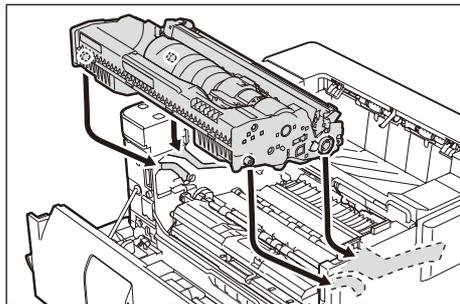
- ・ 端子部には触らないでください。ドラムカートリッジを正しく認識できなくなる場合があります。



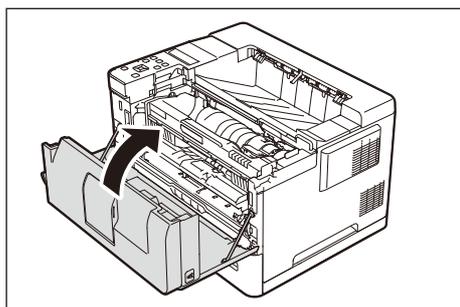
5. A2 部を閉じます。



6. ドラムカートリッジの左右にある突起を溝に合わせて、しっかり押し込みます。

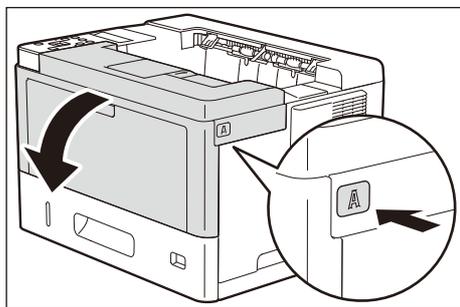


7. フロントカバーを閉じます。

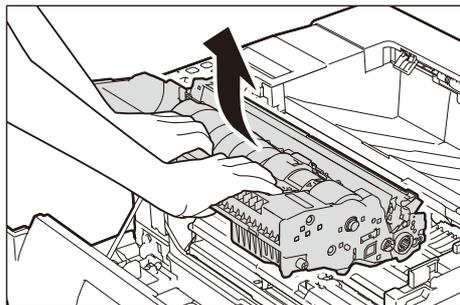


用紙送りローラーに用紙が詰まっている場合

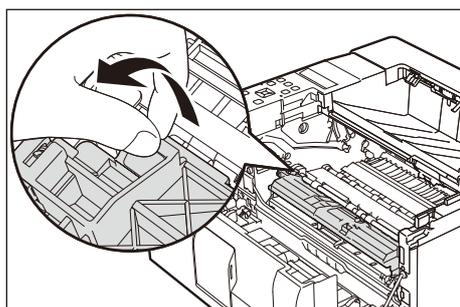
1. A ボタンを押して、フロントカバーを開きます。



2. ドラムカートリッジの取っ手を両手で持ち、ゆっくりと引き上げて、平らな場所に置きます。

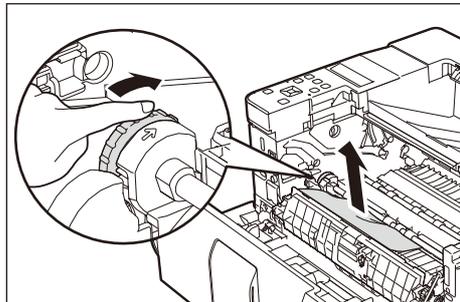


3. A1 部を手前に開きます。
A1 部が自動的に閉じないように手で押さえてください。

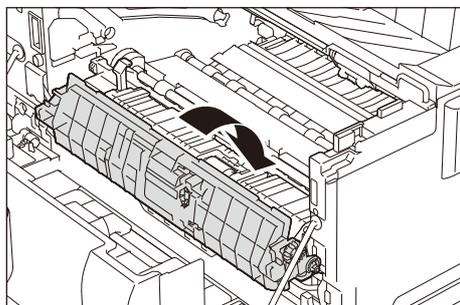


4. A2 部を手前に開きます。
A2 部が自動的に閉じないように手で押さえてください。

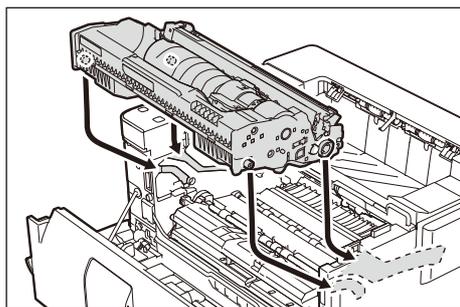
5. 図の位置にある緑色のホイールを奥側に回し、詰まっている用紙を引き出して取り除きます。



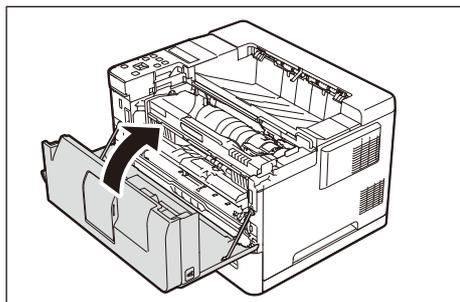
6. A1 部を閉じます。



7. ドラムカートリッジの左右にある突起を溝に合わせて、しっかり押し込みます。

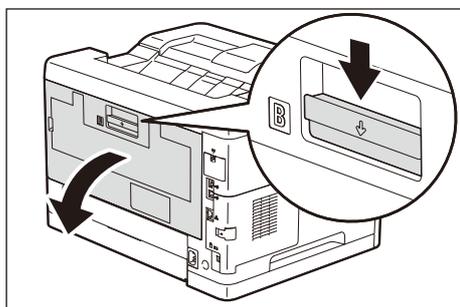


8. フロントカバーを閉じます。



リアカバー [B] での紙づまり

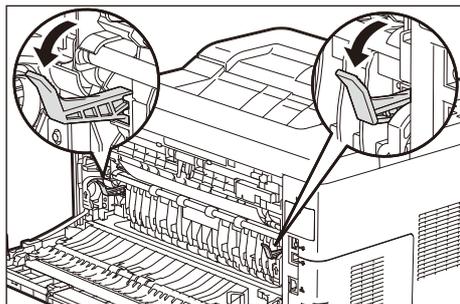
1. Bレバーを押して、リアカバーを開きます。



! 注記

- ・フェイスアップトレイ (オプション) を装着している場合は、リアカバーを開ける前に取り外してください。詳しくは、「13.14 フェイスアップトレイ (オプション) の取り付け」(P. 426) を参照してください。

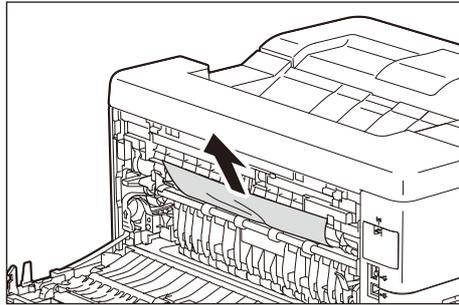
2. 定着ユニットの両端にある緑色のレバーを下げます。



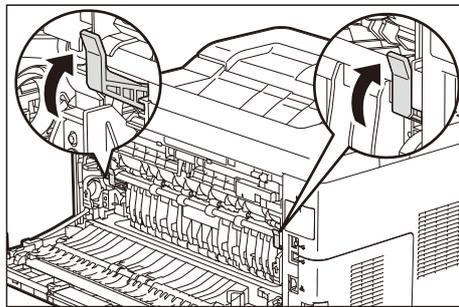
注記

- ・ 定着ユニットは高温になっています。触れないようにしてください。やけどの原因になるおそれがあります。

3. 詰まっている用紙を取り除きます。



4. 緑色のレバーを戻します。



5. リアカバーを閉じます。

用紙トレイ 1～4 での紙づまり

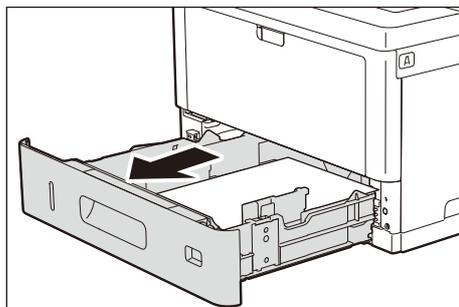
両面シュートに用紙が詰まっている場合

補足

- ・ 用紙トレイ 2～4 はオプションです。

1. 用紙トレイ 1 を引き出します。

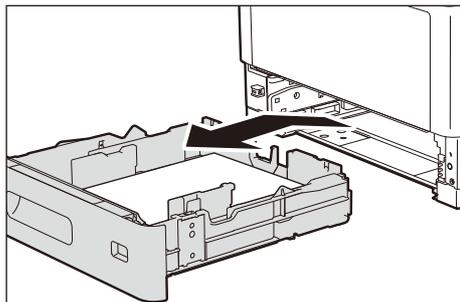
メッセージに複数のトレイが表示されている場合は、下のトレイから順に確認してください。



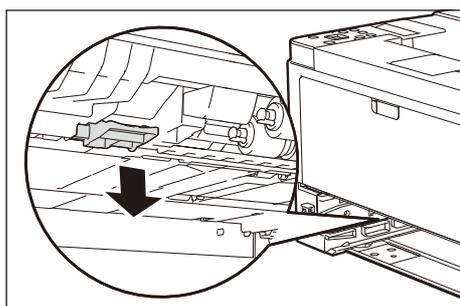
注記

- ・ 2つ以上の用紙トレイを同時に引き出さないでください。本機が転倒する可能性があります。

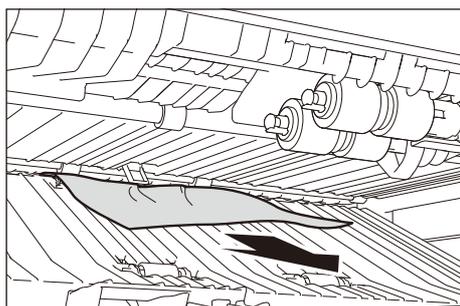
2. 用紙トレイ 1 の両側を両手で支え、トレイの正面を少し上げて引き抜きます。



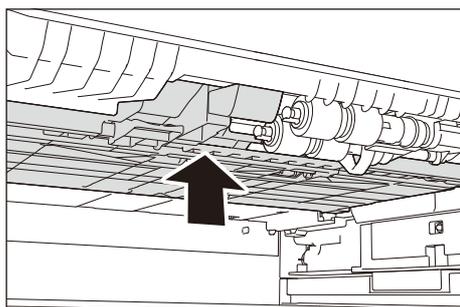
3. 図の位置にある緑色のレバーを押して両面シュートを下ろします。



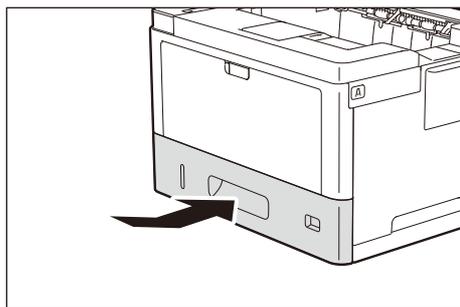
4. 詰まっている用紙を取り除きます。



5. 両面シュートを戻します。

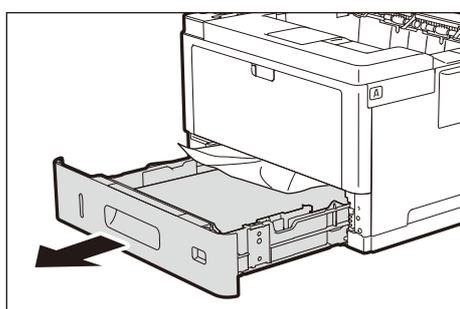


6. 奥に突き当たるところまで、用紙トレイ 1 をゆっくりと押し込みます。



用紙トレイ内に用紙が詰まっている場合

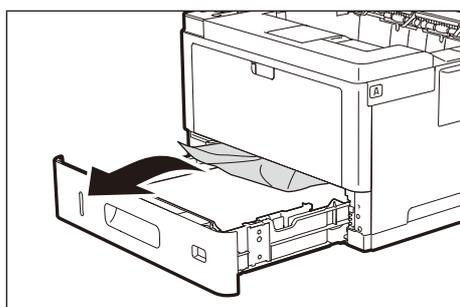
1. 用紙が詰まっている用紙トレイを引き出します。



! 注記

- ・ 紙づまりの位置を確認しないで用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、ディスプレイで紙づまりの位置を確認してから処置をしてください。

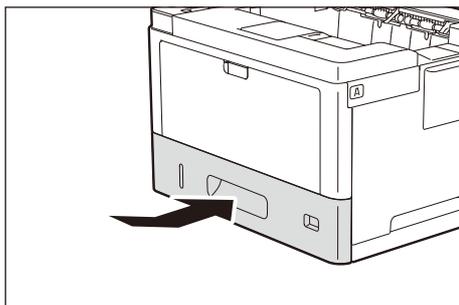
2. 詰まっている用紙を取り除きます。



💡 補足

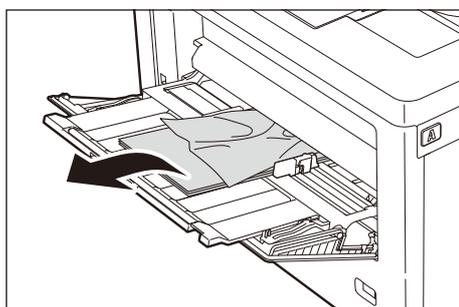
- ・ 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

3. 奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込みます。



手差しトレイでの紙づまり

1. 手差しトレイから、詰まっている用紙とセットしてある用紙を取り除きます。



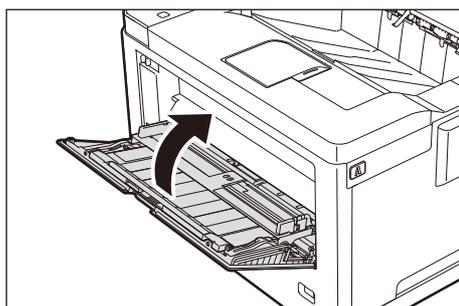
! 注記

- ・ 用紙を複数枚セットしていたときは、いったんすべての用紙を取り出してください。

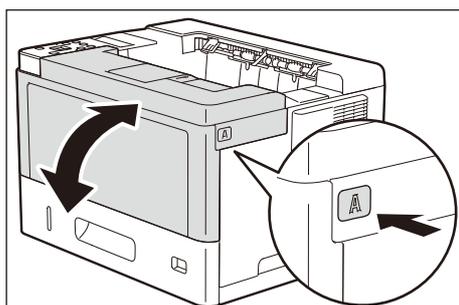
💡 補足

- ・ 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

2. 手差しトレイを閉じます。

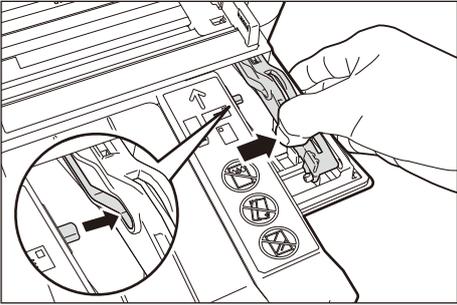


3. A ボタンを押してフロントカバーを開け、閉じます。



11.2 機器本体のトラブル

症状	原因 / 処置
電源が入らない	<p>電源コードが抜けている、またはゆるんでいませんか？ 本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントと本機に差し込み直してください。そのあとで、本機の電源を入れてください。</p> <p>正しい電圧のコンセントに接続していますか？ 本機は、適切な定格電圧および定格電流のコンセントに、単独で接続してください。</p>
パネルに何も表示されない	<p>節電モードに入っている可能性があります。操作パネルの  (電源 / 節電) ボタンを押して、節電モードを解除してください。 節電モードが解除できない場合は、電源コードがきちんと差し込まれていることを確認し、電源を入れ直してください。 それでも改善されない場合は、機械の故障かもしれません。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。</p>
異常な音がる	<p>本機の設置場所は、水平ですか？ 安定した平面の上に移動してください。</p> <p>トレイが外れていませんか？ トレイを本機の奥までしっかり押し込んでください。</p> <p>本機内部に異物が入っていませんか？ 電源を切り、本機内部の異物を取り除いてください。本機を分解しないと取り除けない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。</p>
本機内部に結露が発生した	<p>操作パネルを使用して、スリープモードに移行する時間を 60 分以上に設定し、電源を入れたまま約 1 時間放置してください。機械内部に水滴がない（ローラー、金属部分など）ことを十分確認したうえでお使いください。 また、頻繁に結露が発生する場合は、操作パネルで [結露防止モード] を [有効] に設定して電源を入れたままにしてください。結露が改善する場合があります。</p> <p> 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> 結露防止モードを [有効] にするときは、CentreWare Internet Services で [低電力モード移行時間] の [有効] にチェックを入れてください。 <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> スリープモードに移行する時間：「[スリープモード移行時間]」(P. 174) 結露防止モード：「[結露防止モード]」(P. 172)
節電モードに移行しない	<p>次のようなときには、本機に発生している現象をお客様にお知らせするため、また、本機の性能を發揮するために低電力モードやスリープモードに移行しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 操作パネルで何らかの操作をしているとき トナーカートリッジ、ドラムカートリッジなどの消耗品のうちいずれか 1 つでも交換メッセージが表示されているとき 定期交換部品の交換メッセージが表示されているとき 紙づまり、カバーオープンなどお客様の操作を必要としているとき 故障などによりエラーが発生しているとき 結露防止モードが有効に設定されているとき <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 結露防止モード：「[結露防止モード]」(P. 172)

症状	原因 / 処置
<p>手差しトレイの延長トレイが外れた</p>	<p>手差しトレイの延長トレイは、斜めに力を加えると外れる場合があります。外れた場合は、手差しトレイのレール部分を外側に押しながら、延長トレイの突起部分を溝に入れてください。</p> 

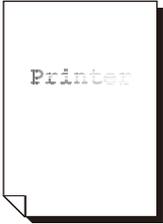
11.3 プリントのトラブル

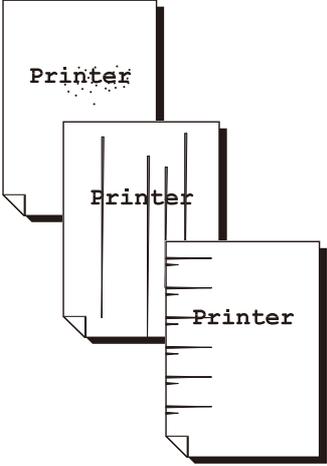
症状	原因 / 処置
 (エラー) ランプが点滅している	<p>お客様自身では対処できないエラーが発生しています。表示されているエラーメッセージやエラーコードを書き留めたうえで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「11.7 エラーコード」(P. 310)
 (エラー) ランプが点灯している	<p>操作パネルのディスプレイにエラーメッセージが表示されていませんか？操作パネルに表示されているエラーメッセージを確認して、エラーの対処してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「11.7 エラーコード」(P. 310)
プリントを指示したのに  (プリント可) ランプが点滅、点灯しない	<p>インターフェースケーブルが抜けていませんか？ いったん電源を切り、インターフェースケーブルの接続を確認してください。</p> <p>本機がオフライン状態、またはメニューを設定している状態になっていませんか？ オフライン状態の場合は (オンライン) ボタンを、メニュー画面が表示されているときは (仕様設定) ボタンを押して、解除してください。</p> <p>使用するプロトコルが正しく設定されていますか？ 使用するポートが起動されているかを確認してください。また、CentreWare Internet Services でプロトコルが正しく設定されているかを確認してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「[ネットワーク / ポート設定]」(P. 146) ・CentreWare Internet Services のヘルプ <p>コンピューター的环境が正しく設定されていますか？ プリンタードライバーなどコンピューター的环境を確認してください。</p>
 (プリント可) ランプが点灯、点滅したまま排紙されない	<p>データが本機内部に残っています。プリントの中止、または残っているデータの強制排出をします。</p> <p> (オンライン) ボタンを押してオフライン状態にしてから、プリントを中止する場合は (プリント中止) ボタンを、データを強制排出する場合は、 ボタンを押してください。中止または強制排出が終わったら、もう一度 (オンライン) ボタンを押して、本機をオンライン状態にします。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・USB ポートを使用している場合、 (オンライン) ボタンを押すタイミングによっては、ジョブデータの受信が途切れることがあります。ジョブデータの受信が途切れた場合、それ以降のプリントデータは ボタンを押したあとに、新しいプリントジョブとして認識され、最後にオフラインを解除したあとにプリントされます。またそのとき、正常にプリントされないことがあります。

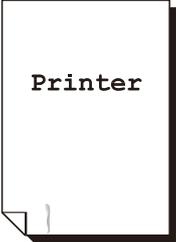
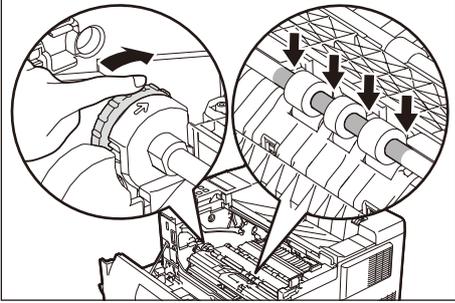
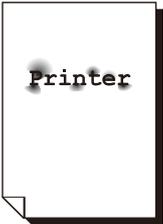
症状	原因 / 処置
プリントできない	<p>ネットワークプリンターの場合、本機の IP アドレスは正しく設定されていますか？ また、受信制限の設定が間違っている可能性もあります。 本機の設定が正しいかどうか確認し、必要であれば変更してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「IP アドレスを設定する」(P. 26)
	<p>1 度のプリント指示で送信されるプリントデータの容量が、受信容量の上限を超えている可能性があります。受信バッファの設定をメモリスプールにしている場合に、この現象が発生することがあります。 1つのプリントファイルでメモリーの上限を超えてしまう場合には、プリントファイルをメモリー容量の上限より小さいサイズに分割してプリントを指示します。 プリントするデータファイルが複数ある場合には、1 度にプリントするファイルの量を減らしてプリントしてください。</p>
	<p>NPDL プリンタードライバーで定形外の用紙を選択していませんか？ NPDL プリンタードライバーはサポート用紙サイズ A3、A4、A5、B4、B5、8.5x11”、はがき、往復はがき、洋形 4 号以外は定形外サイズとして扱います。 サポート用紙サイズ以外は給紙先指定が自動または給紙先を指定しても、用紙補給 / エラーになる場合があります。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NPDL : 「4.4 定形外サイズの内紙にプリントする」(P. 67) ・ ART EX : 「5.4 定形外サイズの内紙にプリントする」(P. 93)
プリントに時間がかかる	<p>受信バッファ容量の不足が考えられます。解像度の高い文書をプリントするときは、操作パネルの [メモリー設定] で使用しない項目のメモリー容量を減らして、プリントページバッファの容量が大きくなるようにしてください。 受信バッファ容量を増やすと、プリント処理が速くなる場合があります。プリントするデータの量に応じて、バッファ容量を調整してください。 また、使用していないポートを停止して、ほかの用途向けにメモリーを割り当てることをお勧めします。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「[メモリー設定]」(P. 203)
	<p>ART EX プリンタードライバーの場合、プリンタードライバーの [印刷モード] の設定で、[高精細] が選択されていませんか？ [グラフィックス] タブの [印刷モード] の設定を [標準] に変更すると、プリントにかかる時間を短縮できることがあります。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリンタードライバーのヘルプ
	<p>TrueType フォントのプリント方法によっては、プリントに時間がかかることがあります。プリンタードライバーの [詳細設定] タブにある [フォントの設定] (ART EX) / [TrueType フォント置換] (NPDL) で、TrueType フォントのプリント方法を変更してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリンタードライバーのヘルプ

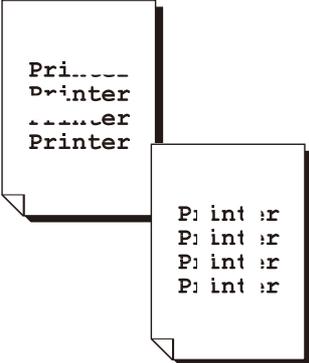
症状	原因 / 処置
プリントを指示していないのに、[プリントしています]が表示される (USB インターフェイス使用時)	本機の電源を入れたあとに、コンピューターの電源を入れませんでしたか？  <プリント中止> ボタンを押して、プリントを中止してください。  補足 ・ 本機の電源を入れるときは、コンピューターの電源が入っていることを確認してください。
印字された文書の上部が欠ける 思った位置にプリントされない	用紙ガイドは、正しい位置にセットされていますか？ 用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。  参照 ・ 「3.4 用紙をセットする」(P. 41)
	プリンタードライバーで余白の設定が正しいかどうかを確認してください。  参照 ・ プリンタードライバーのヘルプ

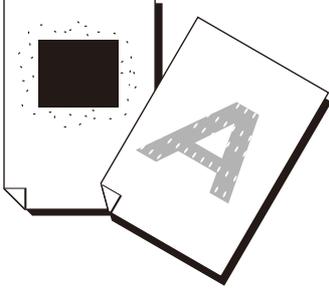
11.4 印字品質や画質のトラブル

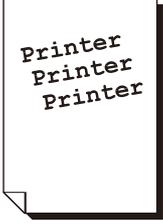
症状	原因 / 処置
プリントがうすい (かすれる、不鮮明)  	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。  参照 ・「使用できる用紙」(P. 37)
	ドラムカートリッジ、または定着ユニットが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジ、および定着ユニットの状態によって、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
	トナーセーブ機能が有効になっていませんか？ プリンタードライバーの [グラフィックス] タブの [トナー節約] で、[しない] を選んでください。  補足 ・ ART-EX プリンタードライバーの場合、3 段階の設定ができます。NPD L プリンタードライバーは [する] [しない] だけの設定となります。
	 参照 ・ プリンタードライバーのヘルプ
	もっと濃くプリントしたい場合は、プリント時にプリンタードライバーで [グラフィックス] タブの [画質調整] または [トーンバランス] を選び、各設定を変更してプリントしてみてください。
	 参照 ・ プリンタードライバーのヘルプ
	別の用紙種類の設定に変更して、プリントしてみてください。たとえば、普通紙を設定していた場合は上質紙や再生紙に、厚紙 1 を設定していた場合は厚紙 2 に、設定を変更してプリントしてみてください。
	手差しトレイを使用してプリントした場合で、プリンタードライバーで指定した用紙サイズと実際にセットされている用紙の種類とサイズが異なります。手差しトレイに、正しい種類とサイズの用紙をセットしてください。
	一度に複数枚の用紙が搬送されています。用紙をよくさばいてからセットし直してください。  参照 ・「3.4 用紙をセットする」(P. 41)
用紙が斜めにセットされています。 用紙を正しくセットしてください。	
トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。新しいトナーカートリッジと交換してください。  参照 ・「トナーカートリッジを交換する」(P.250)	
LED プリントヘッドが汚れています。LED プリントヘッドを清掃してください。  参照 ・ 詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する」(P. 252) の手順 1 から 6 を参照してください。	

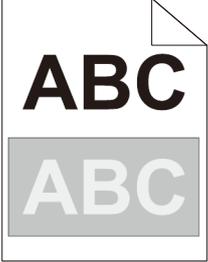
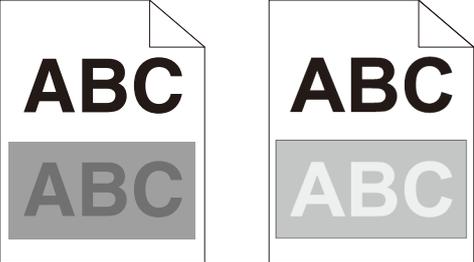
症状	原因 / 処置
	<p>正しい用紙が設定されていることを確認してください。</p> <p> 参照 ・「3.3 用紙について」(P. 37)</p> <p>「エンジンクリーニング」を実行し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。</p> <p> 参照 ・「[エンジンクリーニング]」(P.213)</p> <p>[トナーリフレッシュ] を実行し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。</p> <p> 参照 ・詳しくは、「[トナーリフレッシュ]」(P.213) を参照してください。</p> <p> 補足 ・この機能を使うとトナーを消費するので、トナーカートリッジおよびドラムカートリッジの交換時期が早くなることがあります。 ・出力結果が十分に改善されていない場合は、繰り返し実施することをお勧めします。</p> <p>新しいドラムカートリッジと交換してください。</p>
<p>黒点や黒線または色線がプリントされる 等間隔に汚れが起きる</p> 	<p>用紙搬送路に汚れが付着している場合もあります。数枚プリントしてください。</p> <p>ドラムカートリッジ、または定着ユニットが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジ、および定着ユニットの状態によって、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。</p>

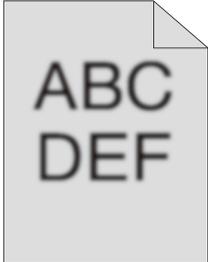
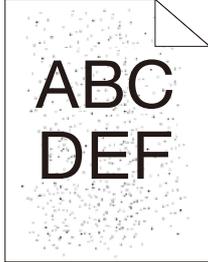
症状	原因 / 処置
<p>用紙の後端あたりが汚れる</p> 	<p>機械内部が汚れています。機械内部を清掃してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 清掃するときは、「用紙送りローラーに用紙が詰まっている場合」(P.283)の手順1～2を実行します。 2. 緑色のホイールを奥側に回しながら、図で示した部分をやわらかい布で拭いてください。  <ol style="list-style-type: none"> 3. 清掃が終わったら、「用紙送りローラーに用紙が詰まっている場合」(P.283)の手順6～7を実行します。
<p>黒くぬりつぶされた部分に白点が見れる</p> 	<p>使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。</p> <p> 参照 ・「3.4 用紙をセットする」(P. 41)</p> <p>「転写電圧オフセット調整」にて転写電圧を変更して、出力結果を確認してみてください。</p> <p> 参照 ・「[転写電圧オフセット調整]」(P. 208)</p> <p>ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。新しいドラムカートリッジと交換してください。</p>
<p>指でこするとかすれる トナーが定着しない 用紙がトナーで汚れる</p> 	<p>選択されている用紙トレイの用紙種類が適切ではありません。別の用紙種類の設定に変更して、プリントしてみてください。たとえば、普通紙を設定していた場合は上質紙や再生紙に、厚紙1を設定していた場合は厚紙2に、設定を変更してプリントしてみてください。</p> <p>用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。</p> <p>使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。</p> <p> 参照 ・「使用できる用紙」(P. 37)</p> <p>定着ユニットが劣化、または損傷しています。定着ユニットの状態によって、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。</p>
<p>用紙全体がぬりつぶされてプリントされる</p> 	<p>ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジの状態によって、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。</p> <p>高圧電源の故障が考えられます。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。</p>

症状	原因 / 処置
<p>何もプリントされない</p> 	<p>一度に複数枚の用紙が搬送されています (重送)。用紙をよくさばいてからセットし直してください。</p> <p>トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジの状態によって、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。</p> <p>高圧電源の故障が考えられます。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。</p>
<p>白抜けや白筋が出る</p> 	<p>使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「使用できる用紙」(P. 37) <p>用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。</p> <p>トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。新しいトナーカートリッジと交換してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「トナーカートリッジを交換する」(P. 250) <p>ドラムカートリッジが正しくセットされていません。正しくセットし直してください。</p> <p>本機内部に結露が発生している可能性があります。操作パネルを使用して、スリープモードに移行する時間を 60 分以上に設定し、電源を入れたまま放置してください。機内があたたまり、約 1 時間放置し、機械内部 (ローラー、金属部分など) に水滴がないことを十分確認したうえでお使いください。</p> <p>また、頻繁に結露が発生する場合は、操作パネルで [結露防止モード] を [有効] に設定して電源を入れたままにしてください。結露が改善する場合があります。</p> <p> 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結露防止モードを [有効] にするときは、CentreWare Internet Services で [低電力モード移行時間] の [有効] にチェックを入れてください。 <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スリープモードに移行する時間：「[スリープモード移行時間]」(P. 174) ・結露防止モード：「[結露防止モード]」(P. 172) <p>ドラムカートリッジ、または定着ユニットが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジ、および定着ユニットの状態によって、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。</p> <p>現像器が劣化、または損傷しています。現像器ユニットの状態によっては、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。</p> <p>LED プリントヘッドが汚れている場合があります。LED プリントヘッドを清掃してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詳しくは、「ドラムカートリッジを交換する」(P. 252) の手順 1 から 6 を参照してください。

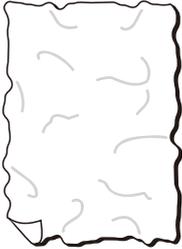
症状	原因 / 処置
<p>画像の一部が抜けて白点になる 画像の一部が白く抜ける 画像周辺にトナーが飛び散る 画像全体に青みがかかっている</p> 	<p>別の用紙種類の設定に変更して、プリントしてみてください。たとえば、普通紙を設定していた場合は上質紙や再生紙に、厚紙 1 を設定していた場合は厚紙 2 に、設定を変更してプリントしてみてください。</p> <p>転写電圧を調整してください。白点になる / 白く抜ける場合は、転写電圧の値を下げます。 トナーが飛び散る場合は、転写電圧の値を上げます。</p> <p> 参照 ・「[転写電圧オフセット調整]」(P. 208)</p>
<p>文字がにじむ</p> 	<p>使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。</p> <p> 参照 ・「使用できる用紙」(P. 37)</p> <p>用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。</p> <p>本機内部に結露が発生している可能性があります。 操作パネルを使用して、スリープモードに移行する時間を 60 分以上に設定し、電源を入れたまま放置してください。機内があたたまり、約 1 時間放置し、機械内部（ローラー、金属部分など）に水滴がないことを十分確認したうえでお使いください。 また、頻繁に結露が発生する場合は、操作パネルで [結露防止モード] を [有効] に設定して電源を入れたままにしてください。結露が改善する場合があります。</p> <p> 注記 ・結露防止モードを [有効] にするときは、CentreWare Internet Services で [低電力モード移行時間] の [有効] にチェックを入れてください。</p> <p> 参照 ・スリープモードに移行する時間：「[スリープモード移行時間]」(P. 174) ・結露防止モード：「[結露防止モード]」(P. 172)</p> <p>用紙の継ぎ足しをしています。 新しい用紙と交換してください。</p> <p>トナーカートリッジを純正品に交換してください。</p> <p>トレイの用紙ガイドを確認してください。用紙ガイドが用紙に接触するようにセットしてください。</p> <p>用紙を未開封の用紙に交換してください。用紙が湿っていないか、損傷していないかを確認してください</p> <p>新しいドラムカートリッジと交換してください。</p>

症状	原因 / 処置
<p>文字化けする 画面表示とプリント結果が一致しない</p> 	<p>TrueType フォントをプリンターフォントに置き換える設定になっていませんか？ プリンタードライバーの、[詳細設定] タブにある [フォントの設定] で、TrueType フォントのプリント方法を [常に TrueType フォントを使う] に設定してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリンタードライバーのヘルプ
<p>斜めにプリントされる</p> 	<p>用紙ガイドが正しい位置にセットされていません。用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「3.4 用紙をセットする」(P. 41)
<p>はがき、封筒にきれいにプリントされない</p>	<p>本機で使用できない種類のはがき、封筒がセットされています。適切な用紙をセットしてください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「使用できる用紙」(P. 37) <p>プリンタードライバーのプロパティや操作パネルで、用紙の種類が適切に設定されているか確認してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「[トレイの用紙種類]」(P. 193) ・プリンタードライバーのヘルプ <p>プリンタードライバーで、トナー節約や、解像度が低く設定されています。それぞれ、プリンタードライバーの [グラフィックス] タブ、[詳細設定] タブで、設定を変更してください。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ART-EX プリンタードライバーの場合、3段階の設定ができます。NPD L プリンタードライバーは [する] [しない] だけの設定となります。 <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリンタードライバーのヘルプ
<p>斜線が入る</p> 	<p>トナーカートリッジの残量が少ないか、交換の必要がある可能性があります。トナーカートリッジの残量を確認してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「トナーカートリッジを交換する」(P. 250) <p>エンジンクリーニングを実行してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「[エンジンクリーニング]」(P. 213)

症状	原因 / 処置
<p>文字や画像の残像が写る</p> 	<p>1. 残像の種類を特定します。</p> <p>濃い残像が写る場合 薄い残像が写る場合</p>  <p>残像の種類が特定できない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。</p> <p>2. 残像の種類に合わせて、転写電圧を調整します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 「i」〈仕様設定〉ボタンを押します。 〈▲〉または〈▼〉ボタンを押して、[機械管理者メニュー] を選び、<input type="checkbox"/> OK ボタンを押します。 〈▲〉または〈▼〉ボタンを押して、[画質補正] を選び、<input type="checkbox"/> OK ボタンを押します。 〈▲〉または〈▼〉ボタンを押して、[転写電圧オフセット調整] を選び、<input type="checkbox"/> OK ボタンを押します。 使用している用紙を選択し、濃い残像が写る場合は値を上げ、薄い残像が写る場合は、値を下げます。 <p>正しい用紙が使用されていることを確認します。</p> <p> 参照 ・「3.3 用紙について」(P. 37)</p> <p>ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。</p> <p> 参照 ・「ドラムカートリッジを交換する」(P. 252)</p>

症状	原因 / 処置
<p>ぼやけている</p> 	<p>全体が薄く印字される場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。</p> <p>「エンジンクリーニング」を実行し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「[エンジンクリーニング]」(P.213) <p>[トナーリフレッシュ] を実行し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「[トナーリフレッシュ]」(P.213) <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この機能を使うとトナーを消費するので、トナーカートリッジおよびドラムカートリッジの交換時期が早くなる場合があります。 <p>弊社製以外のトナーカートリッジを使用してる場合は、[カスタムモード] を [オン] にします。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「13.6 カスタムモードについて」(P. 375) <p>弊社製のトナーカートリッジを使用してる場合は、ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ドラムカートリッジを交換する」(P. 252) <p>弊社製のトナーカートリッジに交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「トナーカートリッジを交換する」(P.250)
<p>ビーズ状の小さな点がある</p> 	<p>本機が高度（標高）の高い場所に設置されている場合は、設置場所の高度を設定し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「[高地使用設定]」(P.210) <p>ドラムカートリッジを交換し、テストページをプリントして、出力結果を確認します。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ドラムカートリッジを交換する」(P. 252)
<p>Windows® 用の PostScript® プリンタードライバーを使用してプリントしたときに、文字または図形と背景の境界が目立つことがある</p>	<p>プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの [イメージ] タブにある [ハーフトーン] の設定を、[自動] および [原稿要素ごとに設定する] 以外を選んでプリントしてみてください。</p>

11.5 トレイや用紙送りのトラブル

症状	原因 / 処置
用紙が送られない 紙づまりが起こる 用紙が重送される 用紙が斜めに送られる 用紙にしわがつく 	用紙は正しくセットされていますか？ 用紙を正しくセットしてください。また、ラベル紙、はがき、封筒などをセットする場合は、用紙の間に空気が入るように、よく紙をさばいてください。
	用紙が湿気を含んでいませんか？ 新しい用紙と交換してください。
	適切な用紙を使用していますか？ 使用できる用紙をセットしてください。ただし、用紙の種類や用紙の状態によっては、用紙にしわがつくことがあります。  参照 ・「使用できる用紙」(P. 37)
	トレイが外れていませんか？ トレイを本機の奥までしっかり押し込んでください。
	本機は水平な場所に設置されていますか？ 安定した平面の上に移動してください。
	用紙ガイドは、正しい位置にセットされていますか？ 用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。  参照 ・「3.4 用紙をセットする」(P. 41)
	用紙の継ぎ足しをしていませんか？ トレイにセットしてある用紙を使い切る前に、用紙を継ぎ足すとこのような現象が起こることがあります。セットしている用紙をよくさばいてから、もう一度セットしてください。用紙を補給するときは、セットしている用紙を使い切ってから補給してください。
用紙トレイ 1～4 からトレイが正しく選択されない	用紙ガイドは、正しい位置にセットされていますか？ 用紙ガイドの位置がずれていると、本機は正しくセットされている用紙のサイズを検知できないことがあります。用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 プリンタードライバーのプロパティや操作パネルで、用紙トレイの設定、用紙サイズ、および用紙種類が適切に設定されているかを確認してください。  参照 ・「[プリント設定]」(P. 192) ・プリンタードライバーのヘルプ
手差しトレイから用紙が送られない	プリンタードライバーの【給紙 (トレイ) / 排出】タブで【用紙トレイ選択】を【自動】にしていますか。【トレイ 5 (手差し)】に設定してください。  参照 ・プリンタードライバーのヘルプ

症状	原因 / 処置
正しいトレイが選択されない	<p>NPDLDプリンタードライバーから、A3、A4、A5、B4、B5、8.5x11"、はがき、往復はがき、洋形4号以外の用紙サイズを指定して印刷していますか？ NPDLDプリンタードライバーから印刷する場合は、上記サイズ以外は定形外サイズとして扱われるため、指定した用紙が入っているトレイが選択されない場合があります。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「4.4 定形外サイズの用紙にプリントする」(P. 67)

11.6 ネットワーク関連のトラブル

無線 LAN 接続時のトラブル

症状	原因 / 処置
無線 LAN 接続が設定できない	[Wi-Fi 設定] が有効になっていることを確認してください。
	 参照 ・「[Wi-Fi 設定]」(P. 150)
	コンピューターのファイアウォール設定により、本機との通信が遮断されている可能性があります。ファイアウォールを無効にしてください。
	無線 LAN アクセスポイントが IEEE 802.11a/b/g/n に準拠し、2.4 GHz 帯で使用可能か確認してください。
WPS (Wi-Fi Protected Setup) で無線 LAN 接続が設定できない	無線 LAN アクセスポイントのセキュリティ設定が WPA または WPA2 であることを確認してください。WEP は、WPS では対応していません。
WPS-PBC (Wi-Fi Protected Setup-Push Button Configuration) で無線 LAN 接続が設定できない	本機の WPS 操作を開始してから 2 分以内に無線 LAN アクセスポイントの WPS ボタンを押してください。  参照 ・無線 LAN アクセスポイントの操作については、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。
WPS-PIN (Wi-Fi Protected Setup-Personal Identification Number) で無線 LAN 接続が設定できない	無線 LAN アクセスポイントに入力した PIN コードが正しいことを確認してください。  参照 ・PIN コードの入力方法については、無線 LAN アクセスポイントの取扱説明書を参照してください。
本機のネットワークモードをアドホックモードに設定できない	Wi-Fi Direct のポートが起動しているときは設定できません。設定する場合は、Wi-Fi Direct のポートを停止してください。

Wi-Fi Direct 接続時のトラブル

症状	原因 / 処置
モバイル機器から本機を検出できない	本機が Wi-Fi Direct を使用して別のモバイル機器と接続されている可能性があります。本機と別のモバイル機器の接続を切断してください。
モバイル機器と本機を接続できない	Android 機器の Wi-Fi Direct 機能を使って本機と接続する場合は、本機の [グループロール] を [自動] にしてください。  参照 ・設定については、「[Wi-Fi Direct]」(P. 152) を参照してください。
本機からモバイル機器を切断できない	モバイル機器が本機に自動的に再接続している可能性があります。Wi-Fi Direct のパズフレーズを初期化し、モバイル機器を切断してください。

症状	原因 / 処置
Wi-Fi Direct のポートを起動できない	ネットワークモードがインフラストラクチャーモードになっていることを確認してください。
	[IP 動作モード] が [IPv6] 以外のモードに設定されていることを確認してください。

CentreWare Internet Services 使用時のトラブル

症状	原因 / 処置
CentreWare Internet Services に接続できない	本機は正常に作動していますか？ 本機の電源が入っているか確認してください。
	インターネットサービスが起動されていますか？ [機能設定リスト] をプリントして確認してください。
	URL は正しく入力されていますか？ URL をもう一度確認してください。接続できない場合は、IP アドレスを入力して接続してください。
	HTTP のポート番号は正しいですか？ HTTP のポート番号をもう一度確認してください。ポート番号を変更した場合は、接続するときに、アドレスの後ろに「:」に続けてポート番号を指定する必要があります。 例) http://printer1.example.com:80/
	SSL/TLS サーバー通信を有効にしている場合、アドレス欄に正しく入力していますか？ SSL/TLS サーバー通信を有効にしている場合は、Web ブラウザーのアドレス欄に「http」ではなく、「https」から始まるアドレスを入力します。また、SSL/TLS のポート番号を変更した場合は、接続するときに、アドレスの後ろに「:」に続けてポート番号を指定する必要があります。 例) https://printer1.example.com:80/
	プロキシサーバーを使用していますか？ プロキシサーバーによっては、接続できない場合があります。 プロキシサーバーを使わないで接続してください。
	 参照 <ul style="list-style-type: none"> Web ブラウザーのヘルプ
Web ブラウザーに [しばらくお待ちください] などのメッセージが表示されたままになる	そのまましばらくお待ちください。 状態が変わらない場合は、Web ブラウザーの表示を更新してみてください。 状態が変わらない場合は、本機が正常に作動しているかを確認してください。
最新の情報が表示されない	[更新] をクリックしてください。
[表示更新] が機能しない 左側のメニューを選んでも、画面が切り替わらない 表示が遅い	指定されている OS や Web ブラウザーを使用していますか？ プロキシサーバーを使用していると、状態が正しく表示されなかったり、表示が遅くなったりする場合があります。 プロキシサーバーを使わないで接続してください。
	使用している Web ブラウザーに古い状態がキャッシュされている可能性があります。 Web ブラウザーのキャッシュをすべてクリアしてください。
画面の表示が崩れる	Web ブラウザーのウィンドウサイズ、または表示フォントサイズを変更してください。

症状	原因 / 処置
日本語が正しく設定できない	シフト JIS コードを使用してください。また、半角カタカナ文字は使用できない場合があります。
[新しい設定を適用] をクリックしても反映されない	入力した値は正しいですか？ 入力できる値以外を入力した場合は、エラーメッセージが表示されます。 入力した値を確認してください。

メール受信プリント / メール通知サービス機能使用時のトラブル

症状	原因 / 処置
メール受信プリントができない	[メール受信] がオンに設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	SMTP サーバーの IP アドレス (受信プロトコルで SMTP を選んでいる場合)、POP3 サーバーの IP アドレス (受信プロトコルで POP3 を選んでいる場合) などが、正しく設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	受信プロトコルで POP3 を選んでいる場合、POP ユーザー名、およびパスワードが正しく設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	受信許可ドメインを設定していませんか。 CentreWare Internet Services で、自分のドメインが受信許可ドメインに含まれているかどうかを確認してください。
	SMTP サーバー、POP サーバーは正常に作動していますか。 ネットワーク管理者に確認してください。
メール通知サービスで、本機の状態がメールされない	本体メールアドレスは設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	[メール通知] がオンに設定されていますか。 CentreWare Internet Service で、設定を確認してください。
	SMTP サーバーの IP アドレスなどが、正しく設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	送信する通知項目が正しく設定されていますか。 CentreWare Internet Services のプロパティ画面で、設定を確認してください。
	送信先メールアドレスは正しく入力されていますか。 CentreWare Internet Services のプロパティ画面で、正しい送信先を入力してください。
	SMTP サーバーは正常に作動していますか。 ネットワーク管理者に確認してください。

IPv6 接続時のトラブル

症状	原因 / 処置
CentreWare Internet Services で、SSL を有効に設定している場合に、http:// [IPv6 アドレス] を指定しても https:// [IPv6 アドレス] サイトへリダイレクトされない	SSL を有効に設定している場合、https:// [IPv6 アドレス] サイトを指定してください。
IPv6 ネットワークを介してプリントした場合、ペーパーセキュリティが正しく動作しない	IPv4 環境で運用してください。 IPv6 環境ではペーパーセキュリティは正しく動作しません。
IPv6 が利用できる Windows® OS と通信できない	IPv6 が利用できる Windows® OS で固定アドレスを設定してください。 通信を許可するホストアドレスとして、設定した IPv6 固定アドレスを本機に登録してください。
リンクローカルアドレスを指定するときに本機にアクセスできない	リンクローカルアドレスにスコープ識別子を付加してください。 たとえば Windows® 7、Windows Server® 2008 R2 の Internet Explorer® 7 を利用して、fe80::203:baff:fe48:9010 を指定してアクセスする場合には、Windows® 7、Windows Server® 2008 R2 のイーサネットアダプタローカルエリア接続の番号（例：8）をスコープ識別子として付加し、fe80::203:baff:fe48:9010%8 と入力します。
ルーターを越える検索が正しく動作しない	SMB を使った検索でルーターを越える場合、宛先アドレスを直接入力してください。 マルチキャストに応答するのは、ローカルリンク内でのマルチキャスト（FF02::1）のみです。

IPv6 環境でのプリント時のトラブル

症状	原因 / 処置
DNS サーバーが存在しない IPv6 ネットワーク環境で、IPv6 が利用できる Windows® OS から Windows 共有プリンターが使用できない	IPv6 が利用できる Windows OS 上の hosts ファイルに本機のコンピューター名を登録してください。 格納先例： C:\Windows\system32\driver\etc\hosts ファイルに登録します。

その他 IPv6 使用時のトラブル

症状	原因 / 処置
DocuShare など外部アクセス接続サービスで、接続先 URL に IPv6 アドレスで指定すると正しく動作しない 例： http:// [ipv6:2001:db8::1]	IPv6 環境では DNS サーバーを運用し、接続先 URL を FQDN で指定してください。

症状	原因 / 処置
DNS サーバーが存在しない IPv6 ネットワーク環境において、SMB 認証の SMB サーバー設定にコンピューター名を指定すると認証に失敗する	認証サーバーのコンピューター名に、IPv6 アドレスを直接指定してください。
UPnP で IPv6 機器を検索できない	IPv6 環境では Web Services on Devices (WSD) のディスカバリ機能を使用してください。
出力されたジョブログに IPv6 アドレスが正しく記載されない	IPv4 で運用してください。

11.7 エラーコード

エラーコードとは、エラーが発生してプリントが正常に終了しなかった場合や、本体に故障が発生した場合に、本機の操作パネルに表示される6桁の数字です。

次の表に記載されていないエラーコードが表示された場合や、記載に従って処置をしても状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

エラーコード	原因 / 処置
010-328 010-331	本機にエラーが発生しました。 お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
010-338	本機の定着ユニットに異常が発生しました。 お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
010-340	本機の定着ユニットに異常が発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
010-344 010-345 010-346 010-355	本機の定着ユニットに異常が発生しました。 お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
016-210 016-211 016-212 016-213 016-215 016-217 016-218 016-219 016-230 016-233	ソフトウェアにエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
016-234 016-235 016-236 016-237 016-238 016-239	本機の認証機能でエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
016-242	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
016-244	自己署名証明書が自動更新できませんでした。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

エラーコード	原因 / 処置
016-310 016-325 016-326 016-327 016-335 016-336 016-337 016-345 016-347 016-348 016-349 016-350 016-351 016-353 016-354 016-355 016-356 016-357 016-359 016-361 016-362 016-364 016-365 016-366 016-367 016-370 016-371 016-372 016-383	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
016-400	Ethernet1 の設定で、802.1x 認証のユーザー名あるいはパスワードが異なっています。 Ethernet1 の設定で、ユーザー名あるいはパスワードを確認して正しく入力してください。それでも状態が改善されないときは、ネットワーク環境に問題がないかを確認してください。
016-401	Ethernet1 の設定で、802.1x 認証方式が処理できません。 Ethernet1 の設定で、本機の認証方式を、認証サーバーに設定されている認証方式と同じものに設定し直してください。
016-402	Ethernet1 で認証接続がタイムアウトになりました。 本機の Ethernet1 と物理的ネット接続されている「認証装置」のスイッチ設定やネット接続を確認し、正しく接続されているか確認してください。
016-403	Ethernet1 側のルート証明書が一致しませんでした。 認証サーバーを確認し、本機に認証サーバーのサーバー証明書のルート証明書を格納してください。 サーバー証明書のルート証明書が入手できない場合は、操作パネルで Ethernet1 側の [IEEE 802.1x 設定] の [サーバー証明書の検証] を [しない] にしてください。
016-404	Ethernet1 で 802.1x の認証エラーが発生しました。 もう一度同じ操作を行ってください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
016-405	本機に格納されている証明書にエラーがありました。 証明書の初期化を実行してください。
016-406	SSL クライアント証明書にエラーがありました。 次の方法で処置してください。 1. 本機に SSL クライアント証明書を格納し、SSL クライアント証明書として設定する。 2. SSL クライアント証明書の設定ができない場合には、認証方式として「EAP-TLS」以外のものを選ぶ。

エラーコード	原因 / 処置
016-407 016-408 016-409 016-410 016-411 016-412	本機に登録したカスタマイズプログラムに問題があります。 カスタマイズプログラムを修正し、再度インストールしてください。
016-421	本機から給紙トレイが取り外されました。 取り外した給紙トレイを本機に装着してください。
016-422 016-423	オフライン状態です。 次のどれかの方法で処置してください。 ・ほかのメッセージが表示されている場合には、その処置をしてください。 ・メンテナンスモードになっているときは、メンテナンス作業を終了してください。 ・リモートアクセス中の場合は、アクセスが終了するまで待ってください。 状態が改善されないときは、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
016-424 016-425	節電モード中です。 節電モードを解除してください。状態が改善されないときは、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
016-427	Ethernet2 の設定で、802.1x 認証のユーザー名あるいはパスワードが異なっています。 Ethernet2 の設定で、ユーザー名あるいはパスワードを確認して正しく入力してください。それでも状態が改善されないときは、ネットワーク環境に問題がないかを確認してください。
016-428	Ethernet2 の設定で、802.1x 認証方式が処理できません。 Ethernet2 の設定で、本機の認証方式を、認証サーバーに設定されている認証方式と同じものに設定し直してください。
016-429	Ethernet2 で認証接続がタイムアウトになりました。 本機の Ethernet2 と物理的ネット接続されている「認証装置」のスイッチ設定やネット接続を確認し、正しく接続されているか確認してください。
016-430	Ethernet2 側の設定ルート証明書が一致しませんでした。 認証サーバーを確認し、本機に認証サーバーのサーバー証明書のルート証明書を格納してください。サーバー証明書のルート証明書が入手できない場合は、操作パネルで Ethernet2 側の [IEEE 802.1x 設定] の [サーバー証明書の検証] を [しない] にしてください。
016-431	内部エラーが発生しました。 もう一度同じ操作を行ってください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
016-432	Ethernet2 側の SSL クライアント証明書にエラーがありました。 次の方法で処置してください。 1. 本機に SSL クライアント証明書を格納し、SSL クライアント証明書として設定する。 2. SSL クライアント証明書の設定ができない場合には、認証方式として「EAP-TLS」以外のものを選ぶ。
016-453	DNS サーバーに対する、IPv6 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。 DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
016-454	DNS から、IP アドレスを取得できませんでした。 DNS の設定と IP アドレスの取得方法の設定を確認してください。
016-455	SNTP サーバーへの接続がタイムアウトになりました。 ネットワークケーブルが正しく接続されているか、SNTP サーバーの IP アドレスが合っているかを確認してください。
016-456	SNTP サーバーから、標準時同期源と同期していないというメッセージを受けました。 SNTP サーバーの設定を確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-500 016-502	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
016-504	メール送信時に POP3 サーバーの名前が解決できませんでした。 CentreWare Internet Services から POP3 サーバーの設定が正しいか確認してください。また、DNS サーバーの設定が正しいか確認してください。  参照 ・ CentreWare Internet Services のヘルプ
016-515	XML Paper Specification (XPS) 文書の処理中に、メモリー不足が発生しました。 次のどれかの方法で処置してください。 ・ [印刷モード] を [標準] にする ・ XPS Document Viewer からプリンタードライバー (ART EX、PCL 等) を使用してプリントする  補足 ・ 「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。
016-516	XPS 文書内に含まれる PrintTicket に、不正な記述や、本機で対応していないプリント設定が含まれています。 問題がない場合は、弊社ではなくプリントジョブを送信しているアプリケーションを作成した会社に、アプリケーションの動作を確認してください。それでも解決しない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡してください。  補足 ・ 「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。
016-517	PostScript® ファイルに記述されている内容に誤りがあります。 PostScript® ドライバーでプリントしてください。または、PostScript® ファイルに記述されている ProcessColorModel でカラーモードの切り替えをしないように変更してください。
016-518	PostScript® ドライバーで、小冊子と WaterMark を同時に指定しました。 PostScript® ドライバーで、小冊子と WaterMark/UUID の指定は混在できません。どちらか一方を解除してください。
016-519	設定しておいた印字可能な面数に達したため、終了しました。 機械管理者に相談して、印字可能な面数の制限値を変更してください。
016-522	LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。SSL クライアント証明書が取得できません。 LDAP サーバーから SSL クライアント証明書が要求されています。本機に SSL クライアント証明書を設定してください。
016-523	LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書データが不正です。 本機が LDAP サーバーの SSL 証明書を信頼できません。LDAP サーバーの SSL 証明書のルート証明書を本機に登録してください。
016-524	LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書が有効期限前です。 LDAP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機の [SSL/TLS 設定] の [LDAP - SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する LDAP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。
016-525	LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書が有効期限切れです。 LDAP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機の [SSL/TLS 設定] の [LDAP - SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する LDAP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-526	LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー名と証明書が一致していません。本機に設定してある LDAP サーバーのアドレスと LDAP サーバーの SSL 証明書に記載されているアドレスが一致するようにしてください。本機の [SSL/TLS 設定] の [LDAP - SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する LDAP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。
016-527	LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。 SSL 認証内部エラーです。 ソフトウェアにエラーが発生しました。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
016-533	Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。 本機と Kerberos サーバーの時計の時間差が、Kerberos サーバー側のクロックスキューの制限値を超えています。本機の時計または Kerberos サーバーの時計が正しく設定されているかを確認してください。 このとき、本機と Kerberos サーバーの時刻だけでなく、サマータイムの設定やタイムゾーンの設定も同じであることを確認してください。
016-534	Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。 本機に設定してある認証先が Kerberos サーバーに存在しない、または設定してある Kerberos サーバーのアドレスでは接続できません。本機の Kerberos サーバーの設定にある、認証先名、およびサーバーのアドレスが正しいことを確認してください。
016-539	Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。 ソフトウェアにエラーが発生しました。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
016-543	指定された認証先やドメインが、ApeosWare Management Suite から削除されました。 [認証先] 画面にある [最新情報に更新] を押して、認証先情報を更新するか、ApeosWare Management Suite にドメインを追加してください。
016-545	ApeosWare Management Suite とアクティブディレクトリーの時間が、アクティブディレクトリーで設定された Kerberos サーバーのクロックスキューの上限からずれています。ApeosWare Management Suite をインストールしたコンピューターとアクティブディレクトリーのコンピューターの時間を合わせてください。ApeosWare Management Suite がインストールされたコンピューターの Windows® のタイムサービスが停止している場合は、サービスを起動してください。  参照 ・ 対処方法については、ApeosWare Management Suite の説明書を参照してください。
016-546	一般ユーザーが自分以外のユーザー情報を取得しようとした。 お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
016-548	本機が ApeosWare Management Suite に登録されていません。 本機を ApeosWare Management Suite に登録してください。  参照 ・ 対処方法については、ApeosWare Management Suite の説明書を参照してください。
016-553	ApeosWare Management Suite が本機のインターフェイスのバージョンに対応していません。 ApeosWare Management Suite のバージョンを上げる必要があります。本機が、バージョンを上げる ApeosWare Management Suite に対応している商品であることを確認してください。
016-554	ApeosWare Management Suite のドメインのドメインユーザー照会用ログイン名、または照会用パスワードが不正です。 ApeosWare Management Suite のドメインのドメインユーザー照会用ログイン名と照会用パスワードを正しく設定してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-555	<p>ApeosWare Management Suite がデータベース、またはアクティブディレクトリーに接続できずにタイムアウトになりました。 ApeosWare Management Suite からデータベース、またはアクティブディレクトリーに接続できることを確認してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対処方法については、ApeosWare Management Suite の説明書を参照してください。
016-556	<p>ApeosWare Management Suite が接続するデータベースに負荷がかかりすぎているため、タイムアウトエラーになりました。 サービスに負荷がかかりすぎているので、時間をおいて、再度認証を実施してください。それでも改善されないときは、ApeosWare Management Suite を確認してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対処方法については、ApeosWare Management Suite の説明書を参照してください。
016-557	<p>ApeosWare Management Suite の内部エラーです。 ApeosWare Management Suite を確認してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対処方法については、ApeosWare Management Suite の説明書を参照してください。
016-558	<p>本機が ApeosWare Management Suite から不明なエラーを受信しました。 お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。</p>
016-560	<p>本機と ApeosWare Management Suite 間で通信エラーが発生しました。 ネットワークケーブルの抜けや、ApeosWare Management Suite の設定を確認してください。また、機能設定リストを出力して、「ApeosWare Management Suite」の「サーバー名 /IP アドレス」にサーバーの DNS アドレスが設定されている場合は、DNS が有効になっていることを確認してください。</p>
016-562	<p>ApeosWare Management Suite に同じ IC カードの情報を持つユーザーが重複しています。 ApeosWare Management Suite で IC カードの情報を正しく設定してください。</p>
016-567	<p>バックアップ先の容量不足、またはバックアップ時のデータ暗号化用メモリー不足です。 バックアップファイル、その他不要なファイルを削除して容量を増やしてください。</p>
016-568	<p>HDD アクセスエラーまたはリストア時にバックアップファイルが壊れていた可能性があります。 バックアップファイルを削除してください。</p>
016-569	<p>ApeosWare Management Suite のエラーです。 お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。</p>
016-700	<p>プリンタードライバーで設定した、セキュリティープリントまたは認証プリントの暗証番号の桁数が、本機に設定してある [暗証番号の最小桁数] よりも少なかったため、処理を中断しました。 プリンタードライバーで設定する暗証番号は、本機に設定してある [暗証番号の最小桁数] よりも大きい桁数を設定してください。</p>
016-701	<p>メモリーが不足したため、ART EX のプリントデータを処理できませんでした。 プリンタードライバーで解像度を低くしたり、両面プリントや N アップをしないで、もう一度プリントを指示してください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
016-702	<p>プリントページバッファが不足したため、ART-EX または PostScript® のプリントデータを処理できませんでした。 次のどれかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プリンタードライバーで [印刷モード] を [標準] にする ・ プリンタードライバーで [ページ印刷モード] を利用する (ART EX のみ) ・ プリントページバッファを増やす <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NPD L プリンタードライバーには [ページ印刷モード] 機能はありません。 <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [印刷モード] / [ページ印刷モード] : プリンタードライバーのヘルプ ・ プリントページバッファ : 「 [メモリー設定] 」 (P. 203)
016-703	<p>時刻指定プリント文書が登録できませんでした。 時刻指定プリント機能を使用するには、機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) を取り付けるか、RAM ディスクを有効に設定する必要があります。</p>
016-705	<p>次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本機用のプリンタードライバーを使用していない 2. 機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) が装着されていない状態で、セキュリティープリント、認証プリント、プライベートプリントのどれかのジョブを受信した <ol style="list-style-type: none"> 1. の場合 : 本機用のプリンタードライバーを使用してください。 2. の場合 : 本機にハードディスクが装着されているか確認してください。 <p>ハードディスクが装着されていない場合 :</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 機能を利用しない場合は、プリンタードライバーで、[プリンター構成] タブ > [オプションの設定] の [内蔵ハードディスク] を [なし] 設定する ・ 機能を利用する場合は、ハードディスクを装着する <p>ハードディスクが装着されている場合 :</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プリンタードライバーで、[プリンター構成] タブ > [オプションの設定] の [内蔵ハードディスク] を [あり] に設定する <p>それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。</p>
016-706	<p>セキュリティープリントの最大ユーザー数を超えました。 本機内に蓄積されている不要な文書やセキュリティープリントの登録ユーザーなどを削除し、もう一度プリントを指示してください。</p>
016-707	<p>ハードディスクが故障しているため、サンプルプリントができませんでした。 お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。</p>
016-708	<p>ハードディスクの領域が不足しているため、プリントできませんでした。 ハードディスク内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。</p>
016-709	<p>ART EX 処理でエラーが発生しました。 プリントジョブを一度削除して、プリントし直してください。</p>
016-710	<p>ハードディスクが故障しているため、時刻指定プリント文書が登録できませんでした。 お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご相談ください。</p>
016-715	<p>ESCP フォーム用のパスワードが一致しないため、ESCP フォームにアクセスできませんでした。 ESCP フォーム用の正しいパスワードを指定してください。</p>
016-716	<p>機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) の容量が不足したため、TIFF ファイルをスプールできませんでした。 ハードディスク内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
016-718	メモリーが不足したため、PCL のプリントデータを処理できませんでした。 解像度を低くしたり、両面プリントやN アップをしないで、もう一度プリントを指示してください。
016-719	プリントページバッファが不足したため、PCL のプリントデータを処理できませんでした。 プリントページバッファを増やしてください。
016-720	PCL のプリントデータに処理できないコマンドが含まれています。 プリントデータを確認して、プリントし直してください。
016-721	<p>プリント処理中にエラーが発生しました。次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 操作パネルで [プリント設定] の [用紙の優先順位] が、すべての用紙で [設定しない] に設定されているときに、自動トレイ選択でプリントを指示している 2. ESC/P のコマンドエラー <p>1. については、自動トレイ選択でプリントをする場合は、[用紙の優先順位] で、用紙のどれかを [設定しない] 以外に設定してください。また、ユーザー定義用紙を選ぶと、自動的に [用紙の優先順位] が [設定しない] に設定されてしまうので、注意してください。</p> <p>2. については、プリントデータを確認してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 用紙の優先順位の設定：「[用紙の優先順位]」(P. 195)
016-726	操作パネルで [プリントモード指定] が [自動] に設定されている場合に、プリント言語を自動的に設定できませんでした。 PostScript ソフトウェアキットが必要です。
016-728	TIFF ファイルにサポートしていない Tag が含まれていました。 プリントデータを確認してください。
016-729	TIFF データの色数、解像度が有効範囲の上限を超えているため、プリントできませんでした。 TIFF ファイルの色数、解像度を変更して、もう一度プリントを指示してください。
016-730	ART IVでサポートされていないコマンドを検知しました。 プリントデータを確認し、エラーを引き起こすコマンドを削除して、もう一度プリントを指示してください。
016-731	TIFF データが途中で切れていてプリントできませんでした。 もう一度プリントを指示してください。
016-732	エミュレーションで、指定されたフォームが登録されていません。 フォームを再登録して、もう一度プリントを指示してください。
016-738	PostScript® で製本を指定したが、出力できない用紙サイズが設定されています。 製本が可能な用紙サイズを指定して、もう一度プリントを指示してください。
016-739	PostScript® で製本を指定したが、原稿サイズと用紙サイズの組み合わせが合っていません。 製本が可能な原稿サイズと用紙サイズの組み合わせを指定して、もう一度プリントを指示してください。
016-740	PostScript® で製本を指定したが、製本ができない用紙トレイが設定されています。 製本が可能な用紙トレイを指定して、もう一度プリントを指示してください。
016-741 016-742 016-743 016-744 016-745	本体の更新処理にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

エラーコード	原因 / 処置
016-746	<p>PDF ファイルに、本機では対応していない機能が含まれているため、プリントできませんでした。</p> <p>Adobe® Acrobat Reader® を使って PDF ファイルを開き、[ファイル] メニューの [印刷] からプリントを指示してください。</p>
016-747	<p>コピーの画像繰り返し機能とアノテーション機能を同時に使用しているときに、メモリー不足が発生しました。</p> <p>次のどれかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アノテーションのイメージのサイズを大きくする ・ 画像繰り返しの個数指定を少なくする
016-748	<p>ハードディスクの領域が不足しているため、プリントできません。</p> <p>プリントデータを分割するか、複数部プリントしている場合は 1 部ずつプリントするなど、プリントデータのページ数を少なくしてください。</p> <p>また、ハードディスク内の不要なデータを削除して空き容量を増やしてください。</p>
016-749	<p>プリンタードライバーから受信したプリント言語は、本機でプリントできません。本機用のプリンタードライバーを使用してプリントしてください。それでも状態が改善されない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PostScript® などプリントしたいプリント言語によっては、オプションが必要になります。
016-750	<p>ContentsBridge Utility などの PDF や XML Paper Specification (XPS)、DocuWorks ファイルを直接送信するアプリケーションでプリントを指示しましたが、PDF または XML Paper Specification (XPS) とともに送信されるプリントジョブチケットに、本機で対応していない文法、または本機で対応していないプリント指示が含まれていました。ContentsBridge Utility など、プリントジョブを送信しているアプリケーションの使用方法、プリント指示内容に問題がないかを確認してください。問題がない場合は、弊社ではなくプリントジョブを送信しているアプリケーション作成会社にアプリケーションの動作を確認してください。</p> <p>それでも解決しない場合は、機能設定リスト、ジョブ履歴レポート、および送信しているプリントジョブチケット付きのプリントデータを取得のうえ、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡してください。</p>
016-751	<p>次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. PDF Bridge 処理中に構文エラー、未定義コマンドの使用、パラメーターエラー、PDF ファイルの破損が発生しました。 2. PDF ダイレクトプリント機能の設定項目で「プリント処理モード」を「PS」に設定しているときに、メモリー不足が発生しました。 3. PDF ダイレクトプリント機能の設定項目で「プリント処理モード」を「PS」に設定して、OpenType フォントが含まれている PDF を処理しました。 <p>1. については、プリンタードライバーを使用してプリントしてください。</p> <p>2. については、次のどれかの方法で対処してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プリンタードライバーを使用してプリントする ・ PostScript® 使用メモリーを増やす <p>3. については、OpenType フォントを含まない PDF を作成してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「[メモリー設定]」(P. 203)
016-752	<p>メモリー容量が不足したため、PDF Bridge の処理ができませんでした。</p> <p>プリントモードが「高画質」になっている場合は「標準」に、「標準」の場合は「高速」に変更してください。</p>
016-753	<p>パスワードで保護されている PDF ファイルを処理する場合で、パスワードが一致しませんでした。</p> <p>正しいパスワードを ContentsBridge で指定してください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
016-755	<p>プリントが許可されていない PDF ファイルはプリントできません。 Adobe® Acrobat® を使用して、PDF ファイルのプリント禁止の指定を解除してから、もう一度プリントを指示してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Adobe® Acrobat® に付属のマニュアル
016-756	<p>認証 / 集計管理機能を使用して運用している場合、本機にプリントできるユーザーとして登録されていません。機械管理者に確認してください。</p>
016-757	<p>入力した暗証番号が間違っている。もしくは、ユーザー認証できません。暗証番号や認証情報 (User ID) を確認してください。</p>
016-758	<p>サービスを利用できる部門として登録されていません。 集計管理者にご相談ください。</p>
016-759	<p>サービスを利用できる上限ページ数に達しました。 集計管理者にご相談ください。</p>
016-760	<p>PostScript® の処理中にエラーが発生しました。次のどちらかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PostScript® プリンタードライバーで、[印刷モード] の [高画質] が選択されていた場合は、[高速] に変更する ・ PS 使用メモリーを増やす <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [印刷モード] : プリンタードライバーのヘルプ ・ PS 使用メモリー : 「[メモリー設定]」 (P. 203)
016-761	<p>イメージ処理中にエラーが発生しました。 [グラフィックス] タブの [印刷モード] が [高精細] の場合は [標準] にして、もう一度プリントを指示してください。それでもプリントできない場合は、[詳細設定] タブの [ページ印刷モード] を [する] に設定してプリントしてください。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NPD L プリンタードライバーには [ページ印刷モード] 機能はありません。 <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [印刷モード] / [ページ印刷モード] : プリンタードライバーのヘルプ
016-762	<p>実装されていないプリント言語が指定されました。 本機の [ネットワーク / ポート設定] の [プリントモード指定] で正しいプリント言語を指定してください。</p>
016-792	<p>プリンター集計レポートをプリントする場合に、ジョブの履歴が取得できませんでした。 ジョブの履歴は存在しません。</p>
016-798	<p>機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) が取り付けられていないため、指定されたプリントはできません。 ハードディスクの装着が必要です。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。</p>
016-799	<p>プリントデータに不正なパラメーターが含まれています。 たとえば、プリンタードライバーまたはアプリケーションで、用紙サイズ、給紙トレイ、両面指定などが、本機では処理できない組み合わせに設定されている可能性があります。 設定を変更してから、もう一度プリントを指示してください。 また、用紙ガイドの位置がずれている場合があります。用紙ガイドの位置を確認してください。</p>
017-700	<p>ThinPrint .print Engine との接続がタイムアウトになりました。 ThinPrint .print Engine との接続を確認してください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
017-701	ThinPrint .print Engine との接続でエラーが発生しました。 ThinPrint .print Engine との接続を確認してください。
017-702	ThinPrint .print Engine から送信されたデータが不正です。 ThinPrint .print Engine のエラーの可能性があります。再度プリント処理を行うと成功する場合があります。
017-703	ThinPrint .print Engine から送信されたプリントデータが本機で扱える最大サイズを超えました。 ジョブを分割して、再度プリント処理をやり直してください。
017-704	内部エラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源を入れ直したあとに、もう一度同じ操作を実施してください。
017-705 017-706 017-707 017-708	ThinPrint .print Engine の SSL 認証エラーです。 ThinPrint .print Engine に登録しているサーバ証明書の内容（有効期限、アドレスなど）を確認してください。
017-709	ThinPrint .print Engine との SSL 通信エラーが発生しました。 本機の設定を確認してください。
017-723	DocuWorks ダイレクトプリントに対応していない文字が使用されています。 DocuWorks Viewer からプリンタードライバー（NPDL、ART EX プリンタードライバーなど）を使用してプリントしてください。
017-725	強制アノテーションを印字する設定にしているときに、プリント指示でエラーが発生しました。 強制アノテーションのテンプレート名が正しくありません。 もう一度、本機に登録されている強制アノテーションのテンプレート名をご確認ください。
017-731	POP サーバーとの接続に失敗しました。 次の項目を確認してください。 ・ 本機に設定した、POP サーバーの IP アドレスが正しく設定されているか。 ・ ネットワークケーブルが接続されているか。
017-734	AirPrint の処理中に、内部エラーが発生しました。 AirPrint 以外のプリンタードライバーやソフトウェアを使用して、もう一度プリントを指示してください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
017-735	デバイスの利用が禁止されています。 機械管理者に相談してください。
017-755	ソフトウェアダウンロードに失敗しました。 CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [サービス設定] > [Machine Software] > [ネットワーク経由のソフトウェアダウンロード] で、[許可] にチェックが付いているかを確認してください。
017-756	本機にエラーが発生しました。 本体の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善しないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
017-759	本機のファームウェアを更新中にエラーが発生しました。 お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

エラーコード	原因 / 処置
017-766	POP3 サーバーとの接続でエラーが発生しました。 次の原因が考えられます。 1. TLS モードで POP3 サーバーに接続している場合、ポート番号が異なっている可能性があります。 2. それ以外の場合、プログラムの内部エラーが発生した可能性があります。 1. については、POP3 サーバーのポート番号を正しい値に設定してください。 2. については、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
017-767	POP3 サーバーのサーバー証明書に不正があるため、SSL サーバー認証でエラーが発生しました。 本機に POP3 サーバーの正しいサーバー証明書を登録してください。
017-768	有効期間前のサーバー証明書で POP3 サーバーに接続しました。 POP3 サーバーと本機の時計を正しい時刻に合わせてください。時計が正しい場合は、本機に有効期間内のサーバー証明書を登録してください。
017-769	有効期限が切れたサーバー証明書で POP3 サーバーに接続しました。 POP3 サーバーと本機の時計を正しい時刻に合わせてください。時計が正しい場合は、本機に有効期間内のサーバー証明書を登録してください。
017-770	POP3 サーバーとサーバー証明書のサーバーアドレスが一致していません。 正しいサーバーアドレスが記載されたサーバー証明書を本機に登録してください。
017-771	本機にエラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
017-780	プリントジョブの追い越しを [許可] に設定した場合、追い越されたプリントジョブが一定時間を経過して自動解除されました。 特に処置は必要ありません。追い越されたプリントジョブの自動解除設定が有効になっている場合にこの機能が働きます。 運用上不都合がある場合は、設定を [禁止] にするか、自動解除までの時間を適切な値 (1 分～ 120 時間) に設定し直してください。
017-787	Google クラウド プリントのプリントデータ処理中にエラーが発生しました。 Google クラウド プリント以外の方法でプリントしてください。
018-400	本機の IPsec 設定が正しくありません。 認証方式を [事前共有鍵] に設定した場合はパスワード、認証方式を [デジタル署名] に設定した場合は IPsec 証明書を設定し直してください。
018-405	LDAP 認証エラーで認証に失敗しました。 認証先のアクティブディレクトリーでアカウントが無効に設定されています。または、サーバー側でアクセス禁止に設定になっています。サーバー管理者にお問い合わせください。
018-406	Ethernet1 とセカンダリーイーサネットを独立したネットワークに接続した場合に、同一の IPv4 アドレスが設定されたことを検知しました。 各イーサネットに別々の IP アドレスを設定し直してください。同一 IP アドレスを設定したい場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
018-407	Ethernet1 とセカンダリーイーサネットを独立したネットワークに接続した場合に、同一の IPv6 アドレスが設定されたことを検知しました。 各イーサネットに別々の IP アドレスを設定し直してください。同一 IP アドレスを設定したい場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
018-408	Ethernet2 側のネットワークで、IPv4 の IP アドレスが重複しています。 Ethernet2 側の IPv4 アドレスを変更して IP アドレスの重複を解消してください。
018-409	Ethernet2 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレスが重複しています。 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。

エラーコード	原因 / 処置
018-410	Ethernet2 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv4 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。 DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
018-411	Ethernet2 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv6 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。 DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
018-412 018-413	Ethernet2 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレスが重複しています。 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-414	Ethernet2 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。 正しい IPv6 アドレスを設定し直してください。
018-415	Ethernet2 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。 本機 IPv6 の「手動設定アドレス」、またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-416	Ethernet2 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレスが重複しています。 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-424	WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書が本機に登録されていません。 本機に WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書を格納してください。 WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書が入手できない場合は、WPA-Enterprise 以外の無線セキュリティを使用してください。
018-425	WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書が不正です。 証明書の内容を確認して、本機に有効な WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書を格納してください。 WPA-Enterprise 認証のルート証明書またはクライアント証明書が入手できない場合は、WPA-Enterprise 以外の無線セキュリティを使用してください。
018-426	WPA-Enterprise 認証のサーバー証明書が不正です。 サーバー証明書の内容（有効期限、証明書の形式、署名アルゴリズムなど）を確認してください。 有効なサーバー証明書を入手できない場合は、WPA-Enterprise 以外の無線セキュリティを使用してください。
018-427	Wi-Fi IP アドレスと Wi-Fi Direct IP アドレスが重複しています。 Wi-Fi Direct DHCP サーバーの IP アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-428	無線 LAN アダプタが正しく接続されていません。 本機の電源を切り、無線 LAN アダプタが取り付けられていることを確認してください。
018-429	Wi-Fi 側のネットワークで、IPv4 の IP アドレスが重複しています。 本機の IPv4 アドレス、またはネットワーク上機器の IPv4 アドレスを変更してください。
018-430	Wi-Fi Direct 側のネットワークで、IPv4 の IP アドレスが重複しています。 本機の IPv4 アドレス、またはネットワーク上機器の IPv4 アドレスを変更してください。
018-431	Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（ステートレス自動設定アドレス 1 または DHCPv6 自動設定アドレス）が重複しています。 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-432	Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（ステートレス自動設定アドレス 2）が重複しています。 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。

エラーコード	原因 / 処置
018-433	Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（ステートレス自動設定アドレス 3）が重複しています。 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-434	Wi-Fi 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。 正しい IPv6 アドレスを設定し直してください。
018-435	Wi-Fi 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが重複しています。 本機 IPv6 の「手動設定アドレス」、またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-436	Wi-Fi 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレス（リンクローカルアドレス）が重複しています。 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-439	[Wi-Fi 設定] の SSID が [アドホック] に設定されているため、Wi-Fi Direct を使用できません。 本機の [ネットワーク / ポート設定] > [Wi-Fi 設定] の SSID を [インフラストラクチャ] に変更してください。
018-440	[IP 動作モード] が [IPv6] に設定されているため、Wi-Fi Direct を使用できません。 本機の [ネットワーク / ポート設定] > [TCP/IP 設定] > [IP 動作モード] を [デュアルスタック] または [IPv4] に変更してください。
018-441	[Wi-Fi 設定] の [帯域] が [5GHz] に設定されているため、Wi-Fi Direct を使用できません。 [ネットワーク / ポート設定] > [Wi-Fi 設定] > [帯域] を [自動] または [2.4GHz] に変更してください。
018-443	Wi-Fi 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv4 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。 DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
018-444	Wi-Fi 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv6 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。 DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
018-500	認証サーバーに証明書がありません。 サーバー証明書を設定してください。または、認証機能を解除してください。
018-501	本機に設定された CA 認証サーバーとの通信に失敗しました。 ネットワーク接続および CA 認証サーバーのアドレスを確認してください。
018-503 018-504 018-506	本機に設定された CA 認証サーバーとの通信に失敗しました。 もう一度、認証操作を行ってください。
018-507	入力されたユーザー名またはパスワードが正しくないため、認証に失敗しました。 ユーザー名またはパスワードを確認して正しく入力してください。
018-508	認証中にサーバーエラーが発生しました。 認証サーバーの状態を確認してください。
018-533	不正な形式のメールを受信しました。 メールは破棄されました。POP3 からメールを受信した場合、POP サーバーにそのメールが残っている可能性があるため、コンピューターのメールクライアントなどでメールを受信するか、削除してください。
018-595	LDAP サーバーのデータベース上に、現在使用中の IC カードと同じ情報を持つエントリーが複数見つかりました。 LDAP サーバーのデータベース上に、ユーザーのエントリーが同じ IC カード情報を持たないように修正してください。

エラーコード	原因 / 処置
018-596	LDAP サーバーの認証でエラーが発生しました。 もう一度同じ操作を行ってください。それでも状態が改善されない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
018-700	外部認証時にエラーが発生しました。 しばらく待ってから、もう一度同じ操作を実施してください。
018-709	外部アクセス中に、エラーが発生しました。 環境に応じて、次のどれかの方法で処置してください。 IPv4 環境の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本機の IPv4 アドレスを確認する ・ ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認する ・ DHCP サーバーのアドレスを確認する IPv6 環境の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本機の IPv6 アドレスに IPv6 ルーターから配布されるグローバルアドレスが割り当てられているか確認する ・ ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認する ・ IPv6 ルーターが正しく設定されているか確認する
018-715	Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。 Kerberos サーバーに、本機で使用できる認証方式と一致するものがない、または本機に、Kerberos サーバーで使用できる認証方式と一致するものはありません。 次のどれかの方法で処置してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Kerberos サーバーの認証方式を設定し直してください。 ・ 本機の FIPS 認証モードを解除してください。 それでも状態が改善されない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
018-722	Google クラウド プリントとの通信で、ネットワークエラーが発生しました。 ネットワークケーブルが正しく接続されているか、使用環境の設定が正しいかを確認してください。
018-723	Google クラウド プリントとの通信で、証明書にエラーがありました。 正しいルート CA 証明書が機械に登録されているか、証明書検証の設定が正しいかを確認してください。
018-724	Google クラウド プリントとの通信で、SSL 通信エラーが発生しました。 SSL の設定が正しいかを確認してください。
018-725	Kerberos サーバーに設定されたユーザーのパスワードの使用期限が切れています。 パスワードの使用期限を延長してください。
018-726	IC カード内の上位の CA 証明書が本機に登録されていません。 IC カード内の上位の CA 証明書を本機に登録してください。
018-727	Kerberos サーバーに認証されませんでした。 IC カード内の証明書を確認し、無効または失効している場合は、証明書を更新してください。また、サーバー側で使用禁止となっていないか確認してください。
018-728	Kerberos サーバーに認証されませんでした。 次のどれかの方法で処置してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ KDC 証明書のルート CA 証明書が登録されていない場合は、ルート CA 証明書を登録してください。 ・ KDC 証明書が失効している場合は、サーバーの KDC 側の証明書を更新してください。 ・ 本機に設定した Kerberos サーバーのアドレスと、Kerberos サーバーの KDC 証明書に記載されたアドレスが一致していることを確認してください。
018-729	Google クラウド プリントとの接続がタイムアウトになりました。 しばらく待ってから、もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、ネットワークケーブルが正しく接続されているか、使用環境の設定が正しいかを確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
018-730	Google クラウド プリントとの通信で、ネットワークエラーが発生しました。ネットワークケーブルが正しく接続されているか、使用環境の設定が正しいかを確認してください。それでも状態が改善されないときは、内部エラーが発生している可能性があります。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
018-731	ハードディスクの容量が不足しているため、ジョブを中止しました。ハードディスクの空き容量を確認し、不要ファイルを削除してください。処理中のジョブはすべて実行してから、もう一度操作してください。
018-737	内部エラーが発生しました。もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
018-738	Google クラウド プリントとの通信で、ネットワークエラーが発生しました。ネットワークケーブルが正しく接続されているか、使用環境の設定が正しいかを確認してください。
018-739	内部エラーが発生しました。もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
018-740	Google クラウド プリントとの通信で、証明書にエラーがありました。正しいルート CA 証明書が機械に登録されているか、証明書検証の設定が正しいかを確認してください。
018-741	内部エラーが発生しました。もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
018-743	Google クラウド プリントとの通信で、プロキシ接続のエラーが発生しました。プロキシサーバーの設定が正しいかを確認してください。
018-744	Google クラウド プリントとの通信で、DNS による名前の解決に失敗しました。DNS の設定が正しいかを確認してください。
018-745	Google クラウド プリントとの通信で、プロキシ接続のエラーが発生しました。プロキシサーバーの設定が正しいかを確認してください。
018-746	Google クラウド プリントとの通信で、DNS による名前の解決に失敗しました。DNS の設定が正しいかを確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
024-316 024-317 024-318 024-319 024-320 024-321 024-340 024-341 024-342 024-343 024-345 024-346 024-347 024-348 024-349 024-350 024-351 024-352 024-353 024-354 024-355 024-356 024-357 024-358 024-359 024-360 024-361 024-362 024-363 024-364 024-365 024-366 024-367 024-368 024-370 024-371 024-372 024-373 024-375 024-376	<p>本機にエラーが発生しました。</p> <p>本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口 に、電話でお問い合わせください。</p>
024-700	<p>オプション機能を利用するために必要なメモリー容量、またはハードディスクが装着されていません。</p> <p>本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口 に、電話でお問い合わせください。</p>
024-701	<p>指定した用紙と組み合わせができない排出面設定になっています。</p> <p>組み合わせ可能な用紙と排出面設定を指定してください。</p>
024-702	<p>【システム設定】で【紙づまり時の処理】を【プリント中止】に設定しているときに、紙づまりが発生しました。</p> <p>詰まった用紙を取り除いて、もう一度プリント指示をしてください。</p>
024-705	<p>指定された強制アノテーションのテンプレートが本機内にありません。</p> <p>本機に登録されているテンプレートを選択してください。</p>
024-746	<p>指定した紙質と組み合わせができない機能（用紙サイズ、用紙トレイ、両面プリントのどれか）が指定されました。</p> <p>プリントデータを確認してください。</p>
024-747	<p>プリンターパラメーターの組み合わせが不正です。原稿サイズ、用紙サイズ、給紙トレイ、両面プリントなどで、組み合わせできない機能が指定されています。</p> <p>プリントデータを確認して、もう一度、プリントを指示してください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
024-748	アノテーションで設定した [ページ桁数] と、[開始番号] で設定したページの桁数が合っていない。 [ページ桁数] に、[開始番号] で指定したページの桁数を設定するか、[自動] を選択してください。
025-596 025-597	ハードディスクにエラーが発生しました。 ハードディスクを交換してください。
026-400	USB ポートに 3 つ以上の機器が接続されています。 接続機器が最大 2 つになるように、取り外してください。それでも状態が改善されないときは、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。
026-704	DocuWorks 文書の処理中にエラーが発生しました。 DocuWorks Viewer からプリンタードライバー (NPDL、ART EX、PCL など) を使用してプリントしてください。
026-705	メモリー容量が不足したため、DocuWorks 文書の処理ができません。 プリントモードが「高画質」になっている場合には、「標準」に、「標準」の場合には「高速」に変更してください。
026-706	プリント禁止指定された DocuWorks 文書を処理しようとしてしました。 DocuWorks Viewer を使用してプリント禁止指定を解除して、再プリントしてください。
026-707	パスワードで保護されている DocuWorks 文書を処理する場合で、パスワードが一致しませんでした。 正しいパスワードを ContentsBridge で指定してください。
026-710	本機が対応していない暗号方式で暗号化された S/MIME メールを受信しました。 次のどれかの方法で処置してください。 ・ メール送信者に暗号方式 (3DES) で暗号化したメールの送信を依頼してください。 ・ 本機の FIPS140 認証モードを解除してください。
026-718	プリントの指示で、原稿サイズ、用紙サイズ、給紙トレイ、両面プリントなどで、組み合わせできない機能が指定されています。 プリントデータを確認して、もう一度プリントを指示してください。
026-726	プリントジョブの指定時に機器構成情報が、実際の機器構成と一致していません。 プリンタードライバー画面で機器構成情報と、実際の機器構成を合わせてください。
026-730	指定した用紙トレイにセットされている用紙のサイズが不明です。 指定した用紙トレイの用紙ガイドの位置を確認し、再度ジョブを実行してください。
027-442 027-443 027-444	IPv6 の IP アドレスが重複しています。 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
027-445	手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。 正しい IPv6 アドレスを設定し直してください。
027-446	手動設定した IPv6 の IP アドレスが重複しています。 本機 IPv6 の手動設定 IP アドレス、またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
027-447	IPv6 アドレスが重複しています。 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
027-452	IP アドレスが重複しています。 本機の IPv4 アドレス、またはネットワーク上の機器の IPv4 アドレスを変更してください。
027-500	SMTP サーバーに接続できませんでした。 SMTP サーバー名を正しく指定するか、IP アドレスで指定してください。

エラーコード	原因 / 処置
027-501	POP サーバーでエラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
027-502	POP3 プロトコル利用時に、POP3 サーバーへのログインに失敗しました。 CentreWare Internet Services から POP3 サーバーで使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されているかを確認してください。
027-701	ネットワークケーブルが抜けています。 ネットワークケーブルを本機に差し込み直してください。
027-710	受信したメールに、S/MIME 証明書がありません。 送信者に、S/MIME 証明書を添付してメールを送信するよう、連絡してください。
027-711	受信したメールから、送信者の S/MIME 証明書が取得できませんでした。 送信者の S/MIME 証明書を本機にインポートするか、送信者が送信する S/MIME 署名メールに、S/MIME 証明書を添付してください。
027-712	受信したメールの S/MIME 証明書が、有効期限を過ぎているか、信頼できない証明書でした。 送信者に、期限の有効な S/MIME 証明書を添付してメールを送信するように連絡してください。
027-713	受信したメールが、送信経路で改ざんされている可能性があるため、受信したメールを破棄しました。 送信者に、メールが改ざんされている可能性があることを連絡し、メールを再送信してもらってください。
027-714	受信したメールの From フィールドと、S/MIME 署名メールのメールアドレスが異なっていたため、受信したメールを破棄しました。 送信者に、From フィールドと S/MIME 署名メールのメールアドレスが異なっていることを連絡し、メールを再送信してもらってください。
027-715	受信したメールの S/MIME 証明書が、本機に登録されていないか、本機で使用するよう設定されていません。 送信者の S/MIME 証明書を本機にインポートするか、すでに S/MIME 証明書が登録済みの場合は、本機で使用するよう設定してください。
027-716	受信したメールの S/MIME 証明書が信頼できないため、受信メールを破棄しました。 送信者に信頼できる S/MIME 証明書を添付して送信するように連絡してください。
027-720	アプリケーション連携先のサーバーが見つかりません。 DNS サーバーのアドレスが正しく設定されているか確認してください。または、連携するアプリケーション (ApeosWare Management Suite) がインストールされているコンピューターが、DNS 登録されているかを確認してください。
027-721	アプリケーション連携先が存在しません。 連携するアプリケーション (ApeosWare Management Suite) が正しく動作しているかを確認してください。
027-724	アプリケーション連携 (ApeosWare Management Suite) に失敗しました。 ApeosWare Management Suite が正しく動作しているか確認してください。正しく動作している場合はログを確認してください。
027-725	アプリケーション連携でジョブ操作に失敗しました。 連携するアプリケーション (ApeosWare Management Suite) が正しく動作しているかを確認してください。動作している場合は、ログを確認してください。動作していない場合は、ネットワーク環境を確認してください。
027-726	アプリケーション連携先 (ApeosWare Management Suite) のステータスが不明になりました。 ApeosWare Management Suite が正しく動作しているか確認してください。正しく動作している場合はログを確認してください。
027-728	外部サービスへの送信要求ファイル数が、送信可能最大数を超えました。 送信可能枚数を超えない枚数で、もう一度実行してください。

エラーコード	原因 / 処置
027-757	<p>次の原因が考えられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. サーバーとの通信でエラーが発生しました。 2. 本機に信頼する証明書がインポートされていません。 3. SSL プロキシサーバーを経由したため、SSL 証明書記載のサーバーアドレスと接続先サーバーアドレスが一致しませんでした。 4. 本機未対応の暗号方式が使われるサーバーと通信しようとしてしました。 5. SSL サーバーがクライアント証明書認証の設定の場合、本機にクライアント証明書が未登録または一致しません。 6. サーバー証明書の有効期限が切れている、または期限前です。 <p>1. については、ping または traceroute コマンドを使用して、本機とサーバーまたは DNS との接続を確認してください。</p> <p>2. については、本機に、SSL サーバーの証明書が信頼する CA 証明書・中間証明書がインポートされているかをブラウザで確認してください。不足なら CA 証明書・中間証明書をインポートしてください。</p> <p>3. については、本機が SSL 通信内容を確認する機能を持つ SSL プロキシを経由しないか確認してください。経由していた場合、本機を SSL プロキシの対象外に指定してください。</p> <p>4. については、本機が対応する暗号方式にサーバーが対応しているか確認してください。対応していない場合は、対応している暗号方式を SSL サーバー設定に含めてください。</p> <p>5. については、本機にクライアント証明書を設定してください。本機にクライアント証明書をインポートし、クライアント証明書として利用します。</p> <p>6. については、本機の日時が正しいか、サマータイムまたは時差を確認します。ずれがある場合は日時または時刻を合わせます。</p>
027-758	<p>[LDAP サーバー / ディレクトリサービス設定] の [検索用ログイン名] と [検索用パスワード] が正しく設定されていない状態で、外部認証が実行され、LDAP サーバーから RFC2251 規定の resultMessageNo 「49」(指定された認証証明書は無効) が返されました。</p> <p>セキュリティに関する問題が発生しています。[LDAP サーバー / ディレクトリサービス設定] の [検索用ログイン名] と [検索用パスワード] が正しく設定されているかを確認してください。</p> <p>状態が改善されないときは、ネットワーク管理者に相談し、LDAP サーバー側の認証設定を確認してください。</p>
027-759	<p>[LDAP サーバー / ディレクトリサービス設定] で指定された LDAP サーバーから照会された LDAP サーバーに対する接続に失敗しました。</p> <p>本機のネットワーク設定が正しく設定されているかを確認してください。</p> <p>状態が改善されないときは、ネットワーク管理者に相談し、本機から照会先のサーバーへの接続状態を確認してください。</p>
027-760	<p>XJT コマンドで仕様範囲外のパラメーターが指定されました。</p> <p>指定したパラメーターを確認してください。</p>
027-761	<p>本機に外部アクセス機能を使ったオンデマンドプリントを指示しましたが、プリント要求をしてから実際にプリント処理を開始するまでの時間が、本機に設定されている時間を超えました。</p> <p>複数文書を外部アクセス機能を使ってオンデマンドプリントした場合は、文書数を減らして再度実行してください。</p> <p>それでも改善されない場合は、CentreWare Internet Services の [外部アクセス設定] > [オンデマンド印刷の実行可能時間] で、時間を長くするか、0 に設定してください。</p> <p>外部アクセス機能を使ったオンデマンドプリントで複数の文書を指示した場合、最後の文書を受け付けるまでのプリント処理時間は考慮されません。そのため、大量の文書の場合やデータ処理時間がかかる複雑な文書の場合は、最後の文書を受け付ける前にタイムアウトする可能性があります。プリント指示する文書の形態に合わせて、制限時間を設定してください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
027-762	<p>外部アクセス機能を使ったオンデマンドプリントジョブが本機に指示されましたが、指示されたジョブチケットが次のように不正でした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本機ソフトウェア不具合によるジョブチケット異常書き換え ・送信元の外部サーバーのバグによるジョブチケット異常書き換え ・ネットワークトラブルによるジョブチケット異常書き換え ・意図的なジョブチケットの改ざん <p>もう一度プリントを指示してください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。</p>
027-763	<p>外部のアカウントティングサーバーまたは外部認証サーバーとユーザー情報の照合ができませんでした。</p> <p>次のどれかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部アカウントティングサーバーまたは外部認証サーバーが正しく動作しているか確認する ・ネットワークに障害がないか確認する ・ネットワークケーブルを正しく接続する ・本機の設定を確認する
027-796	<p>メール受信時に添付文書だけをプリントするように設定している場合に、文書が添付されていないメールを受信したため、そのメールが破棄されました。</p> <p>メール本文やメールヘッダー情報などもプリントしたい場合は、CentreWare Internet Services の [プロパティ] タブで設定を変更してください。</p>
027-797	<p>受信メールの出力先が不正です。正しい出力先を指定して、もう一度メールを送信してください。</p>
041-340 041-362 041-388	<p>本機にエラーが発生しました。</p> <p>本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。</p>
042-325 042-348 042-398	<p>本機にエラーが発生しました。</p> <p>本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。</p>
043-344	<p>本機にエラーが発生しました。</p> <p>本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。</p>
044-329	<p>本機にエラーが発生しました。</p> <p>本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。</p>
045-311	<p>本機にエラーが発生しました。</p> <p>本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。</p>
058-310 058-311 058-315 058-316	<p>本機にエラーが発生しました。</p> <p>お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。</p>
058-318 058-319	<p>本機にエラーが発生しました</p> <p>本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。</p>
058-320 058-321	<p>本機にエラーが発生しました。</p> <p>お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。</p>

エラーコード	原因 / 処置
059-314 059-315	本機にエラーが発生しました。 お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
059-316	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
059-324 059-326	本機にエラーが発生しました。 お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
060-344 060-348 060-352 060-356 060-360 060-361	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
061-310 061-321 061-357 061-365 061-369 061-373	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
071-452	用紙トレイ 1 が開いています。 用紙トレイ 1 をしっかりと閉じてください。
071-461	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
072-310 072-311	用紙トレイ 2 (オプション) が故障しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
072-312	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
072-452	用紙トレイ 2 (オプション) が開いています。 用紙トレイ 2 (オプション) をしっかりと閉じてください。
072-461	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
073-310 073-311	用紙トレイ 3 (オプション) が故障しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
073-312	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
073-452	用紙トレイ 3 (オプション) が開いています。 用紙トレイ 3 (オプション) をしっかりと閉じてください。

エラーコード	原因 / 処置
073-461	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
074-310 074-311	用紙トレイ 4 (オプション) が故障しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
074-312	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
074-452	用紙トレイ 4 (オプション) が開いています。 用紙トレイ 4 (オプション) をしっかりと閉じてください。
074-461	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
077-316 077-317 077-319 077-322 077-327	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
092-315	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
091-407 091-442	ドラムカートリッジにエラーが発生しました。 ドラムカートリッジを一度抜いて、再度挿入してください。
093-426	トナーカートリッジにエラーが発生しました。 トナーカートリッジを一度抜いて、再度挿入してください。
093-430	トナーカートリッジが装着されていません。 トナーカートリッジを装着してください。
099-398 099-399	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
102-356	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
103-314	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

エラーコード	原因 / 処置
116-312 116-313 116-315 116-317 116-321 116-323 116-324 116-325 116-330 116-331 116-334 116-337 116-340 116-342 116-343 116-349 116-353 116-354 116-355 116-356 116-357 116-359 116-361 116-362 116-363 116-364 116-365 116-366 116-368 116-369 116-370 116-371 116-372 116-373 116-374 116-376 116-377 116-378 116-379 116-384 116-385 116-388 116-389	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
116-390	本機にエラーが発生しました。 ディスプレイに表示されるメッセージに従って、本機のメモリーを初期化してください。
116-391 116-392 116-393 116-394 116-395 116-396 116-397 116-399	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
116-701	メモリーが不足したため、両面プリントができません。 機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）を装着してください。ハードディスクの装着については、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
116-702	代替フォントでプリントされました。 プリントデータを確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
116-703	PostScript® でエラーが発生しました。 次のどれかの方法で処置してください。 1. プリントデータを確認してください。 2. PostScript® 使用メモリーの割り当て量を増やしてください。
116-710	受信データが HP-GL/2 スプールサイズを超えたため、正しい原稿サイズ判定が行われていない可能性があります。 HP-GL/2 オートレイアウトメモリーの割り当て量を増やしてください。
116-711	指定した ART EX フォームのサイズと向きが、プリントする用紙と合っていません。 用紙のサイズと向きを、指定した ART EX フォームに合わせて、もう一度プリントを指示してください。
116-712	ART EX フォームメモリーが不足したため、フォームが登録できません。 不要なフォームを削除するか、ART EX フォームメモリーの領域を増やしてください。
116-713	ハードディスクがいっぱいになったため、ジョブを分割してプリントしました。 ハードディスク内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
116-714	HP-GL/2 コマンドエラーが発生しました。 プリントデータを確認してください。
116-715	ART EX フォームの登録上限数に達したため、フォームが登録できませんでした。 不要なフォームを削除してください。
116-718	指定した ART EX 用フォームは登録されていません。 登録されているフォームを使用するか、フォームを登録してください。フォームの登録状態は、[ART EX フォーム登録リスト] で確認できます。
116-720	メモリーが不足したため、プリント処理時にエラーが起きました。 不要なポートを停止したり、データを削除して、空き容量を増やしてください。
116-737	ART IV ユーザー定義メモリーが不足したため、ユーザー定義データが登録できません。 不要なデータを削除するか、ART IV ユーザー定義メモリーの領域を増やしてください。
116-738	指定した ART IV フォームのサイズと向きが、プリントする用紙と合っていません。 用紙のサイズと向きを、指定した ART IV フォームに合わせて、もう一度プリントを指示してください。
116-739	ART IV フォームメモリー、または機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）の容量が不足して、フォーム、またはロゴデータが登録できません。 不要なデータを削除するか、ART IV フォームメモリーの領域を増やしてください。
116-740	プリントデータにプリンターの制限値を超える値が使用されているため、数値演算エラーが発生しました。 プリントデータを確認してください。
116-741	ART IV フォームの登録上限数に達したため、フォームが登録できませんでした。 不要なフォームを削除してください。
116-742	ART IV ロゴデータの登録上限数に達したため、ロゴデータが登録できません。 不要なロゴデータを削除してください。
116-743	ART IV フォームメモリーが不足して、フォーム、またはロゴデータが登録できません。 メモリーの領域を増やしてください。
116-745	ART IV コマンドエラーが発生しました。 プリントデータを確認してください。
116-746	指定した ART IV 用フォームは登録されていません。 登録されているフォームを使用するか、フォームを登録してください。 フォームの登録状態は、[ART IV, ESC/P ユーザー定義リスト] で確認できます。
116-747	HP-GL、HP-GL/2 の有効座標エリアに対して、ペーパーマージン値が大きすぎます。 ペーパーマージン値を少なくして、もう一度プリントを指示してください。

エラーコード	原因 / 処置
116-748	HP-GL、HP-GL/2 のプリントデータに描画データがありません。 プリントデータを確認してください。
116-749	指定されたフォントがないため、ジョブを中止しました。 フォントをインストールするか、プリンタードライバー側でフォント置き換えを設定してください。
116-750	バナーシートの給紙トレイに不具合があります。 バナーシートの給紙トレイを正常な状態にもどすか、バナーシートの給紙トレイを変更してください。
116-751	ハードディスクの容量がいっぱいで処理が中止されました。 蓄積文書を削除してください。それでも状態が改善されないときは、ファイルを分割して処理してください。
116-752	PDF のプリントジョブチケットの記述内容に問題があります。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
116-771 116-772 116-773 116-774 116-775 116-776 116-777 116-778	データに含まれるパラメーターに不正なものがあり、それを自動的に修正しました。 ジョブの実行結果に問題がある場合は、再度、ジョブを実行してください。
116-780	本機が受信したメールの添付文書に問題があります。 添付文書を確認してください。
117-311 117-312 117-319 117-322 117-324 117-326 117-329 117-331 117-332 117-333	本機に異常が発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
117-334	ソフトウェア処理中にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
117-345	本機と接続機器の間でエラーが発生しました。 EP システムの関連機器を接続しないで本機を起動し、[認証の設定] で [認証方式の設定] を [外部認証] 以外の設定にしてください。
117-347	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
117-353	NPD L 処理でエラーが発生しました。 プリントデータを削除して、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。その後、もう一度プリントを指示してください。
117-357	本機 TPM チップにエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

エラーコード	原因 / 処置
117-360	日時設定の年の値が設定可能な範囲外です。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口に、電話でお問い合わせください。
117-364	暗号鍵情報は無効です。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口に、電話でお問い合わせください。
118-311	ソフトウェア処理中にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口に、電話でお問い合わせください。
121-322 121-323 121-325	本機と接続機器の間でエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口に、電話でお問い合わせください。
124-310 124-311 124-312 124-313 124-314 124-315 124-316 124-317 124-318 124-319 124-320 124-321 124-322 124-323 124-324 124-325	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口に、電話でお問い合わせください。
124-326	本機にエラーが発生しました。 画面の指示にしたがって情報を入力してください。

エラーコード	原因 / 処置
124-327 124-329 124-332 124-335 124-340 124-341 124-342 124-343 124-344 124-345 124-346 124-347 124-348 124-349 124-350 124-351 124-352 124-353 124-354 124-355 124-360 124-361 124-362 124-363 124-364 124-372 124-373 124-374 124-380 124-381 124-382 124-383 124-390 124-391 124-392 124-393	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口 に、電話でお問い合わせください。
124-701	サイドトレイが装着されている、ほかの機種のパリンタードライバーで作成したジョブを受信しました。
124-702	スタッカーが装着されている、ほかの機種のパリンタードライバーで作成したジョブを受信しました。
124-708	用紙が、指定したトレイとは別の用紙トレイに排出されました。 両面指定時に指定した用紙サイズと異なるサイズの用紙が送られた可能性があります。 指定したサイズの用紙が、トレイにセットされているかを確認してください。
124-710	指定した排出先から排出できません。排出できない用紙サイズや紙質が指定されているか、排出先が故障しています。 操作は必要ありません。自動で利用可能な排出先を選んで排出されます。正しい用紙サイズや紙質を指定しても、指定した排出先から排出されない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
125-311 127-310 127-314 127-315 127-353 127-396 127-398 127-399	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口 に、電話でお問い合わせください。

12 NPD L の設定

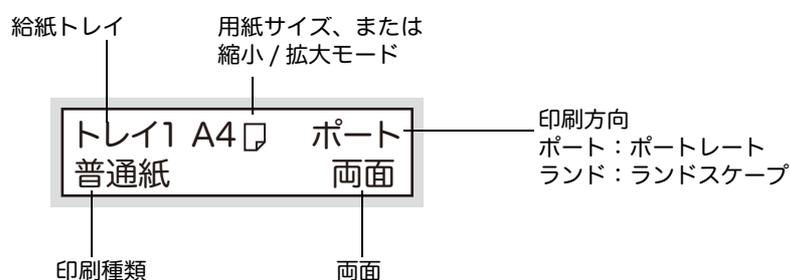
12.1 NPD L モードを使用するには

ここでは、本機を NPD L モードで使用するときの、操作パネル上のディスプレイの表示の意味と、プリンターの設定について説明します。

ディスプレイの表示について

本機では、NPD L パネル設定モードに移行すると、NPD L データを印刷するときのプリンターの設定内容が表示されます。

これらの設定は、操作パネルのボタンで切り替えることができます。



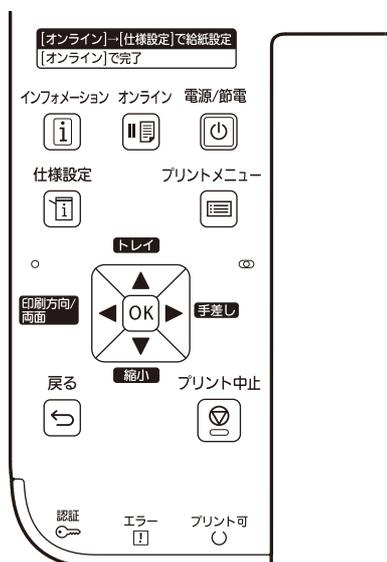
[NPD L パネル設定モードへの移行手順]

印刷データがないことを確認します。

オンライン状態 → **1** (オンライン) ボタンを押す → オフライン状態 (プリント可消灯 (操作パネルの upper 段にオフラインと表示される)) → **1** (仕様設定) を押す → NPD L パネル設定モードに移行 (データ有り時は移行しない)

ボタンによるプリンターの設定

操作パネル上の〈トレイ〉、〈縮小〉、〈印刷方向 / 両面〉、〈手差し〉ボタンを使って、NPDL データを印刷するときのプリンターの設定ができます。
これらのボタンは、NPDL パネル設定モードにしたときに、有効になります。



ボタンによるプリンターの設定が終了したら、再度 [ON] 〈オンライン〉 ボタンを押して、印刷が可能な状態（オンライン状態）に戻してください。

💡 補足

- ・ オンライン状態では、操作パネルの [ON] 〈オンライン〉 ランプが点灯し、オフライン状態では、[OFF] 〈オフライン〉 ランプが点灯します。

📖 参照

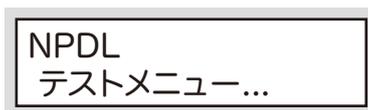
- ・ 各ボタンで設定できる項目：「12.3 各ボタンで設定できる項目」(P. 340)

モードメニュー画面

本機のメニュー画面には、各プリントモード固有の項目を設定するモードメニューと、すべてのプリントモードに共通の項目を設定する共通メニューがあります。

NPDL モードメニュー画面では、NPDL 固有の項目を設定します。

NPDL モードメニュー画面を表示するには、操作パネルの [1] 〈仕様設定〉 ボタンを押し、[プリント言語の設定] で、[NPDL] を選択してください。NPDL モードメニュー画面の最初は、次の画面が表示されます。



💡 補足

- ・ メニュー画面で設定した内容が、NPDL パネル設定モードで変更された場合は、NPDL パネル設定モードでの設定が優先されます。



- ・ NPDL パネル設定モードへの移行方法については、「12.1 NPDL モードを使用するには」(P. 338)を参照してください。
- ・ NPDL モードメニューで設定できる項目：「12.4 NPDL モードメニューで設定できる項目」(P. 342)

12.2 フォントについて

NPDL では、次のフォントが使用できます。

- ・ 1 バイト書体：ローマン、イタリック、クーリエ、ゴシック
- ・ 明朝体 -L アウトラインフォント
- ・ ゴシック体 -M アウトラインフォント、
- ・ OCR-B、OCR-K 相当文字

12.3 各ボタンで設定できる項目

各ボタンで設定できる項目と、その操作方法について説明します。



- ・ これらのボタンは、NPDL パネル設定モードで有効です。操作パネルの () <プリント可> ランプが点灯している場合は、NPDL パネル設定モードに移行してください。NPDL パネル設定モードへの移行方法については、「12.1 NPDL モードを使用するには」(P. 338)を参照してください。

<トレイ> ボタン

手差しトレイから用紙を給紙する状態で、このボタンを押すと、用紙トレイから用紙を給紙する状態に切り替えます。

また、用紙トレイから給紙する状態に設定されている場合は、このボタンを押すごとに、用紙トレイを切り替えます。

[トレイ 1] → [トレイ 2] → [トレイ 3] → [トレイ 4] ([トレイ 1] に戻る)



- ・ 用紙トレイを切り替えると、その用紙トレイにセットされている用紙サイズに合わせて、ディスプレイの用紙サイズ表示も変わります。
- ・ 手差しトレイから用紙トレイに切り替えた場合の表示はトレイ 1 になります。
- ・ [トレイ 2] ~ [トレイ 4] は、オプションのトレイモジュールが取り付けられている場合に設定できます。

<縮小> ボタン

このボタンを押すごとに、縮小 / 拡大モードを切り替えます。現在設定されている用紙サイズが、A3 / A4 / B4 / B5 の場合に有効です。



- ・ アプリケーションによっては、縮小 / 拡大が正しく印刷されないものがあります。
- ・ 印刷データの前に用紙サイズの指定コマンドによって A3、B4、または帳票サイズが指定されており、用紙トレイに A4 サイズの用紙が入っている場合は、自動的に縮小してプリントします。
- ・ 縮小を行った場合、座標などの数値の丸め誤差によって、縮小しない場合と印刷結果が異なることがあります。

各用紙サイズと、選択できる縮小 / 拡大モードは、次のとおりです。

- ・ A3 サイズに印刷する場合
[A3] → [A4->A3] → [B4->A3] → ([A3] に戻る)
- ・ A4 サイズに印刷する場合
[A4□] (または [A4□]) → [B4->A4] → [LP->A4] → [A3->A4] → [A4×2] → [B5->A4]
→ ([A4□] (または [A4□]) に戻る)
- ・ B4 サイズに印刷する場合
[B4] → [LP->B4] → [A3->B4] → [B5->B4] → [A4->B4] → ([B4] に戻る)
- ・ B5 サイズに印刷する場合
[B5] → [A4->B5] → [B4->B5] → [B5×2] → ([B5] に戻る)

補足

- ・ [LP] は、帳票サイズ (136 桁 × 66 行) を意味します。
- ・ [A4 × 2] は、A4 サイズの 2 ページ分のデータを、A4 用紙 1 枚にプリントします。
- ・ [B5 × 2] は、B5 サイズの 2 ページ分のデータを、B5 用紙 1 枚にプリントします。
- ・ 操作パネルによって給紙トレイが切り替えられた場合や、セットされている用紙のサイズが変更された場合は、縮小 / 拡大なしの設定 (用紙サイズ) になります。

〈印刷方向 / 両面〉ボタン

このボタンを押すごとに、印刷方向と片面・両面の設定を切り替えます。

[ポート] → [ランド] → [ポート 両面] (オプション) → [ランド 両面] (オプション) → ([ポート] に戻る)。

〈手差し〉ボタン

用紙トレイから用紙を給紙する状態で、このボタンを押すと、手差しトレイから用紙を給紙する状態に切り替えます。

また、手差しトレイから給紙する状態に設定されている場合は、このボタンを押すごとに、用紙サイズを切り替えます。

[A3□] → [A4□] → [A4□] → [A5□] → [B4□] → [B5□] → [8.5×11"□] → [はがき□]
→ [往復ルギ□] → ([A3□] に戻る)

補足

- ・ ここでの設定は、NPDL 以外のプリント言語のデータを印刷する場合にも、有効です。
- ・ 操作パネルのメニューや NPDL 以外のデータの印刷によって、NPDL がサポートしない用紙サイズが手差しトレイに設定されている場合は、[定形外] と表示されます。

12.4 NPDL モードメニューで設定できる項目

次に、NPDL モードメニューで設定できる項目と、その操作方法について説明します。

NPDL モードメニューについて

NPDL モードメニューは、NPDL 固有の設定をするためのメニューです。

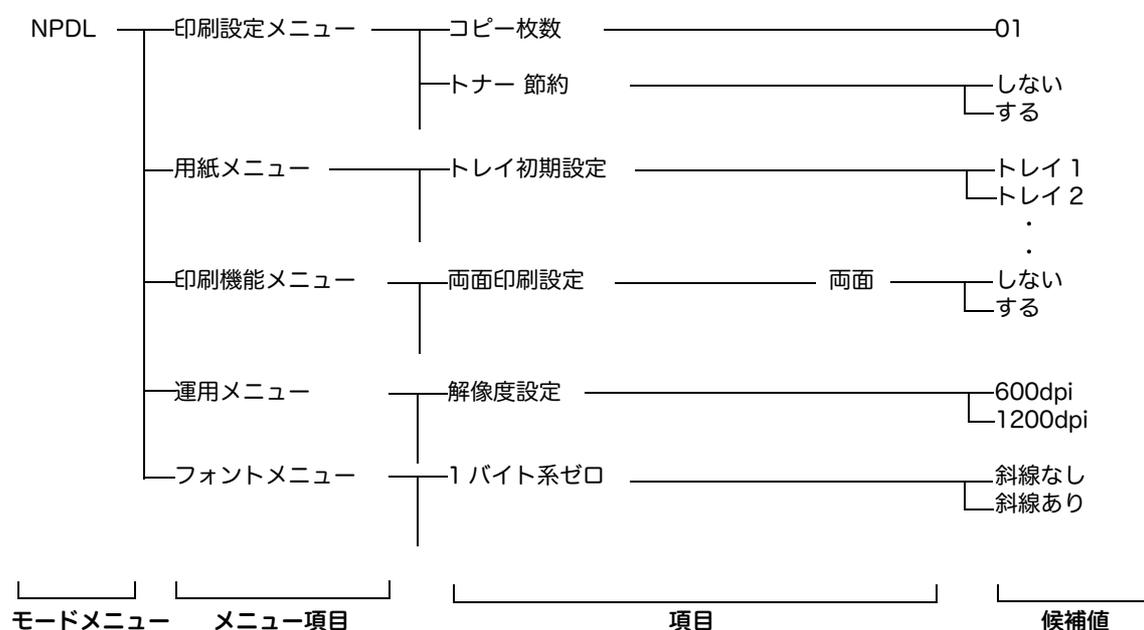
モードメニューは、次のような階層で構成されています。

モードメニュー>メニュー項目>項目>候補値

💡 補足

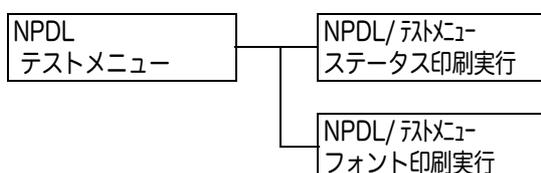
- ・ 項目のないメニュー項目もあります。
項目は、項目 1、項目 2、項目 3 に分けられる場合があります。
(以降、特に断らないかぎり項目と呼びます。)

下図は、NPDL モードメニューの階層の一部を表したものです



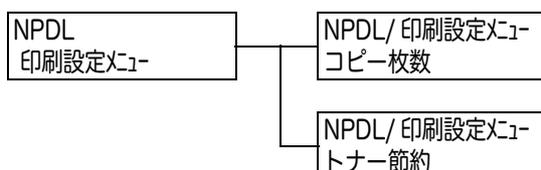
NPDL 設定項目一覧

[テストメニュー]



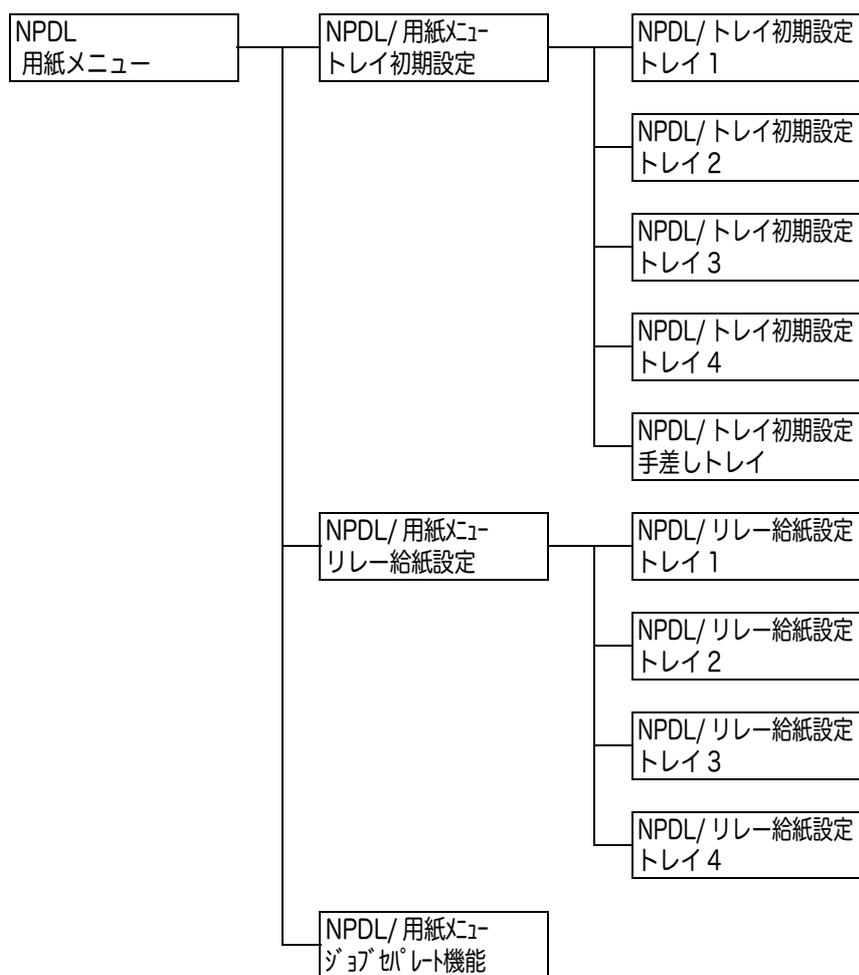
設定項目	説明
ステータス印刷実行	NPDL メニュー設定項目の印刷をします。
フォント印刷実行	NPDL フォントの印刷をします。

[印刷設定メニュー]



設定項目	説明
コピー枚数	<p>印刷のコピー枚数（部数）を設定します。設定できる範囲は、1（初期値）～ 20 です。</p> <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none">・ アプリケーションによっては、ソフトウェアからコピー枚数を設定するものがあります。この場合、ソフトウェアで設定したコピー枚数が優先されます。
トナー節約	<p>トナー節約機能を使用するかどうかを選択します。</p> <p>トナー節約機能はプリンタードライバーから設定することもできます。Windows® からプリンタードライバーを使用してプリントする場合には、ドライバー上での設定が優先されます。</p> <ul style="list-style-type: none">・ [しない]（初期値） トナーを節約しません。・ [する] トナーを節約して、プリントします。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none">・ トナー節約機能を使用するため、[する]に設定すると、トナーの使用を節約することができますが、細い線、濃度の薄い印刷、網かけ、グラデーションが不鮮明になることがあります。また、OCR フォントを印刷した場合には、正常に読み取れないことがあります。本機能は、試し印刷する場合などに使用してください。

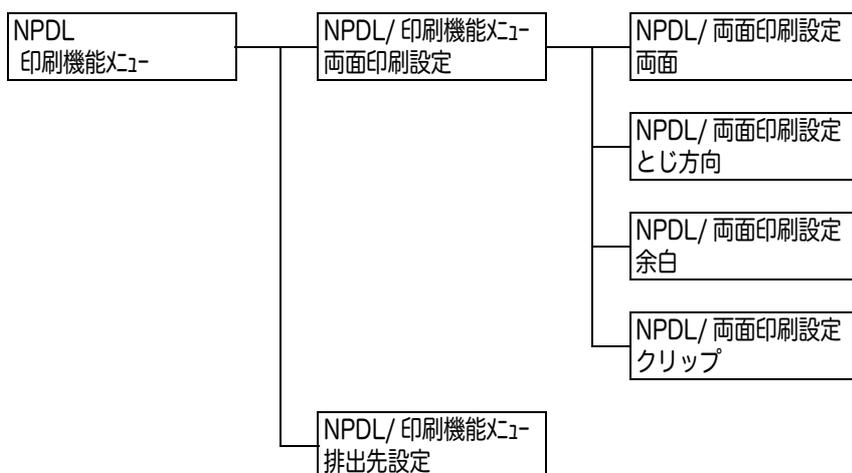
[用紙メニュー]

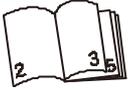
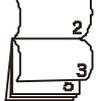
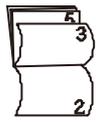
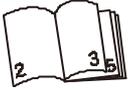
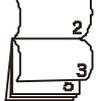
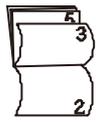
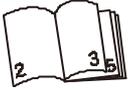
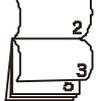
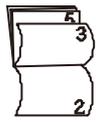


設定項目	説明
トレイ初期設定	<p>NPD データを印刷するときに、初期設定値として設定される用紙トレイを選択します。</p> <p>候補値は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [トレイ 1] (初期値) ・ [トレイ 2] ・ [トレイ 3] ・ [トレイ 4] ・ [手差しトレイ] <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [トレイ 2] ~ [トレイ 4] は、トレイモジュール (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。

設定項目	説明
リレー給紙設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] (初期値) ・ [する] <p>リレー給紙設定とは、用紙がなくなったときに、印刷していた用紙とサイズや向き、および用紙種類が同じ用紙がセットされている別の用紙トレイを選択し、印刷を継続する機能です。</p> <p>各用紙トレイごとに、[する] (切り替えて印刷を継続する)、または [しない] (継続しない) を設定します。</p> <p>初期値は、すべての用紙トレイで [しない] です。</p> <p>💡 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この項目は、トレイモジュール (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。 ・ [トレイ 3] および [トレイ 4] は、取り付けられているトレイモジュールの数に応じて表示されます。
ジョブセパレート機能	<p>ジョブセパレート機能の有効 / 無効を設定します。ジョブセパレート機能とは、A4 サイズの用紙を使用している場合、印刷ジョブごとに縦置きと横置きで交互に印刷させて、排出される用紙を排出トレイ上で仕分ける機能です。初期値は [無効] です。</p> <p>ジョブセパレート機能は次の条件も満たしている必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 つ以上の用紙トレイに A4 サイズの用紙がセットされている。 ・ 上記 2 つ以上の用紙トレイの用紙が、それぞれ A4 縦方向、A4 横方向としてセットされている。 ・ 上記 2 つ以上の用紙トレイの用紙の種類が同じである。 <p>印刷ジョブの区切りと判断する条件は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ NPD L プリンタードライバーから出力した印刷ジョブの単位 ・ 印刷ポートを切り替えたタイミング ・ NPD L のエミュレーションモード設定コマンドを受信したタイミング <p>💡 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この設定よりも、NPD L プリンタードライバー側での設定が優先されます。

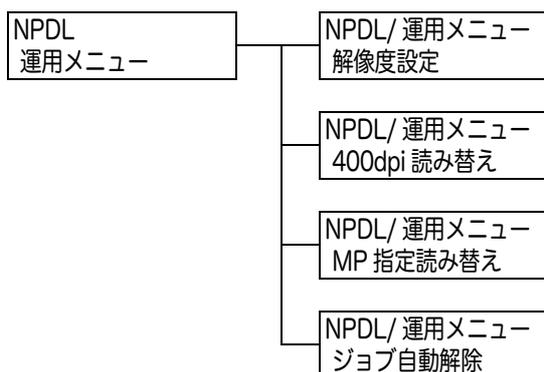
[印刷機能メニュー]



設定項目	設定項目	説明																	
両面印刷設定	両面	NPDL データを印刷するときの印刷モードを両面印刷にするかしないかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] (初期値) ・ [する] 																	
	とじ方向	両面印刷時に、印刷したものとじるために、とじしろ (余白) の位置を設定します。 候補値と余白の位置の関係は、次のとおりです。 <table border="1" data-bbox="663 501 1278 1328"> <thead> <tr> <th rowspan="2">候補値</th> <th colspan="2">印刷方向</th> </tr> <tr> <th>ポートレート</th> <th>ランドスケープ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ロング1 (初期値)</td> <td>左とじ </td> <td>上とじ </td> </tr> <tr> <td>ショート1</td> <td>上とじ </td> <td>右とじ </td> </tr> <tr> <td>ロング2</td> <td>右とじ </td> <td>下とじ </td> </tr> <tr> <td>ショート2</td> <td>下とじ </td> <td>左とじ </td> </tr> </tbody> </table>	候補値	印刷方向		ポートレート	ランドスケープ	ロング1 (初期値)	左とじ 	上とじ 	ショート1	上とじ 	右とじ 	ロング2	右とじ 	下とじ 	ショート2	下とじ 	左とじ 
	候補値	印刷方向																	
ポートレート		ランドスケープ																	
ロング1 (初期値)	左とじ 	上とじ 																	
ショート1	上とじ 	右とじ 																	
ロング2	右とじ 	下とじ 																	
ショート2	下とじ 	左とじ 																	
余白	とじしろの量を設定します。設定範囲は 0 ~ 20mm で、1mm 単位で設定できます。初期値は、[0mm] です。																		

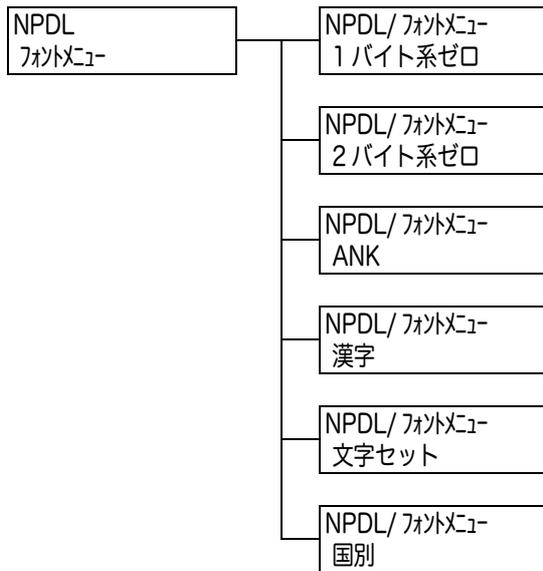
設定項目	設定項目	説明
両面印刷設定	クリップ	<p>余白（とじしろ）を多く取りすぎると、印刷データが用紙の印刷範囲を超えてしまう場合があります。この場合、はみ出した分を消去してそのまま残りの行を印刷する（クリッピングする）か、印刷範囲からはみ出したデータを自動改行 / 改ページするかを選択します。本機能は、両面印刷時のみ有効です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [しない] はみ出した印刷データを次の行に引き続いてプリントします。それ以降の印刷データは、1行ずつずれます。（アプリケーションによっては、はみ出したデータを消去するものもあります。） <p>はみ出した部分を基準にしてもう一度印刷</p> <p>はみ出した部分を基準にしてもう一度印刷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [する] (初期値) はみ出した印刷データをクリッピングして、印刷を続けます。 <p>はみ出した部分を消去して印刷</p> <p>裏面のとじしろは、印刷範囲を左にずらすように取られる。</p>
排出先設定		<p>用紙の排出先を設定します。候補値は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [センタートレイ] (初期値) ・ [フェイスアップトレイ] <p>💡 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「排出先設定」は、フェイスアップトレイ（オプション）が装着されている場合のみ表示されます。

[運用メニュー]



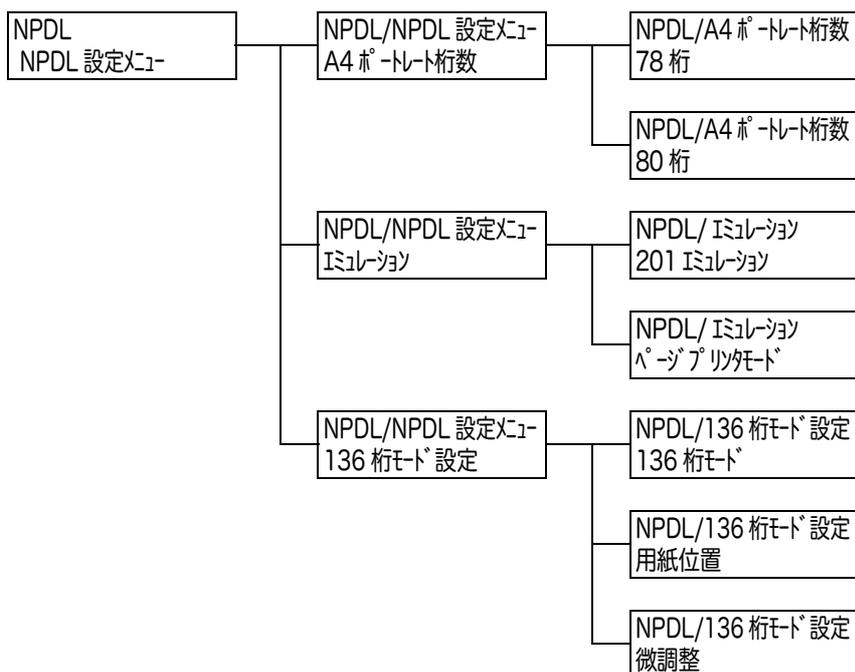
設定項目	説明
解像度設定	解像度を、[600dpi] / [1200dpi] から選択します。初期値は、[600dpi] です。
400dpi 読み替え	<p>NPD L コマンド：解像度指定 (FS&) で 400dpi が指定された時の読み替え先を設定する。NPD L コマンドでの 400dpi 指定以外には影響しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [600dpi] ・ [1200dpi] (初期値)
MP 指定読み替え	<p>NPD L プリンタードライバーの給紙口指定の MP を読み替え先の用紙トレイを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [トレイ 1] ・ [トレイ 2] ・ [トレイ 3] ・ [トレイ 4] ・ [手差しトレイ] (初期値) <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [トレイ 2] ~ [トレイ 4] は、トレイモジュール (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。
ジョブ自動解除	<p>ジョブの自動解除する時間を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [3 秒] (初期値) 1 ~ 30 秒の間で設定します。 <p> 補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本設定は USB ポートから受信した XPJL が付加されていない NPD L データのみに有効です。

[フォントメニュー]



設定項目	説明
[1 バイト系 ゼロ]	1 バイトコード系の数字の 0 の字体を選択します。メモリースイッチ 2-1 でも設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [斜線なし] (初期値) 普通の字体 0 を設定します。 ・ [斜線あり] 斜線のついた字体 (∅) を設定します。
[2 バイト系 ゼロ]	2 バイトコード系の数字の 0 の字体を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [斜線なし] (初期値) 普通の字体 (0) を設定します。 ・ [斜線あり] 斜線のついた字体 (∅) を設定します。
[ANK]	ANK 文字 (アルファベット、数字、カタカナ) のフォントを選択します。候補値は、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [標準] (初期値) ・ [イタリック] ・ [クーリエ] ・ [ゴシック]
[漢字]	標準フォント (2 バイト系文字) の書体を、[明朝] (初期値)、または [ゴシック] から選択します。
[文字セット]	2 バイト系の文字セットを選択します。候補値は、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [JIS1978] (初期値) ・ [JIS1983] ・ [JIS1990]
[国別]	各国文字セットを選択します。メモリースイッチ 1-1 ~ 1-3 でも選択できます。候補値は、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [日本] (初期値) ・ [アメリカ] ・ [イギリス] ・ [ドイツ] ・ [スウェーデン]

[NPD L 設定メニュー]



設定項目	説明
A4 ポートレート桁数	用紙が A4 サイズ、ポートレート方向で使われるときの、1 行あたりの文字数を、ピカ文字で [78 桁] (初期値) にするか、または [80 桁] にするかを選択します。 メモリスイッチ 2-7 でも選択できます。
エミュレーション	[201 エミュレーション] (初期値) か、[ページプリンタモード] かを選択します。 メモリスイッチ 2-2 でも選択できます。
136 桁モード設定	
136 桁モード	136 桁モードの [有効]、または [無効] (初期値) を選択します。 メモリスイッチ 3-7 でも選択できます。
用紙位置	<p>136 桁モードが有効のとき、用紙位置を中央合わせにするか、左合わせにするかを選択します。メモリスイッチ 3-6 でも選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [左] (初期値) 136 桁の仮想印刷範囲と印刷用紙の左端を合わせます。また、用紙位置調整によって、右の図のように仮想印刷範囲を超えて用紙位置を設定することもできます。 ・ [中央] 用紙位置を中央合わせにします。A4 サイズの用紙を使用した場合、136 桁の仮想印刷範囲の 30 ~ 107 桁めまでが印刷されます。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>[中央] の場合</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>[左] の場合</p> </div> </div>
微調整	<p>136 桁モードが有効のとき、用紙位置微調整の方向と量を、1/10 インチ単位で選択します。 メモリスイッチ 3-1 ~ 3-5 の組み合わせで選択できます。 候補値は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [0] (初期値) ・ [左 1] ~ [左 15] ・ [右 1] ~ [右 15]

[メモリースイッチ] メニュー

NPDL モードの中で、比較的変更頻度の低いものがここにまとめられています。

メモリースイッチ (MSW) は、[0] (OFF) か [1] (ON) を選択することによって、次の表に示されている項目を、設定することができます。メモリースイッチは 1-1 から 10-8 まであります (未使用のスイッチもあります)。

表中の * が付いた機能は、ほかの NPDL モードメニューを使っても、設定できる項目です。このような場合は、どちらか一方で設定を変更すれば、もう一方の設定も連動して自動的に変更されます。



番号	機能	説明																								
1-1 ~ 1-3	各国文字の切り替え*	<p>3つのメモリースイッチの組み合わせによって、各国文字を切り替えます。下表以外の組み合わせは、すべてスウェーデン文字になります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>国別文字セット</th> <th>1-1</th> <th>1-2</th> <th>1-3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本 (初期値)</td> <td>0 (初期値)</td> <td>0 (初期値)</td> <td>0 (初期値)</td> </tr> <tr> <td>アメリカ</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>イギリス</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>ドイツ</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>スウェーデン</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	国別文字セット	1-1	1-2	1-3	日本 (初期値)	0 (初期値)	0 (初期値)	0 (初期値)	アメリカ	0	1	0	イギリス	1	1	0	ドイツ	0	0	1	スウェーデン	1	0	1
国別文字セット	1-1	1-2	1-3																							
日本 (初期値)	0 (初期値)	0 (初期値)	0 (初期値)																							
アメリカ	0	1	0																							
イギリス	1	1	0																							
ドイツ	0	0	1																							
スウェーデン	1	0	1																							
1-4 ~ 1-5	未使用 ([0] が設定されています)																									
1-6	自動復帰改行の切り替え	<p>バッファフル印刷を行うとき、復帰のみか、復帰改行かを切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [0] : 復帰改行 (初期値) ・ [1] : 復帰のみ 																								
1-7	印刷指令の切り替え	<p>印刷指令を CR のみ有効にするか、CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC b を有効にするかを切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [0] : CR のみ (初期値) ・ [1] : CR + その他 																								
1-8	CR 機能の切り替え	<p>印刷指令コード CR を受信したとき、復帰のみか、復帰改行かを切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [0] : 復帰のみ (初期値) ・ [1] : 復帰改行 																								
2-1	1 バイトコード系の数字ゼロの字体の切り替え*	<p>1 バイト (8 ビット) コード系の数字のゼロを「0」と印刷するか、「∅」と印刷するかを切り替えます。本スイッチは、OCR フォントには無効です。OCR フォントは、「0」で印刷されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [0] : 0 (初期値) ・ [1] : ∅ 																								

番号	機能	説明
2-2	動作モードの切り替え*	動作モードを 201 エミュレーションにするか、ページプリンターモードにするかを切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [0] : 201 エミュレーションモード (初期値) ・ [1] : ページプリンターモード
2-3	グラフィックモードの切り替え	横ドット数をネイティブモードにするか、コピーモードにするかを切り替えます。コピーモードにすると、横ドット数がネイティブモードのときの 1/2 になります。 201 エミュレーション (メモリスイッチ 2-2= [0]) 時に有効です。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [0] : ネイティブモード (初期値) ・ [1] : コピーモード
2-4 2-5	未使用 ([0] に設定されています)	
2-6	7ビット/8ビットデータの切り替え	インターフェイスのデータが 7 ビット有効か、8 ビット有効かを切り替えます。 201 エミュレーション (メモリスイッチ 2-2= [0]) 時に有効です。 ページプリンター (メモリスイッチ 2-2= [1]) 時は、8 ビット有効に固定されます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [0] : 8 ビット (初期値) ・ [1] : 7 ビット
2-7	印刷桁数の切り替え*	用紙が A4 サイズ、ポートレート方向で使われるときの 1 行あたりの文字数を、ピカ文字で 78 桁にするか、80 桁にするかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [0] : 78 桁 (初期値) ・ [1] : 80 桁
2-8	B4 → A4 縮小率の切り替え	操作パネルの〈縮小〉ボタン、または制御コード (FS f) を使って「B4 → A4 縮小モード」を指定したときに、縮小率を 2/3 倍にするか、4/5 倍にするかを切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [0] : 4/5 倍 (初期値) ・ [1] : 2/3 倍

番号	機能	説明																																																																																					
3-1 ~ 3-4	印刷開始位置の調整* (136 桁モード)	<p>印刷開始位置の調整を行います。 エミュレーションモードがページプリンター（メモリースイッチ 2-2= [1]）のときには、レフトマージン量の設定になります。 レフトマージン量とは、用紙の最左端印刷位置から第 1 印刷位置までの距離です。 レフトマージン量は、4 つのメモリースイッチの組み合わせによって、16 通りに設定できます。組み合わせについては、下表を参照してください。 また、エミュレーションモードが 201 エミュレーション（メモリースイッチ 2-2= [0]）で、136 桁モード（メモリースイッチ 3-7= [1]）のときには、用紙位置の調整量の設定になります。 印刷位置がずれた場合の、用紙位置調整に使用します。 用紙位置調整量は、4 つのメモリースイッチの組み合わせによって、16 通りに設定できます。組み合わせについては、下表を参照してください。 調整方向は、メモリースイッチ 3-5 で切り替えます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>レフトマージン量 / 用紙位置微調整量</th> <th>3-1</th> <th>3-2</th> <th>3-3</th> <th>3-4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0 インチ (初期値)</td> <td>0 (初期値)</td> <td>0 (初期値)</td> <td>0 (初期値)</td> <td>0 (初期値)</td> </tr> <tr> <td>1/10 インチ</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2/10 インチ</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3/10 インチ</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>4/10 インチ</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>5/10 インチ</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>6/10 インチ</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>7/10 インチ</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>8/10 インチ</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>9/10 インチ</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1 インチ</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>11/10 インチ</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>12/10 インチ</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>13/10 インチ</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>14/10 インチ</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>15/10 インチ</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	レフトマージン量 / 用紙位置微調整量	3-1	3-2	3-3	3-4	0 インチ (初期値)	0 (初期値)	0 (初期値)	0 (初期値)	0 (初期値)	1/10 インチ	1	0	0	0	2/10 インチ	0	1	0	0	3/10 インチ	1	1	0	0	4/10 インチ	0	0	1	0	5/10 インチ	1	0	1	0	6/10 インチ	0	1	1	0	7/10 インチ	1	1	1	0	8/10 インチ	0	0	0	1	9/10 インチ	1	0	0	1	1 インチ	0	1	0	1	11/10 インチ	1	1	0	1	12/10 インチ	0	0	1	1	13/10 インチ	1	0	1	1	14/10 インチ	0	1	1	1	15/10 インチ	1	1	1	1
レフトマージン量 / 用紙位置微調整量	3-1	3-2	3-3	3-4																																																																																			
0 インチ (初期値)	0 (初期値)	0 (初期値)	0 (初期値)	0 (初期値)																																																																																			
1/10 インチ	1	0	0	0																																																																																			
2/10 インチ	0	1	0	0																																																																																			
3/10 インチ	1	1	0	0																																																																																			
4/10 インチ	0	0	1	0																																																																																			
5/10 インチ	1	0	1	0																																																																																			
6/10 インチ	0	1	1	0																																																																																			
7/10 インチ	1	1	1	0																																																																																			
8/10 インチ	0	0	0	1																																																																																			
9/10 インチ	1	0	0	1																																																																																			
1 インチ	0	1	0	1																																																																																			
11/10 インチ	1	1	0	1																																																																																			
12/10 インチ	0	0	1	1																																																																																			
13/10 インチ	1	0	1	1																																																																																			
14/10 インチ	0	1	1	1																																																																																			
15/10 インチ	1	1	1	1																																																																																			
3-5	用紙位置微調整方向* (136 桁モード)	<p>136 桁モードで、用紙位置調整を右方向にするか、左方向にするかを切り替えます。 201 エミュレーション（メモリースイッチ 2-2= [0]）で、136 桁モード（メモリースイッチ 3-7= [1]）時に有効です。 ・ [0] : 左 (初期値) ・ [1] : 右</p>																																																																																					

番号	機能	説明
3-6	用紙位置* (136桁モード)	<p>136桁モードで、用紙位置を中央合わせにするか、左端合わせにするかを切り替えます。</p> <p>201エミュレーション(メモリースイッチ2-2=[0])で、136桁モード(メモリースイッチ3-7=[1])時に有効です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[0]:左端合わせ(初期値) ・[1]:中央合わせ <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>[1] 中央合わせの場合</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>[0] 左端合わせの場合</p> </div> </div>
3-7	136桁モードの有効/無効の切り替え*	<p>136桁モードを有効にするか、無効にするかを切り替えます。</p> <p>201エミュレーション(メモリースイッチ2-2=[0])時に有効です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[0]:無効(初期値) ・[1]:有効
3-8		未使用([0]に設定されています)
4-1		未使用([0]に設定されています)
4-2	物理解像度の切り替え	<p>プリンターの解像度を切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[0]:600dpi(初期値) ・[1]:1200dpi
4-3	ESC c1での登録データを初期化する/しないの切り替え	<p>制御コードESC c1による登録データの初期化をするか、しないかを切り替えます。</p> <p>ESC c1で初期化をしない(メモリースイッチ4-3=[1])ときは、ESC c8と同じ機能になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[0]:する(初期値) ・[1]:しない
4-4	FFコードのみで白紙を出力する/しないの切り替え	<p>FFコードのみで白紙を出力するか、しないかを切り替えます。</p> <p>白紙を出力しない(メモリースイッチ4-4=[1])ときは、ESC a、ESC bと同じ機能になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[0]:する(初期値) ・[1]:しない
4-5	ランドスケープ方向の切り替え	<p>ランドスケープ印刷とポートレート印刷を行ったときの、排出トレイ上での積み重ね方を切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[0]:反時計回り(初期値) ・[1]:時計回り <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>[0] 反時計回りの場合</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>[1] 時計回りの場合</p> </div> </div>
4-6~4-8		未使用([0]に設定されています)

番号	機能	説明
5-1		未使用（[0] に設定されています）
5-2 ~ 5-8		未使用（[0] に設定されています）
6-1 ~ 6-8		未使用（[0] に設定されています）
7-1 ~ 7-3		未使用（[0] に設定されています）
7-4	バーコード 400dpi 補正	物理解像度 600dpi または 1200dpi のバーコードを印刷するとき、NPD L コマンドによるバーコード印刷後のカレント印刷位置を解像度 400dpi でバーコード印刷した場合の印字桁位置に補正します。 ・ [0] : 補正しない（初期値） ・ [1] : 補正する
7-5 ~ 7-6		未使用（[0] に設定されています）
7-7	FS f コマンドでの指定用紙サイズなしを表示する / しないの切り替え	FS f コマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、用紙補給表示をするか、表示しないでコマンドを無効にするかを設定します。 ・ [0] : 表示する（初期値） ・ [1] : 表示しない
7-8	FS f コマンドでの自動縮小をする / しないの切り替え	FS f コマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、縮小印刷が可能ならば自動縮小をするか、しないかを切り替えます。 ・ [0] : 自動縮小する（初期値） ・ [1] : 自動縮小しない
8-5 ~ 8-8		未使用（[0] に設定されています）
9-1 ~ 9-6		未使用（[0] に設定されています）
9-7	印刷向き 180 度回転機能	印刷イメージを 180 度回転させて印刷する機能を、有効にするか、無効にするかを切り替えます。 本スイッチが [1] の場合、メモリースイッチ 4-5 の設定は無効になります。 ・ [0] : 無効にする（初期値） ・ [1] : 有効にする
9-8		未使用（[0] に設定されています）
10-1 ~ 10-8		未使用（[0] に設定されています）

NPD L モードメニューの設定方法

ここでは、メモリースイッチの設定方法について、136 桁モードを有効（メモリースイッチ 3-7 を [1]）にする場合を例に説明します。

その他のモードメニューの設定方法については、共通メニューと同様です。「設定を変更する」(P. 144) を参照してください。

1. 操作パネルの  〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. [プリント言語の設定] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

仕様設定 プリント言語の設定

3. <▶> または ボタンを押します。
[NPDL] が表示されます。
4. <▶> または ボタンを押します。
[テストメニュー] が表示されます。
5. [メモリスイッチメニュー] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。
6. <▶> または ボタンを押します。
[MSW1] が表示されます。
7. [MSW3] が表示されるまで <▼> ボタンを押します。
8. <▶> または ボタンを押します。
メモリスイッチ 3-1 ~ 3-8 までの、現在の設定値が表示されます。
9. カーソルが7の設定値にくるまで、<◀> または <▶> ボタンを押します。
10. <▲> または <▼> ボタンで、[1] を表示します。
11. ボタンで決定します。
12. これで、設定が終了です。
<仕様設定> ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

プリント言語の設定
NPDL

NPDL
テストメニュー

NPDL
メモリスイッチメニュー

NPDL/メモリスイッチメニュー
MSW1

NPDL/メモリスイッチメニュー
MSW3

12345678
•MSW3 00000000

12345678
•MSW3 00000000

12345678
MSW3 00000010

12345678
•MSW3 00000010

プリントできます
トナー残量

13 付 録

13.1 主な仕様

本体

項目	内容	
型番	MultiWriter 8800 : PR-L8800 MultiWriter 8700 : PR-L8700 MultiWriter 8600 : PR-L8600	
形式	デスクトップ	
プリント方式	LED ゼログラフィー  注記 ・ LED + 乾式電子写真方式。	
定着方式	ヒートローラー（オイルレス）	
ウォームアップ時間	MultiWriter 8800/MultiWriter 8700 19 秒以下（電源投入時、室温 23°C）（スリープモード時は 16 秒以下） MultiWriter 8600 19 秒以下（電源投入時、室温 23°C）（スリープモード時は 19 秒以下）  注記 ・ 当社測定基準による測定値。	
連続プリント速度	片面印刷時	MultiWriter 8800 A4 ヨコ : 45 枚 / 分 A3 : 25.7 枚 / 分 MultiWriter 8700 A4 ヨコ : 38 枚 / 分 A3 : 23 枚 / 分 MultiWriter 8600 A4 ヨコ : 32 枚 / 分 A3 : 18.2 枚 / 分
	両面印刷時	MultiWriter 8800 A4 ヨコ : 31.5 ページ / 分 A3 : 15.4 ページ / 分 MultiWriter 8700 A4 ヨコ : 30.5 ページ / 分 A3 : 15.4 ページ / 分 MultiWriter 8600 A4 ヨコ : 22.4 ページ / 分 A3 : 10.8 ページ / 分
	 注記 ・ 同一原稿連続印刷時。郵便はがき（日本郵便製）等の用紙種類、サイズや印刷条件によっては速度が低下します。また、画質調整のため、速度が低下する場合があります。	

項目		内容
ファーストプリント時間		MultiWriter 8800/MultiWriter 8700 6.0 秒 (A4 ヨコ) MultiWriter 8600 7.5 秒 (A4 ヨコ)  注記 ・ 本体給紙トレイから給紙した場合。数値は出力環境によって異なります。
解像度	標準	NPD Lドライバー / ART EXドライバー： 標準：600 x 600 dpi、高精細：1200 x 1200 dpi
	オプション	Adobe® PostScript® 3™ドライバー： 標準：600 x 600 dpi、高精細：1200 x 1200 dpi
階調		NPD L：64 階調 / ART EX：256 階調
用紙サイズ	標準トレイ	A3、B4、A4、B5、A5、B6*、A6*、リーガル、レター、11x17"、7.25x10.5"、8.5x13"、郵便はがき（日本郵便製）、往復はがき（日本郵便製）*、封筒（長形 3 号、長形 4 号、角形 2 号、角形 3 号、角形 6 号、C5）*、ユーザー定義用紙（幅 75 ～ 297 mm、長さ 148 ～ 432 mm）* * 標準対応の Mac OS X 用プリンタードライバーでは対応していません。オプションの PostScript ソフトウェアキットが必要です。
	手差しトレイ	A3、B4、A4、B5、A5、B6*、A6*、リーガル、レター、11x17"、7.25x10.5"、8.5x13"、郵便はがき（日本郵便製）、往復はがき（日本郵便製）*、封筒（長形 3 号、長形 4 号、洋長形 3 号、角形 2 号、角形 3 号、角形 6 号、洋形 2 号、洋形 3 号、洋形 4 号、モナーク、COM-10、DL、C5）*、ユーザー定義用紙（幅 70 ～ 297 mm、長さ 98 ～ 508 mm）*、長尺紙（210 x 900 mm）*、長尺紙 A（297 x 900 mm）*、長尺紙 B（297 x 1200 mm）* * 標準対応の Mac OS X 用プリンタードライバーでは対応していません。オプションの PostScript ソフトウェアキットが必要です。
	オプション	A3、B4、A4、B5、A5、B6*、A6*、リーガル、レター、11x17"、7.25x10.5"、8.5x13"、郵便はがき（日本郵便製）、往復はがき（日本郵便製）*、封筒（長形 3 号、長形 4 号、角形 2 号、角形 3 号、角形 6 号、C5）*、ユーザー定義用紙（幅 75 ～ 297 mm、長さ 148 ～ 432 mm）* * 標準対応の Mac OS X 用プリンタードライバーでは対応していません。オプションの PostScript ソフトウェアキットが必要です。
	両面印刷	A3、B4、A4、B5、A5、B6*、A6*、リーガル、レター、7.25x10.5"、8.5x13"、11x17"、ユーザー定義用紙（幅 100 ～ 297 mm、長さ 148 ～ 432 mm）* * 標準対応の Mac OS X 用プリンタードライバーでは対応していません。オプションの PostScript ソフトウェアキットが必要です。
	像欠け幅	先端 / 後端 / 左右端 4.1 mm
		 注記 ・ 推奨用紙をご使用ください。用紙の種類（紙質、サイズ等）によっては、正しくプリントできない場合があります。特にユーザー定義用紙サイズのご使用にあたっては、用紙走行性の事前確認をお願いします。インクジェット専用紙は使用しないでください。「かもめーる」や年賀状などの再生紙はがきは使用できない場合があります。使用済用紙の裏面および事前プリント用紙へのプリントや、使用環境が乾燥地・寒冷地・高温多湿の場合、用紙によってはプリント不良などの品質低下が発生する場合があります。また、用紙の種類や環境条件によりプリント品質に差異が生じる場合がありますので、事前にプリント品質の確認を推奨します。なお、推奨用紙や事前の用紙走行確認については、お買い求めの販売店、またはサービス窓口までお問い合わせください。

項目		内容
用紙坪量	標準トレイ	60 ~ 220 g/m ²
	手差しトレイ	60 ~ 220 g/m ²
	オプション	トレイモジュール (250) : 60 ~ 220 g/m ² トレイモジュール (550) : 60 ~ 220 g/m ²
	両面印刷	60 ~ 163 g/m ²
	<p> 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> 推奨用紙をご使用ください。用紙の種類（紙質、サイズ等）によっては、正しくプリントできない場合があります。特にユーザー定義用紙サイズのご使用にあたっては、用紙走行性の事前確認をお願いします。インクジェット専用用紙は使用しないでください。「かもめーる」や年賀状などの再生紙はがきは使用できない場合があります。使用済用紙の裏面および事前プリント用紙へのプリントや、使用環境が乾燥地・寒冷地・高温多湿の場合、用紙によってはプリント不良などの品質低下が発生する場合があります。また、用紙の種類や環境条件によりプリント品質に差異が生じる場合がありますので、事前にプリント品質の確認を推奨します。なお、推奨用紙や事前の用紙走行確認については、お買い求めの販売店、またはサービス窓口までお問い合わせください。 	
給紙容量	標準	MultiWriter 8800 標準トレイ : 550 枚 手差しトレイ : 100 枚 MultiWriter 8700/MultiWriter 8600 標準トレイ : 250 枚 手差しトレイ : 100 枚
	オプション	トレイモジュール (250) : 250 枚 トレイモジュール (550) : 550 枚
	最大	MultiWriter 8800 2300 枚 [標準 + トレイモジュール (550) × (3 段)] MultiWriter 8700/MultiWriter 8600 2000 枚 [標準 + トレイモジュール (550) × (3 段)]
	<p> 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> P 紙 (64 g/m²) 使用時の値。 	
出カトレイ容量	標準	MultiWriter 8800 550 枚 (フェイスダウン) MultiWriter 8700/MultiWriter 8600 250 枚 (フェイスダウン)
	オプション	フェイスアップトレイ : 100 枚
	<p> 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> P 紙 (64 g/m²) 使用時の値。 	
両面機能	標準	
CPU	ARM 1100 MHz	
メモリー容量	2 GB (最大 2 GB)	
内蔵ハードディスク	オプション : 44 GB <p> 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> 表記されたハードディスク容量の全てを利用できるわけではありません。 	

項目		内容
搭載フォント	標準	<p>NPD L プリンタードライバ FontAvenue 明朝体、FontAvenue ゴシック体、ローマン、イタリック、ゴシック、Courier、OCR-B フォント*¹、OCR-K フォント</p> <p>ART-EX プリンタードライバ 日本語 2 書体 (平成明朝体 W3、平成角ゴシック体 W5)、欧文 21 書体、OCR-B フォント*¹、バーコードフォント*¹*²</p> <p>*¹ OCR-B 相当印刷やバーコード印刷の読み取りに関しては、あらかじめご確認されることを推奨します。</p> <p>*² バーコードフォントの種類は、CODE39、JAN、NW-7 (CODABAR)、CODE128、ITF (Interleaved 2 of 5) ベアラーバーなし、Industrial 2 of 5、Matrix 2 of 5、カスタマバーコード、QR コードに対応。OCR-B フォント、バーコードフォントは ART IV、ESC/P エミュレーションで対応。</p>
	オプション	<p>PostScript ソフトウェアキット (平成 3 書体) 平成 3 書体 (平成明朝体 W3、平成丸ゴシック体 W4、平成角ゴシック体 W5)、欧文 136 書体、OCR-B フォント*</p> <p>* OCR-B 相当印刷やバーコード印刷の読み取りに関しては、あらかじめご確認されることを推奨します。</p>
ページ記述言語	標準	NPD L Level2、ART EX
	オプション	Adobe® PostScript® 3™
エミュレーション		<p>ART IV、ESC/P、PCL5、PCL6、HP-GL*、HP-GL/2*、HP RTL* (HP DesignJet 750C Plus)、TIFF、PDF、XPS (XML Paper Specification)、DocuWorks 文書 (XDW)</p> <p>* HP-GL は HP7586B を、HP-GL/2、HP RTL は HP Designjet 750C Plus を、それぞれエミュレーションしていますが、全てのコマンドには対応していませんので事前の出力検証を推奨します。</p>

項目		内容
対応 OS	標準	NPDL/ART-EX ドライバー : Windows® 10 (32 ビット) Windows® 10 (64 ビット) Windows® 8.1 (32 ビット) Windows® 8.1 (64 ビット) Windows® 7 (32 ビット) Windows® 7 (64 ビット) Windows Server® 2016 (64 ビット) Windows Server® 2012 R2 (64 ビット) Windows Server® 2012 (64 ビット) Windows Server® 2008 R2 (64 ビット) Windows Server® 2008 (32 ビット) Windows Server® 2008 (64 ビット) Mac OS X ドライバー : macOS 10.13/10.12、OS X 10.11/10.10/10.9
	オプション	PostScript® ドライバー Windows® 10 (32 ビット) Windows® 10 (64 ビット) Windows® 8.1 (32 ビット) Windows® 8.1 (64 ビット) Windows® 7 (32 ビット) Windows® 7 (64 ビット) Windows Server® 2016 (64 ビット) Windows Server® 2012 R2 (64 ビット) Windows Server® 2012 (64 ビット) Windows Server® 2008 R2 (64 ビット) Windows Server® 2008 (32 ビット) Windows Server® 2008 (64 ビット) macOS 10.13/10.12、OS X 10.11/10.10/10.9
		 注記 ・最新の対応 OS については当社公式サイトを参照してください。 https://jpn.nec.com/printer/laser/
インターフェイス	標準	Ethernet 1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T、USB3.0
	オプション	Ethernet 1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T、802.11a/b/g/n
対応プロトコル		TCP/IP (IPv4/IPv6、Ipd、Port9100、IPP、ThinPrint、WSD)
電源		MultiWriter 8800/MultiWriter 8700 AC 100 V±10%、15 A、50/60 Hz 共用  注記 ・推奨コンセント容量。機械側最大電流は、14 A。 MultiWriter 8600 AC 100 V±10%、12 A、50/60 Hz 共用  注記 ・推奨コンセント容量。機械側最大電流は、11 A。

項目	内容	
騒音	稼動時 (本体のみ)	MultiWriter 8800 7.31 B、53 dB (A)* MultiWriter 8700 7.22 B、53 dB (A)* MultiWriter 8600 7.02 B、50 dB (A) * 静音モード時：50 dB (A)
	レディー時 (本体のみ)	5.30 B、16 dB (A)
	<p> 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ISO7779 に基づいた測定 単位 B：音響パワーレベル (L_{wAd}) 単位 dB (A)：放射音圧レベル (バイスタンダ位置) 	
最大消費電力	MultiWriter 8800 最大：1320 W ^{*1} 、スリープモード時 0.8 W ^{*2} 平均：レディー時 77 W、稼動時 615 W MultiWriter 8700 最大：1320 W ^{*1} 、スリープモード時 0.8 W ^{*2} 平均：レディー時 77 W、稼動時 593 W MultiWriter 8600 最大：970 W ^{*1} 、スリープモード時 0.8 W ^{*2} 平均：レディー時 60 W、稼動時 475 W ^{*1} 本体標準構成での測定値は、MultiWriter 8800/MultiWriter 8700：1300 W、 MultiWriter 8600：950 W。 ^{*2} 標準構成時。 <p> 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> 最大消費電力はフル構成時。 	
エネルギー消費効率	MultiWriter 8800 112 kWh/年 区分：プリンター C MultiWriter 8700 102 kWh/年 区分：プリンター C MultiWriter 8600 79 kWh/年 区分：プリンター C <p> 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> 省エネ法 (平成 25 年 3 月 1 日付) で定められた測定方法による数値。 	
外形寸法	MultiWriter 8800 幅 499.4× 奥行 388.0× 高さ 320.0 mm MultiWriter 8700/MultiWriter 8600 幅 499.4× 奥行 388.0× 高さ 262.6 mm <p> 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> 奥行は A4 使用時の値。A3 使用時は、517.8 mm 	
質量	MultiWriter 8800 約 20.2 kg (消耗品含む) 約 18.2 kg (消耗品含まず) MultiWriter 8700/MultiWriter 8600 約 18.6 kg (消耗品含む) 約 16.6 kg (消耗品含まず)	

項目		内容
使用環境	使用時	温度：10～32℃ 湿度：15～85%（結露による障害は除く）
	非使用時	温度：-20～40℃ 湿度：5～85%（結露による障害は除く）
		<p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用直前の温度、湿度の環境、プリンター内部が設置環境になじむまで、使用される用紙の品質によってはプリント品質の低下を招く場合があります。
商品寿命	<p>MultiWriter 8800/MultiWriter 8700 180万ページ、または5年の早い方</p> <p>MultiWriter 8600 120万ページ、または5年の早い方</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> プリント可能ページ数は、A4サイズの普通紙を連続片面印刷した場合の目安であり、使用する用紙の種類、印刷環境などの印刷条件やプリンター電源投入頻度等により変動します。なお、商品の性能維持のためには定期交換部品の交換が必要です。 	

トレイモジュール（オプション）

項目	内容
用紙サイズ	<p>A3、B4、A4、B5、A5、B6*、A6*、リーガル、レター、11x17"、7.25x10.5"、8.5x13"、郵便はがき（日本郵便製）、往復はがき（日本郵便製）*、封筒（長形3号、長形4号、角形2号、角形3号、角形6号、C5）*、ユーザー定義用紙（幅75～297mm、長さ148～432mm）*</p> <p>* Mac OS X プリンタードライバでは対応していません。オプションの PostScript ソフトウェアキットが必要です。</p>
用紙坪量	60～220 g/m ²
給紙容量 / 給紙段数	<p>トレイモジュール（250）：250枚。組み合わせて3段まで装着可能 トレイモジュール（550）：550枚。組み合わせて3段まで装着可能</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> FUJI XEROX P 紙。 トレイモジュール（550）の下段にトレイモジュール（250）は設置できません。
大きさ	<p>トレイモジュール（250）：幅485 x 奥行388 x 高さ95 mm トレイモジュール（550）：幅485 x 奥行388 x 高さ122.6 mm</p>
質量	<p>トレイモジュール（250）：5.6 kg トレイモジュール（550）：6.5 kg</p>

内蔵フォント

標準で次のフォントを内蔵しています。



補足

・ PCL で使用できるフォントについては、「使用できるフォント」(P. 412) を参照してください。

ストロークフォント (HP-GL/2 専用)

- ・ 日本語ストロークフォント
- ・ 欧文+カタカナストロークフォント

アウトラインフォント

搭載されているアウトラインフォントと使用できるページ記述言語またはエミュレーションモードとの関係は、次のとおりです。なお、標準で搭載されているアウトラインフォントは、PostScript® では使用できません。

●：装備

	名称	NPD L	ART-EX	ART IV	ESC/P	HP-GL、HP-GL/2	PDF Bridge	DocuWorks Bridge
和文	平成明朝体 W3		●	●	●	●	●	●
	平成角ゴシック体 W5		●	●	●	●	●	●
	P 平成明朝体 W3						●	
	P 平成角ゴシック体 W5						●	
	FontAvenue 明朝体	●						
	FontAvenue ゴシック体	●						
欧文	平成角ゴシック体 W5 (サンセリフ)							
	ローマン	●						
	イタリック	●						
	ゴシック	●						
	ストローク					●		
	ITC Zapf Dingbats						●	
	Arial		●	●			●	●
	Arial Bold		●	●			●	●
	Arial Italic		●	●			●	●
	Arial Bold Italic		●	●			●	●
	Courier	●	●	●			●	●
	Courier Bold		●	●			●	●
	Courier Italic		●	●			●	●
	Courier Bold Italic		●	●			●	●

	名称	NPDL	ART-EX	ART IV	ESC/P	HP-GL、HP-GL/2	PDF Bridge	DocuWorks Bridge
欧文	Times New Roman		●	●			●	●
	Times New Roman Bold		●	●			●	●
	Times New Roman Italic		●	●			●	●
	Times New Roman Bold Italic		●	●			●	●
	Century		●					●
	Symbol		●	●			●	●
	Wingdings		●					●
	OCRBLetM			●				
	GoldSEMM						●	
	GoldSAMM						●	
	OCR-B	●						
	OCR-K	●						

💡 補足

- ・ ART IVでは、次の対応で指定します。
 Arial : CS Triumvirate
 Arial Bold : CS Triumvirate Bold
 Arial Italic : CS Triumvirate Italic
 Arial Bold Italic : CS Triumvirate Bold Italic
 Courier : CSCourier Medium
 Courier Bold : CSCourier Bold
 Courier Italic : CSCourier Oblique
 Courier Bold Italic : CSCourier Bold Oblique
 Times New Roman : CSTimes
 Times New Roman Bold : CSTimes Bold
 Times New Roman Italic : CSTimes Italic
 Times New Roman Bold Italic : CSTimes Bold Italic
 Symbol : CSSymbol

ビットマップフォント (NPDL、ESC/Pのみ)

和文

- ・ESC/P ビットマップフォント (平成角ゴシック体、24x24 ドット)

欧文

- ・ESC/P ビットマップフォント (平成角ゴシック体、24x24 ドット)
- ・NPDL ビットマップフォント (OCR-B、OCR-K)

13.2 オプション製品について

商品名	型番	備考
無線 LAN アダプタ	PR-MW-WL01	無線 LAN に接続する機能を追加します。
機能拡張キット (ハードディスク)	PR-L8700-HD	ハードディスクを必要とする機能については、「機能拡張キット (ハードディスク) (オプション) の取り付け」(P. 432) を参照してください。
セカンダリーイーサネットカード	PR-L8700-SC	Ethernet インターフェイスを 2 回線利用できるようになるキットです。
トレイモジュール (250)	PR-L8700-02	標準紙 (P 紙) を 250 枚までセットできる用紙トレイです。
トレイモジュール (550)	PR-L8700-03	標準紙 (P 紙) を 550 枚までセットできる用紙トレイです。
フェイスアップトレイ	PR-L8700-FT	プリント面を上に向けて排出できるトレイです。標準紙 (P 紙) を 100 枚まで収容できます。
PostScript ソフトウェアキット (平成 3 書体)	PR-L8700-PSH	本機を PostScript® 対応プリンターとして利用できます。
セキュリティ拡張キット	PR-L8700-SK	次の機能を使用する場合に必要です。 ・複製管理機能 ・強制アノテーション機能 セキュリティ拡張キットの機能を使用するには、機能拡張キット (ハードディスク) が必要です。
IC カードリーダー D	PR-MW-CR02	IC カードの情報を読み込む、外付け型の装置です。
認証アダプタ	PR-MW-AA01	認証サーバー不要で認証機能を提供し、プライベートプリントのジョブ選択 / 変更 / 削除ができる装置です。
専用キャスタ台	PR-L8700-CT	本機を専用キャスタ台の上に置いて使用できます。

- ・商品の種類や型番は、予告なく変更されることがあります。
- ・最新の情報については、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。

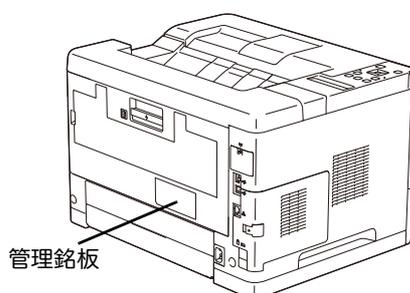
13.3 保証について

保証書について

本機には「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理します。詳細については「保証書」をご覧ください。また、お買い求めの販売店、またはサービス窓口へお問い合わせください。

💡 補足

- ・ 本機の背面に製品の型番、SERIAL No.（製造番号）、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります（下図参照）。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせをする際にこの内容をお伝えください。また、管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していないと、万一本機が保証期間内に故障した場合でも保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。



保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、弊社指定の保守サービス会社をご利用ください。保守サービスには次のような種類があります。

- ・ 契約保守
年間一定料金で契約を結び、サービス担当者を派遣するシステムです。
- ・ 出張修理
サービス担当者がお客様のところに伺い、修理をするシステムです。料金は修理の程度、内容に応じて異なります。

保守サービスの種類

種類	概要	修理料金		お支払方法	受付窓口*1
		保証期間内	保証期間外		
契約保守	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。*2（原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引取りして修理する場合がありますのでご了承ください。）保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能です。	機器構成、契約期間に応じた一定料金		契約期間に応じて一括払い	NEC フィールディング (株)
スポット保守（出張修理）	修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。*2（原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引取りして修理する場合がありますのでご了承ください。）ご契約は不要です。	無料*3	修理料 + 出張料	そのつど清算	

*1 受付窓口の所在地、連絡先などはインターネットの Web ページ

<https://www.fielding.co.jp/per/index.html>

をご覧ください。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。

*2 保守サービス会社は保守サービス実施にあたり、マイナンバー（個人番号）は取り扱いません。装置内に印字済み、若しくは印字途中の用紙や記憶領域等が存在し、マイナンバー（個人番号）を含む情報が残っている可能性がある場合は引取修理を承れませんので、必ずお客様立会いの下に修理を行うこととさせていただきます。

*3 本製品は「出張修理対象品」ですので、保証期間内の出張修理は無料です。出張修理の対象となっていない製品は出張料のみ有料となります。

保守サービスの最新情報については、インターネットの Web ページ

<https://jpn.nec.com/printer/laser/support/>

をご覧ください。

プリンターの耐久性について

本機の耐久性は、MultiWriter 8800/8700 は印刷枚数 180 万枚、MultiWriter 8600 は印刷枚数 120 万枚（印刷枚数 60 万枚に達したときに 600K キットの部品を交換した場合）、または使用年数 5 年のいずれか早い方です。

補足

- 印刷枚数は、A4 罫の普通紙を片面連続印刷した場合の目安です。使用する用紙の種類、印刷環境などの印刷条件やプリンターの電源投入頻度などにより変動します。本機は、有寿命部品（定期交換部品、有償）の交換が必要です。なお、商品の性能維持のためには定期交換部品の交換が必要です。交換については、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご相談ください。

13.4 消耗品と有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について

消耗品の寿命について

品名	型番	プリント可能ページ数 (参考値)
トナーカートリッジ (6000 枚)	PR-L8700-11	約 6000 ページ
トナーカートリッジ (10000 枚)	PR-L8600-12	約 10000 ページ
トナーカートリッジ (15000 枚) (MultiWriter 8800/MultiWriter 8700 専用)	PR-L8700-12	約 15000 ページ
ドラムカートリッジ (MultiWriter 8600 専用)	PR-L8600-31	約 40000 ページ
ドラムカートリッジ (MultiWriter 8800/ MultiWriter 8700 専用)	PR-L8700-31	約 40000 ページ

注記

- トナーカートリッジについて
JIS X 6931 (ISO/IEC 19752) に基づく公表値です。実際のプリント可能ページ数は、プリント内容や用紙サイズ、用紙の種類、使用環境などや、本体の電源 ON/OFF に伴う初期化動作や、プリント品質保持のための調整動作などにより変動し、公表値と大きく異なることがあります。
- ドラムカートリッジについて
プリント可能ページ数は、A4□、片面プリント、像密度 5%、1 度にプリントする枚数を平均 4 枚 (MultiWriter 8800 の場合。MultiWriter 8700 は 3 枚、MultiWriter 8600 は 2 枚) として連続プリントした使用条件における参考値です。実際のプリント可能ページ数は、用紙の種類、用紙送り方向、給紙・排紙トレイの設定、本体の電源 ON/OFF に伴う初期化動作、プリント品質維持のための調整動作などの使用環境により変動し、参考値の半分以下になる場合があります。
- 弊社が推奨していないトナーカートリッジおよびドラムカートリッジを使用された場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨するトナーカートリッジおよびドラムカートリッジをご使用ください。

補足

- 本機購入時に同梱されているトナーカートリッジのプリント可能ページ数は、約 3000 ページです。

有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について

プリンターには、その機能、性能を維持するために、定期的に交換しなければならない部品があります。これを有寿命部品（定期交換部品、有償）といいます。

部品名	交換寿命
定着ユニット（8700/8800）	約 100000 ページ
定着ユニット（8600）	約 100000 ページ
100K キット	約 100000 ページ
用紙搬送ロールキット（オプショントレイ用）	約 100000 ページ
600K キット（8800）	約 600000 ページ
600K キット（8600/8700）	約 600000 ページ

！ 注記

- ・プリンターには、その機能、性能を維持するために、定期的に交換しなければならない部品があります。これを定期交換部品といいます。
交換の周期は、A4 サイズの普通紙を連続片面プリントした場合の目安です。実際にプリント可能なページ数は、使用する用紙サイズ、種類、プリント環境、などのプリント条件や、プリンター電源投入頻度などにより大きく異なる場合があります。これは実際の寿命に影響する要因がある仮定に基づきプリントページ数に置き換えて表示しているためです。
定期交換部品はエンジニアによる交換作業となります。部品代のほかに別途作業料金が必要です。定期交換部品代は含まれません。別途料金が発生します。
無償保証期間中に、交換表示が出て定期交換部品を交換する場合は、部品代が必要となります。
- ・定着ユニットの寿命は、プリンターの通電時間等に大きく左右されます。
節電モードへの移行時間を長く設定すると、プリンターの通電時間が長くなり、定着ユニットの交換時期が早くなる場合があります。
詳しい情報については、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。

有寿命部品（定期交換部品、有償）は、寿命がくると「交換依頼」のメッセージが表示されます。本機の性能を維持するために早めの交換をお願いします。

プリントできます
定着ユニット交換

プリントできます
交換依頼 ***-***

(***-***) にはエラーコードが表示されます。

次の表を参照して、必要な有寿命部品を確認し、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご相談ください。なお、有寿命部品（定期交換部品、有償）は、エンジニアが交換いたします。

次の表に記載されていないエラーコードが表示された場合や、記載に従って処置をしても状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。

エラーコード	原因	部品名	推奨交換周期 (寿命の目安)
010-420	定着ユニットの交換時期です。	定着ユニット	約 100000 ページ
071-401	用紙トレイ 1 の用紙搬送ロールキットの交換時期です。	100K キット	約 100000 ページ
072-401	用紙トレイ 2 の用紙搬送ロールキットの交換時期です。	用紙搬送ロールキット (オプショントレイ用)	約 100000 ページ
073-401	用紙トレイ 3 の用紙搬送ロールキットの交換時期です。	用紙搬送ロールキット (オプショントレイ用)	約 100000 ページ

エラーコード	原因	部品名	推奨交換周期 (寿命の目安)
074-401	用紙トレイ 4 の用紙搬送ロール キットの交換時期です。	用紙搬送ロールキット (オプショントレイ用)	約 100000 ページ
075-401	手差しトレイの用紙搬送ロール キットの交換時期です。	100K キット	約 100000 ページ
092-402	600K キットの交換時期です。	600K キット	約 600000 ページ
094-411	100K キットの交換時期です。	100K キット	約 100000 ページ

補足

- ・ 交換の周期は、A4 サイズの普通紙を連続片面印刷した場合の目安です。実際に印刷可能なページ数は、使用する用紙サイズ、種類、印刷環境、などの印刷条件や、プリンター電源投入頻度などにより大きく異なる場合があります。これは実際の寿命に影響する要因がある仮定に基づき印刷ページ数に置き換えて表示しているためです。
- ・ 有寿命部品（定期交換部品、有償）はエンジニアによる交換作業となります。
- ・ 定着ユニットの場合、エラーメッセージだけ表示されます。エラーコードは表示されません。エラーメッセージについては、「11.7 エラーコード」(P. 310)を参照してください。

補修用性能部品について

弊社は、本製品の消耗品および機械の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を機械本体の製造終了後 7 年間保有しています。

使用済みカートリッジ回収について

■ 方法 1

・ 直接回収

使用済みカートリッジをご購入時の梱包箱に入れて、下記連絡先にご連絡ください（フリーダイヤル）。また、インターネット（電子メール）を利用した受け付けも行っております。1 本からでも、弊社指定の宅配業者がお客様のところへ回収にお伺いいたします。なお、送料をお支払いいただく必要はありません。

- 連絡先

EP カートリッジ回収センター

TEL : 0120-30-6924 FAX : 0120-30-8049

E-MAIL : ep-kai@mua.biglobe.ne.jp

- 受付時間

9:00 ~ 17:00（土・日・祝日を除く）

■ 方法 2

・ お持ち込みいただく場合

お買い上げの販売店までお持ちください。

購入時の梱包箱をご利用くださいますと便利です。

補足

- ・ 回収を希望されないトナーカートリッジ、ドラムカートリッジ等につきましては、お客様が適切に処分していただきますようお願い申し上げます。

情報サービスについて

プリンターに関する技術的なご質問、ご相談、修理受付、使い方相談に関する窓口等、最新情報をホームページで提供しています。

URL : <https://jpn.nec.com/printer/laser/support/>

MultiWriter サポート窓口について

MultiWriter サポート窓口		
修理受付窓口	保守契約 (サポートパック含む) されているお客様	専用フリーダイヤルへおかけください。(契約後 担当営業または登録窓口より案内) 受付時間：年中無休 24 時間
	保守契約されていないお客様	NEC プリンタインフォメーションセンター フリーダイヤル 0120-614-552 (受付時間：9:00～17:00 月曜日～金曜日 *土・日・祝日および当社所定の休日を除く)
使い方相談		携帯電話・PHS からでもご利用になれます。 (電話番号をよくお確かめの上おかけください。)

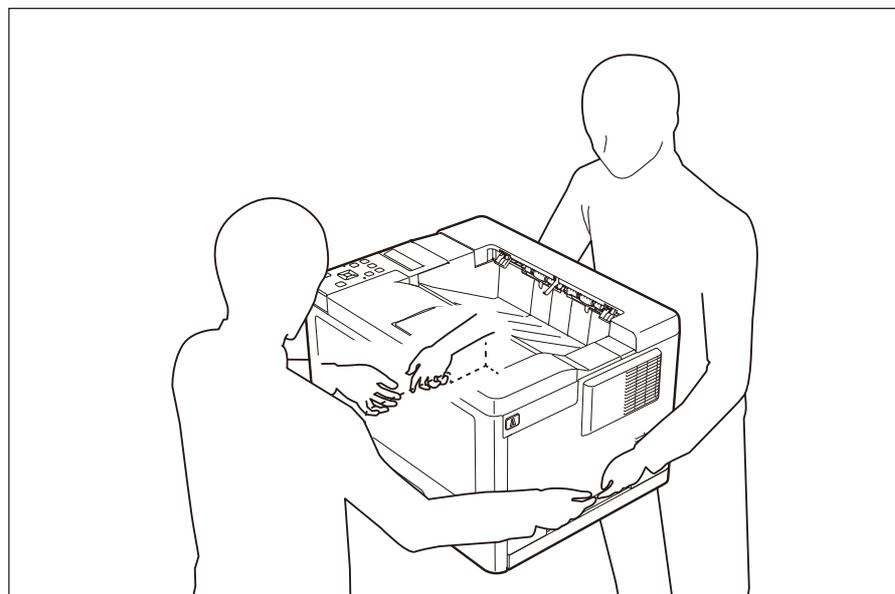
13.5 本機を移動するときは

本機を移動するときは、次の手順で行ってください。

1. 本機の電源を切ります。
2. 電源コード、インターフェイスクーブルなど、すべての接続コードを外します。
3. トレイを引き出し、トレイにセットされている用紙を取り出します。取り出した用紙は梱包して、湿気やほこりに触れない場所に保管します。
4. トレイを、本機の奥までしっかり押し込みます。
5. 本機を持ち上げて、静かに移動します。長距離を移動する場合は、本機を梱包して運送してください。

注記

- ・ 機械の重さは、MultiWriter 8800 : 20.2 Kg、MultiWriter 8700/MultiWriter 8600 : 18.6 kg (本体のみ、消耗品を含む) です。必ず2人で持ち運んでください。



補足

- ・ 本機を移動するときは、トナーカートリッジなどの消耗品を取り外す必要はありません。

13.6 カスタムモードについて

やむをえず、トナーカートリッジを交換しないで、継続して使用しなければならない場合は、「カスタムモード」を選択することで、継続使用が可能となります。

カスタムモードでプリンターを使用したい場合は、次の手順に従って、カスタムモードに設定してから、対応したトナーでご使用ください。なお、このモードを使用したとしても、完全に空になったトナーはご使用できません。

注記

- ・ カスタムモードは品質保証外のモードであり、所定の機能、性能は保たれないことがあります。そのまま使い続けると、プリンターが故障する原因となることがあります。
- ・ カスタムモードでは、「[ドラム寿命動作]」(P. 180) の設定が無視されます。また、トナーカートリッジやドラムカートリッジの残量表示が行われません。

補足

- ・ カスタムモードから通常モードに戻すには、次の手順 4 で [オフ] を選びます。
- ・ カスタムモードが [オフ] のときに、これまでにカスタムモードを一度でもオンにしたことがある場合は、「機能設定リスト」の [カスタムモード] の項目に [*] が表示されます。

1. 操作パネルの **〈▼〉** と **OK** ボタンを同時に押します。
消耗品メニューが表示されます。

消耗品メニュー
シリアル番号

2. [カスタムモード] が表示されるまで **〈▼〉** を押します。

消耗品メニュー
カスタムモード

3. **〈▶〉** または **OK** ボタンを押します。
現在の設定が表示されます。

カスタムモード
•オフ

4. **〈▼〉** ボタンを押して、[オン] を表示します。

カスタムモード
オン

5. **〈▶〉** または **OK** ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

カスタムモードの設定を
[OK] で変更します

6. **OK** ボタンを押します。
カスタムモードへの変更が開始されます。

変更完了
電源を切/入する

プリントできます
カスタムモード

7. 電源を切り、ディスプレイの表示が消えた後、10 秒待ってから、電源を入れます。
起動後にカスタムモードに切り替わります。

13.7 最新のソフトウェアを入手する

最新のソフトウェアは弊社公式サイトからダウンロードできます。
ここでは、Windows® 7 および Windows® 10 を例に手順を説明します。

補足

- ・ 通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

1. [スタート] > [デバイスとプリンター] をクリックします。
Windows® 10 の場合は、[スタート] > [Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [デバイスとプリンター] をクリックします。
2. 本機のアイコンを右クリックし、[印刷設定] を選びます。
3. [詳細設定] タブ > [バージョン情報] をクリックします。
4. [NEC Web サイト] をクリックします。
Web ブラウザーが起動し、弊社公式サイトが表示されます。
5. 表示されるサイト上の指示に従って、必要なソフトウェアをダウンロードします。

補足

- ・ ダウンロードサイトのアドレス (URL) は次のとおりです。
<https://jpn.nec.com/printer/laser/download/index.html>
- ・ ソフトウェア機能の最新情報については、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

13.8 本機のファームウェアを更新する

弊社公式サイトでは、本機のファームウェア（本機に組み込まれたソフトウェア）をお使いのコンピュータから更新できるツールを提供しています。最新のファームウェアおよび更新ツールは、次のURLからダウンロードできます。

<https://jpn.nec.com/printer/laser/download/index.html>

表示されるサイト上の指示に従って、必要なファームウェアや更新ツールをダウンロードしてください。

補足

- ・ 通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

13.9 ART IV、ESC/P エミュレーションについて

エミュレーションについて

プリントデータは、ある規則（文法）に従ったデータになっています。本機では、この規則（文法）をプリント言語とといいます。

本機が対応しているプリント言語は、ページ単位にイメージを作るページ記述言語と、他社のプリンターでのプリント結果に近い結果を得ることができるエミュレーションに分類できます。なお、他社のプリンターでのプリント結果に近い結果を得ることを、エミュレートするといいます。

エミュレーションモード

本機が対応するページ記述言語以外のデータをプリントするときは、本機をエミュレーションモードにします。本機には、複数のエミュレーションモードがあります。その中の ESC/P エミュレーションモードと、エミュレートするプリンターの対応は、次のとおりです。

エミュレーションモード	エミュレートするプリンター
ESC/P エミュレーションモード (ESC/P モード)	VP-1000

補足

- ・ ART IV (Advanced Rendering Tools) は、富士ゼロックス株式会社が開発したページ記述言語です。

ホストインターフェイスとエミュレーション

ホストインターフェイスごとに、対応するプリント言語は異なります。ART IV、ESC/P に対応しているホストインターフェイスは、次のとおりです。

- ・ LPD ポート
- ・ IPP ポート
- ・ USB ポート
- ・ Port9100 ポート

プリント言語の切り替え

本機は、マルチエミュレーションに対応しています。このため、対応するプリント言語の切り替えができるようになっています。

対応するプリント言語を切り替える方法は、次のとおりです。

コマンド切り替え

対応するプリント言語を切り替えるコマンドを用意しています。本機は、コマンドを受け取ると、対応するプリント言語に切り替えます。

自動切り替え

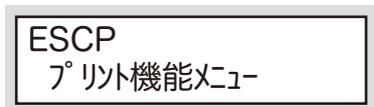
ホストインターフェイスが受信したデータを分析し、プリント言語を自動的に特定します。そして、対応するプリント言語に切り替えます。

インターフェイス従属

操作パネルを使って、ホストインターフェイスごとにプリント言語を設定します。データを受信したホストインターフェイスに合わせて、対応するプリント言語に切り替えます。

モードメニュー画面

エミュレーションモード固有の項目を設定する画面です。ESC/P のモードメニュー画面を表示するには、 (仕様設定) ボタンを押し、[プリント言語の設定] で [ESCP] を選択してください。ESC/P のモードメニュー画面の最初は、次の画面が表示されます。



補足

- ・ ART IV には、モードメニュー画面はありません。

フォントについて

使用できるフォント

各エミュレーションでは、次のフォントが使用できます。

補足

- ・ 使用できるフォントと、その印字見本は、[フォントリスト] で確認できます。

ART IV エミュレーション

使用できるアウトラインフォントは、次のとおりです。

和文

- ・ 明朝 (平成明朝体W3)
- ・ 明朝 (平成明朝体W3 拡張部)
- ・ ゴシック (平成角ゴシック体W5)
- ・ ゴシック (平成角ゴシック体W5 拡張部)

欧文

- ・ 平成明朝体W3 (ローマン)
- ・ 平成角ゴシック体W5 (サンセリフ)
- ・ 平成角ゴシック体W5 (FMT)
- ・ CS Times Roman (Times New Roman)
- ・ CS Times Italic (Times New Roman Italic)
- ・ CS Times Bold (Times New Roman Bold)
- ・ CS Times Bold Italic (Times New Roman Bold Italic)
- ・ CS Triumvirate Regular (Arial)
- ・ CS Triumvirate Italic (Arial Italic)
- ・ CS Triumvirate Bold (Arial Bold)
- ・ CS Triumvirate Bold Italic (Arial Bold Italic)
- ・ CS Courier (Courier New)
- ・ CS Courier Oblique (Courier New Italic)
- ・ CS Courier Bold (Courier New Bold)
- ・ CS Courier Bold Oblique (Courier New Bold Italic)
- ・ CS Symbol (Symbol)
- ・ OCR-BLetM

補足

- ・ CS 書体が指定された場合、本機では () 内のフォントでプリントされます。

ESC/P エミュレーション

使用できるアウトラインフォントは、次のとおりです。

和文

- ・明朝（平成明朝体W3）
- ・明朝（平成明朝体W3 拡張部）
- ・ゴシック（平成角ゴシック体W5）
- ・ゴシック（平成角ゴシック体W5 拡張部）
- ・TBMM（プロポーショナル用）
- ・TBGB（プロポーショナル用）

欧文

- ・平成明朝体 W3（ローマン）
- ・平成角ゴシック体 W5（サンセリフ）
- ・OCR-BLetM

ユーザー定義文字（外字）

ART IV および ESC/P エミュレーションモードでは、ユーザー定義文字（外字）を使用できます。

ユーザー定義文字はメモリーに格納され、電源を切ると消去されます。

ユーザー定義文字を格納する容量は、操作パネルから設定できますが、ART IV のユーザー定義データの容量と合わせた値です。ESC/P エミュレーションモードでのユーザー定義文字の容量は変更されません。

ユーザー定義文字は、ビットマップフォントとして登録します。ユーザー定義文字は、各プリント言語の間で共有できません。

フォントキャッシュ

高速プリントを実現するために、ある程度の大きさまでのアウトラインフォントについては、フォントキャッシュを実行します。アウトラインフォントを印字するときには、一度、ビットマップの形式に変換されます。この処理時間をできるだけ短縮するために、処理後のビットマップ形式のデータを、メモリーに保存しておきます。これをフォントキャッシュといいます。

保存されたビットマップ形式のデータは、電源を切ったり、システムリセットをしたりすると、消去されます。

排出機能について

排出機能について説明します。排出機能には、次の 2 種類があります。

- ・残ったデータを強制排出する場合
- ・プリンター内のすべてのジョブを排出する場合

残ったデータを強制排出する場合

ESC/P エミュレーションモードでは、1 ページ分のデータがすべてそろそろまで、データは排出されません。USB インターフェイスの場合、データの最後がページの途中で終了してしまうと、[自動排出時間]で設定されている時間が経過するまで、次のデータ待ちになります。ディスプレイには[データ待ちです]が表示されます。

強制排出は、このようなときに、自動排出時間を待たないで、プリンター内のデータを強制的にプリントする操作です。

操作手順は、次のとおりです。

💡 補足

- ・ ディスプレイに [データ待ちです] が表示されている場合、次のジョブを送信すると正常にプリントされないことがあります。
次のジョブは、強制排出後、または自動排出時間が経過してから送信してください。

📖 参照

- ・ 自動排出時間については「自動排出時間」(P. 158)を参照してください。

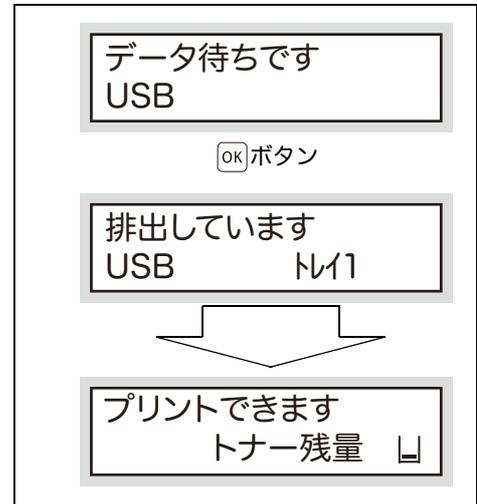
1. ディスプレイに右図の [データ待ちです] が表示されている状態で、**OK** ボタンを押します。

プリントが開始されます。

プリントが終了すると、[プリントできます] が表示されます。

! 注記

- ・ 共通メニュー項目の [プリントモード指定] が [自動] の場合、[データ待ちです] と表示されないため、強制排出できません。



プリンター内のすべてのジョブを排出する場合

プリンターが受信している、すべてのジョブをプリントします。

この操作で、データの受信を中断し、バッファを空の状態にできます。次に、手順を説明します。

1. ディスプレイに右図の [プリントしています] が表示されている状態で、**|||** (オンライン) ボタンを押します。

💡 補足

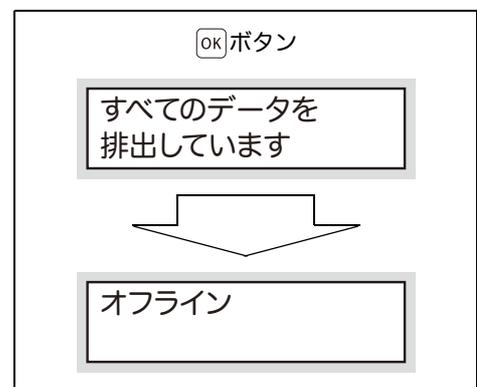
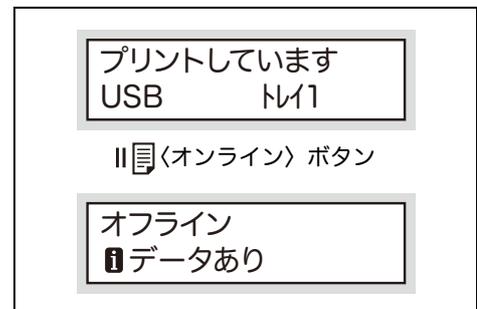
- ・ **|||** (オンライン) ボタンを押すと、プリンターはデータを受信できない状態になります。

2. **OK** ボタンを押します。
プリントが開始されます。

すべてのジョブを実行してプリントすると、[オフライン] の表示になります。

💡 補足

- ・ USB インターフェイスを使用している場合、手順 1 の **|||** (オンライン) ボタンを押すタイミングによって、データ受信がジョブの途中になることがあります。

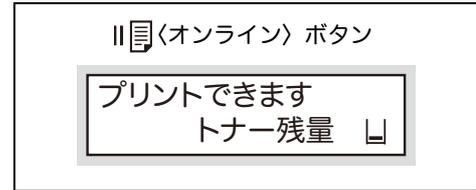


この場合、それ以降のデータは **OK** ボタンを押したあと、新しいジョブとして認識されます。手順 3 のオフライン解除後、新しいジョブとして処理されます。

3. **|||**〈オンライン〉 ボタンを押します。
【プリントできます】の表示になります。

💡 補足

- ・【プリントできます】表示後、新しいジョブとして処理されるデータは、共通メニュー項目の【プリントモード指定】で【自動】が設定されている場合、正常にプリントされないことがあります。



エミュレーションモードでのプリント機能

ART IV または ESC/P エミュレーションモードで使用できる、本機のプリント機能について説明します。

N アップ (ESC/P)

N アップは、複数ページを縮小して、1 枚の用紙にプリントする機能です。ESC/P エミュレーションモードでは、2 アップを利用できます。

フォーム合成

あらかじめフォームをプリンターに登録しておき、プリントデータに合成してプリントできます。ESC/P エミュレーションモードからは、ESC/P および ART IV のフォームが使用でき、操作パネルから、合成するフォームを指定します。

バーコード

ESC/P および ART IV エミュレーションモードでは、バーコードを利用できます。利用できるバーコード規格は、次のとおりです。

- ・ Code39
- ・ JAN-8
- ・ JAN-13
- ・ Code 128
- ・ NW7 (CODABAR)
- ・ ITF (Interleaved 2 of 5)
- ・ IDF (Industrial 2 of 5)
- ・ Post (Japanese postal Customer Code)
- ・ QR Code
- ・ Matrix 2of5

フォームについて

本機では、ART IV、または ESC/P を使用して定形のフォームに登録できます。登録できるフォームの数は、次のとおりです。

	ART IV	ESC/P
ハードディスクなし	64	64
ハードディスクあり	2048	64

補足

- ・フォーム登録数の上限を超えてフォームを登録しようとした場合、またはフォーム用のメモリー容量がいっぱいになった場合、フォーム登録の操作中にエラーなどは表示されませんが、新しいフォームは登録されません。

参照

- ・フォームが登録されたかどうかは、[ART IV, ESC/P ユーザー定義リスト] で確認してください。

ART IV、および ESC/P に関連する共通メニュー

ART IV および ESC/P に関連する共通メニューの設定項目について、説明します。

■ ネットワーク / ポート設定

[機械管理者メニュー] > [ネットワーク / ポート設定] で、エミュレーションモードで使用するポートの設定を行います。

- ・ポートの起動 (LPD/IPP/USB/Port9100)
エミュレーションモードで使用するポートを起動します。
- ・プリントモード指定 (LPD/IPP/USB/Port9100)
各ポートのプリントモード指定を、ART IV、または ESC/P エミュレーションが使用できるように設定します。プリントモードとして [ART IV] や [ESC/P]、[HexDump]などを指定できます。初期値は、すべてのポートで [自動] です。

補足

- ・[プリントモード指定] では、ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここで [ART IV] や [ESC/P] を設定すると、「プリント言語の切り替え」(P. 378) で説明している「自動切り替え」は、できなくなります。

■ メモリー設定

[機械管理者メニュー] > [メモリー設定] で、ART IV のフォーム、およびユーザー定義で使用するメモリー容量を指定します。

- ・ART IV フォームメモリー
128 ~ 2048 KB の間で、32 KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は [128KB] です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。オプションの機能拡張キット (ハードディスク) が取り付けられている場合は、[ハードディスク] と表示されます。
- ・ART IV ユーザー定義メモリー
32 ~ 2048 KB の間で、32 KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値は [32KB] です。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。

■ フォームの削除

[機械管理者メニュー] > [初期化 / データ削除] > [フォーム / マクロの削除] で、本機に登録されているフォームを削除します。登録されているフォームがない場合は、[フォーム登録はありません] と表示されます。

- ・ART IV フォーム削除
ART IV 用のフォームを削除します。
- ・ESC/P フォーム削除
ESC/P 用のフォームを削除します。

ESC/P 設定項目一覧

プリント機能メニュー

用紙トレイ

プリントに使用する用紙トレイを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[自動]
[トレイ 1] (初期値)
[トレイ 2]
[トレイ 3]
[トレイ 4]
[手差しトレイ]

補足

- ・ [トレイ 1] ~ [トレイ 4] を選択した場合、トレイにセットされている用紙の大きさが用紙サイズとなるため [用紙サイズ] の設定はできません。
- ・ [自動] に設定すると、[用紙サイズ] で設定した用紙がセットされている用紙トレイを探し出し、そこから自動給紙します。
- ・ [自動] を選択した場合、同じサイズの用紙が同じ用紙方向で複数のトレイにセットされているときは、共通メニューで設定されているトレイの優先順位に従って給紙されます。
- ・ [トレイ 2] ~ [トレイ 4] は、トレイモジュール (オプション) が装着されている場合にのみ表示されます。

用紙サイズ

プリントする用紙のサイズを設定します。[用紙トレイ] の設定が [自動]、または [手差しトレイ] の場合に設定できます。また、設定できる用紙は、カット紙だけです。

候補値は、次のとおりです。

[A4] (初期値)
[A3] [A5]
[B4] [B5]
[11×17"] (タブロイド)
[8.5×14"] (リーガル)
[8.5×13"] (フォリオ)
[8.5×11"] (レター)
[はがき] ([用紙トレイ] が [手差しトレイ] の場合だけ)

補足

- ・ [倍率] で [固定倍率] または [カット紙全面] が設定されている場合、[原稿サイズ] と [用紙サイズ] の組み合わせで倍率が自動的に設定されます。また、2 アップモードが設定されている場合は、[原稿サイズ] と [用紙サイズ] の 1/2 の組み合わせで倍率が自動設定されます。
- ・ [用紙トレイ] を、[トレイ 1] ~ [トレイ 4] のどれかに設定しているときは、[用紙サイズ] を設定できません。設定しているトレイにセットされている用紙サイズが表示されます。

原稿サイズ

クライアントで作成された原稿のサイズと向きを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[用紙□] (初期値)
[用紙□]
[A4□] [A4□] [A3□] [A3□] [A5□] [A5□] [B4□]
[B4□] [B5□] [B5□] [はがき□] [はがき□]

[11×17"□] [11×17"□] (タブロイド)
[8.5×14"□] [8.5×14"□] (リーガル)
[8.5×13"□] [8.5×13"□] (フォリオ)
[8.5×11"□] [8.5×11"□] (レター)
[R15×12"□] (連続紙 15×12 印字保証桁 136 桁 /72 行)
[R15×11"□] (連続紙 15×11 印字保証桁 136 桁 /66 行)
[R10×12"□] (連続紙 10×12 印字保証桁 80 桁 /72 行)
[R10×11"□] (連続紙 10×11 印字保証桁 80 桁 /66 行)

補足

- ・ [倍率] で [固定倍率] または [カット紙全面] が設定されている場合、[原稿サイズ] と [用紙サイズ] の組み合わせで倍率が自動設定されます。また、2 アップモードが設定されている場合は、[原稿サイズ] と [用紙サイズ] の 1/2 の組み合わせで、倍率が自動設定されます。
- ・ ここで設定する方向は、原稿の向きです。トレイ内の用紙のセットの方向には、影響しません。
- ・ [用紙□]、[用紙□] を選択した場合は、[用紙サイズ] で指定したサイズと同じになります。

プリント部数

■ 部数の入力

プリントする部数を設定します。

設定できる範囲は、1 (初期値) ~ 250 部です。

補足

- ・ クライアントからプリント部数の指定があった場合、その値が反映されてプリントされます。プリント後、操作パネルの設定もその値に書き換えられます。ただし、LPD ポートから指定された部数は、プリント後、操作パネルの設定を書き換えることはありません。
- ・ <▼> または <▲> ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続して表示を変えることができます。また、<▼> と <▲> ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

■ 部数の優先指定

プリント部数の指定方法を設定します。

候補値は次のとおりです。

[プロトコル]

[メモリー登録設定]

[コマンド] (初期値)

倍率

■ 固定倍率 (初期値)

設定されている原稿サイズと用紙サイズから倍率が自動算出され、原稿サイズの印字エリアが用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。このため、原稿サイズと用紙サイズが同じなら、100% (等倍) 印字となります。また、2 アップが設定されている場合には、2 枚分の原稿サイズが 1 枚の用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されます。

■ 任意倍率

任意の倍率値を設定します。縦および横について、それぞれ独立して 45 ~ 210% の間で 1% 単位で設定できます。初期値は、[たて 100% よこ 100%] です。

■ カット紙全面

カット紙全面領域が印字エリアに印字されます。

カット紙全面とは、設定されている原稿サイズと、用紙サイズから自動算出される倍率のことです。設定されている原稿サイズの物理的な紙の大きさが、用紙サイズの印字エリアに収まるように印字されません。

補足

- ・ [原稿サイズ] で連続紙が設定されている場合、[固定倍率] または [カット紙全面] は同じ印字結果になります。
- ・ [任意倍率] の縦と横は、<▶> または <◀> ボタンでカーソルを移動し、指定してください。また、<▼> または <▲> ボタンで倍率値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続して表示を変えることができます。<▼> と <▲> ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

両面

両面プリントを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[しない] (初期値)

両面プリントを行いません。

[左右開き]

左右開きになるようにプリントします。

[上下開き]

上下開きになるようにプリントします。

補足

- ・ [用紙サイズ] で [はがき] が選択されている場合は、[左右開き]、[上下開き] は選択できません。

2 アップ

2 アップとは、2 ページ分のデータを 1 ページに印字する機能です。用紙方向によって、上下、または左右のいずれかに印字されます。

候補値は、次のとおりです。

[しない] (初期値)

2 アップ印字を行いません。

[順方向]

2 アップ印字を行います。最初に受信したページを用紙の左側、または上側に印字します。

[逆方向]

2 アップ印字を行います。最初に受信したページを用紙の右側、または下側に印字します。

注記

- ・ [原稿サイズ] で横向きを指定している場合、[順方向] と [逆方向] のどちらを設定しても、同じ結果となります。

排出先

プリントした用紙の排出先トレイを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[センタートレイ] (初期値)

[フェイスアップトレイ]

補足

- ・ [フェイスアップトレイ] は、フェイスアップトレイ (オプション) が装着されている場合に設定できます。

手差し確認待ち

手差しトレイから給紙するプリント指示をしたあと、本体側の操作 (OK ボタンを押す) によって、プリントを開始する機能です。[する] または [しない] (初期値) から選択します。

フォント

■ 漢字書体

2 バイト系文字 (漢字) の書体を、[明朝] (初期値)、または [ゴシック] から選択します。なお、2 バイト系半角文字も、この書体が適用されます。

■ 英数字書体

1 バイト系文字 (ANK) の書体を、[ローマン] (初期値)、または [サンセリフ] から選択します。

補足

- ・ 本設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。

参照

- ・ 「フォントについて」 (P. 379)

用紙位置

カットシートフィーダー設定の有無による用紙位置を設定します。

候補値は、次のとおりです。

[CSF なし] (初期値)

カットシートフィーダー設定をなしに設定し、印字データに改ページ (FF) が含まれた場合、ページ長設定に従って、紙送りをします。

[CSF あり]

カットシートフィーダー設定をありに設定し、印字データに改ページ (FF) が含まれた場合、用紙を排出します。

位置補正

データをプリントする位置を縦または横方向に移動し、余白の位置を変えます。

■ 上下方向

-250 ~ 250 mm の範囲で、1 mm 単位で設定できます。初期値は、[0mm] です。

インチ表示の場合、-9.8 ~ 9.8" の範囲で、0.1" 単位で設定できます。初期値は、[0.0"] です。

■ 左右方向

-250 ~ 250 mm の範囲で、1 mm 単位で設定できます。初期値は、[0mm] です。

インチ表示の場合、-9.8 ~ 9.8" の範囲で、0.1" 単位で設定できます。初期値は、[0.0"] です。

補足

- ・ 印字エリアを超えるデータは、位置補正をしても印字されません。また、位置補正により印字エリアを超えたデータは、印字されません。
- ・ <▼> または <▲> ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続して表示を変えることができます。また、<▼> と <▲> ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

罫線

2 バイト系罫線の印字方法を設定します。

候補値は、次のとおりです。

[イメージ] (初期値)

2 バイト系罫線をイメージでプリントします。罫線とイメージデータのずれがなくなります。

[フォント]

2 バイト系罫線をプリンター内蔵のフォントでプリントします。選択した書体と統一した罫線が印字されます。

印字制御

■ 漢字コード表

使用する漢字コード表 (2121 ~ 287E) を設定します。

候補値は、次のとおりです。

[エプソン] (初期値)

セイコーエプソン株式会社の VP-1000 のコード体系に設定します。

[東芝]
株式会社東芝の J-3100 のコード体系に設定します。

■ 白紙節約

改ページだけのデータのように、プリントするデータがまったくない場合に、白紙を排出するかどうかを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[する] (初期値)

白紙のページは、排出されません。

[しない]

白紙のページも、排出されます。

補足

- ・ [する] に設定した場合でも、外字で作成されたスペースや、白だけのイメージデータのときは白紙が排出されます。
- ・ [する] が設定され、2 アッププリントまたは両面プリントの指示がされている場合は、白紙になるページはスキップして処理されます。

■ イメージ エンハンス

イメージエンハンスとは、白黒の境目を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。

イメージエンハンスを行うか行わないかを設定します。

[しない]

イメージエンハンス機能を使用しないで、プリントします。

[する] (初期値)

イメージエンハンス機能を使用して、プリントします。

■ 印字桁範囲

右マージンの位置を拡張できます。

候補値は、次のとおりです。

[標準] (初期値)

右マージン位置を 10dpi で 136 桁位置に設定します。

[範囲拡張]

印字倍率の設定によって、10dpi で 136 桁位置の右側に余白がある場合に右マージン位置を拡張し、その領域にも印字します。

補足

- ・ [印字桁範囲] を [範囲拡張] から [標準] に設定変更した場合は、左右マージン値が初期化されません。
- ・ コマンドで右マージン位置が設定された場合は、その位置が右端となります。

■ 文字コード

日本語表記に使用する文字コードを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[JIS] (初期値)

JIS コードに設定します。

[Shift-JIS]

Shift-JIS コードに設定します。

■ キャラクター モード

キャラクターモードとは、通常 16 進数で表記されるプリンター用コマンドを、キャラクターで記述してプリンターへ送信して制御する機能です。IBM のホストコンピューターから、キャラクターモード対応のコンピューターを経由して、プリンター制御コマンドを直接送る場合は、開始宣言文字列に「&\$%\$」、「\$?!#」のどちらかを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[オフ] (初期値)

キャラクターモードを設定しません。

[&\$\$Entry]

開始宣言文字列に「&\$\$」を使用します。

[\$?!#Entry]

開始宣言文字列に「\$?!#」を使用します。

ESCP スイッチ

補足

- ・ [文字品位]、[縮小文字]、[文字コード表]、[ページ長] および [1 インチミシン目スキップ] の各設定は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。

■ 文字品位

文字の印字品質モードを [高品位] (初期値)、または [ドラフト] から選択します。

補足

- ・ 設定状態の変更で、実際の印字は変化しません。
- ・ 本設定は、文字品位選択コマンドに影響します。
文字品位選択コマンドについては、商品マニュアルの『リファレンスマニュアル (ESC/P 対応)』を参照してください。

■ 縮小文字

1 バイト系の英数字を印字する場合、文字を縮小して印字することができます。

候補値は、次のとおりです。

[しない] (初期値)

英数字を等倍で印字します。

[する]

英数字を縮小して印字します。

■ 文字コード表

1 バイト系の英数字を印字する場合のコード表の種類を設定します。国内版アプリケーションをお使いの場合は [カタカナ] (初期値) に、海外版アプリケーションをお使いの場合は [拡張グラフィックス] に設定してください。

■ ページ長

1 ページの長さ (印字エリア) を [11 インチ] (初期値)、または [12 インチ] から選択します。

■ 1 インチミシン目スキップ

ページとページの間を、1 インチ空けるか空けないかを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[しない] (初期値)

ページとページの間を空けません。

[する]

ページとページの間を、1 インチ空けます。1 インチ空けるように設定すると、連続紙使用時のミシン目スキップのように、カット紙の場合でもページの間隔を 1 インチ空けて印字できます。

補足

- ・ [用紙位置] でカットシートフィーダーがなしに設定されている場合に、実行されます。

■ 給紙位置

印字開始位置を、用紙の上端からの長さで設定します。[8.5mm] (初期値)、または [22mm] から選択します。インチ表示の場合は、[0.3"] (初期値)、または [0.9"] から選択します。

■ CR の機能

CR コマンド受信時の動作を設定します。

候補値は、次のとおりです。

[復帰] (初期値)

印字復帰だけを行います。

[復帰 / 改行]

印字復帰し、直後に改行を行います。

■ 0 の字体

数字の 0 の字体を、[斜線なし] (初期値) または [斜線あり] のどちらかに設定します。

■ バーコードモード

バーコードをプリントするときは、バーコードモードに設定することで、よりバーコードに適したプリントができます。

[無効] (初期値) または [有効] から選択します。

拡張子指定

指定した拡張子を有効にするかどうかを、[有効]、または [無効] (初期値) で設定します。弊社の拡張コマンドを使用している場合は、[有効] に設定してください。

補足

- ・ 拡張コマンドは、先頭に拡張子、次にコマンド判別データ、そして必要であればパラメーターデータが続く形式になっています。拡張子とは、拡張コマンドの先頭 2 バイト (16 進数で 1BH である ESC とそれに続く ; (セミコロン = 3BH)) のことです。

拡張子文字

弊社の拡張コマンドを使用している場合は、実際に使用しているデータに合わせて適切なコードを設定してください。有効コードは、0x21 ~ 0x7d です。初期値は、[&%] です。

補足

- ・ 拡張コマンドは、先頭に拡張子、次にコマンド判別データ、そして必要であればパラメーターデータが続く形式になっています。拡張子とは、拡張コマンドの先頭 2 バイト (16 進数で 1BH である ESC とそれに続く ; (セミコロン = 3BH)) のことです。

フォーム合成

ESC/P および ART IV モードで登録されているフォーム名 (各モード No.01 ~ 64) を選択すると、常にフォーム合成を行います。初期値は、[しない] です。

補足

- ・ この項目は、初期値を選択する機能のため、拡張コマンドが送られてきた場合には反映されません。
- ・ フォームを選択したあとで、フォームが削除された場合でも、再び本メニューを表示したときには、そのフォーム名が表示されます。ただし、その表示状態から〈▼〉または〈▲〉ボタンで表示を変更すると、削除されたフォームは表示されなくなります。この場合は、[しない] に設定されます。
- ・ フォームが登録されていない状態で、フォーム合成を選択した場合は、[フォーム登録はありません] というメッセージが表示されます。

メモリーメニュー

NV メモリー (No.01 ~ 20) に設定内容を登録し、必要に応じて呼び出すことができます。

立ち上げメモリー

立ち上げメモリーとは、あらかじめ [メモリー登録] で登録しておいた NV メモリー (No.01 ~ 20) を電源投入時やシステムリセット時などに読み出すことです。

ここでは、読み出す NV メモリーの No. を設定します。

初期値は、[工場出荷時] です。工場出荷時の設定内容を読み出して立ち上げます。

メモリー呼び出し

あらかじめ登録されている設定内容を呼び出す機能です。

呼び出すメモリーの No. を設定します。

初期値は、[工場出荷時] です。工場出荷時の設定内容を呼び出します。

メモリー登録

メモリーには、工場出荷時の設定内容と、ユーザーが設定内容を保存できる NV メモリー (No.01 ~ 20) があります。

メモリー登録では、NV メモリー (No.01 ~ 20) にあらかじめ設定したモードメニューの各種設定内容を、ひとまとめにして登録します。

登録しておくことで、モードメニューの設定内容を簡単に呼び出したり、電源投入時に、毎回同じ設定を繰り返したりする必要がなくなります。

登録した設定内容は、NV メモリーの初期化、またはメモリー削除を行うまで保持されます。

メモリー削除

NV メモリーに登録した設定内容を削除します。

ここでは、削除するメモリーの No. を設定します。

補足

- ・メモリーに設定内容が登録されていない場合、[No.01] ~ [No.20] は表示されません。[メモリー登録はありません] というメッセージが表示されます。

エミュレーションモードのリストについて

参照

- ・その他のレポート / リストについては、「レポート / リストの種類」(P. 258) を参照してください。

ESC/P 設定リスト

ESC/P エミュレーションモードでの設定値を確認できます。

操作パネルで、[レポート / リスト] > [プリント言語] > [ESC/P 設定リスト] を選択し、プリントします。

フォントリスト

本機で利用できるフォントの一覧がプリントされます。ART IV、ESC/P で利用できるフォントと、その印字見本を確認できます。

操作パネルで、[レポート / リスト] > [フォント リスト] を選択し、プリントします。

ART IV, ESC/P ユーザー定義リスト

登録したフォーム、ロゴ、ユーザー定義領域の使用状況などを確認できます。

操作パネルで、[レポート / リスト] > [ユーザー定義リスト] を選択し、プリントします。

ESC/P 論理プリンター・メモリー登録リスト

NV メモリーに登録されている No.01 ~ 20 の各設定値を確認できます。

操作パネルで、[レポート / リスト] > [プリント言語] > [ESC/P 登録リスト] を選択し、プリントします。

ART-EX フォーム登録リスト

オーバーレイ印字機能で、フォームとして登録した文書の一覧を確認できます。
 操作パネルで、[レポート/リスト] > [プリント言語] > [ART EX フォームリスト]
 を選択し、プリントします。

ESC/P モード関連資料

倍率値一覧表

固定倍率値

原稿 サイズ	用紙 サイズ	A3	A4	A5	B4	B5	11×17	8.5×14	8.5×13	8.5×11	ハガキ
A3	長辺	100	70	49	86	60	103	84	78	66	100
	短辺	100	70	48	86	60	94	72	72	72	100
A4	長辺	143	100	70	123	86	147	120	112	94	48
	短辺	143	100	69	123	86	135	103	103	103	45
A5	長辺	204	143	100	177	123	210	172	160	135	69
	短辺	207	145	100	178	124	195	149	149	149	65
B4	長辺	116	81	57	100	70	119	98	90	76	100
	短辺	116	81	56	100	70	109	83	83	83	100
B5	長辺	164	116	81	143	100	171	140	130	109	56
	短辺	164	116	81	143	100	156	120	120	120	53
11×17	長辺	97	68	48	84	59	100	82	76	64	100
	短辺	106	74	51	92	64	100	77	77	77	100
8.5×14	長辺	119	83	58	102	72	122	100	93	78	100
	短辺	139	97	67	120	84	131	100	100	100	100
8.5×13	長辺	128	90	63	111	77	132	108	100	84	100
	短辺	139	97	67	120	84	131	100	100	100	100
8.5×11	長辺	152	106	74	131	92	156	128	119	100	100
	短辺	139	97	67	120	84	131	100	100	100	100
ハガキ	長辺	100	100	145	100	178	100	100	100	100	100
	短辺	100	100	153	100	190	100	100	100	100	100
15×11	長辺	119	83	58	103	72	122	100	93	78	100
	短辺	103	72	50	89	62	97	74	74	74	100
15×12	長辺	119	83	58	103	72	122	100	93	78	100
	短辺	95	66	46	81	57	89	68	68	68	100
10×11	長辺	147	103	72	127	89	151	124	115	97	50
	短辺	142	99	68	122	85	133	102	102	102	45

原稿 サイズ	用紙 サイズ	A3	A4	A5	B4	B5	11×17	8.5×14	8.5×13	8.5×11	ハガキ
10×12	長辺	135	95	66	117	81	139	114	105	89	46
	短辺	142	99	68	122	85	133	102	102	102	45

単位：[%]

 補足

- ・長辺または短辺の倍率値が 45 ~ 210% の範囲外の場合には、長辺と短辺の両方の倍率値は 100% となります。

固定倍率値（2 アップ指定時）

原稿 サイズ	用紙 サイズ	A3/ 2	A4/ 2	A5/ 2	B4/ 2	B5/ 2	11×17 /2	8.5×14 /2	8.5×13 /2	8.5×11 /2	ハガキ /2
A3	長辺	70	49	100	60	100	66	50	50	50	100
	短辺	70	48	100	60	100	72	59	54	45	100
A4	長辺	100	70	48	86	60	94	72	72	72	100
	短辺	100	69	48	86	59	103	84	78	65	100
A5	長辺	143	100	69	123	86	135	103	103	103	45
	短辺	145	100	69	124	86	149	121	112	94	47
B4	長辺	81	57	100	70	49	76	58	58	58	100
	短辺	81	56	100	70	48	83	68	63	53	100
B5	長辺	116	81	56	100	70	109	83	83	83	100
	短辺	116	80	55	100	69	120	98	90	76	100
11×17	長辺	68	48	100	59	100	64	49	49	49	100
	短辺	74	51	100	64	100	77	62	58	48	100
8.5×14	長辺	83	58	100	72	50	78	60	60	60	100
	短辺	97	67	100	84	57	100	82	75	63	100
8.5×13	長辺	90	63	100	77	54	84	64	64	64	100
	短辺	97	67	100	84	57	100	82	75	63	100
8.5×11	長辺	106	74	51	92	64	100	77	77	77	100
	短辺	97	67	46	84	57	100	82	75	63	100
ハガキ	長辺	100	145	100	178	124	100	149	149	149	65
	短辺	100	153	105	190	131	100	185	172	144	71
15×11	長辺	83	58	100	72	100	78	60	60	60	100
	短辺	72	50	100	62	100	74	60	56	47	100
15×12	長辺	83	58	100	72	100	78	60	60	100	100
	短辺	66	46	100	57	100	68	55	51	100	100
10×11	長辺	103	72	50	89	62	97	74	74	74	100
	短辺	99	68	47	85	59	102	83	77	64	100

原稿 サイズ	用紙 サイズ	A3/ 2	A4/ 2	A5/ 2	B4/ 2	B5/ 2	11×17 /2	8.5×14 /2	8.5×13 /2	8.5×11 /2	ハガキ /2
10×12	長辺	95	66	46	81	57	89	68	68	68	100
	短辺	99	68	47	85	59	102	83	77	64	100

単位：[%]

 補足

- ・長辺または短辺の倍率値が45～210%の範囲外の場合には、長辺と短辺の両方の倍率値は100%となります。

カット紙全面倍率値

原稿 サイズ	用紙 サイズ	A3	A4	A5	B4	B5	11×17	8.5×14	8.5×13	8.5×11	ハガキ
A3	長辺	98	69	48	85	59	101	83	77	64	100
	短辺	97	68	47	84	58	91	70	70	70	100
A4	長辺	138	97	68	120	84	142	117	108	91	100
	短辺	137	96	66	118	82	129	99	99	99	100
A5	長辺	196	137	96	169	118	201	165	153	129	66
	短辺	195	136	94	168	117	183	140	140	140	62
B4	長辺	113	79	55	98	68	116	95	88	74	100
	短辺	112	78	54	97	67	105	81	81	81	100
B5	長辺	160	112	78	138	97	165	135	125	105	54
	短辺	158	110	76	136	95	149	114	114	114	50
11×17	長辺	95	67	47	82	57	98	80	74	63	100
	短辺	103	72	50	89	62	97	74	74	74	100
8.5×14	長辺	116	81	57	100	70	119	98	90	76	100
	短辺	133	93	64	115	80	125	96	96	96	100
8.5×13	長辺	125	87	61	108	75	128	105	97	82	100
	短辺	133	93	64	115	80	125	96	96	96	100
8.5×11	長辺	147	103	72	127	89	151	124	115	97	100
	短辺	133	93	64	115	80	125	96	96	96	100
ハガキ	長辺	100	195	136	100	168	100	100	100	183	94
	短辺	100	201	139	100	173	100	100	100	207	91
15×11	長辺	135	95	66	117	81	139	105	114	89	46
	短辺	142	99	68	122	85	133	102	102	102	45
15×12	長辺	135	95	66	117	81	139	105	114	89	46
	短辺	142	99	68	122	85	133	102	102	102	45
10×11	長辺	147	103	72	127	89	151	115	124	97	50
	短辺	142	99	68	122	85	133	102	102	102	45

原稿 サイズ	用紙 サイズ	A3	A4	A5	B4	B5	11×17	8.5×14	8.5×13	8.5×11	ハガキ
10×12	長辺	147	103	72	127	89	151	124	115	97	50
	短辺	142	99	68	122	85	133	102	102	102	45

単位：[%]

 補足

- ・長辺または短辺の倍率値が 45 ~ 210% の範囲外の場合には、長辺と短辺の両方の倍率値は 100% となります。

カット紙全面倍率値 (2 アップ指定時)

原稿 サイズ	用紙 サイズ	A3/ 2	A4/ 2	A5/ 2	B4/ 2	B5/ 2	11×17 /2	8.5×14 /2	8.5×13 /2	8.5×11 /2	ハガキ /2
A3	長辺	69	48	100	59	100	64	49	49	100	100
	短辺	68	47	100	58	100	70	57	53	100	100
A4	長辺	97	68	47	84	58	91	70	70	70	100
	短辺	96	66	46	82	57	99	80	74	62	100
A5	長辺	137	96	66	118	82	129	99	99	99	100
	短辺	136	84	65	117	80	140	114	106	88	100
B4	長辺	79	55	100	68	48	74	57	57	57	100
	短辺	78	54	100	67	46	81	66	61	51	100
B5	長辺	112	78	54	97	67	105	81	81	81	100
	短辺	110	76	53	95	65	114	93	86	72	100
11×17	長辺	67	47	100	57	100	63	48	48	48	100
	短辺	72	50	100	62	100	74	60	56	47	100
8.5×14	長辺	81	47	100	70	49	76	58	58	58	100
	短辺	93	50	100	80	55	96	78	72	61	100
8.5×13	長辺	87	61	100	75	52	82	63	63	63	100
	短辺	93	64	100	80	55	96	78	72	61	100
8.5×11	長辺	103	89	100	89	72	97	74	74	74	100
	短辺	93	80	100	80	55	96	78	72	61	100
ハガキ	長辺	195	136	94	168	117	183	140	140	140	62
	短辺	201	139	96	173	119	207	169	156	131	65
15×11	長辺	95	66	46	81	57	89	68	68	68	100
	短辺	99	68	47	85	59	102	83	77	64	100
15×12	長辺	95	66	46	81	57	89	68	68	68	100
	短辺	99	68	47	85	59	102	83	77	64	100
10×11	長辺	103	72	50	89	62	97	74	74	74	100
	短辺	99	68	47	85	59	102	83	77	64	100

原稿 サイズ	用紙 サイズ	A3/ 2	A4/ 2	A5/ 2	B4/ 2	B5/ 2	11×17 /2	8.5×14 /2	8.5×13 /2	8.5×11 /2	ハガキ /2
10×12	長辺	103	72	50	89	62	97	74	74	74	100
	短辺	99	68	47	85	59	102	83	77	64	100

単位：[%]

 補足

- ・長辺または短辺の倍率値が 45 ~ 210% の範囲外の場合には、長辺と短辺の両方の倍率値は 100% となります。

用紙サイズと印字可能桁数

給紙位置 22 mm の場合

用紙サイズ	縦置き		横置き	
	印字桁数	印字行数	印字桁数	印字行数
A3	113	92	161	63
B4	97	78	139	53
A4	79	63	113	42
B5	68	53	97	35
A5	54	42	79	27
はがき	35	30	54	19
11×17	106	94	166	58
8.5×14	81	76	136	43
8.5×13	81	70	126	43
8.5×11	81	58	106	43

給紙位置 8.5 mm の場合

用紙サイズ	縦置き		横置き	
	印字桁数	印字行数	印字桁数	印字行数
A3	113	95	161	66
B4	97	82	139	56
A4	79	66	113	45
B5	68	56	97	39
A5	54	45	79	31
はがき	35	30	54	19
11×17	106	98	166	62
8.5×14	81	80	136	47

用紙サイズ	縦置き		横置き	
	印字桁数	印字行数	印字桁数	印字行数
8.5×13	81	74	126	47
8.5×11	81	62	106	47

 補足

- ・文字ピッチ 10CPI、行ピッチ 6LPI を基準にした値です。
- ・縦 / 横倍率は、それぞれ 100% です。

カット紙全面の場合

用紙サイズ	縦置き		横置き	
	印字桁数	印字行数	印字桁数	印字行数
A3	116	99	165	70
B4	101	85	143	60
A4	82	70	116	49
B5	71	60	101	42
A5	58	49	82	34
はがき	39	34	58	23
11×17	110	102	170	66
8.5×14	85	84	140	51
8.5×13	85	78	130	51
8.5×11	85	66	110	51

 補足

- ・文字ピッチ 10CPI、行ピッチ 6LPI を基準にした値です。

15 インチ連続紙モード（横固定 / 左置き）の場合

用紙サイズ	15×11		15×12	
	印字桁数	印字行数	印字桁数	印字行数
対応する全用紙サイズ	136	66	136	72

 補足

- ・文字ピッチ 10CPI、行ピッチ 6LPI を基準にした値です。

10 インチ連続紙モード（縦固定 / 中央置き）の場合

用紙サイズ	10×11		10×12	
	印字桁数	印字行数	印字桁数	印字行数
対応する全用紙サイズ	80	66	80	72

補足

- ・ 文字ピッチ 10CPI、行ピッチ 6LPI を基準にした値です。

13.10 HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションについて

エミュレーションについて

プリントデータは、ある規則（文法）に従ったデータになっています。本機では、この規則（文法）をプリント言語といます。

本機が対応しているプリント言語は、ページ単位にイメージを作るページ記述言語と、他社のプリンターでのプリント結果に近い結果を得ることができるエミュレーションに分類できます。なお、他社のプリンターでのプリント結果に近い結果を得ることを、エミュレートするといいます。

エミュレーションモード

本機が対応するページ記述言語以外のデータをプリントするときは、本機をエミュレーションモードにします。本機には、複数のエミュレーションモードがあります。その中の HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションモードと、エミュレートするプリンターの対応は、次のとおりです。

エミュレーションモード	エミュレートするプリンター
HP-GL エミュレーションモード (HP-GL モード)	7586B または DJ750C Plus
HP-GL/2 エミュレーションモード (HP-GL/2 モード)	DJ750C Plus

HP-GL モードの場合は、送られてくるデータによって、HP-GL モード、HP-GL/2 モードと HP-RTL を切り替えます。

HP-GL/2 モードの場合は、HP-GL/2 および HP-RTL 固定となります。

ホストインターフェイスとエミュレーション

ホストインターフェイスごとに、対応するプリント言語は異なります。プリント言語に対応しているホストインターフェイスは、次のとおりです。

- ・LPD ポート
- ・IPP ポート
- ・USB ポート
- ・Port9100 ポート

プリント言語の切り替え

本機は、マルチエミュレーションに対応しています。このため、対応するプリント言語の切り替えができるようになっています。

対応するプリント言語を切り替える方法は、次のとおりです。

コマンド切り替え

対応するプリント言語を切り替えるコマンドを用意しています。本機は、コマンドを受け取ると、対応するプリント言語に切り替えます。

自動切り替え

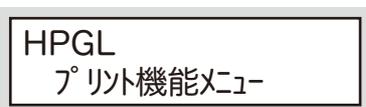
ホストインターフェイスが受信したデータを分析し、プリント言語を自動的に特定します。そして、対応するプリント言語に切り替えます。

インターフェイス従属

操作パネルを使って、ホストインターフェイスごとにプリント言語を設定します。データを受信したホストインターフェイスに合わせて、対応するプリント言語に切り替えます。

モードメニュー画面

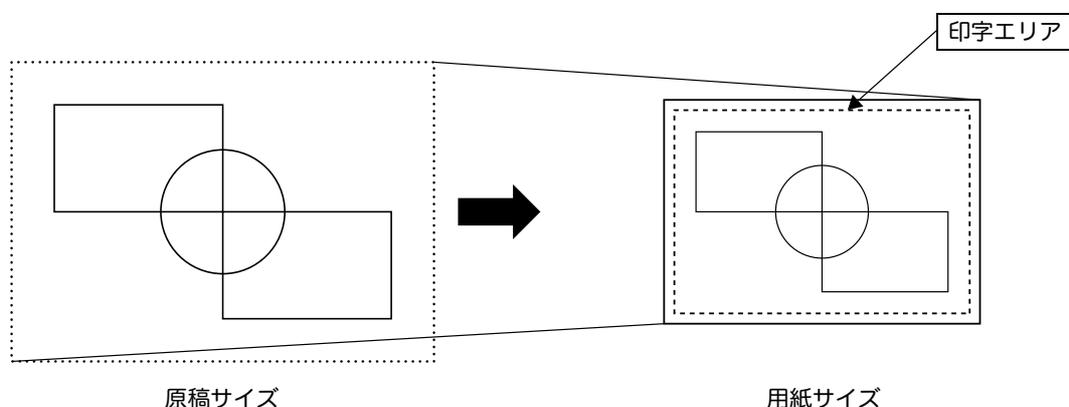
HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションモード固有の項目を設定する画面です。HP-GL、HP-GL/2 のモードメニュー画面を表示するには、 (仕様設定) ボタンを押し、[プリント言語の設定] で [HPGL] を選択してください。HP-GL のモードメニュー画面の最初は、次の画面が表示されます。



工場出荷時の設定

工場出荷時の、HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションモードの設定では、次のようにプリントされます。用紙サイズに合わせて、原稿データを縮小拡大し、プリント（オートレイアウト）するように設定されています。

原稿：自動、スケールモード：用紙サイズ、スケール：する



ペーパーマージン

工場出荷時は用紙サイズが [Aサイズ] に設定されています。少しでもプリントデータが有効座標エリアからはみ出す場合は、次の大きさの A 系列サイズに（例：A5 サイズの次は A4）プリントされます。ペーパーマージンを設定すると、エリア判定モードで求めた有効座標エリアから、ペーパーマージンで設定した領域を差し引いたエリアを有効座標エリアとします。希望の用紙サイズより大きいサイズにプリントされるような場合は、本設定を行ってください。設定範囲は、0～99 mm です。初期値は [0mm] です。インチ表示の場合、0～3.9" で、初期値は [0.0"] です。

フォントについて

使用できるフォント

HP-GL/2 エミュレーションでは、次のフォントが使用できます。

和文

- ・平成明朝体W3
- ・平成角ゴシック体W5

欧文

- ・平成明朝体ローマン
- ・平成角ゴシック体サンセリフ

また、ストロークフォントでは、「欧文 + カタカナ」と日本語が使えます。

フォントキャッシュ

高速プリントを実現するために、ある程度の大きさまでのアウトラインフォントについては、フォントキャッシュを実行します。アウトラインフォントを印字するときには、一度、ビットマップの形式に変換されます。この処理時間をできるだけ短縮するために、処理後のビットマップ形式のデータを、ある期間、メモリーに保存しておきます。これをフォントキャッシュといいます。

保存されたビットマップ形式のデータは、電源を切ったり、システムリセットをしたりすると、消去されます。

排出機能について

排出機能について説明します。排出機能には、次の2種類があります。

- ・残ったデータを強制排出する場合
- ・プリンター内のすべてのジョブを排出する場合

残ったデータを強制排出する場合

HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションモードでは、送信データに排出コマンドに相当するコマンドが含まれなければ、データは排出されません。USB インターフェイスの場合、データの最後がページの途中で終了してしまうと、[自動排出時間] で設定されている時間が経過するまで、次のデータ待ちになります。ディスプレイには [データ待ちです] が表示されます。

強制排出は、このようなときに、自動排出時間を待たずに、プリンター内のデータを強制的にプリントする操作です。

操作手順は、次のとおりです。

💡 補足

- ・ディスプレイに [データ待ちです] が表示されている場合、次のジョブを送信すると正常にプリントされないことがあります。次のジョブは、強制排出後、または自動排出時間が経過してから送信してください。

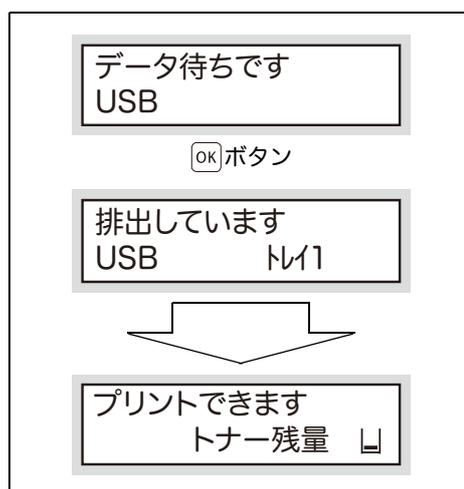
1. ディスプレイに右図の [データ待ちです] が表示されている状態で、**OK** ボタンを押します。

プリントが開始されます。

プリントが終了すると、[プリントできます] が表示されます。

⚠ 注記

- ・共通メニュー項目の [プリントモード指定] が [自動] の場合、[データ待ちです] と表示されないため、強制排出できません。



プリンター内のすべてのジョブを排出する場合

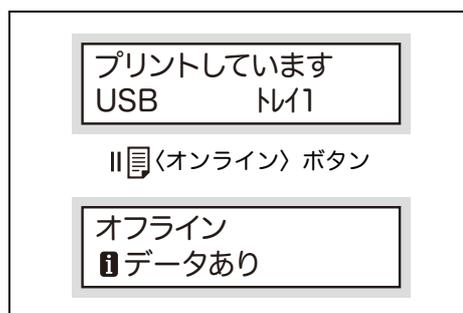
プリンターが受信している、すべてのジョブをプリントします。

この操作で、データの受信を中断し、バッファを空の状態にできます。次に、手順を説明します。

1. ディスプレイに右図の [プリントしています] が表示されている状態で、**||** (オンライン) ボタンを押します。

💡 補足

- ・ **||** (オンライン) ボタンを押すと、プリンターはデータを受信できない状態になります。

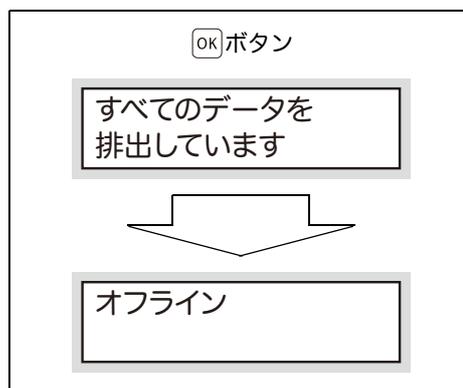


2. **OK** ボタンを押します。
プリントが開始されます。

すべてのジョブを実行してプリントすると、[オフライン] の表示になります。

💡 補足

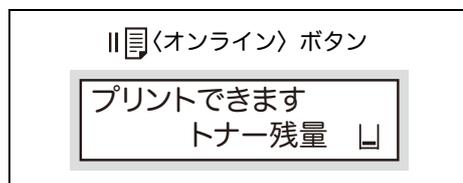
- ・ USBインターフェイスを使用している場合、手順1の **||** (オンライン) ボタンを押すタイミングによって、データ受信がジョブの途中になることがあります。この場合、それ以降のデータは **OK** ボタンを押したあと、新しいジョブとして認識されます。手順3のオフライン解除後、新しいジョブとして処理されます。



3. **||** (オンライン) ボタンを押します。
[プリントできます] の表示になります。

💡 補足

- ・ [プリントできます] 表示後、新しいジョブとして処理されるデータは、共通メニュー項目の [プリントモード 指定] で [自動] が設定されている場合、正常にプリントされないことがあります。



HP-GL、HP-GL/2 に関連する共通メニュー

HP-GL、HP-GL/2 に関連する共通メニューの設定項目について、説明します。

■ ネットワーク / ポート設定

[機械管理者メニュー] > [ネットワーク / ポート設定] で、エミュレーションモードで使用するポートの設定を行います。

- ・ ポートの起動 (LPD/IPP/USB/Port9100)
エミュレーションモードで使用するポートを起動します。
- ・ プリントモード指定 (LPD/IPP/USB/Port9100 (初期値: [自動]))
各ポートのプリントモード指定を、HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションが使用できるように設定します。プリントモードとして [HP-GL/2] や [HexDump] を指定できます。初期値は、すべてのポートで [自動] です。

💡 補足

- ・ [プリントモード指定] では、ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここで [HP-GL/2] を設定すると、「プリント言語の切り替え」(P. 399) で説明している「自動切り替え」はできなくなります。

■ メモリー設定

[機械管理者メニュー] > [メモリー設定] で、HP-GL/2 のオートレイアウトメモリーで使用するメモリー容量を指定します。

- ・HPGL オートレイアウトメモリー
オートレイアウト実行時、プリントデータを格納するメモリーの容量を設定できます。



- ・HPGL オートレイアウトメモリーについては、「HPGL オートレイアウトメモリー」(P. 204) を参照してください。

HP-GL、HP-GL/2 設定項目一覧



- ・装着されているオプション製品によって、表示される候補値は異なります。

プリント機能メニュー

用紙トレイ

プリントに使用する用紙トレイを設定します。

候補値は次のとおりです。

[自動] (初期値)

[用紙サイズ] で設定した用紙がセットされている用紙トレイから自動給紙します。

[トレイ 1]

[トレイ 2]

[トレイ 3]

[トレイ 4]

[手差しトレイ]



- ・[トレイ 1] ~ [トレイ 4] を選択した場合、その用紙トレイにセットされている用紙の大きさが用紙サイズとなるため、[用紙サイズ] の設定はできません。
- ・[自動] を選択した場合、同じサイズの用紙が、同じ用紙方向で複数のトレイにセットされているときは、共通メニューで設定されているトレイの優先順位に従って、給紙されます。
- ・[トレイ 2] ~ [トレイ 4] は、オプショントレイが装着されている場合に表示されます。

用紙サイズ

プリントする用紙のサイズを設定します。[用紙トレイ] の設定が [自動]、または [手差しトレイ] の場合に設定できます。また、設定できる用紙は、カット紙だけです。

候補値は次のとおりです。

■ [用紙トレイ] が [自動] のとき

[A サイズ] (初期値) [A4] [A3] [A5] [B4] [B5] [自動]



- ・[原稿サイズ] を [自動] 以外に設定すると、[自動]、[A サイズ] は選択できません。

■ [用紙トレイ] が [手差しトレイ] のとき

[A4] (初期値) [A3] [A5] [B4] [B5]

■ [用紙トレイ] が [トレイ 1] ~ [トレイ 4] のとき
設定しているトレイに、セットされている用紙サイズが表示されます。[用紙サイズ] は設定できません。

補足

- ・ セットされている用紙サイズが不明なときは、[不明] と表示されます。

原稿サイズ

クライアントで作成された、原稿のサイズを設定します。

候補値は次のとおりです。

[自動] (初期値)

[用紙]

この場合、[用紙サイズ] で設定したサイズになります。

[A0] [A1] [A2] [A3] [A4] [A5]

[B0] [B1] [B2] [B3] [B4] [B5]

この場合、[印字制御] の [スケールモード]、[エリア判定モード]、[ペーパーマージン] の設定が有効になります。

補足

- ・ [自動] 以外を選択すると、[オートレイアウト] の設定は、[しない] に変更されます。
- ・ [自動] 以外を選択すると、[スケールモード] の設定は、[用紙サイズ] に変更されます。

座標回転

プリントするときの用紙方向を設定します。

候補値は次のとおりです。

[0°] (初期値)

用紙方向を横長に設定します。

[90°]

用紙方向を縦長に設定します。

階調モード

階調モードを設定します。

候補値は次のとおりです。

[グレースケール] (初期値)

[黒ペン]

オートレイアウト

オートレイアウトを使用するかしないかを設定します。

候補値は次のとおりです。

[する] (初期値)

[しない]

補足

- ・ [する] は、[原稿サイズ] で [自動] が選択されている場合にだけ表示されます。
- ・ [しない] を選択すると、[スケールモード] の設定は、[用紙サイズ] に変更されます。

パレット優先指定

使用するパレットを設定します。

候補値は次のとおりです。

[コマンド] (初期値)

[メモリー登録設定]

プリント部数

■ 部数の入力

プリントする部数を設定します。

設定できる範囲は、1～250部です。初期値は [1部] です。

補足

- ・クライアントからプリント部数の指定があった場合、その値が反映されてプリントされます。プリント後、操作パネルの設定もその値に書き換えられます。ただし、LPDポートから指定された部数は、プリント後に操作パネルの設定を書き換えることはありません。

■ 部数の優先指定

プリントする部数の指定方法を設定します。

候補値は次のとおりです。

[プロトコル] (初期値)

[メモリー登録設定]

[コマンド]

両面

両面プリントを設定します。

候補値は次のとおりです。

[しない] (初期値)

両面プリントを行いません。

[左右開き]

左右開きになるようにプリントします。

[上下開き]

上下開きになるようにプリントします。

排出先

プリントした用紙の排出先トレイを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[センタートレイ] (初期値)

[フェイスアップトレイ]

補足

- ・ [フェイスアップトレイ] は、フェイスアップトレイ (オプション) が装着されている場合に設定できます。

よこ原稿 180度回転

よこ原稿を 180度回転してプリントします。

候補値は次のとおりです。

[する]

180度回転してプリントします。

[しない] (初期値)

180度回転を行いません。

手差し確認待ち

手差しトレイから給紙するプリント指示をしたあと、本体側の操作 ( ボタンを押す) によってプリントを開始します。 [する] または [しない] (初期値) から選択します。

フォント

■ 漢字書体

2 バイト系文字（漢字）の書体を、[明朝]、[ゴシック]、[ストローク]（初期値）の中から設定します。

■ 英数字書体

1 バイト系文字（ANK）の書体を、[ストローク]（初期値）、[ローマン]、[サンセリフ]の中から設定します。



・「フォントについて」(P. 400)

位置補正

ハードクリップエリアを移動します。

■ 上下方向

-250 ~ 250 mm の範囲で、1 mm 単位で設定できます。初期値は [0mm] です。
インチ表示の場合、-9.8 ~ 9.8" の範囲で、0.1" 単位で設定できます。初期値は [0.0"] です。

■ 左右方向

-250 ~ 250 mm の範囲で、1 mm 単位で設定できます。初期値は [0mm] です。
インチ表示の場合、-9.8 ~ 9.8" の範囲で、0.1" 単位で設定できます。初期値は [0.0"] です。



補足

- ・ 印字エリアを超えるデータは、位置補正をしても印字されません。また、位置補正により印字エリアを超えたデータは、印字されません。
- ・ <▼> または <▲> ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続して表示を変えることができます。また、<▼> と <▲> ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

印字制御

■ HP-GL モード

グラフィックス言語の変更ができます。この設定は、HP-GL コマンドの IW、OW、UC コマンドに影響します。

候補値は次のとおりです。

[HP-GL]（初期値）

HP-GL、HP-GL/2、HP-RTL を使用できます。送られてくるプリントデータによって自動で各言語を切り替えます。

[HP-GL/2]

HP-GL/2、HP-RTL を使用できます。



補足

- ・ BP コマンドがない HP-GL/2 データをプリントする場合は、[HP-GL/2] に設定してください。

■ ハードクリップ

印字可能領域を設定します。

HP-GL モードでは、用紙によって作画可能な領域が決まっています。この領域は、ハードクリップエリアと呼ばれ、ペンが移動する最大範囲を決定します。したがって、ハードクリップエリアを超えて、描画することはできません。

候補値は次のとおりです。

[標準]

A4、A3、レター、レジャーのハードクリップエリアは、日本ヒューレット・パッカー株式会社の HP7550A と同じです。

ほかの用紙サイズのハードクリップエリアは、本プリンターの印字可能エリアと同じです。

[用紙] (初期値)

用紙と同じサイズをハードクリップエリアとします。ただし、実際に印字できる範囲は、プリンターの印字可能エリアと同じです。

■ 排出コマンド

描画の終了を示すコマンド (SP、SP0、NR、FR、PG、AF、AH) について、[有効] または [無効] に設定します。ここで [有効] に指定したコマンドを受信すると、描画を終了し、用紙が排出されます。工場出荷時は、SP0 以外のコマンドは [無効] に設定されています。

補足

- ・複数のコマンドが指定された場合は、どれか1つのコマンドを受信した時点で、描画を終了して用紙が排出されます。

■ スケール

原稿サイズが用紙サイズに合うように、原稿サイズを拡大 / 縮小 (スケーリング) するかしないかを設定します。

候補値は次のとおりです。

[しない]

スケーリングしません。プリントデータは、等倍 (100%) でプリントされます。この場合、用紙サイズ内に、プリントデータが入りきらないことがあります。

[する] (初期値)

スケーリングします。

■ スケールモード

オートスケール実行時の原稿サイズを、A 系列の用紙サイズ (A0、A1、A2、A3、A4、A5 の 6 種類) とするか、エリア判定モードで選択された方法によって求められた、有効座標エリアとするかを設定します。

候補値は次のとおりです。

[用紙サイズ] (初期値)

原稿サイズは、A 系列の用紙サイズ (A0、A1、A2、A3、A4、A5 の 6 種類) の中から自動的に選択されます。

[座標エリア]

原稿サイズは、エリア判定モードで選択された方法によって求められた、有効座標エリアから、ペーパーマージンを差し引いたエリアとします。

補足

- ・ [原稿サイズ] で [自動] 以外が選択されている場合、[座標エリア] は選択できません。
- ・ [座標エリア] は、[オートレイアウト] が [しない] の場合だけ設定できます。[する] の場合は、[用紙サイズ] になります。

■ エリア判定モード

オートスケール実行時、有効座標エリアを求める方法を設定します。

候補値は次のとおりです。

[自動] (初期値)

有効座標エリア判定方法を、IW、IP、Adapted、PS の中から自動的に選択します。このときの優先順位は、PS > IW > IP > Adapted となります。

[IW]

データ中の最後の IW コマンドで指定された領域を、有効座標エリアとします。データ中に IW コマンドがない場合は、Adapted で有効座標エリアを決定します。

[IP]

データ中のすべての IP コマンドで指定された領域を含むエリアを、有効座標エリアとします。データ中に IP コマンドがない場合は、Adapted で有効座標エリアを決定します。

[Adapted]

次の条件から、有効座標エリアを決定します。

- ・描画を行うコマンドがプロットする最大と最小の位置座標
- ・そのページ内に指定された最大の文字サイズ
- ・最大の線幅

[PS]

データ中の最初の PS コマンドで指定された領域を、有効座標エリアとします。データ中に PS コマンドがない場合は、Adapted で有効座標エリアを決定します。

■ ペーパーマージン

オートスケール実行時のペーパーマージンを設定します。

0～99 mm の範囲で、1 mm 単位で設定できます。初期値は [0mm] です。

インチ表示の場合、0～3.9" の範囲で、0.1" 刻みに設定できます。初期値は [0.0"] です。

補足

- ・〈▼〉または〈▲〉ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続して表示を変えることができます。また、〈▼〉と〈▲〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

参照

- ・「ペーパーマージン」(P. 400)

■ イメージ エンハンス

イメージエンハンスとは、画像の境界を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。

イメージエンハンスを行うか行わないかを設定します。

候補値は次のとおりです。

[しない]

[する] (初期値)

補足

- ・[スケールモード]、[エリア判定モード]、[ペーパーマージン] の設定は、[原稿サイズ] が [自動] の場合に有効となります。

■ エミュレーション対象

エミュレートするプリンターを設定します。

候補値は次のとおりです。

[HP750C] (初期値)

HP750C をエミュレートします。

[FX4036]

FX4036 をエミュレートします。

ペン属性

16本のペン ([No.00] ～ [No.15]) の属性を設定します。

作図する線の太さや色を設定できます。

パレット優先設定でメモリー登録設定をしたときに有効になります。

■ 幅

ペンの幅 (太さ) を設定します。

0.0～25.5 mm の範囲で、0.1 mm 単位で設定できます。初期値は [0.3mm] です。

インチ表示の場合、0.00～1.00" の範囲で、0.01" 単位で設定できます。初期値は [0.01"] です。

補足

- ・〈▼〉または〈▲〉ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続して表示を変えることができます。また、〈▼〉と〈▲〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

- ・ 原稿サイズと用紙サイズの組み合わせによって縮小された場合、ペンの幅も最小 0.1 mm (0.01") まで縮小します。
- ・ 線の幅は線を中心から太くなります。
- ・ 太さが 0.0 mm (0.00") の場合は、何も描画されません。

■ 先端

ペンの先端を設定します。

候補値は次のとおりです。

[切断] (初期値)

 • •: 座標指定位置

[丸め]

 • •: 座標指定位置

[矩形]

 • •: 座標指定位置

■ 連結

ペンの線を接続した場合の処理を設定します。

候補値は次のとおりです。

[なし] (初期値):  [切断]: 

[丸め]:  [交差]: 

💡 補足

- ・ [なし] は、処理時間をもっとも短く、確認用に適しています。
- ・ シンボルモードコマンドによってシンボルが設定されている場合、連結処理は行われません。シンボルモードコマンドとは、シンボルを指定する HP-GL コマンドです。

■ 濃度

ペンの濃度を設定します。0 ~ 100 の範囲で 5% 単位で設定します。No.00 ~ No.15 それぞれの初期値は、No.00 は 0、それ以外は 100 となります。

数値が小さくなるほど、濃度が薄くなります。

💡 補足

- ・ ペン属性と文字書体の関係は次のとおりです。

書体 ペン属性	ストローク	明朝、ゴシック、 ローマン、サンセリフ
幅	有効	無効
先端	有効	無効
連結	無効	
濃度	有効	

- ・ <▼> または <▲> ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続して表示を変えることができます。また、<▼> と <▲> ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

メモリーメニュー

NV メモリー (No.01 ~ 20) に設定内容を登録し、必要に応じて呼び出すことができます。

立ち上げメモリー

立ち上げメモリーとは、あらかじめ [メモリー登録] で登録しておいた NV メモリー (No.01 ~ 20) を電源投入時やシステムリセット時などに読み出すことです。

ここでは、読み出す NV メモリーの No. を設定します。

初期値は [工場出荷時] で、工場出荷時の設定内容を読み出して立ち上げます。

メモリー呼び出し

あらかじめ登録されている設定内容を呼び出す機能です。

呼び出すメモリーの No. を設定します。

初期値は [工場出荷時] で、工場出荷時の設定内容を呼び出します。

メモリー登録

メモリーには、工場出荷時の設定内容を記憶している ROM と、ユーザーが設定内容を保存できる NV メモリー (No.01 ~ 20) があります。

メモリー登録では、NV メモリー (No.01 ~ 20) にあらかじめ設定したモードメニューの各種設定内容をひとまとめにして登録します。

登録しておくことで、モードメニューの設定内容を簡単に呼び出したり、電源投入時に、毎回同じ設定を繰り返したりする必要がなくなります。

登録した設定内容は、NV メモリーの初期化、またはメモリー削除を行うまで保持されます。

メモリー削除

NV メモリーに登録した設定内容を削除します。

ここでは、削除するメモリーの No. を設定します。

補足

- ・メモリーに設定内容が登録されていない場合、[No.01] ~ [No.20] は表示されません。
- ・登録中、クライアントからのコマンドによって設定値が異なってしまうことがあるため、登録は  (オフライン) ボタンを押してオフライン状態にしてから行うことをお勧めします。

HP-GL、HP-GL/2 モードのリストについて

HP-GL/2 設定リスト

HP-GL、HP-GL/2 モードでの設定値を確認できます。

操作パネルで、[レポート / リスト] > [プリント言語] > [HP-GL/2 設定リスト] を選択し、プリントします。

HP-GL/2 論理プリンター・メモリー登録リスト

NV メモリーに登録されている設定値を確認できます。

操作パネルで、[レポート / リスト] > [プリント言語] > [HP-GL/2 登録リスト] を選択し、プリントします。

フォントリスト

本機で使用できるフォントの一覧がプリントされます。HP-GL/2 で使用できるフォントと、その印字見本を確認できます。

操作パネルで [レポート / リスト] > [フォントリスト] を選択し、プリントします。

13.11 PCL エミュレーションについて

エミュレーションについて

プリントデータは、ある規則（文法）に従ったデータになっています。本機では、この規則（文法）をプリント言語といいます。

本機が対応しているプリント言語は、ページ単位にイメージを作るページ記述言語と、他社のプリンターでのプリント結果に近い結果を得ることができるエミュレーションに分類できます。なお、他社のプリンターでのプリント結果に近い結果を得ることを、エミュレートするといいます。

エミュレーションモード

本機が対応するページ記述言語以外のデータをプリントするときは、本機をエミュレーションモードにします。本機には、複数のエミュレーションモードがあります。その中の PCL エミュレーションモードと、エミュレートするプリンターの対応は、次のとおりです。

エミュレーションモード	エミュレートするプリンター
PCL エミュレーションモード (PCL モード)	HP-CLJ5500

ホストインターフェイスとエミュレーション

ホストインターフェイスごとに、対応するプリント言語は異なります。PCL に対応しているホストインターフェイスは、次のとおりです。

- ・LPD ポート
- ・IPP ポート
- ・USB ポート
- ・Port9100 ポート

プリント言語の切り替え

本機は、マルチエミュレーションに対応しています。このため、対応するプリント言語の切り替えができるようになっています。

対応するプリント言語を切り替える方法は、次のとおりです。

コマンド切り替え

対応するプリント言語を切り替えるコマンドを用意しています。本機は、コマンドを受け取ると、対応するプリント言語に切り替えます。

自動切り替え

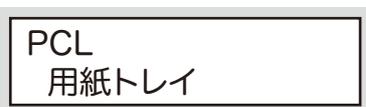
ホストインターフェイスが受信したデータを分析し、プリント言語を自動的に特定します。そして、対応するプリント言語に切り替えます。

インターフェイス従属

操作パネルを使って、ホストインターフェイスごとにプリント言語を設定します。データを受信したホストインターフェイスに合わせて、対応するプリント言語に切り替えます。

モードメニュー画面

エミュレーションモード固有の項目を設定する画面です。PCL のモードメニュー画面を表示するには、〈仕様設定〉ボタンを押し、[プリント言語の設定] で [PCL] を選択してください。PCL のモードメニュー画面の最初は、次の画面が表示されます。



フォントについて

使用できるフォント

PCL エミュレーションで使用できるフォントは、PCL フォントリストをプリントすることで確認できます。

フォントキャッシュ

高速プリントを実現するために、ある程度の大きさまでのアウトラインフォントについては、フォントキャッシュを実行します。アウトラインフォントを印字するときには、一度、ビットマップの形式に変換されます。この処理時間をできるだけ短縮するために、処理後のビットマップ形式のデータを、メモリーに保存しておきます。これをフォントキャッシュといいます。

保存されたビットマップ形式のデータは、電源を切ったり、再起動したりすると、消去されます。なお、PCL エミュレーションモードの場合は、ジョブの処理中以外はデータは保存されません。

排出機能について

排出機能について説明します。排出機能には、次の 2 種類があります。

- ・残ったデータを強制排出する場合
- ・プリンター内のすべてのジョブを排出する場合

残ったデータを強制排出する場合

PCL エミュレーションモードでは、1 ページ分のデータがすべてそろうまで、データは排出されません。USB インターフェイスの場合、データの最後がページの途中で終了してしまうと、[自動排出時間] で設定されている時間が経過するまで、次のデータ待ちになります。ディスプレイには [データ待ちです] が表示されます。

強制排出は、このようなときに、自動排出時間を待たないで、プリンター内のデータを強制的にプリントする操作です。

操作手順は、次のとおりです。

補足

- ・ディスプレイに [データ待ちです] が表示されている場合、次のジョブを送信すると正常にプリントされないことがあります。次のジョブは、強制排出後、または自動排出時間が経過してから送信してください。

参照

- ・自動排出時間については「自動排出時間」(P. 158) を参照してください。

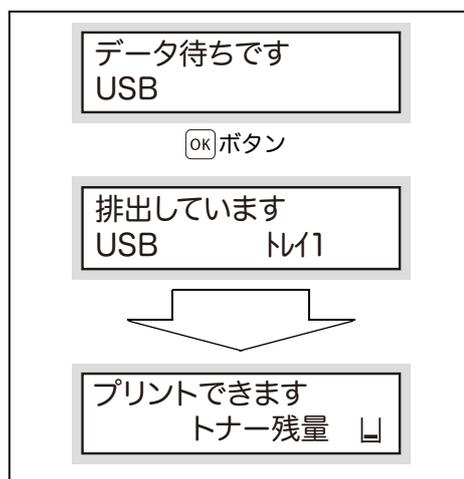
1. ディスプレイに右図の [データ待ちです] が表示されている状態で、**OK** ボタンを押します。

プリントが開始されます。

プリントが終了すると、[プリントできます] が表示されます。

注記

- ・ 共通メニュー項目の [プリントモード指定] が [自動] の場合、[データ待ちです] と表示されないため、強制排出できません。



プリンター内のすべてのジョブを排出する場合

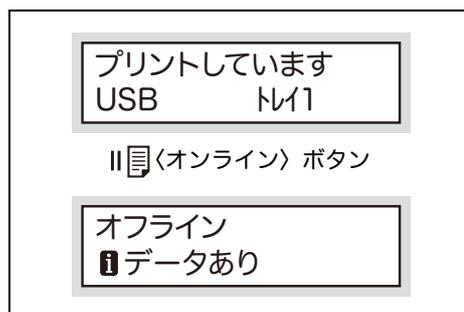
プリンターが受信している、すべてのジョブをプリントします。

この操作で、データの受信を中断し、バッファを空の状態にできます。操作手順は、次のとおりです。

1. ディスプレイに右図の [プリントしています] が表示されている状態で、**|||** (オンライン) ボタンを押します。

補足

- ・ **|||** (オンライン) ボタンを押すと、プリンターはデータを受信できない状態になります。

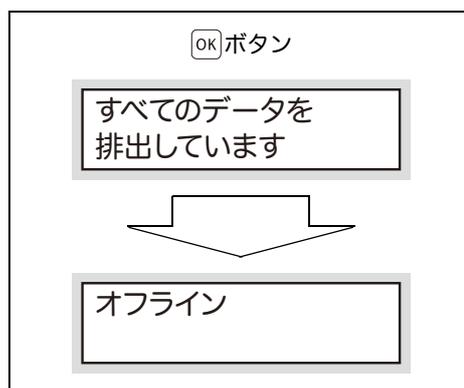


2. **OK** ボタンを押します。
プリントが開始されます。

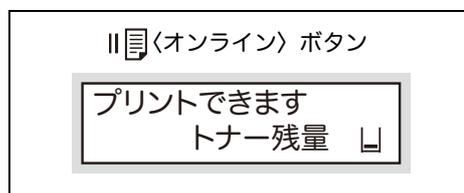
すべてのジョブのプリントが終了すると、[オフライン] が表示されます。

補足

- ・ USB インターフェイスを使用している場合、手順1の **|||** (オンライン) ボタンを押すタイミングによって、データ受信がジョブの途中になることがあります。この場合、それ以降のデータは **OK** ボタンを押したあと、新しいジョブとして認識されます。手順3のオフライン解除後、新しいジョブとして処理されます。



3. **|||** (オンライン) ボタンを押します。
[プリントできます] が表示されます。



補足

- ・ [プリントできます] 表示後、新しいジョブとして処理されるデータは、共通メニュー項目の [プリントモード指定] で [自動] が設定されている場合、正常にプリントされないことがあります。

エミュレーションモードでのプリント機能

PCL エミュレーションモードで使用できる、本機のプリント機能について説明します。

バーコード

PCL エミュレーションモードでは、バーコードを利用できます。利用できるバーコード規格は、次のとおりです。

- ・ Code39
- ・ JAN-8
- ・ JAN-13
- ・ NW7 (CODEBAR)
- ・ Code 128
- ・ ITF (Interleaved 2 of 5)
- ・ Post (Japanese postal Customer Code)
- ・ QR Code
- ・ OCR-B

PCL に関連する共通メニュー

PCL に関連する共通メニューの設定項目について、説明します。

■ ネットワーク / ポート設定

[機械管理者メニュー] > [ネットワーク / ポート設定] で、PCL エミュレーションモードで使用するポートの設定を行います。

- ・ ポートの起動 (LPD/IPP/USB/Port9100)
PCL エミュレーションモードで使用するポートを起動します。
- ・ プリントモード指定 (LPD/IPP/USB/Port9100)
各ポートのプリントモード指定を、PCL エミュレーションが使用できるように設定します。プリントモードとして [PCL]、または [自動] を選択します。初期値は、すべてのポートで [自動] です。

補足

- ・ [プリントモード指定] では、ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここで [PCL] を設定すると、「プリント言語の切り替え」(P. 411) で説明している「自動切り替え」は、できなくなります。

■ 初期化 / データ削除

- ・ PCL マクロ削除
[機械管理者メニュー] > [初期化 / データ削除] > [フォーム / マクロの削除] > [PCL マクロ削除] で、本機に登録されている PCL マクロをすべて削除します。登録されているマクロがない場合は、[マクロ登録はありません] と表示されます。
- ・ PCL フォント削除
[機械管理者メニュー] > [初期化 / データ削除] > [フォント削除] > [PCL フォント削除] で、本機に登録されている PCL フォントをすべて削除します。登録されているフォントがない場合は、[フォント登録はありません] と表示されます。

PCL 設定項目一覧

補足

- ・装着されているオプション製品によって、表示される候補値は異なります。

プリント機能メニュー

用紙トレイ

プリントに使用する用紙トレイを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[自動] (初期値)

[用紙サイズ] で設定した用紙がセットされている用紙トレイから自動給紙します。

[トレイ 1]

[トレイ 2]

[トレイ 3]

[トレイ 4]

[手差しトレイ]

補足

- ・ [自動] を選択した場合、同じサイズの用紙が同じ用紙方向で複数の用紙トレイにセットされているときは、共通メニューで設定されているトレイの優先順位に従って給紙されます。
- ・ [トレイ 2] ~ [トレイ 4] は、オプショントレイが装着されている場合に表示されます。

用紙サイズ

プリントする用紙のサイズを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[A4] (初期値)

[A3] [A5] [B4] [B5]

[8.5×11"] (レター)

[8.5×13"] (フォリオ)

[8.5×14"] (リーガル)

[7.25×10.5"]

[11×17"]

[定形外]

補足

- ・ [定形外] を選択した場合は、さらに [たて (Y) 方向のサイズ]、および [よこ (X) 方向のサイズ] をそれぞれ設定します。

用紙サイズ (手差し)

手差しトレイを使ってプリントする用紙のサイズを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[A4] (初期値)

[A3] [A5] [A6] [B4] [B5] [B6]

[はがき] [封筒長型 3]

[8.5×11"] (レター)

[8.5×13"] (フォリオ)

[8.5×14"] (リーガル)

[7.25×10.5"]

[11×17"] (タブロイド)

[封筒 C5] [定形外]

補足

- ・ [定形外] を選択した場合は、[たて (Y) 方向のサイズ]、および [よこ (X) 方向のサイズ] をそれぞれ設定します。

排出先

プリントした用紙の排出先トレイを設定します。

候補値は、次のとおりです。

[センタートレイ] (初期値)

[フェイスアップトレイ]

補足

- ・ [フェイスアップトレイ] は、フェイスアップトレイ (オプション) が装着されている場合に設定できません。

印刷方向

用紙のプリント方向を [たて] (初期値)、または [よこ] から選択します。

両面

両面プリントをするかしないかを、[する]、または [しない] (初期値) で設定します。

両面プリントを [する] に設定した場合は、とじ方向を [長辺とじ] (初期値)、または [短辺とじ] から選択できます。

補足

- ・ [用紙サイズ] で [はがき] が選択されている場合は、[左右開き] と [上下開き] は選択できません。

フォント

使用するフォントを設定します。初期値は、[Courier] です。

シンボルセット

使用する記号用フォントを設定します。初期値は、[ROMAN-8] です。

フォントサイズ

フォントサイズを設定します。初期値は、[12.00] です。4.00 ~ 50.00pt の範囲で 0.25pt 刻みに設定できます。

フォントピッチ

文字間を設定します。初期値は、[10.00] です。6.00 ~ 24.00cpi の範囲で 0.01cpi 単位で設定できます。

フォームライン

フォームライン (1 フォームあたりの行数) を設定します。初期値は、[64] です。5 ~ 128 行の範囲で、1 行単位で設定できます。

プリント部数

■ 部数の入力

プリントする部数を設定します。

設定できる範囲は、1 ~ 999 部です。初期値は [1 部] です。

補足

- ・クライアントからプリント部数の指定があった場合、その値が反映されてプリントされます。プリント後、操作パネルの設定もその値に書き換えられます。ただし、LPD ポートから指定された部数は、プリント後に操作パネルの設定を書き換えることはありません。
- ・〈▼〉または〈▲〉ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続して表示を変えることができます。また、〈▼〉と〈▲〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

■ 部数の優先指定

プリント部数の指定方法を設定します。

候補値は次のとおりです。

[プロトコル]

[メモリー登録設定]

[コマンド] (初期値)

ImageEnhancement (イメージエンハンス)

イメージエンハンスとは、白黒の境目を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。イメージエンハンスを行うかどうかを、[有効] (初期値)、または [無効] で設定します。

HexDump

HexDump は、コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、プリントデータを、16 進表記形式と対応する ASCII コードでプリントする機能です。HexDump でのプリントをするかどうかを、[有効]、または [無効] (初期値) で設定します。

ドラフトモード

ドラフトモードでは、トナーを節約してプリントします。品質は低下しますが、高速でプリントできます。ドラフトモードでのプリントをするかどうかを、[有効]、または [無効] (初期値) で設定します。

Line Termination

ラインターミネーションを設定します。行末コードとして、CR、LF、FF が使用されている場合の動作を設定します。

候補値とその動作は、次のとおりです。

設定値	CR の動作	LF の動作	FF の動作
しない (初期値)	CR	LF	FF
Add-LF	CR + LF	LF	FF
Add-CR	CR	CR + LF	CR + FF
CR-XX	CR+LF	CR+LF	CR+FF

PCL モードのリストについて

参照

- ・その他のレポート / リストについては、「10.2 レポート / リストをプリントする」(P. 258) を参照してください。

PCL 設定リスト

PCL モードでの設定値を確認できます。

操作パネルで、[レポート / リスト] > [プリント言語] > [PCL 設定リスト] を選択し、プリントします。

PCL フォントリスト

PCL で使用できるフォントと、その印字見本を確認できます。

操作パネルで、[レポート/リスト] > [PCL フォント リスト] を選択し、プリントします。

PCL マクロ登録リスト

本機の機能拡張キット（ハードディスク）（オプション）にダウンロードされた、PCL マクロに関する情報がプリントされます。マクロ名、マクロ ID、バイト数が確認できます。

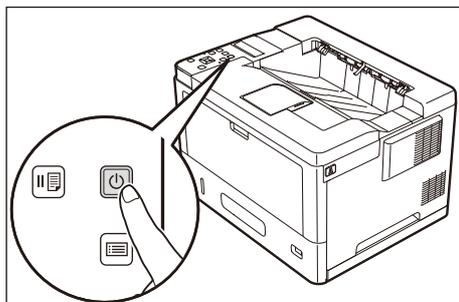
操作パネルで、[レポート/リスト] > [プリント言語] > [PCL マクロ リスト] を選択し、プリントします。

13.12 無線 LAN アダプタ (オプション) の取り付け

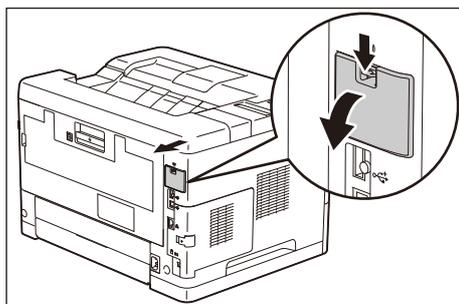
1. 本機の電源を切ります。

 補足

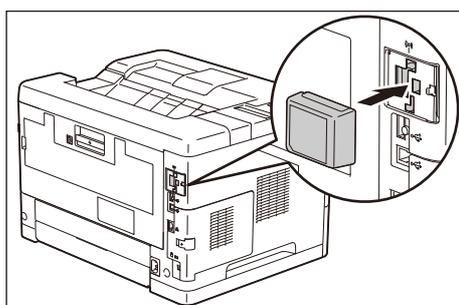
・ 電源を切る方法については、「電源を切る」(P.19) を参照してください。



2. 無線 LAN アダプタソケットのカバーを取り外します。

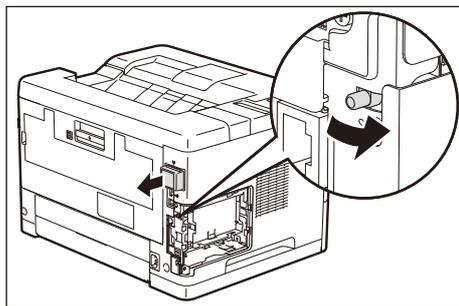


3. 無線 LAN アダプタのコネクターを無線 LAN アダプタソケットに差し込みます。



 補足

- ・ 無線 LAN アダプタを取り外す場合は、左カバーを外し、ロックレバーを引いて、無線 LAN アダプタを取り外してください。



13.13 トレイモジュール（オプション）の取り付け

ここでは、トレイモジュールを3段（用紙トレイ2～4）取り付ける場合を例に説明します。

注記

- ・本機の設置後にトレイモジュールを取り付ける場合は、必ず取り付ける前に本機の電源を切り、電源コードを抜き、本機背面からすべてのケーブルを抜いてください。

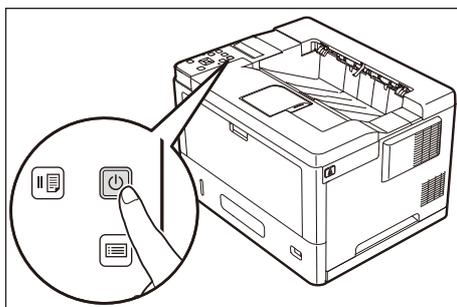
補足

- ・トレイモジュールは3台まで本機に取り付けられます。必要に応じて複数のモジュールを準備してください。
- ・トレイモジュール（550）の下段に、トレイモジュール（250）は設置できません。

1. 本機の電源を切ります。

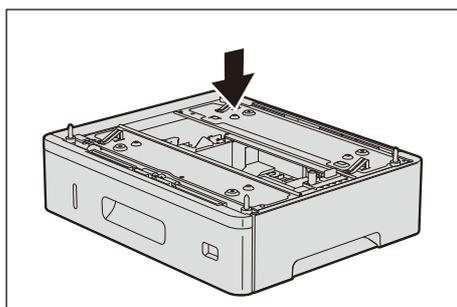
補足

- ・電源を切る方法については、「電源を切る」(P.19)を参照してください。

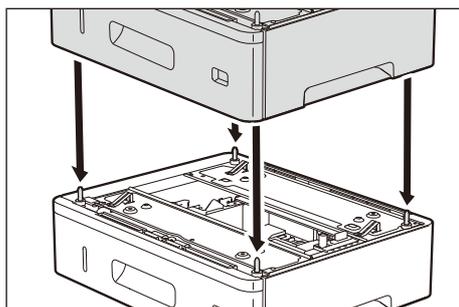


2. 一番下になるトレイモジュールを設置場所に置きます。

トレイモジュールを1台だけ取り付ける場合は、手順11に進みます。

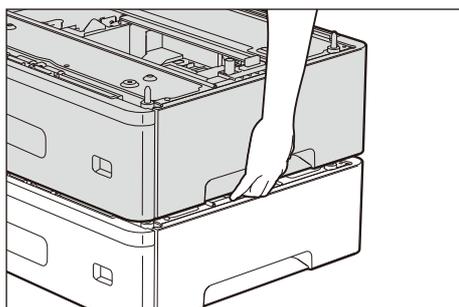


3. 上下のトレイモジュールの角を合わせ、下のトレイモジュールのガイドピン 4 箇所が上のトレイモジュールの底面にある穴に入るように静かに下ろします。

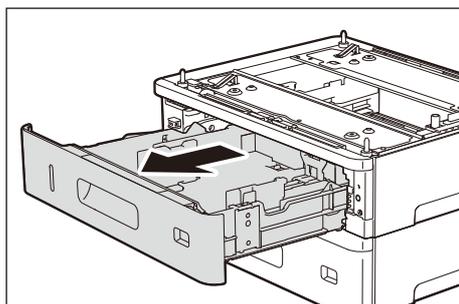


注記

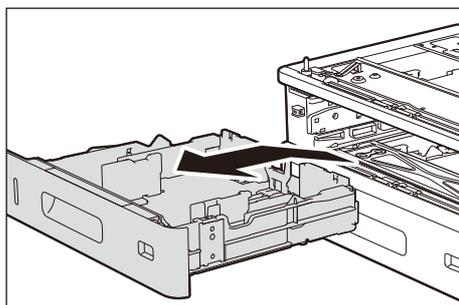
- ・トレイモジュールを下ろすときに、指をはさまないようにご注意ください。



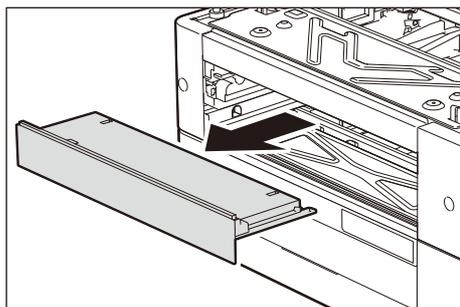
4. 上のトレイモジュールからトレイを引き出します。



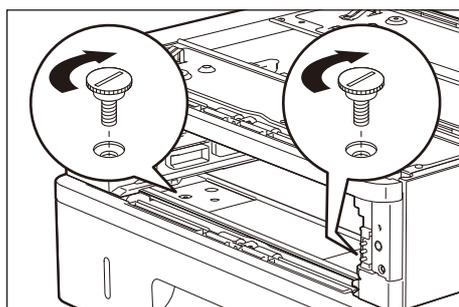
5. トレイの両側を両手で支え、トレイの正面を少し上げて引き抜きます。



6. 上のトレイモジュールからダストカバーを取り外します。



7. トレイモジュールに付属のネジ 4 本をコインなどで締め、上のトレイモジュールを下のトレイモジュールに固定します。

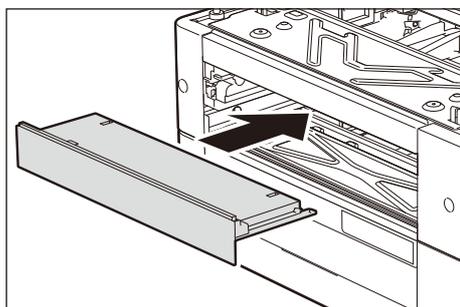


正面側

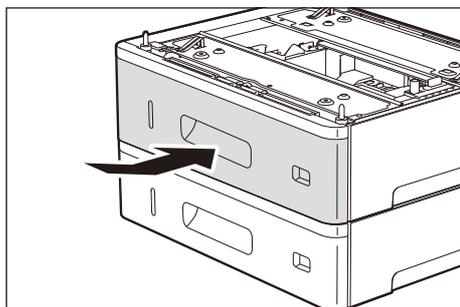


背面側

8. ダストカバーをトレイモジュールに取り付けます。



9. トレイモジュールにトレイを差し込み、止まるまで押し込みます。



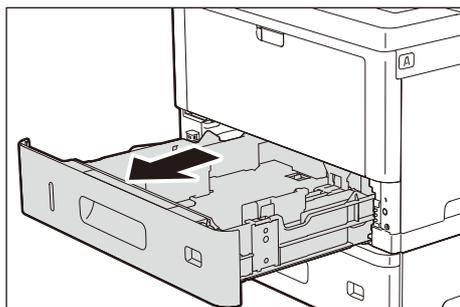
10. さらにトレイモジュールを取り付ける場合は、手順 3～9 を繰り返します。

11. 本機を持ち上げ、トレイモジュールのガイドピン 4 箇所が本機底面の穴に入るように、ゆっくりと下ろします。

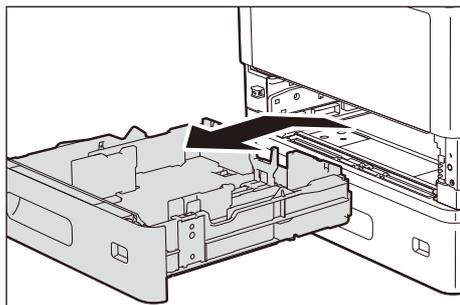
注記

・ 本機を下ろすときに、指をはさまないようにご注意ください。

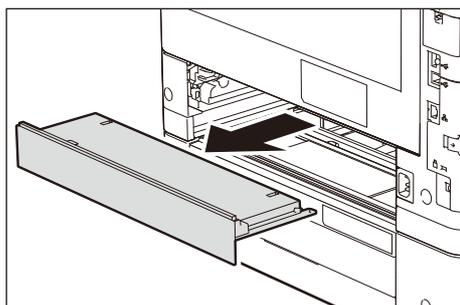
12. 用紙トレイ 1 を引き出します。



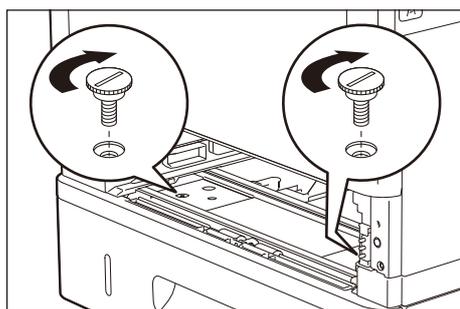
13. 用紙トレイ 1 の両側を両手で支え、トレイの正面を少し上げて引き抜きます。



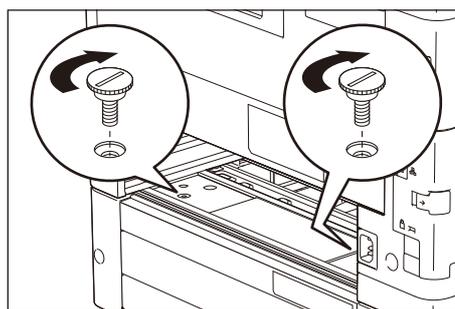
14. ダストカバーを取り外します。



15. トレイモジュールに付属のネジ 4 本をコインなどで締め、本機をトレイモジュールに固定します。

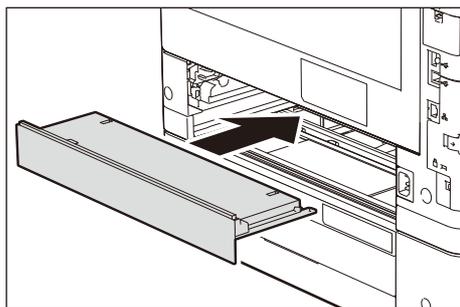


正面側

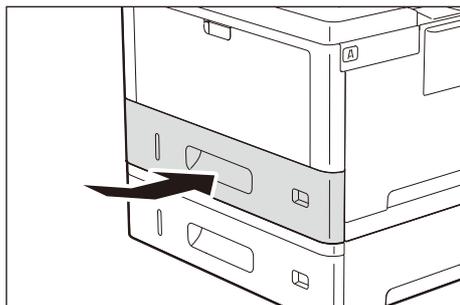


背面側

16. ダストカバーを本機に取り付けます。



17. 本機に用紙トレイ 1 を差し込み、止まるまで押し込みます。

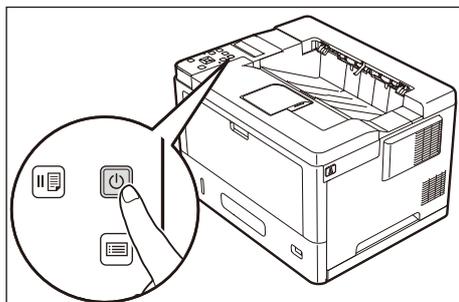


13.14 フェイスアップトレイ（オプション） の取り付け

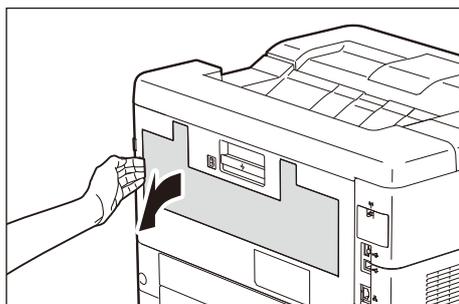
1. 本機の電源を切ります。

💡 補足

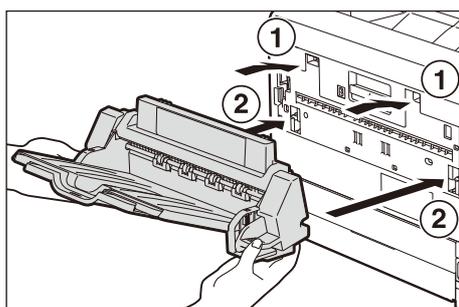
- ・ 電源を切る方法については、「電源を切る」(P.19)を参照してください。



2. 本機背面の背面排出カバーを取り外します。

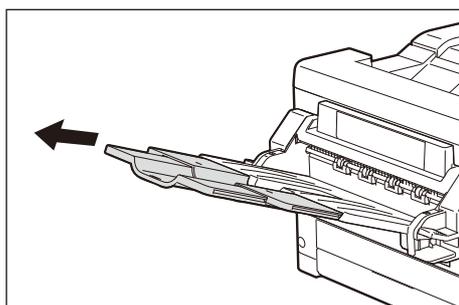


3. フェイスアップトレイの両端のグリップを持ち、本機の背面の穴に上側のツメから差し込み
①、下側のツメもカチッと音が鳴るまで差し込みます ②。



💡 補足

- ・ 必要に応じて、延長トレイを引き出します。延長トレイは2段階に引き出せます。



13.15 専用キャスタ台（オプション）の取り付け

ここでは、トレイモジュール（オプション）を取り付ける場合を例に説明します。本機の直下に取り付ける場合の手順も同じです。次の手順の「トレイモジュール」を「本機」に読み替えてください。

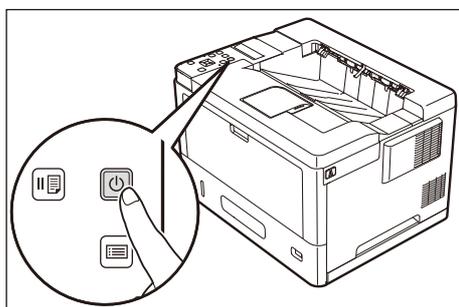
注記

- ・ 本機の設置後に専用キャスタ台を取り付ける場合は、必ず取り付ける前に本機の電源を切り、電源コードを抜き、本機背面からすべてのケーブルを抜いてください。

1. 本機の電源を切ります。

補足

- ・ 電源を切る方法については、「電源を切る」(P.19)を参照してください。



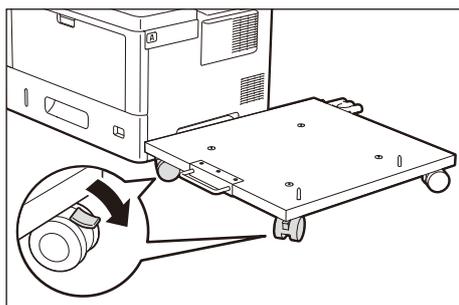
2. 専用キャスタ台を平らな場所に置き、前方 2 箇所にある移動防止用ストッパーをロックします。

注記

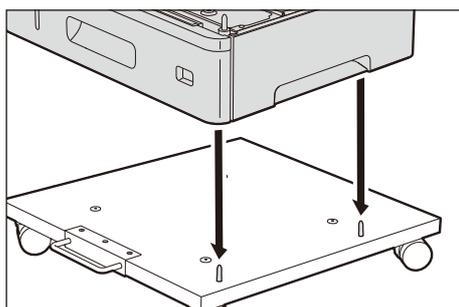
- ・ ストッパーをロックしないと、思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。

補足

- ・ 専用キャスタ台は、取っ手が付いているほうを前面にしてください。



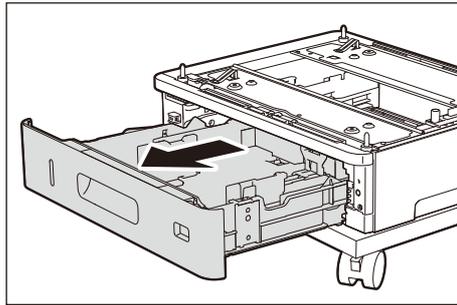
3. 専用キャスタ台の位置合わせラベルとトレイモジュールの前面の角を合わせ、専用キャスタ台の 2 箇所のガイドピンがトレイモジュールの底面にある穴に入るように静かに下ろします。



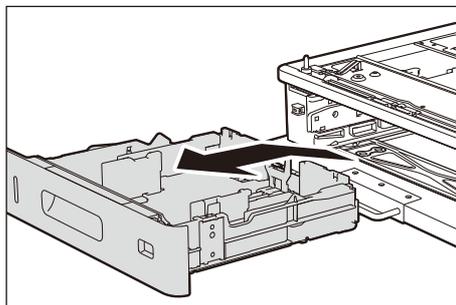
注記

・トレイモジュールを下ろすときに、指をはさまないようにご注意ください。

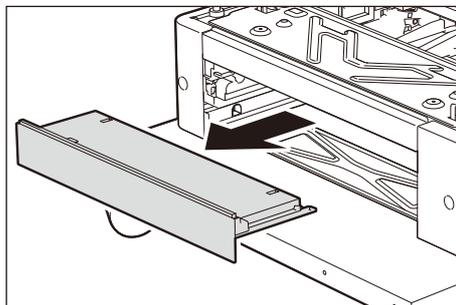
4. トレイモジュールから用紙トレイを引き出します。



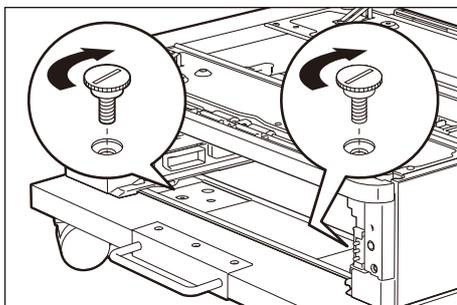
5. トレイの両側を両手で支え、トレイの正面を少し上げて引き抜きます。



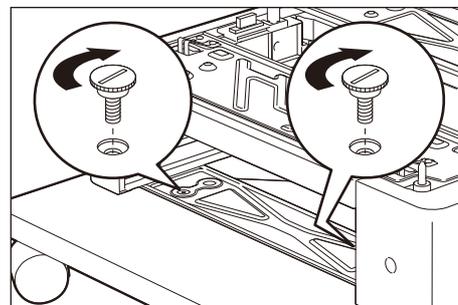
6. トレイモジュールからダストカバーを取り外します。



7. 専用キャスタ台に付属のネジ4本をコインなどで締め、トレイモジュールを専用キャスタ台に固定します。

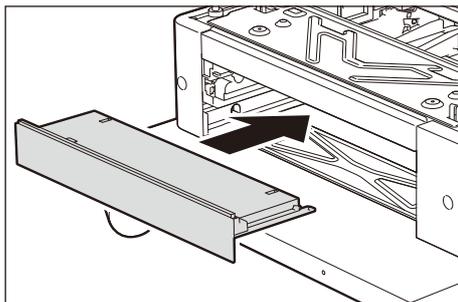


正面側

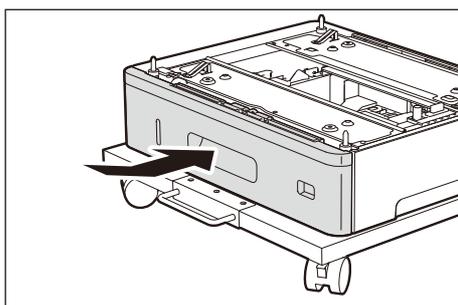


背面側

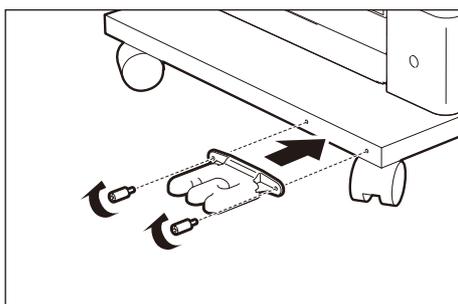
8. ダストカバーをトレイモジュールに取り付けます。



9. トレイモジュールにトレイを差し込み、止まるまで押し込みます。

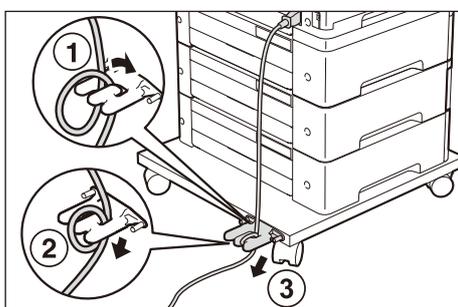


10. ケーブルフックを付属のネジで専用キャスタ台の背面に取り付けます。



 補足

- ・ ケーブルフックの使いかた
電源コードをケーブルフックに図のように巻き付けます (①、②)。電源コードはたるみのないように下に引っ張ります (③)。



 注記

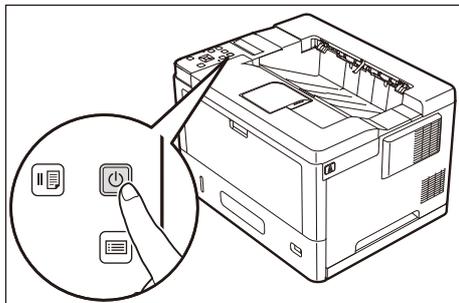
- ・ 本機を移動するときは、電源コードを踏まないように注意してください。

13.16 PostScript ソフトウェアキット (オプション) のインストール

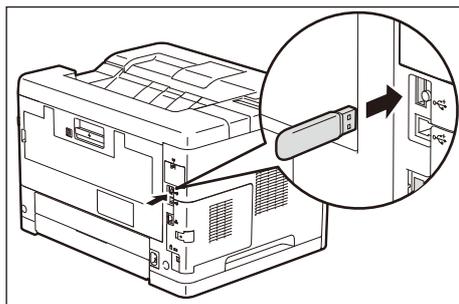
1. 本機の電源を切ります。

💡 補足

・ 電源を切る方法については、「電源を切る」(P.19) を参照してください。



2. PostScript ソフトウェアキットを用意します。
3. キャップを外し、本機背面の USB インターフェイスコネクタ (上側) に挿入します。



4. 本機の電源を入れます。

これで、PostScript ソフトウェアキットのインストール準備は完了です。

続けて、操作パネルで、PostScript ソフトウェアキットの機能を有効に設定します。

5. 操作パネルの **1** (仕様設定) ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート/リスト

6. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、**▼** ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

7. **▶** または **OK** ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

8. [システム設定] が表示されるまで、**▼** ボタンを押します。

機械管理者メニュー
システム設定

9. <▶> または  ボタンを押します。
[音の設定] が表示されます。

システム設定
音の設定

10. [ソフトウェアオプション] が表示されるまで、<▼> ボタンを押します。

システム設定
ソフトウェア オプション

11. <▶> または  ボタンを押します。
[有効化] が表示されます。

ソフトウェア オプション
有効化

 補足

- ・ [設定できるオプションはありません] と表示された場合は、正しく PostScript ソフトウェアキットが取り付けられていません。PostScript ソフトウェアキットを取り付け直してください。

12.  ボタンを押します。
[[OK] で有効化開始] が表示されます。

ソフトウェア オプション
[OK] で有効化開始

13.  ボタンを押します。
有効化処理が開始されます。

ソフトウェア オプション
有効化処理中です

14. [有効化しました] と表示されたら、 <仕様設定> ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

ソフトウェア オプション
有効化しました

15. PostScript ソフトウェアキットを取り外します。

13.17 機能拡張キット（ハードディスク） （オプション）の取り付け

機能拡張キット（ハードディスク）を取り付けると、次の機能が利用できます。

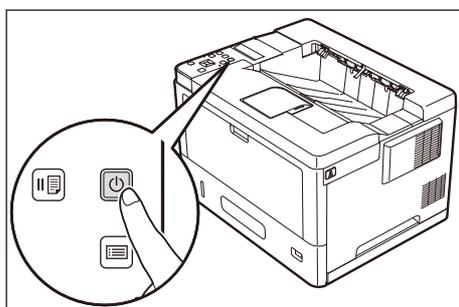
サンプルプリント / セキュリティープリント / メール受信プリント / 認証プリント / 時刻指定プリント / Google クラウド プrint / フォントダウンロード / フォーム、ロゴ登録 / 電子ソート / セキュリティ拡張キットの機能 / IEEE 802.1x 認証機能 / IPsec の証明書機能 / ThinPrint 機能 / IC カード読み取り装置の機能*

* IC カード読み取り装置（オプション）が必要です。

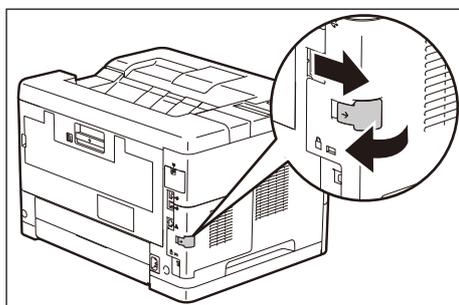
1. 本機の電源を切ります。

💡 補足

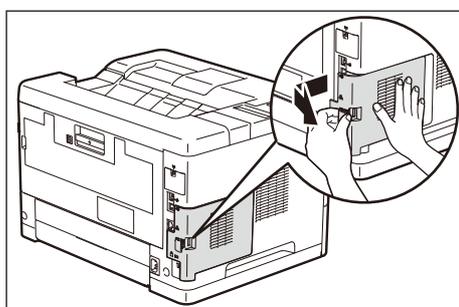
・電源を切る方法については、「電源を切る」(P.19)を参照してください。



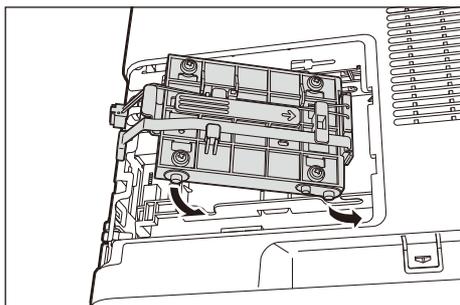
2. ラッチを右にスライドさせ、手前に開きます。



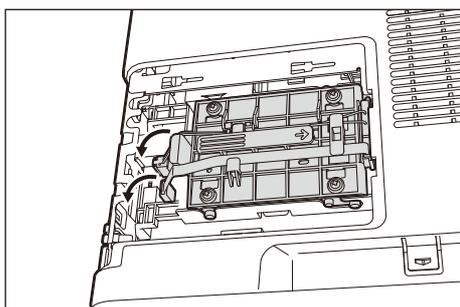
3. 左カバーを片方の手で押さえながら、もう一方の手でラッチを手前に引き、左カバーを取り外します。



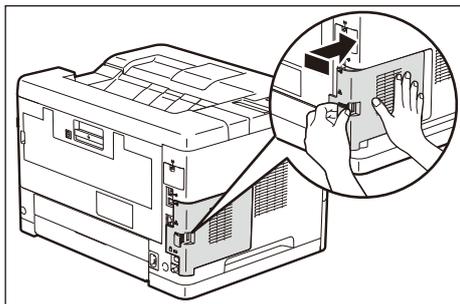
4. ハードディスクをコントローラーボード上のフレームに差し込みます。ハードディスクの突起部をフレームのくぼみに正しくはめてください。



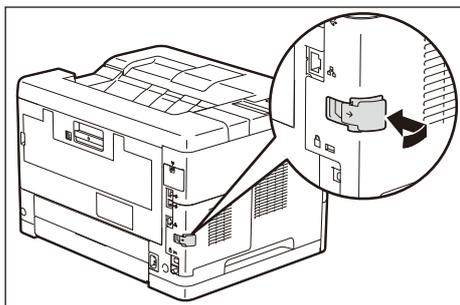
5. ハードディスクのコネクターケーブルを、コントローラーボード上のコネクターに接続します。



6. 左カバーを取り付け、左カバーを本機の前方向にスライドさせます。



7. ラッチを本機の前方向に倒してから左にスライドさせ、カバーをロックします。

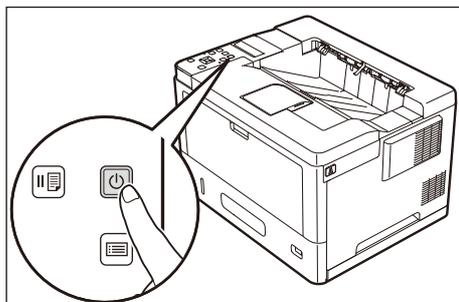


13.18 セキュリティ拡張キット（オプション）のインストール

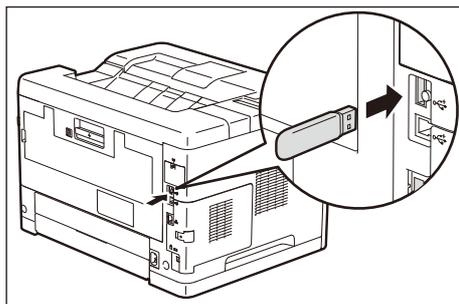
1. 本機の電源を切ります。

 **補足**

・電源を切る方法については、「電源を切る」(P.19)を参照してください。



2. セキュリティ拡張キットを用意します。
3. キャップを外し、本機背面の USB インターフェイスコネクタ（上側）に挿入します。



4. 本機の電源を入れます。

これで、セキュリティ拡張キットのインストール準備は完了です。
続けて、操作パネルで、セキュリティ拡張キットの機能を有効に設定します。手順5に進みます。

5. 操作パネルの  〈仕様設定〉 ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定 レポート/リスト

6. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

仕様設定 機械管理者メニュー

7. 〈▶〉 または  ボタンを押します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー ネットワーク / ポート設定

8. [システム設定] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

機械管理者メニュー
システム設定

9. 〈▶〉 または **OK** ボタンを押します。
[音の設定] が表示されます。

システム設定
音の設定

10. [ソフトウェアオプション] が表示されるまで、〈▼〉 ボタンを押します。

システム設定
ソフトウェア オプション

11. 〈▶〉 または **OK** ボタンを押します。
[有効化] が表示されます。

ソフトウェア オプション
有効化

 **補足**

- ・ [設定できるオプションはありません] と表示された場合は、正しくセキュリティ拡張キットが取り付けられていません。セキュリティ拡張キットを取り付け直してください。

12. **OK** ボタンを押します。
[[OK] で有効化開始] が表示されます。

ソフトウェア オプション
[OK] で有効化開始

13. **OK** ボタンを押します。
有効化処理が開始されます。

ソフトウェア オプション
有効化処理中です

14. [有効化しました] と表示されたら、**i** 〈仕様設定〉 ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

ソフトウェア オプション
有効化しました

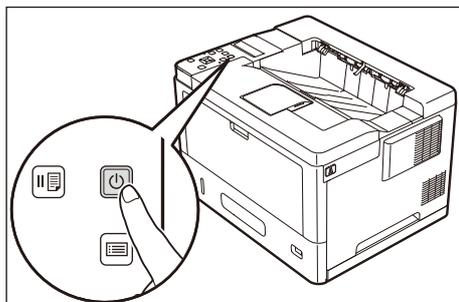
15. セキュリティ拡張キットを取り外します。

13.19 セカンダリーイーサネットカード（オプション）の取り付け

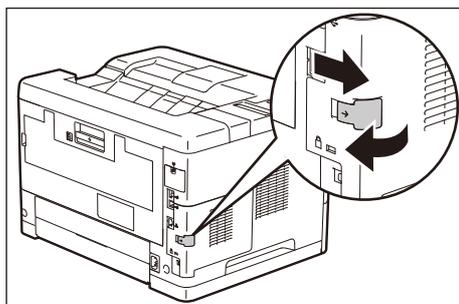
1. 本機の電源を切ります。

💡 補足

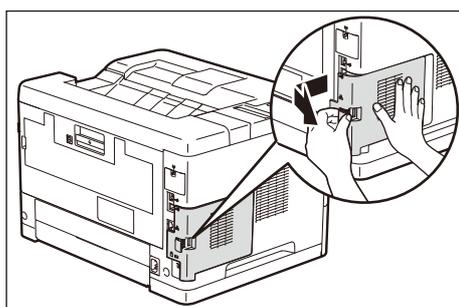
・電源を切る方法については、「電源を切る」(P.19)を参照してください。



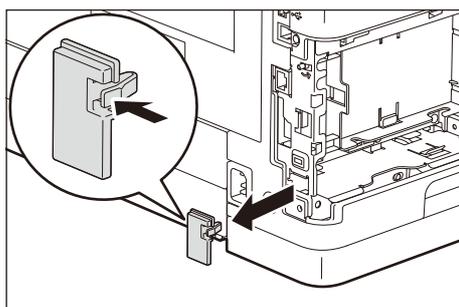
2. ラッチを右にスライドさせ、手前に開きます。



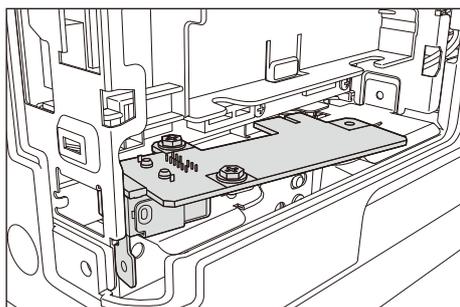
3. 左カバーを片方の手で押さえながら、もう一方の手でラッチを手前に引き、左カバーを取り外します。



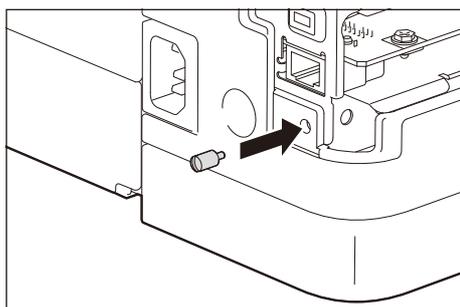
4. つまみを押しながら、イーサネットコネクターカバーを取り外します。



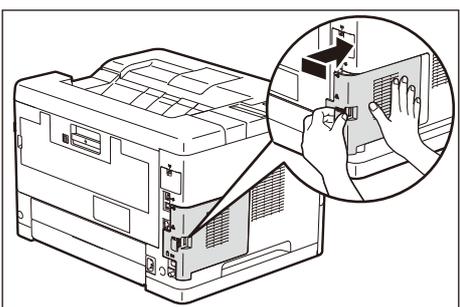
5. コネクターを本機背面のフレームに合わせてから、右側の端子をコントローラーボードのコネクターに差し込みます。



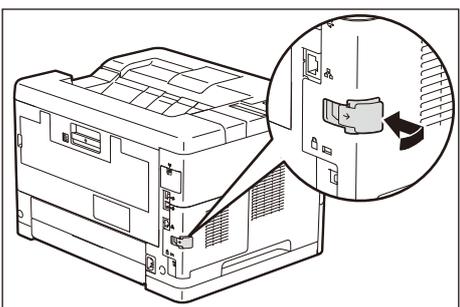
6. 付属のネジを締め、セカンダリーイーサネットカードを固定します。



7. 左カバーを取り付け、左カバーを本機の前方向にスライドさせます。



8. ラッチを本機の前方向に倒してから左にスライドさせ、カバーをロックします。



13.20 シリアル番号（機械番号）を確認する

本機のシリアル番号を確認する手順を説明します。

1. 操作パネルの〈▼〉と^{OK}ボタンを同時に押します
[消耗品メニュー] が表示されます。

消耗品メニュー シリアル番号

2. ^{OK}ボタンを押します。
本機のシリアル番号が表示されます。

シリアル番号 123456

3. ⁱ〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

プリントできます トナー残量 

操作パネルメニュー一覧

操作パネルの基本的な使い方

- メニューの上下を切り替えるには : <▲>または<▼>ボタン
- メニューを選択、右に進むには : <▶>または<OK>ボタン
- 選択を取り消し、左に戻るには : <◀>または<戻る>ボタン
- 値を確定するには : <OK>ボタン
- メニューを終了するには : <仕様設定>ボタン
- プリントメニューを始めるには : <プリントメニュー>ボタン
- i**の詳しい表示を見るには : <インフォメーション>ボタン

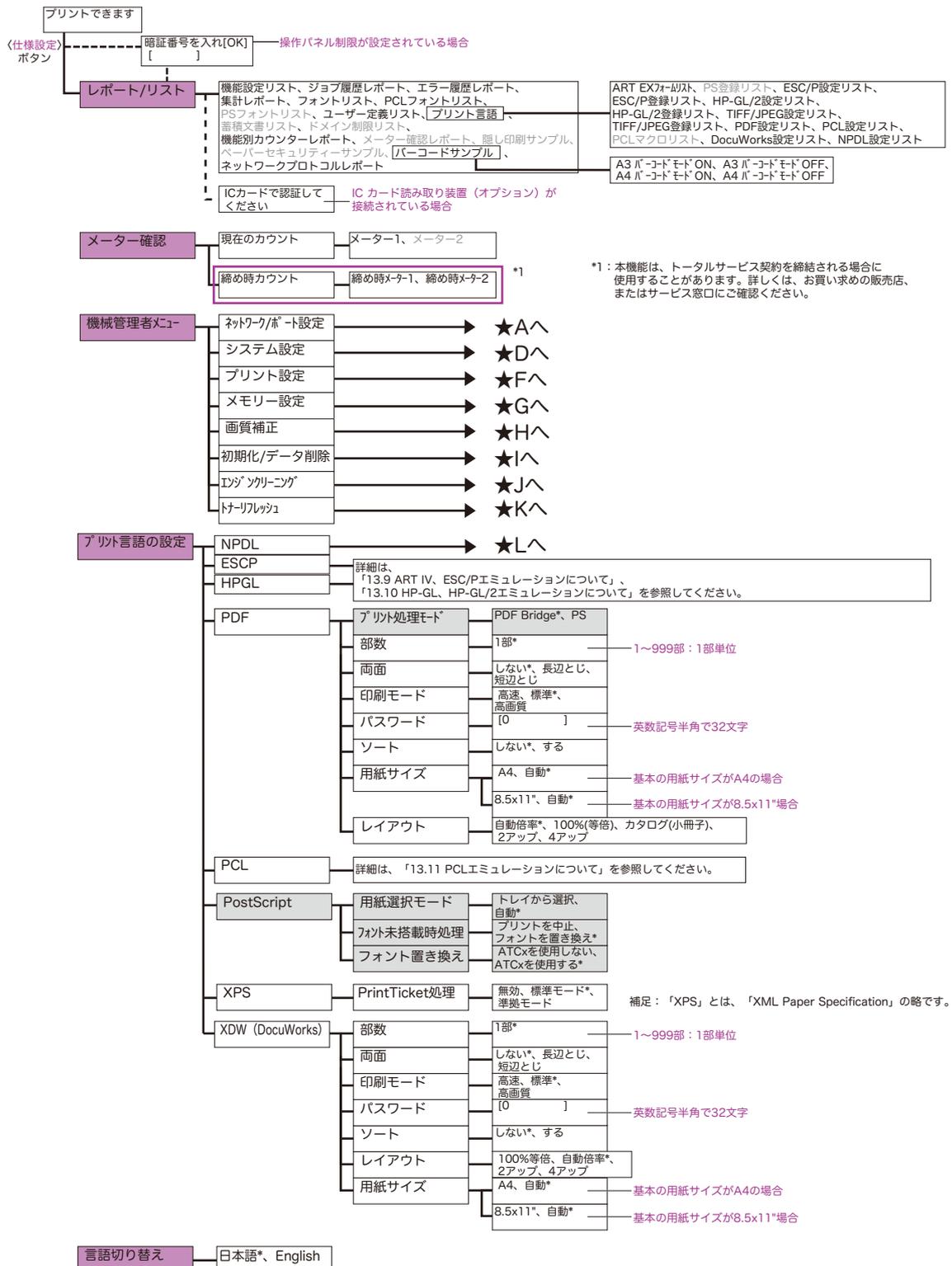
数値や文字の入力のしかた

- 値を切り替え(増減)は : <▲>または<▼>ボタン
- 桁やフィールドの移動は : <▶>または<◀>ボタン
- 初期値に戻すには : <▲>と<▼>ボタンを同時に押す

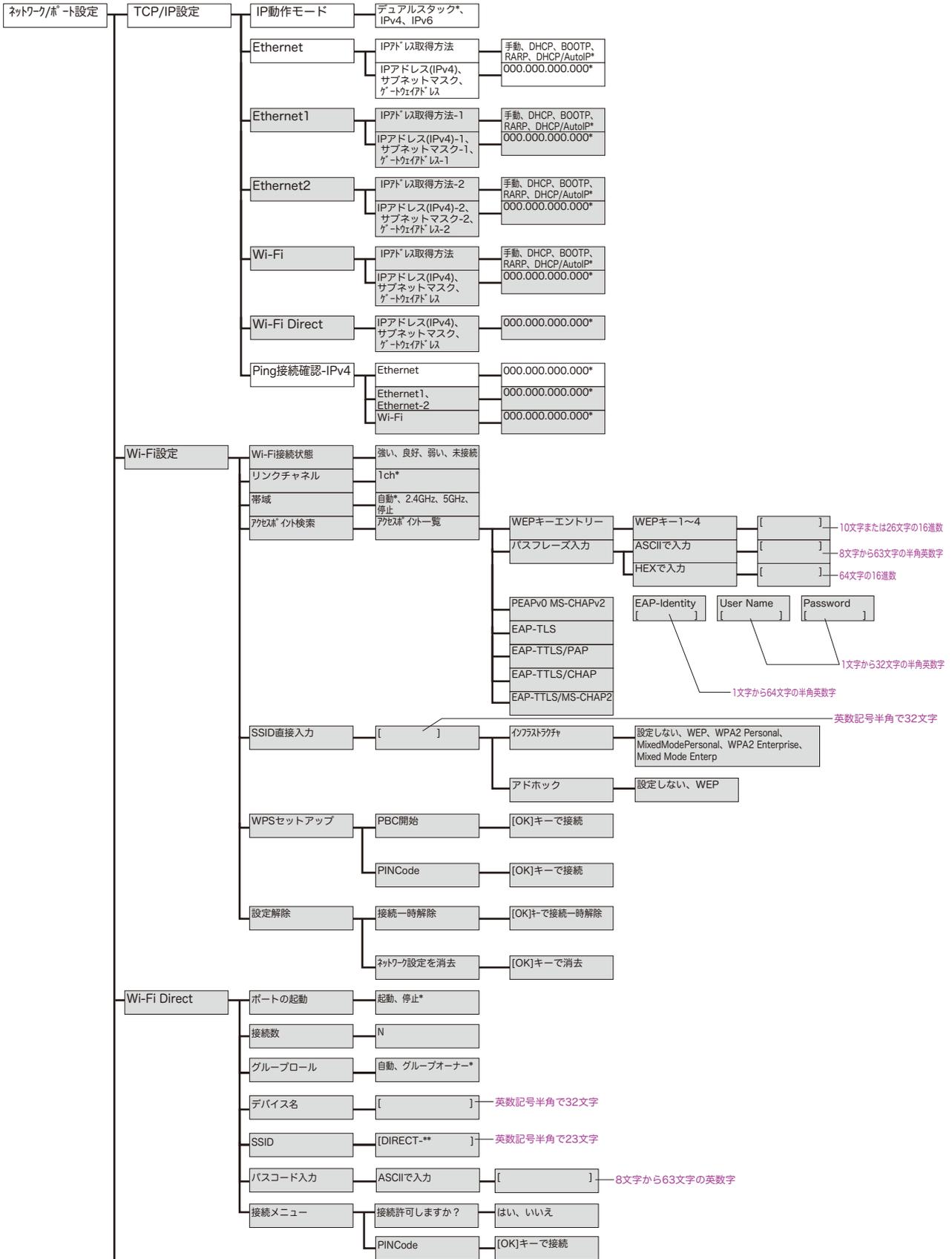
管理者メニューでの表記について

- : メインメニュー
- : 本機のオプション構成によって、表示/非表示される項目
- * : 初期値

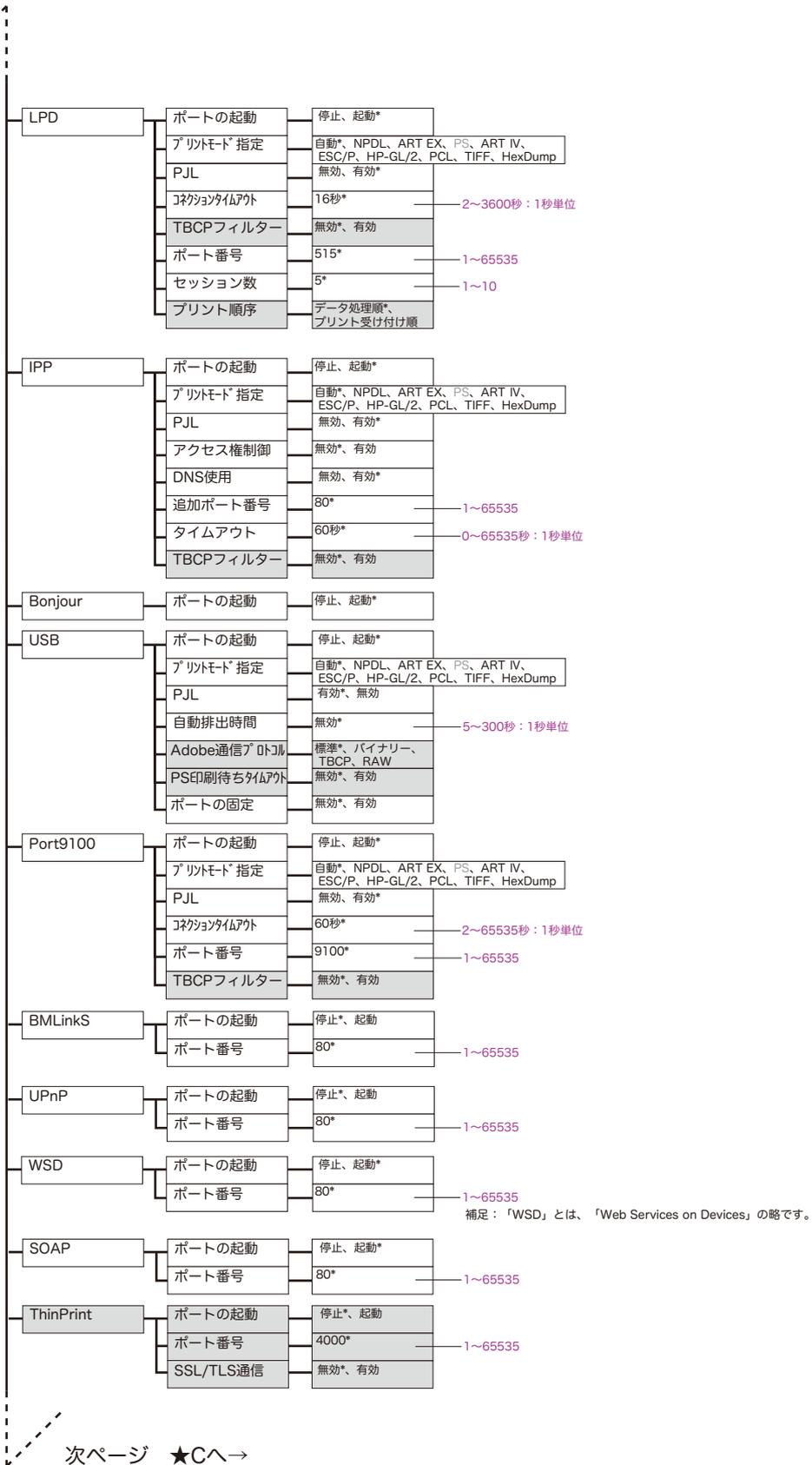
管理者メニュー



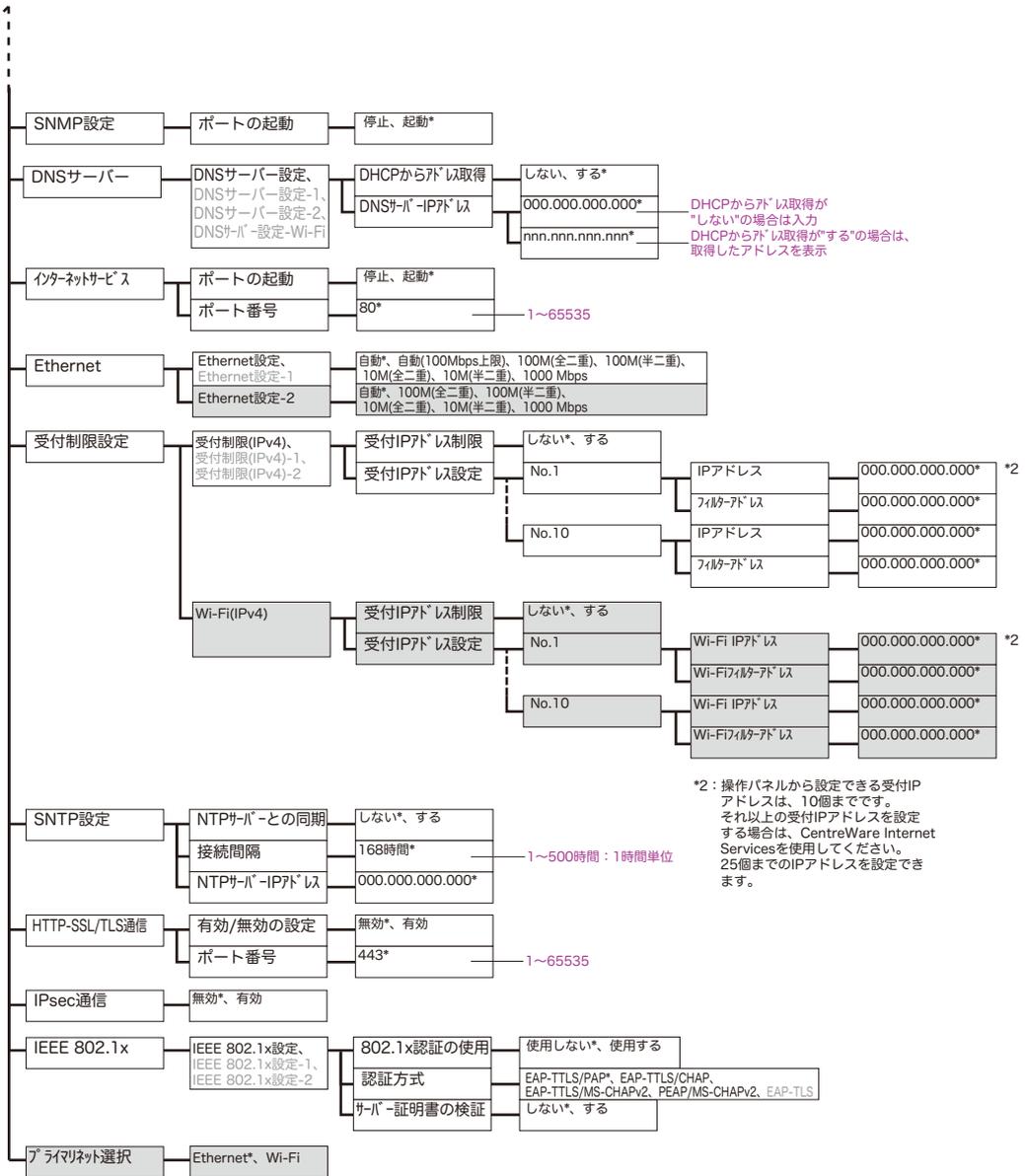
★A



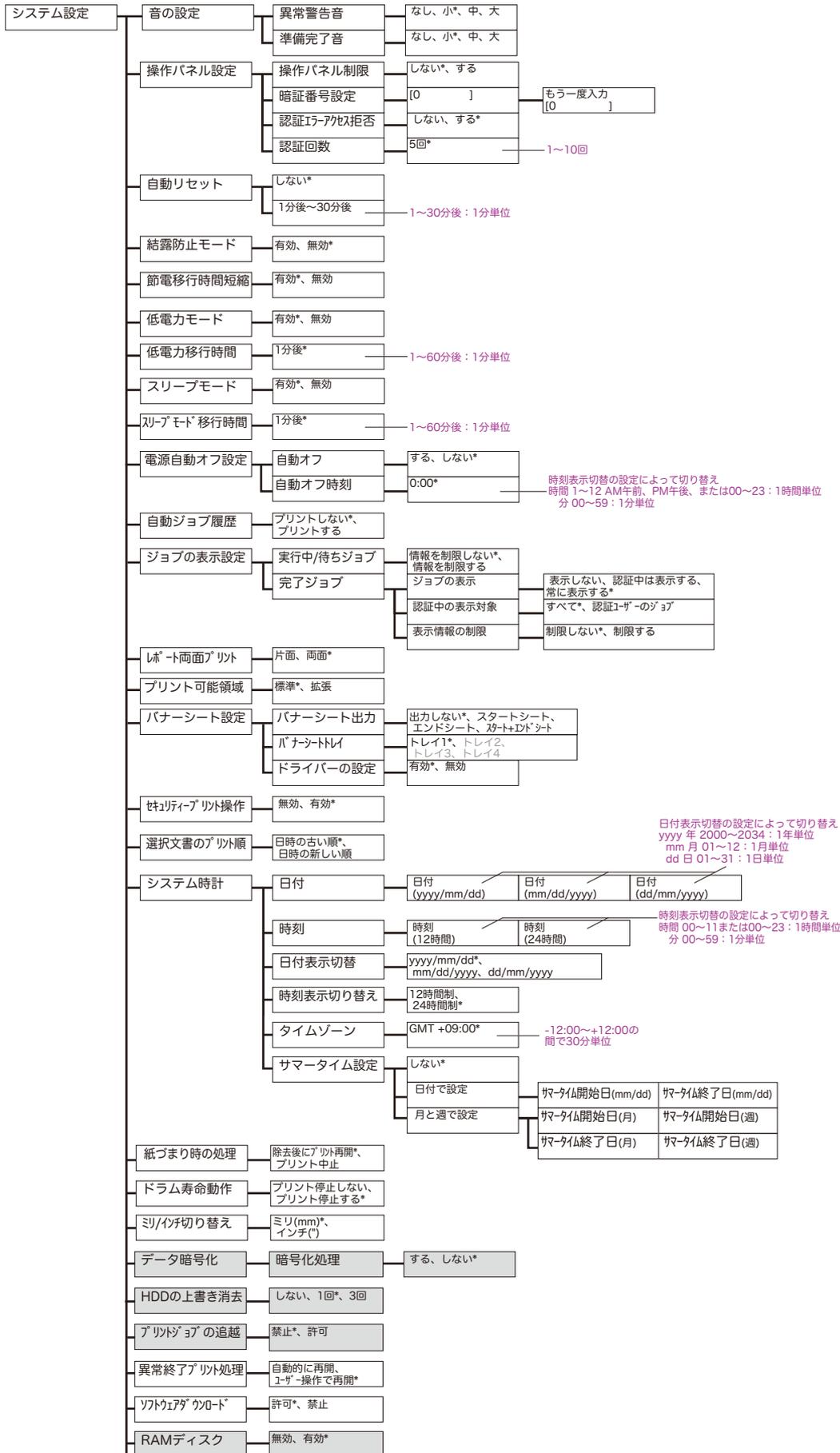
次ページ ★Bへ→



前ページから ★C (ネットワーク/ポート設定 つづき)

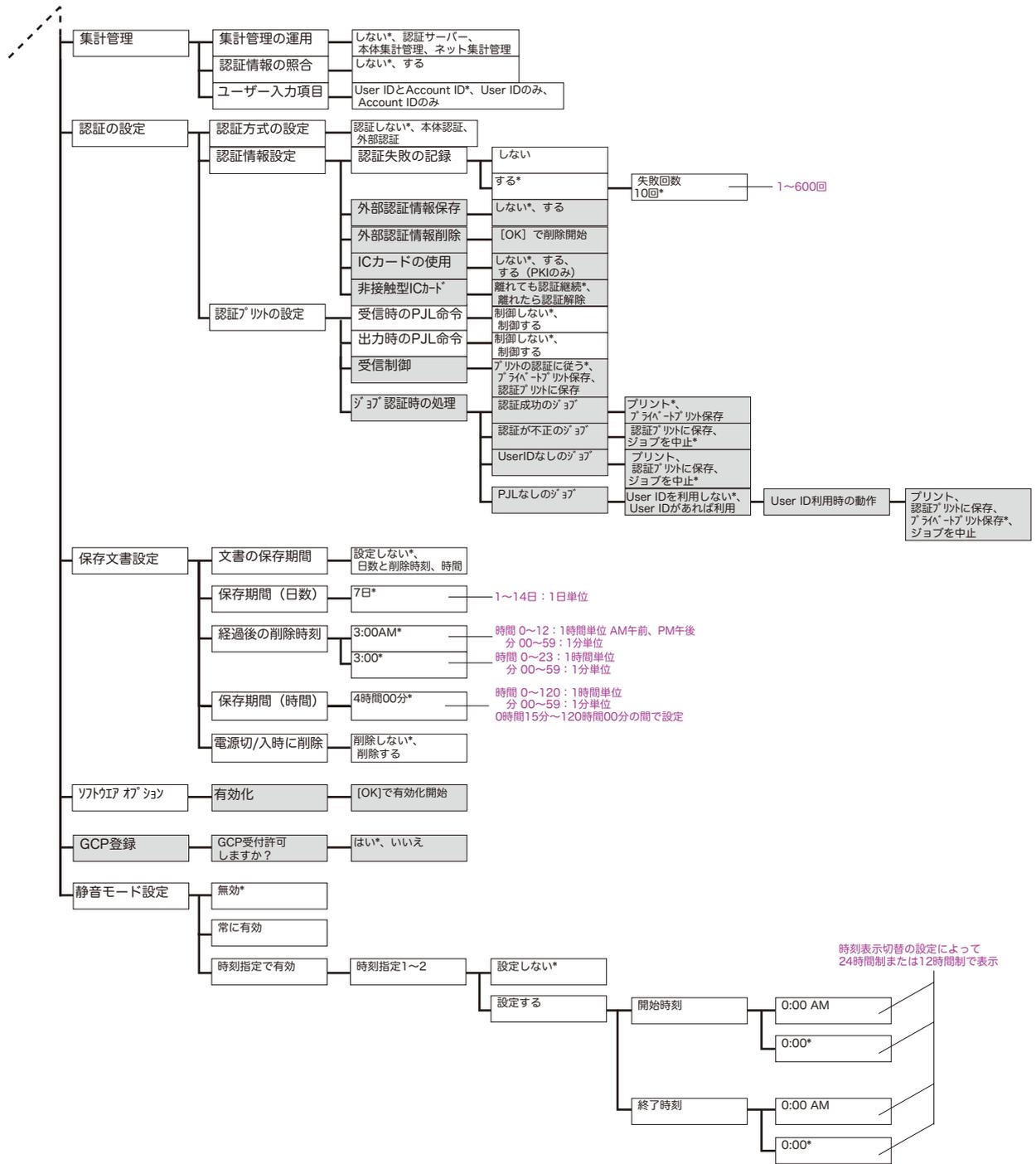


★D

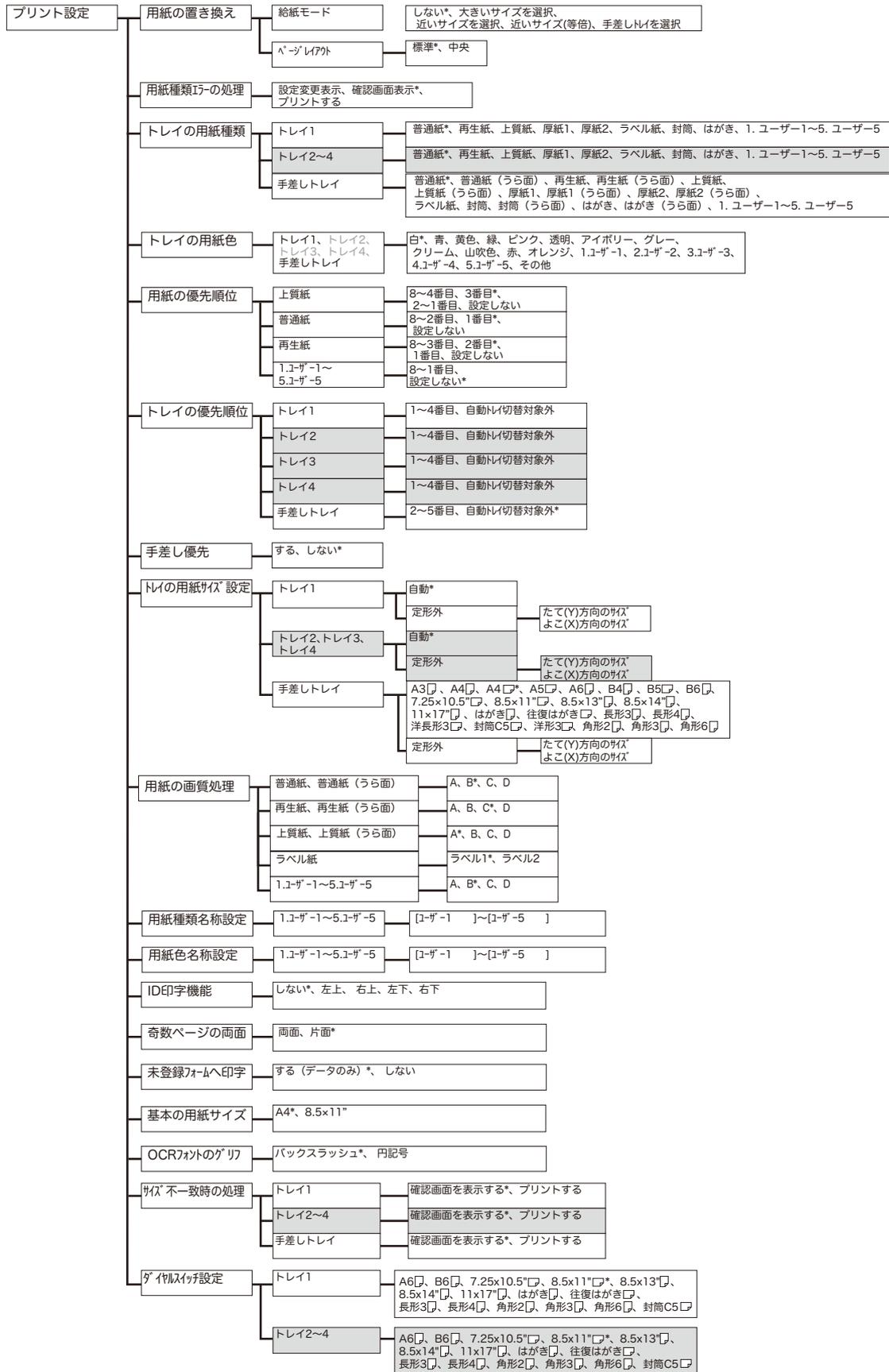


次ページ ★Eへ→

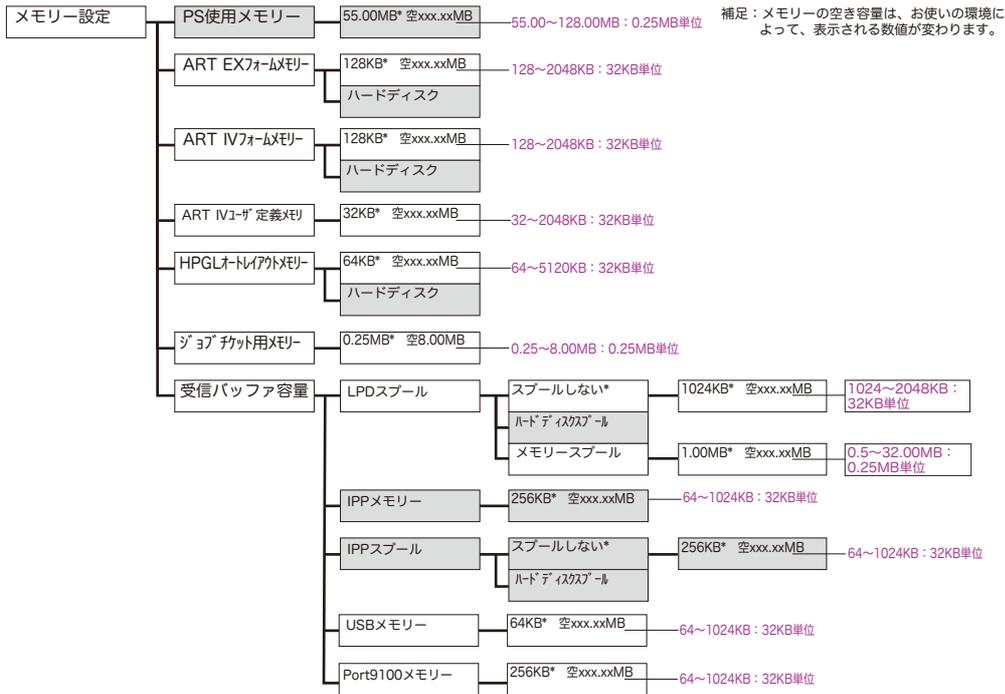
前ページから ★E (システム設定 つづき)



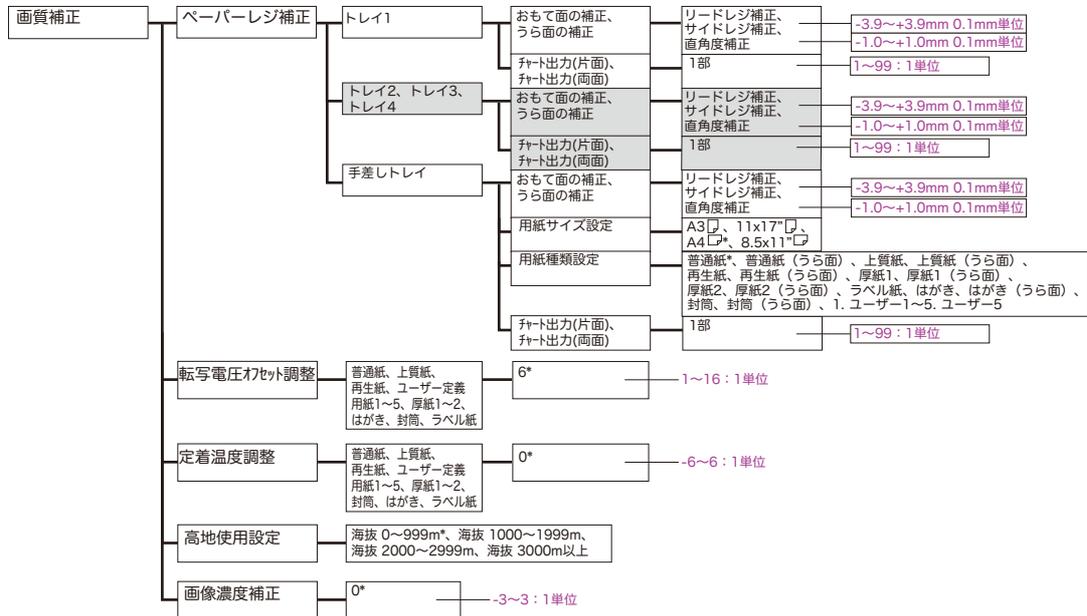
★F



★G



★H



★I

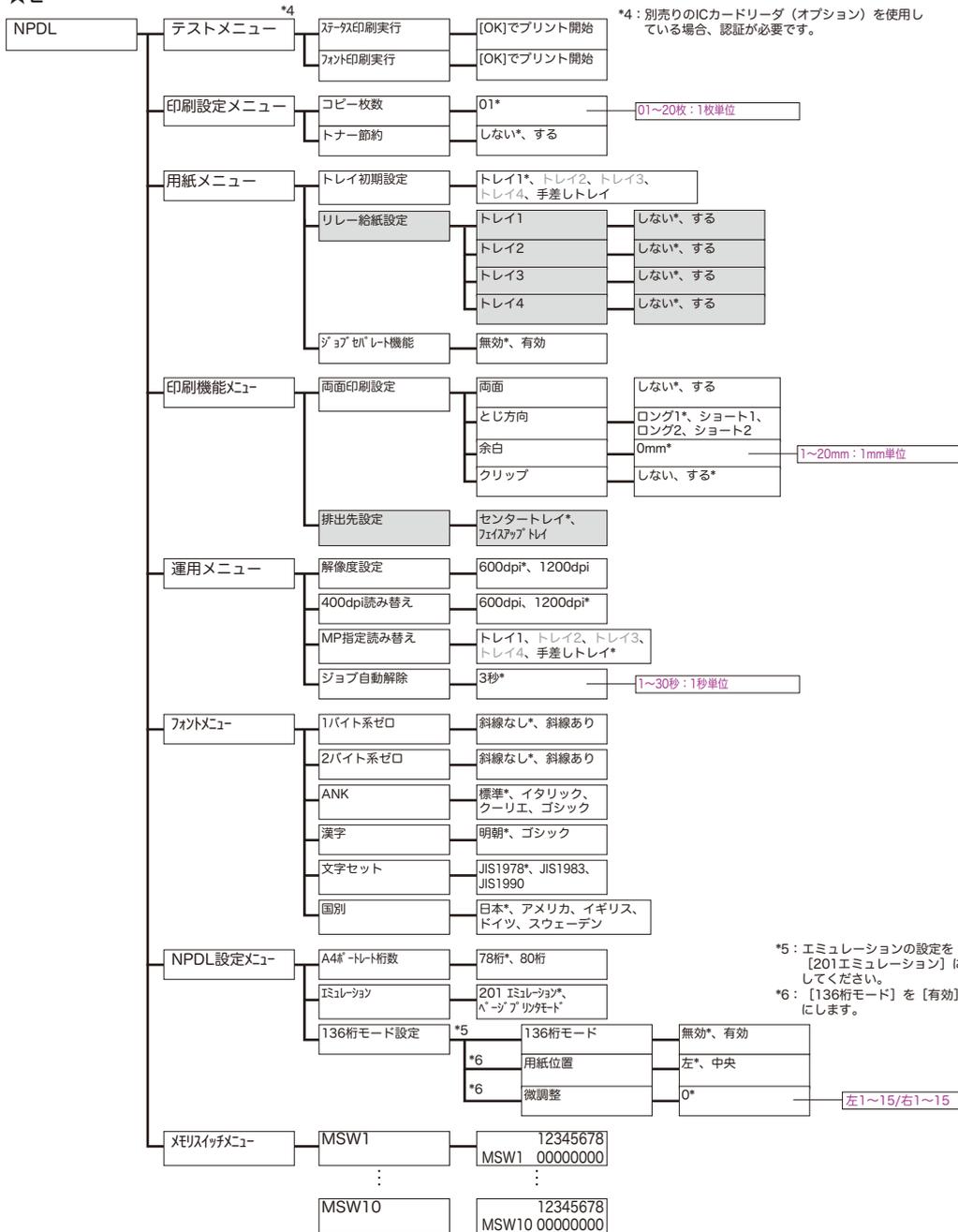


★J



★K

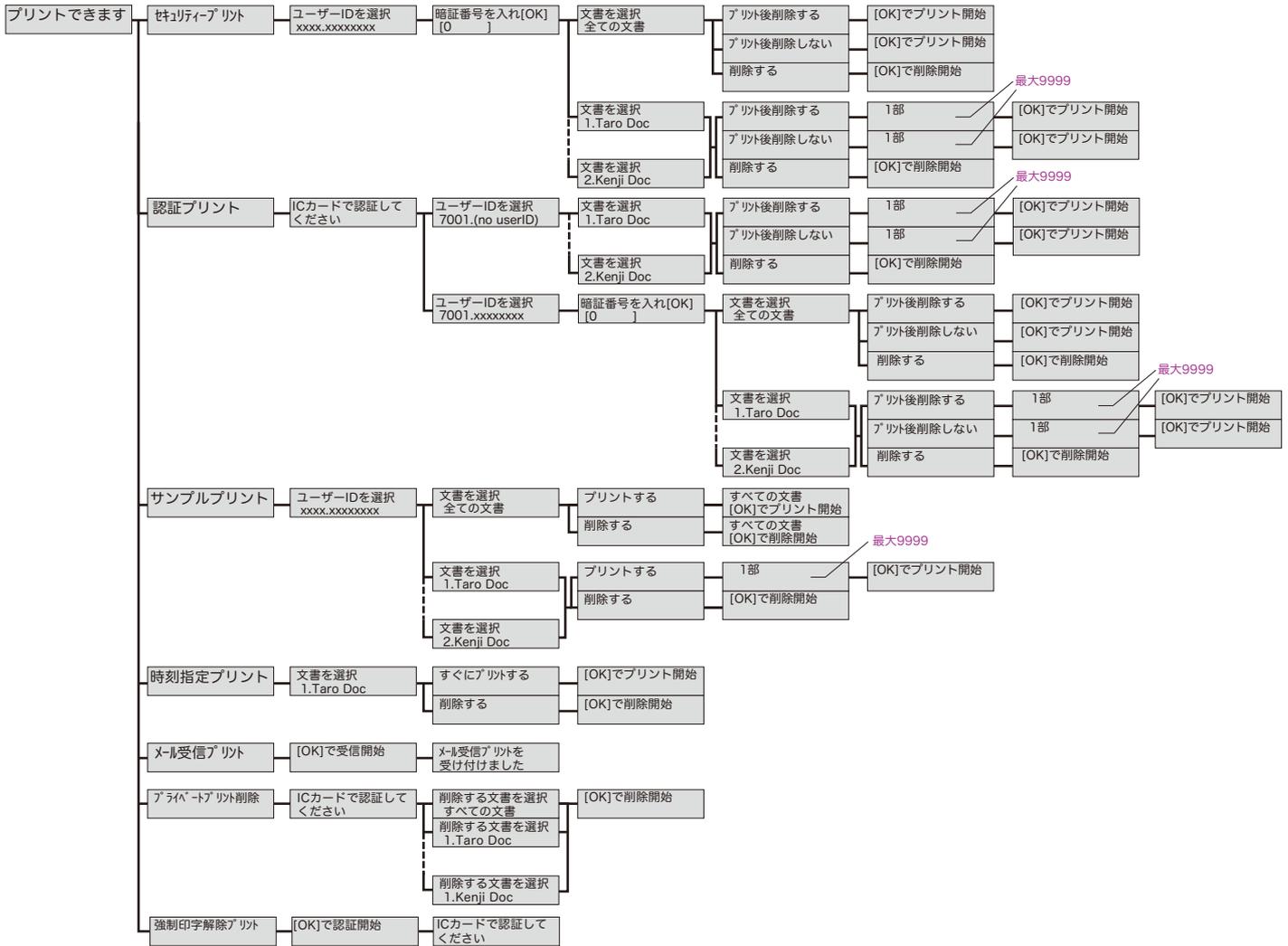




プリントメニュー

プリントメニューで認証を行った場合、[プリントできます]に戻るまで認証状態が継続されます。

(プリントメニュー) ボタン



消耗品メニュー

(▼) + (OK) ボタン

